

2002(平成14)年度

講義内容

経営学部

講 義 内 容

目 次

経営学科フレックス A・第1部経営学科

I 全学共通科目

1	宗教教育科目	11
2	教養教育科目	23
3	外国語科目	81
4	保健体育科目	207

II 専門教育科目

III 他学部履修科目

IV 「日本語」・「日本事情」科目

経営学科フレックス B・第2部経営学科

I 全学共通科目

1	宗教教育科目	425
2	教養教育科目	437
3	外国語科目	463
4	保健体育科目	493

II 専門教育科目

III 他学部履修科目

経営学科フレックス A・第1部経営学科	全学共通科目	宗教教育
		教養教育
		外国語
		保健体育
経営学科フレックス B・第2部経営学科	全学共通科目	宗教教育
		教養教育
		外国語
		保健体育
	科目	専門教育
	履修科目	他学部
	「日本語」	「日本事情」

(お知らせ)

配当学科蘭の「営 A」の表記について、

14年度以降入学生は経営学科フレックス A

13年度以前入学生は第 1 部経営学科

とそれぞれ読み替えてください。

同様に、配当学科蘭の「営 B」の表記について、

14年度以降入学生は経営学科フレックス B

13年度以前入学生は第 2 部経営学科

とそれぞれ読み替えてください。

経営学科フレックスA

第 1 部 経営学科

I 全 学 共 通 科 目

1 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間（営）〈池田 練太郎〉	11
仏教と人間（営）〈吉津 宜英〉	11
仏教と人間（営）〈伊藤 隆壽〉	12
仏教と人間（営）〈四津谷 孝道〉	12
仏教と人間〔再クラス〕〈熊本 英人〉	12
仏教と人間〔再クラス〕〈木村 誠司〉	13
仏教と人間〔再クラス〕〈晴山 俊英〉	13
文化と宗教〈長谷部 八朗〉	14
社会と宗教〈池上 良正〉	14
自然と宗教〈小川 順敬〉	15
坐 禅（前期）（後期）〈木村誠治・熊本英人〉	16

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	池田 練太郎	営 A 1 必	4

講義のねらい

駒澤大学は、仏教と曹洞宗立宗の精神を基本的な理念として設立された大学です。そしてこの講座は、入学した全ての学生にその建学の理念を学んでもらおうという趣旨で開講されているものです。授業ではまず第一に仏教についての正しい知識と理解をもつことを目指したいと考えています。次にそれを踏まえて、仏教が現代社会においてどのような役割を果たすことができるか、また人間にとって宗教とはいかなる意味をもつのかなど、さまざまな問題について考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

初めに、仏教が起こるに至った背景としての古代インドの様相について概観し、その中からどのようにして仏教が登場してきたのかを考えます。次いで、仏教の開祖である釈尊の生涯について説明し、その基本思想を解説します。さらに、世界に展開した仏教の様相について特に日本の仏教を中心に概説します。その後、仏教以外の諸宗教について、仏教との比較において検討していく予定です。また、人間にとって宗教・仏教がどのような意味をもつのかという問題については、つねに考えながら進めていくことにしたいと考えています。

履修上の留意点

欠席・遅刻はしないように。

成績評価の方法

年度末の定期試験、及び出席による平常点によって評価します。

教科書

特に使用しません。必要に応じてプリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	吉津 宜英	営 A 1 必	4

講義のねらい

先ず最初はこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」という位に広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めたのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また、政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。

成績評価の方法

年間で5～6回の課題提出を御願ひし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	伊藤隆壽	営 A 1 必	4

講義のねらい

本講座は、建学の理念に基づき、「仏教」や「禪」についての正しい知識を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 仏になる教え
2. 中道
3. 八正道
4. 菩薩の道
5. 成仏への道
6. 念仏
7. 唱題
8. 禪
9. 信仰と社会

履修上の留意点

教科書は早めに購入し、前期中に各自通読すること。

成績評価の方法

評価はレポート及び試験によるが、授業への出席状況も考慮するので欠席しないこと。

教科書

松本史朗著『仏教への道』（東京書籍）1,400円

参考書等

主要参考書は、水野弘元著『仏教要語の基礎知識』（春秋社）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	四津谷孝道	営 A 1 必	4

講義のねらい

受講生諸君は、今後少なくとも四年間駒澤大学での学生生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会の一つであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見出してもらいたい。そして、仏教に関して得た知識を通して、更には「宗教」とは何かということにまで心に向けてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業の内容は以下の通りである。第一の重点は、仏教の歴史的発展を文化史的な観点並びに思想的な観点から検討することにある。そして、第二のそれは、現代に生きる我々と仏教との接点を探ることを目的として、我々が直面している様々な社会問題に対して、仏教の側からどのような示唆を与えることができるかを検討してみたい。

成績評価の方法

学年末のレポート

教科書

奈良康明著『インド仏教史』（山川出版社）2,629円（本体価格）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	熊本英人	全 学 科	4

講義のねらい

日本における宗教とは何か、仏教を中心に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

仏教史を概観したうえで、日本の仏教および宗教の現在を考える。
仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。特に、明治維新以後の日本の近代化における仏教の功罪や、第二次世界大戦後の地域社会や家の変容に対して、仏教は何をしてきたかなどについてもみてみたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。随時レポートを課す。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	きむら せいじ 木 村 誠 治	全 学 科	4

講義のねらい

仏教の教えから、生命観や自己存在の意義を確認し、自己自身の生き方を探ることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えを明らかにして行く。出家に至るまでの課題が一人釈尊に限られるものではなく、生死の課題は人間の実存として関わっていることを学ぶ。成道後に展開された縁起の教えから、心と存在の在りようを学ぶ。

履修上の留意点

静粛を第一とし、雑談は禁止する。教科書は特に用意しないので、講義内容の記録が定期試験の鍵となる。

成績評価の方法

定期試験と出席率による。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	はれやま しゅんえい 晴 山 俊 英	全 学 科	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・
授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況を加味して評価する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化と宗教	はせべ はちろう 長谷部 八 朗	営 A 選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

未定である。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会と宗教	いけがみ よしまさ 池 上 良 正	営 A 選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える手がかりを探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論などの検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解、近代日本の社会変動と民衆宗教の展開、といった問題を考える。近年の精神世界ブームや新宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然と宗教	おがわ としゆき 小 川 順 敬	営 A 選	4

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拝の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりの諸相を紹介していくことにしたいと考えています。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価は原則として年度末の筆記試験により行います。なお、夏期休暇前にレポート課題を出しますが、提出は受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教 科 書

原則として教科書は用いません。

参 考 書 等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
坐禅（前期）（後期）	<small>きむら</small> 木村 <small>せいじ</small> 誠治・ <small>くまもと</small> 熊本 <small>えいじん</small> 英人	営 A 選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を投げ所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考えたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。禅が作り出したさまざまな文化にも触れるよう進めます。

講義の内容・授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」（坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法と修得）

4～13 「坐禅実習」（一回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です。）

（道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『普勧坐禅儀』・『正法眼蔵一坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます。また、禅の世界をより深い理解のため、各祖師方の語録も参考してみたいと思っています。）

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

レポート、出席態度、出席数を総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅－講本－』（更生社）2,266円

2 教養教育科目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P. 435)

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

文学〔外国文学「アメリカ文学」〕	〈田中保〉	23
文学〔日本文学「近代」〕	〈笹瀬王子〉	23
歴史学〔西洋近現代史〕	〈渡辺知〉	24
芸術学(1)〔日本美術〕	〈松田誠一郎〉	24
芸術学(1)〔西洋美術〕	〈矢野陽子〉	25
芸術学(2)〔音楽〕	〈赤羽由規子〉	25
哲学〔現代文明と人間〕	〈及川和剛〉	26
哲学〔現代文明と人間〕	〈箭野浩司〉	26
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈戸田洋樹〉	27
論理学〔知の技法〕	〈箭野浩司〉	27
論理学〔知の技法〕	〈伊古田理〉	28
科学史〔近代科学の成立と展開〕	〈小宮山隆〉	28
倫理学(1)〔人間観〕	〈古田知章〉	29
倫理学(2)〔応用倫理学〕	〈黒崎剛〉	29
倫理学(3)〔価値観〕	〈及川和剛〉	30
倫理学(4)〔応用倫理学〕	〈箭野浩司〉	30
倫理学(5)〔制度とモラル〕	〈久保陽一〉	31
倫理学(6)〔東洋倫理〕	〈末木恭彦〉	31
宗教学(1)〔比較宗教文化〕	〈池上良正〉	32
宗教学(2)〔聖と俗〕	〈田中かの子〉	32
宗教学(3)〔思想と儀礼〕	〈小川順敬〉	33
宗教学〔組織と運動〕	〈洗建〉	33
人文地理学(1)(2)〔風土と文化〕	〈竹林和彦〉	34
人文地理学(3)(4)〔空間と行動〕	〈伊藤勝久〉	34
※教育の思想	〈伊藤茂樹〉	35
※教育の思想	〈坂本信昭〉	35
※教育と社会	〈伊藤茂樹〉	36
※教育と社会	〈坂本信昭〉	36
※発達と学習の心理学	〈大浜幾久子〉	37
※発達と学習の心理学	〈川田三夫〉	38
※発達と学習の心理学	〈山本政人〉	39
※カリキュラムと学習	〈大浜幾久子〉	39
※カリキュラムと学習	〈川田三夫〉	40
※カリキュラムと学習	〈山本政人〉	40

(2) 社会分野

社会学〔社会生活を考える〕	〈呉 炳 三〉	41
統計学〔社会現象の統計的分析〕	〈稲 葉 敏 夫〉	41
文化人類学〔社会変化と価値観〕	〈内 山 明 子〉	42
法学・憲法〔法と国家〕	〈佐 藤 多美夫〉	42
法学・憲法〔法と国家〕	〈新 田 浩 司〉	43
法学・憲法〔法と権利〕	—夏季集中— 〈西 修〉	44
政治学〔国際社会と日本〕	〈田 丸 大〉	45
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈大 石 雄 爾〉	46
教育学〔デス・エデュケーション〕	〈柳 堀 素雅子〉	47
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕	〈野 中 弘 敏〉	48

(3) 自然分野

生物学〔生物と環境〕	〈中村敏枝〉	49
地球科学〔自然景観の成り立ち〕	〈市川清士〉	50
自然環境論〔生命と環境〕	〈持丸真里〉	50
自然環境論〔自然史と環境〕	〈藤井享〉	51
自然環境論〔環境と保全〕	—夏季集中—〈山縣毅〉	52
自然誌(2)〔現代の自然像〕	〈清水善和・篠原正雄・持丸真里・山縣毅〉	53
数学(1)〔微積分学入門〕	〈小沢誠〉	54
数学(2)〔線型代数学入門〕	〈小沢誠〉	54
数学(3)〔現代数学入門〕	〈福田賢一〉	55
情報数学〔情報と論理〕	〈高橋一嘉〉	55
物理学〔光と物質〕	〈篠原正雄〉	56
化学(2)〔衣食住の化学〕	〈持丸真里〉	57
宇宙科学〔星と銀河〕	〈篠原正雄〉	57
人類学〔人類の進化〕	〈遠藤萬里〉	58
心理学〔心を科学する〕	〈高橋良博〉	58
心理学〔心を科学する〕	〈堀内正彦〉	59
心理学〔心を科学する〕	—夏季集中—〈堀内正彦〉	60

(4) 総合分野

総合 I	〈 休 講 〉	
総合 II	〈 休 講 〉	
総合Ⅲ(2) [欧米の教育と日本の教育]	〈岡崎 寿一郎〉	61
総合Ⅲ(3) [フランス現代思想]	〈桑田 禮彰〉	61
総合Ⅳ(1) [現代アメリカ事情]	〈林 明 人〉	62
総合Ⅳ(3) [ポスト・モダンの世界]	〈丸 小 哲 雄〉	62
総合Ⅴ(1) [イギリス文化探訪]	〈川 股 陽太郎〉	63
総合Ⅵ(1) [民族とは何か]	〈大 野 祐 二〉	64
総合Ⅵ(2) [イスラム]	〈前期：青柳かおる、後期：吉田京子〉	64
総合Ⅶ(3) [フェミニズム・ジェンダー]	〈早 川 紀 代〉	65
総合Ⅶ(1) [トラブルと法的解決]		
	〈北野かほる・王志安・小木曾綾・金子昇平・佐藤多美夫・西 修〉	66
総合Ⅶ(2) [都市論]	〈早川純貴・品田知美・中野裕二・保坂尚郎〉	67
総合 VIII	〈 休 講 〉	

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔外国文学「アメリカ文学」〕	たなか たもつ 田 中 保	営 A 選 14以降入学生/営B選	4

講義のねらい

アメリカ文学の歴史は極めて浅い。アメリカ文学の主潮を辿りながら、主要な作家とその代表作品を取り上げ講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は講義形式でアメリカ文学を概観し、受講者各自で興味ある作家を2人選び、それらの作家の作品を自由にそれぞれ1編選んで読んで、その作家紹介と作品の内容・主題についてレポートを提出してもらう。

後期は受講者各自が主要作品一覧表から関心をもつ作家を1人選び、その作家の作品を読むグループを編成して、グループ発表形式で授業を行います。

履修上の留意点

教養教育科目ですので、作品はすべて翻訳本で読んでもらいますが、アメリカ文学にいささかでも関心のある学生の受講を希望します。

成績評価の方法

レポート・発表・出席等を総合的に評価する。

教科書

教科書は用いません。

参考書等

参考となる書籍については、適宜指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔日本文学「近代」〕	ささせ おうし 笹 瀬 王 子	営 A 選 14以降入学生/営B選	4

講義のねらい

大正から昭和にかけて評論家・小説家として活躍した広津和郎の回想小説集『同時代の作家たち』を教材として扱う。同書刊行当時、「読んだ人は、どの小説を読んでもどんな悲しいことを述べたものでも、いかにみじめな話が書かれたものでも楽しい気持ちになる」と評された本作品を通して、大正文学の魅力をあらためて考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義では、まず最初に作者広津の代表的な評論、小説作品をいくつか取り上げ、彼の文学を概観する。続いて『同時代の作家たち』を読み、そこに実名で登場する芥川龍之介、宇野浩二、徳田秋声、島村抱月、近松秋江、田山花袋、菊池寛といったいわゆる大正文士達の文学を考察する。

履修上の留意点

講義で扱う作家および作品が多岐にわたるので、受講生は自主的に対象となる課題作品を一つでも多く、前もって読んでおいてもらいたい。

成績評価の方法

成績は、平常点、試験、レポート等を総合的に判断して評価する。

教科書

広津和郎 『新編同時代の作家たち』（岩波文庫）660円

参考書等

参考書は適宜指示する。また、必要に応じて教場にてプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学 〔西洋近現代史〕	わたなべ 渡 辺 ちか 知	営 A 選 14以降入学生/営B選	2

講義のねらい

ヨーロッパの近現代の歩みを世界システム論の観点から見て行くこととします。ただ、過去の事実の確認にとどまらず、それがなぜ起きたのか、又、過去の出来事が現在の社会にいかに関わりつづいたのか、あるいは、一地域の動向がその他の地域の動向といかに密接に関わりつづいているのかといった点に重点を置きつつ、歴史学における多様な捉え方を合わせて提示できればと希望しています。

講義の内容・授業スケジュール

ヨーロッパ諸国が15世紀頃より積極的にヨーロッパ外に進出した結果、ヨーロッパとアフリカ大陸、アメリカ大陸を結ぶ大西洋システムが成立しました。このシステムは、18世紀の末から19世紀初にかけておきた一連の事件（アメリカの独立、産業革命、フランス革命、ハイチ革命など）を通じて、世界へと拡大していきます。授業ではその過程を追いつつ、その意味を考えていくこととします。

成績評価の方法

講義の区切りに提出してもらう講義内容をまとめたミニレポートを平常点とし、学年末の試験と総合して評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

講義中に随時、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学（1） 〔日本美術〕	まつだ 松 田 せい 田 誠 一 郎	全 学 科 選	4

講義のねらい

飛鳥時代〔538～710〕から天平時代前期〔710～753〕にいたる仏教彫塑の歴史を詳しく講義する。講義では、関連史料を講読して、作品が造られた歴史的背景をたどる一方、時代ごとの表現や技法の特徴を指摘し、その歴史の変遷や研究上の問題点を説明する。また、中国や朝鮮半島の作品との比較を通して、日本的な美意識の問題についても論究する。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 第 1 回 ガイダンス
- 第 2 - 4 回 1. 法隆寺金堂と釈迦三尊像
- 第 5 - 7 回 2. 救世観音像と百済観音像
- 第 8 - 9 回 3. 法隆寺再建期の童顔童形像
- 第 10 - 12 回 4. 広隆寺と中宮寺の半跏思惟像
- 第 13 - 15 回 進度調整のための予備日

【後期】

- 第 1 - 3 回 5. 興福寺仏頭と薬師寺金堂本尊
- 第 4 - 5 回 6. 法隆寺五重塔の塑像
- 第 6 - 8 回 7. 興福寺の十羅漢・八部衆像
- 第 9 - 10 回 8. 東大寺法華堂の乾漆像
- 第 11 - 12 回 9. 東大寺・新薬師寺の塑像
- 第 13 - 15 回 進度調整のための予備日

履修上の留意点

仏像の本当のよさは、スライドを見ているだけではわからない。教室で講義を受けるだけでなく、できるだけ履修期間中に東京国立博物館の法隆寺宝物室や奈良・京都の古寺を訪れて、仏像に接する機会を積極的につくるように努力すること。

成績評価の方法

後期末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

教科書

水野敬三郎著『奈良・京都の古寺めぐり—仏像の見かた—』1985年（岩波書店） 650円

参考書等

水野敬三郎監修『カラー版 日本仏像史』2001年（美術出版社） 2,500円

そ の 他

毎回スライドを使用する。参考文献については、講義ごとに指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学(2) 〔西洋美術〕	矢野陽子	全学科選	4

講義のねらい

この授業では15世紀から18世紀までのヨーロッパ諸地域の美術を対象とし、まずその主要な流れを理解することを目的とする。そして表現内容と様式、芸術家とパトロン、美術理論などを踏まえて、美術作品がどのように制作され享受されたか、美術が社会の中で占めていた位置、さらに各国の美術の特質、地域間での影響関係について考察する。

 講義の内容・
授業スケジュール

前期は15・16世紀、すなわち初期ルネサンスからマニエリスム美術を、後期は17・18世紀、すなわちバロック・ロココ美術を扱う予定である。

履修上の留意点

教科書を毎回持参すること。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてほしい。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価する。

教科書

高階秀爾監修『カラー版 西洋美術史』（美術出版社）1,900円

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

授業では毎回スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学(3) 〔音楽〕	赤羽由規子	全学科選	4

講義のねらい

前期 民族音楽学—日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子ども遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。

後期 20世紀と音楽 20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著『現代からの音楽史』（公論社）2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学 〔現代文明と人間〕	おいかわ かずよし 及 川 和 剛	営 A 選 14以降入学生/営B選	4

講義のねらい

現代哲学はしばしば、現象学をはじめとする大陸系（独仏系）の哲学と英米系の分析哲学との対立という観点から語られる。しかし今ではそのような構図を探ることにはそれほど利点がないように思われる。そこでこの授業では、現代哲学を幅広い視点から見渡しているローティ어의仕事に着眼することとし、その線に沿って（おおかたは20世紀の）現代哲学の諸議論を（学派的な枠を超えて）吟味していくことにする。中心的なテキストとしては、ウィトゲンシュタイン、ハイデガー、デリダを扱う予定である。その際、可能な限り（学派ごとのではなく）問題群ごとの取り扱いをしたい。なお、必要に応じて、日本の現代思想や伝統的思想、また、20世紀以前の欧米の思想にも触れることになるであろう。

成績評価の方法

年2回（夏期と年度末）の試験、およびレポートで評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

その都度授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学 〔現代文明と人間〕	や の ひ ろ し 箭 野 浩 司	営 A 選 14以降入学生/営B選	4

講義のねらい

哲学は直接的には何の役に立たない。例えば、営業に向かうサラリーマンが満員電車の中で突然哲学に目覚め、存在とは何かを考え始めて、仕事に行かなければ、彼は職を失ってしまうかもしれない。しかも存在とは何かといった問題に答えが出たとしても、経済的には何のメリットもない。それはまさに自分のために出す答えであり、すべての人間がそのような答えを求めるわけではない。哲学が他の学問と異なる点の一つは、出した答えに公共性が必ずしもないことである。だからAさんの哲学とBさんの哲学はめったに一致しない。それは管見であって、暗記するような知識ではない。それは科学でもなければ、宗教でもない。目覚める人間は少数派で、大多数の人間は目覚めない。そう言われて、もしかすると思った人はこの授業に来てください。

講義の内容・
授業スケジュール

西欧の哲学史を辿るという普通のスタイルで授業を行なう。重点は現代に置く。参加者は、自分の問題を解決するのに有効な道具や戦略を探するという態度で授業を受けることとする。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、リアクション・ペーパー等で評価する。知識は一切問わない。そのかわり<哲学的>と形容されるセンスの有無とオリジナリティを評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	と 戸 だ ひ ろ き 田 洋 樹	営 A 選 14以降入学生/営B選	4

講義の内容・
授業スケジュール

論理学を「伝統的論理学」と「記号論理学」の二つに分け、前期には「伝統的論理学」の基礎を、後期には「記号論理学」の基本を講述する。

1. 「伝統的論理学」
 - 演繹論理
 - 帰納論理
2. 「記号論理学」
 - 命題論理
 - 述語論理

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験による

教科書

授業開始時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 〔知の技法〕	や 箭 の ひ ろ し 野 浩 司	全 学 科 選	4

講義のねらい

日本の教育制度はディベートやディスカッションの技術を教えない。同様に、レポートや小論文の書き方についても、それを教える学校は少ない。しかし社会人として、あるいは国際社会の一員として生きてゆくためには、考えを言語化してコミュニケーションをとることは必要不可欠なスキルである。

この授業は、各国の言論文化の違いに留意しながら、話すことと書くことに重点を置いて思考表現とコミュニケーションのスキルを向上させることをめざす。参加者は、表現する前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるが、それを乗り越えることも目的の一つとする。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のような思考表現の技術について解説し、トレーニングを行う。ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、小論文、クリティカル・シンキング、情報分析等。

履修上の留意点

単位よりも能力が欲しいことを参加条件とする。ほぼ毎回、何かしゃべってもらうことになる。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度等で評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 〔知の技法〕	いこた まさる 伊古田 理	全学科選	4

講義のねらい	本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的ノウハウの習得を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。
履修上の留意点	以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。
成績評価の方法	随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。
教科書	本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんでものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。 教科書：大庭他著 『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版） 副読本：野矢茂樹 『論理トレーニング』（産業図書）
参考書等	そのつど指示する。
その他	上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
科学史 〔近代科学の成立と展開〕	こみやま たかし 小宮山 隆	営 A 選	4

講義のねらい	科学・技術の進歩の道筋は紆余曲折にみちたものであり、その成功だけでなく躓きも、われわれにとって示唆に富む内容を含んでいる。 そこで、いくつかの事例を取り上げ、具体的な科学理論の歴史的展開を、技術の進歩や各時代の支配的な思潮との相関のなかでとらえ、現代のわれわれにとっての意味を考察していきたい。
講義の内容・授業スケジュール	今日の物理学、化学、生物学がそれぞれ近代科学として成立する過程を中心に、現代への展開を含めて概観する。
履修上の留意点	講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、それ以外に自然科学的な知識等、予備知識は一切必要としない。
成績評価の方法	前・後期の試験と夏のレポートで評価する。
教科書	八杉龍・『図解・科学の歴史』（東京教学社）
参考書等	講義の際に、その都度紹介する。
その他	通常の講義形式をとるが、教科書掲載の図版をはじめ、できるだけ多くの図版・図表等もちいて講義を進めたい。必要に応じてビデオ等も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学 (1) 〔人間観〕	ふるたともあき 古田知章	全 学 科 選 Ⅱ以降入学生/営B選	4

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・
授業スケジュール

西洋倫理学の代表的学説を、古代ギリシアから現代への流れに沿って時代ごとに紹介し、「人間」、あるいは、この「人間」という名称を与えられる「私」や「自己」という概念が、どのように、「行為」や「善」などのその他の倫理学の主題とともに論じられてきたのかを考察する。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参 考 書 等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学 (2) 〔応用倫理学〕	くろさき つよし 黒崎剛	全 学 科 選 Ⅱ以降入学生/営B選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなっていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にもなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理——講義の課題概説
 2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
 3. 人工妊娠中絶
 4. 安楽死と尊厳死
 5. 脳死と臓器移植
 6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
 7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教 科 書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学(3) 〔価値観〕	おいかわ かずよし 及 川 和 剛	全 学 科 選 14以降入学生/営B選	4

講義のねらい

「私はどうしたらいいのか」「ままならぬこの自分とはなんであるのか」といった問いは思春期にいる少年少女だけに特有のものではない。それはおそらく一生続きうる問いである。この授業では、それぞれの人生で繰り返し立ち現われ問い返される“私”や“自分”とはなんであるのかということ論じる。そうして行く中で、“私”はどうしようもなく“感情”に支配されてしまっている、ということがクローズアップされてくるであろう。そこで次に、その“感情”とはなんであるのかということ論じる。(この問題は<自由>の問題につながるはずである。)他方、“私”は自分一人で生きていけるわけではなく、他の“私”達とともに生きているという事実にも着目しなければなるまい。そこでまた、その“他者”とはなんであるのかということも論じたい。(この問題は<規範>の問題につながるはずである。)

講義の内容・授業スケジュール

- おおかた次のような内容を取り扱う。
- I 現代の日本で“私”について論じている人々
- II 「心の受動」としての“感情”
- III ウイトゲンシュタインと“他者”の問題

成績評価の方法

年2回(夏期と年度末)の試験、およびレポートで評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』(公論社)

参考書等

北明子『メーヌ・ド・ピランの世界 経験する<私>の哲学』(劉草書房)
野矢茂樹『心と他者』(劉草書房)
その他についてはその都度授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学(4) 〔応用倫理学〕	や の ひろし 箭 野 浩 司	全 学 科 選 14以降入学生/営B選	4

講義のねらい

倫理学は、哲学の主要な一部門であり、人間がいかに生き、何をなすべきかを探求する学問である。言い換えれば、問題の多い世界の中で生き方を模索する哲学である。
われわれが自己の生き方を決めるためには、知識を習得するとともに、自分の力で考えねばならない。応用倫理学の<応用>という言葉は、理論の応用という意味ではなく、具体的な問題に参入して、意思決定のシュミレーションを行うことを意味する。この授業は、テクノロジー、医療、宗教、メディア、教育、環境破壊、テロ、人口圧、多様な価値観の共存など、さまざまな問題と向き合って、どうすべきかを考え、自分の意見を持ち、判断を下すこと、言い換えれば、生きてゆくための知を構築することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

問題の多くはビデオで提示する。身近な問題から始めて、別の場所で起きている問題や未来に起きる問題にまで射程を広げてゆく。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学(5) 〔制度とモラル〕	くぼ しょういち 久保 陽 一	全 学 科 選 14以降入学生/営B選	4

講義のねらい

最近、簡単に人を殺害したり、職業倫理を無視したりする事件があとを絶たない。あらためて何が正しいかが問われている。そこで本講義では「正義」について、倫理思想の歴史をたどり、今日の問題を考える参考にしてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- I 近代以前の正義
 - (1)古代ギリシア（ギリシア悲劇・プラトン・アリストテレス・ストア派）
 - (2)キリスト教
- II 近代の正義
 - (1)人権と社会契約の思想（ホッブス・ロック・ルソー・カント）
 - (2)ヘーゲルの法哲学
 - (3)功利主義
- III 現代の正義
 - (4)社会主義と社会権
 - (5)ロールズとテイラー
 - (6)生命倫理と環境倫理

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取る。私語や途中退室はつつしむこと。

成績評価の方法

中間試験、レポート、期末試験と出席状況。

教科書

河谷・久保編 『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

高木・末延・宮沢編 『人権宣言集』（岩波文庫）
シンガー 『私たちはどう生きるべきか』（法律文化社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学(6) 〔東洋倫理〕	す え き や す ひ こ 末 木 恭 彦	全 学 科 選 14以降入学生/営B選	4

講義のねらい

漢文古典はすべて「倫理」学と言っても過言ではない。それらを産み出した人々の主要な関心は、人と人の中で如何に生きるかにあった。従って、漢文古典を考えれば、自ずと倫理学となる。又、漢文古典が示す人の生き方は、東アジアの人々に等しく人生の指針であった。先人の積みあげた歴史の上に我々はいる。漢文古典の世界を知ることは、決して他人事ではなく、我々の心の奥底を知ることである。これを知ることは、我々の未来の生き方を開くことにもなる。このような重要な意味を担う我々先人達の人生の思想を問い直し、そこから未来の手掛りを掴む——ここにこの講義の目標はある。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、東洋古典の智慧がどれだけ現代の問題を考えるのに役立つか検討を試みたい。環境倫理——環境問題にいかに対処してゆかという問題を取り上げ、この問題に東洋の智慧がどのように光を投げかけるかを見てみたい。教科書は、このような問題意識に基いて開かれたシンポジウムの報告論文集である。講義は、教科書に収められた論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進めながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとること。

成績評価の方法

基本は年二回以上の試験あるいはレポートにより判断する。それに、出席状況・受講への積極性（質問の有無—質問は原則書面で提出して貰う）などを加味して最終的な成績をつける。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教学(1) 〔比較宗教文化〕	いげがみ よしまさ 池 上 良 正	全 学 科 選 14以降入学生/営B選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」(マックス・ミュラー)という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。
本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

大きなテーマとして、次の三つを考えている。①近代宗教学の成立とその意義。②宗教の比較類型論の試み。③民俗・民衆宗教研究の展開。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教学(2) 〔聖と俗〕	た な か 田 中 かの子	全 学 科 選 14以降入学生/営B選	4

講義のねらい

「聖と俗」という対立概念は、ある宗教的世界観のなかで生きる人間が「日常から非日常」「不浄から清浄」「苦悩から救い」「罪からの改悛」「離叛から和解」「死から再生」などのプロセスを体験するために仮設する自己一新の装置である。人格的「神」や非人格的「法」などに由来する「聖」なるものの完全さ・神秘性・絶対的力は、至らぬ無力な自己をおのずと「俗」なる領域に押しやるかにみえる。しかし実際には、「聖」なる人間性を志向してやまない日々の宗教生活そのものが既に、「聖」なる領域のなかに取り込まれて一体化しているのである。つまり、ここでの「聖と俗」は、世間一般にいう「宗教」と「非宗教」の対比としての「聖」と「俗」ではない。本講は、この点をおさえたいうで、1) 宗教学の基本的立場をふまえ、2) 世界の諸宗教の歴史・思想・文化における「聖と俗」の諸相を観察することにより、3) 「宗教」とは何か、「人間」とは何かという問いを深めていくことをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

I. 宗教学とは何か、II. 宗教生活の原初形態(「いのち」の発見)、III. 宗教の類型論(ひとつの宗教の諸相・さまざまな宗教の比較)、IV. 「聖なるもの」をめぐる諸宗教の構成要素一覧、V. 芸術と聖なるもの、VI. 宗教の人間観、VII. 宗教的世界観、VIII. 本講の後半では、ゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教の歴史・思想・文化を解説し、それぞれの現代的意義を考える。

履修上の留意点

板書を写すだけでは、本当にノートを取ったことにはならない。工夫してみよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート、出席状況。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

脇本平也著『宗教学入門』(講談社学術文庫)

その他

講義担当者の現地調査に拠るスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学(3) 〔思想と儀礼〕	おがわ としゆき 小川 順 敬	全学科選 14以降入学生/営B選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なののでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその思想について考えていこうと思えます。一見、不可解な行動に見えても、その背後の思想を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価は原則として年度末の筆記試験により行います。なお、夏期休暇前にレポート課題を出しますが、提出は受講者の自由意思とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学(4) 〔組織と運動〕	あらい けん 洗 建	全学科選 14以降入学生/営B選	4

講義のねらい

宗教学は、宗教現象の実証的研究を通じて宗教の客観的理解を目指す学問である。宗教現象は、文化、社会、個人の人格などの各次元にわたって展開するが、この講義では宗教の社会的展開を中心に考察する。宗教は個人の内面において、単なる知識としてではなく、情意的にも真実として把握された世界認識である。しかし、それはまったく個人的な信念にとどまるものではなく、多くの人々に共有された文化として存在する。そして宗教を共有する人々は、集団を作り、共に礼拝その他の宗教的実践をするのが一般的である。そこに社会現象としての宗教の問題が生ずる。社会現象としての宗教には、どのような集団が形成されるのかという、集団内部の組織の問題と、宗教集団の活動が、外部の一般社会とどのような関係を生ずるのかという宗教運動の問題とがある。これらの問題を事実にして考察し、宗教現象の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の宗教伝統を形成する神道、仏教、儒教など、なかでもその基層をなしている神道的なるものが、わが国の社会や文化の形成に、いかにかかわっているのかを考察したい。

履修上の留意点

受講者の人数にもよるが、事実を覚えることより、問題を理解し共に考えることを目指したいと思っているので、とにかく出席して受講して貰いたい。原則として出席をとる。

成績評価の方法

定期試験と、出席点を総合評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学 (1) (2) 〔風土と文化〕	たけはやし かずひこ 竹 林 和 彦	全 学 科 選	4

講義のねらい

人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討してゆく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学的アプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜、ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス
2. 人文地理学の学問的性格
3. 人文地理学の基本概念
4. 人文地理学の思考対象とその方法
5. 人文地理学と地誌学
6. 地理学にとって文化とは何か？
7. 地域とは（地域の概念）
8. 文化地域
9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～
10. 文化景観
11. 文化伝播
12. 東南アジアの風土と文化
13. 東アジアの風土と文化
14. 市場の風景
15. 都市での居住（都市の文化）
16. 都市と農村
17. まとめ

履修上の留意点

授業には必ず地図帳（中学・高校で使用したものでもよい）を持参すること。

成績評価の方法

定期試験80%、平常点20%

教 科 書

特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参 考 書 等

特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学 (3) (4) 〔空間と行動〕	いとう かつひさ 伊 藤 勝 久	全 学 科 選	4

講義のねらい

社会科学全般の動向を眺みつつ、その中での人文地理学における空間論／行動論の展開と変化を概観する。

講義の内容・授業スケジュール

全般的な流れとしては、伝統的地理学から機能主義的地理学、歴史主義的地理学、批判主義的地理学、人間主義的地理学等の多様な空間観を把握しつつ、ポストモダニズムの空間論まで網羅する予定。具体的な授業スケジュールは講義初日に配付するシラバスに詳述する。

履修上の留意点

受講者には「データを収集し批判的に分析しつつ持論を展開する」というアカデミアの基本的態度を要望する。従って本講義では、受講者が各講義で得た知識を如何に使い、あるいは論理的に批判する事ができるかを重視したい。その具体的方法に関しては、授業の中で逐次教授する。

成績評価の方法

出席30%、中間試験（小論文）35%、期末試験（小論文）35%の総合点で評価する。

教 科 書

教科書は講義初日に配付するシラバスにて指示する。

参 考 書 等

参考書等は講義初日に配付するシラバスにて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育の思想 (前期)	いとう しげき 伊 藤 茂 樹	営 A 2 選 !!以降入学生/営B1選	2

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

 講義の内容・
授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
 ・近代社会と教育
 ・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育の思想 (前期)	さかもと のぶあき 坂 本 信 昭	営 A 2 選 !!以降入学生/営B1選	2

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。

20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著 『現代教育を考える』 (昭和堂) 2,600円

参考書等

デューイ著 『学校と社会』 (岩波文庫) 410円

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会（後期）	伊藤茂樹	営 A 2 選	2
		!!以降入学生/営B1選	

- 講義のねらい**

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会において学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。
- 講義の内容・授業スケジュール**

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。

 - ・現代の教育問題
 - ・教育改革の現在
- 履修上の留意点**

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がけること。
- 成績評価の方法**

学期末試験により評価する。
- 教科書**

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。
- その他**

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会（後期）	坂本信昭	営 A 2 選	2
		!!以降入学生/営B1選	

- 講義のねらい**

人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなると、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。

講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。

 - ・学校教育のあゆみ
 - ・学校の社会的機能
 - ・学校教育の現実と課題
 - ・その他
- 履修上の留意点**

授業の出欠は厳密にとる。
- 成績評価の方法**

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。
- 教科書**

西村絢子他著 『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円
- 参考書等**

デューイ著 『学校と社会』（岩波文庫）410円
- その他**

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	おおはま きくこ 大 浜 幾 久 子	営 A 2 選	2
		12以降入学生/営B1選	

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。その際、基礎的な心理学実験の実習も試みたい。

 講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

履修上の留意点

レポート提出を中心とした平常点評価の予定である。

成績評価の方法

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

教科書

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	かわだ みつお 川 田 三 夫	営 A 2 選 11以降入学生/営B1選	2

講義のねらい

- 1) 子供の成長・発達の概要を理解する。
- 2) 学習心理学の基本的な事項を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 発達や学習の理論
- 2) 乳児期・幼児期
- 3) 児童期
- 4) 青年期
- 5) 青年後期・成人期
- 6) 人格の発達
- 7) 社会性の発達
- 8) 情緒や性意識の発達
- 9) 交友・対人関係の発達
- 10) 若者文化や社会風俗
- 11) 非行等の問題行動
- 12) 情緒障害や神経症的な問題行動
- 13) 学校生活をめぐる問題点
- 14) 試験

履修上の留意点

教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。板書を少なくして、学生自身がノートを取るようにはさせている。日頃から努力して語彙力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

学期末に定期試験を行う。それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。授業の際に口頭試問や提出してもらうものがあり、評価の際に考慮される。以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教 科 書

ない。

参 考 書 等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

そ の 他

授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。現実を見聞しながら考えてほしいと思っている。

この科目は教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学	やまもと まさと 山 本 政 人	営 A 2 選	2
		12以降入学生/営B1選	

講義のねらい

児童・生徒の学習のメカニズム、およびそれらへの援助、指導のあり方について、教育心理学の見地から概説する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---------|-----------|
| ①発達とは何か | ⑥学習理論 |
| ②発達の要因 | ⑦学習の要因 |
| ③発達理論 | ⑧発達と学習 |
| ④人格発達 | ⑨発達と教育 |
| ⑤認知発達 | ⑩発達・学習と臨床 |

履修上の留意点

不定期に小レポートを課すことがある。

成績評価の方法

学期末試験の成績に小レポートの成績を加味して行う。

そ の 他

講義形式で行う。教科書は指定しない。
参考書は授業で紹介する。授業で資料を配布することがある。
この科目は、平成11年度までに、「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	おおはま きくこ 大 浜 幾 久 子	営 A 2 選	2
		12以降入学生/営B1選	

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした平常点評価の予定である。

参 考 書 等

『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』(文部科学省)
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

そ の 他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	かわだ みつお 川 田 三 夫	営 A 2 選	2
		12以降入学生/営B1選	

講義のねらい

- 1) 教育や学習の基本的な事項を学習する。
- 2) 教育課程を中心に学校・学級等の全般的な運営について理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 発達について
- 2) 発達と学習
- 3) 学習理論
- 4) 教育(学)・教育心理学
- 5) 教育方法(歴史の変遷)
- 6) 教育目標
- 7) 教育課程
- 8) 教授—学習
- 9) 教育評価
- 10) 学習指導要領(歴史の変遷)
- 11) 職業教育、生涯学習
- 12) 学校、教師、生徒の諸問題
- 13) その他(教科書、教育制度・教育行政等の問題、障害児教育等)
- 14) 試験

履修上の留意点

教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。板書を少なくして、学生自身がノートを取るようになっている。日頃から努力して語彙力を高めて欲しいと思っている

成績評価の方法

学期末に定期試験を行う。それ以外にも不定期に小試験(論述、レポート)を行うことがある。授業の際に口頭試問や提出してもらうものがあり、評価の際に考慮される。以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

ない。

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。現実を見聞しながら考えて欲しいと思っている。
前期、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	やまもと まさと 山 本 政 人	営 A 2 選	2
		12以降入学生/営B1選	

講義のねらい

児童・生徒の学習のメカニズムを踏まえ、学習指導とカリキュラムのあり方、学習の評価、学習の障害とその指導、教育相談等について概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①学習のメカニズム ②学習と動機づけ ③学習方法 ④学習の評価 ⑤学習の障害と指導
- ⑥不適応の心理と教育 ⑦教育相談 ⑧学級集団 ⑨カリキュラムと学習 ⑩教師の役割

履修上の留意点

不定期に小レポートを課すことがある。

成績評価の方法

学期末試験の成績に小レポートの成績を加味して行う。

その他

講義形式を中心とするが、可能ならば討論を行いたい。教科書は指定しない。参考書は授業で紹介する。授業で資料を配布することがある。
前期、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学 〔社会生活を考える〕	お 呉 びよんさん 炳 三	営 A 選 14以降入学生/営B選	4

講義のねらい

社会学が対象とする領域は「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「思想」「文化」など様々である。このような領域において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- ②経済のグローバル化にともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- ③社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」、「性」、「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。
- ④若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

開講時に説明する

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
統計学 〔社会現象の統計的分析〕	い な ば と し お 稲 葉 敏 夫	営 A 選 14以降入学生/営B選	4

講義のねらい

情報化時代においては、情報洪水の中で何が必要な情報で、何が不必要かの適切な選択が益々大切となってくる。どの様にしたら統計を適切に利用できるかを主眼に授業を進める。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は基本的な概念を説明する。平均値、標準偏差、2変量間の関係を表す相関係数、そして回帰直線を扱う。また、確率概念を導入することによって、平均値、標準偏差をとらえ直す。後期は統計的推測の基礎を講義する。世論調査における政党支持率の変化は統計的に意味があるのか、新薬は旧薬よりもはたして効き目があるのかなど、身近な例を取り上げる。

成績評価の方法

平常点とレポートによって評価する。再試験は実施しない。

教科書

稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫著『経済・経営 統計入門』（共立出版）2,100円

その他

授業は講義の形態をとるが、時々ごく簡単な計算を受講者にもしてもらおう。数式の使用はできるだけ避け、主として図や表を使用して説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化人類学 〔社会変化と価値観〕	うちやま あきこ 内 山 明 子	営 A 選 14以降入学生/営B選	4

講義のねらい

文化人類学は、どんなに異質に見える文化であっても、できるかぎり偏見をもたずに理解しようとする努力の中で発展してきました。自分の文化がもつ尺度を無批判に持ち出すことを慎みながら、相手の文化と自分の文化との比較を繰り返していく。そうすることで、相手の文化への理解が深まるばかりでなく、自分の文化に対してもそれまでとは違った視点から眺められるようになっていくのです。もっとも文化人類学は、西欧の近代化の中で生まれ育ったものであり、その理論には近代西欧の価値観が色濃く反映されています。また、調査する側とされる側の間には、文明/未開、近代/伝統、宗主国/植民地といった対立関係が付きまわってきました。しかし、文化人類学を支えてきたこのような基盤は、近代化が地球の隅々にまでその影響力を及ぼしている今日、大きく揺らいでいます。この新しい状況に応じるべく、文化人類学では今、みずからの足元を見つめ直し、新たな展開を求め様々な試みがなされています。本講義では、文化人類学の基本的な考え方を紹介した後、社会変化と価値観というテーマで、この新しい動きについて様々な事例をあげながら皆さんと考えていきたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

- I 文化人類学の基本的な考え方（文明と未開、フィールドワークと民族誌、主要な学説紹介、親族、世界観）
- II 社会変化と価値観（文化や社会についての新しい考え方、近代化と文化人類学—世界システム論、植民主義と新植民主義、民族国家成立と民族問題）

成績評価の方法

全講義の最後に行う筆記試験を中心に、状況に応じ期間中に提出してもらったレポートを参考。

教科書

指定しない予定。参考文献を授業中に提示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学憲法 〔法と国家〕	さとう たみお 佐 藤 多 美 夫	営 A 選 14以降入学生/営B選	4

講義のねらい

1. 近代憲法の思想史のなかの日本国憲法の位置を考える。
2. 日本国憲法の構造を人権の視点から考える。
3. 判例を材料として、日本国憲法の姿を考える。

講義の内容・授業スケジュール

1. 憲法の内容
2. 憲法の歴史
3. 日本国憲法の特徴
4. 人権と憲法
5. 人権の種類①～③
6. 人権規定の効力①～③
7. 人権と政治機構①～⑦
8. 人権と裁判①～⑤
9. 思想と人権①～④
10. 教育と人権
11. 宗教と人権
12. 生存と人権
13. 刑事手続と人権①～③
14. 平和と人権

履修上の留意点

ノートを作成することが望ましい。

成績評価の方法

筆記試験と出席の総合評価とする。

教科書

開講時に指示します。(欠席しないように)

参考書等

『ポケット六法』(有斐閣)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学・憲法 〔法と国家〕	に つ た ひ ろ し 新 田 浩 司	営 A 選 { 以降入学生/営B選	4

講義のねらい

日本国憲法（以下「現行憲法」と略称）が制定されて半世紀が過ぎた。敗戦による占領下において制定されたという経緯等、当初よりさまざまな問題を孕んでの制定であった。自衛隊をめぐる国論を二分する論議が続きながらも、我が国は、日米安保条約というアメリカの傘の下で、高度経済成長をおう歌してきたのであるが、その歪みが社会の隅々に露呈している。たとえば、公務員の不祥事、教育問題、凶悪犯罪の増加、環境問題等々。

法は、社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものであるが、法、なかんずく、憲法はそれらの問題の解決となりうるのだろうか。このような問題に対しては、法による解決に加え、我々国民が持つ習俗、習慣、あるいは道徳をふくめた、その国の文化も多に影響するものであるといえる。

現行憲法による過度の民主主義、個人主義の蔓延、また、我が国の文化及び伝統もまた憲法によって歪められてしまっていることは大いに指摘されているところである。このことの妥当性、あるいは、戦前の軍国主義を否定するあまり我が国の文化までも現行憲法は破壊しては来なかったか。いずれにせよ、我々の生活にとって、法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、とりもなおさず、我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

この講義においては、我々が国民として住民として生活する上で必要な法学・憲法学的知識を得ることができるように、現実には発生する様々な問題にも言及しつつ講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

- | | | | |
|-------|---------------|-------|--------------|
| 第1回目 | ガイダンス | 第14回目 | 信教の自由 |
| 第2回目 | 法学の基礎知識（1） | 第15回目 | 表現の自由 |
| 第3回目 | 法学の基礎知識（2） | 第16回目 | 学問の自由／教育権 |
| 第4回目 | 法学の基礎知識（3） | 第17回目 | 経済的自由 |
| 第5回目 | 憲法の基礎知識 | 第18回目 | 身体の自由 |
| 第6回目 | 憲法とは何か | 第19回目 | 新しい人権 |
| 第7回目 | 日本国憲法の制定過程 | 第20回目 | 社会権 |
| 第8回目 | 日本国憲法の基本原理 | 第21回目 | 参政権 |
| 第9回目 | 国家の安全保障（戦争放棄） | 第22回目 | 国務請求権 |
| 第10回目 | 基本的人権（1） | 第23回目 | 統治機構（1）（天皇） |
| 第11回目 | 基本的人権（2） | 第24回目 | 統治機構（2）（国会） |
| 第12回目 | 平等権（法の下での平等） | 第25回目 | 統治機構（3）（内閣） |
| 第13回目 | 思想・良心の自由 | 第26回目 | 統治機構（4）（裁判所） |

教科書

佐伯宣親・酒井憲郎・高乗正臣編『現代法学と憲法』（成文堂）2,500円＋税

参考書等

『小六法』（何でも可）があれば持参することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学・憲法 〔法と権利〕(夏季集中)	にし 西 おさむ 修	全 学 科 選 14以降入学生/営B選	4

講義のねらい

何年か前に発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗していると診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要があります。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

- ① 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講者諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。
- ② あらかじめ講義計画（シラバス）を立て、その計画にそって授業を進めます。この講義計画は別に配布しますが、キーポイントと参考文献が示してあるので、理想的には予習・復習するのが望ましい。
- ③ 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。
- ④ 成績は平常点を重視。私が独自に作成した出席カードを利用し（質問欄あり）、双方向性を大切にした授業内容にします。
- ⑤ 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、OHPなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。
- ⑥ 成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。
前期試験30%、後期試験40%、出席・レポート30%
要するに、講義内容を生き活きたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義は「法学・憲法」という二つの標題になっていますが、「法と人権」を主たるテーマにしたいと思っています。日本国憲法のみならず、世界を視野において幅広い視点から考察をこころみます。日本国憲法における人権については、判例を中心に検討したいと考えています。取り扱うおもなテーマは、つぎのとおり。

- ① 「法と人権」を学ぶにあたって
- ② 人権の生成と発展（国際的視野にたつて）
- ③ 国民主権の意味
- ④ 平和と人権
- ⑤ 日本国憲法第3章における人権の意味と限界（法の下での平等、参政権、精神的自由、経済的自由、社会権など）
- ⑥ 西洋における人権観とアジアにおける人権観
- ⑦ 社会主義諸国における人権
- ⑧ イスラム諸国における人権
- ⑨ 「共生の権利」を求めて

教 科 書

そ の 他

開講時に指示。

授業日程
法学・憲法

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○	○	○			8月20日	火	△	△	△	△	△		
8月2日	金	○	○	○	○	○			8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○	○	○			8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○	○	○			8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○	○	○			8月26日	月							
8月8日	木	○	○	○	○	○			8月27日	火							

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 (3) 〔国際社会と日本〕	た ま る だい 田 丸 大	営 A 選	4
		14以降入学生/営B選	

講義のねらい

小泉純一郎内閣の出現以降、日本の政治は様々な面で国民の注目を浴びている。また制度改革の時代にあつて、西欧諸国への追い付き型近代化を推し進めることに大きく貢献したこれまでの政治や行政の仕組みが大きく変わろうとしている。このような時代状況にあつては、国民一人一人が現状を的確に捉え、これからの日本が進むべき方向についてしっかりとした意見を持つことがとりわけ重要である。

本講義においては、改革の時代にあつて、日本の政治や行政を的確に観察するための思考道具を提供することを主な目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、例えば以下を考えている（内容の詳細・スケジュール等は講義後に知らせる）。

- 1 現代日本の政治と行政
- 2 議院内閣制の制度運用
- 3 ガバメントからガバナンスへ
- 4 近年の日本における制度改革（地方分権、規制緩和、省庁再編等）等

成績評価の方法

基本的に、2度の期末試験で評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

講義の中で、適宜指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おおいし ゆうじ 大石 雄 爾	全学科選 14以降入学生/宮B選	4

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出せていません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人々も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きな姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦鬨の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることをおして、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。複雑きわまりない現代社会の諸問題の原因をさぐり、問題解決への展望をさし示すことが求められている、とあってよいでしょう。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械成大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げて、現代的な意味について考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 社会科学とは何か
2. 社会の歴史的発展と社会思想
3. 社会科学の生誕：ホッブスとロック
4. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
5. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
6. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
7. 資本主義と民族
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても、随時とり上げてみるつもりです。

履修上の留意点

この講義は、年間の講義をおして聞くことではじめて社会科学の意味とおもしろさが理解できるように組み立てられています。また、講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には毎回出席することが前提です。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。追再試を実施します。

参 考 書 等

- 高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
 平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
 城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）
 大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	やなぎほり すがこ 柳 堀 素雅子	全 学 科 選	4

講義のねらい

20世紀は医療が急速に進歩した時代であった。医学、医療が進めば、病気の治療も進み、これまで治療不可能と考えられてきた病気が、どんどん治療可能になってきた。現代医療のメリットだけを見ていると夢と希望にあふれているが、デメリット、現代医療の影の部分、悪い部分にも目を向けることを忘れてはならないだろう。

たとえばヒトゲノム（人間の全遺伝子）が解読されたことは、オーダーメイド医療の普及や新薬の開発につながる可能性は大きい。しかし遺伝子情報は個人のプライバシーに触れるため、情報の管理がきちんとしていなければ重大な人権侵害となる。あるいは「脳死は死である」という社会的な合意が成立していない現時点で、脳死になった人からの臓器を勝手に摘出して他人に移植することは許されない。また植物状態になった人の人工呼吸器ははずしてもいいのかどうかといった問題などもある。

現代医療の進歩にもなって、人間の生と死をめぐる新たな問題が噴出してきた。いずれも根本的解決には至っていない。以上のような人間の生と死をめぐるさまざまな問題について考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

現代の医療をめぐる状況
バイオエシックスとは何か
生命をめぐる新しい視点
人権の保護と生命の尊厳との相剋など

履修上の留意点

新聞等の医療問題記事には、なるべく目を通して欲しい。

成績評価の方法

出席、レポート提出等を総合的に評価する。

参 考 書 等

必要なものをその都度紹介します。

そ の 他

授業の方法－講義、ビデオ、OHP、討論。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育心理 〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕	の な か ひ ろ と し 野 中 弘 敏	全 学 科 選	4

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はさわめて多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話しできればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。

- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
- ・人間の心理—社会的発達
- ・人格の構造と機能
- ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
- ・心理療法の基本的考え方
- ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参 考 書 等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生物学	なかむらとしえ 中 村 敏 枝	営 A 選	4
		14以降入学生/営B選	

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内では狂牛病問題が浮上した。狂牛病は牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹病した牛の屍体を飼料（肉骨粉）として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追求の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食、しかもとも食いをさせたため生じた人災なのである。人間の生産活動は生物と環境にいま何をもたらしているのだろうか。

講義の内容・
授業スケジュール

1. はじめに 地球の歴史・生命の誕生
2. 生物の生活
 - a. 生命の維持
 - b. 植物の物質生産
 - c. 植物の生産過程
 - d. 植物の相互作用
 - e. 植物群落の遷移
 - f. 動物の個体群
 - g. 個体群の内部構造生殖行動
 - h. 生殖行動
 - i. 動物の種間関係
3. 生態系
 - a. 物質循環とエネルギーの流れ
 - b. 生態系の安定性
4. 人間の活動と地球環境
 - ・化学物質の功罪
 - a. 化学物質と生物
 - b. ダイオキシン
 - c. 内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）
 - ・生物学
 - d. 遺伝子組み換え生物
 - e. クローンと動物工場
 - f. 生殖医療
 - ・地球環境問題
 - g. 開発による自然の改変
 - h. オゾン層の破壊
 - i. 地球温暖化
 - j. 原子力利用の諸問題
 - k. 食料と人口・人類の未来

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科はじめ各教科の知識を本講義の前提とする。
意見発表の場を設けたいので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

期末試験と平常点で総合評価します。

教 科 書

赤堀他著『生物学 - 地球に生きるいのちを考える』（宣協社）

参 考 書 等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地球科学 〔自然景観の成り立ち〕	いちかわ きよし 市川清士	営 A 選 11以降入学生/営B選	4

講義のねらい

地球が誕生して46億年といわれています。この間、地球はたえず表情を変化させつづけてきました。では、私たちの生活している周辺の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋などはいつどのようにしてできたのでしょうか？ 本講義では、この問いに答えるために地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちについて探っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、大陸の成り立ちや造山運動（プレートテクトニクス）、氷河期（気候変動）などの大きなスケールの変動について探っていきます。

後期では、前期の内容をふまえて、南関東を中心とした「身近な自然景観」の成り立ちについてより具体的に探っていききたいと思います。

また、毎回の講義のはじめには、新聞に掲載されている自然環境に関する記事について解説・議論を行い、身近な環境の変化について考えていきます。

履修上の留意点

高校で使用した地図帳を用意すること（できれば最新のものが望ましい）。また毎週、新聞を読んでから授業に参加することを望みます。

成績評価の方法

授業への参加・レポート・学年末の試験を総合して評価を行います。

教科書

使用しません。

参考書等

その都度紹介します。

その他

一般的な講義を主とし、スライド・OHP・ビデオによる説明を入れて皆さんが興味を持てるような講義を行おうと考えています。

また、駅沢公園など近くに行き実際に野外観察もする予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然環境論 〔生命と環境〕	もちまる まり 持丸真里	営 A 選 11以降入学生/営B選	4

講義のねらい

生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説する。

後期は、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げてゆく。

①生態系の化学物質汚染：有機塩素系化合物の生物濃縮

内分泌攪乱物質

オゾン層破壊

②生物の多様性の危機：熱帯林の破壊

近代農業・林業の問題点（自然科学の観点から）

これらの事例を通して、生態系の保全のためにどのような姿勢が要求されるかを考察する。

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教科書

なし

参考書等

大石正道 『入門ビジュアルエコロジー 生態系と地球環境のしくみ』（日本実業出版社）
1,500円

その他、講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔自然史と環境〕	ふじい すすむ 藤 井 享	営 A 選 日以降入学生/営B選	4

講義のねらい

最新の地質時代を第四紀というが、この時代は約170万年前にはじまり寒冷な氷期と比較的温暖な間氷期を繰り返した時代である。この170万年間には少なくとも6回の氷期が確認されているが、このうち最終の氷期を「ヴェルム氷期」と呼ぶ。ヴェルム氷期は約72,000年前にはじまり約1万年前までの62,000年間継続したとみられる。つまり、長く続いた氷河時代の、最後の氷期が終わったのはごく最近のことなのである。私たちは今、最終氷期のあとの、東の間の温暖期に生きているのである。

ヴェルム氷期の中でも、約2万年前から約18,000年前は特に寒かった時代であり、現在の氷河分布面積の約3倍にあたるおよそ4,900万km²もの氷河が陸地を覆っていたとみられる。北半球についてみると、それらの大部分は北緯40°以北に分布していた。

では、その頃の日本列島はどのような自然環境下にあったのであろうか。本講義は最終氷期以後の気候や植生、地形など気候変動に伴う自然環境の変化について考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は最終氷期（ヴェルム氷期）と現在、後氷期（最温暖期）と現在の各気候、海面変化、植生、地形等の自然環境を比較しながら進めたいと思う。その内容とスケジュールは下記のとおりである。

- ① 第四紀の編年と氷期・間氷期
- ② ケッペンの気候分類と寒冷高緯度地域の気候
- ③ 日本列島周辺の気候と植生分布
- ④ 最終氷期の気候と植生変化
- ⑤ 日本海の古環境
- ⑥ 海面変動と地形の変化
- ⑦ 後氷期の自然と環境

履修上の留意点

この講義は、大気汚染、水質汚濁、地球温暖化等の「地球環境問題」を論ずるものではなく、最終氷期から後氷期に至る気候や地形、植生等の自然変遷史を考察するものである。したがって、ヴェルム氷期以後の自然史を扱うので、留意してほしい。

講義の中で地図を多用するので、講義ノートとともに地図帳を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然環境論 〔環境と保全〕(夏季集中)	やまがた 山 縣	たけし 毅	4
		全 学 科 選 14以降入学生/営B選	

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

定期試験と出席状況により評価します。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

講義の中で紹介します。

そ の 他

OHP、スライド等を使用します。

授業日程
自然環境論

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○	○	○			8月20日	火							
8月2日	金	○	○	○	○	○			8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○	○	○			8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○	○	○			8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○	○	○			8月26日	月							
8月8日	木	○	○	○	○	○			8月27日	火							

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然誌(2) [現代の自然像]	清水 善和・篠原 正雄 持丸 真理・山縣 毅	営 A 選	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？ 大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえないものであることを語っている。一方で、今世紀の科学技術の発展は、このかけがえない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。

本講義では自然科学教室の専門を異にする4人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー(博物学、自然誌)の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

自然科学教室の専任教員4人により、1人6回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

- 第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄
- (1) 宇宙の起源(自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源)
 - (2) 星の進化と物質の進化(星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域)
 - (3) 太陽系と地球の起源(太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物)
 - (4) 太陽と地球の進化(地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境)
 - (5) 宇宙の中の地球(太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系)
- 第2講 生命の起源と進化 清水善和
- (1) 生命の起源(生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説)
 - (2) 生物の進化と進化論(生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論)
 - (3) 人類の進化(霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション)
 - (4) 生物の多様性(分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布)
- 第3講 地球環境形成の歴史 山縣毅
- (1) 地球環境の変遷(プレュームテクトニクスからプレートテクトニクス)
 - (2) 地震のメカニズムとその災害
 - (3) 火山活動のメカニズムとその災害
 - (4) 大陸移動による気候変化
- 第4講 産業の発達と環境の変化 持丸真理
- (1) 化石燃料の消費と大気の変化(地球温暖化、大気汚染)
 - (2) 環境問題の歴史(公害から環境基本法制定まで)
 - (3) 石油化学工業の発達と生態系への影響
 - (4) 未来へ向けて-石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、4回の評価(テストやレポート等)を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。

教科書

特になし。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
数学 (1) 〔微積分学入門〕	おざわ まこと 小 沢 誠	全 学 科 選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、一変数関数・一変数関数の微分・一変数関数の積分を、後期に、二変数関数・二変数関数の微分・二変数関数の積分を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる微積分分』(共立出版) 2,000円

参考書等

石村園子『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微積分分』(共立出版) 2,000円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
数学 (2) 〔線型代数学入門〕	おざわ まこと 小 沢 誠	全 学 科 選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、行列・連立一次方程式・行列式を、後期に、空間ベクトル・線形空間・内積空間を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる線形代数』(共立出版) 2,000円

参考書等

石村園子『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微積分分』(共立出版) 2,000円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (3) 〔現代数学入門〕	ふく だ けん い ち 福田 賢 一	全学科選	4

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会現象に応用例を求め具体的事例から無理のない抽象化を計り、理論体系の理解、実際的な応用力の養成を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 論理の基礎 2. 論理の応用 3. 線型代数 4. 線型計画法 5. 幾何学 6. 微分法
7. 積分法 8. 微積分法とその応用 9. 確率現象とその捉え方 10. 種々の応用

履修上の留意点

高校2年程度の平均的な学力があれば十分理解できるが、数学は系統性の強い学問であるから、基本的な事項を確実に理解する必要がある。

成績評価の方法

期末試験、レポート、小テスト等の結果を総合的に判定する。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	た か は し か ず よ し 高 橋 一 嘉	全学科選 14以降入学生/営B選	4

講義のねらい

コンピュータ科学やコンピュータによる情報処理などについて学ぶ際に必要な基礎数学を解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は初歩的な初等整数論から始めて、公開鍵暗号のひとつであるRSA暗号について解説する予定である。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、出題された演習を必ず解いているものとする。

成績評価の方法

評価は原則として前期末と後期末の2回の試験によって行う。

教科書

楢元著『情報数理論シリーズA-5 工科系のための初等整数論入門—公開鍵暗号をめざして—』(培風館) 2,400円を使用する。

参考書等

必要に応じて紹介する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
物理学 〔光と物質〕	しのはら まさお 篠原正雄	営 A 選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取る。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきた。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定されず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及ぶ。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことにある。数式は物理学に不可欠な言葉ではあるが、大切なのは数式により表現された意味である。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識は必要としない。

講義の内容・
授業スケジュール

次のような項目について講義する。

波としての光

光線 影 鏡 蜃気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

色とは何か

色即是波長？ 虹は七色か 三原色 茶色い光の波長？

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気 電波望遠鏡 X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めする。

履修上の留意点

成績評価の方法

数回のテストを含む平常点を主に評価する。ただし、単位取得を希望する者は簡単な期末試験も受けていただく。

教 科 書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参 考 書 等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円 その他、講義の中で適宜紹介する。

そ の 他

講義を中心とするが、理解を深めるためにはほぼ毎回問題を考えてもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
化学 (2) 〔衣食住の化学〕	もちまる ま 真 里 持 丸 真 里	全 学 科 選	4

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について講義する。

その後、衣食住の化学として、以下のような各論の解説を行う予定である。

- ①衣の化学：合成繊維
合成洗剤（酵素化学の基礎、水質汚染問題も含む）
- ②食の化学：遺伝子組換え食品（遺伝子工学の基礎を含む）
食品の安全性
- ③住の化学：ダイオキシン問題
内分泌攪乱物質
フロン類によるオゾン層破壊 など

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教科書

なし

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宇宙科学 〔星と銀河〕	しのはら ま さ お 篠 原 正 雄	営 A 選	4

講義のねらい

観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展している。本講では現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。

宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は恒星について講義する。初めに最もよく知られた恒星である太陽について、構造やエネルギー源を調べる。次に恒星一般について、研究の方法、恒星の分類、その結果わかってきた恒星の進化についてのべる。最後に、太陽系の起源について最近の説を紹介する。

後期は銀河系および宇宙の起源と進化について講義する。銀河系の中で、星間物質から星々が生まれては、再び星間物質へと戻っていくことを繰り返す中で、物質が進化してきた。この過程の重要な現場である星生成領域の研究を紹介しつつ、前期に触れた恒星の進化を銀河系の進化の側面から捉えなおす。

星と銀河についての知識はほとんどすべて20世紀になって明らかにされたものである。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験による。平常点を加味する。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人類学 〔人類の進化〕	えんどう ほんり 遠藤 萬里	営 A 選	4

講義のねらい

人類を理解し、その進化を知るには骨やその化石のことを聞くだけではほとんど意味をなさない。生物としてのヒトが自然界でどういう位置にあり、どのように分類され、身体の構造や機能がどうなっているかをきちんと考えることが重要である。進化史は年々書き替えられているが、このような基礎が不十分なためもある。しっかりとした基礎知識を持つように期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ヒトが生物のなかでどのような位置にあり、動物としてどこに分類されるか、現在のようになったヒトの特異性とは何か、身体のさまざまな構造・機能にどのような特徴があるのか、文化も含めてどのように進化してきたと現在考えられているのか等について進めて行く。毎年新しい知識が加わるので注意。

履修上の留意点

できるだけ出席すること。内容の進行に応じて時々小テストを行なう。これは理解度を知るためでもある。なお、体育系運動部の学生であまり出席できない学生には、この講義の一部についてのレポートを提出してもらい採点したいので、学年度初めに申出ること。

成績評価の方法

成績は年度末試験と小テストで行なう。また上記の学生はレポートで加点する。

教科書

遠藤萬里編 『人類生物学入門』 (てらべいあ)

参考書等

進化については
遠藤萬里 『人類学百話一話』 (てらべいあ) 2,000円 アンドリュース・ストリンガーイラスト・ガイド 『私たちヒトの進化』 (てらべいあ) 2,400円
他の分野については難しすぎるか、古すぎるので紹介しない。

その他

スライドを多く使い、身近な例を引き合いに出して楽しく進めたい。質問は歓迎する。これまでの人体や人類進化の通俗的常識は通用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔心を科学する〕	たかはし よしひろ 高橋 良博	営 A 選 14以降入学生/営B選	4

講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。
特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。
また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)など総合して評価を行う。

教科書

講義の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 〔心を科学する〕	ほりうち まさひこ 堀 内 正 彦	営 A 選	4
		1以降入学生/営B選	

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・
授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- ① 私語は厳禁である。
- ② 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさえぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- ③ 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

講義の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔心を科学する〕(夏季集中)	ほりうち まさひこ 堀内 正彦	全学科選 11以降入学生/営日選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- ① 私語は厳禁である。
- ② 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさえぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- ③ 1回の講義において2回日以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の中で紹介する。
授業日程
心理学

前半							後半								
	1	2	3	4	5	6	7		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○	○	○		8月20日	火		△	△			
8月2日	金	○	○	○	○	○		8月21日	水						
8月5日	月	○	○	○	○	○		8月22日	木						
8月6日	火	○	○	○	○	○		8月23日	金						
8月7日	水	○	○	○	○	○		8月26日	月						
8月8日	木	○	○	○	○	○		8月27日	火						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おかざき としちろう 岡崎 寿一郎	全学科選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (3) 〔フランス現代思想〕	くわた のりあき 桑田 禮彰	全学科選	4

講義のねらい

今日に至るまでフランスは、世界の思想界をリードしてきました。この講義では、特に二十世紀に照準を絞って、その豊かな成果を皆さんにご紹介します。重要な思想家を、おむね時間順序に従って取り上げていながら、時代背景も説明するつもりです。でも思想の最大の魅力は、スリリングと言ってもいいような鋭い洞察に触れる点にありますから、ときには、そうした著作の一節を一緒に読んでみましょう。また、「フランス現代思想」とは言っても、孤立しているわけではないので、ドイツ・イギリス・アメリカなど諸外国の思想について触れることもあります。わくわくするような「知の冒険」のガイドになればと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 講義概要
2. 生の哲学とベルクソン
3. 実存主義とサルトル
4. 現象学とメルロ＝ポンティ
5. 構造主義(1)レヴィ＝ストロース
6. 構造主義(2)ロラン・バルト
7. 構造主義(3)ラカン
8. 構造主義(4)アルチュセール
9. フーコー
10. ブルデュー
11. デリダ
12. まとめ

(2～11は、各2～3回ずつを予定)

履修上の留意点

フランス語の知識は必要ありません。

成績評価の方法

成績評価は、学年末の試験で行います。

教科書

特に指定しません。

参考書等

講義の中で、その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅳ (1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし 林 明 人	全 学 科 選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード (abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Law等) を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教 科 書

プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅳ (3) 〔ポスト・モダンの世界〕	まろこてつお 丸 小 哲 雄	全 学 科 選	4

講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の批判と自己組織の確立を目指すことにあります。「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味をこめて解釈されています。ポスト学際的な知の最前線として、固有なものに出会うために批判の方法によって権力の座 (特権化された場所) を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化 (帝国主義と植民地化にたいする批判) することがあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている歴史的過渡期の時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者 (=文化) をどう捉え、どう身体的に受け止めて、主体性をどう確立するかということに尽きます。

講義の内容・
授業スケジュール

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読んでもらいます。講義の骨子は以下の通りです。

1. 前置き；「変わるものと変わらないもの」について
2. 現代という時代の捉え方；「今ここ」における事故普及のパラドックスについて
3. 「モダン」の語源と定義について；ポストモダンの特質について
4. ソシユールの言語観；言語の恣意性、ラングとパロールなどについて
5. テキストの遍在性とディスコースについて
6. 人間観、宇宙観、社会観の変化について
7. 西洋の理性批判について；ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス；とりわけニーチェのルサンチマン哲学による理性批判としての『道徳の系譜』；を取り扱う。
8. マックス・ヴェーバーの問題について；合理的理性批判について
9. フーコーなどを中心にしてモダン批判；外部の力と内部の力について
10. トランスモダン (横断的近代；アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対するナショナル意識とリージョナル意識との対抗性について
11. レヴュー；冷戦後における自己組織と反省の人間の特質について

成績評価の方法

出席、ターム・ペーパー (レポート作成) などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。さらに、前期、後期に配布された関連文献リストからそれぞれ1冊を選び、そのテキストの読み・解釈・批評を盛り込んだレポート作成。

教 科 書

- ・ 読書リスト配布
- ・ プリント配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅴ (1) 〔イギリス文化探訪〕	<small>かわまた ようたろう</small> 川 股 陽 太 郎	全 学 科 選	4

講義のねらい

ある民族の文化、ある国の文化を理解するのはそうたやすいことではない。日本とは、日本人とはと問われたとき、あなたがたはどう説明しますか。イギリスとは、イギリス人とはということ、ごく限られた時間で、しかしできる限り様々な視点から見ていこうと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

現代のイギリス人およびイギリスの文化を、現代から過去へ、過去から現代へ行きつ戻りつしながら、「イギリス」というものを文化的側面から眺めてみたい。ある民族の文化を理解しようとするとき、その民族の言語・風俗・習慣を知る必要がある。

例えば、「イギリス」というものを、地理的な面と人種的な面から眺めてみるとうしよう。イングランド、スコットランド、ウェールズ、コーンウォール、シェットランド・オークニー諸島、ヘブリディーズ諸島という地理的側面から、またイングランド人、シェットランド人、ウェールズ人、コーンウォール人とか、シーズナルハンター、ピクト人、ケルト人、ローマ人、アングロサクソン人、デーン人、バイキング、ノルマン人という人種の側面から理解してみるのも一つのやり方である。

イギリス人は自分たちを「混血」（ミックスチャー）であるという。人がどの部族に属するか、どの人種に属するかを決定するのは「血」もさることながら、土地と無縁でないし、地域の文化（言語、風俗、習慣）と無縁ではない。しかしそれを決定するのはあくまでその人間の「所属意識」である。

ケルトの時代、ローマの植民地時代、キリスト教の普及、アングロサクソン人、デーン人、バイキングの侵入、ノルマン人のイングランド征服等、また封建社会の特異性をその崩壊過程、大英帝国の出現、産業革命、中産階級の出現等をテーマ別にみながら、今日のイギリスおよびイギリス人が持つ多様性を理解するように努める。

また、一つの文化を理解しようとするとき、同じテーマで日本とイギリスを比較・検討することで、よりいっそう明確にその差異を認識することができる。それは、自分の所属する社会と別の社会を比較することによって、それぞれの文化がもつ性格をいっそう明確に認識するということである。

「日本の常識は世界の非常識」であることが多いのも事実である。これは己と他を比較して初めて認識できるものである。いわゆる「国際化」の時代にあつて、もっとも大切なことの一つは、己と他の違いを認識し、理解し、尊重できるように自己を訓練しておくことである。そのためには、まず自国の文化を理解し、そして他国の文化を理解することが重要である。

履修上の留意点

イギリスの文化を含め、「文化」そのものに興味がある学生を、特に「文明」と「文化」に関心のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

レポートによる。レポート用紙10枚程度のもので、年1回提出。レポートには「参考文献名」を記入し、「引用文」には注）を付し、書名とページ数を記入すること。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じ講義要録、参考資料等を適宜配布する。

参考書等

講義形式をとる。パソコン、ビデオ、書画カメラを用い、映像、写真、絵図、史料を提示しつつ講義を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅵ (1) 〔民族とは何か〕	おのの ゆうじ 大野 祐二	全 学 科 選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論（文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など）についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。

教 科 書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参 考 書 等

原尻英樹著 『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房）
吉野耕作者 『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会）
李孝徳著 『表象空間の近代』（新曜社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅵ (2) 〔イスラム〕	前期：青柳 かおる 後期：吉田 京子	全 学 科 選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラームに関して、日本人の知識は非常に低く、その結果誤った解釈や理解による偏見が生まれる可能性が大きい。国際社会への一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラームに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。イスラームを語る場合、あらゆる側面では、もっとも基本的な「イスラーム」という語を持つすべての領域における共通理念とも言える、イスラームの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本に焦点をあてた授業を行う予定である。従って国際関係論的、政治学的、社会学的視座に基づくイスラーム概説とは異なる点に注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期において異なる教官による授業となるが、内容、問題意識等は貫いたものとする。前期、後期を通じ、イスラームの信仰の核である。クルアーン、預言者ムハンマド、イスラーム法学、イスラーム神学、歴史的分派、スーフイズム等々の点から概論的授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、基礎的側面からのイスラーム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的、アプローチの前提となるような内容であるため、そのような意味でのイスラーム論を期待する学生には不適當である場合もある。

成績評価の方法

年間を通じ、出席率と、前期の提出物、後期末の試験により成績を決定する。

教 科 書

特になし

参 考 書 等

授業中紹介

そ の 他

数回のビデオ上映を予定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅵ (3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	はやかわのりよ 早川紀代	全学科選	4

講義のねらい

改正雇用機会均等法が施行されて3年たちましたが、依然新卒男女学生の就職率は格差があります。なぜこうした格差が生まれるのだろうか？世間の男と女の座標軸はいったいどのようにつくられているのだろうか？こうした疑問を私たちがくらしている、さまざまな場面をとりあげて、経済学や社会学、歴史学の成果を土台にして考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

1年間の講義を4期にわけます。

- a ジェンダーってなんだ？
フェミニズムの歴史とフェミニズムの歴史のなかから生まれたジェンダーという考え方について。
- b 自分らしく働いて自分を高く売ってどういうこと？
雇用のなかの男女の分離、男性の会社人生、女性の会社人生？改正雇用機会均等法
男も女も自分らしく働く
- c 家族ってなんだ？
家族の人間関係と機能、近代家族と現代家族、家族のなかのいろいろな問題
どんな家族を創りたい？シングルを選択。
- d セクシュアリティってなに？
オスの性と男の性、性における男性支配、セクシュアリティの歴史、援助交際は自分の
考えで性をうるからいいの？人間らしい性関係ってなに？

成績評価の方法

論述試験。再試験は実施しない。

教科書

教科書は指定しない。講義にあわせて資料を配布する。また参考書を随時紹介するので、そのうち1冊は読むこと。映画やビデオの上映もする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅶ (1) 〔トラブルと法的解決〕	北野かほる・王志安 小木曾綾・金子昇平 佐藤多美夫・西修	全学科選	4

講義のねらい

人間の日常生活は、常に順調であるとは限らない。社会生活にはトラブルがつきまとう。トラブルには様々な形で解決を試みることが考えられるが、法的な解決は最も効力のある解決方法である。しかしその類型は一様でなく、社会生活の様々な側面において様々なトラブルの類型とその法的解決方法がある。

法的トラブルにはどのようなパターンが考えられるか。法的トラブルに遭遇したらどのように解決すればよいのか。あるいは法的トラブルを未然に防ぐにはどのようにすべきなのか。これらの点についてマクロ及びミクロの観点から分析し、法治国家の市民として知っておくべき法的知識やトラブル解決の糸口について考えていきたい。

昨年度までは民事法的領域について考察したが、今年度は、公法と呼ばれる領域に焦点を当て、我々の社会生活の各側面から考えられる法的なトラブルとその解決方法について考える。

講義は6名の教員が交替で行う。講義の具体的内容については担当教員がそれぞれの開講の際に開示する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 「トラブルと法概論」北野かほる
- (2) 「憲法裁判からみたトラブルと法的解決」西修
- (3) 「行政事件を巡るトラブルと法的解決」金子昇平
- (4) 「現代型犯罪と法的解決」佐藤多美夫
- (5) 「犯罪と刑罰（犯罪の実情と捜査・刑事裁判の諸原則、被害者支援など）」小木曾綾
- (6) 「国家間紛争と国際裁判の役割」王志安

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席するほか、試験は必ず受けること。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際して必要の都度開示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅶ (2) 〔都市論〕	早川 純貴・品田 知美 中野 祐二・保坂 尚郎	全学科選	4

講義のねらい

いま大都市は多くの問題を抱えている。しかしそれは独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返す都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会学の観点から概観し、都市の将来を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は4名の講師により、各々6回ずつ行う。その順序/時期と講義内容は以下の通り。

早川純貴『都市論』のガイダンス(1回/4月)

品田知美「都市の変容と生活様式」(6回/4・5月)——都市には、多くの人々が集う場として独特の社会的現実が見いだせる。本講義では、日本の大都市の変容過程を主に2つの視点からたどっていく。①環境：都市の構造は、エネルギーや資源の消費と関係が深い。②家族：都市は次々と新しい家族生活のかたちを生み出してきた。変貌しつづける都市家族にみられる光と影。これら2つの視点を生活様式というキーワードで結びつけながら、近未来の都市のゆくえを考えたい。

保坂尚郎「都市と労働」(6回/6・7月)——労働による肉体的負担は、労働時間に通勤時間、乗り物の混雑なども加わり、都市部ほどその負担が大きい。また都市では居住環境の制約から核家族が多く、両親が就労しながら子育てする場合、保育施設の設備が不可欠であるが、現実には絶対数が不足している。この講義では、裁量労働制、時差通勤、SOHOワークなどの新たな働き方と駅周辺保育施設の整備などを組み合わせ、快適・効率的で、子育てと両立できる都市労働のあり方を考える。

早川純貴「『まちづくり』と住民参加」(6回/9月・10月)——いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取り組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

中野祐二「移民問題とフランスの苦悩」(6回/11・12月)——移民や外国人労働者の問題は先進諸国で等しく見られるが、その問題の起こり方は国によって様々だろう。講義ではフランスの移民問題を概観した後、住宅や教育そして地域生活への参加に焦点を当て、フランスに特徴的な点を浮き彫りにする。さらにはこれらの点を中心に日本との比較をしてみたい。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判定し、それらを早川が総合して評価する。

3 外国語科目

3. 外国語科目

〔 英 語 〕

英語 I A (営 A)	〈丸 小 哲 雄〉	81
英語 I A (営 A)	〈鈴木美貴子〉	81
英語 I A (営 A)	〈浜 田 一 宇〉	82
英語 I A (営 A)	〈川 股 陽 太 郎〉	82
英語 I A (営 A)	〈水 崎 野 里 子〉	82
英語 I A (営 A)	〈河 内 賢 隆〉	83
英語 I A (営 A)	〈田 口 清 一〉	83
英語 I A (営 A)	〈川 崎 笑 佳〉	83
英語 I A (営 A)	〈古 富 猛〉	84
英語 I A (営 A)	〈増 田 恵 子〉	84
英語 I B (営 A)	〈田 口 清 一〉	85
英語 I B (営 A)	〈小 笠 原 隆 元〉	85
英語 I B (営 A)	〈亀 田 三 重 子〉	86
英語 I B (営 A)	〈前期：矢島直子、後期：飯沼好永〉	86
英語 I B (営 A)	〈前 田 脩〉	86
英語 I B (営 A)	〈小 笠 原 隆 元〉	87
英語 I B (営 A)	〈前 田 脩〉	87
英語 I C (会話) (営 A)	〈ノーラン, D.J.〉	88
英語 I C (会話) (営 A)	〈ハバード, W.D.〉	88
英語 I C (会話) (営 A)	〈ロンゴ, T.〉	89
英語 I C (会話) (営 A)	〈レーン, C.M.〉	89
英語 I C (会話) (営 A)	〈ロビン, G.F.〉	90
英語 I C (会話) (営 A)	〈ラッセル, S.J.〉	90
英語 I C (会話) (営 A)	〈レイン, R.V.〉	91
英語 I C (会話) (営 A)	〈ウエイド, D.A.〉	91
英語 I C (会話) (営 A)	〈ササキ, M.〉	91
英語 I C (会話) (営 A)	〈ロビン, G.F.〉	92
英語 II A (営 A)	〈江 田 幸 子〉	93
英語 II A (営 A)	〈河 内 賢 隆〉	93
英語 II A (営 A)	〈佐 藤 勝〉	94
英語 II A (営 A)	〈落 合 和 昭〉	94
英語 II A (営 A)	〈高 柳 文 江〉	95
英語 II A (営 A)	〈塚 本 利 男〉	95
英語 II A (営 A)	〈山 縣 裕〉	95
英語 II A (営 A)	〈西 原 克 政〉	96
英語 II A (営 A)	〈朝 川 真 紀〉	96
英語 II A (営 A)	〈手 島 敬 子〉	96
英語 II A (営 A)	〈逢 見 明 久〉	96

英語ⅡC(会話)(営A)〈ササキ, M.〉	97
英語ⅡC(会話)(営A)〈ラッセル, S.J.〉	97
英語ⅡC(会話)(営A)〈レイン, R.V.〉	98
英語ⅡC(会話)(営A)〈ロビン, G.F.〉	98
英語ⅡC(会話)(営A)〈ノーラン, D.J.〉	99
英語ⅡC(会話)(営A)〈ハバード, W.D.〉	99
英語ⅡC(会話)(営A)〈ロンゴ, T.〉	100
英語ⅡC(会話)(営A)〈レーン, C.M.〉	100
英語ⅡC(会話)(営A)〈ウエイド, D.A.〉	100
英語ⅡC(会話)(営A)〈ピアス, D.M.〉	101
英語ⅢA(営A)〈小布施圭佐三〉	102
英語ⅢA(営A)〈佐藤孝一〉	102
英語ⅢA(営A)〈甲斐捷子〉	103
英語ⅢA(営A)〈広川治〉	103
英語ⅢA(営A)〈山口晃〉	103
英語ⅢA(営A)〈伊藤幸一〉	104
英語ⅢA(営A)〈吉江正雄〉	104
英語ⅢA(営A)〈照山雄彦〉	104
英語ⅢA(営A)〈高橋寛〉	105
英語ⅢA(営A)〈伊藤美代子〉	105

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA(営A)〈栗原万修〉	106
ドイツ語ⅠA(営A)〈松岡晋〉	106
ドイツ語ⅠA(営A)〈杉本正俊〉	106
ドイツ語ⅠB(営A)〈栗原万修〉	107
ドイツ語ⅠB(営A)〈岡本時子〉	107
ドイツ語ⅠB(営A)〈五十嵐信子〉	107
ドイツ語ⅠC(会話)(営A)〈松岡晋〉	108
ドイツ語ⅡA(営A)〈薮下紘一〉	108
ドイツ語ⅡA(営A)〈河上和史〉	108
ドイツ語ⅡC(会話)(営A)〈野島利彰〉	108
ドイツ語ⅢA(営A)〈織田繁美〉	109

〔フランス語〕

フランス語ⅠA(営A)〈井田清子〉	110
フランス語ⅠA(営A)〈小玉齊夫〉	110
フランス語ⅠA(営A)〈遠山博雄〉	111
フランス語ⅠB(営A)〈前田祝一〉	111
フランス語ⅠB(営A)〈谷川かおる〉	111
フランス語ⅠB(営A)〈浜崎設夫〉	112

フランス語ⅠC(会話)(営A)〈佐藤久美子〉	112
フランス語ⅡA(営A)〈前田祝一〉	112
フランス語ⅡA(営A)〈遠山博雄〉	113
フランス語ⅡC(会話)(営A)〈竹田正純〉	113
フランス語ⅢA(営A)〈竹田正純〉	113

〔中国語〕

中国語ⅠA・ⅠB(営A)〈工藤早恵・曹泰和〉	115
中国語ⅠA・ⅠB(営A)〈関口加津子・胡玉華〉	116
中国語ⅠA・ⅠB(営A)〈天野節・布施直子〉	116
中国語ⅠA・ⅠB(営A)〈前川亨・下出宣子〉	116
中国語ⅠA・ⅠB(営A)〈塩旗伸一郎〉	117
中国語ⅠA・ⅠB(営A)〈釜屋修・前川亨〉	117
中国語ⅠC(会話)(営A)〈戸張嘉勝〉	117
中国語ⅡA(営A)〈松本丁俊〉	118
中国語ⅡA(営A)〈福地桂子〉	118
中国語ⅡA(営A)〈陳洲拳〉	118
中国語ⅡA(営A)〈弘兼加奈子〉	119
中国語ⅡA(営A)〈胡玉華〉	119
中国語ⅡC(会話)(営A)〈尹景春〉	119
中国語ⅢA(営A)〈尹景春〉	120
中国語ⅢA(営A)〈塩旗伸一郎〉	120

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA(営A)〈ナバローポロ, L.S.〉	121
スペイン語ⅠA(営A)〈中川清〉	121
スペイン語ⅠA(営A)〈亀山晃一〉	121
スペイン語ⅠA(営A)〈宮地達郎〉	122
スペイン語ⅠB(営A)〈佐藤麻里乃〉	122
スペイン語ⅠB(営A)〈米田博美〉	123
スペイン語ⅠB(営A)〈栗林ゆき絵〉	123
スペイン語ⅠB(営A)〈荻野雅司〉	124
スペイン語ⅠC(会話)(営A)〈ルイズティノコ, C.〉	124
スペイン語ⅡA(営A)〈宮地達郎〉	124
スペイン語ⅡA(営A)〈ナバローポロ, L.S.〉	125
スペイン語ⅡC(会話)(営A)〈上野勝広〉	125
スペイン語ⅢA(営A)〈上野勝広〉	125

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA (営A) 〈杉山秀子〉	126
ロシア語ⅠB (営A) 〈廣田英靖〉	127
ロシア語ⅠC (会話) (営A) 〈佐野朝子〉	127
ロシア語ⅡA (営A) 〈木村英明〉	128
ロシア語ⅡC (会話) (営A) 〈クロチコフ, Y〉	128
ロシア語ⅢA (営A) 〈クロチコフ, Y〉	128

〔英語〕

英語ⅠA〔再クラス〕〈西村祐子〉	129
英語ⅠA〔再クラス〕〈川股陽太郎〉	129
英語ⅠA〔再クラス〕〈広川治〉	129
英語ⅠA〔再クラス〕〈太田美智子〉	130
英語ⅠA〔再クラス〕〈伊藤美代子〉	130
英語ⅠA〔再クラス〕〈高橋寛〉	130
英語ⅠA〔再クラス〕〈吉江正雄〉	131
英語ⅠA〔再クラス〕〈前期：八十木裕幸、後期：中尾俊光〉	131
英語ⅠA〔再クラス〕〈塚本利男〉	131
英語ⅠA〔再クラス〕〈川島弘之〉	132
英語ⅠA〔再クラス〕〈尾上典子〉	132
英語ⅠA〔再クラス〕〈太田由紀子〉	133
英語ⅠA〔再クラス〕〈高柳文江〉	133
英語ⅠA〔再クラス〕〈山縣裕〉	133
英語ⅠA〔再クラス〕〈森田隆光〉	134
英語ⅠA〔再クラス〕〈岩原康夫〉	134
英語ⅠA〔再クラス〕〈西原克政〉	135
英語ⅠB〔再クラス〕〈手島敬子〉	135
英語ⅠB〔再クラス〕〈牧野輝良〉	135
英語ⅠB〔再クラス〕〈木村克彦〉	136
英語ⅠB〔再クラス〕〈手島敬子〉	136
英語ⅠB〔再クラス〕〈武藤久緒〉	136
英語ⅠB〔再クラス〕〈甲斐捷子〉	137
英語ⅠB〔再クラス〕〈田中保〉	137
英語ⅠB〔再クラス〕〈前田脩〉	137
英語ⅠB〔再クラス〕〈太田由紀子〉	137
英語ⅠB〔再クラス〕〈井出功一〉	138
英語ⅠB〔再クラス〕〈神戸春樹〉	138
英語ⅠB〔再クラス〕〈松堂啓子〉	138
英語ⅠB〔再クラス〕〈三浦眞理〉	139
英語ⅠB〔再クラス〕〈飯沼好永〉	139

英語ⅠC (会話) [再クラス]	〈ノーラン, D.J.〉	140
英語ⅠC (会話) [再クラス]	〈ハバード, W.D.〉	140
英語ⅠC (会話) [再クラス]	〈ロンゴ, T.〉	140
英語ⅠC (会話) [再クラス]	〈レーン, C. M.〉	140
英語ⅠC (会話) [再クラス]	〈ロビン, G.F.〉	140
英語ⅠC (会話) [再クラス]	〈ラッセル, S.J.〉	140
英語ⅠC (会話) [再クラス]	〈レイン, R.V.〉	140
英語ⅠC (会話) [再クラス]	〈ウエイド, D.A.〉	140
英語ⅠC (会話) [再クラス]	〈ササキ, M.〉	141
英語ⅡA [再クラス]	〈牧野輝良〉	142
英語ⅡA [再クラス]	〈佐藤明子〉	142
英語ⅡA [再クラス]	〈宇都宮秀和〉	142
英語ⅡA [再クラス]	〈今井夏彦〉	143
英語ⅡA [再クラス]	〈江田幸子〉	143
英語ⅡA [再クラス]	〈笹倉貞夫〉	143
英語ⅡA [再クラス]	〈井伊順彦〉	144
英語ⅡA [再クラス]	〈小笠原隆元〉	144
英語ⅡA [再クラス]	〈八十木裕幸〉	144
英語ⅡA [再クラス]	〈外池一子〉	145
英語ⅡA [再クラス]	〈岩田洋子〉	145
英語ⅡA [再クラス]	〈山岸二郎〉	145
英語ⅡC (会話) [再クラス]	〈ササキ, M.〉	146
英語ⅡC (会話) [再クラス]	〈ラッセル, S.J.〉	146
英語ⅡC (会話) [再クラス]	〈レイン, R.V.〉	146
英語ⅡC (会話) [再クラス]	〈ロビン, G.F.〉	146
英語ⅡC (会話) [再クラス]	〈ノーラン, D.J.〉	146
英語ⅡC (会話) [再クラス]	〈ハバード, W.D.〉	146
英語ⅡC (会話) [再クラス]	〈ロンゴ, T.〉	146
英語ⅡC (会話) [再クラス]	〈レーン, C.M.〉	146
英語ⅡC (会話) [再クラス]	〈ウエイド, D.A.〉	147
英語ⅡC (会話) [再クラス]	〈ピアス, D.M.〉	147
英語ⅢA [再クラス]	〈小布施圭佐三〉	148
英語ⅢA [再クラス]	〈佐藤孝一〉	148
英語ⅢA [再クラス]	〈甲斐捷子〉	148
英語ⅢA [再クラス]	〈広川治〉	148
英語ⅢA [再クラス]	〈山口晃〉	148
英語ⅢA [再クラス]	〈伊藤幸一〉	148
英語ⅢA [再クラス]	〈吉江正雄〉	148
英語ⅢA [再クラス]	〈照山雄彦〉	148
英語ⅢA [再クラス]	〈高橋寛〉	149
英語ⅢA [再クラス]	〈伊藤美代子〉	149

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈柴野博子〉	150
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈野島利彰〉	150
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈織田繁美〉	150
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈栗原万修〉	151
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈五十嵐信子〉	151
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈藪下紘一〉	151
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈松岡晋〉	152
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈藪下紘一〉	152
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈杉本正俊〉	152
ドイツ語ⅠC(会話)〔再クラス〕	〈松岡晋〉	152
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈柴野博子〉	153
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈本橋右京〉	153
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈杉本正俊〉	153
ドイツ語ⅡC(会話)〔再クラス〕	〈野島利彰〉	154
ドイツ語ⅢA〔再クラス〕	〈織田繁美〉	154

〔フランス語〕

フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈菅谷暁〉	155
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈芦原眷〉	155
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈竹田正純〉	155
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈小玉齊夫〉	156
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈長谷川光昭〉	156
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈前田祝一〉	156
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈今関アーン〉	157
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈森本信子〉	157
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈長谷川光明〉	157
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	158
フランス語ⅠC(会話)〔再クラス〕	〈佐藤久美子〉	158
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈畑中千晶〉	158
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈沼倉広子〉	158
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	159
フランス語ⅡC(会話)〔再クラス〕	〈竹田正純〉	159
フランス語ⅢA〔再クラス〕	〈竹田正純〉	159

〔中国語〕

中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈胡玉華〉	160
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈平石淑子〉	160
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈松本丁俊〉	160
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈釜屋修〉	161
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐藤普美子〉	161
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈天野節〉	161

中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈根 岸 政 子〉	162
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈櫻 庭 和 典〉	162
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈曹 泰 和〉	162
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈李 雲 雲〉	163
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈工 藤 早 恵〉	163
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈小 川 隆〉	163
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈塩 旗 伸一郎〉	164
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈秋 元 翼〉	164
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈蘭 明〉	164
中国語ⅠC(会話)〔再クラス〕	〈戸 張 嘉 勝〉	164
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈江 林 英 基〉	165
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈宮 本 厚 子〉	165
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈天 野 節〉	165
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈三田村 圭 子〉	166
中国語ⅡC(会話)〔再クラス〕	〈尹 景 春〉	166
中国語ⅢA〔再クラス〕	〈尹 景 春〉	166
中国語ⅢA〔再クラス〕	〈塩 旗 伸一郎〉	166

〔 スペイン 語 〕

スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈宮 地 達 郎〉	167
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈大 岩 功〉	167
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈上 野 勝 広〉	167
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐 藤 紘 子〉	168
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐 藤 麻 里 乃〉	168
スペイン語ⅠC(会話)〔再クラス〕	〈ルイズティノコ, C.)	168
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈福 本 久 美 子〉	168
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈大 岩 功〉	169
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈佐 藤 紘 子〉	169
スペイン語ⅡC(会話)〔再クラス〕	〈上 野 勝 広〉	169
スペイン語ⅢA〔再クラス〕	〈上 野 勝 広〉	169

〔 ロ シ ア 語 〕

ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈廣 田 英 靖〉	170
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐 野 朝 子〉	170
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈木 村 英 明〉	170
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈安 徳 ニーナ〉	171
ロシア語ⅠC(会話)〔再クラス〕	〈佐 野 朝 子〉	171
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈クロチコフ, Y.)	171
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈安 徳 ニーナ〉	172
ロシア語ⅡC(会話)〔再クラス〕	〈クロチコフ, Y.)	172
ロシア語ⅢA〔再クラス〕	〈クロチコフ, Y.)	172

《 選 択 科 目 》

時事英語研究	〈竹村 恵都子〉	173
時事英語研究	〈林 明人〉	173
時事英語研究	〈川手 浩一〉	173
マルチ・メディア	〈落合 和昭〉	174
マルチ・メディア	〈大庭 直樹〉	175
マルチ・メディア	〈町田 尚子〉	176
英 会 話	Ⅱ 〈プラスキー, J.C.〉	177
英 会 話	Ⅱ 〈ジトウィッツ, P.D.〉	177
英会話Ⅱ - 夏季集中 -	〈ピアス, D.M.〉	178
英 会 話	Ⅲ 〈ウェルズ, J.K.〉	179
英 会 話	Ⅲ 〈ハバード, W.D.〉	179
英会話Ⅲ - 夏季集中 -	〈レーン, C.M.〉	180
英 語	L L Ⅱ 〈太田 雅子〉	181
英 語	L L Ⅱ 〈西村 祐子〉	181
英 語	L L Ⅱ 〈町田 尚子〉	182
英 語	L L Ⅲ 〈井伊 順彦〉	183
英 語	L L Ⅲ 〈久保 ひさ子〉	183
英 語	L L Ⅲ 〈西村 祐子〉	184
時事ドイツ語	〈野島 利彰〉	185
上級ドイツ語	〈栗原 万修〉	185
ドイツ語 L L I	〈小林ゲアリンデ〉	185
ドイツ語 L L II	〈小林ゲアリンデ〉	185
ドイツ語 I A (選)	〈栗原 万修〉	186
ドイツ語 I B (選)	〈織田 繁美〉	186
ドイツ語 II (選)	〈百 濟 勇〉	186
時事フランス語	〈桑田 禮彰〉	187
上級フランス語	〈小玉 齊夫〉	187
フランス語 L L I	〈ラリア・三倉, M.〉	187
フランス語 L L II	〈ラリア・三倉, M.〉	188
フランス語 I A (選)	〈井田 清子〉	188
フランス語 I B (選)	〈桑田 禮彰〉	188
フランス語 II (選)	〈小玉 齊夫〉	189
時事中国語	〈塩旗 伸一郎〉	190
上級中国語	〈釜屋 修〉	190
中国語 L L I	〈佐藤 普美子〉	190
中国語 L L II	〈小川 隆〉	191
中国語 I A (選)	〈釜屋 修〉	191
中国語 I B (選)	〈佐藤 普美子〉	191
中国語 II (選)	〈岩崎 皇〉	192
時事スペイン語	〈瓜谷 アウロラ〉	193
上級スペイン語	〈宮地 達郎〉	193
スペイン語 L L I	〈ナバロ, ホワンJ.〉	193
スペイン語 L L II	〈ナバロ, ホワンJ.〉	194
スペイン語 I A (選)	〈ナバローポロ, L.S.〉	194
スペイン語 I B (選)	〈瓜谷 アウロラ〉	194
スペイン語 II (選)	〈荻野 雅司〉	195

時事ロシア語〈木村英明〉	196
上級ロシア語〈クロチコフ, Y.〉	196
ロシア語 LL I 〈安德ニーナ〉	196
ロシア語 LL II 〈安德ニーナ〉	197
ロシア語 I A (選) 〈クロチコフ, Y.〉	197
ロシア語 I B (選) 〈木村英明〉	198
ロシア語 II (選) 〈安德ニーナ〉	198
朝鮮語 I B (選) 〈宋美玲〉	199

英 語 I A

<英語 I A の授業内容と履修上の留意点>

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	丸 小 哲 雄	営 A 1 年	2

講義のねらい

時代の背景と共に変化してゆく現代人の生活スタイルや消費行動の変化、企業の事業展開、近未来の経済社会の縮図、期待されるニュービジネスの形態などに関する教材を利用しながら、英語の音声面やライティングの能力を伸ばすように努める。テキストの内容を捉えた後で、英語発信型の授業形態をとりたい。

講義の内容・授業スケジュール

20分間をTOEIC教材を利用して、70分をリーディング・ライティング・タイムとします。英文レポート提出もあります。

成績評価の方法

出席、平常テスト、英文レポート、前期・後期の語学試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

TOEIC教材『*Practical Reading for TOEIC*』(金星堂)
リーディング・ライティング: 『*New Business for Changing Lifestyles*』(成美堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	鈴 木 美 貴 子	営 A 1 年	2

講義のねらい

英文法の復習をしながら正しいセンテンスを書けるようになることを目指す。

履修上の留意点

毎時間、学習意欲をもって英作文の基礎力をしっかり身に付けていただきたい。

成績評価の方法

出席状況、前・後期試験により総合的に評価する。

教 科 書

鈴木卓『*Basic Writing Drills with Hints & Examples* ヒント・例文で学べる英作文ドリル』(松柏社) 1,800円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	は ま だ か ず い え 浜 田 一 宇	営 A 1 年	2

講義のねらい

国際化時代の到来と共に、国際交流や相互理解は個人レベルの問題となり、いかなる分野で社会生活を営むとも国際人としての教養を深め、交流をはかることは不可欠となりつつあります。私達の日常生活の衣食住から気候風土、普段の何気ない動作でもあらためて英語で表現しようとするとなかなかやっかいなものであります。この時間は、日常生活を表現することを目標に、実用的な単語と表現力の習得をはかろうと思います。具体的には日本の一年の四季と生活を作文と会話演習で学習するテキストを使用し、他に実用会話のVTRの書き取りと会話演習、四コマ漫画のナレーションなどで実用的な単語の習得と会話に親しみながらの英語表現力を養うつもりです。

講義の内容・
授業スケジュール

語学の修得ですから欠席が多いとわからなくなりますから、3分の2以上必ず出席のこと。

履修上の留意点

前期試験、後期試験の成績と授業内での評価と出席状況を考慮して評価します。

成績評価の方法

発信型作文演習——季節の中の日本 マクミラン・ランゲージハウス 1,450円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	か わ ま た よ う た ろ う 川 股 陽 太 郎	営 A 1 年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として英語の運用能力をやしなう。

講義の内容・
授業スケジュール

ヒヤリング、スピーキング、ライティングの運用能力練習をする。ビデオ（VHS、DVD）等も使用する。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

発表、小テスト、定期試験の成績を総合し評価する。

教 科 書

プリント教材を適宜配布、使用する、教科書は未定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	み ず さ さ の り こ 水 崎 野 里 子	営 A 1 年	2

講義のねらい

ヒアリングを学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは、学生の方々の能力に応じて進むが、予定としては、一授業2課学習する。後期は別のテキストを使用する予定である。それは、教場で改めて学生の方々に通知する。

履修上の留意点

授業は毎度テープを使用し、ヒアリングの練習をする。学生の方々は積極的に授業に参加して欲しい。

成績評価の方法

成績評価は、前期後期二度の試験に平常点を加味し、総合評価する。平常点は出席を考慮する。学生の方々は、無理のない程度に出席に留意して欲しい。

教 科 書

根間弘海編著 『入門TOEICテスト・リスニング』（桐原書店） 1,300円プラス税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	かわうち けんりゆう 河 内 賢 隆	営 A 1 年	2

講義のねらい

新聞や雑誌からの記事を取り上げ、時事英語に対する基礎的な知識と理解力を高め、加えて国際的な視野を拓けることを目指す。語学の授業なのでテープレコーダーを使い、ヒアリングの力をつけることも取り入れ、授業の始まりと終りに耳の訓練をする。

成績評価の方法

出席点20点+発表点20点、その他は二回のテストの結果を加える。

教科書

「時事英語2002/2003」(成美堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	たぐち せいいち 田 口 清 一	営 A 1 年	2

講義のねらい

豊富な問題演習により英語の表現力を高めると共に、語彙、文法、背景知識(一般常識)が三位一体となった総合的英語力の向上を目指す。また、近年大学入学時までに体系的文法認識がなされていないという現状をふまえ、特に「表現方法」という観点からの解説に留意したい。年間を通して「知的に考える語学」を徹底して実践したい。

尚、授業は演習形式をとるので予習を大前提とする。

成績評価の方法

出席と平常点を重視し、これに定期試験を加えて総合的に評価する。平常点では何よりも学問的意識のあり方を重視する。尚、出席が3分の2に満たない場合は不合格とする。

教科書

『English Comoposition at Work (表現のための発信型英作文)』 (金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	かわさき えみか 川 崎 笑 佳	営 A 1 年	2

講義のねらい

入学時の英語知識を基盤として、意志伝達能力の向上を目指す。授業では、テキスト、又は必要に応じてその他の教材を用いて指導を行い、基本的な表現から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。

履修上の留意点

毎回授業中に英作文を書いて提出してもらうので、辞書持参が望ましい。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、およびレポート、発表、授業態度、期末テストの結果をもとに総合的に評価する。

教科書

『パラグラフ・ライティング入門』(成美堂) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	こ と み 富 猛 <small>たけし</small>	営 A 1 年	2

講義のねらい

近年、ソ連邦解体によりいかに世界が多種多様の民族によって、成り立っているかを思い知らされる。戦後の日本は、経済発展を目ざして各分野で、欧米に負けない製品を作るべく大変な努力を、すぐれたそれぞれの分野の方々がしてきた。そのおかげで我々は生活の水準をかなりのところまで上げることができ、経営の面でも日本独自の方法論を展開することができたのではないか。ただあまりにも有頂天になり過ぎたせいで、バブル経済の憂き目にあっている現在、いかに欠点を見直すかが必要とされている。外国との関わりにおいても語学力が重要であること

講義の内容・授業スケジュール

前後期、日本人にあった手法で、英語を学ぶべく、説明し、その方向で授業を進めてゆきたい。

履修上の留意点

学生諸君には予習をしてくることを原則とし、さらに発表するべく心得て欲しい。

成績評価の方法

出席状況、前後期のペーパー・テストの結果ならびに、予習発表の評価により判断する。

教科書

講義中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	ま す だ け い こ 増 田 恵 子	営 A 1 年	2

講義のねらい

英語による意志伝達のうち、おもにライティングとスピーキングのスキルを伸ばすことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

音読、訳、英作文、さまざまな練習問題をおこなっていく。

履修上の留意点

十分な予習と授業への積極的な参加姿勢が必要となる。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。

教科書

『English All Around』（大阪教育図書） 1,500円

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	<small>たぐち せいいち</small> 田 口 清 一	営 A 1 年	2

講義のねらい

テキストの精読により英文の正確かつ深い読みの訓練を行なうと共に、グローバルな視野に立った総合的英語力の向上を目指す。精密な文章理解には、語彙、文法、背景知識（一般教養）の三つが三位一体となって機能しなくてはならないので、授業ではこの三つに常に留意していきたい。年間を通して、「無味乾燥な暗記語学」から脱皮し、「知的に考える語学」を実践する力を養うことを目標とする。

尚、授業は演習形式をとるので予習を大前提とする。

成績評価の方法

出席と平常点を重視し、これに定期試験を加えて総合的に評価する。平常点では何よりも学問的意識のあり方を重視したい。尚、出席が3分の2に満たない場合は不合格とする。

教 科 書

『Bantock, Towards Humanity (西洋人の考え方)』 (金星堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	<small>おがさわら りゅうげん</small> 小 笠 原 隆 元	営 A 1 年	2

講義のねらい

日本語でも、英語でも、読み・聴き・話し・書き・考える実力向上を目標とした。我々は日本人として英語による意志伝達、運用能力を高める為にはどうしたらよいかを考えたい。

履修上の留意点

授業初回時に関係資料配布と実力考査を実施するので必ず出席して下さい。

成績評価の方法

年間25回程の授業に加えて、日英両語によるレポート、作文提出を課し、成績は総合評価で行う。

参 考 書 等

テキスト、参考書類は教場で指示するが、『ウィットを楽しむ総合英語』(成美堂) 1,600円を用意して下さい。

そ の 他

木曜日3時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB	亀田三重子 <small>かめだ みえこ</small>	営 A 1 年	2

講義のねらい

今日、ケーブルテレビなどでCNNやBBCなど、外国のニュースが簡単に飛び込んで来るようになった。少しでもそうした生の放送が聞き取れるよう訓練する。又、番組の各分野の特殊な用語を覚え、その聞き取りのコツを伝えていきたい。

成績評価の方法

- ・前期と後期、中間試験2回の試験結果50%
- ・出席日数と授業内での発表50%

教科書

テキスト 『News Listening Break (2)』 (金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB	前期：矢島直子 <small>やじま なおこ</small> 後期：飯沼好永 <small>いぬま よしなが</small>	営 A 1 年	2

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて修得することに努める。

履修上の留意点

リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受け身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加して下さい。特に英語に対し苦手意識のある学生は、予習に力を入れて下さい。

成績評価の方法

成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価 (50%)、試験 (50%)

教科書

プリント使用

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB	前田脩 <small>まえだ おさむ</small>	営 A 1 年	2

講義の内容・授業スケジュール

授業のはじめに10～15分程度リスニングを行います。テキストは毎回あてますので予習は必須です。前期はリスニングに力を入れ、後期はテキストの読みのスピードをはやめ、しかも正確に内容を把握できるようにします。時々英字新聞のコピーを使用します。

成績評価の方法

授業中の発表等、日常評価と出席率、前期、後期テストを総合評価します。

教科書

- 1) 『そして誰もいなくなって』 (開文社出版) 1,400円
- 2) 『トピック別TOEICテストリスニング』 (成美堂) 900円

その他

木曜日3時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	<small>おがさわら</small> 小笠原 <small>りゅうげん</small> 隆 元	営 A 1 年	2

講義のねらい

語学は体学と心得て日英両語に関して、読み・聴き・話し・書き・考える実力を向上させる事を目標としたい。

履修上の留意点

年間25回程の授業に加えて、レポート提出（日英両語によるもの）、実力向上を目指す学生諸君は自主的に実力開花をめざして自学自習してほしい。

成績評価の方法

成績は総合評価、授業初回時に諸資料を配布し、実力考査をしたいので必ず出席して下さい。

教科書

テキストは『新聞・雑誌で知る世界事情』（金星堂） 2,000円

参考書等

参考書類は教場で指示したい。

その他

木曜日4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	<small>まえだ</small> 前 田 <small>おさむ</small> 脩	営 A 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

授業のはじめに10～15分程度のリスニングを行います。テキストは毎回あてますので予習は必須です。前期はリスニングに力を入れ、後期はテキストの読みのスピードをはやめ、正確な内容把握を求めます。時に英字新聞のコピーを使用することがあります。

成績評価の方法

授業中の発表等、日常評価と出席率、前期、後期のテストを総合評価します。

教科書

- 1) 『大麦入りのチキンスープ』（鶴見書店） 900円
- 2) 『プラクティカル・リスニングフォア・TOEIC』（金星堂） 980円

その他

木曜日4時限

英語 I C (会話)

〈英語 I C の授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。ネイティブスピーカーの英語が聞きとれて、基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL のスコアー450点、TOEIC のスコアー500点程度。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I C (会話)	ノーラン, D. J.	営 A 1 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

英会話を中心とし、ともに聴解力を育てるコースである。各レッスンのゴールである。各レッスンのゴールを明確にし、学生同士、または個人で使用できる教材をもとにし、日常生活において英会話能力を高めようとする。自己紹介、情報交換、意思表示、好き嫌いを表現すること、またその他の身近な課題などが含まれている。

授業年間計画：1回の授業で教科書一章の予定。

履修上の留意点

原則的に遅刻は認めない。学生は、自分自身の教科書、英和・和英辞書、筆記用具を持参すること。受講する学生は期日までに各自の写真(2×3cm、スナップ可)を提出すること。

成績評価の方法

出席(評価の30%、但し、通年五回以上欠席の学生には単位を与えない)、授業参加(30%)、期末試験(面接方式、40%)。

教 科 書

Hisatake Jimbo, Thomas Cogan 『*Speaking Strategies*』 (Macmillan Languagehouse) 1,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I C (会話)	ハバード, W. D.	営 A 1 年	2

講義のねらい

Students are expected to acquire a basic ability to express themselves in day to day conversations.

講義の内容・ 授業スケジュール

This course includes oral/listening practice, role playing, pair practice, question and answer work, opportunities to exchange opinions and share information as well as other activities to improve student conversation skills in expressing topics of various interests.

成績評価の方法

Grading: Final grades will be based on attendance, class participation, preparation, and tests.

教 科 書

Textbook: 『*iTALK*』 by Dale Fuller and Timothy Kiggell, Macmillan Language, Tokyo
I also request a copy of the teacher's manual and the textbook cassette for myself.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話)	ロンゴ, T.	営 A 1 年	2

講義のねらい	The students will work on improving their communicative and listening skills.
履修上の留意点	4 absences in one semester is poor attendance. Come to every class and your English will improve !
成績評価の方法	Regular attendance and participation is expected of each student.
教科書	textbook is required. Prints. will be given to each student. Text: 『English Firsthand-Gold Edition』 Pub :Longman

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話)	レーン, C. M.	営 A 1 年	2

講義のねらい	This course offers students a chance to improve speaking and listening skills thus enabling them to feel comfortable in communicating in English in simple everyday situations.
講義の内容・授業スケジュール	Emphasis will be placed on controlled speaking practice and improvement of listening skills. Students will be given a series of small tests throughout the year and one big mid-year exam. In the second semester each student will give a three minute speech.
履修上の留意点	In class students will work on: short communication practices, role plays, small group work and/or pairwork activities, listening exercises and whole class interactive question and answer sheets.
成績評価の方法	5% attendance 20% mid-year exam 15% 3 minute speech 40% Class participation
教科書	Expressions Book2 by David Nunan Published by Heinle and ,Heine Thomson learning
参考書等	DAVID NUNAM GO FOR IT LEVEL3 (Published by Heinle and Heinle Thomson learning) (order through) *Thomson learning

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話)	ロビン, G. F.	営 A 1 年	2

講義のねらい

This course is design up for those students who have had little or no experience in conversational English .

講義の内容・授業スケジュール

It will consist of pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build and improve upon vocabulary and fluency normally acquired from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

A text will be used, student will be graded for class room participation, homework assignments, and a final exam at the end of the course, no prerequisites will be necessary. There will also be a text mid-term as well.

教科書

Text: Fifty-Fifty Book1 Longmans pearson education 1998. WARREN WILSON and ROGER BARNARD. price:¥2000

その他

金曜日4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話)	ラッセル, S. J.	営 A 1 年	2

講義のねらい

English Conversation 1C is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) test at the end of the course.

教科書

Fifty-Fifty Intro. ISBN 0-139069356
+audio cassettes for the teacher
Published by Longman

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠC (会話)	レイン, R. V.	営 A 1 年	2

講義のねらい

This course will help students to: 1) use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2) improve their presentation-giving skills.

講義の内容・授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities (done in pairs) to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in both small groups and in front of the class. Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home.

履修上の留意点

Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will be given a grade for both group and class presentations.

教科書

author: Steven Molinsky and Bill Bliss
title: Side by Side, Core Conversation Course - - Intermediate Level
publisher: Prentice Hall Regents

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠC (会話)	ウエイド, D. A.	営 A 1 年	2

講義のねらい

The main focus of this course is to develop your oral/aural skills for communicating in English.

履修上の留意点

Since it is necessary to practice a foreign language on a regular basis between our weekly meetings, there will be regular homework assignments using both the textbook and the Internet.

成績評価の方法

Grades will be based on your attendance and your attentiveness in class, the completion of all the homework assignments, quizzes, and your in-class performance.

教科書

The textbook Expressions Book 1 by David Nunan (published by Thompson) gives you many opportunities to practice speaking in a wide variety of realistic situations. You will find an English learner's dictionary will be very helpful.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠC (会話)	ササキ, M.	営 A 1 年	2

講義のねらい

Do you like to travel? Then please join my class. We will study English conversation for a specific purpose: TRAVEL. Through watching video, you will experience how to use airport transportation, check into a hotel, and ask for directions, etc. You will be graded on assignments, interview tests and pop-quizzes. Text: "Viva! San Francisco". You must attend at least 2/3 of the classes in which attendance was taken in order to pass.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I C (会話)	ロビン, G. F.	営 A 1 年	2

外
国
語

講義のねらい

This course is designed for those students who have had little or no experience in conversational English.

講義の内容・
授業スケジュール

It will focus on pair group, small group, and class discussion activities designed to gradually build upon vocabulary and fluency skills normally from previous pre-college study of English.

成績評価の方法

A text will be used. Students will be graded for classroom participation, homework assignments, and a final examination at the end of the course, as well as a midterm test no prerequisites are necessary.

教 科 書

Text: FIFTY-FIFTY BOOK ONE by WARREN WILSON and ROGER BARNARD
Published by LONGMANS, PEARSON Education price:2,000円

そ の 他

金曜日5時限

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II A	えださちこ 江 田 幸 子	営 A 2 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

読む、書く、聴く、話すの英語運用能力を総合的にバランスよく育成していくのがこの教科の目的です。これらの四大要素を生活の上で実践的に、臨機応変に運用出来るようになることがこの授業の最終的な目標です。従って、使用するテキストを中心に、まず、reading-読解、listening-耳で読む、を徹底し、次にテキスト中の英語表現を応用したwriting-運用、口頭で簡単に発表する-oral presentation in English、の学習プロセスで授業を進めて行きます。

成績評価の方法

前期、後期の定期試験、提出物、適宜行う小テスト等を総合した平均点60点以上、全授業回数の2/3以上の出席をもって合格点としますが、平常授業内での努力点も合わせて評価しますので、授業毎の学習 - 予習、発表- に対して熱心な姿勢で臨むことが望まれます。語学の習得には学習の地道な積み重ねが必要不可欠なので、このことは特に強調しておきたいと思えます。

教 科 書

書名：『*Input and Output for Reading & Writing*』
著者：Peter B. Grant, Richard H. Shaepe, Tadahito Kawai
出版社：SHOHAKUSHA 1,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II A	かわうち けんりゆう 河 内 賢 隆	営 A 2 年	2

講義のねらい

国際化時代の到来とともに、世界は時々刻々、しかも地球規模で揺れ動いている。それには英語による時事問題へのアプローチと国際的な知識が欠かせない。本授業ではニュースの背景事情や関連問題に触れながら、テープを活用して授業をすすめていく。

成績評価の方法

評価は出席点と発表点 (年間3回位) を重視しながら、前・後期の試験の結果で決める。

教 科 書

『世界ニュース展望』(金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	佐藤 勝 <small>さと う まさる</small>	営 A 2 年	2

講義のねらい

インターネット時代を迎えた現在の日本では英作文力は実用英語の面で非常に重要と言えます。基本英文法を踏まえた正確な英作文力の充実に図ります。まとまった量の英作文演習も年に何度か行いたい。

講義の内容・授業スケジュール

2回で1章ずつ進む予定です。その他随時プリントを使用します。

履修上の留意点

予習をしてください。辞書を持参下さい。年度初回の授業ガイダンスで本授業の詳細を述べます。

成績評価の方法

平常点（出席状況・授業態度・小テスト）＋レポート＋定期試験

教科書

石黒 編著 『大学英文法の基礎演習』（桐原書店） 1,400円

参考書等

推薦辞書：『ジーニアス英和辞典』（大修館書店） 『プログレッシブ英和中辞典』（小学館）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	落合 和 昭 <small>おち あい かず あき</small>	営 A 2 年	2

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階はそのなかで、使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第三段階は書き取りをする。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提にして、進める。

成績評価の方法

前・後期定期試験テストは40%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、全員に一回の授業に最低一回は当てるつもりである。出席率は三分の二を超えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『コミュニケーションのための口語ヒヤリング』 1,600円
- 2) Idiom (Oxford University Press) 洋書 2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	たかやなぎ ふみえ 高 柳 文 江	営 A 2 年	2

講義のねらい

言語とは、その言語を話す人々の文化を包括した相対的な生きてきた知識です。そうした知識を学ぶためには、あらゆる方面からのアプローチが必要です。この英語表現法の授業においては、situationによる英会話をもとに英作文を学んでいきます。実際の場面での慣用表現や、それを応用した自由作文の習得をめざします。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。単位を取得するには2/3以上の出席が要求されます。前期の後半より慣用表現の演習が課されます。

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験）：60%、日常点（出席、演習テスト等）40%

教 科 書

『作文から会話へ』羽鳥博愛著（マプレス）1,180円
前前後半より演習ノートを使用します。（開講時に指定）

参 考 書 等

テープ、ビデオ教材使用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	つかもと としお 塚 本 利 男	営 A 2 年	2

講義のねらい

絶えず文法・語彙などの知識の増強を図りながら、英語で自分の考えや意見を読み手に理解させるために文章構成法を学び、習得することを目標にします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストとして、『発信するパラグラフ・ライティング』を取り上げ、現実に議論や論争を巻き起こし易い問題、例えば、日本は豊かな社会か、体罰は必要か、老人介護は誰がすべきか、安楽死は許されるべきかなどの内容本文を読み、①英語の文章構成法を学ぶ②その英文を踏まえて読解と英作文を統合して演習する。以上の段階を踏みながら1回の授業の総仕上げとして、授業の最後に英作の実践の場となるように毎回小テスト(15分～20分)を実施します。

履修上の留意点

授業は演習形式なので必ず予習をして下さい。

成績評価の方法

授業における発表における発表・小テストと前・後期の定期試験に基づく。全評価のうち授業時での発表・小テストが50%、前・後期の定期試験が50%で評価します。特に、平常授業を重視しますので、全授業の3分の2以上は必ず出席して下さい。

教 科 書

『発信するパラグラフ・ライティング』（桐原書店）1,500円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	やまが た ゆたか 山 縣 裕	営 A 2 年	2

講義のねらい

英語の話し手が書いた英文の中で頻繁に活用される文法・構文を集中的に修得する。

講義の内容・
授業スケジュール

6回以上欠席した者には原則として単位を与えない。

成績評価の方法

出席点・中間テスト・期末テスト・小テストなどから総合的に評価する。

教 科 書

『表現上達の英作文』 根間弘海・Richard Logan著（桐原書店）1,107円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	にしはら かつまさ 西原 克政	営 A 2 年	2

- 講義のねらい** 日本近代詩の英訳の一例を参考にしながら、翻訳という文化の移植が抱えているさまざまな言葉の問題点を考察してゆくつもりである。比較文化と比較文学の視点を導入して広い視野に立つて眺めたいと考えている。
- 成績評価の方法** 成績評価は出席点と発表点によってなされる。第1回目の授業で説明するので、必ず出席のこと。
- 教科書** Yamamoto Kenkichi 『The Singing Heart』 (Katydid Books) 2001

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	あさかわ まさき 朝川 真紀	営 A 2 年	2

- 講義のねらい** 日常の様々な事柄を英語で表現できるようになることを目的とし、基本的な文法事項を再確認し、英語の語順文構造を定着させていく。また語彙力をのばすために毎回単語の小テストを行う。
- 成績評価の方法** 評価は小テスト40%、平常点20%、前期後期試験40%とする。出席が3分の2に満たない者は不合格とする。
- 教科書** 「語順が身につく英作文」(朝日出版社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	てしま けいこ 手島 敬子	営 A 2 年	2

- 講義のねらい** 本科目は単語から単語への置き換え、単文から単文への置き換えに陥りがちな「英作文」から一歩進み、実際に日常生活の中で活用できる「ライティング」力を習得することを目指します。
- 履修上の留意点** 随時課題の提出が義務づけられます。教室以外でも積極的に学習に取り組まなければなりません。和英辞典を必ず持参。
- 成績評価の方法** 中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基き総合的に行います。
- 教科書** 「パラグラフ・ライティング入門」(成美堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	おうみ あきひさ 逢見 明久	営 A 2 年	2

- 講義のねらい** インターネットの英字新聞の記事・小説・詩・戯曲・映画など、様々な表現形式の英語に触れて、文語体と口語体の違いを確認し、音声面から口語体の表現を捉えて英語の聞き取りの力を養成することを目標にします。
- 履修上の留意点** 平常点の比重が大きいため、欠席は成績評価に大きく影響します。遅刻した場合、発表の機会を失うことがあるので要注意。予習は必須で、少なくとも、未知の単語は調べておくように。発言は正誤に関わらず、事前に調べてきた成果を発表できている場合は、評価します。
- 成績評価の方法** 評価の割合は、平常授業での発表や受講態度、及びレポートの合計をおおよそ60%までとし、前後期の試験の結果の合計を40%とします。
- 教科書** 随時プリントを配布しますので、テキストを購入する必要はありません。

英語ⅡC（会話）

＜英語ⅡCの授業内容と履修上の留意点＞

I Cのレベルを修得またはそれに相当する力を持っていることを前提とした英会話の授業です。
達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFLのスコアー480点、TOEICのスコアー700点程度。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡC（会話）	ササキ, M.	営 A 2 年	2

講義のねらい

Would you like to study abroad? Then please join my class. We will study English conversation for a specific purpose: STUDYING ABROAD and HOMESTAY. You will experience what it is like to have a home stay and study at a university in America. You will be graded on assignments, interview tests and pop-quizzes. Text: "Viva! San Francisco". You must attend at least 2/3 of the classes in which attendance was taken in order to pass.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡC（会話）	ラッセル, S. J.	営 A 2 年	2

講義のねらい

English Conversation 2C is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・ 授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) test at the end of the course.

教科書

Fifty-Fifty Book1 ISBN 0-139200002
+audio cassettes for the teacher
Published by Longman

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡC (会話)	レイン, R. V.	営 A 2 年	2

講義のねらい

This course will help student to: 1. use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2. improve their presentation - giving skills.

講義の内容・授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities [done in pairs] to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in both small groups and in front of the class. Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home.

履修上の留意点

Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will be given a grade for both group and class presentations.

教科書

author: Steven Molinsky and Bill Bliss
title: 『Side by Side, Core Conversation Course—Intermediate Level』
publisher: Prentice Hall Regents

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡC (会話)	ロビン, G. F.	営 A 2 年	2

講義のねらい

This course is a follow-up from English conversation on IC.

講義の内容・授業スケジュール

Pair and group speaking activities will be emphasized, supplemented with additional reading, listening and writing.

履修上の留意点

A text will be used.
The necessary prerequisite is English IC.

成績評価の方法

exercises grading will be based upon classroom participation, homework, assignments and speaking tests, midterm and final.

教科書

TEXT: NEW HEADWAY by h12 and JOHN SOARS S (ELEMENTARY)
OXFORD UNIVERSITY PRESS 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC (会話)	ノーラン, D. J.	営 A 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英会話を中心とし、ともに聴解力を育てるコースである。各レッスンのゴールを明確にし、学生同士、または個人で使用できる教材をもとにし、日常生活において英会話能力を高めようとする。自己紹介、情報交換、意志表示、好き嫌いを表現すること、またその他の身近な課題などが含まれている。

授業年間計画：1回の授業で教科書一章の予定。

履修上の留意点

原則的に遅刻は認めない。学生は、自分自身の教科書、英和・和英辞書、筆記具を持参すること。受講する学生は期日までに各自の写真(2×3cm、スナップ可)を提出すること。

成績評価の方法

出席(評価の30%、但し、通年五回以上欠席の学生には単位を与えない)、授業参加(30%)、期末試験(面接方式、40%)。

教科書

Hisatake Jimbo, Thomas Cogan 『Speaking Strategies』(Macmillan Languagehouse)
1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC (会話)	ハバード, W. D.	営 A 2 年	2

講義のねらい

To Develop Fluency with Conversation Strategies.

The focus of this course is on the conversation strategies needed for conversational fluency. It will help students maximize the time they spend speaking English, and emphasizes learner awareness of the English they use and hear. This is done by introducing a set number of Conversation Strategies (HINTS) for any conversation, regardless of topic.

講義の内容・
授業スケジュール

April: Openers/Closers/Let Your Friend talk/Ask to Hear It Again
May: Shadowing/Getting Time to Think When You Begin Talking
June: Showing Interest/Showing You're Listening/Summarizing Comments
July: Agreeing/Disagreeing/Showing Indifference
September: Reacting to Good News/Reacting to Bad News/Showing Surprise
October: Starting Conversations/Letting Your Partner Raise a Topic
November: Asking for an Explanation/Seeing If Your Partner Understands/Showing You Understand
December: Asking for Examples/Checking What Your Partner Knows
January: Talking with Native Speakers of English

成績評価の方法

Final grade will be based on attendance, class participation, and test scores.

教科書

Special textbook will be made available during the first class period.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡC (会話)	ロンゴ, T.	営 A 3 年	2

講義のねらい

The students will work on improving their communicative and listening skills.

履修上の留意点

4 absences in one semester is poor attendance.
Come to every class and your English will improve!

成績評価の方法

Regular attendance and participation is expected of each student.

教科書

Textbook is required. Prints will be given to each student..
TEXT: 『*English Firsthand-Gold Edition.*』
PUB: Longman

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡC (会話)	レーン, C. M.	営 A 2 年	2

講義のねらい

To help students gain more confidence in expressing their opinions freely and naturally in spoken English, develop their vocabulary and the correct use of grammatical structures and to improve their listening skills.

講義の内容・
授業スケジュール

Emphasis will be placed on both controlled and freer speaking practice and improvement of listening skills. Students will be given a series of small tests throughout the year and one big mid-year exam. In the second semester each student will give a short speech.

履修上の留意点

In class students will work on: short communication practices, role plays, small group work, pairwork, listening activities, and wide class inter-active question and answer sheets.

成績評価の方法

25% attendance
20% mid-year exam
15% speech
40% class participation

教科書

『*Expressions Book2*』 by David Nunan Published by Heinle&Heinle Thomson learning.

その他

Speaking English both in and out of class is necessary to gain real fluency. Progress always depends on what you do to help yourself.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡC (会話)	ウエイド, D. A.	営 A 2 年	2

講義のねらい

The principal focus of this course is to further develop your English communication skills.

履修上の留意点

Since it is vital to practice a foreign language on a regular basis between class meetings, there will be weekly homework assignments using both the textbook exercises and the Internet.

成績評価の方法

Grades will be based on your attendance and your attentiveness in class, the successful completion of the homework assignments, occasional quizzes, and your in-class performance.

教科書

『*The textbook Expressions Book 2 by David Nunan*』 (published by Thompson) gives you a lot of opportunities to practice speaking in a wide variety of realistic situations. You will find an English learner's dictionary will be extremely useful.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡC (会話)	ピアス, D. M.	営 A 2 年	2

講義のねらい

CONVERSATION: CLASSICAL ECONOMIC THEORY

Elementary and Intermediate students will master an ordinary conversational ability in this class. Students will spend most of the class time talking to each other in pairs or groups; they will be talking to each other virtually every minute of the period.

Part of the class time will be devoted to grammar and listening comprehension problems in order to achieve high scores in TOEFL and TOEIC tests. English composition will also be practiced to produce an intuitive sense of good English. Learning composition will not consist of studying grammar or translating sentences.

Advanced practice in listening comprehension will be conducted through short lectures on the history of economic thought. Students will learn a specialized vocabulary for a capability to talk about business and economics in English.

The entire course is carefully organized and programmed in our textbook, of the same title, Classical Economic Theory, which will be explained at the commencement of classes. A maximum of six absences in the year is allowed, but class participation is paramount. 30% of the grade derives from examinations, and 70% derives from class participation during the ordinary classes.

英 語 Ⅲ A

〈英語Ⅲ A の授業内容と履修上の留意点〉

Ⅱ A を基礎として高度な英語の運用能力を身につける。(例：時事社会科学系のテキストを使用する。)

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語Ⅲ A	おぶせ けさぞう 小布施 圭佐三	営 A 3 年	2

講義のねらい

内外の英字新聞から政治、経済、教育、社会問題、学術、スポーツ、レジャー、広告にいたる幅広い記事を取り上げ、解説を施しながら読むことにする。同時に英字新聞の読み方と英字新聞特有の文体、語法についても学習する。

講義の内容・授業スケジュール

〈1週〉～〈3週〉
「なぜ英字新聞を読むのか」「英字新聞にはどのような情報が掲載されているのか」「その情報はどのように構成されているのか」「見出しとニュースをどのように読むのか」などの手引きにあてる。

〈4週〉～〈7週〉
UNIT 1 (p.14)～UNIT 4 (p.29)

〈8週〉～〈11週〉
UNIT 5 (p.30)～UNIT 8 (p.45)

〈12週〉～〈15週〉
UNIT 9 (p.46)～UNIT 12 (p.61)

〈16週〉～〈16週〉～〈19週〉
UNIT 13 (p.62)～UNIT 16 (p.77)

〈20週〉～〈23週〉
UNIT 17 (p.78)～UNIT 20 (p.93)

履修上の留意点

授業形態は演習形式で行うので、出席を重要視します。レポーター制を採用し各章を責任分擔します。年間を通して各自1回はレポーターの役割を果たしてください。

成績評価の方法

1. 出席点 2. 平常点 3. レポート 4. 定期試験(前・後期)などを加味して総合評価します。

教 科 書

西村晴雄／米山司郎編著 『International News 2001/2002』(三修社) 1,850円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語Ⅲ A	まとう こういち 佐 藤 孝 一	営 A 3 年	2

講義のねらい

授業では、基本的に英文を正しく読めて、正しく理解できたかをチェックしていきます。授業中に英語を学習していくのは困難であると思います。予習・復習を通して段々に英語力を高めていく意欲や動機付けを自覚し、実行してもらいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストはアメリカの文化や社会など多種多様な内容を学んでいきます。異文化理解に関してアメリカの文化が学生に身近に感じられると思っています。全体で100章ありますので、毎時間5章を消化するのをノルマにします。発表者は事前に内容をテープに吹き込んできて下さい。希望者には、テキストのテープをコピーします。授業以外でも自主的にテープを用いた学習を強く望みます。リーディングの他に、リスニング能力の向上を計りTOEIC教材を用いる予定です。毎時間5人に発表をしてもらいますが、事前に割り振ります。

成績評価の方法

基本的に前期・後期の試験と発表点、レポート等で総合的に評価します。出席点はありません。

教 科 書

- M. ドライバー著 『It's as American as hot dogs, apple pie, and Chevrolet』(Word Communication) 1,700円
- TOEICテキストに関しては未定。授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	甲斐捷子	営 A 3 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

テキストはABC放送のアメリカ国内向けニュース番組、“World News Tonight”です。この多岐にわたる報道内容をビデオで学び、英語の運用能力を高めることを目的とします。毎回の授業は、「聞き」、「話し」、「読み」、「書く」、徹底的な総合演習です。

履修上の留意点

1 単元終るごとに小テストを必ず行います。これはA4判2頁にわたる詳細な復習のためのテストで、本試験と同じような傾向のもので、このテストで70%以上得点できるように、復習に重点を置いて勉強して下さい。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教科書

『ABC World News 4』（金星堂） 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	ひろかわ 治	営 A 3 年	2

講義のねらい

映画のシナリオをテキストに用い、会話表現等を修得することを目的とする。

履修上の留意点

遅刻、居眠等は欠席扱いとするなど、授業態度は厳しくチェックする。

成績評価の方法

平常点と前後期試験で評価。

教科書

プリント配布の予定（必要に応じて購入を指示）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	やまぐち あきら 山口 晃	営 A 3 年	2

講義のねらい

英語の学習を通して、今年度は環境の問題を考え、表現する方法を身に付ける。A3である事を考え、とりわけこうした問題での表現方法に重点をおきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回英文のプリントを配布する。それを使って具体的な表現を徹底してマスターする。

履修上の留意点

辞書は毎回必ず持ってくる事。
遅刻は、他の学生の学習を妨げるので、遅れないように注意する事。

成績評価の方法

前期、後期それぞれにレポート提出とテスト。それに平常点を加えて評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	伊藤 幸一	営 A 3 年	2

講義のねらい

予想される多くの受講生が毎回、ひとりずつ参加できる様に、平明で、むしろ短大からなる、世界のあちこちで出会う興味をそそる「シーン」が有効であらんことを。

履修上の留意点

毎回、着席順に当てるので予習して出席されたい。また、復習の為に3回（5月下旬、夏休み、大学祭後）宿題レポートを課し、最終授業時には、まとめのテストの予定。

成績評価の方法

成績は以上の予習、復習、まとめの成果による。詳細は最初の授業時に説明する。

教科書

『*Snapshots of Life Today*』（朝日出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	吉江 正雄	営 A 3 年	2

講義のねらい

英文を正しく読み、発音し、その上で英文を正しく理解することを目標とする。しかし、そこには当然、構文の理解、文法的な正しい解釈も伴われなければならない。これらのことを総合的に学びながら、文明の黎明期、言語の発達段階等についても学ぶことになる。

講義の内容・授業スケジュール

一講時に進む範囲は大体決まってくるので、その範囲の読みと、解釈を中心に据え、後に文法・構文の解説を加える。小説家による美しい文章に触れ、美しい英文の書き方に繋げたい。

履修上の留意点

大体決まってくる一講時に進む範囲の予習をしてくることを望む。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均点をベースに、授業参加の積極度、発表回数等を鑑みて評価を出す。ただし、授業総数の三分之一を越える欠席のある学生の評価は出ないから注意すること。

教科書

『*A Short History of the World*』（こびあん書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	照山 雄彦	営 A 3 年	2

講義のねらい

大学での英語学習の狙いの一つは、専門の英語文献講読解力を養うことである。そのために修得した英語の文法構造や語彙の知識を基に、実際の英語文献を読解できる能力を身につけるために、主として演習方式により読解力向上を計る。

講義の内容・授業スケジュール

上記をふまえ、わからない語句、表現を調べながらテキストの各章を精読し、各章で何をいわんとしていることをつかみ、全体として筆者は何を言わんとしているかを読解していく。

履修上の留意点

宿題を多く出すので、必ずやってくること。

成績評価の方法

前期、後期のテスト結果と授業の態度出席状況を考慮して配慮を行う。

教科書

照山雄彦 著者 『総合英語Ⅱ』（土武印刷（株））

参考書等

その都度必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅢA	たか はし 高 橋 寛	営 A 3 年	2

講義のねらい

本講義では英会話の基礎を身につける為に、口語体を主体にリスニングと英作文の練習を中心に行っていきます。

成績評価の方法

評価は出席点と定期試験の結果を合わせて出します。

教科書

テキスト 『Everyday Talk』（朝日出版）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅢA	い と う み よ こ 伊 藤 美代子	営 A 3 年	2

講義のねらい

I A、II Aからさらに進んで高度な英語の運用能力をめざす。実際の経済ニュース記事を学ぶことにより、実社会の経済動向の理解も深めることも目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。本文を理解した後、和文英訳により英語力を強化する。また、内容についての英語による質疑応答、さらにヒヤリングの訓練も行う。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。また、半期に4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点と提出物により計算する。

教科書

Dave Hara, Yoko Okayama, Hayley Davies 『経済ニュースを読む（国内編）』『経済ニュースを読む（国際編）』（南雲堂）
1,600円（国内編）、1,500円（国際編）

[ドイツ語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA	<small>くりはら かずのぶ</small> 栗原 万修	営 A 1 年	2

講義のねらい

ドイツ語履修では、IAは文法、IBは講読です。このクラスではドイツ語文法を学びますが、できるだけ丁寧に、わかりやすく説明します。ただし、とくに初習の外国語は継続的に勉強しないと習得できませんので、出席を重視します。欠席がつづくとも簿から名前を抹消します。

成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、平常の出欠、学習意欲をも含め、すべてを総合して判断します。

教科書

在問進『現代ドイツ語（初級文法篇）』（郁文堂）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA	<small>まつおか すずむ</small> 松岡 晋	営 A 1 年	2

講義のねらい

下の「教科書」に記した教科書を用いて一年間でドイツ語の初等文法を学習します。

講義の内容・
授業スケジュール

ドイツ語の文字、発音規則の説明から始めて徐々に積み重ね、一年後には簡単なドイツ語の文章を読めるレベルに到達できれば、と考えております。授業では文法規則の説明が中心になりますが、それ以外に各課ごとに例文を列挙したコピーを配布し、実際のドイツ文に慣れていただきます。また、発音も重視して、随時、反復練習をおこないます。

履修上の留意点

文法学習は積み重ねですから、定期的に出席することを切に望みます。また、教科書以外に、最初の時間に何種類か示す中型の「独和辞典」のうちの一冊を必ず購入してもらい、それを毎回持参していただきます。

成績評価の方法

成績評価は、最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点（出席率、授業に取り組む姿勢など）によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

教科書

在問進ほか著『明るく楽しくドイツ語を [改訂版]』（三修社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA	<small>すぎもと まさとし</small> 杉本 正俊	営 A 1 年	2

講義のねらい

初めてドイツ語を習う学生に、ドイツ語文法の概要を説明する。文法という観点からひとつの外国語へ学生諸君を案内出来たら、と考えています。

講義の内容・
授業スケジュール

ドイツ語で使用する文字、発音の概要から始め、初級文法のひとつおりを省略なしに全て教えるつもりです。理解しにくい点は何度も反復説明し、学生が十分理解したかどうかを常に念頭に置いて授業を進めます。

履修上の留意点

学生諸君は、予習は必ずしも必要ではないが、授業中は勉強に注意を集中し、授業内容をよく理解して下さい。復習など、必要事項は授業中に指示します。

成績評価の方法

前後期2回の大きいテストの他、随時小テストを行い、平常点も重視する。

教科書

長谷川つとむ 他 『らくらくドイツ文法』（三修社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB	くりはら かずのぶ 栗原 万 修	営 A 1 年	2

講義のねらい

ドイツ語履修では、IA文法、IBは講読となっていますが、このクラスは初歩の実用的な会話を中心に授業をすすめます。ただし、初習の外国語は継続してやらないと力になりませんので、授業への出席を条件とします。欠席をしないように。欠席がつづくとも簿から名前を抹消し、再履修となります。

成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、平常の授業中の学習意欲、さらに出欠なども考慮しながら総合的に判断します。

教科書

入谷他『ドイツ語コミュニケーション』（三修社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB	おかもと ときこ 岡本 時 子	営 A 1 年	2

講義のねらい

初心者を対象に、ドイツ語が使えるようになるための基礎的学力、知識の養成を目指し、併せてドイツ語圏の文化、社会、歴史等についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期はドイツ語の発音・文法の基礎を中心に簡単な挨拶や文が言えるようにする。後期は辞書を引きながら平易なドイツ語の文章を読めるようにし、口頭では複文や重文が組み立てられるようにする。

履修上の留意点

受身に「教わる」授業ではなく、積極的に自分から「学び、考える」授業にしたい。

成績評価の方法

期末筆記試験・授業への出席・参加等を総合して評価する。

教科書

教科書は開講時までに指定する。

参考書等

参考書・辞書等については第一回目の授業で説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB	いがらし のぶこ 五十嵐 信 子	営 A 1 年	2

講義のねらい

やさしいドイツ文に親しむことにより、ドイツ語の基礎をよりふかく理解し、しっかり身につけます。一年間で一通りの文法をマスターし、ドイツ語の文章を辞書をひきながら読むことができますようになります。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) くり返しテープを聞き、また声に出して言うことで、ドイツ語を聞き取る力と正しい発音を身につけます。
- 2) やさしいドイツ文を聞き、読み、理解することで、ドイツ文法を理解し、これをしっかりおぼえます。
- 3) やさしいドイツ語会話ができるようになります。

成績評価の方法

年2回の定期試験および時間内の小テスト、これに出席や授業への参加態度などを加味して評価します。

教科書

『希望のドイツ語』小塩節著（朝日出版社）2,136円

その他

学生諸君にのぞむこと
身につけた文法を武器にドイツ文を理解することはそれ自体喜びです。しかしそのためにはドイツ語の知識を一つ一つ自分のものにしていく必要があります。つまり予習復習とともに休まず出席することが大切です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠC (会話)	^{まつおか} 松 岡 晋	営 A 1 年	2

講義のねらい

初級ドイツ語会話の授業です。ドイツ語の発音規則の説明・練習から始め、基本的パターンの学習を積み重ねて、一年後には自分に関する事柄をドイツ語で述べるできるようになり、日常的によくある状況にもドイツ語で対応できるようになれば、と考えております。

講義の内容・授業スケジュール

授業は教科書欄に掲げられる教科書に基づいて行われます。口頭練習のほか、カセットテープを用いてのヒアリング訓練もほぼ毎回行います。

履修上の留意点

会話のクラスですので、毎回出席して口頭練習することが出発点となります。是非とも定期的に出席するように！また、教科書はCD付きですので、それを用いた自学自習も求められます。

成績評価の方法

成績評価は、学期末その他に行われる口頭試験および平常点（定期的に出席して、口頭練習に積極的に参加しているかどうか等々）によって行います。

教科書

筑和正格ほか著『ドイツ語・インターアクティブVer. 2』（郁文堂） 2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA	^{やぶした こういち} 藪 下 紘 一	営 A 2 年	2

講義のねらい

中級文法を学びましょう。

成績評価の方法

成績は普段教室で、皆さんに発表してもらった平常点と、7月及び1月の試験の成績の合計で評価します。

教科書

M. Ferenbach u. B. Noonan: 『中級文法読本ドイツ語を読む』（朝日出版） 960円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA	^{かわかみ かずひと} 河 上 和 史	営 A 2 年	2

講義の内容・授業スケジュール

2年生は学力にかなり差があるので、最初の授業の時に幾つかの「授業プラン」を示して、学生諸君と話し合い、一年間の勉強の予定を決めます。いずれにしても初めのうちは、一年で学んだ「文法」の復習に、相当時間を割くつもりです。諸君の積極性に期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡC (会話)	^{のじま としあき} 野 島 利 彰	営 A 2 年	2

講義のねらい

会話には文章の蓄積が必要です。そのためにCD添付の教材を使います。自宅でそれを聞き、出来る限りその文章を暗記して下さい。授業ではその変形練習をします。たびたびヒアリングテストを行います。

成績評価の方法

ヒアリングテストの成績と、定期試験として行う口頭試験で成績評価します。

教科書

三宅・シュレヒト『ドイツ語70』（三修社） 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅢA	お だ し げ み 織 田 繁 美	営 A 3 年	2

講義のねらい

油絵を描くにしても、家の板塀にペンキを塗るにしても、二度、三度と絵筆で描いたり、ペンキで塗り込んでいくにつけ、美しさを増し、しっかりした出来具合になるように、このクラスでもこれまで一、二年で勉強したドイツ語が土台になり、更に磨きをかけるように授業を進めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

このクラスでは改めて文法の復習も重点的におさえながら、前期は単純な文で日常生活を扱ったり、日常生活に必要な事柄をテープで聞いたりしてドイツ語に馴染んでいき、後期は少し複雑な文で、今話題になっているような事柄が難なく読めるように持っていきたい。

履修上の留意点

ドイツ語という鋭い語感を高めるためには、一回一回の授業で演習することが重要なので、できるだけ出席するように努めて欲しい。

成績評価の方法

平常点を重要視する。

教 科 書

プリントを用いる。

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA	井 田 清 子	営 A 1 年	2

講義のねらい

フランス語をはじめて学ぶ学生のための文法中心の授業です。文章を理解するための基本的な文法事項の（動詞、名詞、冠詞、形容詞の用法など）を、一年間で習得し、生きたフランス語を、無理なく学び、使えるようにするのが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

文法と共に、実際に使われている基本的な表現に慣れるように、平易な例文を選び、フランス語が身につくようにわかりやすく構成されたテキストです。こうして獲得した文法知識を、例文の中で実際に応用しながら、各種の文章も理解できるようにしましょう。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜しまず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教科書

教科書は、『初級フランス文法案内』（第三書房）を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA	小 玉 齊 夫	営 A 1 年	2

講義のねらい

初歩のフランス語文法の授業として、基本的な文のしくみを、なるべく多くの例文を読みとおすことによって理解していきたいと思います。一年次の目標は、自分で辞書をひいて、音読を試みながら読解していくことですが、そのためには、覚えている単語、表現の数が多ければ、聞き取りの場面でも有利になるはずで、つとめて、記憶機能と、記憶を呼び起こす機能を鍛えるようにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

必ずしも教科書の構成にこだわらずに、日常的な表現を重視して、各課の課題をこなしていきたいと思っています。

履修上の留意点

上のようなことも考慮すれば、特別な場合を除いて、授業には毎回出席して、そのつど、覚えるべきことを確認していくようにしてください。

成績評価の方法

随時行う小テスト、それに、前・後期の試験によって、成績評価をします。

教科書

小石・ガポリオ『グラメール・オ・コティディアン』（第三書房）2,000円

参考書等

辞書等については、最初の授業時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅠA	^{と お や ま ひ ろ お} 遠山博雄	営 A 1 年	2

講義のねらい	基礎的な文法知識をきちんと身につけること。
講義の内容・ 授業スケジュール	はじめに詳しい説明をし、その後で、練習問題をやります。
履修上の留意点	必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きもらさないこと。
成績評価の方法	3回の筆記試験を行ないます。動詞活用の書き取りもあります。
教科書	天羽均他著『初級フランス語文法（改訂2002年度版）』（朝日出版社） 2,000円
参考書等	最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅠB	^{ま え だ の り か ず} 前田祝一	営 A 1 年	2

講義のねらい	音としてのフランス語の学習を主眼にして、この新しい外国語に慣れ親しんでもらいます。
講義の内容・ 授業スケジュール	もちろん、すでに学んだ文法事項を基礎にして、応用能力も養います。
履修上の留意点	毎日が新しいことの連続で、すでに学んだことが理解できていることを前提に、次の授業を行ないますので、絶対に欠席しないこと。
成績評価の方法	前・後期末のペーパー・テストで成績評価をしますが、授業中の課題・出席状況も考慮します。
教科書	大阪日仏センター編『ドゥ・コンセール, I』（朝日出版社）、1,553円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅠB	^{た に か わ} 谷川かおる	営 A 1 年	2

講義のねらい	旅行で使うフランス語を通じて、フランス語の基礎を学びます。実用的なフランス語に親しみながら、フランス（フランス語圏）を一人で旅しても困らない語学力をつけることを目標とします。
講義の内容・ 授業スケジュール	まず、旅行のさまざまな場面で必要とされるフランス語表現を暗記し、関連する文法を習得します。基本が理解できたら練習問題に取り組み、応用表現を学びます。毎週授業の最後に、暗記のための小テストを行います。
履修上の留意点	教科書に付属するカセットテープをなるべく繰り返し聴き、耳からフランス語に親しむようにして下さい。
成績評価の方法	前期・後期試験および毎週の小テスト。
教科書	瀬戸秀一・瀬戸和子、『街かどのフランス語』新訂版（朝日出版社）2,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠB	はま さき せつ お 浜 崎 設 夫	営 A 1 年	2

講義のねらい

文法読本の教科書を使い、文法を復習しつつ初級の文章を読解できるようにする。またフランス文化に対する関心を強めてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

発音の練習から始めて、約20回の授業で、最終段階の接続法まで進みたい。1課ごとにまず文法を説明し、文章の和訳と練習問題を宿題にする。レポートを2度出してもらう。

履修上の留意点

なるべく遅刻欠席をしないこと。必ず復習すること（予習は必要なし）。ノートを用意すること。毎回辞書を持って来ること。辞書は最初の授業で紹介する。

成績評価の方法

出席回数、宿題をやって来た回数、前後期の試験の成績、レポートの内容等に基づいて評価する。

教 科 書

山下『カイエ・ド・フランス』（駿河台出版）

参 考 書 等

前もって買う必要はない。授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠC（会話）	き ど う く み こ 佐 藤 久 美 子	営 A 1 年	2

講義のねらい

フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、挨拶の表現から始めて、日常会話を中心にコミュニケーション力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

発音練習と応答訓練に重点を置く。文法解説は必要最小限にとどめ、繰り返しによってフランス語に慣れてもらうことを目指す。

履修上の留意点

出席を重視する。会話の授業であるので、出席しなければ何の意味もないことをよく理解し、授業に臨んでもらいたい。年間授業回数の三分の一以上欠席した場合は評価の対象からはずす。ただし出席さえしていればよいというのではなく、積極的に授業に参加することが肝要。音声教材を用意するので、授業時以外にも自主的に聞き取り・発音練習をすることが上達への道である。

成績評価の方法

前・後期の試験の結果、授業への参加度などから総合的に判断する。試験の内容は、聞き取り、応答、発音を予定している。

教 科 書

曾我・中井、他著『コレクション フランス語(1)入門』（白水社）定価1,890円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA	ま え だ の り か ず 前 田 祝 一	営 A 2 年	2

講義のねらい

レベルを中級フランス語に設定します。したがって、1年生で勉強したフランス語の後半部分から始めて、かなり詳しくじっくりと学習して行きます。仏検3級が取れる程度まで。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って進め、こまかいニュアンスの違いも感じ取ってもらいます。

履修上の留意点

初級フランスの単位が取れていない人、またあまり自信のない人は、自分で参考書を入手して、勉強をやり直す覚悟でいること。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、授業中の課題・出席状況にも配慮します。

教 科 書

久松健一他編：『ボン・ヌフー中級レベル50の鍵ー』（駿河台出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	と お や ま ひ ろ お 遠 山 博 雄	営 A 2 年	2

- 講義のねらい 辞書を使ってやさしいフランス語の文章を読み、発音すること。
- 講義の内容・授業スケジュール 1年次でやり残した文法事項の説明をまずませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に熟読していきます。後期は短い読み物に挑戦します。
- 履修上の留意点 必ず辞書を持って出席すること。
- 成績評価の方法 2回の筆記試験を行いません。リスニングも含まれます。
- 教科書 藤田友尚著『ネット時代のフランス語』（白水社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡC（会話）	た け だ ま さ ず み 竹 田 正 純	営 A 2 年	2

- 講義のねらい 会話の授業であることを念頭においてほしい。まず自分で声を出す、そしてそれに応える声に耳を傾ける。これらのことが十分かつ楽しくやってゆけるような授業にしたい。
- 講義の内容・授業スケジュール これまでに習った文法その他の事項の復習にも十分な時間をさくつもりであるので、フランス語の力に少々不安があっても、気にしないでどんどん話すよう努めてほしい。とにかく、声を出すことである。
- 履修上の留意点 テキストは、日常の挨拶からはじまって、自己表現ができるように注意深く組まれている。別冊として、「文法ノート」「自習ノート」が付いているので、授業外の自習にも最適である。十分に活用してほしい。
- 成績評価の方法 いうまでもなく、評価対象は会話能力である。しかし、話したことは書けなくてはならない。この点も評価対象にしつつ、前・後期の最終日に話す能力のテストもおこなう。
- 教科書 大木他『初めてのフランス旅行』（駿河台出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅢA	た け だ ま さ ず み 竹 田 正 純	営 A 3 年	2

- 講義のねらい これまでに培ったフランス語力の一層の充実をはかりたい。
- 講義の内容・授業スケジュール テキストは、今日フランスで起こっている事柄をフランス語で読むという意図で、時事問題を扱ったものを選んだ。フランス語の勉強のほか、フランスの「現在」を学ぶことにも努めてほしい。
- 履修上の留意点 文法の復習、発音練習にも十分な時間をさくので、この点にも留意して参加してもらいたい。
- 成績評価の方法 前・後期最終日におこなうテストを中心に評価するが、平常授業にも真剣に取り組んでほしい。
- 教科書 プリントを配布する。

中国語

中国語 I A・I B

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

I A - I B という週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。I A - I B の組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語 I C (会話)

「聴く、話す」といった会話中心に構成される。I A - I B で学ぶ基礎的な文法と語彙を、口と耳の反復練習を通じて音声的に定着させ、3年次まで必修となる1カ国語集中学習の基礎を築くことを目標とする。

中国語 II A

I A - I B の学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1～2編の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中区勇程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語 II C

音声による言語運用能力の更なるブラッシュアップを目指す。基礎会話から応用会話へという方向性は言うまでもないが、新たな文法上の知識は特に必要とせず、むしろ1年次に習った語彙や文法に基づいて自分の言いたいことを形にしていくための反復練習が教室での作業の主要部分となる。

中国語 III A

これまでの学習の蓄積の上に、主として中国語の読み書き能力の向上を図る。授業数は週1回に減るので、教材は音声よりも長文読解や作文が中心となる。時には読み方が判らぬ字があっても停まらずに読み進めて大意をつかんだり、少しまとまった思考内容や状況説明を口頭でなく文章で相手に伝えたりするシミュレーションを通じて、中国語の処理における一定のスピードを体感し、部分的に中国語を介した情報収集や商務に可能性を拓くことを目指す。

【辞書について】

○必修科目のみの学習の場合

- ・松岡榮志ほか『クラウン中日辞典』（三省堂） 4,000円
- ・上野恵司『基礎中国語辞典』（NHK 出版） 3,500円
- ・武信彰『プログレッシブ中国語辞典』（小学館） 3,500円
- ・相原茂『講談社中日辞典〔第2版〕』（講談社） 6,500円

ここに挙げた以外にも、同規模あるいはさらに小型の、また中日・日中を1冊で間に合わせるような辞書が幾つか出版されているが、内容が粗雑であったり、古かったり、学習に必要な配慮を欠いていたりで、薦められない。なお、日中辞典は必携ではないが、以下のものが手元があれば重宝するであろう。

- ・北京・对外経済貿易大学『日中辞典〔第2版〕』（小学館） 7,000円 2002年
- ・倉石武二郎、折敷瀬興『岩波 日中辞典〔第2版〕』（岩波書店） 5,000円 2001年

○必修科目以外にも学習する場合は、以下のうち、実際に手に取ってみて気に入ったものを選ぶとよい。かなり値が張るものが多いが、じっくりと親しみ使い込むほどに、大枚を叩いた以上の恩恵が身にしみるのもこれらの書である。

- ・相原茂『講談社中日辞典〔第2版〕』（講談社） 6,500円
- ・伊地智善継『白水社中国語辞典』（白水社） 7,800円
- ・商務印書館・小学館『中日辞典』（小学館） 6,800円
- ・愛知大学『中日辞典〔増訂第2版〕』（大修館書店） 8,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅠA	工藤早恵	営 A 1 年	2
中国語ⅠB	曹泰和		2

講義のねらい

中国語学習の基礎となる発音をしっかりとマスターした後、基本的な語彙や文法を身につける。

履修上の留意点

初めて学ぶ言語は、特に授業での反復練習に参加することが非常に大切である。欠席せずに毎回出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、平常点、小テスト、定期試験によって総合的に評価する。

教 科 書

相原茂 陳淑梅著『語学三十六景』（東方書店）2,400円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA	関口 加津子	営 A 1 年	2
中国語ⅠB	胡 玉華		2

講義のねらい

中国語で「読む」「書く」「聞く」「話す」能力、つまりコミュニケーション能力を育てるための基礎固めをする。

講義の内容・授業スケジュール

中国語の音節構造を理解し、音声として中国語を捉えられるようにする。音声を表記するため、中国語式ローマ字表記法（ピンイン表記）をマスターする。中国語の正しい発音を身につける。中国語の基礎的な文法構造を学ぶ。年間学習単語数約600語。

履修上の留意点

常に予習、復習を心がけ、音声教材などを活用して、聞き取り力を高める努力をすること。授業中は積極的に発話し、自ら発音の矯正に努めること。遅刻をしないこと。

成績評価の方法

年間3、4回行う試験の成績、通常の授業中に行う小テストの成績、授業態度、出席状況などをもとに総合的に評価する。

教科書

渡辺晴夫・楊幸雄・高村麻美著『フレッシュ中国語』（改訂版）（白水社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA	天野 節	営 A 1 年	2
中国語ⅠB	布施 直子		2

講義のねらい

文法を踏まえ、「読む」、「聞く」、「書く」、「話す」という四技能を関連付けながら学習して行けるよう援助する。最終的には、その後独学でも継続して学習して行ける基本的な能力を修得することがねらいである。

履修上の留意点

最後まで情熱を持ち続け学習する決意をして、授業にのぞんで欲しい。

成績評価の方法

出席、授業態度、課題、小テストによる平常点と期末テストの結果を合わせ総合的に評価する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

参考書等

授業の中で紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA	前川 亨	営 A 1 年	2
中国語ⅠB	下出 宣子		2

講義のねらい

二人の教員が同一の教科書で週二回の授業を行う。一ヶ月を目途に発音の習得を目指し、その後IAで文法事項の説明を、IBで練習（本文）と会話訓練を行う。正確な発音で比較的容易な文章が読め、簡単な会話と聞き取りができるようになることを目標とする。

履修上の留意点

復習を欠かさないこと。音読の訓練では大きな声を出すこと。遅刻や欠席は極力避け、授業には集中してとりくむこと。私語する者、授業に非協力的な者に対しては、以後の受講を断るので、そのつもりで。

成績評価の方法

前期後期の期末考査と小テストによる。評価はA・Bそれぞれに行なう。遅刻・欠席は減点の対象となる。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA	しおはた しんいちろう 塩 旗 伸一郎	営 A 1 年	2
中国語ⅠB			2

講義の内容・
授業スケジュール

中国語の音声的魅力を最重視し、懇切丁寧に発音を指導する。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、年間を通じて聞き取り小テストを盛大に執り行う。

履修上の留意点

鏡を持参のこと。学習歴のある英語と異なり、中国語は毎回出席当然。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+欠席点。前・後期とも欠席3回目から10点ずつ減点する。

教科書

沈国威・内田慶市『新・チャイニーズステーション』（好文出版）2,400円（テープ付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA	かまご けんしゅう 釜屋 修	営 A 1 年	2
中国語ⅠB	まへがわ けんしゅう 前川 亨		2

講義のねらい

釜屋（A）、前川（B）が同一教科書で授業を行う。発音、ピンイン表記、基本文法の習得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

正確な発音、簡単な文章の音読・解釈と作文、基本会話の実践をめざす。

履修上の留意点

自主的な予・復習、前向きな学習姿勢、外国語への大胆なとりくみを求める。授業を阻害する行為（私語、携帯電話の受信等）は許さない。出席は初級段階ゆえ皆出席を原則とする。

成績評価の方法

年間数回の小テスト、宿題、前・後期の期末考査、平常点、出席状況等から総合的に判定する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社） 2,300円

参考書等

辞書については、開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠC（会話）	とばり よしかつ 戸 張 嘉 勝	営 A 1 年	2

講義のねらい

中国語を学ぶ場合、発音と声調を正確に覚えるのが最も大切なことである。発音をしっかりマスターして、語彙を増やし、そして「聞く」と「話す」基礎をつくるのがこの授業のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

発音と声調に重点を置き、同時に簡単な会話を行い、発音を聞いて、その声調やピンイン・漢字の書きとりなど、耳と口を中心とする授業を行い、聞きとりと会話の基礎をつくる。授業の展開順序は教科書に従います。

履修上の留意点

出席率は成績に加味する。

成績評価の方法

前後期の中間テスト・前後期の期末試験・出席率そして授業態度などによって評価する。

教科書

相原茂著『中国へのパスポート』（朝日出版社） 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA	まつもと あつとし 松 本 丁 俊	営 A 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国の故事や民話、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、易しい文章から順に配列したテキストを使用。長文学習では、単に読解力の向上にとどまらず、中国人の生活、風俗習慣、ものの見方、考え方なども垣間みることができる。それによって、中国をより多く知ることができるだろう。

教 科 書

陳栄生 頼石傅 蔡柱国編著『現代中文読本』(神保出版) 1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA	ふくち けいこ 福 地 桂 子	営 A 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国語Ⅰで学んだ文法の基礎を確認しつつ、少し長い文章を読む。又中国の歴史、文化についての理解を深める。

履修上の留意点

新出単語については必ず辞書を引いてくること。読みの練習をしておくこと。

成績評価の方法

期末テスト+平常点。(テストでは読解、文法のほか発音テストも行う)。出席が5分の4に満たない者は失格。

教 科 書

小川郁夫『中国を知るための中国語中級テスト』(白帝社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA	ちん しゅうきよ 陳 洲 挙	営 A 2 年	2

講義のねらい

発音と基礎文法の復習、定着、中級程度の語い、文法、文型の学習、そして長文の文章構成の把握等を目標として、中級程度の読解力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

作者がいろいろな違った角度から中国の有名な都市の一つの側面を紹介した文章で綴ったテキストを使用。全22編なので、1回毎に1課のペースで授業を行う。文法項目と単語の解説がついているので、自習しても内容を把握することがある程度できるはず。授業中一人ずつ、少しずつ読んで、訳してもらって、そして発音の訂正とこまかい説明を行う。

履修上の留意点

辞書を引いて予習することが必要。本文の漢字にピンインがついているし、本文のカセットテープもあるので、予習は簡単。

成績評価の方法

テキストよりやや簡単な中国語の文章を日本語に訳す。辞書持ち込み可。後期のテストの成績を重視する。

教 科 書

陳洲挙他『中国名都物語』(中国文化出版センター) 1,800円

参 考 書 等

『簡明中日、日中学習詞典』(中国文化出版センター) 3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	ひろかね かなこ 弘 兼 加奈子	営 A 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

一年次で学んだことを定着させ、更に発展させることを目標とする。
 課文には現在の中国事情に関するものが多く取り上げられている。翻訳が中心となるが発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

年数回のテスト、提出物、教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

山下輝彦『今日の中国トピック12』（金星堂）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	こ ぎょくか 胡 玉 華	営 A 2 年	2

講義のねらい

ピンインの付いた読み物の講読を通して、初級の授業で身につけた中国語の発音、読解力の基礎を実用的なレベルに高めることを目指す。また教材を通して、今日の中国社会がもつ様々な姿及び中国人の考え方や生活スタイルなどを理解する機会ともしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

本文の朗読・翻訳及び関連語彙・語句を用いた作文練習。

履修上の留意点

『中口辞典』を用意すること。
 受講者は毎回十分な予習をした上で、出席すること。

成績評価の方法

「A+α」制で評価する。「A」は定期試験による評価；「α」は、出席状況、宿題の出来具合、授業中の積極性などによる評価。

教科書

孟广学・本間史『中国は今』（白水社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡC（会話）	いん けいしゅん 尹 景 春	営 A 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

生きた中国語を習得するために欠かせない会話とヒアリングに重点をおく。授業の進め方としては、日常会話の場面を想定して、さまざまな表現を取り上げ、反復練習を行う。また、応用力を高めるために、多くの文型を学び、豊かな会話能力の習得を目指す。テキストは、帰国した王さんと彼女と同行して北京見物に出かけた山田君と高橋さんの会話からなる。

履修上の留意点

積極的に勉強をすること。テープ等活用して十分練習すること。

成績評価の方法

年間4回程度のテストの成績、平常点（出席率、授業態度等）を合わせて評価する。

教科書

竹島金吾『中国語さらなる一歩』（白水社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅢA	尹 景 春 <small>いん けいしゆん</small>	営 A 3 年	2

講義のねらい	中国社会・文化などに関する文章を読みながら、基本文型、慣用句などのマスターを目指す。
履修上の留意点	語学は独学ではなかなか進歩しない。一番効果的な勉強は授業に積極的に参加すること。
成績評価の方法	出席率、テスト（定期試験のほか、小テストも随時におこなう）、学習態度で総合評価する。
教科書	プリント配布（その後の適当な時期にテキストを指定する）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅢA	塩 旗 伸 一 郎 <small>しお は た しんいちろう</small>	営 A 3 年	2

講義のねらい	これからの時代、日常生活の中で中国語に触れるシーンは専攻を問わず増えていくだろう。会話はできなくても、短い文章の大意を掴んだり簡略に意志を伝える文を書けることは、有用な教養となり得る。2年間学んだ中国語を将来に生かすため、コンピューターを使ったりテラシー（読み書き能力）の初歩的訓練を行う。
講義の内容・授業スケジュール	「速読」と「写作」から成る。「速読」は見出し等のの短文を初見で読み、凡その意味を掴む。画面上で自動的にピンインのルビがつくので心配は要らない。
履修上の留意点	「写作」は予習・復習が必要。電子ファイルで提出を求めるので、コンピューターを持たない人は必ず自習室使用の手続きをとること。
成績評価の方法	平常点で評価。欠席が3回超えた場合は理由を問わず10点ずつ減点。
教科書	董燕・遠藤光暁『インターネットで中国語』（三修社）2,600円
参考書等	辞書は必要である。中日大辞典（大修館書店）、中日辞典（講談社 or 小学館）、中国語辞典（白水社）および日中辞典（小学館）を推奨する。既に所有していればなるべくそれで間に合わせたいが、際立って薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安値な辞書は必要なときに役に立たないので、買い換えることをお勧めする。
その他	教場は総合情報センター。

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA	ナバローボロ, L. S.	営 A 1 年	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞（不定冠詞・定冠詞）・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞ESTAR・SERとESTARの相違点・HAYとESTARの相違点・指示詞・否定文
5. 動詞TENER・所有詞・TAMBIENとTAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞（AR動詞・ER動詞・IR動詞）・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞 1・TENER QUEとHAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞 2・IR A+不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・SABER・CONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞GUSTAR
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞

履修上の留意点

定期試験-7月と1月-

教科書

石崎優子/フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

参考書等

『現代スペイン語辞典』（白水社）・『西和中辞典』（小学館）
『新スペイン語辞典』（研究社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA	なかがわ きよし 中 川 清	営 A 1 年	2

成績評価の方法

前期・後期の各期末にテストを行うが、平常の授業の参加意欲を重視する。なお、希望者に対して課題レポートを提出させ、その成績を加点する。

教科書

中川・児玉「スペイン語への誘い」（芸林書房） 2,200円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA	かめやま こういち 亀 山 晃 一	営 A 1 年	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA	みやち たつろう 宮 地 達 郎	営 A 1 年	2

講義のねらい

英語につぐ世界語のスペイン語にたいする興味を持たせる。大学入学まで学習してきた英語との対比で授業を行い、日本語対英語・スペイン語の比較も学習する。

履修上の留意点

各課の練習問題の提出は生徒の自主性に任せる。提出された問題は教員が添削した後、次週生徒に返還する。

成績評価の方法

前期、後期のテスト、練習問題提出、出席で総合判断する。

教科書

宮本博司著 『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠB	さとう まりの 佐 藤 麻里乃	営 A 1 年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的特徴を理解する。

履修上の留意点

初回の授業で述べる注意事項を必ず守ること。

成績評価の方法

出席率、授業態度、小テスト、学期末試験等を総合して評価する。詳しくは初回の授業で述べる。

教科書

寺崎英樹著 『スペイン語文法のシステム』（同学社）

参考書等

『西和中辞典』（小学館）、『現代スペイン語辞典』（白水社）
『新スペイン語辞典』研究社、『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）など。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B	よねだ ひろみ 米 田 博 美	営 A 1 年	2

講義のねらい

現代が直面する不確実性の時代において、確かな知恵、確かなビジョン、確かな手段をもつことは、人々に生きる勇気や自信、そして希望をもたらすものです。大学という恵まれた環境の中で、自ら知性を高め、新たな知的付加価値をつけることができることは幸せなことです。約4億の人口を有し、20カ国以上の国々で話されるスペイン語は、「神が話す言葉」と言われるほど美しい言葉であり、国連公用語の一つでもあります。スペイン語圏諸国の自然は魅力に富み、音楽、文学、芸術などの文化は多様で豊かです。こうした国々で話されるスペイン語は、発音しやすく聞きとりやすいと言われますが、言葉をマスターする上で、何よりも意欲、心構えが最も大切であります。強い目的意識をもって、授業にのぞんで下さい。

講義の内容・授業スケジュール

年間スケジュールとして、下記テキストの1～7課までの範囲を学習します。

履修上の留意点

語学の学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、欠席をしないように。仮に欠席をしたとしても、自らの努力で補うことも充分可能であり、折角定めた初心を安易に放棄しないことを望みます。

成績評価の方法

成績は、一般の授業態度、出席、テストなどにより総合的に判断します。

教科書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』（芸林書房）

参考書等

辞書は、各自自由に選択して下さい。参考までに、『和西中辞典』（小学館）、『現代スペイン語辞典』（白水社）、『新スペイン語辞典』（研究社）などを推薦しておきます。

その他

スペイン語圏の文化を紹介したビデオや短編映画を鑑賞できる機会もつくる考えです。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I B	くりばやし ゆきえ 栗 林 ゆき 絵	営 A 1 年	2

講義のねらい

スペイン語の基本的な文法の体系を学び、簡単な新聞や小説が読めるようになることを目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、文法事項の説明とそれを応用した練習問題、という構成で進める。また随時小テストを行い、そこまでの内容を整理する。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。

履修上の留意点

練習問題に出てくる単語の意味は調べてくること。辞書は授業中に使用するので必ず持ってくること。（辞書を持参しない者は欠席扱い）

成績評価の方法

前後期の試験と平常点（出席・発言）、小テストを合わせて評価。試験、平常点ともに60%以上とることが単位取得の最低条件である。

教科書

西川喬『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）2,200円

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠB	おぎのまさし 荻野雅司	営 A 1 年	2

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようになります。

さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回の正規のテストを行いますが、総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

参考書等

使用する教科書等は開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠC (会話)	ルイズティノコ, C.	営 A 1 年	2

講義のねらい

この授業ではスペイン語の文章を読んで、基本的な文法を学び、練習をしながら、スペイン語の構造や表現になれ、会話能力を高めることを目指す。

成績評価の方法

前期と後期の成績と授業参加の状態で評価します。

教科書

Sanchez, Rios, Dominguez著『ESPANOL EN DIRECTO IA』 (発行所、SCEL)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	みやちたつろう 宮地達郎	営 A 2 年	2

講義のねらい

英語と比較して再度スペイン語に対する興味を持たせる。

履修上の留意点

最低復習をして、質問あれば次週にそれを行うことはしてほしい。

成績評価の方法

前・後期のテスト及び出席点。

教科書

『新日本語の基礎Ⅰ 分冊スペイン語訳』(スリーエーネットワーク)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	ナバローポロ, L. S.	営 A 2 年	2

講義のねらい

日常会話の表現の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 比較級・比較級の不規則形・最上級
2. 直説法過去：規則動詞と不規則動詞Ⅰ・過去の時を特定する表現
3. 直説法過去：不規則動詞Ⅱ・過去における期間の言い方
4. 直説法不完了過去・過去の不定期間の表現
5. 未来形・IR+Aについて・未来を表わす語句
6. 天候と無人称表現・その他の無人称表現
7. 現在進行形・不規則現在分詞
8. 現在完了

履修上の留意点

定期試験-7月と1月-

教科書

石崎優子/フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡC（会話）	<small>うえのかつひろ</small> 上野 勝 広	営 A 2 年	2

講義のねらい

スペイン語ICで培った基礎をさらに発展させるクラスです。スペイン語圏の生活で、ごく日常的な場面に対処できる聴解力と会話を身に付けてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを利用して、既習事項の確認しながら口頭練習を中心に進めます。前期は6課まで、後期は7～12課を扱う予定です。同時にいくつかのビデオを副教材として活用します。

履修上の留意点

受講者は教師やCD・ビデオのスペイン語を理解するよう神経を集中して聴き、しっかり声を出してゆくことが必要です。

成績評価の方法

平常点（出席と会話練習の受け答え）を重視します。また自己紹介などのミニスピーチを含むオーラルテストを前・後期に1回ずつ実施し、その結果を含めて総合的に評価します。

教科書

大森洋子/廣康好美『生活@スペイン. スペイン語』CD付き（芸林書房）3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅢA	<small>うえのかつひろ</small> 上野 勝 広	営 A 4 年	2

講義のねらい

2年間学んできたスペイン語の基礎力を総合的に発展させるクラスです。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、スペインの文化の諸相に関する文章を講読します。前期は10課まで、後期は11～20課を扱う予定です。また、内容に関連するビデオも時々視聴します。

履修上の留意点

毎回の授業に一定量の予習が要求されます。

成績評価の方法

年間4回のテストと平常点を総合的に評価します。

教科書

西川喬/セフェリーノ・プエブラ『スペインを知るために』（第三書房）2,100円

ロシア語

外国語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際的時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多に価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。駒澤大学での必修クラスのロシア語は1週間に2度しかありませんが、与えられた時間を最大限に有効に使うべく、次のような目標と年間スケジュールで授業はすすめられます。

なお、ここで参考までに辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』(研究社) 東郷正延他著
- 『露和辞典』(岩波書店) 和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』(博友社) 木村彰一他編
- 『和露辞典』(研究社) 藤沼 貴著
- 『和露辞典』(講談社) 佐藤 勇著

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠA	すぎやま ひでこ 杉山 秀子	営 A 1 年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 - 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
 - 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 - 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 - 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

戸辺又方 編『1年生のロシア語』(白水社)
杉山秀子他『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,600円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I B	^{ひろ} ^た ^{ひで} ^{やす} 廣 田 英 靖	営 A 1 年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・
授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

戸辺又方 編『I年生のロシア語』(白水社)
杉山秀子他『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,600円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I C (会話)	^さ ^の ^あ ^さ ^こ 佐 野 朝 子	営 A 1 年	2

講義のねらい

このクラスはロシア語をはじめて学ぶ学生を対象とします。文法を学び、辞書を使ってテキストを読んでいくクラスよりロシア語をより身近に感じるよう、500ぐらいの単語だけを使って、発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡA	木村英明 <small>きむら ひであき</small>	営 A 2 年	2

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

1年次に使用した教科書と文法表。

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡC (会話)	クロチコフ, Y.	営 A 2 年	2

講義の内容・授業スケジュール

以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習する。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。

教科書

プリント配布。

その他

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅢA	クロチコフ, Y.	営 A 3 年	2

講義の内容・授業スケジュール

以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習する。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。

教科書

プリント配布。

その他

ビデオ、オーディオ等を使用します。

[再履修クラス] [英 語]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA〔再クラス〕	<small>にしむら ゆうこ</small> 西 村 祐 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

英語による電子メールの書き方を修得しながら「苦手な英語」から「使える英語」を習得することをめざす。基本的なタッチタイピングから指導し、インターネットをつかって英語で海外の各地の情報を得たり電子メールをといあわせたりしてみる。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期：自己紹介の仕方、確認、問い合わせ、お礼の英文メールなど基本的な英語表現を学ぶ。
後期：インターネットのウェブサイトをつかって実際に問い合わせ、サイトの感想のメールなどをかいてみる。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものをもちいてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、事前におこなっておくこと。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。タッチタイピング修得用にフロッピーディスクを用いるので、はじめの授業から、かならず一枚持参のこと。

成績評価の方法

成績評価：ほとんど隔週ごとに課題が与えられ、電子メールでの課題提出がある。電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。なお、出欠はすべてその場での電子メール送付によって課題提出という形態での確認となるため、学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。

教 科 書

テキスト：『*Subject: E-mail: writing effective message.*』 (南雲堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA〔再クラス〕	<small>かわまた ようたろう</small> 川 股 陽 太 郎	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

入学時の英語の基礎として英語の運用能力をやしなう。

講義の内容・ 授業スケジュール

ヒヤリング、スピーキング、ライティングの運用能力練習をする。ビデオ (VHS、DVD) 等も使用する。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

発表、小テスト、定期試験の成績を総合し評価する。

教 科 書

プリント教材を適宜配布、使用する、教科書は未定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA〔再クラス〕	<small>ひろかわ おさむ</small> 広 川 治	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

映画のシナリオをテキストに使用する。

履修上の留意点

遅刻、居眠等は欠席扱いとなる厳しい授業。

成績評価の方法

平常点と前後期試験で評価。

教 科 書

授業内に購入を指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA〔再クラス〕	お 太 田 美 智 子 お た み ち こ	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語を使えるようになることを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

会話の基本フレーズを身につけ、応用する力を養いましょう。但し、大学の英語ということを加味し、表層的な会話だけでなく、もっと有意義且つ知的な英語の楽しみ方を学ぶ場にしたいと考えています。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業にのぞむこと。単位の取得ではなく、各々の実力を向上させることが目的であるということを銘記してください。

成績評価の方法

平常点、授業中の態度、予習の有無、レポートの内容、等々からの総合評価。

教 科 書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA〔再クラス〕	い と う 藤 美 代 子 い と う み よ こ	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

英語による意思伝達を可能にすることがまず第一の目的。当然、ライティングだけでなく、スピーキングの訓練も行う。ライティングは、センテンスからパラグラフまで、スピーキングは日常会話からスピーチまでをめざす。その過程で当然、ヒヤリングの訓練も行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・
授業スケジュール

原則として、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用し、日本語の説明は必要最小限に抑える。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。また、半期に4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点、提出物により計算する。

教 科 書

1. Nobukazu Aoki, Haruo Erikawa 『コミュニケーションのための基礎英作文』 (金星堂) 1,850円
2. 伊藤美代子 (編著) 『さらばジャパニーズイングリッシュ』 (北樹出版) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA〔再クラス〕	た か は し 高 橋 寛 た か は し ひろし	全 学 科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英会話を学ぶには語彙力や文法的知識を身につけることはもとより、口語体特有の言い回しも覚える必要があります。本講義では特に後者に力を置き、なるべく多く会話に役立つ表現を覚え、それを実際に使う練習を行っていきます。

履修上の留意点

講義に臨む際、こちらがあらかじめ指定した部分については必ず予習をしておいてください。予習を怠ったもの、テキストを持ってこないものは欠席とみなします。

成績評価の方法

評価は出席点と定期試験の結果を合わせて出します。

教 科 書

『Terrific Talk』 (金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA〔再クラス〕	よし え ま さ お 吉 江 正 雄	全学科2年	2

講義のねらい

英文を正しく読み、発音し、その上で英文を正しく理解することを目標とする。しかし、そこには当然、構文の理解、文法的な正しい解釈も伴われなければならない。これからのことを総合的に学びながら、文明の黎明期、言語の発達段階等についても学ぶことになる。

講義の内容・授業スケジュール

一講時に進む範囲は大体決まってくるので、その範囲の読みと、解釈を中心に据え、後に文法・構文の説明を加える。小説家による美しい文章に触れ、美しい英文の書き方に繋げたい。

履修上の留意点

大体決まってくる一講時に進む範囲の予習をしてもらうことを望む。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均点をベースに、授業参加の積極度、発表回数等を鑑みて評価を出す。ただし、授業総数の三分之一を越える欠席のある学生の評価は出ないから注意すること。

教科書

『A Short History of the World』（こびあん書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA〔再クラス〕	前期：八十木 裕 幸 後期：中 尾 俊 光	全学科2年	2

講義のねらい

ことばの習得には誤りがつきものである。特に日本人がおかしやすい誤りを選び、これまで気付かずにいた誤りを訂正し、活用して総合的な技能の向上を計る。

講義の内容・授業スケジュール

文法項目の点から分類。特に述語動詞、準動詞、助動詞、時制、名詞、代名詞、形容詞、限定詞等を取り扱う。

履修上の留意点

参考書、辞書等を用いてよく調べてもらうこと。

成績評価の方法

前期テスト、小テスト、レポート、出席状況、発表成果等を総合して評価します。

教科書

J.B. HEATON 『誤りから学ぶ英語演習』（英潮社） 1,400円（税別）

参考書等

ND Turton 『Longman Dictionary of Common Errors—New Edition—』 Longman Corpus Network

その他

授業は演習形式で行ないます。かならず一回は発表してもらいますので予習を忘れることなく行ってきて下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA〔再クラス〕	つかもと とし お 塚 本 利 男	全学科2年	2

講義のねらい

絶えず文法・語彙などの知識の増強を図りながら、英語の語順・文章構造を確実に理解し、日常生活の様々な事柄について英語で表現する事を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

各章で①基本文法事項②練習問題③発展問題さらに学習した事柄についての確認をする④復習問題をやりながら、運用の能力の練習をします。授業の最後に、毎回総仕上げとして、日常の身近な事柄、例えば、日本の四季、大学生生活、コンパなどについて意見・考えを英語で記述してもらう小テスト（15～20分）を行います。

成績評価の方法

授業における発表・小テスト・前・後期の定期試験に基づく。全評価のうち授業時での発表・小テストが、50%、前・後期の定期試験が50%で評価します。特に、平常授業を重視しますので、全授業数の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教科書

『語順が身につく英作文』（朝日出版） 1,800円＋税

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA〔再クラス〕	かわしま ひろゆき 川 島 弘 之	全学科2年	2

講義のねらい

受験英語を生かして、英語を楽しんでもらうことを目指す。そのためには、学生が強い関心と興味を抱いているロック音楽を教材として使う。学生1人1人のロック音楽等のリクエスト曲を中心に授業を行う。

現代の若者にとって、ロック音楽の歌詞はかつての英詩にとって代っているばかりか、現代詩の一翼になっている。ロックの中には「生きがい（生きる真の目的、生きる意味、価値）」や「LOVE」について深い考え方や感性がこめられているので味わってもらいたい。ロック音楽を通して、人間の心が揺さぶられ、英語感性が磨かれ、人間と社会、人間と自然、人間と人間を見る眼が深まることを望む。

英単語とPleaseだけで通じる超ミニ英会話を楽しんでもらう。

成績評価の方法

授業中、他の学生の発表に関心、興味、理解を抱くよう努力することを重視する。

発表、レポート、前後期の定期試験に基づく。前期のテストは英語の歌を歌うことで行うこともできる。授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

『ロックの心』（大修館書店）
『超ミニ英会話』（明日香出版社）

参考書等

『ロックで読むアメリカ』（近代文芸社）
『ロックの意味』（草思社）
『ロック・ミュージックとアメリカ』（シンコーミュージック）
『ロック音楽と現代社会』（マクミラン・ランゲージハウス）

その他

ビデオ、レーザーディスク、DVDで英語を楽しむ。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA〔再クラス〕	おの え の り こ 尾 上 典 子	全学科2年	2

講義のねらい

アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、実践的な英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

Benjamin Franklin, Susan B. Anthony, Sitting Bull, Andrew Carnegie, Thomas A. Edison, Henry Ford, Helen Keller, Walt Disney, Martin L. King Jr., Elvis Presleyなどアメリカン・ドリームを形造るのに貢献してきた偉大な人々の生涯や業績を紹介した英文を取り上げ、アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、読解・聴解・作文などの総合的英語運用能力の向上をはかる。

また、折にふれて英米文化に関する英語ビデオを鑑賞させて、時事英語の理解力と聴解能力の増強もはかる。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が3分の2に満たないものおよび授業態度の非常に悪い者は落第させる。毎回、授業のための予習・復習を充分にしておいてもらいたい。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験および小テストによって総合的に判断する。

教科書

Roy E. Charron, 宮野智靖著 『Profiles of the American Dream』 (『アメリカン・ドリームを読む』) (金星堂) 1,800円(税別)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA〔再クラス〕	お お た め き こ 太 田 由 紀 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

英語の基本構造の確認と応用により「書ける」楽しさを実感して貰う。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは全十二章からなる。よって一章に二回分の授業を充てる予定。ある授業で該当章の文法事項を確認した上で応用英作文問題を課す。次週その解答を皆で検討する作業を終えたら、次章の解説に入る。

履修上の留意点

とにかく熱心に授業参加すること。

成績評価の方法

平常点と前期・後期それぞれの期末試験により総合的に判断する。

教 科 書

石黒照博・山内信幸著 『「橋渡し」英作文』(金星堂) 1,600円

参 考 書 等

安井稔・角谷裕子著 『英作文要覧』(開拓社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA〔再クラス〕	た か や な ぎ か み え 高 柳 文 江	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

この授業においては、世界の中で現在生じている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基に、まずそのListeningとComprehensionを行います。その後、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法を理解し、それを基にwriting、speaking両面から文章を作る事を学びます。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には、2/3以上の出席が要求されます。前期後半より慣用表現の演習が課されます。

成績評価の方法

試験(前期試験、後期試験)60%、日常点(出席、演習テスト等)40%

教 科 書

『World Today-文化の諸相』(鳳書房)

参 考 書 等

テープレコーダー使用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠA〔再クラス〕	や ま が た ゆたか 山 縣 裕	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

アメリカ文化のさまざまな側面を学びながら、スピーキングの力の向上をはかる。

履修上の留意点

6回以上欠席した者には原則として単位を与えない。

成績評価の方法

出席点・中間テスト・期末テスト・小テストなどから総合的に評価する。

教 科 書

森田彰・飯尾牧子・狩野紀子・土屋武久・Jeff Martin共編 『ビデオで学ぶアメリカ文化・CD付』(成美堂) 2,200円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA〔再クラス〕	^{もり た たかみつ} 森 田 隆 光	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

英語の基礎から学生諸君にわかりやすく講義を行って行きます。聞く、書く、話すを全部行ってゆきます。クラスは非常に興味のある授業になると思います。授業は日本語と英語を併用し時にはフランス語でも行います。まずクラスに出席してみてください。

成績評価の方法

前期、後期の試験
レポート年1回（英文にて）

教科書

開講時指示

その他

欠席は3回まで（年間）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA〔再クラス〕	^{いわはら やすお} 岩 原 康 夫	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

インターネットが地球を駆け巡り、通信衛星が日常生活にまで及び、外国旅行も自国以外の人々との接触も一般化してきた。ボーダレスな国際化という現実によって、世界語とも言える英語はコミュニケーションの手段としてますますその比重を高めつつある。このような観点にたつて、このクラスの英語学習は意思伝達の向上を狙いとする。そのために、ある一定の基本的な動詞を中心にした構文と用法をマスターし、日常的なレベルでのコミュニケーション力を高めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらおう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスを進める。また辞書の積極的な使用を望む。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおけるparticipationによって判断する。

教科書

『Cultivating Writing Skills』（『基本語彙を使った発展英作文』（朝日出版） 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA〔再クラス〕	^{にしはら かつまさ} 西 原 克 政	全 学 科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語を話すときに役立つ表現力を中心とした作文の演習用のテキストを用いる。外国人が英語を学習する際に役立つと考えられているロケアルBasic English（850語で大体日常生活の必要な表現がすべてできるという考え方）を基本にしている。英語が書けるということは、英語が話せるということと直結しているので、その基礎を自分のものとして、会話に応用していただいたいと考えている。

履修上の留意点

受講者には第一回日の授業で、成績評価方法も含めて説明するので、必ず出席のこと。

教科書

『英語表現トレーニング』（北星堂書店）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB〔再クラス〕	てしま けいこ 手島敬子	全学科2年	2

講義のねらい

本科目は発音・リズム等の音声面の指導に留意しながら、標準的な英語で書かれた文章を読む力を養うことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率良く、また適切に内容を読み取る練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などにに基づき総合的にを行います。

教科書

『日常生活の中のアメリカ文化』（マクミランランゲージハウス）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB〔再クラス〕	まきの てるよし 牧野輝良	全学科2年	2

講義のねらい

英語の構文を再度学習し、英語の構造をしっかり身につけること。

講義の内容・授業スケジュール

重要な英語の構造が一単元となっているテキストを使用するので、各単元の英文を覚える努力をする。

履修上の留意点

学生は辞書を持参し、自分にわからない語句が出て来たらすぐ辞書を引き、身につけることに心掛けること。

成績評価の方法

毎時間提出のレポートと期末テストによって成績評価する。

教科書

石黒他編 『大学英文法A to Z』（金星堂） 1,300円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB〔再クラス〕	きむら かつひこ 木村克彦	全学科2年	2

講義のねらい

やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォーチュン誌」の記事も訳読してゆきたい。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験に因るが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教科書

『Developing Reading Skills』（朝日出版社） 1,700円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B [再クラス]	武藤久緒	全学科 2年	2

講義のねらい

これまでに習得した英語知識を確実なものにしながら、語い、語法の面で難のない理解しやすい文章を読み英文に親しみ読解力を養うことを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

日常ひんばんに使われている語、例えば、Smog, Kangaroo, Nicknameなど114の単語の由来、それぞれの持つ特有の歴史を読み、言語と文化に対する関心を高めたいと思う。

前期：1ページから44ページ

Piano から Tennis までの57の単語の由来について

後期：45ページから87ページ

Utopia から Postman に至る57の単語の由来について

履修上の留意点

授業は訳読形式で行い、受講者全員に本文を読み訳してもらいます。随時・文法を含む必要事項の説明をします。

成績評価の方法

成績評価は前後期のテストの成績；授業中の発表、出席状況などを考慮して行います。

教科書

Arkady Leokum and others : 『Where Words Were Born』 (朝日出版)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B [再クラス]	甲斐捷子	全学科 2年	2

講義のねらい

テキストはアメリカの文化、社会事情を様々な角度から紹介するビデオ教材です。現場の映像と生の音声を通して、臨場感を楽しみながら英語の運用能力を統合的に高めることを目的とします。毎回の授業は、「聞き」、「話し」、「読み」、「書く」総合演習ですが、このクラスでは特にリスニング重点を置きます。

講義の内容・
授業スケジュール

1 単元終了時に小テストを行います。これは詳細な復習のためのテストで、本試験と同じような傾向のものです。このテストで70%以上得点できるよう、復習に重点を置いて勉強してください。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意してください。

教科書

『Century—Life in New Age』 (朝日出版社) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB〔再クラス〕	た な か たもつ 田 中 保	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

より高度な構文の理解と文章の大意の把握に重点を置きながら読解力をつける。
また、サブ・テキストを使用して、リスニング力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は予習・復習を前提とした発表形式によって行なう。

成績評価の方法

成績評価の方法は、以下の項目を総合的に検討して評価する。

1. 授業時の発表
2. 授業時の小テスト
3. レポート
4. 前期・後期の筆記試験
5. 出席状況

教 科 書

1. 『10 minute Basic Listening』（桐原書店） 950円
2. 『大学生のための初級英語』（STEP-UP ENGLISH）（南雲堂） 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB〔再クラス〕	ま え だ おさむ 前 田 脩	全 学 科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

テキストに戯曲をもちいて、会話の面白さと、英語の文化を学びつつ語学力をつけていきます。
毎回あてますので予習は必須です。時々、英字新聞のコピーを使用します。

成績評価の方法

授業中の発表等、日常評価と出席率、前期、後期のテストを総合評価します。

教 科 書

『フル・フォア・ラヴ』（鶴見書店） 1,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅠB〔再クラス〕	お お た ゆ き こ 太 田 由 紀 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

豊かな内容を楽しみながら語彙力・読解力を向上させる。

講義の内容・
授業スケジュール

言葉と文学、歴史、自然科学といった様々な分野・領域における英語文化の基礎知識を学ぶ。

履修上の留意点

とにかく熱心に授業参加すること。

成績評価の方法

平常点と前期・後期それぞれの期末試験により総合的に判断する。

教 科 書

E.D.Hirsch, Jr. 著 村田薫 編註 『英語で築く知の礎』（鶴見書店） 1,600円

参 考 書 等

江戸川泰一郎著 『英文法解説』（金子書房） 1,750円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB〔再クラス〕	井出功一	全学科2年	2

講義のねらい	テキストは、私たちの身のまわりの経済生活の知恵を、平易な英語で綴った『くらしの経済学』である。「お金の役割」、「収入と支出」、「国の経済は誰が動かすか」など私たちのくらしがテーマになっている。
講義の内容・授業スケジュール	経済学は私たちの日常生活そのものなので、そこに出てくる英文を十分聞いたり、読んだりして、英語を正しく捉える力を養う。内容は、「国の経済は家の経済と同じ」、「お金とは何か」など。
履修上の留意点	全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要。
成績評価の方法	前後期テスト、平常テスト、レポート、出席による総合評価。
教科書	George Soule Economics for Living 『くらしの経済学』（南雲堂） 1,400円
参考書等	英語を的確に理解し、表現する能力を高めるため、口語的表現と文語的表現、英米用法の相違、情報量の度合いにまで触れた文法書も使う予定。 『新しい学習英文法』（研究社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB〔再クラス〕	神戸春樹	全学科2年	2

講義のねらい	英語は、その基礎力の鍛錬がとくに重要なものである。テキストを用いながら、さまざまな角度から、英語の実力の養成を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	基本的に英文に触れることにより、英語の実践的な運用を身につけられるように、具体的に説明を加えながら進めていく。
履修上の留意点	積極的に授業に参加してもらうので、必ず予習をしてきてもらいたい。
成績評価の方法	出席率、授業中の発表、そして前・後期の定期試験によって評価する。出席率と授業中の平常点が50%、前・後期の定期試験が50%で、総合的に決める。
教科書	最初の授業で指定します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB〔再クラス〕	松堂啓子	全学科2年	2

講義のねらい	最新科学に関するトピックスを読み、構文の理解力を高め、大意把握の速度を上げていく。
履修上の留意点	予習が必要。
成績評価の方法	試験と出席状況で評価する。
教科書	『To the Future - VOA Special English Program』（マクミランランゲージハウス）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB〔再クラス〕	三浦眞理	全学科2年	2

講義のねらい

非常に平易な英語で書いてある文章を、できるだけ速度し、量を多く読むことによって、英文を読む力と内容把握力の向上を図りたいと思います。
 ごく基本的な構文及び語句を中・高校生に戻ったつもりで復習し、再確認しながら学習していこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

英文のStoryを読んで、その内容がある程度把握できるようになることを目標に、ごく簡単な表現で書かれている文を多読し、基礎的にしっかり学習していこうと思います。
 また、hearingの練習、さらに、時間が許す限りTOEIC等の練習をできるだけ行いたいと思います。
 ごく基礎的な英語を（最初から再学習するつもりで）しっかりとおぼえてもらいます。

テストは学習した文章を中心に分割して授業時間中に小テストとして行います。

後期最後に総まとめ試験実施（授業時間中の小テスト重視）

成績評価の方法

成績表は、3分の2以上の出席（厳守）、授業中の発表、小テスト（70～80%）及び後期試験の結果によりおこないます。

教科書

『Twenty Tales』（成美堂）1,600円

参考書等

プリントを使用することもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB〔再クラス〕	飯沼好永	全学科2年	2

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて、修得することに努める。

履修上の留意点

リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受け身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加して下さい。特に英語に対し苦手意識のある学生は、予習に力を入れて下さい。

成績評価の方法

成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）

教科書

千葉元信・松尾秀樹・岡崎久美子 Reading Landmarks of the world 『英文読解のトレーニング』（三修社）1,800円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I C (会話) 〔再クラス〕	ノーラン, D. J.	経 営 2 年	2

(P. 88) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I C (会話) 〔再クラス〕	ハバード, W. D.	経 営 2 年	2

(P. 88) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I C (会話) 〔再クラス〕	ロンゴ, T.	経 営 2 年	2

(P. 89) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I C (会話) 〔再クラス〕	レーン, C. M.	経 営 2 年	2

(P. 89) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I C (会話) 〔再クラス〕	ロビン, G. F.	経 営 2 年	2

(P. 90・92) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I C (会話) 〔再クラス〕	ラッセル, S. J.	経 営 2 年	2

(P. 90) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I C (会話) 〔再クラス〕	レイン, R. V.	経 営 2 年	2

(P. 91) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I C (会話) 〔再クラス〕	ウエイド, D. A.	経 営 2 年	2

(P. 91) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I C (会話) [再クラス]	サ サ キ , M .	経 営 2 年	5

(P. 91) 参照

外国語

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA〔再クラス〕	まきの てるよし 牧野輝良	全学科3年	2

講義のねらい	英語の構文を再度しっかりと学習する。
講義の内容・授業スケジュール	テキストの英文を読み、文中に現われた重要な構文、慣用句、単語を正確に習得する。そのために小テストを多く行う。
履修上の留意点	学生はよく自習しておき、指名されたら答えられるように心掛けておくこと。毎時間の練習問題は解答して全員提出すること。
成績評価の方法	成績評価は授業中の成績、小テスト、レポート、期末テスト等を総合して行う。
教科書	田本、サイモン・サナダ 「基本英語表現法」 (成美堂) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA〔再クラス〕	さとう あきこ 佐藤明子	全学科3年	2

講義のねらい	リーディング・リスニング問題を中心に英語の運用能力を高めることを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	テキストは、内容読解やリスニングの問題も入った総合テキストです。1回の授業で、1章程度進む予定です。
履修上の留意点	授業ではなるべく多くの学生を指名します。毎回予習を十分にしてくることを望みます。
成績評価の方法	前期・後期試験、平常点、出席状況を総合的に評価します。(ただし出席が3分の1に満たない場合は「不合格」とします)
教科書	Real Life in Britain 『イギリスを感じてみよう』 (三修社) 1,850円 (税別)
参考書等	辞書を持ってきて下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA〔再クラス〕	うつのみや ひでかず 宇都宮秀和	全学科3年	2

講義のねらい	長年英語を教えてきて感じることは、多くの学生諸君が、基本的なことを理解していないということである。土台をきちんと築かないことには、何の役にも立たない。 基本的なこととは、英文の文型、時制、名詞の複数にはSをつける、などのことである。英文を書くことは、論理的な思考の訓練にもなるのである。基本的なことをしっかりとやりたい。
成績評価の方法	成績は平常点とし、期末試験行わない。出席は2/3以上。
教科書	プリントを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA〔再クラス〕	い ま い な つ ひ こ 今 井 夏 彦	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

日常的な場面の中でライティングとオーラル・コミュニケーション能力を養成することを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに従って1章を2回でこなすことを心がけます。

履修上の留意点

日常のことが「書けて話せる」ようになることを望みます。

成績評価の方法

成績は、出席点、平常点、レポート、期末テストの点などを総合して評価します。

教 科 書

『日常会話英作文』（成美堂） 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA〔再クラス〕	え だ さ ち こ 江 田 幸 子	全 学 科 3 年	2

講義の内容・授業スケジュール

読む、書く、聞く、話すの英語運用能力を総合的にバランスよく育成していくのがこの教科の目的です。これらの四大要素を生活の上で実践的に、臨機応変に運用出来るようになることがこの授業の最終的な目標です。従って、使用するテキスト中心に、まず、reading→読解、listening→耳で読む、を徹底し、次にテキスト中の英語表現を応用したwriting→運用、口頭で簡単に発表する→oral presentation in English、の学習プロセスで授業を進めて行きます。

成績評価の方法

前期、後期の定期試験、提出物、適宜行う小テスト等を総合した平均点60点以上、全授業回数 $\frac{2}{3}$ 以上の出席をもって合格点としますが、平常授業内での努力点も合わせて評価しますので、授業毎の学習→予習、発表→に対して熱心な姿勢で臨むことが望まれます。語学の習得には学習の地道な積み重ねが必要不可欠なので、このことは特に強調しておきたいと思います。

教 科 書

Peter B. Grant, TADAHIRO KAWAI 『*The Pleasure of Reading, Thinking & Writing*』（松白社） 1,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA〔再クラス〕	さ さ く ら さ だ お 笹 倉 貞 夫	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

近年ますます国際化・ボーダーレス化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに、実践的な英語運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

平易な現代アメリカ口語英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学びながら、英語による実践的な英語表現能力の育成に努めたい。従って、随時、英文による物語の内容要約を課すことがある。（リスニング教材併用）

履修上の留意点

予習・出席重視、常時英和辞典持参。

成績評価の方法

前・後期末テストの他、内容要約の英文レポート随時提出していただき、出席状況等々も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教 科 書

Pearl S. Buck 『*The Story Bible*』（太陽社） 1,442円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA〔再クラス〕	井 伊 順 彦 い い のぶ ひこ	全学科3年	2

講義のねらい	バラエティに富む楽しいテキストで、言葉の4技能をのばすとともに、現代アメリカの若者文化に触れる。
講義の内容・授業スケジュール	毎回テープをいやになるほど聞いてもらう。また、速読力や文法力の養成にも力を注ぐ。ときには授業の最後にビデオを観てアメリカ文化への理解を深め、同時に聞き取りの力をつける練習もおこなう。
履修上の留意点	毎回かなりの人数の諸君に何らかの形で答えてもらい、それを平常活動とする。発音のチェックもおこないたい。
成績評価の方法	数回の小テスト、平常活動、出席数を組み合わせて評価するが、詳細は教室で。
教科書	『Real-life Scenes of Young Americans (アメリカの若者とライフスタイル)』 (成美堂) 1,700円+税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA〔再クラス〕	小笠原 隆 元 おがさわら りゅうげん	全学科3年	2

講義のねらい	これまで7～8年間学んだ英語力を生かして、英語による意志伝達、運用能力の向上を目標としたいが受講生の実力は各人各様と思われるので、日英両語によるレポート提出で各自の自己主張、表現力向上をめざしたい。
履修上の留意点	初回時の授業で諸資料配布と実力考査を実施したいので必ず出席してください。
成績評価の方法	再クラスは出席率が一定しないが成績は総合評価、受講者は各自、最大限の努力をして下さい。
教科書	テキストは『コミュニケーション ナウ』 (南雲堂) 1,300円 他にプリントコピーを適宜配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA〔再クラス〕	八十木 裕 幸 やそぎ ひろゆき	全学科3年	2

講義のねらい	よく使われる語彙を効果的に増やし、より豊かな英語表現ができるようになることを目的とします。プリントでは間違いや不自然な使い方の例題を取り上げライティングの向上を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	類義語、改まった表現とくだけた表現、コミュニケーションと基本動詞の表現、比喩的j表現とイデオム表現、日英表現の比較、複合語などを取り扱います。並行してプリントで補いながら授業を進めます。
履修上の留意点	毎回指名して授業展開をしますので確実に予習をしてきてください。
成績評価の方法	前期・後期のテスト、小テスト、レポート、出席状況(1回欠席-5点減点)などを総合的に判断し評価します。
教科書	石黒昭博他『語彙・表現力のアップの総合演習』(英宝社) 1,680円 プリント
参考書等	最初の授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA〔再クラス〕	と の い け か ず こ 外 池 一 子	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

現在日本や世界でいろいろ議論を巻き起こしているテーマを取り上げて、それらの問題について英語で自分の考えを述べられるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

基本的にはテキストに従って進みますが、必要に応じて英字新聞や英語のニュース、討論番組のビデオなども使います。ディスカッションやディベートの意見の組み立て方についても訓練します。

履修上の留意点

テーマは皆さんの身近な問題です。授業の前にある程度自分の意見をまとめておいて積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2-3回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA〔再クラス〕	い わ た よ う こ 岩 田 洋 子	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

「文は人なり」時間・空間をこえて、書物の言葉＝人との出会いには、無上の喜びがある。先人達人たちの簡潔鮮明な表現から、①単なる知識だけでなく知恵を学びとること。②選び抜かれた絶対的一語一語から修辞法を学ぶ。③言葉は言霊（ことだま）。頭だけで覚えるものではない。感得するもの、体得するものである。言葉にも音色や香りや匂いがあることを学びたい。"Who Said That?"が真実なるもの、美しいもの、素晴らしいものとの出会いになれば・・・"The truth makes you free!"かもしれない。授業は徹底的な演習形式で行う。

成績評価の方法

毎回の出席状況、平常点、提出物、前期・後期の試験の結果等を総合して行う。

教科書

Jim Knudsen著 九頭見一士 注 『"Who said That?" A Book of Famous Quotations (名句で英語を学ぶ)』(南雲堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA〔再クラス〕	や ま ぎ し し ろ う 山 岸 二 郎	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

大学生の日常生活を英文で表現しよう。
言語学習は通常Listening、Speaking、Reading、Writingの順に展開する。ここで四領域に分けたのも便宜上のことで、実施の学習は相互に影響し合って、すすめられる。あるレベル以上になると四技能は一体となる。そうになると言語は大きな力を発揮し、思考力の発達を促す。このときReadingは、知識の吸収と、それに基づく思索の世界を形成する上で、中心的役割を課す。Writingは、書く事柄について反省・整理し、それを説得力ある言葉で、明快にあるいは情緒的に表現する訳である。
教室ではそのための準備として、目標に掲げたような身近かな英語表現能力の向上を目指す。

成績評価の方法

出席を重視する。平常の学習、小テスト、テストその他総合的に評価する。

教科書

未定

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡC (会話) 〔再クラス〕	ササキ, M.	経営 3 年	2

(P. 97) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡC (会話) 〔再クラス〕	ラッセル, S. J.	経営 3 年	2

(P. 97) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡC (会話) 〔再クラス〕	レイン, R. V.	経営 3 年	2

(P. 98) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡC (会話) 〔再クラス〕	ロビン, G. F.	経営 3 年	2

(P. 98) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡC (会話) 〔再クラス〕	ノーラン, D. J.	経営 3 年	2

(P. 99) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡC (会話) 〔再クラス〕	ハバード, W. D.	経営 3 年	2

(P. 99) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡC (会話) 〔再クラス〕	ロンゴ, T.	経営 3 年	2

(P. 100) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡC (会話) 〔再クラス〕	レーン, C. M.	経営 3 年	2

(P. 100) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡC (会話) 〔再クラス〕	ウエイド, D. A.	経 営 3 年	2

(P. 100) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡC (会話) 〔再クラス〕	ピアス, D. M.	経 営 3 年	2

(P. 101) 参照

外国語

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅢA 〔再クラス〕	おぶせ けさぞう 小布施 圭佐三	経営 4 年	2

(P. 102) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅢA 〔再クラス〕	さと う こういち 佐 藤 孝 一	経営 4 年	2

(P. 102) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅢA 〔再クラス〕	か い か つ こ 甲 斐 捷 子	経営 4 年	2

(P. 103) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅢA 〔再クラス〕	ひろ かわ おさむ 広 川 治	経営 4 年	2

(P. 103) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅢA 〔再クラス〕	やまぐち あまら 山 口 晃	経営 4 年	2

(P. 103) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅢA 〔再クラス〕	い と う こういち 伊 藤 幸 一	経営 4 年	2

(P. 104) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅢA 〔再クラス〕	よし え ま さ お 吉 江 正 雄	経営 4 年	2

(P. 104) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅢA 〔再クラス〕	てる やま ゆう ひ こ 照 山 雄 彦	経営 4 年	2

(P. 104) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅢA 〔再クラス〕	<small>たか</small> <small>はし</small> 高 橋 <small>ひろし</small> 寛	経 営 4 年	2

(P. 105) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅢA 〔再クラス〕	<small>い</small> <small>と</small> <small>う</small> <small>み</small> <small>よ</small> <small>こ</small> 伊 藤 美代子	経 営 4 年	2

(P. 105) 参照

外国語

【ドイツ語】

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	柴野博子	全学科2年	2

講義のねらい

この授業は、初級文法の最も基本的な事柄のみを重点的に教え、ドイツ語の大枠がつかめるようにすることを目標としています。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、特に初級では、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席することを希望します。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

大岩信太郎『ドイツ文法のかなめ（新装版）』（三修社） 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	野島利彰	全学科2年	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を理解するにはドイツ語で簡単な作文練習をすることが非常に役に立ちます。この授業では作文問題を中心に文法の授業を行います。

成績評価の方法

教科書の作文問題を毎回宿題とします。宿題を提出して初めて出席とします。成績評価は定期試験と宿題の総合評価によります。

教科書

横山靖『ドイツ語の作文と文法』（郁文堂） 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	織田繁美	全学科2年	2

講義のねらい

文法と聞くと、どうも面白くないという気持ちが先だち、勉強意欲が湧かないと思う学生が多いと思われるが、ドイツ語の会話では恐らく英語以上に正しい文法が要求されると思われる。美しいドイツ語の言葉が電話を通じて快く感じるのも、高度な文法をこなして話しかけてくるからである。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では教科書を用いるが、副教材としてドイツの日常生活を題材としたプリントを用いて文法事項の理解に役立てたい。前期は単純な文の構成を主に扱うが、後期になると、文体として少し複雑になるが、あくまで前期に学んだことが土台になるので、真面目に出席している学生には、演習が苦になるところか、むしろ興味さえ感じ、楽しく思えるようになると思う。

成績評価の方法

前期、後期の試験も勿論考慮されるが、平常点に重きが置かれるので、出席が大切である。

教科書

高橋 『わかりやすいドイツ文法』（芸林書房） 1,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	くりはら かずのぶ 栗原 万修	全学科2年	2

講義のねらい

このクラスの受講者は、すでに初級ドイツ語は終了しているはずですが、〔再クラス〕ですので、最初からのつもりで、できるだけ丁寧に、わかりやすく説明します。ただし、外国語は継続的に勉強しないと習得できませんので、出席を重視します。欠席を続けると名簿から名前を抹消し、再び<再履修>となります。

成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、平常の教場での学習意欲、さらに出欠等も含め、すべてを総合して判断します。

教科書

大岩信太郎 『快速ドイツ文法』 (朝日出版社) 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	いがらし のぶこ 五十嵐 信子	全学科2年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な文法を理解し、これを身につけます。一年間で一通りの文法をマスターし、ドイツ語の文章を辞書をひきながら読むことができるようになります。そのことにより、ドイツ語圏のさまざまな文化現象への関心、理解がふかまり、一そう広い視野を獲得することができます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) くり返しテープを聞き、また声に出して言うことで、ドイツ語の正しい発音を身につけます。
- 2) ドイツ文法の基本を理解し、文法の各項目の例文、練習問題を読み解くことでしっかり覚えこみます。
- 3) やさしいドイツ語会話ができるようになります。

履修上の留意点

学生諸君にのぞむこと
新しい言葉を学ぶことは本来楽しいことです。しかし言語は、どの部分も欠くことのできない一つの建造物に似ています。柱一本抜けても傾いてしまう、それゆえこの時間は休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の定期試験および時間内の小テスト、これに出席や授業への参加態度などを加えて評価します。

教科書

在間進・納谷昌宏・清野智明 『明るく楽しくドイツ語を！』(改訂版) (三修社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	やぶした こういち 藪下 紘一	全学科2年	2

講義のねらい

初級ドイツ語の復習をしましょう。今年で絶対ⅠBの単位をとるぞ、と肝に銘じて、普段辞書をひいて教室に来てください。

成績評価の方法

成績は教室で、皆さんに発表してもらった平常点と、7月及び1月の試験の成績の合計で評価します。

教科書

佐藤洋子 他 『シュリット・フュア・シュリット』 (白水社) 1,500円

その他

月曜日5時限目

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	まつおか 松 岡 晋	全学科2年	2

講義のねらい

あまり難しくないドイツ文を読み通すことによって、同時に、初等文法の復習も行おう、というのがこの授業の目指すところです。

講義の内容・授業スケジュール

授業は教科書に即して行われます。各課は読章（1ページからなるドイツ語の文章）、文法説明および練習問題からなっています。文法説明は最小限にとどめ、ドイツ文の読解と簡単な文章での表現練習に専念します。独和辞典を毎回、必ず持参してください。

履修上の留意点

再履修する羽目になった理由は、たいていの場合、出席不足です。今年こそ規則的に出席してください。さほど難しくない教科書をゆっくり進めますので。

成績評価の方法

成績評価は、最低限二回以上行われる筆記試験および平常点（出席率、担当箇所の和訳をきちんと行ったかどうか等々）によって行います。

教科書

入谷幸江ほか著 『ドイツ語コミュニケーション 独検4級対応』（三修社） 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	やぶした こういち 藪 下 紘 一	全学科2年	2

講義のねらい

初級ドイツ語の復習をしましょう。今年で絶対ⅠBの単位をとるぞ、と肝に銘じて、普段辞書をひいて教室に来て下さい。

成績評価の方法

成績は、教室で皆さんに発表してもらった平常点と、7月及び1月の試験の成績の合計で評価します。

教科書

浦野・酒井 『ドイツ語ライヴ』（有久堂） 500円

その他

水曜日2時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	すぎもと まさとし 杉 本 正 俊	全学科2年	2

講義のねらい

「再」クラスではあるが、学生がドイツ語を「全く知らない」事を前提に、発音と文法を初めからやり直し、その知識を基礎にドイツ語の文を読む練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

一年でいちおう初級文法のすべてを終え、それに対応したドイツ語の文を読むつもりです。

履修上の留意点

学生諸君は、必ずしも予習は要求されない。しかし授業中は勉強に集中する。また、負担にならない程度の課題が時々出るが、きちんとこなして行けば力が付くと思う。学生の理解力に応じた授業を行うので修得すべき事項は何度でも反復説明します。

成績評価の方法

前後期2回の大テストの他、随時小テストを行う。平常点もかなり重視する。

教科書

桐川修 岸川良蔵 『ドイツ語のアウトライン』（東洋出版） 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠC（会話） 〔再クラス〕	まつおか 松 岡 晋	営 A 2年	2

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	柴 野 博 子 <small>し は の ひ る こ</small>	全 学 科 3 年	2

- 講義のねらい

この時期は、初級文法で習った事柄を復習しながら、ある程度まとまった、やさしい文章を読んでいきます。テキストは、はじめてドイツに留学した日本の大学生の〈異文化との出会い〉を扱ったものです。
- 履修上の留意点

ドイツ語の学習には、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席して下さい。
- 成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。
- 教科書

岩崎英二郎・山路朝彦・Wolf Gewehr 『留学生のみたドイツ』（朝日出版社） 1,748円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	本 橋 右 京 <small>も と は し う ま ゃ う</small>	全 学 科 3 年	2

- 講義のねらい

初級文法項目を確認しながら、比較的やさしいテキストを読むことで、読解力を高めてゆきます。
- 講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語のやさしい文章にできるだけ多く触れ、基本的な語彙や枠組みを習得していきます。その過程で、ドイツ語圏の社会や文化についても学びます。
毎時間CD-ROMを利用します。まずは、発音・数字・日常的な表現等から始め、徐々に基本的な語彙や表現、文法事項を確実なものにします。
- 履修上の留意点

みなさんの積極的な学習を希望します。
- 成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。
- 教科書

Schlecht&三室 CD-ROMブック 『パソコンで学ぶドイツ語 ハロー、ヴィーゲーツ?』（三修社）4,800円
- その他

スライド、テープなど。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	杉 本 正 俊 <small>すぎもと まさとし</small>	全 学 科 3 年	2

- 講義のねらい

発音と、初級文法をはじめからやり直し、その知識を土台にして、やさしいドイツ語の文を読む練習をする。
- 講義の内容・授業スケジュール

一年間でいちおう初級文法の必要知識をすべて与え、それに応じたドイツ語の文を読むつもりです。学生の理解力に応じた授業を行うので、難解な事項は何度でも反復説明します。
- 履修上の留意点

学生の皆さんには必ずしも予習は要求しません。しかし授業中は勉強に集中して下さい。また時々負担にならない程度のやさしい課題を出しますが、きちんとこなして行けば力がつくと思います。
- 成績評価の方法

前後2回の大テストの他随時小テストを行い、平常点もかなり重視する。
- 教科書

志田裕朗・羽根田知子 『コンタクトドイツ語』（三修社） 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡC (会話) 〔再クラス〕	<small>のじま としあき</small> 野 島 利 彰	営 A 3 年	2

(P. 108) 参照

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅢA〔再クラス〕	<small>おだしげみ</small> 織 田 繁 美	営 A 4 年	2

(P. 109) 参照

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA〔再クラス〕	菅 谷 暁 <small>すが や さとる</small>	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

フランス語文法の基本を勉強します。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教 科 書

瀬倉他著 『新世紀グラシス』（駿河台出版社） 2,500円
『基本問題集』（駿河台出版社） 300円

そ の 他

教室でのさまざまな練習を軸に授業を進めるので、休まずに出席することが非常に重要です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA〔再クラス〕	芦 原 眷 <small>あしはら けん</small>	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教 科 書

『キャロット』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA〔再クラス〕	竹 田 正 純 <small>たけだ まさずみ</small>	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

クラスの性質上、文法の復習が中心となるが、反復練習によって基礎的事項の徹底理解を目指す。可能なかぎり、個別指導を心懸けていくつもりである。

成績評価の方法

前・後期の最終日のテストを中心に評価するが、平常授業での課題も真面目に取り組んでほしい。

教 科 書

内藤他 『フランス語へのパスポート』（白水社） 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA〔再クラス〕	こだま なりお 小 玉 齊 夫	全学科2年	2

講義のねらい

フランス語文法の復習です。文の仕組みの基礎を知る授業ですから、単純に繰り返して記憶する項目が多くなりますが、可能なかぎり、多様な観点から、フランス語の表現を覚えていくようにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

一回の授業で一課あるいは二課ほど、進んでいくことになります。全課を終えると、同時に、フランスの各地域の概観を知ることも出来るようになっていきます。文化的な面での知識も獲得するようにしたいと思います。

履修上の留意点

予習・復習をきちんと行うこと。特別な場合を除いて、授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

随時行われる小テストと、前期・後期の試験によって成績評価をします。

教科書

青木『エグザゴヌ』（駿河台出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長谷川 光 昭	全学科2年	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得。

講義の内容・授業スケジュール

もう一度ゼロから、しっかり確認していきましょう。あまり無理をしないで、基礎力を確実に身につけることをめざします。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業における評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

山村嘉巳他『ジュタンプラス』（朝日出版社）2,000円

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB〔再クラス〕	まえだ のりがず 前 田 祝 一	全学科2年	2

講義のねらい

2年生が対象とはいえ、初めてフランス語を勉強するものとして、発音・綴字の読み方など、一番の基礎から開始します。

講義の内容・授業スケジュール

練習問題などをていねいにクリアし、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

履修上の留意点

毎週の授業が、それまでの学習の成果の上に成り立っているのですから、つまり毎週新しいことの勉強が始まるのですから、欠席しないように努力してください。欠席すれば取り残されるものと覚悟すること。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストを基本に成績を評価します。しかし教室での課題、出席状況にも配慮します。

教科書

滑川他編『ポケットにフランス語 改訂版』（第三書房）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB〔再クラス〕	いませき 今 関 ア ン	全 学 科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

練習問題（口頭、聞き取り、作文）を中心に進めてゆく。

履修上の留意点

学習者主体の授業なので、積極的な参加を切望する。もちろん欠席など論外である。授業終了時にその日の成果を提出してもらい、これをもって出席とみなすつもりである。

成績評価の方法

平常点により評価するので、毎回出席すること。
辞書、教科書を必ず持ってくること。

教 科 書

藤田裕二著 『新・えすかるご1』（朝日出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB〔再クラス〕	もりもとのぶこ 森 本 信 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

フランス語に対する苦手意識を取り除くことが主眼。あまり複雑な文法の解説をせずに会話的な表現をどんどん使っていく、活気ある授業にしたい。学生同志のペアワーク、グループワークを活用しながら、参加型の授業にするつもりである。1年学習した後は、フランス語に対して自分なりの達成感を持てる様努力したい。

履修上の留意点

とにかく授業に欠かさず出て、毎回何かをつかんで教室を出ていけるように、積極的な参加を強く望んでいる。

成績評価の方法

授業での取り組み方、小テスト点、期末テスト点、出席点等を統合して評価する。最も重視するのは出席である。

教 科 書

『C'est facile!』（三修社）

参 考 書 等

参考書等は授業内で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長 谷 川 光 明	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

実用的な会話文を通じてフランス語の基礎を学習します。

講義の内容・
授業スケジュール

旅行の場面と実際に活用できる表現を用いて文法事項を再確認していきます。各項目を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとりません。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

フランス語にまず音からなじんでいくために、授業中はテープに従ってなるべく大きな声で発音することが望まれます。教科書付属のCDを習慣的に聴くことも必要です。辞書は必ず持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験及び平常点。

教 科 書

林田遼右 『テキスト版 パリ散歩』（朝日出版社） 2,500円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB〔再クラス〕	<small>たにかわ</small> 谷川 かつおる	全学科2年	2

講義のねらい

旅行で使うフランス語を通じて、フランス語の基礎からゆっくりやり直します。

講義の内容・授業スケジュール

まず、旅行のさまざまな場面で必要とされるフランス語表現を暗記し、関連する文法を習得します。基本が理解できたら練習問題に取り組み、応用表現を学びます。毎週授業の最後に、暗記のための小テストを行います。

履修上の留意点

教科書に付属するカセットテープをなるべく繰り返し聴き、耳からフランス語に親しむようにして下さい。

成績評価の方法

前期・後期試験および毎週の小テスト。

教科書

瀬戸秀一・瀬戸和子 『街かどのフランス語』新訂版 (朝日出版社) 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠC(会話) 〔再クラス〕	<small>さとくみこ</small> 佐藤 久美子	営 A 2年	2

(P. 112) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA〔再クラス〕	<small>はたなかちあき</small> 畑中 千晶	全学科3年	2

講義のねらい

フランス文化についての短い読み物を読み進めながら、同時に、話す力、書く力につながるように、文法を復習する。

履修上の留意点

席重視。長時間にわたって、連絡もせず、また、理由なく休んだ場合は、単位を放棄したものと見なすので、注意すること。成績はクラス内の小テスト、前期末、学年末テストなどから総合的に評価する。

教科書

澤田直之・リリアンヌ・ラタンジオ・黒川学著『アミカルマンーフランス語・フランス文化への誘い』(駿河台出版社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA〔再クラス〕	<small>ぬまくらひろこ</small> 沼倉 広子	全学科3年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして、文章を読む力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

文化、地理、スポーツなどを題材にフランスの現在を知る。

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教科書

クリスチャン・ボームルー著『時事フランス語』(2002年度版)(朝日出版社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA〔再クラス〕	<small>たにかわ</small> 谷川 かおる	全学科3年	2

講義のねらい

フランス語の基本文法を復習し、中級程度のフランス語が読めるようになることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

ごく基本的な文法の復習から始め、簡単な読み物を読みます。後期には、出席者と相談の上、簡単な新聞記事など、少し本格的なフランス語に取り組む予定です。

履修上の留意点

指定の予習箇所は必ず予習してきて下さい。

成績評価の方法

前期・後期試験および小テスト。

教科書

牛場由紀子 『小説への旅立ち』（朝日出版社） 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡC（会話） 〔再クラス〕	<small>たけだ まさずみ</small> 竹田 正純	営A3年	2

(P. 113) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅢA 〔再クラス〕	<small>たけだ まさずみ</small> 竹田 正純	営A4年	2

(P. 113) 参照

[中国語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	こ ぎよくか 胡 玉 華	全学科2年	2

講義のねらい

中国語の発音の仕組み、発音の方法、中国式ローマ字の発音表記（ピンイン）を理解しながら、繰り返し聞き発音し、中国語の発音の仕方を修得する。音声を通して、基礎的な単語や単語の結び付き方、配列順序、基本的な文句や表現を学び、簡単な文章や会話を「聞き」・「話す」基礎力を養成する。

コトバだけではなく、コトバの勉強を通じて中国或いは中国文化への理解を高めることを期待する。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期の前半は、発音の基礎の習得が中心となり、ピンイン表記の通りに正確な発音ができるようにする。前期の後半は、発音を復習しながら、本文を通じて簡単な日常あいさつができるようにする。後期は、本文の学習によって、初級レベルの基本的な文の構造、語彙、文法を習得し、聞き、話し、読み、書く能力をバランスよく身につけるようにする。

履修上の留意点

発音の習得には授業への出席と復習がカギとなる。故に出席と復習を心掛けてほしい。

成績評価の方法

「A＋α」制で評価する。「A」は、平常の小テスト（発音チェック、単語テストなど）及び定期試験による評価、「α」は、出席状況、宿題の出来具合、授業中の積極性などによる評価。学ぶ側と教える側が共に楽しい授業になるように、授業中の積極性を高く評価したい。

教科書

渡辺晴夫・楊幸雄・高村麻実著 『フレッシュ中国語（改訂版）』（白水社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ひらいしよしこ 平 石 淑 子	全学科2年	2

講義のねらい

中国語の基礎的な発音、文法の習得を目指す。

講義の内容・ 授業スケジュール

比較的やさしいテキストを用い、練習問題や小テストなどによって内容の習得をはかる。

履修上の留意点

①四分の三以上の出席を求める。②必ず予習・復習をすること。③授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

小テストなどを含む平常点、及び期末試験による。

教科書

方如偉他著 『中国語10課』（白水社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	まつもとあつとし 松 本 丁 俊	全学科2年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

最初は発音篇1～11課まで基本発音を覚える。つづいて本篇に入るが、日本人が中国家庭を訪問するという設定で、会話を通じて文法・文型の基礎を学んでゆく。

教科書

植田渥雄著 『八木さんの中国家庭訪問—会話で学ぶ文法の基礎』（金星堂）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	かまや おさむ 釜屋 修	全学科2年	2

講義のねらい

中国語の発音、ピンイン表記、文法の基礎をあらためて再学習するが、目標はⅠA、ⅠBに同じ。

履修上の留意点

前年度ⅠA、ⅠBの挫折の原因をしっかりと総括し、前向きな学習姿勢であらたな一年に挑戦すること。散漫な出席は許されない。とりわけ高学年次生は注意されたい。

成績評価の方法

平常点、出席点、小テスト、前・後期の期末考査により総合的に判定する。

教科書

荒川清秀・許秋寒・上野由紀子『中国語スケッチⅠ5』（朝日出版社）2,200円

参考書等

辞書は開講後に解説する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さとう ふみこ 佐藤 普美子	全学科2年	2

講義のねらい

中国語の基礎になる発音、語彙、基本文法をしっかりと身につける。中国式ローマ字表記（ピンイン）を正確に読み、書けるようにする。

履修上の留意点

授業時は、耳、口はもちろん、手もフルに活用して言葉の整理定着をはかるので、気力及び体力がないと継続受講は難しくなるだろう。覚悟が必要。

成績評価の方法

学期末テストも行うが、小テスト、平常点（出席、授業時の意欲）を重視する。

教科書

野澤俊敬監修 『中国語レッスンA・B・C』（白帝社） 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	あまの せつ 天野 節	全学科2年	2

講義のねらい

文法を踏まえ、「読む」、「聞く」、「書く」、「話す」という四技能を関連付けながら学習して行けるように援助していく。最終的には、独学でも学習を継続していけるような基本的能力を修得することがねらいである。

履修上の留意点

最後まで学習を継続する決意をして授業にのぞんで欲しい。

成績評価の方法

出席、授業態度、小テスト等の平常点と期末テストの結果を合せ、総合して評価する。

教科書

榎本英雄『できる中国語』（同学社）1,700円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	^な ^ぎ ^し ^ま ^さ ^こ 根 岸 政 子	全学科2年	2

講義のねらい

中国語の正しい発音と基本文法を習得する。

履修上の留意点

最初の1ヶ月は中国語の発音を確認しながら進むので、必ず出席すること。学習したことがちゃんと身についているかを確認するために随時小テストを行う。

成績評価の方法

前期後期のテストおよび小テスト、出席状況などで評価する。

教科書

是永駿・陳薇 『中国語入門晶子さんのホームステイ』(郁文堂) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	^さ ^く ^ら ^ば ^か ^ず ^の ^り 櫻 庭 和 典	全学科2年	2

講義のねらい

日常生活でよく使う表現を選び、実生活に役立つ基礎的な中国語会話の習得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

始めは、発音(四声)・ピンイン表記(中国式ローマ字)の習得に重きをおき、初歩的な語法にはいり、平易な文型を通して表現力を高める。中国語文の反復・応用練習・暗誦により基礎語学の向上を計る。

履修上の留意点

授業の開始までに、教科書・辞書を必ず購入すること。

成績評価の方法

平常評価(授業態度・出席日数)、小テスト、学期末テスト(前期、後期各一回)。出席日数の足りない場合受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。

教科書

小川郁夫著 『中国語初級対話64』(白帝社) 1,550円

参考書等

辞書は当分必要ないが、必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	^そ ^う ^た ^い ^わ 曹 泰 和	全学科2年	2

講義のねらい

中国語の基礎的な発音、基本文法をしっかり身につける。

履修上の留意点

4分の3以上の出席と、元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書

楊凱榮・張麗群著『身につく中国語』(白帝社) 2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	李 ^り 雲 ^{うん}	全学科2年	2

講義のねらい

基礎文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

尹景春・竹島毅 『中国語はじめての一步』(白水社) 2,200円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	工 ^く 藤 ^{どう} 早 ^さ 恵 ^え	全学科2年	2

講義のねらい

中国語学習の基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙や文法を身につける。

履修上の留意点

語学は積み重ねである。欠席せずに最後まできちんと授業に出ることが大切である。

成績評価の方法

出席状況、平常点、小テスト、定期試験によって総合的に評価する。

教科書

相原茂等著 『学ビテ時ニ之ヲ習フ』(好文出版) 2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	小 ^お 川 ^{がわ} 隆 ^{たかし}	全学科2年	2

履修上の留意点

発音と文法の基礎をゼロから学び直す。1年生のとき、なぜ失敗したか、自分でその原因をしっかり反省して授業にのぞむこと。やり直しだからといってしょげる必要はないが、同じ失敗はくり返さないでほしい。授業ではまったくの基礎からていねいに学び直すので、やり直しの良い機会だと考えて、前向きに取りくんでもらいたい。

成績評価の方法

年間4～5回のテストと平常点。出席は最重視。必ず第1回の授業から出席すること。当たり前だが、遅刻・私語は厳禁。とくに卒業年次生は初回に指示を受けること。

教科書

八木 鄭 『はじめての中国語ぼうとんほあ』(朝日出版社) 2,200円 (CD付)

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	<small>しおはた しんいちろう</small> 塩 旗 伸一郎	全学科 2年	2

講義のねらい	中国語は漢字を使うから簡単だと思った人ほど実は挫折しやすい。字には音を書いてないので、いつまで経っても中国語が読めないのだ。もう一度スタートラインに立ち、耳と口づくりから始めよう。でもどうしても、あの魅力あふれる音と相性が悪いという人は、せめて毎回出席し、課毎に提出してもらうドリルで張り切ろう。
履修上の留意点	毎回出席が当然。
成績評価の方法	定期試験+小テスト-欠席点。欠席が3回超えた場合は理由を問わず10点ずつ減点。
教科書	尹景春・竹島毅『新版 中国語はじめの一步』 (白水社) 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	<small>あきもと たすく</small> 秋 元 翼	全学科 2年	2

講義のねらい	再履修者がこれまでの学習方法の欠点を自覚し、自分でその欠点を克服して当初の学習目標を達成できるようにする。
講義の内容・ 授業スケジュール	発音入門からやり直し、初級の文法と表現を一年間でマスターする。
履修上の留意点	発音訓練が重要なので、教室では口を大きく動かし、積極的に声を出すようにしてほしい。また、基本単語を覚えることも大事なので、CD等を活用し、復習することを望む。4分の3以上の出席を要する。
教科書	平常の学習態度と理解度および前・後期の期末テストで評価する。
参考書等	山田真一『500語マスター基本中国語』(同学社) 2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	<small>らん めい</small> 蘭 明	全学科 2年	2

講義の内容・ 授業スケジュール	前期は最初の二ヶ月(4回に分け)において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。
成績評価の方法	出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。
教科書	董燕・遠藤光暁『話す中国語』(北京篇1) (朝日出版社) 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠC(会話) 〔再クラス〕	<small>とばり よしかつ</small> 戸 張 嘉 勝	営 A 2年	2

(P. 117) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡA〔再クラス〕	こうりん ひでもと 江 林 英 基	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全25課、各課の本文のあとに会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

教 科 書

張乃方、長谷川寛 『中国語読本（初級編）』（白水社） 1,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡA〔再クラス〕	みやもと あつこ 宮 本 厚 子	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

前半は指定した教科書を用い基礎を固め、後半はプリントを配りより難しい文章を読んでいく。

履修上の留意点

授業の前に、必ず辞書をひき予習を行なうこと。

成績評価の方法

年に2～3回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点で評価する。

教 科 書

董燕・遠藤光暁 『読む中国語』（朝日出版社） 2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡA〔再クラス〕	あまの せつ 天 野 節	全 学 科 3 年	2

講義のねらい

中国語Ⅰの基本を復習しながら、会話文を通し中国語Ⅰ以上の表現を学習する。最終的には、独学でも学習を継続していけるような基本的能力を修得することがねらいである。

履修上の留意点

最後まで学習を継続する決意をして、授業にのぞんで欲しい。

成績評価の方法

出席、授業態度、小テスト等の平常点と期末テストの結果を合せ、総合して評価する。

教 科 書

荒川清秀 『美香 in China』（同学社） 1,900円税別

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	<small>みたむら けいこ</small> 三田村 圭子	全学科3年	2

講義のねらい	基礎の復習をしながら、中級への橋渡しになるような文章を読む。
講義の内容・ 授業スケジュール	前半は、中国語Ⅰの復習を行い、後半は比較的長い文章を読解する。
履修上の留意点	まとめてやろうとせず、毎時間課題を確実に仕上げるように。
成績評価の方法	出席重視。試験は年4年実施する。遅刻は3回で1回の欠席とする。
教科書	竹島金吾『中国語さらなる一歩』（白水社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡC（会話） 〔再クラス〕	<small>いん けいしゆん</small> 尹 景春	営 A 3年	2

(P. 119) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅢA 〔再クラス〕	<small>いん けいしゆん</small> 尹 景春	営 A 4年	2

(P. 120) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅢA 〔再クラス〕	<small>しお は た しんいちろう</small> 塩 旗 伸一郎	営 A 4年	2

(P. 120) 参照

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	^{みやち} 宮地達郎	全学科2年	2

講義のねらい

文法解説をできるだけ容易に説明する。簡単な日常会話も織込み、興味を持続させる。

履修上の留意点

最低限の復習、それに対する質問が望ましい。

成績評価の方法

前・後期のテスト及び出席点。

教科書

宮本博司著 『ようこそスペイン語の世界へ』(大学書林)

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	^{おおいわ} 大岩功	全学科2年	2

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・ 授業スケジュール

文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、なるべく予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法

数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書

寿星順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』(教材マルコ社)
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書
有本紀明編『西和辞典』(白水社) 4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社) 4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』(研究社) 4,860円
桑名一博編『西和中辞典』(小学館) 6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	^{うえの} 上野勝広	全学科2年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎(発音、文法、語彙)を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・ 授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～9課まで、後期は10課～18課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

履修上の留意点

新しい外国語を少しでも身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音テープのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。

成績評価の方法

年間4回のテストと平常点を総合的に評価します。

教科書

淵上英二・アルフレッド・ロベス 『確認して進むスペイン語』(朝日出版社) 2,500円

参考書等

初回の授業で紹介します。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さとう ひろこ 佐藤 紘子	全学科2年	2

講義のねらい

必要最低限の文法事項に一通り目を通し、コミュニケーションのためのスペイン語運用能力の基礎を習得する。

履修上の留意点

欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。

成績評価の方法

毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。

教科書

佐々木克美著『スペイン語との出会い』（芸林書房）

参考書等

最初の授業で指示する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さとう まりの 佐藤 麻里乃	全学科2年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的特徴を理解する。

履修上の留意点

初回の授業で述べる注意事項を必ず守ること。

成績評価の方法

出席率、授業態度、課題の出来具合などにより評価する。

教科書

寺崎英樹著『スペイン語文法のシステム』（同学社）

参考書等

『西和中辞典』小学館、『現代スペイン語辞典』（白水社）
『新スペイン語辞典』（研究社）、『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）など。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠC（会話） 〔再クラス〕	ルイズティノコ, C.	営 A 2年	2

(P.124) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA 〔再クラス〕	ふくもと くみこ 福本 久美子	全学科3年	2

講義のねらい

基礎文法の充実とスペイン語圏の文化に触れることを目的とする。前期は文法を、後期は講読を中心とした授業とする。

履修上の留意点

出席が全授業回数の2/3以下の者には評価を与えない。始業時より30分以上の遅刻は入室を認めない。但し出席も遅刻も正当な理由がある時は考慮する。
授業を妨げるような振る舞い（私語・無断退出等）は慎むこと。場合によっては評価の対象から外す。

成績評価の方法

前・後期テストと授業中の平常点（宿題・小テスト）の合計に拠る。

教科書

西川 喬著 『新スペイン語ゼミナール』（第三書房） 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	おおいわ 大 岩 いさお 功	全学科3年	2

講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	さとう ひろこ 佐 藤 紘 子	全学科3年	2

講義のねらい

1年次で学習した基礎文法を復習し、更にそれを広げていく。同時にスペイン・中南米の現代事情について基礎的な理解をめざす。

履修上の留意点

欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。

成績評価の方法

毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。

教科書

『現代感覚でおぼえるスペイン語のエッセンス』（朝日出版社）

参考書等

最初の授業で指示する

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡC（会話） 〔再クラス〕	うえの かつひろ 上 野 勝 広	営 A 3 年	2

(P. 125) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅢA 〔再クラス〕	うえの かつひろ 上 野 勝 広	営 A 4 年	2

(P. 125) 参照

[ロシア語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ひろた ひでやす 廣 田 英 靖	全学科2年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

戸部又方編 『1年生のロシア語』 (白水社)
杉山秀子他 『やさしいロシア語読本』 (大学書林) 1,600円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	木村 英明・佐野 朝子	全学科2年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	^{あん とく} 安 徳 ニーナ	全学科 2 年	2

講義のねらい

基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆 『はじめてのロシア語』(白水社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠC (会話) 〔再クラス〕	^{さ の あ さ こ} 佐 野 朝 子	営 A 2 年	2

(P. 127) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA 〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	全学科 3 年	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習する。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

プリント配布。

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語Ⅱ A〔再クラス〕	安徳ニーナ <small>あん とく</small>	全教科3年	2

講義のねらい

一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』(白水社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語Ⅱ C (会話) 〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	営 A 3 年	2

(P. 128) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語Ⅲ A〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	営 A 4 年	2

(P. 128) 参照

〔選択科目〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	<small>たけむら えつこ</small> 竹村 恵都子	営A1・2・3・4選	4

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

テキストは最初の授業時に発表します。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	<small>はやし あきと</small> 林 明人	営A1・2・3・4選	4

講義の内容・授業スケジュール

CNN, Herald Tribune紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、小テスト、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

『Sanseido's Dictionary of News English』（三省堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	<small>かわて ひろかず</small> 川手 浩一	営A1・2・3・4選	4

講義のねらい

外国語を学習する目的はその国の文化を知ることである。しかしながら今や世界はせまくなり、自国の文化のみにとられていては日常生活すらできなくなっている。

講義の内容・授業スケジュール

ここでは主として読解力に主眼をおいて、重要な単語、イディオム、構文などを英文の中にちりばめて、多様性に富んだ英文が学習でき生活英語としても活用できる。

成績評価の方法

成績評価は出席とテスト、レポートなど総合評価です。

教科書

教科書はShino Sano『Health and Business [健康とビジネス]』（Nan'Undo） 1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おちあいかずあき 落 合 和 昭	営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一の目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講を希望する学生は、最初の授業の時に、担当者の許可を得なければならない。教場は40名しか入れないLL教場を使用するので、40名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験が全評価の40%（ヒヤリングが20%、会話英作文が20%）、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業に、全員が最低一回は当てるようにする）。出席率が三分の二を超えなければ、成績は「不可」とする。

教 科 書

- 1) 『5分間口語英語表現(1)』 (南雲堂) 900円
- 2) 『ルル・オン・ザ・ブリッジ』 (松柏社) 1,900円
- 3) 『Phrasal Verbs』(洋書) (オックスフォード大学出版局) 2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	お お ば な お き 大 庭 直 樹	営A1・2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

このクラスの第一の課題は、Office 2000 を使いこなすことである。Office 2000 は Word (ワープロ)、Excel (表計算)、PowerPoint (プレゼンテーション)、Schedule+ (スケジュール管理) を中心としたアプリケーションである。Word と電子辞書を使いながら、論文、公式文書、ビジネス文、手紙、英文等の書き方を訓練する。また、このソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートを「思考の道具」として利用するノウハウをを体得する。更に、Excel での表、グラフ、データベースの作成、また、図形、画像、デザイン文字の作成を学び、それらをリンクさせた複合文書を作成する訓練をする。

第二の課題は、インターネット (マルチメディア) の世界を探索することである。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく。ネット・サーフィンで大切なことは、必要な情報探索ができるようになることである。したがって、このクラスでは、受講生が様々なサーチ・エンジンを使って、学術ネットワークの情報検索のための基本的なテクニックを身につけることに重点を置く。

第三の課題は、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使いこなすことである。このソフトは、カード型のデータベースをつくることを目的とし、受講生は各自の研究、文献・資料整理等、それぞれの必要に合った「メモ・カード」の作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。

第四の課題は、ホームページの基本的な概念を理解し、受講生全員が「ホームページ・ビルダー2001」を使って、自分のホームページを作成する。出来上がったホームページは、インターネット上に流すことになる。

後期からは、受講生一人一人にプレゼンテーションをしてもらう。発表内容は、コンピュータ、インターネットについてならば何でもよろしい。発表は、コンピュータ・インターネットについての知識、情報の交換を目的とする。受講生は、前期から発表のプロジェクトを決めて、入念に発表の準備をしてほしい。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するたすはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室 (朝9時より夜9時まで開館) で補修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	ま ち だ な お こ 町 田 尚 子	営A1・2・3・4選	2

外国語

講義のねらい	インターネット上のマスメディアの英語理解の上達を考えている人たちのためのコースです。
講義の内容・ 授業スケジュール	4-204教場のPCで、英語新聞のウェブサイト上のオンライン記事・論説・特集等を選んで速読し、Wordで要約、さらに自分の見解をまとめ、電子メール・添付ファイルで提出し、添削指導を受けます。担当者とのメールは英文で行い、英文メール作成をマスターします。 受講者のPC習熟度にあわせて、個別指導から始める予定です。
履修上の留意点	クラス人数は30名以下に限定し、メールアドレスを取得していることが前提となります。授業時間内に終了しないときは、自習室あるいは自宅で完成させて送信します。
成績評価の方法	毎授業の要約と作成メールの成績で評価します。
教 科 書	教場で指示します。

英 会 話 II

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成日標の日安は英検準1級合格、TOEFLのスコア480点、TOEICのスコア700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅱ	プラスキー, J. C.	営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい

The goal of this course is for students to express themselves in a range of situations beyond the most basic level.

講義の内容・授業スケジュール

Grammar will be presented in a communicative context. Getting the main idea, guessing vocabulary from context and drawing inferences will be practiced through speaking activities primarily with other students. Pronunciation, intonation and listening practice will be incorporated through dictation exercises and tapes/CDs.

履修上の留意点

Conversations will be practiced with other students through pair discussions and dialogues.

成績評価の方法

Assessment will be combination of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%).

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅱ	ジトウィッツ, P. D.	営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい

English 2 is designed to give students additional practice in basic conversational forms and to extend their range to more advanced conversational and social situations. Students will be expected to positively participate in class and prepare group presentations along with role-playing, debating, and an oral interpretation. Students will also see short passages from films and be responsible for practicing short dialogues that have been taken from these films.

履修上の留意点

Students are expected to come to class weekly and four absences in one semester will result in failure.

教 科 書

Textbook. - "Hit Parade Listening" - Macmillan Language House, 1998, Nobuhiro Kumai, Stephen Timson and a wide variety of instructor's handouts/instructors.

They will also have the opportunity to gain access to the instructor's English language practice website.

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英会話II (夏季集中)	ピアス, D. M.	営A2・3・4選	2

講義のねらい

Elementary and Intermediate students would do well to master an ordinary conversational ability in this class. Students will spend most of the class time talking to each other in pairs or groups; it would be good to take this class together with a friend. Students will sit together with companions who have a similar degree of English ability, since English conversation is learned most quickly by practicing with people who have equal ability.

Part of the class time will be devoted to TOEFL grammar and listening comprehension problems so that students may get high scores in TOEFL and TOEIC tests. English composition will also be taught with a view to giving students an intuitive sense of how a good English sentence should sound. Learning composition will not consist of studying grammar or translating sentences. Advanced practice in listening comprehension will be conducted through short lectures on the different ways that Americans and Japanese think about work, money, marriage, politics, friendship, etc. The entire course is carefully organized and programmed in our textbook, which will be explained at the commencement of classes.

そ の 他

授業日程
英会話II

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○	○	○			8月20日	火							
8月2日	金	○	○	○	○	○			8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○	○	○			8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○	○	○			8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○	○	○			8月26日	月							
8月8日	木	○	○	○	○	○			8月27日	火							

△は予備日

英 会 話 Ⅲ

<英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点>

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを習得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFLのスコア500点以上、TOEICのスコア900点程度。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅲ	ウェルズ, J. K.	営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい

WELCOME TO MY CLASS! MY CLASS IS FOR STUDENTS WHO CAN SPEAK ENGLISH SOMEWHAT FLUENTLY. YOU WILL ONLY BE ACCEPTED IF YOU CAN UNDERSTAND. YOU WILL LEARN TO SPEAK OPENLY AND QUIZZEZ, REPORTS, AND HOMEWORK WILL BE GIVEN.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅲ	ハバード, W. D.	営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい

The goal of this course is to develop the skills of Research, Analysis, and Reasoning that build fluency in communication.

講義の内容・ 授業スケジュール

For successful communication Japanese students need a high English ability and the ability to convey their opinions logically and clearly. Debating issues help Japanese students develop these skills. This course develops the skills of Research, Analysis, and Reasoning through current and sensitive topics related to youth culture and ethics and morals that are discussed and debated in countries around the world. Students will also have the opportunity to practice public speaking and discuss issues related to their own fields.

履修上の留意点

Requirements: Students who take this course are strongly advise to have taken level 2.

成績評価の方法

Grading: Final grades will be based on attendance, class participation, preparation, and tests.

教科書

Textbook: Debating the Issues by Stephen Hesse, Macmillan Language House, Tokyo

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅲ (夏季集中)	レーン, C. M.	営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい

There are two important aims of this course. First, and most important, is to help students develop their English conversation skills and to learn to express their opinions spontaneously on a number of topics with confidence. However, as the majority of misunderstandings between different nationalities stem, not only from language difficulties, but also from cultural ones, the second aim is to promote knowledge and awareness of other countries.

講義の内容・
授業スケジュール

This is a highly intensive class concentrated within six days. During that period a number of different themes will be covered. These will range from simple personal issues, current trends and cultural issues to deeper more involved international problems. Included within the course will be research projects where in the students will be expected to collect information and present it to the class. Individual presentations will also be required.

履修上の留意点

This course offers students an opportunity to express their ideas on a variety of everyday matters. However, as this course is based on fluency and discussion, it is not recommended for students who want to concentrate on grammar skills, or for students who are unwilling to participate fully in pair work, role plays on group activities.

成績評価の方法

Evaluation
25% attendance
25% presentations
50% participation and contribution to discussions.

参 考 書 等

Dictionary

そ の 他

Method of Teaching.
Each lesson will have a central theme. A short explanatory lecture will introduce the topic and then students will be invited through pair work or group discussions to express their opinions. Depending on the interest generated by the topic within the groups, students conversations. All classes will be conducted entirely in English.

授業日程
英会話Ⅲ

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木	○	○	○	○	○			8月20日 火							
8月2日 金	○	○	○	○	○			8月21日 水							
8月5日 月	○	○	○	○	○			8月22日 木							
8月6日 火	○	○	○	○	○			8月23日 金							
8月7日 水	○	○	○	○	○			8月26日 月							
8月8日 木	○	○	○	○	○			8月27日 火							

△は予備日

英 語 L L II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL のスコア480点、TOEIC のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 LL II	お お た ま さ こ 太 田 雅 子	営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい

90分の授業の前半は、テキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は、映画の中の英語をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を応用して、英語での自己表現力を養成する。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第一回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

プリント教材
テキストは未定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 LL II	に し む ら ゆ う こ 西 村 祐 子	営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベル I を終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベル II ではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得していく。授業はすべて英語でおこない、質問もすべて英語でおこなう。学生同士の英語での話し合いなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標は TOEIC700 程度。難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。

電子メールアドレスは商業プロバイダーのものをもちいてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなうことががぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ (90分程度) をもってくる

成績評価の方法

ほとんど毎回英語でのサマリーをおこなう短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出があり、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

教 科 書

Headway (pre-intermediate), Oxford Univ. Press.

参 考 書 等

使用ビデオ：Headway (elementary), および (pre-intermediate), その他。(いずれも本学 LL 事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語LLII	まちだ なおこ 町 田 尚 子	営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい

初級程度のLL授業履修済み、または未履修の場合、英検2級程度の英語力のある学生を対象に、TOEIC、TOEFLのテストに備えた聴解力と表現力の上達を目指すコースです。

講義の内容・
授業スケジュール

4, 5月：ビデオテープを用い、TOEICの基本的な練習問題による復習。
6月と7月第1週：TOEIC スコア700程度を目指した聞き取り練習（添削指導）。
7月第2・3週：TOEICリスニング模擬テスト。
9, 10月：TOEFLのテスト用練習問題の添削指導。
11, 12月：パラフレイズ、含意、文脈による英文理解と表現力の向上。
1月9日（最終授業日）：テスト

履修上の留意点

Emailで連絡・添削等をするので、自習室(KOMAnet)あるいは自宅のメールアドレスがあること。

成績評価の方法

毎授業のテストと最終テストで評価点を出します。

教科書

LL事務室備付けの教材『Basic Skills and Strategies』『English Master Box (1)(2)』『Cambridge Preparations for the TOEFL Test』等を使用します。

参考書等

教場で指示します。

英 語 L L Ⅲ

＜英語 LL Ⅲの授業内容と履修上の留意点＞

上級：LLⅡを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFLのスコアー500点以上、TOEICのスコアー900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 LL Ⅲ	井 伊 順 彦 <small>い の ぶ ひ こ</small>	営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい

リスニング、ポキャプラリー、発音のいずれの面でも一定水準以上にある学生を対象とし、会話などを浴びるように聞いて耳をさらにきたえるとともに、スピーキング力を開発するべくパラエティに富んだ練習をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

プロの通訳も取り入れているシャドーイングを重視する。また、ビデオや別のテープを用いての発展的なリスニング練習も、授業の後半におこなうことになる。

履修上の留意点

毎回一度はほぼ確実に指名したい。その答えの出来を平常点として採点する。録音用テープを各自が用意してほしい。

成績評価の方法

数回の小テスト、平常活動、出席数を組み合わせて評価するが、詳細は教室で。

教 科 書

『Listening, Shadowing, and Speaking』 (『リスニング・シャドーイング・スピーキング』)
(英潮社) 1,700円＋税。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 LL Ⅲ	久 保 ひ さ 子 <small>く ぼ ひ さ こ</small>	営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい

海外旅行の場面別に、一回で通じる短い会話文を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

旅行会話の短文を、ラボを使用して、聞き取り、書き取り、反復練習、録音、再生する。さらに、応用できるように暗記する。小テストあり。

履修上の留意点

LL授業は、ラボによる実習授業のため欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

小テスト合計点と授業実習点

教 科 書

マイケル・ブラウン『旅行でしゃべる英会話』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語LLⅢ	にしむら ゆうこ 西村 祐子	営A2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な表現をつかっまま「話すこと」からはじめたLLⅠのレベルに対して、レベルⅡでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざした。レベルⅢは一層高度な、それを利用して会話の表現力を増していくことをめざしている。授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。ほとんど毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、それにもとづいた教員との応答によって授業がすすめられる。LLレベルⅡを終了し、英検一級程度(TOEIC900程度)をめざす学生用なので、このレベルにみたない学生はレベルⅡを受講することをすすめる。

履修上の留意点

学生への要望：学生は課題提出用に全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。電子メールアドレスは商業プロバイダーのものをもちいてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。聞き取り練習用にテープ録音をするので、カセットテープ(90分程度)をもってくること。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語での短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出がある。電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

使用カセットテープ：Open University Program シリーズ(LL事務室備え付け)。
 使用ビデオ：Mapping the Landscape(ジェムコ出版、LL事務室備え付け)
 その他オープンユニヴァーシティシリーズを適宜使用。

[ドイツ語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事ドイツ語	のじま としあき 野 島 利 彰	営 A 3・4 選	4

講義の内容・ 授業スケジュール

世界的にも評価の高い高級紙であるフランクフルターアルゲマイネ紙から環境、動物保護、麻薬、外国人受け入れなどの問題を扱った記事を選び、読む。日本語での知識がないと理解が難しいので、日本の新聞や雑誌で関連記事を十分に読んでおくこと。予習しやすいよう毎回、次回の分の文法および用語の解説を行う。

成績評価の方法

成績評価は授業に対する貢献度による。

教 科 書

教材には記事のコピーを配布する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級ドイツ語	くりはら かずのぶ 栗 原 万 修	営 A 3・4 選	2

講義のねらい

上級ドイツ語は、1、2年で習得した語学力をのばし、さらに内容を文法的にも正確に読みとり、より高度なドイツ語が身につくようにするのがねらいです。継続的に1年間つづければ、かなり力がつくはずですので、欠席をしないでつづけてください。テキストは特定せず、受講者の語学力に合わせ、また受講者の希望も聞きながら、最適と思われるものをその都度、教場で配布します。

成績評価の方法

成績評価は、試験ではなく日常の勉学過程を中心に総合的に判断します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語LLI	こばやし 小林ゲアリンデ	営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・ 授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

教 科 書

テキストは教室で配布する。

そ の 他

ビデオ、カセットを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語LLII	こばやし 小林ゲアリンデ	営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることが目標とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

教 科 書

Themen I neu

そ の 他

ビデオを使用する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅠA(選)	<small>くりはら かずのぶ</small> 栗原 万修	営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を最初からやります。できるだけいねいに、わかりやすく説明します。ただし、初習の外国語は継続的につけないと習得できませんから、出席を重視します。欠席しないように。欠席をつづけると名簿から名前を抹消します。

成績評価の方法

成績評価はテストのほか、日常の出欠、学習意欲等も含め、すべてを総合して判断します。

教科書

大岩信太郎『快速ドイツ文法』(朝日出版社) 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅠB(選)	<small>おだ しげみ</small> 織田 繁美	営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

ヨーロッパには実に沢山の言語があり、その一つ一つが歴史、文学、芸術など独自の文化を持つ。十六世紀のスペインの宮廷社会の人物を用い、十八世紀ほぼ同じ頃、一つはイタリアで、一つはドイツで別々の詩人が戯曲を書き、この二作品を土台にしてイタリアの作曲家がオペラという音楽戯曲を作曲した。事の成り行きでオリジナルはフランス語の歌詞が付き、その歌詞がイタリア語、ドイツ語等に翻訳され、しかもこれらの翻訳が同一の内容ではなく、元の内容からはみ出し、翻訳に工夫が凝らされている。このようにヨーロッパでは異なる言語でありながら、文化的には早くから一つの統一体であったかに見える。先ずその一つの弊としてのドイツ語を切り崩す一歩を踏み出す切っ掛けをこの授業ではじめて見たいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を用いるが、プリントも使い、日常生活で大切な言い回しを学び、テープレコーダーを用いて耳で聞き取る練習もする。

成績評価の方法

前期末、後期末の試験も勿論勘案するが、平常点に重きが置かれるので、出席が大切である。

教科書

荻野『ドイツってすてき!』(前編) (朝日出版社) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ(選)	<small>もみずみ いさむ</small> 百 濟 勇	営A2・3・4選	2

講義のねらい

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。これまで習った蓄積を基礎にして、さらに使えるドイツ語の修得を目指す。ドイツ語・英会話を併存させる。

成績評価の方法

毎回、何等かの形でテストを行う。平常点で採点、期末試験は行わない。

教科書

プリント配布。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事フランス語	くわ た のりあき 桑 田 禮 彰	営 A 3・4 選	4

講義のねらい

時事フランス語に親しむこと。

講義の内容・
授業スケジュール

フランス語の基礎を復習・確認しながら、新聞・雑誌記事を読んでいきます。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

プリント（フランス語の新聞・雑誌）配布。

参 考 書 等

そのつと授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級フランス語	こだま なりお 小 玉 齊 夫	営 A 3・4 選	2

講義のねらい

「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養うことを目指しています。さしあたっては4級および3級に受かるように、1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していく予定です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期に、下記の教科書を終え、後期は、主としてプリントを用いて行います。詳しくは、最初の授業で。

履修上の留意点

上記の「意気込み」とは矛盾しないはずですが、出席するのが楽しい授業にしたいと思いますので、「遊び心」も持って参加して下さい。

成績評価の方法

数回の小試験・学年末の試験で評価しますが、仏検に合格することも、目標であり、従って評価に含まれることにもなります。

教 科 書

澤田・原田『ビデオで学ぶ中級フランス語—聴解から実践へ—』（第三書房） 2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語LLI	らりあ・みくら ラリア・三倉, M.	営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教 科 書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『P. P. P (パーペーパー) Presenter Pratique Produire』（第三書房）2,800円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語LLII	ラリア・三倉, M. <small>みくら</small>	営A2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。
尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

井上美穂他 『C'EST A TOI !』(仲興通商) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語IA(選)	井田清子 <small>いだきよこ</small>	営A2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を中心に基本的知識をマスターできるように学習します。文法事項のみにかたよらず、パリの生活情景を主題とした読本としても楽しめます。文章体と会話体とを同時に身につけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

パリを中心とした生活が身近に感じられるよう、文章と会話を生きたフランス語として習得します。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜まず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教科書

教科書は、山崎庸一郎他『パリのどこかで』(第三書房)です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語IB(選)	桑田禮彰 <small>くわたのりあき</small>	営A2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得。

講義の内容・授業スケジュール

まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

滑川明彦、前川泰子著『ポケットにフランス語』(第三書房)

参考書等

そのつど授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語Ⅱ（選）	こ だ ま な り お 小 玉 齊 夫	営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい

初級フランス語の応用・展開として、一年次での文的知識を復習しながら、文化的な要素の込められた文章を、さまざまに考えながら、読み進んでいくつもりです。

講義の内容・
授業スケジュール

必ずしも、教科書の構成にこだわらずに、時には調査してもらうことがらも含めて、フランス・日本間の文化的な「つながり・へだたり」を理解していきたいと思います。

履修上の留意点

特別な場合を除き、かならず出席すること。

成績評価の方法

随時行われる小テスト、前期・後期の試験によって成績評価をします。

教 科 書

コルノリエ・野村『私の日仏異文化体験』（第三書房）1,500円

[中国語]

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事中国語	<small>しおはた しんいちろう</small> 塩 旗 伸一郎	営 A 3・4 選	4

講義のねらい	インターネットで中国の各サイトを訪れ、速読（初見）と精読の2種のアプローチにより様々な文体を読み解く力を養う。併せて中国語入力や検索の体験学習も行う。
講義の内容・授業スケジュール	見出しとリード中心の速読は、初見とはいえ画面上で自動的に拼音のルビがつくので、その場で声に出して読むことができる。精読は、文の構造を捕える練習が眼目となる。
履修上の留意点	精読部分は予習が必要である。留学を考えている人は積極的に履修されたい。
成績評価の方法	平常点。
教科書	ネット上で採取。
参考書等	辞書は中日大辞典（大修館書店）、中日辞典（講談社or小学館）、中国語辞典（白水社）を推奨する。これらより遙かに薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安直な辞書は役に立たない。
その他	教場は総合情報センター。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級中国語	<small>かまや おさむ</small> 釜 屋 修	営 A 3・4 選	2

講義のねらい	中国語4科目8単位の修得を前提とする。これまでの学習成果をさらにブラッシュ・アップし、スムーズな発音、正しい構文の把握をめざす。今年度は、具体的な場面設定に基く実践的会話力の練習に重点をおく。
履修上の留意点	中国社会、中国語に強い関心を持ち、持続的、集中的学習意欲をもった諸君と創造的で楽しい授業を展開したい。
成績評価の方法	平常点を中心として評価する。
教科書	竹島毅・徐迎新『中国語会話ルート66』（東方書店）2,400円
参考書等	辞典を必要とするが、適わしい辞書を開講後に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語LLI	<small>きとう ふみこ</small> 佐 藤 普美子	営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい	初級用のテープ教材を用い、会話と聴き取りの基礎訓練を行う。すでにIA-IBの単位を取得しているか、それと同程度の学習経験のある人を対象とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業では基礎的な文法・文型の音声による徹底的な習得をめざす。耳と口の反復練習を大量に行い、中国語の基礎を、文字でなく音で身につけてほしい。
履修上の留意点	予習は必要ないが、復習と自習は不可欠。教科書付録のCDを活用して、毎日、中国語を口にしたりしてほしい。短期留学を目指す人におすすめ。
成績評価の方法	平常点（授業への参加意欲）を重視。
教科書	楊達他『新・聞こえる中国語』（南雲堂）2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語LLII	おがわ たかし 小川 隆	営A2・3・4選	2

講義のねらい

テープを使って、中級ていどの会話と聞き取りの練習をする。週1回、年20数回の授業では、練習量が絶対的に不足なので、授業のほかに毎日の音読と暗誦を課す。それさえ怠らないなら、現在の基礎学力に自信がない人でも、充分について行けると思う。

履修上の留意点

また、短期・長期の留学をめざす人は、この科目やその他の中国語選択科目をなるべく多く履修しておいてほしい（個別に学習の相談に応じます）。

成績評価の方法

出席および暗誦の成果をもとに平常点評価。

教科書

楊頌榮『表現する中国語』（自帝社）2,400円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語IA（選）	かまや おさむ 釜屋 修	営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

週一回一年で中国語初歩の一通りの修得をめざす。正確な発音、ピンイン表記のマスター、基本文法の理解を中心に進めるが音読を重視し、「目」にたよらない「耳」で学ぶ姿勢をたいせつにする。

履修上の留意点

初級外国で週一回の授業ゆえ、欠席は許されない。IB（選）その他とあわせて受講する人も同じ。自主的な学習を求める。

成績評価の方法

平常点、出席点、小テスト、前・後期の期末テスト等で総合的に評価する。

教科書

守屋宏則・柴森『フォーアアップ初級中国語』（同学社）2,500円

参考書等

辞書については開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語IB（選）	まとう ふみこ 佐藤 普美子	営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

中国語入門段階で最低限の基礎知識を系統的にまとめたテキストを用い、豊富なドリルをも活用して発音の基礎をしっかりと学ぶ。

履修上の留意点

休まないでテキストをじっくり読みこむこと。異文化、外国語としての中国語の魅力を発見すること。

成績評価の方法

声の大きさ+小テスト+期末テスト+出席状況により総合的に評価。

教科書

野澤俊敬監修『中国語レッスンA・B・C』（自帝社）2,500円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語Ⅱ（選）	いわさき ひろし 岩 崎 皇	営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい

新たな知識を獲得するというよりも、中国語の音声になれるということを目指します。具体的には、テキストのスキットを全て憶えて言えるように練習します。

履修上の留意点

授業での練習が大切なので、出席を重視します。欠席が既定の回数を超えた場合は成績評価をしません。また、音声の習得は人により早い遅いの差がありますから、自分の状況を見て各自で補う必要があります。

成績評価の方法

教室での学習状況および試験結果で判断します。

教科書

董燕、遠藤光暁『話す中国語-北京編1』（朝日出版社）2,500円

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事スペイン語	<small>うりたに</small> 瓜谷アウロラ	営 A 3・4 選	4

講義のねらい

今までは初級文法を中心にスペイン語の基本を学んできた。これに対して時事スペイン語では、スペイン社会や文化に関する知識の学習を行う。

講義の内容・ 授業スケジュール

毎回異なったテーマのプリントで学習する。よりよく理解するために、プリントは予習が前提となる。必要に応じて関連するビデオも見る。

授業内容：次のテーマに関する記事を読んで訳す。

- 1) 言語 2) 地理 3) マドリードとバルセロナ 4) 歴史 5) 今日のスペイン
6) マスコミ 7) 社会 8) 教育 9) 家族 10) 余暇 11) パル 12) 習慣 13) 食生活
14) ワイン 15) スポーツ 16) 闘牛 17) 祭り 18) 美術 19) フラメンコ 20) クリスマス

成績評価の方法

平常点及び期末筆記試験その他から総合的に判断する。この授業では出席も非常に重視する。欠席と遅刻は減点の対象となり、欠席が7回に達すると自動的に期末試験の受験資格が失われるので、注意すること。

教科書

毎回プリントを配布する。

参考書等

特になし。

その他

受講生の積極的な参加が期待されている。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級スペイン語	<small>みやち たつろう</small> 宮地達郎	営 A 3・4 選	2

講義のねらい

日本で日本語を学んでいるスペイン語圏内の学習者が使用している、スペイン語で書かれた文法書を使い、外国語からみた日本語を観察する。

履修上の留意点

予習、復習が望ましい。漠然と教室内でのみテキストを開くだけでは学習のねらいが達成出来ない。

成績評価の方法

授業態度、出席点、前期/後期のテストで総合判断する。

教科書

『新日本語の基礎Ⅰ文法解説書』（スリーエーネットワーク：海外技術者研究協会編集）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語LLⅠ	ナバ口, ホワンJ.	営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい

授業対象者：基礎スペイン語終了者
※スペイン語を勉強したことがない方はご遠慮下さい。
授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通じて実際のスペイン語会話に触れると同時に、スペインの習慣や情景を知り、スペイン語習得の上での基礎知識を増やして頂きたい。

教科書

『Viaje al español』
テキスト及びVTR教材

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語LLII	ナバロ, ホワンJ.	営A2・3・4選	2

講義のねらい

授業対象者：中級スペイン語終了者
 ※スペイン語を勉強したことのない方及び初級程度の学力の方には困難、御遠慮頂きたい。
 授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通して上級スペイン語会話に接して頂く。

教科書

『Viaje al español 上級編』
 テキスト及びビデオ教材

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語IA(選)	ナバローボロ, L. S.	営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞(不定冠詞・定冠詞)・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞ESTAR・SERとESTARの相違点・HAYとESTARの相違点・指示詞・否定文
5. 動詞TENER・所有詞・TAMBIENとTAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞(AR動詞・ER動詞・IR動詞)・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞I・TENER QUEとHAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞II・IRA+不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・SABERとCONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞GUSTAR
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞

履修上の留意点

定期試験-7月と1月-

教科書

石崎優子、フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』(芸林書房)

参考書等

『現代スペイン語辞典』(白水社)『西和中辞典』(小学館)
 『新スペイン語辞典』(研究社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語IB(選)	<small>うりたに</small> 瓜谷アウロラ	営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の初級文法をベースに会話表現を覚える。必要に応じてプリントによる練習も行う。

講義の内容・授業スケジュール

挨拶、自己紹介、家族紹介、職業、交通手段、食料、色、店の名前、体の調子、スポーツ、時刻、日常生活、天候。

成績評価の方法

平常点及び期末筆記試験その他から総合的に判断する。この授業では出席も非常に重視する。欠席と遅刻は減点の対象となり、欠席が7回に達すると自動的に期末試験の受験資格が失われるので、注意すること。

教科書

『Vivi@España.es(生活@スペイン, スペイン語)』(芸林書房)

その他

読解だけではなく、口頭表現練習も重視するので、受講生の積極的な参加が期待されている。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語Ⅱ（選）	おぎのまさし 荻野雅司	営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行うcommunicationの術を身に付けることを狙いとしています。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教 科 書

佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』（芸林書房）

【ロシア語】

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事ロシア語	木村英明 <small>きむら ひであき</small>	営 A 3・4 選	4

講義のねらい

ソヴィエト連邦の誕生と崩壊は20世紀の世界を揺るがした一大事件でした。その影響は政治や経済のみならず、学術・文化の領域においても多大なものであります。ロシア連邦と名称が変わった現在は、困難な経済状況の下で、新しい社会システムの模索が続けられています。混乱の中にあるとはいえ、ロシアは依然としてヨーロッパからアジアにまたがる巨大な国家として国際的に重要な地位を占めています。隣国日本にとっても、今後ロシアとのいっそうの経済的、文化的交流が進むことが予想され、じかにロシア語を通じて彼の国のアクチュアルな動向に接する練習を積むことは極めて意義深いと思われます。

講義の内容・授業スケジュール

ロシアの政治や経済、文化についての比較的平明な記事や論文を講読します。ビデオ教材も使用する予定です。テキストは適宜プリントの形で配布します。

履修上の留意点

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会えるよう、積極的な態度で参加して欲しいと思います。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級ロシア語	クロチコフ, Y.	営 A 3・4 選	2

講義のねらい

会話練習。
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読する。
講読した内容について自由会話を行う。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

教場にて指示します。プリント配布。
学生の要望も考慮してテキストを選びます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語LLI	安徳ニーナ <small>あんどく</small>	営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい

ロシア語 I、II で学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。
日常の話題等についても自由に会話が出来ようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとずいて会話形式に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S, KHAVRONINA 著『RUSSIAN AS SPEAK IT』(ナウカ社)を使用します。

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語LLII	あん とく 安 徳 ニーナ	営A2・3・4選	2

講義のねらい	日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	資料にもとずいて会話形式に講義を進めます。
成績評価の方法	講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
教科書	新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)
その他	講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語IA(選)	クロチコフ, Y.	営A1・2・3・4選	2

講義のねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。 2) かんたんな挨拶の表現、口常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。 4) 基礎的な初等文法を学びます。 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。 <p>はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。</p>
成績評価の方法	<p>何よりも授業の出席を重視。 平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。</p>
教科書	<p>プリントを配布、教場にて指示します。 【セメスターのロシア語】(白水社) 1,300円 杉山秀子他『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,600円</p>
参考書等	<p>【露和辞典】</p>

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅠB（選）	木 村 英 明 <small>きむら ひであき</small>	営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

ロシアは現在、政治的、経済的に混迷の淵をさまよいつづけている観がありますが、依然として国際社会において様々な分野で多大な影響力を有しています。隣国日本との関係も、文化交流や地域間協力など確実に広がりつつあり、ロシアの人々と直接にコミュニケーションできる機会、必要性は徐々に高まっています。この授業では、言葉を通してロシアの文化や人々の暮らしなども紹介していきたいと考えています。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、簡単な日常表現に即しながら初歩のロシア語文法を学習することにします。音声面にも留意して、コミュニケーションに役立つロシア語の修得を計ります。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教 科 書

桑野隆著『エクスプレス・ロシア語』（白水社）をもとに、必要に応じ適宜プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語Ⅱ（選）	安 徳 ニーナ <small>あん とく</small>	営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい

ロシア語Ⅰで学んだことを基に、ロシア文学を理解できることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書にもとずいて会話を主体的に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で時々行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教 科 書

S.KHAVRONINA著『RUSSIAN AS WE SPEAK IT』（ナウカ社）を使用します。

参 考 書 等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
朝鮮語ⅠA (選)	<small>そん</small> 宋 <small>みりよん</small> 美 玲	営A1・2・3・4選	2
朝鮮語ⅠB (選)			

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書で授業を行う。選択科目なのでⅠA (選) またはⅠB (選) のどちらか1科目か、必要に応じてA、B 2科目選択してもよい。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・ 授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するたいせつな時期なので、熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教 科 書

野間秀樹 著『至福の朝鮮語』（朝日出版社）2,900円

参 考 書 等

野間秀樹 著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

4 保健体育科目

4. 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (トレーニング) 〈光 永 吉 輝〉	207
健康・スポーツ実習 (サッカー) 〈秋 田 浩 一〉	208
健康・スポーツ実習 (ジョギング) 〈森 本 葵〉	209
健康・スポーツ実習 (ジョギング) 〈田 中 佳 孝〉	210
健康・スポーツ実習 (ハンドボール) 〈村 松 誠〉	211
健康・スポーツ実習 (卓 球) 〈秋 田 浩 一・田 中 佳 孝〉	212
健康・スポーツ実習 (室内球技) 〈鈴 木 淳 平〉	213
健康・スポーツ実習 (テ ニ ス) 〈江 口 淳 一〉	214
健康・スポーツ実習 (ソフトボール) 〈森 本 葵〉	215
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技) 〈竹田幸夫・田中佳孝・長濱友雄・宮沢栄作〉	216
健康・スポーツ実習 [再クラス] (簡化太極拳) 〈大 石 武 士〉	217
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (サッカー) 〈秋 田 浩 一〉	218
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (空手道) 〈高 橋 俊 介〉	219
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (卓 球) 〈川 村 正 義・鈴 木 淳 平〉	220
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (バドミントン) 〈牧 野 茂・竹 田 幸 夫〉	221
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (ソフトボール) 〈村 松 誠〉	222
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (トレーニング) 〈鈴 木 淳 平〉	223
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前期・基礎) (簡化太極拳) 〈大 石 武 士〉	224
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (後期・基礎)	
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前期・基礎) (バドミントン) 〈長 濱 友 雄〉	225
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (後期・基礎)	
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前期・基礎) (室内球技) 〈牧 野 茂〉	226
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (後期・基礎)	
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前期・基礎) (室内球技) 〈宮 沢 栄 作〉	227
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (後期・基礎)	
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前期・基礎) (卓 球) 〈宮 沢 栄 作〉	228
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (後期・基礎)	
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前期・応用) (簡化太極拳) 〈大 石 武 士〉	229
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (後期・応用)	
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前期・応用) (ニュースポーツ) 〈大 石 武 士〉	230
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (後期・応用)	
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前期・応用) (バドミントン) 〈長 濱 友 雄〉	231
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (後期・応用)	
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前期・応用) (卓 球) 〈牧 野 茂〉	232
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (後期・応用)	
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前期・応用) (バドミントン) 〈牧 野 茂〉	233
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (後期・応用)	
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前期・応用) (室内球技) 〈牧 野 茂〉	234

生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ（後期・応用）	
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ（前期・応用）（室内球技）〈宮 沢 栄 作〉	235
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ（後期・応用）	
生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）（テニス集中）〈江 口 淳 一〉	236
生涯スポーツ実習（集中前期・応用）	
生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）（テニス集中）〈江 口 淳 一〉	237
生涯スポーツ実習（集中後期・応用）	
生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）（ゴルフ集中）〈三 幣 晴 三〉	238
生涯スポーツ実習（集中後期・応用）	
生涯スポーツ演習（シーズン前期・基礎）（ゴルフ）〈三 幣 晴 三 他〉	239
生涯スポーツ演習（シーズン前期・応用）	
生涯スポーツ演習（シーズン後期・基礎）（スキー）〈田 中 佳 孝 他〉	240
生涯スポーツ演習（シーズン後期・応用）	
健康・スポーツ論 1 〈江 口 淳 一〉	241
健康・スポーツ論 1 〈光 永 吉 輝〉	242
健康・スポーツ論 2 〈大 石 武 士〉	243
健康・スポーツ論 2 〈牧 野 茂〉	244
健康・スポーツ論 2 〈宮 沢 栄 作〉	245
健康・スポーツ論 2 〈村 松 誠〉	246
健康・スポーツ論 2 〈大 石 武 士〉	247
余 暇 学 〈秋 田 浩 一〉	248
余 暇 学 〈竹 田 幸 夫〉	249

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

		2 時限 (経営 - 1)		3 時限 (経営 - 2)	
木曜日	※光永	トレーニング	※村松	ハンドボール	
	秋田	サッカー	秋田	卓球	
	田中	卓球	田中	ジョギング	
	鈴木	室内球技	鈴木	室内球技	
	村松	ハンドボール	光永	トレーニング	
	森本	ジョギング	森本	ソフトボール	
	江口	テニス	江口	テニス	

※は、科目の主担当者

保健体育

「生涯スポーツ実習 I ~ IV」開講種目一覧

(於：本校体育館)

		月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		
1 時限												
2 時限	長濱	前期・基礎	大石	前期・応用			牧野	前期・応用	牧野	前期・応用		
		バドミントン		ニュースポーツ※				卓球		室内球技		
		後期・基礎		後期・応用				後期・応用		室内球技		
		バドミントン		ニュースポーツ※				卓球		室内球技		
3 時限	長濱	前期・応用	大石	前期・基礎	宮沢	前期・応用	宮沢	前期・基礎	牧野	前期・基礎		
		バドミントン		簡化太極拳※				室内球技		卓球		室内球技
		後期・応用		後期・基礎				後期・応用		後期・基礎		室内球技
		バドミントン		簡化太極拳※				室内球技		卓球		室内球技
4 時限	大石	前期・応用		宮沢	前期・基礎	前期・基礎	牧野	前期・応用				
		簡化太極拳※						室内球技				バドミントン
		後期・応用						後期・基礎				後期・応用
		簡化太極拳※						室内球技				バドミントン

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	みつなが よしてる 光 永 吉 輝	営 A 1 必	2

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・ 授業スケジュール

始めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3時限目：〃
- 4時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5時限目：トレーニング
- 6時限目：トレーニング
- 7時限目：トレーニング
- 8時限目：負荷を男子は、2kg up女子は1kg up
- 9時限目：トレーニング
- 10時限目：トレーニング
- 11時限目：トレーニング
- 12時限目：負荷を男子は、2kg up女子は1kg up
- 13時限目：トレーニング
- 14時限目：トレーニング
- 15時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいらないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (サッカー)	あ き た こ う い ち 秋 田 浩 一	営 A 1 必	2

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることで数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術の練習とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことやJリーグ等の試合観戦の理解度を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容、服装等の説明
- 2 時限目：班分け、インサイドキック、トラッピング（グランダー）
- 3 時限目：インサイドキック、練習ゲーム
- 4 時限目：浮き玉のトラッピング1、リーグ戦1
- 5 時限目：インステップキック、リーグ戦2
- 6 時限目：インフロントキック、リーグ戦3
- 7 時限目：オフサイドルールの理解、リーグ戦4
- 8 時限目：浮き玉のトラッピング2、リーグ戦5
- 9 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦6
- 10 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦7
- 11 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦8
- 12 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦9
- 13 時限目：基礎技術の応用練習、優勝決定戦
- 14 時限目：基礎技術の応用練習、優勝決定戦
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること（6本ポイントのスパイクは不可）。靴下は厚手のものがよい。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点はチーム対抗リーグ戦の結果と受講態度により採点する。個人に実技テストは、行なわない。

そ の 他

雨天の場合は、室内にて他種目の運動もしくは、ルールの説明、ビデオによるプロゲームの観戦。

注) 運動服装は雨天時でも持参すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	もりもと 森 本 葵	営 A 1 必	2

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目標とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、
野外走、クロスカントリー）
- 10 時限目：〃
- 11 時限目：〃
- 12 時限目：〃
- 13 時限目：〃
- 14 時限目：12分間走
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

出席を最重視するが、12分間走に於ける走行距離を得点に加えて評価する。

そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	^た ^な ^か ^よ ^し ^た ^か 田 中 佳 孝	営 A 1 必	2

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目標とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時 限 目：心拍数測定・諸注意・体重測定
2 時 限 目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
3 時 限 目：
4 時 限 目：
5 時 限 目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
6 時 限 目：
7 時 限 目：
8 時 限 目：
9 時 限 目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、野外走、クロスカントリー）
10 時 限 目：
11 時 限 目：
12 時 限 目：
13 時 限 目：
14 時 限 目：
15 時 限 目：まとめ

履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

出席を最重視するが、受講態度を加味して評価する。

そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニングやウォーキング・ジョギングの方法論の講義を行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ハンドボール)	むらまつ 村 松	まこと 誠	営 A 1 必 2

講義のねらい

ハンドボール競技の面白さを体験するため、ゲームを中心とした展開を行なう。
パスキャッチ、シュートなどの基礎技能の習得から、2対1、2対2などのグループ戦術まで高めていく。また、ルールと審判法を理解し、グループで協力してゲームが運営できることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：コートでの準備とパスキャッチ
- 3時限目：ジャンプシュート
- 4時限目：基本的なルールとリードアップゲーム
- 5時限目：チーム分けとミニゲーム
- 6時限目：ランニングパスとミニゲーム
- 7時限目：速攻2対1とミニゲーム
- 8時限目：リターンパスとミニゲーム
- 9時限目：1対1の突破とミニゲーム
- 10時限目：速攻法とミニゲーム
- 11時限目：ゴールキーピングとミニゲーム
- 12時限目：審判法とミニゲーム
- 13時限目：リーグ戦
- 14時限目：リーグ戦
- 15時限目：実技テストとリーグ戦

履修上の留意点

服装は動き易いものとし、運動靴を用意すること。必ず爪を短く切っておくこと。また、金具類、ネックレス、ピアスなどは、身につけないこと。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、ゲームへの貢献、実技テストを加味して評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内でボールを使ったトレーニングを行なう。また、ハンドボールのビデオ鑑賞や詳細なルールにより、ハンドボール競技の理解を深める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	あきた こういち たなか よしたか 秋田 浩一・田中 佳孝	営 A 1 必	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	すずき じゅんべい 鈴 木 淳 平	営 A 1 必	2

講義のねらい

バスケット・ボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフ・コート 2 対 1、ゲーム (1 次リーグ)
- 4 時限目：ハーフ・コート 3 対 2、ゲーム (1 次リーグ)
- 5 時限目：ハーフ・コート 4 対 3、ゲーム (1・2 次リーグ)
- 6 時限目：ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム (2 次リーグ)
- 7 時限目：実技テスト、ゲーム (2 次リーグ)
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：実技テスト、ゲーム (トーナメント)
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技テスト (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (テニス)	えぐち じゅんいち 江 口 淳 一	営 A 1 必	2

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標としている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目指す。さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り社会性を養うと共に、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ミニラリー
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本記述
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本記述
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	竹田 幸夫・田中 佳孝 長濱 友雄・宮沢 栄作	全 学 科	2

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

【前期】

- 1時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3時限目： 〃 (サービスとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4時限目： 〃 (シングルスゲーム)
- 5時限目： 〃 (シングルスゲーム)
- 6時限目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 8時限目： 〃 (まとめと評価)
- 9時限目：バドミントン(ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10時限目： 〃 (ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11時限目： 〃 (ルール解説、シングルスゲーム)
- 12時限目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 14時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 15時限目： 〃 (まとめと評価)

【後期】

- 1時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2時限目：バレーボール(パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3時限目： 〃 (アタックとブロッキングの技術、ルール解説)
- 4時限目： 〃 (フォーメーション、ゲーム)
- 5時限目： 〃 (ゲーム)
- 6時限目： 〃 (ゲーム)
- 7時限目： 〃 (ゲーム)
- 8時限目： 〃 (まとめと評価)
- 9時限目：バスケットボール(パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10時限目： 〃 (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11時限目： 〃 (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12時限目： 〃 (ゲーム)
- 13時限目： 〃 (ゲーム)
- 14時限目： 〃 (ゲーム)
- 15時限目： 〃 (まとめと評価)

履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を実践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕（簡化太極拳）	お お い し た け し 大 石 武 士	全 学 科	2

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

1 時限目:オリエンテーション	16時限目:太極拳動作について説明
2 時限目:重心の移動・腹式呼吸運動	17時限目:総合
3 時限目:第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅	18時限目:総合
4 時限目:第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱	19時限目:総合
5 時限目:第三組 左攪雀尾・右攪雀尾	20時限目:総合
6 時限目:第四組 単鞭・雲手・単鞭	21時限目:総合
7 時限目:第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚	22時限目:総合
8 時限目:第六組 左下勢独立・右下勢独立	23時限目:総合
9 時限目:第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂	24時限目:総合
10時限目:第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・収勢	25時限目:総合
11時限目:総合	26時限目:総合
12時限目:総合	27時限目:総合
13時限目:総合	28時限目:総合
14時限目:総合	29時限目:総合
15時限目:テスト	30時限目:テスト

履修上の留意点

- 1) 定員:50名
- 2) 服装:一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場:修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース（空手道）	た か は し し ゅ ん す け 高 橋 俊 介	全 学 科	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1日：空手道の歴史と技の説明
自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 第2日：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 第3日：総合的に反復して練習
総合的に反復して練習
2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 第4日：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
総合的に反復して練習
総合的に反復して練習
- 第5日：総合的に反復して練習
総合的に反復して練習
実技試験

履修上の留意点

服装は、一般的運動服装で身軽に動きやすいもの。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期） 7月18日（木）～22日（月）
（後期） 12月21日（土）～25日（水）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川グラウンド集合
- (2) 実施時間： 10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
- (5) 備 考：再クラス集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース（卓球）	かわむら まきよし すぎき じゅんぺい 川村 正義・鈴木 淳平	全 学 科	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明。ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形。
- 1日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム。
- 2日目午前：バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム。
- 2日目午後：カットの打ち方と返球の方法。シングルスゲーム。
- 3日目午前：シングルスゲーム。ダブルスゲームのやり方。
- 3日目午後：ダブルスゲームの練習。
- 4日目午前：ダブルスゲーム。
- 4日目午後：ダブルスゲーム。
- 5日目午前：トーナメント形式の試合。
- 5日目午後：まとめ。

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は、授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点。実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（木）～22日（月）
（後期）12月21日（土）～25日（水）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間： 10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (バドミントン)	まきの ^{しげる} 牧野 茂・竹田 ^{ゆきお} 幸夫	全 学 科	2

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）
1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
①（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
②（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
①（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
②（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
③（カット、ブッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
5日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

履修上の留意点

- (1) 服装は、一般的な運動服とする。
- (2) 体育館シューズを用意すること。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（木）～22日（月）
（後期）12月21日（上）～25日（水）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間： 10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (ソフトボール)	むらまつ 村 松	まこと 誠	全 学 科 2

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームの技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

第1日目午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
第2日目午前：ゲーム
午後：々
第3日目午前：々
午後：審判法・ゲーム
第4日目午前：々
午後：々
第5日目午前：々
午後：々

履修上の留意点

一般的の体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視、総合的に評価する。

教 科 書

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間： (前期) 7月18日(木)～22日(月)
(後期) 12月21日(土)～25日(水)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川グラウンド集合
- (2) 実施時間： 10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所： 玉川グラウンド
- (4) 申込方法： 「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
- (5) 備 考： 再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (トレーニング)	すずき じゅんぺい 鈴 木 淳 平	全 学 科	2

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(木)～22日(月)
(後期) 12月21日(土)～25日(水)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間： 10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名		担当者名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (簡化太極拳)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左攏雀尾・右攏雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バドミントン)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。

また、技術課題として、以下の点に留意して行なう。

- (1) フォアハンド、バックハンドとも使うことができる。
- (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4時限目：反面での簡易ゲーム
- 5時限目：ク
- 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8時限目： } 総合練習・シングルゲーム
- 11時間目： }
- 12時間目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15時間目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (室内球技)	まきの 牧野 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールとバドミントンを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：授業内容の説明（バスケットボール）
- 2時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2メン・ダッシュ
- 3時限目：ランニング・パス、ハーフ・コート2対1、ミニゲーム
- 4時限目：ランニング・パス、ハーフ・コート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 5時限目：レイアップ・シュート・ドリル、フル・コート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6時限目：初歩的なマンツーマン・オフense①、ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7時限目：初歩的なマンツーマン・オフense②、ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 8時限目：実技テスト、ゲーム（トーナメント）
- 9時限目：（バドミントン）ラケットティング、ストロークの基本技術（回内、回外）
- 10時限目：オーバー・ヘッド・ストローク（スマッシュ、ドロップ、クリアー）
- 11時限目：アンダー・ハンド・ストローク（クリアー、ヘアピン）
- 12時限目：サービス、ストロークの応用とミニゲーム、ダブルスのルール
- 13時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 14時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 15時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	みやざわ えい さく 宮 沢 栄 作	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (室内球技)		全学科4選	

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境を改善して、出来るだけ身体を動かすことが心身の健康につなげることを認識させ、その実践をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：バスケットボール競技の基本応用技術の全般についての実習
- 3 時限目：正式ゲーム
- 4 時限目：正式ゲーム
- 5 時限目：バレーボール競技の基本応用技術について
- 6 時限目：正式ゲーム（6人制）
- 7 時限目：正式ゲーム（6人制）
- 8 時限目：卓球の基礎応用技術について
- 9 時限目：シングルス、ダブルスのゲーム
- 10 時限目：シングルス、ダブルスのゲーム
- 11 時限目：バドミントン技術について
- 12 時限目：シングルス、ダブルスの正式ゲーム
- 13 時限目：シングルス、ダブルスの正式ゲーム
- 14 時限目：まとめとして、希望種目の実施
- 15 時限目：評価（全種目を通して）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 本校第1体育館で行う。
- (3) 服装は一般的な運動服装とする。体育館用シューズを用意すること。
- (4) 用具は貸与する。

成績評価の方法

出席点70%、実技点30%とする。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (卓 球)	みやざわ えい さく 宮 沢 栄 作	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3時限目：サーブ、ラリー
- 4時限目： }
 } 総合練習・シングルスゲーム
- 8時限目： }
- 9時限目： 総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10時限目： }
 } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13時限目： }
- 14時限目： 総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15時限目： 総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (簡化太極拳)	おお いし たけ し 士 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 單鞭・雲手・單鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (ニュースポーツ)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 9 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 10 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 11 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 12 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：35名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
また、技術課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4時限目：総合練習
- 5時限目：総合練習
- 6時限目 } 総合練習・ゲーム (シングルス)
- 10時間目 }
- 11時間目 } 総合練習・ゲーム (ダブルス)
- 15時間目 }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (卓 球)	まきの 牧 野 しげる 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3時限目：サーブ、ラリー
- 4時限目：} 総合練習・シングルスゲーム
- 8時限目：}
- 9時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10時限目：} 総合練習・ダブルスゲーム
- 13時限目：}
- 14時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	まき の しげる 牧 野 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
 - (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ストロークの基本技術、スマッシュ
- 3時限目：ドロップ・ショット、ハイ・クリヤー、ドライブ
- 4時限目：サーブ、ネット、ショット、プッシュ
- 5時限目：総合練習
- 6時限目： } 総合練習・ゲーム（シングル）
- 10時間目： }
- 11時間目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時間目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (室内球技)	まきの 牧野 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールとバドミントンを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1時限目：授業内容の説明（バスケットボール）
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ、シュート・ドリル、ハーフ・コート2対1
- 3時限目：シューティング・ドリル、フル・コート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 4時限目：著名なマンツーマン・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 5時限目：著名なマンツーマン・オフENSE②ハーフ・コート2対3、ゲーム（リーグ戦）
- 6時限目：モーション・オフENSE・ドリル①ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7時限目：モーション・オフENSE・ドリル②ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 8時限目：実技テスト、ゲーム（トーナメント）
- 9時限目：（バドミントン）ストロークの基本技術（回内、回外）
- 10時限目：オーバー・ヘッド・ストローク（スマッシュ、ドロップ、クリアー、ドライブ、カット）
- 11時限目：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、シングルのゲーム
- 12時限目：アンダー・ハンド・ストローク（クリアー、ネット・ショット）、シングルのゲーム
- 13時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 14時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 15時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (室内球技)	みや ぎわ えい まく 宮 沢 栄 作	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境を改善して、出来るだけ身体を動かすことが心身の健康につなげることを認識させ、その実践をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：バスケットボール競技の基本応用技術の全般についての実習
- 3 時限目：正式ゲーム
- 4 時限目：正式ゲーム
- 5 時限目：バレーボール競技の基本応用技術について
- 6 時限目：正式ゲーム（6人制）
- 7 時限目：正式ゲーム（6人制）
- 8 時限目：卓球の基礎応用技術について
- 9 時限目：シングルス、ダブルスのゲーム
- 10 時限目：シングルス、ダブルスのゲーム
- 11 時限目：バドミントン技術について
- 12 時限目：シングルス、ダブルスの正式ゲーム
- 13 時限目：シングルス、ダブルスの正式ゲーム
- 14 時限目：まとめとして、希望種目の実施
- 15 時限目：評価（全種目を通して）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 本校第1体育館で行う。
- (3) 服装は一般的な運動服装とする。体育館用シューズを用意すること。
- (4) 用具は貸与する。

成績評価の方法

出席点70%、実技点30%とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) テニス集中	えぐち じゆんいち 江 口 淳 一	全 学 科 選	1

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスは、打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知することを目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながらHighでFullにテニスと関わる能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1日目午後：ラリーの応用練習
- 2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指して
- 3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3日目午後：ダブルス（平行陣への移行）
- 4日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 4日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 5日目午前：団体戦形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日（土）～25日（水）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間： 10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時間で提出すること。
土曜日・8時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) ゴルフ集中	みぬさはるみ 三 幣 晴 三	全 学 科 選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。
本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。
生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目 実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2日目 実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3日目 実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4日目 実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目 実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
 - ① 一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
 - ② グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

そ の 他

- (1) 実施期間 12月21日（土）～25日（水）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川グラウンド集合
- (2) 実施時間 10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所 玉川校舎グラウンド
- (4) 費 用 受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、2,000円程度必要である。
- (5) 定 員 40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	みぬさほるみ 三 幣 晴 三 他	全 学 科 選	2

講義のねらい

「健康・スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフの基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。

ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- (1) 事前授業 1回目 5月18日(土) 講義:12:00~12:50 2研-101教場
「ゴルフの基本知識1、オリエンテーション」
2回目 7月20日(土) 講義:13:00~15:30 2研-101教場
「ゴルフの基礎知識2」

※上記の事前授業は、オリエンテーションを兼ねるので必ず出席すること。

- (2) 実習内容
- 1日目 9月9日(月) 実技:14:00~17:00 《オリエンテーション・打撃練習》
講義:19:00~21:00 《ゴルフスイングの基本》
- 2日目 9月10日(火) 実技:9:00~21:00・13:00~16:30 《打撃練習・その他》
講義:19:00~21:00 《ゴルフのエチケット・マナー》
- 3日目 9月11日(水) 実技:9:00~12:00・13:30~16:30 《打撃練習・その他》
講義:19:00~21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》
- 4日目 9月12日(木) 実技:9:00~21:00・13:00~16:30 《ラウンド・その他》
講義:19:00~21:00 《ラウンドの反省と総括》
- 5日目 9月13日(金) 実技:9:00~11:00・12:30~14:30 《ラウンド・その他》

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
- ① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - ② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - ③ グローブは、必ず各自で用意すること。
※ゴルフクラブ・キャディーバック等は大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。
- (2) 場所・宿泊
- ① 宿泊先:軽井沢千ヶ滝温泉ホテル 電話0267-46-1111
長野県北佐久郡軽井沢町千ヶ滝温泉
 - ② 練習場:軽井沢ゴルフ練習場 電話0267-48-1211
 - ③ コース:晴山ゴルフ場・ホテルコース・和美パー3コース・その他
- (3) 実施期間 平成14年9月9日(月)~13日(金) 4泊5日
- (4) 募集人員 定員25名(事前登録科目である。)
- (5) 集合・解散 現地(軽井沢千ヶ滝温泉ホテル)。詳細については(時間:道順など)事前授業で説明するので必ず出席すること。
- (6) 費用 49,500円 ※交通費は含まれない。
- (7) 納入方法 経理部窓口で、平成14年5月24日(金)~6月6日(木)までに納入すること。

成績評価の方法

出席点70%、技術の上達度および小テスト30%(ルール、マナー等)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー	<small>た な か よ し た か</small> 田中佳孝 他	全 学 科 選	2

保健体育

講義のねらい

現在我が国においてスキーは、国民スポーツと言われるまでに普及し、「生涯スポーツ」として楽しむことのできるスポーツとして定着している。スキーを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーについて理解を深めていきたい。

実習は、スキーの技術レベルに応じて、1班10名程度にグループ分けして実施する。コースの内容は、以下の通りである。

基礎コース：雪面に慣れることから始まり、ブルーク更にシュテムターンの習得

応用コース：パラレル、ウェーデルンと斜面に応じた総合滑降技術の習得、および完成をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

- 事前授業： 5月18日(土) 12:10~12:50 2研-102教場「オリエンテーション・スキーの基礎知識1」
12月21日(土) 13:00~15:30 2研-101教場「スキーの基礎知識2」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 <2月17日(月)> 午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スキー基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 <2月18日(火)>
午前・午後：班別実習および全体講義「スキー応用技術解説」
 - 3日目 <2月19日(水)>
午前・午後：班別実習および全体講義「スキーと自然・ウィンタースポーツ」
 - 4日目 <2月20日(木)>
午前・午後：班別実習および班別講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 <2月21日(金)>
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

シーズンコーススキーの授業は、下記の要領で実施する。

- 1) 日程：平成15年2月17日(月)～2月21日(金)の4泊5日
- 2) 場所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
受講者は、費用を納入期間平成14年5月24日(金)～6月6日(木)までに経理部窓口で納入すること。
- 4) 定員：90名
- 5) 【履修届(事前登録)】に関する注意：教務部窓口へ提出する『事前登録申請書』には、シーズンコース用に設定された『土曜日8時限(後期)』で記入すること。
- 6) オリエンテーション：上記の事前講義(5月18日(土)・12月21日(土))で実習の説明を行うので必ず出席すること。
- 7) スキー用具：スキー用具は現地でレンタル可能(有料)。
- 8) 特記事項：スキー実習日程は、卒業年次生の追再試・1～3年次生の追試験と重なっているため特に注意すること

成績評価の方法

事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びにスキー基本技術や、理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(03-3709-0717)に連絡すること。尚、実習に不参加の場合、受講料の一部は、返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 1 (前期)	えぐちじゅんいち 江 口 淳 一	営 A 1 選	2

講義のねらい

現代文明は、経済性、利便性、効率性の名の下に人間を身体運動から遠ざけ、結果として運動不足症候群と呼ばれる様々な現象を生んできた。本講義では、このような社会において、より良く、たくましく生きて行く為に人間生活の基本である健康、体力、身体運動に対する理解を科学的アプローチで深め、さらには身体運動を自律的に生活の中に位置づけていく態度と能力の育成を図ることを目的とする。また、運動・スポーツの文化的意義について学ぶことで、Quality of lifeを実践するための基礎を養うことを主眼に講義を進めるつもりである。

人が生きて行くためには、自らの身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であると考えられる。スポーツを単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また身体を認識する手段としてとらえ、更に、スポーツを楽しむ能力とゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを本講義の目標とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：講義の目標の説明、学生の学習目標設定
- 2 時限目：ゆとり時代のLIFE STYLE (To have or To be)
- 3 時限目：生涯学習社会と大学保健体育科目の意義
- 4 時限目：現代社会と健康・スポーツ（余暇社会、高齢化社会と健康阻害要因）
- 5 時限目：健康と体力の概念
- 6 時限目：人体 1) 骨格の構造
- 7 時限目： 2) 筋肉の構造
- 8 時限目： 3) 運動と呼吸循環器系
- 9 時限目： 4) 運動と代謝
- 10 時限目： 5) 運動エネルギー供給の仕組み
- 11 時限目：スポーツ・トレーニングの筋、骨格に及ぼす効果
- 12 時限目：スポーツ・トレーニングの呼吸循環器系に及ぼす効果
- 13 時限目：運動処方計画のための基礎（パワートレーニング、エアロビクストレーニング）
- 14 時限目：スポーツ科学分野におけるトピックス、21世紀に向けての健康づくり
- 15 時限目：まとめ－学生自身による授業評価－

成績評価の方法

出席状況および授業最終日に行うアンケートにて評価する。

参 考 書 等

配布プリントにより授業を進めるため教科書はないが、以下の文献は参考図書となる。

『運動処方』（朝倉書店）3,500円

『運動生理学20講』（朝倉書店）2,884円

『「ゆとり」時代のライフスタイル』（日本経済新聞社）1,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 1 (前期)	<small>みつなが よしてる</small> 光 永 吉 輝	営 A 1 選	2

保
健
体
育

講義のねらい

健康と長寿を願う心は、太古の昔より人類普遍の願望であるが、日常生活においては自分が現在健康である事を意識して行動している人は少ないのではないだろうか、病気やけがを始めてはじめて健康の重要性を知るのではなく、常日頃から健康を意識し健康に関心の目を向けることが必要である。

文明先進国における疾病や運動不足に起因するさまざまな健康阻害を、スポーツ医学の面から人体を運動器としてとらえ、骨格、筋肉、靭帯を中心に、頭部、体幹、手、足と各部の身体的特長や、その欠点とスポーツ障害について講義する。

自己や他人の生命そして健康は何物にもまして大切なものである事の理解を深める事を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：講義の概要説明
- 2 時限目：骨格と障害 1) 頭蓋
- 3 時限目：　　　　　　" 2) 体幹
- 4 時限目：　　　　　　" 3) 体幹
- 5 時限目：　　　　　　" 4) 下肢
- 6 時限目：　　　　　　" 5) 下肢
- 7 時限目：　　　　　　" 6) 上肢
- 8 時限目：身体運動と健康
- 9 時限目：運動不足の害
- 10 時限目：運動の効果・骨と健康
- 11 時限目：トレーニング論 1)
- 12 時限目：トレーニング論 2)
- 13 時限目：運動と栄養
- 14 時限目：健康管理
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

出席および筆記試験によって行なう。またレポートなど提出物によって試験に変える場合もある。

教 科 書

『保健体育概論』（カズサ出版部）。教科書は指定するが、必ずしも教科書に沿って講義を進めるわけではない。

参 考 書 等

医学面の人体解剖図などその他の必要な資料は、こちらで配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	お お い し た け し 大 石 武 士	全 学 科 選	2

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参 考 書 等

- 1 駒澤大学保健体育部編 『保健体育概論』（カヅサ出版） 1,700円
- 2 『最新図解救命救急一応急手当の手引き』（小学館） 700円

そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	まきの 野 茂 しげる	全 学 科 選	2

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か① 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か②
- 4 時限目：健康とは何か③
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進① 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進② 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康① 運動・栄養・休養①
- 11 時限目：日常生活と健康② 〃 〃 〃 ②
- 12 時限目：日常生活と健康③ 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について① インフルエンザ、結核
- 14 時限目：感染症について② 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法

筆記試験において、60点以上を合格とする。

教 科 書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参 考 書 等

『保健体育概論』（カヅサ出版部）1,700円
他は、講義のなかで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	みやざわ えいさく 宮 沢 栄 作	全 学 科 選	2

講義のねらい

健康としての具備すべき条件（13項目）の追求と、それに深くかかわる体育、スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時間目：体育の発生と今日までの各々の時代的変遷と併わせて古代体育の目的と現代の体育の具体的目標について。
- 2 時間目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を人間以外の動物の寿命等を例として認識させる。
- 3 時間目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時間目：スポーツと体力の関係について
- 5 時間目：運動能力発達の原理
- 6 時間目：運動能力の領域
- 7 時間目：運動能力の構造
- 8 時間目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時間目：総合体力の定義と要素
- 10 時間目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ障害について
- 11 時間目：〃
- 12 時間目：トレーニング理論全般
- 13 時間目：〃
- 14 時間目：〃
- 15 時間目：まとめ

成績評価の方法

成績評価は学期末の筆記試験による。

教 科 書

不要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	むらまつ まこと 村 松 誠	全 学 科 選	2

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代と言われる。健康に関する情報は、テレビに、雑誌にと、世に溢れている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、健康とは何であるかという、しっかりした健康観をもつことは、間違った選択をしないためにも大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中でもっとも健康な時期と言われるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この学生時代より多くは始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯に渡っての健康を考えて行く。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の子防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10時限目：飲酒と健康
- 11時限目：ストレスと健康
- 12時限目：食べ物と健康
- 13時限目：運動と健康
- 14時限目：環境と健康
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

数回の小テストを行なう予定。

成績評価の方法

定期試験とその他を加味して評価する。

教 科 書

教科書は特に指定しないが、保健体育部編 『保健体育概論』 を参考図書とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	お お い し た け し 大 石 武 士	全 学 科 選	2

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病氣や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病氣・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：控減傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参 考 書 等

- 1 駒澤大学保健体育部編 『保健体育概論』（カツサ出版） 1,700円
- 2 『最新図解救命救急—応急手当の手引き—』（小学館） 700円

そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
余暇学（前期）	あ き た こう い ち 秋 田 浩 一	営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい

世界のサッカーをリードするヨーロッパ。特にオランダ、イタリア、ドイツ、イングランドの現状と将来について考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ヨーロッパサッカーの歴史
- 3 時限目：オランダサッカーの現状
- 4 時限目： 〃 の考え方
- 5 時限目：イタリアサッカーの現状
- 6 時限目： 〃 の将来
- 7 時限目：ドイツサッカーの現状
- 8 時限目： 〃 の将来
- 9 時限目：イングランドサッカーについて
- 10時限目：フランスサッカーについて
- 11時限目：ヨーロッパのクラブの運営と組織について
- 12時限目：東ヨーロッパ・トルコのサッカーについて
- 13時限目：オランダサッカーの実習
- 14時限目：イタリア 〃
- 16時限目：まとめ レポート提出

履修上の留意点

講義は教室で、実習は主として第1体育館で実施する。用具等はすべて貸与する。実習時は運動着、体育館用シューズを用意。

成績評価の方法

平素の学習態度とレポート提出および授業内の小テストで成績評価を行う。

参 考 書 等

不要。

保健
体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
余暇学（前期）	たけだ ゆきお 竹 田 幸 夫	営 A 2・3・4 選	2

講義のねらい

現代社会の急激な変貌、とくに科学技術の進歩にともなう産業構造の変化、所得水準の向上などによって、近年わが国におけるレジャーやレクリエーションの普及や多様化はめざましい。「余暇をいかに生きるか」は、21世紀において健康で豊かな生活を送る上でますます重要なテーマとなってくると予想される。

大学生の年代は、世界観やライフスタイルの基礎を確立する大切な時期でもある。講義と実技による授業を通じて、余暇とレクリエーション、スポーツに関する基礎的な知識と考え方についての理解を深めてもらいたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：現代社会における「余暇」
- 3 時限目：日本における社会体育の現状
- 4 時限目：レクリエーション実習
- 5 時限目：生涯スポーツ、Sports for all、市民スポーツ
- 6 時限目：レクリエーションの多様化、ウォーキングエクササイズ
- 7 時限目：レクリエーション実習
- 8 時限目：地域・職場におけるスポーツ
- 9 時限目：生活におけるスポーツの楽しみ方
- 10 時限目：レクリエーション実習
- 11 時限目：公共スポーツ施設とスポーツクラブ
- 12 時限目：ニュースポーツ
- 13 時限目：レクリエーション実習
- 14 時限目：「余暇」の考え方、将来の展望
- 15 時限目：レポート提出

履修上の留意点

授業において扱う内容を、知識として聞くだけではなく、将来の自分の具体的な問題として捉えながら講義を聞いてほしい。実習については、第1体育館において球技やニュースポーツ、屋外においてウォーキングエクササイズ等を実施する。その際には、一般的なスポーツウェアとシューズを用意する。なお、体育館における実習の場合には、体育館シューズが必要となる。

成績評価の方法

授業の最後の時間に実施する試験と平常の学習態度で成績評価を行なう。

教 科 書

現代における余暇に関わりのあるトピックスを中心に扱うので、とくに教科書は用いない。

参 考 書 等

生涯スポーツに関する以下の書籍を参考図書として上げておきたい。
池田幸應ほか 『実践・生涯スポーツ』（不味堂出版）3,000円
関春南・唐木國彦編 『スポーツは誰のために』（大修館書店）2,266円

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

経営学科フレックスA・第1部経営学科

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P. 505)

II. 專門教育科目

經濟學概	說	〈永田智則〉	257
簿記	學	〈床井睦子〉	257
簿記	學	〈伊東敏〉	258
簿記	學	〈岩淵昭子〉	258
簿記	學	〈高田光明〉	259
簿記	學	〈猿山義広〉	260
簿記	學	〈小田幹雄〉	261
簿記	學	〈大野滿奈〉	262
會計	學	〈各務洋子〉	263
會計	學	〈近藤禎夫〉	264
近代經濟	論	〈明石博行〉	265
近代經濟	論	〈滝田公一〉	266
經營學概	論	〈長國強〉	267
經營學	學	〈飯田哲夫〉	267
情報處理基礎	礎	〈宇谷明秀〉	268
情報處理基礎	礎	〈河内谷幸子〉	268
情報處理基礎	礎	〈加藤武信〉	269
情報處理基礎	礎	〈地引昌弘〉	270
情報處理基礎	礎	〈橋場利幸〉	271
情報處理基礎	礎	〈山下英明〉	272
情報處理基礎	礎	〈依田聖〉	273
情報處理應用 I	I	〈宇谷明秀〉	273
情報處理應用 I	I	〈河内谷幸子〉	274
情報處理應用 I	I	〈加藤武信〉	275
情報處理應用 I	I	〈地引昌弘〉	276
情報處理應用 I	I	〈橋場利幸〉	277
情報處理應用 I	I	〈山下英明〉	278
情報處理應用 I	I	〈依田聖〉	278
民法 I〔總則・物權法〕	I	〈大宮隆〉	279
商法 I〔總則・会社法〕	I	〈荒木正孝〉	279
演習 I	I	〈明石博行〉	280
演習 I	I	〈阿部一人〉	280
演習 I	I	〈飯田哲夫〉	281
演習 I	I	〈小沢利久〉	281
演習 I	I	〈各務洋子〉	282
演習 I	I	〈鹿嶋秀晃〉	283
演習 I	I	〈片桐伸夫〉	283
演習 I	I	〈兼村榮哲〉	284
演習 I	I	〈高井徹雄〉	285
演習 I	I	〈高木克己〉	285
演習 I	I	〈滝田公一〉	286
演習 I	I	〈長國強〉	286
演習 I	I	〈中川淳平〉	287
演習 I	I	〈中村公一〉	287
演習 I	I	〈永田智則〉	288

演	習	I	〈西	村	和	夫〉	288	
演	習	I	〈羽	鳥		茂〉	289	
演	習	I	〈藤	原	篤	志〉	289	
演	習	I	〈宮	城		徹〉	290	
演	習	I	〈山	田		勝〉	290	
演	習	I	〈渡	邊	惠一	郎〉	291	
經	管	史	〈前	田	和	利〉	291	
經	管	論	〈鈴	木	幸	毅〉	292	
企	形	論	〈休			講〉		
業	營	史	〈中	川	淳	平〉	292	
メ	リ	学	〈宮	城		徹〉	293	
經	營	論	〈高	田	光	明〉	294	
經	營	論	〈鹿	嶋	秀	晃〉	295	
經	營	論	〈長	瀬	勝	彦〉	296	
国	際	論	〈茂	垣	広	志〉	297	
日	本	史	〈大	鳥	久	幸〉	297	
マ	ケ	論	〈兼	村	栄	哲〉	298	
經	營	論	〈中	村	公	一〉	300	
環	境	論	〈休			講〉		
ベ	ン	論	〈休			講〉		
商	業	史	〈山	田		勝〉	301	
商	業	論	〈休			講〉		
保	險	論	〈石	名	坂	邦	昭〉	301
銀	行	論	〈服	部	昌	久〉	302	
公	益	論	〈園	田	哲	男〉	302	
生	産	論	〈藤	原	篤	志〉	303	
ド	イ	学	〈高	橋	成	夫〉	304	
原	上	論	〈近	藤	東	敏〉	305	
財	務	記	〈伊	東		敏〉	306	
管	理	論	〈渡	邊	惠一	郎〉	307	
經	營	論	〈猿	山	義	広〉	307	
税	務	論	〈片	桐	伸	夫〉	308	
会	計	論	〈高	木	克	己〉	309	
国	際	論	〈阿	部	一	人〉	310	
日	本	論	〈休			講〉		
日	本	史	〈北	島	万	次〉	311	
經	済	策	〈西	山		司〉	311	
財	融	学	〈速	水		昇〉	312	
金	融	論	〈寺	尾	好	正〉	312	
国	際	論	〈休			講〉		
日	本	論	〈羽	鳥		茂〉	313	
証	券	論	〈佐	藤		昇〉	314	
計	量	学	〈呉		逸	良〉	315	
イ	ノ	論	〈休			講〉		
統	計	論	〈山	内	慎	二〉	316	
經	營	論	〈高	井	徹	雄〉	317	

情報処 理 応 用	Ⅱ	〈石塚 陽〉	318
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈石塚 陽〉	319
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈西村 和 夫〉	320
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈長 国 強〉	321
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈小 沢 利 久〉	322
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈青 木 武 典〉	322
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈休 本 博 行〉	323
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈藤 本 博 行〉	324
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈明 石 部 一 人〉	324
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈阿 田 哲 夫〉	325
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈飯 田 邦 昭〉	325
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈石 名 坂 利 久〉	326
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈小 沢 利 久〉	326
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈各 務 洋 子〉	326
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈鹿 嶋 秀 晃〉	327
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈片 桐 伸 夫〉	327
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈兼 村 栄 哲〉	328
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈近 藤 禎 夫〉	328
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈鈴 木 幸 毅〉	329
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈猿 山 義 広〉	329
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈高 井 徹 雄〉	330
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈高 木 克 己〉	330
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈高 田 光 明〉	331
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈滝 田 公 一〉	331
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈長 国 強〉	332
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈中 川 淳 平〉	332
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈中 村 公 一〉	333
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈長 瀬 勝 彦〉	333
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈永 田 智 則〉	334
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈西 村 和 夫〉	334
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈羽 鳥 茂〉	335
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈藤 原 篤 志〉	335
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈前 田 和 利〉	336
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈宮 城 徹〉	336
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈山 田 勝〉	337
情 報 報 営 営	Ⅲ	〈渡 邊 惠 一 郎〉	337
民 法 Ⅱ〔債 権 法〕	Ⅱ	〈上 井 長 久〉	338
商 法 Ⅱ〔商 行 為、手 形・小 切 手 法〕	Ⅱ	〈鳥 原 宏 明〉	339
外 書 講 読 (英 書)	Ⅱ	〈石 名 坂 邦 昭〉	339
外 書 講 読 (英 書)	Ⅱ	〈鹿 嶋 秀 晃〉	340
外 書 講 読 (英 書)	Ⅱ	〈前 田 和 利〉	340
外 書 講 読 (独 書)	Ⅱ	〈百 濟 勇〉	341
外 書 講 読 (仏 書)	Ⅱ	〈遠 山 博 雄〉	341
外 書 講 読 (中 国 書)	Ⅱ	〈松 本 丁 俊〉	342
外 書 講 読 (ス ペ イ ン 書)	Ⅱ	〈上 野 勝 広〉	342
外 書 講 読 (ロ シ ア 書)	Ⅱ	〈杉 山 秀 子〉	342

ビ	ジ	ネ	ス	英	語	町	井	靖	343	
特	殊	講	義	(前	期)	齊	藤	正	
演		習		Ⅲ	明	石	博	行	344	
演		習		Ⅲ	阿	部	一	人	344	
演		習		Ⅲ	石	名	坂	邦	昭	
演		習		Ⅲ	小	沢	利	久	345	
演		習		Ⅲ	各	務	洋	子	345	
演		習		Ⅲ	鹿	嶋	秀	晃	346	
演		習		Ⅲ	片	桐	伸	夫	346	
演		習		Ⅲ	兼	村	榮	哲	347	
演		習		Ⅲ	近	藤	禎	夫	347	
演		習		Ⅲ	鈴	木	幸	毅	348	
演		習		Ⅲ	猿	山	義	広	348	
演		習		Ⅲ	高	井	徹	雄	349	
演		習		Ⅲ	高	木	克	己	349	
演		習		Ⅲ	高	田	光	明	350	
演		習		Ⅲ	滝	田	公	一	350	
演		習		Ⅲ	長	瀬	勝	彦	351	
演		習		Ⅲ	永	田	智	則	351	
演		習		Ⅲ	中	村	公	一	352	
演		習		Ⅲ	西	村	和	夫	352	
演		習		Ⅲ	羽	鳥		茂	353	
演		習		Ⅲ	藤	原	篤	志	353	
演		習		Ⅲ	宮	城		徹	353	
演		習		Ⅲ	山	田		勝	354	
演		習		Ⅲ	渡	邊	惠	一	郎	354

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学概説	ながた とも のり 永田 智 則	経営 A 1 必	4

講義のねらい

本講義では、経済学の基礎理論の修得を目指します。ミクロ経済学やマクロ経済学の基本的な概念や考え方を学習して、自分たちなりに現実の経済問題と取り組めるように、「経済学の考え方」を身に付けていただくことを意図しています。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経済学の課題、2. 消費者の行動、3. 生産者の行動、4. 市場機構、5. 独占価格の決定、6. 国民所得、7. 国民所得の決定、8. 乗数理論と財政政策、9. 金融政策、10. 景気循環、11. 経済成長

履修上の留意点

授業中は他の受講生に迷惑が及ばないように、私語を慎み、携帯電話の電源を切るなど全員が授業に集中できるように心がけて下さい。授業内容で不明な点や疑問点があれば遠慮なく質問して下さい。

成績評価の方法

成績評価は、原則として学年末の定期試験で評価しますが、授業への出席も重視します。途中、検討課題を出すことも考えていますので、総合的な評価になることもあります。

教科書

下記の書物と、授業中に配布するプリントを併用します。
幸村千佳良 『経済学事始』 (多賀出版) 2,700円

参考書等

開講時に指示します。

専門教育

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記学	とこい むつこ 床井 睦 子	経営 A 1 必	4

講義のねらい

簿記学において主にその対象とされるのは企業の複式簿記です。経済の具体的な手である企業は、人・モノ・カネそしてサービス(情報)からなります。そうした企業を資金という統一概念で捉え、その源泉と運用の二側面に着目し、勘定という特殊な様式でこれを記録・計算・表示するシステムが複式簿記と呼ばれ、かのゲーテが複式簿記は人間の精神が発明したもっともすばらしいものの一つであると賞賛したものでもあります。本講義では、この複式簿記原理の理解を目的に、(1)仕訳、(2)転記、(3)決算の基本部分を学習します。そして、貸借対照表・損益計算書に代表される財務諸表と関連させながら、企業の計数管理についても考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期：Ⅰ. 「簿記学」の学習内容とガイダンス (年間計画、各種資格検定試験について)
Ⅱ. 企業会計と複式簿記システムー貸借対照表・損益計算書の意義、作成目的及び複式簿記との関連性
Ⅲ. 複式簿記システムの基礎 (総論、簿記の目的と財務諸表)
- 1 複式簿記の原理とその記帳法 (取引の二面認識、取引と勘定、仕訳と転記、仕訳帳と総勘定元帳)
 - 2 決算手続 (決算予備手続、決算本手続)
 - 3 簿記の一巡 (ビデオを併用し、今までの学習のまとめ)
- 後期：Ⅳ. 財務諸表作成の基礎 (貸借対照表・損益計算書のディスクロージャー制度)
- 1 期中取引の処理 (貸借対照表・損益計算書に関わる勘定各論)
 - 2 決算と財務諸表 (決算整理、帳簿締め切り、財務諸表の作成)
 - 3 コンピューター会計 (帳簿記入とコンピューターでの会計処理方法の相違)
- Ⅴ. 財務諸表の分析と読み方 - 簡単な財務諸表分析と企業評価

履修上の留意点

“継続は力なり” 簿記学はその典型かも知れません。毎回の出席を期待しています。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験に平常点(出席点)を加味し、総合評価で行います。

教科書

床井睦子著『アカウンティングの基礎』(白桃書房) 3,300円

参考書等

必要に応じて紹介していきます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
簿記学	伊 東 敏 <small>いと う さとし</small>	経営 A 1 必	4

講義のねらい

この講義は、社会科学としての簿記・会計の基本構造、システムの基本を理解することに主眼を置きます。簿記・会計の単なる技術的側面の理解だけではなく、現実の経済社会においてどのような役割を担い、機能しているかもあわせて理解する必要があります。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の目次に従うことを原則とするが、必要に応じ、また適宜、追加的な内容（例えば、時価会計の基本的な考え方）の講義を行う予定です。

履修上の留意点

簿記は自ら練習問題を解き、照合することにより修得できるものですから、毎回の出席と予習、復習に心掛けて下さい。また、積極的に質問する等、授業への参加意識を強めて下さい。尚、電卓は各自必ず用意して下さい。

成績評価の方法

出席回数及び期末試験によって評価します。また、授業への参加意欲、態度等も成績評価の2-3割を配分致しますので特に注意して下さい。

教科書

中垣和男著『簿記入門』3,000円（平成14年3月改訂予定）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
簿記学	岩 淵 昭 子 <small>いわがち しょうこ</small>	経営 A 1 必	4

講義のねらい

簿記とは、企業の経営活動を貨幣価値的に把握し、一定の記帳原理によって記録・計算・整理する方法です。今日、コンピュータによる会計処理が増えておりますが、その基本は複式簿記にあります。前期では、勘定各論を中心に、後期は、個人企業の決算手続きと財務諸表の作成まで学習します。

講義の内容・授業スケジュール

簿記は「手で考える学問」です。設例を実際に解くことが理解を早く深めます。講義の内容は次のとおりです。

- ① 簿記の基礎
- ② 商品売買の処理
- ③ 現金預金取引の処理
- ④ 手形取引の処理
- ⑤ 有価証券と固定資産の処理
- ⑥ その他の債権債務
- ⑦ 試算表の作成
- ⑧ 決算
- ⑨ 財務諸表の作成
- ⑩ 帳簿組織

履修上の留意点

簿記の学習は、記憶することよりもペンと電卓を片手に反復学習によって修得していくものと思います。可能な限り出席を心掛けて、経営学部のある学生にとって重要な基礎的専門学問の一つである簿記学を身につけられることを期待いたします。

成績評価の方法

前期と後期の試験に平常点（出席・課題・小テスト）を加味して、総合評価により行います。

教科書

大橋信定編著『改訂版簿記基礎講座』（創成社）1,500円

そ の 他

必要に応じて紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿記学	た か だ み つ あ き 高 田 光 明	経 営 A 1 必	4

講義のねらい

〔複式簿記〕

この授業では、企業が採用している簿記システムである複式簿記について学ぶ。
企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを製品として生産し販売するという営業活動を遂行する。こうした営業活動として具体化しているのが、資本の運用活動である。生産した製品が社会に受け入れられ販売が順調に進めば、製品の販売により回収獲得されてくる資本は、生産要素の取得に投じた資本よりも増加している。企業の営業活動を通じた資本のこのような自己増殖分が利益である。他方、製品が期待したようには社会に受け入れられず販売が滞り、製品の販売により回収獲得されてくる資本が、生産要素の取得に投じた資本よりも少なく、営業活動で資本が減少してしまうこともある。このような資本の目減りが損失である。

企業が資本調達活動や、購買・生産・販売という営業活動として観察される資本の運用活動を実施すると、企業資本が増減変化する。企業が資本を調達すれば、その資本を具体化している現金の増加という形をとって企業資本の有高がそれだけ増加する。調達資本で営業活動を遂行していくと、資本は調達時の現金の状態から、原材料や機械といった非現金資産に転換し、さらにはその姿を次々と変え、最終的には元の現金の状態に戻ってくる。そして、営業活動が順調に推移するならば、この過程を通じて資本は自己増殖しているという具合である。企業の諸活動に伴う以上のような資本の動きを把握するために必要とされるのが、複式簿記である。

〔大学における簿記学〕

簿記学は、大学における会計関係の科目を学ぶ基礎・出発点としての位置にある。簿記学のカリキュラム上におけるこのような性格に配慮し、この授業では、受講者が、会計関係の諸科目をこれから学んでいける発展性のある学力を身に付けられることを目指す。そのためには、複式簿記を理論的に理解できるようにする必要があるので、会计学との関連に留意しながら授業を行う。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、複式簿記について、その基本構造と、帳簿の開始記入時から決算手続きを経て帳簿の締切り手続きに至る一巡の主要手続きを系統的に理解できるようになることをまず主眼とする。そこで、授業の前半では、次の順番で授業を進めていく。

1. 資本と資産
2. 勘定の記入
3. 取引の分解
4. 収益と費用
5. 仕訳と転記
6. 試算表
7. 精算表と財務諸表
8. 決算と決算手続

履修上の留意点

簿記の学習には、記帳練習が不可欠である。授業中にあるいは宿題の形で課す記帳練習のノルマを果たし、簿記の仕組みを言わば体得するという姿勢も大事である。

成績評価の方法

期末の筆記試験と、適宜提出を求める記帳練習問題を総合して評価する。

教科書

沼田嘉穂著『簿記教科書』（同文館）
同著『簿記教科書・記帳練習帳』（同文館）

参考書等

染谷恭次郎著『簿記の手ほどき』（日経文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿記学	さるやま よしひろ 猿 山 義 広	経 営 A 1 必	4

講義のねらい

この講義では、会計学の初心者を対象として、日商簿記検定3級程度の商業簿記を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 簿記の基礎概念
- 第2章 資産・負債・資本と貸借対照表
- 第3章 収益・費用と損益計算書
- 第4章 取引と勘定
- 第5章 仕訳と転記
- 第6章 仕訳帳と総勘定元帳
- 第7章 試算表と精算表
- 第8章 決算手続
- 第9章 3分法による商品売買
- 第10章 仕入帳・売上帳・商品有高帳
- 第11章 現金と預金
- 第12章 有価証券
- 第13章 売掛金と買掛金
- 第14章 その他の債権・債務
- 第15章 手形
- 第16章 貸倒れと貸倒引当金
- 第17章 有形固定資産
- 第18章 資本金と引出金
- 第19章 税金
- 第20章 費用・収益の見越と繰延
- 第21章 試算表の作成
- 第22章 決算整理と仕訳の訂正
- 第23章 精算表の作成
- 第24章 帳簿組織と伝票会計
- 第25章 貸借対照表と損益計算書

専門教育

履修上の留意点

「簿記学」は計算科目なので、かならず電卓を持参すること。

成績評価の方法

期末試験、夏季休業中のレポート、および平常点を考慮して、総合的に評価する。ただし、中心になるのは期末試験の結果である。

教科書

- 平松一夫編著『商業簿記3級テキスト〔改訂版〕』（税務経理協会）
- 平松一夫編著『商業簿記3級ワークブック〔改訂版〕』（税務経理協会）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿記学	お だ み き お 小 田 幹 雄	経 営 A 1 必	4

講義のねらい

簿記を初めて学ぶ学生のために設けられた、簿記の基礎知識を理解してもらうクラスです。簿記は、日常の経済活動の状態を数値的に把握し、記録するための大切な手段であるので、本講座では「簿記とはどのようなものか」ということを認識してもらうために、プリントや練習問題により、簿記学習の基礎である資産・負債・資本の概念や、収益・費用の意味について理解してもらいたい。また、いろいろな勘定科目の意味を理解し、簿記一連の流れである仕訳・転記・試算表・決算修正・決算等についての基本的問題について正確に理解してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は次のようになります。

- I. 複式簿記の原理：複式簿記の計算構造・簿記一巡の手順
- II. 期中取引の処理：現金預金、商品売買、売掛金・買掛金、受取手形、支払手形など
- III. 決算時に必要な処理：決算修正仕訳・残高試算表の作成など
- IV. 帳簿処理の合理化：伝票制度、(コンピューター簿記)

履修上の留意点

簿記の学習は「自分自身がペンと電卓を持って練習問題を数多く解くこと以外にはない」との私の教育方針から、練習問題を解かせるし、テストや宿題を出すこともある。テスト用紙は必ず提出すること。出欠席のチェックは毎回行う。

成績評価の方法

講義の際のテストの点数および、宿題の点数を合計し、定期試験の点を加算して、再び平均点を出して評価する。そのため、講義中のテストや宿題の未提出者は当然平均点が下がることになるから注意すること。

教 科 書

羽瀧信宏監修『簿記テキスト―商業簿記―初級編』（共栄出版） 2,000円程度
中村義彦編著『基本簿記演習』（プレスウェーブ） 1,524円

参 考 書 等

鶴飼哲夫・中村義彦著『簿記イントロダクション』（森山書店） 2,625円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿記学	おののまんの 大野満奈	経営 A 1 必	4

講義のねらい

簿記は会計学の基本であり、複式簿記の計算構造は、会計学のどの分野を学ぶにしても前提的に理解されることが必要である。この意味において、簿記の基本原則を理解し、経営学部に学ぶ者が最低必要とされる簿記知識を修得することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前 期

1. 簿記・会計の意義と目的
2. 企業の財政状態 - 貸借対照表
3. 企業の経営成績 - 損益計算書
4. 取引と仕訳
5. 勘定記入と元帳の締め切り
6. 帳簿・伝票・証ひょう
7. 試算表の作成(1)
8. 精算表の作成(1)
9. 現金・預金
10. 小口現金
11. 商品売買の処理と仕入帳・売上帳
12. 総合復習
13. 総合復習

後 期

1. 商品有高帳
2. 売掛金・買掛金と人名勘定
3. 有形固定資産の取得と売却
4. 資本金と引出金
5. 試算表の作成(2)
6. 売上原価の計算と決算仕訳
7. 貸し倒れの見積りと減価償却
8. 精算表の作成(2)
9. 有価証券
10. 手形取引
11. 費用・収益の見越しと繰り延べ
12. 精算表の作成(3)
13. 総合復習

履修上の留意点

簿記は自分で練習問題を解き、照合することによって初めて修得できるものであるから、原則として毎回出席して要点を理解し、自宅では毎回の復習に心掛けること。また、疑問点は、積極的に質問することによって早期に解決しておくこと。

成績評価の方法

試験の点数・出席回数・提出物の三点をもって総合的に評価する。

教 科 書

『要点整理 日商簿記検定練習問題集』3級 (一橋出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営学	かがみ ようこ 各 務 洋 子	10以降入学生/経営A1必 9以前入学生/経営A1必	4

講義のねらい

「経営学とはどのような学問なのか」をわかりやすく解説し、一年間の講義を通して、受講生の皆さん一人一人が「経営学を学ぶことのおもしろさ」をそれぞれ独自に発見できることを目指しています。グローバルな視点を常に念頭に置き、経営学の最新のトピックスや、日常見聞きする経済経営のニュースを幅広く取り上げ、学問としての経営学と現実の世界の融合を試みます。経営学という学問の奥深さを少しでも実感してもらえるよう授業を進めていきます。経営学の基礎的な専門用語・概念・理論を一通り理解した上で、2年次以降の専門科目を主体的に選択し、特定専門領域を深めるための足がかりとしてもらいたいと願っています。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義は、以下の順序で進める予定です。

1. 経営学とは
 - ・経営学の成り立ち・研究対象・研究領域
2. 経営学と企業
 - ・企業の特徴・企業の種類・株式会社の特徴と仕組み
3. 経営の諸理論
 - ・経営組織論
 - ・経営管理論
 - ・経営戦略論
 - ・マーケティング論
 - ・生産管理論
 - ・労務管理論
 - ・日本的経営論
 - ・国際経営論
 - ・組織間関係論

専門教育

履修上の留意点

1. 毎回出席すること。2. 私語・携帯電話の呼出音等、講義に集中したい学生の権利を侵害する者は、即刻退室してもらいます。

成績評価の方法

定期試験の結果に平常点（レポート・小テスト・出席）を加味した総合評価によって判断します。

教科書

開講時に指示します。第1回目の講義に必ず出席して下さい。また頻繁にプリント資料で補足しますので、プリント資料用のバインダー（A4版）を用意し、番号（配布）順に整理して下さい。

参考書等

講義において適宜指示します。

その他

ホームページで、授業に関する情報を提供します。
http://www.komazawa-u.ac.jp/du/Kagami_Seminar/

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会計学	こ ん ど う さ だ お 近 藤 禎 夫	14以降入学生/経営A1必	4
		13以前入学生/経営A1必	

講義のねらい

普通、企業会計というときそれは財務会計を指す。財務会計は、商法、証券取引法、および法人税法などの法律制度に拘束されるので制度会計ともいう。また、企業とりわけ独占大企業は、企業活動の詳細を会計数値によって利害関係者（経営者はいうまでもなく、株主、投資家、税務当局等々）に報告・開示が義務づけられており、公表会計ないし外部報告会計とも称したりする。会計学および会計実務も、21世紀の企業を取り巻く国際的な政治情勢・経済情勢の劇的な変化にともない、日本の証券・金融市場や経済界全般が国際会計基準に調和せざるを得なくなってきた。まさに幕末の黒船出現のように、わが国に金融ビッグバンとともに会計ビッグバンをもたらした。例えば、企業グループ全体の業績を重視した連結財務諸表およびキャッシュフロー計算書の導入、年金制度の変革と退職給付会計、金融派生商品会計（デリヴァティブ）、税効果会計の導入等々と枚挙にいとまがない。

前期においては、初心者を対象にした財務会計の基本的な仕組みや会計制度の概要を講義する。それをふまえて、後期には最先端の日本の現代会計制度およびとくに注目すべき上記の個別問題に取り組むように計画している。

講義の内容・授業スケジュール

〔会計の基本構造〕

1. 会計の対象と方法
2. 会計の歴史
3. 企業の計算構造と複式簿記
4. 貸借対照表と損益計算書、利益処分計算書

〔企業会計制度〕

5. 日本の企業会計制度の特質
6. 商法、法令による企業会計制度
7. 証券取引法による企業会計制度
8. 財務情報の開示と監査制度

〔会計の国際化と会計制度の変革〕

9. 連結財務諸表の計算書
10. キャッシュフロー計算書
11. 退職給付会計
12. 金融商品・金融派生商品会計
13. 国際会計基準・米国会計制度

履修上の留意点

1年次生は簿記学をしっかり履修しつつ受講すること。また2年次生以上も簿記学の知識は必ず必須要件であり、さらに商法などの履修をすることが望ましい。

成績評価の方法

夏季休暇前の中問試験（またはレポート）ならびに学年末試験（とくに重視）により評価する。必修科目なので真剣に受講して頂きたい。

教科書

遠藤孝・近藤禎夫他著『会計学』（改訂版）（森山書店）2000年 3,500円
*教科書は、原価計算論の講義でも使用するので、受講者は重複しないよう注意。

参考書等

中央経済社編『会計法規集』最新版（2000年7月頃発売）
その他の参考書および参考文献は、随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済原論	あかしひろゆき 明石博行	経営A2選必	4

講義のねらい

資本制の経済社会（資本制社会）を対象とする経済社会学の基礎理論について、入門的な講義をします。この講義では、わたしたちがそのなかで生き、日々暮らしているこの資本制社会をめぐり、どのような経済的な仕組みと運動法則がそこにあるのか、個々の国や社会における思想・法律・政策などは資本制の経済によってどのように規定されるのか、個々の国や社会の思想・法律・政策などの相対的な独自性は資本制の経済にどのような影響を与えるのか、といった問題に取り組みます。その探求をつうじて、本講義では、わたしたちの社会的な生活を支えている経済的な仕組みや、わたしたちの行動を支配している法則の基礎を、科学的かつ系統的に説明してゆくのです。

講義の内容・授業スケジュール

資本制社会は、近代から現代にかけて生まれ、発展し、変化してきた、そして現在わたしたちがその内部で生活をしている経済社会です。この経済社会を系統的に分析するためには、一定の論理的な順序を追ってゆかねばなりません。そこで本講義の内容を、序説「経済社会」、第1章「市場と個人」、第2章「階級の基礎としての労働と資本」、第3章「資本制の経済社会と諸階層」、という4章に分けて説明することにします。

序説では、経済および経済社会について、一般的な説明をします。ある経済社会を全体として理解しようとするならば、その社会的法律や政治や文化およびそれらをめぐる思想・制度・慣習には、それらの全体を支える経済的な土台が基礎としてあり、両者のあいだに規定と反作用の関係があることを知る必要があります。長い人類史においてさまざまな経済社会の興亡があったことを知り、歴史的な見方ができるようになることも必要です。そもそも経済とは何かということも、知っておかなくてはなりません。こうした資本制の経済社会を理解するうえでの基礎となることがらを、この部分で一般的に解説します。

第1章では、市場および市場の発展とともに成長してくる個人について説明します。わたしたちは、市場をつうじてさまざまな財やサービスを入手し、それによって生活しています。この市場にも歴史的な発展と変化があり、一定の生産の仕組みが発生し発展し変化するとともに市場も発生し発展し変化するのであり、市場において貨幣を仲立ちとする商品の売買がなされることにより、わたしたちは日々暮らしているのです。また、こうした暮らし方ができるようになるとともに、私的所有者としての個人（私的個人）という人間類型が形成され発展してきました。ですから、市場がどのような生産の仕組みを基礎として発生し発展するのか、市場で売買される商品とはどのようなものなのか、商品が発生し発展するとともに貨幣が発生し発展するのはなぜなのか、貨幣はどのような機能をもつものなのか、こうした経済的諸関係とともに私的個人とその相互関係がどのように形成され発展してくるのかといったことを、この部分で説明します。

第2章では、資本制における階級の基礎をなす労働と資本について説明します。いかなる経済社会も、人間の労働によって維持され、発展します。資本制の経済社会も、この点では他の社会と同じです。けれども、資本制社会は、賃労働というかたちで、労働をしなければならない階級に属する人々の労働力を市場において買うことができ、資本を投ずる階級に属する人々が、その労働力を生産の過程で契約した時間だけ使用することができる社会です。この賃労働と資本との関係が生産の仕組みとして成立し、最初に投じられた資本価値を超える剰余価値を全体としての資本家が獲得できることにより、資本制経済は成立するのです。資本制社会のさまざまな法則や制度、そして階級関係は、この仕組みを基礎として生まれ、発展し、変化します。そこで、この仕組み、そこから生じる資本制生産の基礎的法則、資本制における階級関係などを、この部分で説明します。

第3章では、全体としての資本制社会について説明します。資本制社会では、資本制生産のもとでつくられた生産物を発展した資本制市場において商品として売り、それによって資本運動の担い手は最初に投じた貨幣を超える貨幣を得ることができ、この資本制の生産と市場との関係から、独自の法則や関係がさらに生まれ、剰余価値は利潤というかたちで人々に認識され、資本と利潤の関係が成立します。この資本と利潤との関係を現実的な基礎として全体としての資本制社会は形づくられ、社会的な諸階層が分岐して抗争したり協調したりするのです。その説明はきわめて要約的にせざるをえませんが、結論的な事項をこの部分で説明します。

履修上の留意点

講義に出席して、ノートをとる必要があります。

成績評価の方法

講義のさいに適時提出してもらったレポートと年度末の定期試験の結果を総合的に判断し、評価をします。

教科書

教科書は使用しません。しかし、適時プリントを配布し、講義を理解できるよう援助します。参考書等は講義のさいに紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近代経済学	た き た こう い ち 滝 田 公 一	経営 A 2 選 必	4

講義のねらい

産業組織論の入門的講義を行います。産業組織論は、企業や産業についての経済学的に分析する学問です。本講では、経営学や会計学を学ぶ際に役立つであろうと思われる補完的知識を与えることを目的としています。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容は以下のとおりです。

- (1) 産業組織論とは？
- (2) 厚生経済学入門
- (3) 企業の理論
- (4) 支配的企業と市場支配力
- (5) 価格差別
- (6) 製品の品質と市場支配力
- (7) ゲーム理論I
- (8) 古典的寡占理論
- (9) ゲーム理論II
- (10) 寡占の動的理論
- (11) 製品差別化
- (12) 企業の戦略的行動
- (13) 参入障壁
- (14) 研究・開発投資
- (15) 略奪的価格付け
- (16) 垂直統合と垂直制約
- (17) 水平合併
- (18) 企業規制の諸問題

履修上の留意点

初級のミクロ経済学の知識があると、便利ですが、授業で必要な場合は、逐一説明しますので、必ずしも必要ではありません。なお、関連科目としては、統計原論、計量経済学、経営数学などが上げられます。

成績評価の方法

成績評価は、学年度末試験によります。

教 科 書

教科書は、特に指定しません。

参 考 書 等

初級のミクロ経済学の知識については、
倉澤資成、『入門価格理論』（日本評論社）
伊藤元重、『ミクロ経済学』（日本評論社）1992年
などを参照されるとよいでしょう。
産業組織論の参考書として、次のものを挙げておきます。
新庄浩二編、『産業組織論』（有斐閣ブックス）1995年
長岡貞男・平尾由紀子、『産業組織の経済学』（日本評論社）1998年
ロジャー・クラーク、『現代産業組織論』（多賀出版）1989年
Carlton, D. and J. Perloff, (1994) 『Modern Industrial Organization, Second Edition』
Harper Collins,
Scherer, F. and D. Ross, (1990) 『Industrial Market Structure and Economic Performance』
Third Edition, Houghton - Mifflin.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営科学概論	ちよう 長 こきよう 国 強	経営 A 2 選 必	4

講義のねらい

この講義ではQC(品質管理)、IE(経営工学)、OR(オペレーションズリサーチ)を中心に、経営管理技術の基本的な理論と方法を概説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 予定している講義内容は以下の通りである。
- (1) イントロダクション：経営科学・経営工学とは
 - (2) 生産管理：生産方式；生産計画；在庫管理；最経済発注量 EOQ
 - (3) 狭義のIE：作業研究と作業測定
 - (4) OR：数理計画法；PERT/CPM；待ち行列理論；シミュレーション
 - (5) 品質管理：正規分布；管理図；抜き取り検査，QC7つ道具
 - (6) 需要予測：移動平均；推定と検定；回帰分析
 - (7) 経済性工学：資金の時間的価値；設備投資案の比較法
 - (8) システム解析：システム概念；情報処理システム
 - (9) 企業に対する要求：ISO9000；ISO14000

成績評価の方法

出席、演習課題と試験(前期末、後期末)により総合評価。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

〔関連科目〕 経営科学、経営数学、生産管理論、システム論、経営統計、経営情報論。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営数学	い い だ て つ お 飯 田 哲 夫	経営 A 1・2・3・4 選 14以降入学生/経営B1・2・3 選	4

講義のねらい

経営学を学ぶ上で必要となる数学を習得することを本講義の目的とする。また、企業経営上の諸問題を数理的・定量的に分析することはしばしばであり、その際用いられる各種分析手法を理解し、有効に利用するためには、ある程度の数学的素養が要求される。本講義では、数学をあまり得意としない人でも理解できるように、数学的知識の多くを前提せず基礎的事項から進めていく。また、経営学に関係する数学のみを対象とし、例題を通して理解を深めていくことにする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は高校で習った数学の復習を含めて基本的な内容から始め、微分・積分と線形代数を扱う。具体的には以下の内容を予定している。

1. 基礎的準備
 - ①論理と集合
 - ②数、数列、極限
 - ③関数（1次・2次関数、指数・対数関数）
 - ④応用例（金利計算）
2. 微分・積分
 - ①微分係数、導関数、微分の演算
 - ②積分の定義、不定積分、定積分、部分積分
 - ③多変数関数の微分
3. 線形代数
 - ①ベクトル、ベクトル空間、1次独立・従属
 - ②行列、逆行列、行列式、クラメル公式、連立方程式の解法

履修上の留意点

講義では理解を助けるために例を用いて説明を行うけれども、数学を学ぶ上では、抽象的な概念に慣れることが必要であり、かつ、講義の積み重ねを経ないと理解できないことも多いため、毎回出席すること。

成績評価の方法

筆記試験（前期末、後期末）。その他に、学生諸君の理解度を見るために何度か小試験を行い、その結果を評価に加えることもある。

教科書

特に指定しない。プリントを適宜配布する。

その他

〔関連科目〕 経営科学概論、経営科学、経営情報論

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理基礎（前期）	うたに あきひで 宇谷 明秀	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

コンピュータは、情報収集および情報の処理・分析のために必要不可欠な道具である。また、企業経営において、欠くことのできない道具でもある。本講義では、コンピュータの使い方から始めて、書類作成、データ処理等の基礎について学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) コンピュータの基本的な使い方
電源の入れ方から始め、タイピングの練習を行う。また、基本的なコンピュータ用語についても解説する。
- 2) ワードプロセッサによる文書作成
日本語ワードプロセッサを用いた文書の作成方法について学ぶ。
- 3) 表計算ソフトによるデータ処理と視覚化
表計算ソフトの使い方について学ぶ（様々なデータを用い、そのデータにどのような意味が隠されているのかを探る）。

履修上の留意点

授業は演習を中心に行う。欠席は極力避けること。

成績評価の方法

演習課題に対するレポートで成績をつける。

教科書

授業時に指示する。

その他

〔クラス定員〕 60名
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理基礎（前期）	かわちや さちこ 河内谷 幸子	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

この講義のねらいは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、1人1台コンピュータを使って実習を行います。初心者を前提として、パソコンの電源の入れ方からはじめます。その後、タイプ練習、日本語入力、ホームページ検索、ワープロソフトなどを実習していきます。

履修上の留意点

コンピュータ実習授業は1回休むと次の実習内容がわからなくなるので、休まないようにしましょう。出席は必ずとります。

成績評価の方法

出席を重視します。コンピュータを使って解くレポート課題を2～3回出し、その結果と出席点で成績を評価します。

教科書

4月の最初の授業で指示します。

参考書等

その都度授業で指示します。

その他

1人1台コンピュータを使った実習形式です。
〔クラス定員〕 60名
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理基礎（前期）	かとう たけのぶ 加藤 武 信	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

情報化社会の電子文房具であるパソコンは、個人レベル、組織レベルおよび社会レベルで益々必要性を増している。ここではパソコンの原理とその活用法の基礎部分を総合的に学習し、それを自在に使って、インターネットを用いた情報検索やワープロによる文書の作成、表計算によるデータ加工の技法などを修得する。パソコンの実習環境は、Windowsを用いる。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) コンピュータの仕組みとWindowsの基本操作
アクセサリとペイントの活用、タイピング、ファイルシステムの操作を含む
- (2) ワープロソフトWordによる文書作成
日本語入力、手紙、納品書、履歴書などの作成、図形描画の活用
- (3) 表計算ソフトExcelによる作表・作図（基本レベル）
売上集計、成績処理と各種グラフ、納品書、履歴書、精算表の作成
基本関数、論理関数、データベースの活用
- (4) インターネットと電子メールの活用
Webページの検索、ダウンロード、メールの送受信など

履修上の留意点

パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法

出席、レポートおよびテストにより評価する。

教科書

加藤武信他『コンピュータ活用』（サンウェイ出版）2,300円

その他

授業の方法：パソコン実習

〔クラス定員〕60名

〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理基礎（前期）	じ び き ま さ ひ ろ 地 引 昌 弘	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、経営の様々な場面で出会う意思決定やその問題解決の手段として、コンピュータを自分自身で活用できるための基礎の習得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・イントロダクション
講義内容概説／情報教育センターに関するオリエンテーション／コンピュータ科学と経営学について（プロローグ）
- ・コンピュータの構成と基本操作
初めてコンピュータに触れる人が戸惑わないために、コンピュータを使う上での最初の一步から説明を始める。続いて、基本的な入力装置であるキーボードおよびマウスの操作に慣れることを目標に、ワープロソフトを用いた文書の作成を行なう。
- ・ホームページによる情報発信
電子メールを用いたコミュニケーションやWWWブラウザを用いた情報収集、最後に自らのホームページを作成して情報を発信できることを目指す。

履修上の留意点

本講義は、コンピュータの初心者が、コンピュータを補助として利用できるようになることを、そして何か問題が起きた場合でも自分自身で対処を行なえるようになることを最終的な目標にしています。従って、上記の基本スケジュールと並行して、適宜コンピュータに関する様々な知識や最新情報なども解説していく予定です。また、この目標に向けてのどのような質問／疑問でも大いに歓迎致します。

成績評価の方法

まずは、上記に述べた本講義の趣旨より、単位の取得だけが目的の者は遠慮していただきたい（出席免除などは認めない）。実習が中心なので、基本的には毎回出席し、出席の確認として実習内容を提出させることを予定している。また、実習の状況に応じて課題を提出させる場合がある。期末には、履修を終えた項目を応用したレポートを提出させる。成績評価は、出席および課題／レポートを統合して行なう。

そ の 他

教科書などは特に指定しないが、必要に応じて各項目ごとの参考図書を紹介する。状況が許せば、コミュニケーション手段の一つとしてE-mail（電子メール）を利用する予定。
 【クラス定員】 60名
 【関連科目】 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
 ※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理基礎 (前期)	はしばとしゆき 橋 場 利 幸	経営 A1・2・3・4選	2

講義のねらい

この講義は以下のような目的を持っている。

- 1) 情報化社会で活躍してゆくための基礎的なコンピュータリテラシーを身につけること
- 2) 技術を身につけるだけでなく情報化社会に対する自己判断ができるようにすること
- 3) 社会人としてのモラルをもてるようにすること

講義の内容・ 授業スケジュール

以下のような予定であるが、内容は受講生の希望や技術力によって変更する可能性もある。

- 1) コンピュータやインターネットの基本的な仕組みについての講義・演習
- 2) Windows上で稼動するワードプロセッサWordに関する演習
- 3) 表計算ソフトExcelの基本的な部分に関する演習
- 4) WWWシステムについての講義と利用に関する演習

授業では上記の内容に関する課題を随時出してゆき、皆さんに課題をこなしていただく。課題は印刷物で提出してもら場合と、コンピュータファイルで提出してもら場合の両方ある。

履修上の留意点

この授業では「社会人としてのモラルをもてるようにすること」も目標に掲げている。授業では実際の業務についてとときと同様の「厳しさ」を受講生の皆さんに求めたい。具体的には以下の通りである。

- 1) 遅刻や欠席がないように注意していただきたい
あなたの取引相手が無断で商談の時間に遅れたら、あなたは相手を信用して取引を進めることができるだろうか。授業では、講義開始後には教室への入室を遠慮していただく場合がある。
- 2) 課題の提出時間は厳密に守ってほしい
あなたの取引している相手の商品が、期日までに納品されなかったらどうなるだろうか。授業の課題は、講師に対する一種の「納品物件」だと思っていただきたい。
- 3) 社会人として恥ずかしくない言葉遣いをしてほしい
ここでいう「言葉遣い」は、話す場合だけではなく、書く場合のことも指している。社会にできれば言葉遣い一つで信用を失うこともありうることを忘れないで頂きたい。

これらはいずれも社会人としては当然のことであるので、この姿勢を学生時代から是非身につけておいていただきたい。ただし上記の1)と2)に関しては、正当な理由(電車の遅れ、急病、冠婚葬祭など)がある場合は例外である。当日か後日に証明書類を提出していただければ、期限内でも課題を受講する。また何か質問などがあれば、電子メール (hashiba@komazawa-u.ac.jp) で遠慮なくご連絡いただきたい。

成績評価の方法

課題の提出状況と内容、および出席状況から評価させていただく。

教 科 書

太田忠一編／植松康祐・草薙信照著『文科系のためのコンピュータリテラシ [第2版]』(サイエンス社) 2,150円

参 考 書 等

必要に応じて随時紹介する。

そ の 他

講義、実習ともすべて情報教育センター(4号館)でコンピュータを使いながら行う。

[クラス定員] 60名

[関連科目] 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

*この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理基礎（前期）	やました ひであま 山下 英 明	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

コンピュータは企業経営にとってすでに欠かすことの出来ないものとなっており、最近のインターネットの普及により、いち早く情報を集めるための道具として、ますますその必要性は増えていく。

本講義では、コンピュータの基本的な使用法から始めて、コンピュータを使って以下に情報を処理し、それを表現し、書類やプレゼンテーションの形として作成していくかを解説していく。

講義の内容・授業スケジュール

1. コンピュータの基本的な使用法

電源の入れ方からはじめ、タイピングの練習をおこなう。また、基本的なコンピュータ用語について解説する。

2. ワードプロセッサによる文書の作成法

日本語ワードプロセッサを用い、文書の作成技法について学ぶ。

3. 表計算ソフトによるデータの処理と視覚化

いろいろなデータを用い、そのデータにどのような意味が隠されているのかを探るため、表計算ソフトを用いて、どのように処理をすればいいか、また、その結果をどのように表現すればいいかについて学ぶ。

4. プレゼンテーションソフトによる発表方法

プレゼンテーションソフトを使い、3. で作成した表やグラフを使って効率よく、美しく、わかりやすく発表するかについてまなぶ。マルチメディアによるプレゼンテーションについてもふれていく。

5. インターネットについて

インターネットとは何か、どのようなことが出来るのかなど、インターネットの現状と将来について、電子メール、ワールドワイドウェブ（WWW）を中心に解説をしていく。

6. その他

時間が許す範囲で、これらのソフトをどのように作成するかについて、いくつかのプログラミングの手法について解説していく。

履修上の留意点

実習科目であるので、必ず出席すること。毎回簡単なレポートを提出することを義務付ける。また、講義の最初の時間説明をし、その後実習をするので、遅刻もしないこと。

成績評価の方法

講義時間内に提出する演習課題 50%
2, 3回のレポート 50%

教科書

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

その他

〔クラス定員〕60名

〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理基礎（前期）	よ だ きよし 依 田 聖	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生活に活用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

大学あるいは企業でPCを道具（情報収集、情伝達、レポートの作成等）として使う基本的な力（コンピュータ・リテラシー）を養う。演習を中心に進めるが、コンピュータ化の問題点と情報倫理等の講義も行う。演習の主要な点は①PCの操作（Windowsの基本操作）②WWW（ブラウザの使用方法、情報検索・収集）③電子メール（送受信、添付ファイル、アドレス帳）④ワープロ（操作法、文書作成、印刷）

履修上の留意点

本科目は理科系の科目であり積み重ねが必要。欠席すると次が分からなくなる。休まず、遅刻はしないこと（出欠は必ずとる）。わからないことは恥ずかしがらず聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりとすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。

成績評価の方法

出席（毎回の課題を提出）50%、レポート50%。特にメールを習った後は毎回の課題はメールで提出する。

教科書

太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ』（サイエンス社）1997年2,200円

その他

〔クラス定員〕 60名
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

専門教育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用Ⅰ（後期）	う た に あきひで 宇 谷 明 秀	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、前期開講の情報処理基礎に続き、まず、データ処理した結果の表現法およびプレゼンテーションソフトの使い方について学ぶ。またソフトウェア開発とはどのようなものか、プログラミングの基礎についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) プレゼンテーションソフトの使い方
データ処理した結果の表やグラフを使って、効率よく、わかりやすく発表するためのプレゼンテーション資料の作成等について学ぶ。また、マルチメディアによるプレゼンテーションについてもふれる。
- 2) プログラミングの基礎
代表的なプログラミング言語を使って、簡単なソフトウェアを作成する。（プログラミングの基礎について学ぶ）。

履修上の留意点

前期開講の情報処理基礎を履修しておくとうまい。また、授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

成績評価の方法

演習課題に対するレポート（50点）＋試験（50点）で成績をつける。

教科書

授業時に指示する。

その他

〔クラス定員〕 60名
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得なければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用Ⅰ（後期）	かわちや きちこ 河内谷 幸 子	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に全く新種のソフトが世間的に普及するような場合が生じても適応できるように、積極的に新しいものに取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回、1人1台コンピュータを使って実習を行います。「情報処理基礎」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。表計算ソフト、自分のホームページ作り、プレゼンテーションソフトの使い方などを実習します。

履修上の留意点

「情報処理基礎」をあらかじめ履修しておくことをすすめます。また、コンピュータ実習授業は1回休むと次の実習内容がわからなくなるので、休まないようにしましょう。出席は必ずとります。

成績評価の方法

出席を重視します。コンピュータを使って解くレポート課題を2～3回出し、その結果と出席点で評価します。

教 科 書

4月の最初の授業で指示します。

参 考 書 等

その都度授業で指示します。

そ の 他

1人1台コンピュータを使った実習形式です。

〔クラス定員〕60名

〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目は「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得なければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用Ⅰ（後期）	かとう たけのぶ 加 藤 武 信	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

「情報処理基礎」の授業で確立したパソコンに関する知識・技術をさらに発展させ、実社会で応用できる活用能力に高める。すなわちExcelによる応用処理とPowerPointを用いたプレゼンテーション、さらに関係データベースAccessを活用した「仕事の仕組み」の具体化を試みる。パソコンの実習環境は、Windowsを用いる。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 表計算ソフトExcelによる応用処理
データベース応用、ピボットテーブルの活用、各種計算モデルの活用、管理資料の作成
- (2) プレゼンテーションソフトPowerPointによるデータの視覚化
表題、箇条書き、組織図、表、グラフ、挿絵入りスライドなどの作成
- (3) データベースソフトAccessによる成績処理業務の設計と処理
テーブルの設計、フォームによるデータ入力、テーブルの結合、クエリによる各種集計、SQLの基礎

履修上の留意点

パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法

出席、レポートおよびテストにより総合評価する。

教科書

加藤武信他『コンピュータ活用』（サンウェイ出版）2,300円

参考書等

加藤武信他『プログラムとシステム演習』（サンウェイ出版）1,800円

その他

授業の方法：パソコン実習
〔クラス定員〕60名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得なければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用Ⅰ（後期）	し び き ま さ ひ ろ 地 引 昌 弘	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、コンピュータの操作方法を単に習得するだけに偏らず、コンピュータ自体の知識や経営における実際の問題などと対応させながら、意思決定/問題解決の手段として活用できる能力の習得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・表計算の基本
経営場における情報分析に際して、ワープロ以上に重要なツールである表計算ソフトに慣れることを目標に、代表的な表計算ソフトであるMS-EXCELを利用した表計算やグラフの作成、基礎的な統計分析などの各機能について学ぶ。
- ・オフィス統合ツールの基本
表計算ソフトの基礎的な利用方法をベースに、より実践的な経営の問題への応用を目指す。まずは、ワープロソフトやデータベースソフトとの連携を目標に、作成したグラフを文書に組み込んだり、データベースからデータを取り出して解析を行なう技術を習得する。最後に、表計算ソフト上の簡易プログラミング機能であるマクロを利用して、各オフィスツールを統合した環境における応用方法について学ぶ。
- ・コンピュータの応用
コンピュータを自分自身で使いこなせることを目標に、プログラミングやアーキテクチャ、トラブル時の処理などコンピュータへの理解を深めるための実習/解説を行なう。まずは、簡単なプログラムを自分で開発できることを目指して、オフィス統合ツール上で利用されるVisual Basicを対象にプログラミングの基礎を習得する。続いて、複雑なプログラムを作成するための作法や実際のデバッグ手法を学ぶ。最後に、OSやネットワークの仕組みについて解説を行ない、今後コンピュータを独力で使いこなしていける能力の習得を目指す。

履修上の留意点

本講義は、情報処理基礎の履修者が日常の活動にコンピュータを自在に活用できることを最終的な目標にしています。
従って、上記の基本スケジュールと並行して、適宜コンピュータに関する様々な知識や最新情報なども解説していく予定です。また、この目標に向けてのどのような質問/疑問でも大いに歓迎致します。

成績評価の方法

まずは、上記に述べた本講義の趣旨より、単位の取得だけが目的の者は遠慮していただきたい（出席免除などは認めない）。実習が中心なので、基本的には毎回出席し、出席の確認として実習内容を提出させることを予定している。また、実習の状況に応じて課題を提出させる場合がある。期末には、履修を終えた項目を応用したレポートを提出させる。成績評価は、出席および課題/レポートを統合して行なう。

そ の 他

教科書などは特に指定しないが、必要に応じて各項目ごとの参考図書を紹介する。状況が許せば、コミュニケーション手段の一つとしてE-mail（電子メール）を利用する予定。
〔クラス定員〕60名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得なければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理応用Ⅰ（後期）	はしばとしゆき 橋 場 利 幸	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

この講義は以下のような目的を持っている。

- 1) 効果的に情報を表現するために必要なコンピュータ技術を身につけること
- 2) 技術を身につけるだけでなく情報化社会に対する自己判断ができるようにすること
- 3) 社会人としてのモラルをもてるようにすること

講義の内容・
授業スケジュール

以下のような予定であるが、内容は受講生の希望や技術力によって変更する可能性もある。

- 1) 表計算ソフトExcelのさまざまな応用的な部分に関する演習
- 2) さまざまなソフトの連携利用に関する演習
- 3) プレゼンテーションソフトPowerPointを使った情報の自己発信に関する演習
- 4) ネットワークの原理、情報倫理、情報化社会の問題点などに関する講義

授業では上記の内容に関する課題を随時出してゆき、皆さんに課題をこなしていただく。課題は印刷物で提出してもら場合と、コンピュータファイルで提出してもら場合の両方ある。

履修上の留意点

この授業では「社会人としてのモラルをもてるようにすること」も目標に掲げている。授業では実際の業務についたときと同様の「厳しさ」を受講生の皆さんに求めたい。具体的には以下の通りである。

- 1) 遅刻や欠席がないように注意していただきたい

あなたの取引相手が無断で商談の時間に遅れたら、あなたは相手を信用して取引を進めていくことができるだろうか。授業では、講義開始後には教室への入室を遠慮していただく場合がある。

- 2) 課題の提出時間は厳密に守ってほしい

あなたの取引している相手の商品が、期日までに納品されなかったらどうなるだろうか。授業の課題は、講師に対する一種の「納品物件」だと思っていただきたい。

- 3) 社会人として恥ずかしくない言葉遣いをしてほしい

ここでいう「言葉遣い」は、話す場合だけではなく、書く場合のことも指している。社会にできれば言葉遣い一つで信用を失うこともありうることを忘れないで頂きたい。

これらはいずれも社会人としては当然のことであるので、この姿勢を学生時代から是非身につけておいていただきたい。ただし上記の1)と2)に関しては、正当な理由（電車の遅れ、急病、冠婚葬祭など）がある場合は例外である。当日か後日に証明書類を提出していただければ、期限内でも課題を受講する。また何か質問などがあれば、電子メール（hashiba@komazawa-u.ac.jp）で遠慮なくご連絡いただきたい。

成績評価の方法

課題の提出状況と内容、および出席状況から評価させていただく。

教科書

太田忠一編／植松康祐・草薙信照著『文科系のためのコンピュータリテラシ〔第2版〕』（サイエンス社）2,150円

参考書等

必要に応じて随時紹介する。

その他

講義、実習ともすべて情報教育センター（4号館）でコンピュータを使いながら行う。

〔クラス定員〕60名

〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目は「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得なければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理応用Ⅰ（後期）	やました ひであき 山下 英明	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

コンピュータは企業経営にとってすでに欠かすことの出来ないものとなっており、最近のインターネットの普及により、いち早く情報を集めるための道具として、ますますその必要性は増えていく。
本講義では、インターネットの利用を主眼として、電子メールの使い方、インターネットによる情報検索、ホームページの作成について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 電子メール
電子メールの使い方、メールボックスの管理方法、添付ファイルの転送方法などを解説する。
- インターネットによる情報検索
サーチエンジンを用いて必要な情報を検索したり、それをダウンロードしたりする方法を説明する。
- ホームページの作成
HTML言語を用いて、各自のホームページを作成し、それを学内に公開する。まず、HTMLの文法について例を用いて簡単に説明し、その後各自ホームページを設計し、それをHTML言語を用いて記述する。

履修上の留意点

実習科目であるので、必ず出席すること。毎回簡単なレポートを提出することを義務付ける。また、講義の最初の時間説明をし、その後実習をするので、遅刻もしないこと。

成績評価の方法

講義時間内に提出する演習課題 50%
2、3回のレポート 50%

教科書

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

その他

〔クラス定員〕60名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得なければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理応用Ⅰ（後期）	よ だ きよし 依田 聖	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生活に活用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前期で養った基本的な力をベースにて、コンピュータを実践的に使えるような力を養う。演習を中心に進めるが、情倫理やITビジネス等の講義も行う。演習の主要な点は①表計算（エクセル）（操作法、表計算、グラフ）②WWW-ワープロ-エクセルの連携（アプリケーション間でのデータのやり取り、情報検索・収集とその解析）③HPの作成（HTML言語でHPを作成）

履修上の留意点

本科目は理科系の科目であり積み重ねが必要。欠席すると次が分からなくなる。休まず、遅刻はしないこと（出欠は必ずとる）。わからないことは恥ずかしながら聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。

成績評価の方法

出席（毎回の課題を提出）50%、レポート50%。毎回の課題はメールで提出する。

教科書

太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ』（サイエンス社）1997年、2,200円

その他

〔クラス定員〕60名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得なければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
民法Ⅰ（総則・物権法）	おおみや たかし 大 宮 隆	経営 A 2 選	4

講義のねらい

民法という法律は、日常の社会生活（財産関係と家族関係）を規律の対象とし、総則・物権・債権・親族・相続の五編に編別されている。本講の対象は、第一編総則、第二編物権である。なかでも総則は、全編に共通な規定と、どの編にも入れることができない規定を集めて構成されているので、抽象的な法文形式が多い。よって講義においては、具体例を挙げてわかりやすく説明したいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|----------------|--------|
| ① 民法の意義 | ⑪ 占有権 |
| ② 民法典の編別 | ⑫ 所有権 |
| ③ 民法の指導原理とその修正 | ⑬ 地上権 |
| ④ 自然人 | ⑭ 永小作権 |
| ⑤ 法人 | ⑮ 地役権 |
| ⑥ 物 | ⑯ 留置権 |
| ⑦ 法律行為 | ⑰ 先取特権 |
| ⑧ 期間 | ⑱ 質権 |
| ⑨ 時効 | ⑲ 抵当権 |
| ⑩ 物権変動 | |

履修上の留意点

講義には六法持参のこと。講義終了時に次週の予告をするので、教科書を読んできること。

成績評価の方法

年度末の定期試験と出席状況を総合して評価する。

教科書

『新民法概説（1）総則・物権』（有斐閣双書）1,900円

参考書等

講義の中で随時紹介します。

専門教育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
商法Ⅰ（総則・会社法）	あらき まさたか 荒 木 正 孝	経営 A 2 選	4

講義のねらい

この講義では、会社法（総則、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社）の基礎的かつ基本的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において重要な役割を果たしている株式会社の法規制について多くの時間を割くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

大企業は全て株式会社の形態をとり、その株式会社が現代の経済を担い、商品やサービス、そして労働の場を提供するという社会的機能を通して国民の生活に計り知れない大きな影響を及ぼしている。そこで、この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などの私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点を置き、そこでの重要問題を探り上げ、判例や学説の対応、実務の取り扱いなどを検討し、会社法の基本原理を理解してもらうつもりである。

履修上の留意点

会社法は商法の重要な部分であり、その中心は、商法第二編会社、有限会社法などの規定である。ところで、商法は、民法を一般法とする特別法であるから、商法を学ぶ際には、その基礎となる民法総則、物権法、債権法などの知識があると一層分かりやすい。もっともここでは、講義の内容を理解するために必要な範囲で民法＝財産法の規定や基本概念にも触れるつもりであるから、財産法の全てを履習していなくても受講には差し支えない。

平成13年に重要な商法の改正が行なわれたので、必ず平成14年度版の六法をもって出席してください。

成績評価の方法

年度末のペーパーテストの点数で評価します。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

鴻・落合・岩原・江頭編『会社判例百選』第6版（有斐閣）
奥島・中島編『商法演習Ⅰ（会社法）第3版』（成文堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	あかしひろゆき 明石博行	経営A2選	4

講義のねらい

本演習では、パソコンの操作能力や英語の読解力などの育成を図りつつ、新しい社会科学である経済社会学の基礎期学習に取り組みます。2年次にはとくに、その後の演習の基礎となる技能と知識の修得を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

演習は前期と後期にわけて行います。前期には、ワードとエクセルの操作の基本について学習します。また、ワードやエクセルを使った課題図書ノートと年表の作成に取り組みます。後期には、ノートと年表を全員に配り、それらを使った学習に取り組みます。各班ごとに課題図書にかんする報告を担当し、年表を参考にしながら課題図書の内容を検討しつつ、参加者のディベート能力を磨いてゆきます。また、高校の政治・経済レベルから、経済社会学の基礎理論をあわせて学んでゆきます。

履修上の留意点

演習参加者の問題意識をふまえて、3、4人の班を編制し、班ごとの補習を行います。補習では、インターネットによる新聞情報の入手と処理の仕方について学習し、ネットを通じて入手した最新の英字新聞記事を読んでゆきます。また、夏に3年生との合同合宿を行います。補習も含めた演習全体への参加が求められます。

成績評価の方法

成績は、通常の演習および補習への参加状況を基本としつつ、課題修得の到達度の判断を加えて評価をします。

教科書

課題図書は、演習参加者の問題意識を聞いたうえで、班ごとに決定します。また、ノートの作り方や経済社会学の基礎理論を学ぶためのゼミ用テキストを配布し、使用します。その他の参考書については適時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	あべかずひと 阿部一人	経営A2選	4

講義のねらい

本演習では、財務会計を中心に、企業会計の基礎研究をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

この財務会計の基礎知識を習得するために、簿記の学習を初歩程度からはじめて日本商工会議所簿記検定試験の合格を目標に（すでに3級に合格している者は2級にむけて）これから簿記会計を学習・研究しようとする人達を対象に学習する。後期では、報告形式により報告者のレジュメ（報告要旨）にそって、テキストを輪読する。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、報告発表、レポート等により総合的に判定する。

教科書

飯野利夫著 『財務会計論』（同文館）

参考書等

授業中において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習 I	い だ て つ お 飯 田 哲 夫	経営 A 2 選	4

講義のねらい

企業活動における諸問題に対して、合理的な意思決定・問題解決を行なうために、問題を明確化し、さらに現象をモデル化して数理的・定量的な分析を行なう方法論について学ぶ。また、近年の情報技術の発展により企業は大量のデータ・情報を蓄積している。それらのデータを有効に利用した意思決定を行うための数理的技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミへの参加人数に依るけれども、数理的決定法（経営科学・オペレーションズリサーチの方法論）に関する基礎的な文献の輪読を行なう予定である。また、分析手法の習得のために、ゼミではコンピュータを用いて実際に簡単な分析を行なってもらう予定である。文献は最初のゼミのときに紹介する。随時、必要であれば講義形式で知識の補足を行う。

履修上の留意点

このゼミは、ゼミの主体的・積極的参加を前提としている。また、専門性の高い内容を習得することを目指しており、毎回のゼミでの積み重ねが必要となるので、毎回出席すること。

成績評価の方法

平常点（課題とゼミへの出席）で評価します。

教科書

最初のゼミで指定します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習 I	お ざ わ と し ひ き 小 沢 利 久	経営 A 2 選	4

講義のねらい

人は様々な場面で次取るべき行動の選択（意思決定）を迫られている。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めている。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしている。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、オペレーションズ・リサーチの各種手法とコンピュータシミュレーションについて学んでいく。特に、株価や需要の変動など、不確定要素を含む問題を確率的なモデルとして表わし、解析していくことに重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

・演習I（2年生）では、確率的に変動する現象を理解するための基礎的な知識の修得を目指す。金融工学と確率論の基礎に関する輪読を予定している。

履修上の留意点

情報処理基礎・応用、経営科学概論、統計原論、経営科学など、経営科学系の科目を並行して履修することが望ましい。

成績評価の方法

出席状況、受講態度や理解度を勘案して評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習 I	か が み よ う こ 各 務 洋 子	経 営 A 2 選	4

講義のねらい

大学は、学問追究の場です。しかし、単に高度な学術知識を与えるだけの場ではありません。3年間の演習を通して、大学時代に身につけるべき個人の貴重な資産（能力）を知的交流を通して培うことを目指します。具体的には、(1) 高度な学術性と同時に、創造的な理解力を身につけ、多様な価値観から常に自由な立場であり続けるための批判的知性を育てること。(2) 多くの知識を幅広く学ぶということではなく、幅広い知識を深く学ぶための確固たる主体性を育てること。(3) 生涯、知的に成長を続けるために備えておくべき力を、習慣化すること。これらを実現するために、様々なプログラムを用意しています。常に、ワクワクドキドキする知的緊張感を研ぎ澄ませ、楽しみながら現実と理論の融合を試みます。

現代企業に焦点をあて、企業の所属する業界構造、利害者集団との関わり、競争状態などの外部環境分析、ヒト・モノ・カネ・情報などの内部環境分析を通して、企業の採るべき行動、戦略、組織構造、経営管理形態などを考察する。企業をウチ側とソト側から、経営学の視点に立ち、複眼的、立体的に観察・分析・研究する。

講義の内容・授業スケジュール

理論研究では、経営環境、経営戦略、経営者の役割など、経営学の基本を研究する。テキストを精読し、担当者がレジュメを作成し、報告。質問者数人を中心に議論する。理論研究と並行して、現実の企業研修に利用されているビジネス・シミュレーション・ゲーム（企業経営の模擬実験）をチームに分かれて行う。会社の創立から、株主総会の開催（ゲームの最終段階）、経営幹部反省会（コンパ）まで、企業経営の一連の流れを体感し、意思決定の難しさ、チームワークの重要性を実感してもらう。後期の業界研究では、チームに分かれ、実際の企業訪問、インタビューを通じた生の情報を収集。データの分析方法、グループでの効果的にプレゼンテーションの力を養う。

成績評価の方法

ほぼ毎週の小レポート。年度末のグループワーク：ゼミ論（業界構造分析）提出。平常点（ゼミでの発表力、議論への貢献度等）。

教 科 書

伊丹敬之・加護野忠男著『ゼミナール経営学入門』（日本経済新聞社他）年に数冊。

そ の 他

合宿は、年1～2回。後期の研究に関連した会社訪問、工場見学など。コンパは、課題の山終了毎に随時開催。

ゼミ情報は、ホームページに掲載：http://www.komazawa-u.ac.jp/du/Kagami_Seminar/

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	か し ま ひ で あ き 鹿 嶋 秀 晃	経 営 A 2 選	4

講義のねらい

演習テーマは現代日本の経営労務問題。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考える。よって、積極的に勉強し、行事にも参加したいという学生を採用する。ゼミがより広い知識・考え方を得、友人関係を築く場となることを願う。

講義の内容・授業スケジュール

現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える経営労務問題に関して、入門書と専門書を読んでいく。企業と労働について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養う。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「年俸制」「人事考課」「日本の経営」「女性労働」「日本の労務関係」「会社人間」「過労死」ほか。2カ月に1冊のペースで本を読む。受講者全員はあらかじめテキストを熟読しておくこと。その中から報告者（レジュメを作成）、コメンテーターを決め、その2人を中心に議論をしていく。報告者とコメンテーターは順番に回す。毎回「新聞発表」もする。担当者は最近の新聞から経営労務に関するものを切り抜き、自分のコメントも加えること。また、全員に個人のホームページを作成してもらう。

履修上の留意点

出席重視。無断欠席は2度目で単位認定なし。欠席は3度を越えると単位認定なし。ただし、特別な事情には個別に対応する。履修希望者は、可能な限り講義「経営労務論」を履修のこと。卒業時には卒業論文を書き、論文集を発行する。レジュメはワープロで作成のこと。毎週のゼミ以外の工場見学、コンパ、合宿等もゼミの一環なので必ず出席のこと。

成績評価の方法

出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。

教科書

適宜指定する。ちなみに昨年度のテキストは高橋俊介『キャリアショック』、原田・安井・黒田編著『新・日本的経営と労務管理』、熊沢誠『女性労働と企業社会』など。

参考書等

演習時に適宜紹介する。また、ホームページでも紹介。

その他

HPアドレスhttp://www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/Kashima_Seminar/index.html

専門教育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	か た ぎ り の ぶ お 片 桐 伸 夫	経 営 A 2 選	4

講義のねらい

このゼミは3・4年次（演習Ⅱ・Ⅲ）で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、
1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）
2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）
3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）
4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）
といった内容です。

履修上の留意点

このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表（貸借対照表や損益計算書など）の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向きのゼミです。

成績評価の方法

成績評価の方法は平常点です。
2年次（演習Ⅰ）は、日商簿記検定2級（or1級）にチャレンジしてもらいます。
プレゼミや合宿も行います。

その他

ゼミ入室の決定方法は面接〔志望理由書（500字程度）事前提出〕とテスト（演習Ⅰは1年次学習中の簿記、演習Ⅱは日商簿記検定2級程度）によります。
なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	かねむら えいてつ 兼 村 栄 哲	経営 A 2 選	4

講義のねらい

受講生の1人1人が、マーケティングにかかわる諸現象を体感し、自分なりに論理的に説明できるようにすることを主な目的としている。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の3つを主な内容とする。

- (1) マーケティング論に関する基本的なテキストを全員で輪読し、基礎的な概念や理論を学んでもらう。これは、各受講生が、事前に割り当てられた担当箇所について作成したレジュメを発表し、その後討論するという形式をとる。
- (2) 年に数回、4～5人のグループで、マーケティング(論)にかかわるいくつかのテーマについて調べてきてもらい、その内容を発表してもらう。
- (3) 年に数回、工場見学を予定している。工場見学後、レポートを提出してもらう。

履修上の留意点

以上の3点をとくに要望する。

- (1) 積極的に参加すること(通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも積極的に参加すること。また、単に出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。)
- (2) お互いの親睦を深めること
- (3) 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ず事前にその旨を申し出ること。

成績評価の方法

授業態度、発表内容、レポート内容等を総合的に評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

適宜、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	<small>た か い て つ お</small> 高井 徹 雄	経営 A 2 選	4

講義のねらい

IT (情報技術) が社会のキーワードとされる今日、我々は、真の意味で情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す、高度情報社会に生きています。皆さんが、企業や官庁の有能なスタッフとして「情報エリート」を目指すならば、少なくとも、

- 1) 発見力：与えられるのではなく、自ら問題を発見する能力。
- 2) 洞察力：必要な情報を選び、情報に基づき分析し、問題の本質を解明する能力。
- 3) 解決力：他社と協力しあって、具体的な問題解決策を提案し、実行化する能力。
- 4) 表現力：自らの提案を解り易く表現し、情報発信する能力。

が要求されるはず。こうした能力を養って頂くために、毎週の演習、およびゼミ合宿において、適切な題材と環境を用意して行きます。

講義の内容・授業スケジュール

経営における意思決定の問題に、科学的・系統的にアプローチすること。これを念頭において、各週の題材を選んで行きます。どの題材についても、概念→理論→技法→道具、の4つのフェーズを通過します。

およそのスケジュールは以下のとおり。受講生とコミュニケーションをとりながら、理解度や興味の方角を見極めながら進めて行きます。

演習 I

- 4-7月：情報リテラシ…文書、HTML文書作成、スプレッドシート基礎・応用
- 6月：ソフトシステム方法論…演習IIと合同ゼミ合宿、SSMで社会的問題を扱う
- 9-12月：計算機言語…スプレッドシートマクロ、Delphiプログラミング

履修上の留意点

課外活動を含め、主体的にゼミに参加されることを願っています。

成績評価の方法

平常点の他、年2回程度与える課題により評価します。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	<small>た か き か つ み</small> 高木 克 己	経営 A 2 選	4

講義のねらい

本ゼミナールでは、3年間を通じて、法人税の対象となる企業の課税所得の算定過程を明らかにすることを中心に研究を行います。

なお、毎回報告者の発表に対し討論を行うという形式で進めていくので、その中で十分に自分の意見が主張できるようになって欲しいと考えています。

2年次では、企業の税金の問題を扱う前提として、簿記、会計理論の基礎的な知識を習得します。本年度は会計学の基礎を中心に勉強をします。ただし、最低限、6月の日商検定試験3、2級に向けて3カ月間だけ簿記検定の勉強をします。(すでに3級を取得している者は2級に向けて、初めての人は3級の合格を目的にします。)

なお、合宿は11月全学年合同で行っています。その内容は、ディベートが中心になります。その他、年2回程度、全学年で集まる機会を持っています。

ゼミ運営の基本的な考え方として、一生懸命勉強している人や各種の試験等をめざして勉強している人が、居心地の悪いような雰囲気は絶対つくりたくないようになっています。明るくて、好奇心が強く、夢をたくさん持っている人が志望してくれたらいいなと思っています。

成績評価の方法

出席及び報告により評価します。

参考書等

最初の授業で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習 I	滝田 公一	経営 A 2 選	4

講義のねらい

本年度は次の文献を利用して演習を行う予定です。
 [1] 東北大学経営学グループ著、『ケースに学ぶ経営学』有斐閣ブックス、1998年(2,500円)
 文献[1]は、「企業とは何か?それはどのように経営されているのか?」と言う問題を幾つかの現実の事例(例えば、スカイマークエアライン社の設立、マクドナルドとモスバーガーの競争戦略など)をとおして考察したものです。此の教科書を題材として、学生諸君には、課題報告(例えば、1970年代から80年代に架けて、日本の自動車企業は、アメリカの自動車企業に追いつき追い越していきますが、なぜそのようなことが起こったのか、環境と戦略について調べましよう、など)をしてもらう予定です。このような課題報告を通じて、レポートの書き方と文献・資料の探し方に習熟していただくことも演習Iの狙いの一つです。

また、文献[1]とあわせて、代表的な表計算ソフトであるExcelを使った経済データの情報処理をも勉強する予定です。簡単な計算によるデータの変換、グラフの作成、最小二乗推定、確率分布、線形計画法、簡単な経済理論のシミュレーション、などが取り扱われる予定です。特別な予備知識は必要ありませんが、「情報処理基礎」を前もって、または、同時に履修されると理解が一層深まるのではないかと思います。

成績評価の方法

成績評価は、学年末に、課題に基づくレポート(通常、computer assignment)を提出してもらい、それによって行います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習 I	長 国 強	経営 A 2 選	4

講義のねらい

現代は情報化社会といわれ、新聞・雑誌・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山にすぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。実際のデータから経済・経営など社会的動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使つてのデータ解析の基本技術を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

演習I(2年生):WORDとEXCEL...コンピュータ初心者のために初心者にコンピュータの基本知識やタイピングの基礎を教えた後、コンピュータ上の代表的なワープロソフト-WORDと表計算ソフト-EXCELをマスターできるよう、実際の文章や統計表を取り入れながら徹底的に実習していく。

成績評価の方法

平常点:出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

そ の 他

演習Iの選抜方法は自己紹介文(A4、1枚)と面接によって行う。なお、継続性ということから、演習IIと演習IIIの募集はいたしません。

演習Iと演習IIは学生諸君のまだ慣れていないコンピュータ上の演習のうえ、毎回の実習アイテンに連続性があり、1回欠席すると、次回の実習についていけなくなることも考えられる。したがって、無理なく年間5回以上欠席した場合、自動的に除名されることにする。また、現代社会に通用するための常識的な素質と思うが、協調的かつ永遠に新しいものに取り込みたい、という意欲を持つ学生諸君の参加を特に望む。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	なかがわ じゅんぺい 中 川 淳 平	経営 A 2 選	4

講義のねらい

この演習では、企業、そして企業をめぐる社会・経済現象について参加者が多角的な理解が得られるようにしたいと考える。併せて、報告の仕方、文章のまとめ方について習得する。

講義の内容・授業スケジュール

経営学・経済学の基本的な文献を読み、討論してゆく。文献は開講時にこちらで指定する文献の中から参加者に選択し、その概要を発表してもらう。さらに、一年間の学習のまとめとして、レポート（小論文）を作成する。

履修上の留意点

多量の文献を読む予定なので、積極的に勉学する、意欲ある学生の参加を望みます。

成績評価の方法

発表や討論の内容、レポート、学習態度によって総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	なかもら こういち 中 村 公 一	経営 A 2 選	4

講義のねらい

本演習は現代企業の経営戦略を多面的に把握し、1) 文献講読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する分析力と洞察力、2) 実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力を養っていくことを目的とする。そして、数多くの課題をこなす中で各人の能力（スキル）アップを図る。

講義の内容・授業スケジュール

文献講読による経営戦略論に関する基本知識の習得とともに、ケーススタディやビジネスプラン策定などにより実践的場面でも活用できる能力の向上を図る。従って、文献の理解力とレポート作成能力、そして思考力やプレゼンテーション能力も強化していく内容で演習を進めていく。そのために、毎週の演習以外に、年数回の研究会と勉強合宿を計画している。

履修上の留意点

毎週レポートを宿題として課すために、相当の勉強時間の確保が必要である。

成績評価の方法

出席と授業への積極性、レポート内容、年度末に提出するゼミ論文によって評価する。特別の用事のない無断欠席等は厳しくチェックする。

教科書

教科書は基本的に年1冊使う予定です。
あとは教材のコピーを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習 I	<small>ながた ともりのり</small> 永 田 智 則	経営 A 2 選	4

講義のねらい

当ゼミナールは国際経済学にかかわる事象を研究対象としている。
近年の国際的相互依存の関係の緊密化は、どの国の経済にとっても、国際経済とのかかわりがいかに重要であるかを認識させてきた。ある国で生じた経済問題は、その影響が全世界に波及し、世界経済の流れを変え、各国経済に変革を迫る。この流れに対応できない経済は取り残され、困難に直面する。

当ゼミナールでは、世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の関係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解することを目標としている。

講義の内容・授業スケジュール

「演習 I」では国際経済学の初歩的な分析道具の習得を目的とし、テキストを中心に授業を行う。ここで学ぶ分析道具を使って、現実の世界経済の出来事を学生諸君が自分なりに分析できるように心がける。

履修上の留意点

無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。

成績評価の方法

授業中の発言や提出レポート等を含め、ゼミ活動にどの程度積極的に参加したかを最大の評価ポイントにする。

教 科 書

教科書及び参考書等については必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習 I	<small>にしむら かずお</small> 西 村 和 夫	経営 A 2 選	4

講義のねらい

【テーマ：コンピュータ科学】 文書（英論文など）の読みかた、発表のしかた、コンピュータの基礎知識と利用のしかたを習得し、論理的な思考力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

入ゼミ手続き（1年次）

面接と文章完成法テストによって選考する。説明会に出席しないと、面接が受けられない。原則として“情報処理基礎”をすでに履修していること。

演習 I

- ・タッチタイプ。
- ・書誌情報の検索のしかたと検索演習→ レポートや論文の作成に役立つ。
- ・言語によるプログラミング。
- ・問題の発見と解決 [4]。
- ・コンピュータの基礎知識 [5]、論文の読み方と発表のしかた(1)。

その他

- ◆ビジネス文書の書きかた [2]。
- ◆情報処理技術者試験の受験のための学習。
- ◆合宿（年1度）・イベント（年1～2度）。

履修上の留意点

テーマは“科学”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。原則として“情報処理基礎”を履修していること。

成績評価の方法

出席のほかに、タッチタイプの記録、検索課題、レポート。

参 考 書 等

- [2] 吉田幸生『仕事の文章が面白いほど書ける本』（中経出版）1992
 [4] P. Grogono and S. Nelson（永田訳）『問題解決とプログラミング』（近代科学社）1985
 [5] 市川公士、藤森洋志『コンピュータの基礎知識』（ソフトバンク）1994

そ の 他

西村ゼミのページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/>
 講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/Nis/lecture/seminarA.html>

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習 I	はとり 羽 鳥 茂	経営 A 2 選	4

講義のねらい

進化ゲーム理論とその1つの応用分野である比較制度分析を学習し、経済システムの比較、コーポレート・ガバナンス、企業システムの進化の問題などを日本経済を中心に考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的のために、演習Iでは必要な数学的準備として前期に線形代数(教科書 [A])、後期に微分方程式(教科書 [B])を学習する。

履修上の留意点

積極的にゼミに参加することだけを学生諸君に要望する。

成績評価の方法

出席状況とゼミへの積極性ならびに年度末に提出する課題レポートによって成績評価する予定である。

教科書

[A] 薩摩順吉、四ツ谷晶二『キーポイント・線形代数』(岩波書店)1992年

[B] 佐野理『キーポイント・微分方程式』(岩波書店)1993年

参考書等

必要な時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習 I	ふじわら 藤 原 篤 志	経営 A 2 選	4

講義のねらい

本演習ではテーマを「現代企業における生産・技術・労働」とし、このテーマに沿ってゼミ生各人が自分の関心のあるテーマを設定し、それについて研究し各人がゼミ論文を作成することを最大の目的としている。またゼミ論文の経過・成果についてプレゼンテーション(発表・報告)を行ってもらい、その中で議論・討論を行う形で授業をすすめていく。この研究発表・報告・討論を通じて、各人が論理的に思考し、自分の意見を的確に表現する練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

2年次では専門的な内容に入る前に、経営学の基礎的な学習をすることを目的とし、ゼミ生各人に勉強テーマを与え、それについてゼミの中で発表を行ってもらい、議論・討論をする。その中で、発表・報告・討論の能力を養っていく。また、ゼミ内に活発な発言・議論が行われる雰囲気を作り上げることを意図している。授業自体は各人による研究発表・討論で行われる。このようにゼミは発表・討論を中心に行われるため、ゼミ内に全員が積極的に発言できる雰囲気を作りたい。そのため、授業以外の活動(コンパ、合宿、工場見学など)に参加することが原則である。その他、一層の勉強、および親睦を深めるためサブゼミの開講も予定している。

履修上の留意点

以上のような内容なので、中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。毎回少なくとも1回は発言することが義務付けられるので、消極的な姿勢でゼミに参加する者にとっては苦痛でしかないであろう。本ゼミでは何よりもやる気のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習 I	みやぎ てつ 宮 城 徹	経営 A 2 選	4

講義のねらい

演習 I (2年)

ゼミ生は、ゼミナールという、いわば学問的コミュニティの枠を形成し、学友間の人間的なつながりのなか一緒にディベートを重ね、かつ相互に新鮮な学問的刺激と影響をあたえあい、そのことによって、よりよい学問的環境を展開し、生活するのだからなければならないのは、言うまでもない。その一環として、このゼミの2年次と3年次のゼミ生は、それぞれ年2回のゼミ合宿を行い、親睦を深めている。

さて、このゼミは、企業という経営学の認識対象を正しく理解することを目的とし、「現代経営理論の研究」という統一テーマの下で、4年次ゼミまで3年間一貫して上述の目的達成を進める。一口に現代経営理論と言っても、さまざまな理論があるが、ここでは、企業を正しく理解するための分析枠組として大いに役立つと思われる、諸理論の研究構想・方向という程度に限定して考えてよい。

この目的のために、2年次ゼミ生は、英語圏とドイツ語圏の代表的な「組織理論」であると同時に、3年次ゼミの研究領域へのインプットと成っている、という二重の意義をもつ文献(邦訳書)を熟読し、その基本的内容や考察方法をきちんと理解し、理論認識を深めるよう努力してほしい。

※ ゼミは、毎回1人あるいは複数のリポーターが与えられた範囲をレジюмеに基づいて報告し、その他のゼミ生もそれを中心にして活発にディベートするように進める。※ ゼミの中心的素材はゼミの開始時に指示する。

※ 斉藤 孝著「学術論文の技法」(日本エディタースクール出版部)平成9年、を入手のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習 I	やまだ まさる 山 田 勝	経営 A 2 選	4

講義のねらい

特に商業経営を中心にすえ、経営者(商人)の役割と資質を勉強する。商人を勉強の対象としながら、自分との比較を行い、自ら事業を起こす可能性とそのために必要な学習をしてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

経営の基礎として、年度始めに各ゼミごとに指定する教科書・副読本を読みレポートする。

日本経済新聞は(毎朝夕)は必読とする。

毎週英語の経済雑誌からCover Storyなどのコピーを配布するので読んできてもらい、内容についてディスカッションする。英語を学ぶのではなく、英語で(国際的センスで)現下の経営環境と問題を理解してもらう。ボーダレス時代に入り、グローバルな経営を理解し、そこで活躍するには国際語としての英語は必須であることを肝に銘じ、英語力の乏しい学生にはアルバイトではなく、英語力の強化に課外時間を充ててもらう。

成績評価の方法

平素の発表を評価していく。

そ の 他

(I) 商業活動には簿記・会計、商法、手形・小切手法の知識、パソコンの使用が必要である。授業時間外に学習してもらう。

(II) 授業時間はディスカッションに充てるので、十分な予習、欠席をしないこと、積極的な発表を求める。

(III) 時間外に出来るだけ補講として企業見学などを実施する。履修希望者にはそれらも授業の一部として理解してもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習 I	<small>わたなべ えいちろう</small> 渡 邊 恵 一 郎	経営 A 2 選	4

講義のねらい

会計の主な役割は、家計・企業・官公庁その他の経済主体の経済状況を計数（貨幣）的に表現し、これを利用する人々に伝達することにある。私の演習では、特に現代の経済社会の重要な経済主体である企業の資金会計を中心に、実務に役立つ基礎知識が得られるよう指導する。

講義の内容・授業スケジュール

授業時間内には、簿記の基礎を涵養し、次に資金会計の体系的研究および有価証券報告書の見方などを修得させる。

2 年次……私の財務会計論の講義を受講しながら、10月下旬まで日商簿記検定試験 2 級（工業簿記）、11月中旬まで同試験 2 級（商業簿記）、11月合格を目標に学修する。その後、資金会計の基礎理論について、3～4 人を 1 チームとして編成し、レジュメを作成して発表し、質疑応答をする。

履修上の留意点

2 年次から 4 年次まで一貫して段階的に学修するので、出席率を重視し、3 年間継続して履修すること。なお、授業時間外では、前述のゼミナール大会（11月関東、12月全国）に出場のため夏合宿などを行う。

成績評価の方法

成績評価は、平常点、協調性および出席率を総合して行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営史	<small>まえだ かずとし</small> 前 田 和 利	経営 A 2・3・4 選	4

講義のねらい

経営史を学ぶことによって企業経営の変化のダイナミズムを理解することが可能となる。本講義では、経営発達史における各段階の典型国をとりあげて講義するが、その際できるだけ産業・企業の歴史や国際比較の視点をふまえて論じていく。その結果、日本の企業経営の特質を鮮明に浮かび上がらせることができよう。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経営史研究の課題と方法
 - II. 企業経営発達史
 - 1. 企業経営の生成
商人資本の経営、マニファクチュア経営
 - 2. 企業経営の確立
産業革命、工場制度、企業経営の諸様相－企業経営者の理念、企業諸機能
 - 3. 企業経営の発展
市場と技術、大量生産システム、大企業の形成と戦略、巨大企業の成立と管理機構
 - III. 日本の企業経営史－流通セクターの経営史（戦前・戦後）
- 以上のうち、前期において企業経営の確立の一部まで終える。日本のケースについては進行具合によって変更がありえる。

履修上の留意点

教科書は使用しないので、下記の参考書を参照し、必ずノートを整理しておくこと。年に数回簡単な問題等を提示して回答してもらう予定である。適宜資料を授業開始時に配布する。

成績評価の方法

学年末試験による評価を原則とするが、多少提出した回答を加味する。

教科書

使用しない。

参考書等

榎本悟『アメリカ経営史学の研究』（同文館）、大河原暁男『経営史講義』（東京大学出版会）、湯沢威ほか『エレメンタル 経営史』（英創社）、宮本又郎ほか『日本経営史』（有斐閣）その他随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営管理論	鈴木幸毅	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

経営管理の理論と現実について、経済社会の動向、資本主義企業の現在の姿を視野に入れつつ、説明する。

講義の内容・授業スケジュール

下記の1、2、3を前期にとりあげ、それとの関連において後期は4を中心に講義する。

- 1 古典的理論
 - (1) テイラーの科学的管理論
 - (2) 管理過程論（職能論）
 - (3) 管理構造論（組織論）
- 2 新古典的理論
 - (1) ホーソン実験と人間関係論的管理論
 - (2) 行動科学的管理論
 - (3) 管理開発論
- 3 近代理論
 - (1) バーナード革命
 - (2) 組織論的管理論
 - (3) 意思決定論的管理論
- 4 現代理論
 - (1) 環境適応的管理論
 - (2) 戦略的管理論
 - (3) 環境問題と企業責任論

履修上の留意点

自主的学習を期待するので、特に出欠をとることはしないが、中間試験に代わるレポート提出を求め、その成績を期末テスト結果に加味して評価する。

教科書

鈴木幸毅著『企業と管理の理論』（中央経済社）2001年4月（前期）
後期は、別の教科書を指定する。

参考書等

鈴木幸毅著『バーナード組織理論の基礎』（税務経理協会）1998年
鈴木幸毅著『地球環境問題と各国・企業の環境対応』（税務経理協会）2001年6月

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営学史	中川淳平	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、100年あまりにわたる経営学の歴史上、重要なものと位置づけられる学説の展開を、企業経営の背景にある社会経済システムの動きと関連させながら検討する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経営理論のジャングルの状況
2. 科学的管理法と人間関係論
3. 所有と経営の分離
4. 近代組織論の展開
5. 社会経済構造の変動と経営学説の変容
6. 経済学の企業理論
7. 企業と社会（ドイツ経営学の発展）

履修上の留意点

講義中の私語は慎んで下さい。

成績評価の方法

試験による。また必要に応じてレポートの提出を求めることがある。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

配布するプリントに適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経営学	みやぎ 徹	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当たる場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

<2002年度『アメリカ経営学』授業計画>

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論 (2)

履修上の留意点

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠・編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997
- 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000（A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
- 8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999（A. Picot u. a., Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schaffer - Poeschel, 1997）

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介してゆく。

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確認するために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営財務論	た か だ み つ あ き 高 田 光 明	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要ときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけつて意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法の重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本の相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

教 科 書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

参 考 書 等

染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営労務論	か し ま ひ で あ き 鹿 嶋 秀 晃	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか?」といったように問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明をする。出席は取らないので、出席点はなし。私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、減点の対象とする。

成績評価の方法

評価は学期末試験のみによる。出席点、レポート、中間テストはなし。詳細はホームページでも公開。

教科書

特に指定しない。

参考書等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992、など。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。参考文献はホームページで紹介。

その他

授業は講義の形式でおこなうが、図表やグラフ、ビデオを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。この科目は、再試験は実施しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営組織論	ながせかつひこ 長 瀬 勝 彦	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

この講義で論じるのは、第1に企業組織がどのように構成されているのか、第2にそれが環境の中でどのように運動しているのか、第3に個人や小集団が組織とどのように関わっているのかである。

組織というものは形があるわけでもなければ色が付いているわけでもない、目に見えない存在である。それなのに私たちは、会社がどうだとか学校がどうしたとか当然のように会話を交わしているし、法律上も「法人」として人間並みの位置づけがされている部分もある。天然資源から自動車やコンピュータをつくったり、巨大ビルや橋を建築したりすることは個人では何百年かかってもできないが、組織はやってのける。企業組織の活動によって生活が豊かで便利になることは否定しようがない。しかし一方企業組織は、自然環境を破壊して私たちの生活を脅かすという側面も併せ持っている。

また、人間は組織の中で高く評価されると嬉しく思うし、「会社人間」といわれるように組織と一体化する人もいる。一方で組織の側も構成員に対していろいろ便益を与えてくれるが、景気が悪くなると手のひらを返したようにみんな嫌がらせをすることもある。ショックで病気になったり自殺したりする人もいるほどである。こんなにも社会にも個人の心にも大きなプレッシャーを示す経営組織について、じっくり考えてみようではないか。

授業の展開としては、抽象的な理論や学説の紹介は程々に留め、現代の組織が直面している問題をなるべく取り上げて議論していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

大まかに、前半はマクロ組織論、後半は意思決定論を中心としたマイクロ組織論を講義する。取り上げる予定の主な項目は以下の通りである。ただし授業の回数と項目番号は一致しない。

1. コーポレート・ガバナンス（企業は誰のものか）
2. 企業組織の階層（企業組織を横に切ってみる）
3. 企業組織の部門化（企業組織を縦に切ってみる）
4. 新規事業開発と組織内組織（企業組織の卵）
5. ラインとスタッフ（組織の中の2種類の仕事）
6. 組織のリストラクチャリング（企業の建て直し）
7. 人事・処遇制度（出世と給料）
8. 情報化と組織（コンピュータが入って組織はどう変わったか）
9. 合理的意思決定（統計的意思決定、ゲームの理論など）
10. 利己的な意思決定（レントシーキング、公共財の生産など）
11. 人間の意思決定バイアス
12. 集団による意思決定（集団思考など）
13. 個人決定と集団決定の関係
14. 組織文化と意思決定
15. リーダーシップ
16. モチベーション

履修上の留意点

私は受講者のために「楽しく、分かりやすく、ためになる」講義をするように、いろいろと工夫をしているつもりである（それが100%成功しているとは言わないが）。それだけに、講義の妨げになる行為（私語や携帯電話など）に対しては厳罰をもって臨む。それが一度であっても成績が「不可」になることもあるので覚悟しておくこと。私語をするくらいなら講義に出席しない方が、単位取得に関してははるかに安全である（もちろん毎回まじめに参加することが最も好ましい）。また講義時間内にレポート作成を課するときは、理由の如何を問わず遅刻者の入室は認めないので注意すること。

成績評価の方法

定期試験の点数が主体となる。それにレポート点が加算される。

参 考 書 等

随時指示するが、講義に関係した拙著としては以下の2冊がある。

『意思決定のストラテジー』（中央経済社）

『賢いあなたがお金で損をしない37の切り札』（講談社）

そ の 他

通常の講義のほかに、適宜ビデオ教材を使ったりゲーム形式でおこなったりする（臨時の教場変更に注意）。講義時間内にレポートの作成と提出を求めることもある。また講義中に受講生の発言を求めることがあるが、高いレベルは求めていないので、素朴な意見を積極的に開陳して欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経営論	もがきひろし 茂垣広志	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

履修上の留意点

教科書を用いて講義を進めるため、授業に教科書を携帯のこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

プロジェクターを用いて講義形式で授業を進行する。また、必要に応じて資料を配布する。

専門教育

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経営史	おおしまひさゆき 大島久幸	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、日本の経済発展との関連で、財閥を取り上げる。三井、三菱、住友などの財閥が、近代日本において、経済発展を担う中心的存在であったという事実に着目して、それら財閥が、どのようなプロセスで誕生し、日本の経済発展とともにどのように成長していったのかという点を考察し、そこから日本経済の発展の特徴や日本企業の歴史的な起源を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義では以下の内容を取り上げる。1. 政商の誕生 2. 政商の資金源 3. 政商からの脱皮 4. 家政改革と家憲 5. コンツェルンと持株会社 6. 専門経営者の登場 7. 商社ブームと破綻 8. 鈴木商店の挫折 9. 三大財閥の覇権 10. 恐慌とドル買い 11. 財閥の転向 12. 戦時体制と財閥 13. 財閥解体 14. 企業集団と財閥

成績評価の方法

前期レポートと定期試験で総合的に評価する。

教科書

武田晴人『財閥の時代』（新曜社）1996年

参考書等

講義の中で適宜指定する。また必要に応じて教材を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マーケティング論	かねむら えいてつ 兼 村 栄 哲	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

社会的な分業体制が成立している今日の経済においては、生産と消費の間にさまざまな隔たりが発生しており、そのために、円滑な交換が阻害されていることが少なくない。こうした隔たりは、一般に、「経済的懸隔」ないし「経済的隔離」と呼称されている。

マーケティング論は、この経済的懸隔を架橋し、円滑な交換を実現するメカニズムを研究する学問であり、マクロ・マーケティング論とミクロ・マーケティング論の2つに大別される。前者は、社会経済的な視点から、経済的懸隔を架橋するメカニズムを把握しようとするものであり、「流通論」とほぼ同義である。後者は、個別企業のマネジメントの視点から、所定企業の商品についての経済的懸隔を架橋するメカニズムのあり方を検討するものであり、当該企業の商品を消費者に効率的かつ効果的に到達させるにはどうすればよいかを考察する。なお、「マーケティング論」といえば、通常、このミクロ・マーケティング論を指している。

マクロ・マーケティング論とミクロ・マーケティング論は密接に関連しており、一方をより深く理解するためには、他方を理解しておくことが必要不可欠である。そこで、本講義では、主として、前半にマクロ・マーケティング論を、後半にミクロ・マーケティング論を扱っていく。

講義の内容・
授業スケジュール

[オリエンテーション]

- 1) オリエンテーション
- 2) マーケティングの2義性
 - ・経済的懸隔の意義と内容
 - ・マーケティングの2義性

[マクロ・マーケティング論]

- 1) 流通機能
 - ・流通機能の意義と領域
 - ・流通フロー
- 2) 流通機構
 - ・流通機関の意義と内容
 - ・卸売業者の意義と分類
 - ・小売業者の意義と分類
 - ・流通の客体
 - ・流通機構を取り巻く環境
 - ・流通経路
- 3) (ミクロ・) マーケティングの台頭
 - ・商業者の存立根拠
 - ・流通における商業者の地位の後退
 - ・伝統的流通経路と垂直的マーケティング・システム

[ミクロ・マーケティング論]

- 1) 企業におけるマーケティングの役割
 - ・経営戦略
 - ・マーケティングの役割
 - ・マーケティング・コンセプト
 - ・マーケティング概念の拡張傾向
- 2) マーケティング管理
 - ・マーケティング管理過程
 - ・環境分析
 - ・市場細分化
 - ・マーケティング・ミックス
- 3) 市場概念
 - ・市場の2義性
 - ・消費財市場と産業財市場の比較
 - ・市場構造
- 4) 製品戦略の領域
 - ・製品の意義
 - ・製品ミックス
 - ・新製品の意義
 - ・新製品開発プロセス
 - ・製品ライフ・サイクル
 - ・製品廃棄と計画的陳腐化
 - ・ブランドの意義と役割
 - ・ブランドの分類
- 5) 価格戦略の領域
 - ・価格の設定方法
 - ・新製品導入時の価格設定方法
 - ・価格の管理方法
- 6) チャネル戦略の領域
 - ・チャネル・タイプ
 - ・チャネルの構築方法
 - ・チャネルの管理方法
- 7) プロモーション戦略の領域
 - ・広告の分類
 - ・広告戦略の内容
 - ・人的販売
 - ・セールス・プロモーション戦略
 - ・パブリシティ
- 8) マーケティング・リサーチ

履修上の留意点

- 1) 出席すること。
- 2) 携帯電話や私語など、講義の妨げになるような行為は絶対にしないこと。
- 3) 講義中にプリントを配布することがあるが、このプリントは当該講義時間内にしか配布しないので注意すること。

成績評価の方法

テスト 80点、レポート 10点、出席状況など 10点

教 科 書

兼村栄哲編著『マーケティングの基礎知識』（白桃書房）2002年4月発行予定。

参考書等

兼村栄哲他4名著『現代流通論』（八千代出版）1999年
宮澤永光監修『基本流通用語辞典』（白桃書房）1999年
宮澤永光・亀井昭宏監修『マーケティング辞典』（同文館）1998年
その他の参考書などについては、適宜紹介する。

その他

マーケティング論も、他の学問からまったく独立しているわけではない。実際に、さまざまな学問における概念や手法を援用ないし応用している。そこで、事前に履修しておいたり、並行して履修するのが望ましい科目を示しておく。

〔マーケティング論全般〕

商業経営論

〔マクロ・マーケティング論〕

企業形態論-とくに、「2）流通機構 小売業者の意義と分類」において。

〔ミクロ・マーケティング論〕

経営戦略論-とくに、「1）企業におけるマーケティングの役割 経営戦略」において。

経済学概説・近代経済学-とくに、「3）市場概念 市場の2義性」、「同市場構造」、

「5）価格戦略の領域 価格の設定方法」において。

統計学・統計原論・経営統計-とくに、「8）マーケティング・リサーチ」において。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営戦略論	なかむら こういち 中村 公一	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

経営戦略論は、現実の企業経営と密接に関連している実践的要素の強い科目である。学生が企業に就職した時に、その企業が属する業界がどのように動いており、それに対応して企業が採っている戦略を理解することは、自分達の仕事の意義を考える上で有効なことである。さらに、就職活動の時にも、希望する企業の動向を把握することは重要な選択要因の一つとなるだろう。本講義では、さまざまな企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を理解し、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を提供することを目標に進めていく。

そこで、新聞やビジネス誌などをリソースとして、実際の企業の経営戦略をケースとして取り上げる。そして、なぜこの企業はこの戦略を採るのか、その戦略によってどのような効果が期待されるのか、ということに関して、古典から最先端の理論を使って解釈することを焦点に講義を進める。また、「こんな事例まで戦略的に分析できるのか!」という驚きも講義を通して提供していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマは企業の成長戦略と競争戦略の分析にある。これは経営戦略論の中心的概念でもあり、企業が存続し発展していくには成長が必要であり、そのためには他企業との競争が避けられないからである。講義内容は一回の講義で一つのトピックの理解に努める。

1、経営戦略の基本課題；(1) 経営戦略とは何か、(2) 戦略の概念、(3) 経営戦略論の展開(学説的系譜)、(4) 外部環境分析・内部資源分析、(5) 戦略の策定と実行、(6) 現代企業の経営戦略、(7) 組織変革との関係

2、企業の成長戦略；(1) 企業の成長とは何か、(2) 事業領域の決定、(3) 多角化戦略、(4) 内部成長戦略(研究開発・製品開発戦略、社内ベンチャー)、(5) 外部成長戦略(M&A・アライアンス)、(6) グローバル戦略、(7) 地域企業の戦略(企業集積)

3、企業の競争戦略；(1) 企業の競争とは何か、(2) 競争上の優位性、(3) 価値連鎖(バリューチェーン)、(4) コア・コンピタンス、(5) コーポレート・ブランド、(6) ビジネスモデル、(7) イノベーション、(8) 標準化競争(デファクトスタンダード)

4、その他；(1) ステークホルダー戦略(各種利害関係者との関係・企業の社会的責任)、(2) 起業家精神、(3) eビジネスなど

以上は、講義で行う主要テーマであり、この順番通りに行うわけではない。また、1回の講義の中で複数のテーマを扱う場合もある。

これらの用語を見ただけでは詳しい内容は分からないと思うが、実例を出しながら講義は行われるので理解しやすいだろう。

履修上の留意点

経営戦略論は実際の企業活動と密接に関連しているために、日頃から新聞や雑誌などで関連する記事にはできる限り目を通すことが望まれる。そして、日常生活でも戦略論で学習したさまざまな視点から物事を見ていけるように心がけよう。

注意点としては、講義に対する妨害行為(私語、携帯電話など)には厳しく対処する。一人(数人)の愚かな行為により、他のまじめな学生に迷惑をかけ、講義自体の雰囲気が悪くなるために、教場を友人との話す場として考えている者は出席しないこと。なお、妨害行為をした者には、退場や不可の宣告もありうるので注意すること。

成績評価の方法

年度末の定期試験のみによって判定する(出席点はなし)。試験は持ち込み不可の予定である。授業中に小レポート・アンケートを提出してもらった場合は加点とする。

教科書

特に指定しない。

授業中にレジュメを配布してそれに基づいて講義を進めていく。1回の講義でレジュメ1枚分の内容を学習する。

基本図書や参考文献等などは授業中にその都度指摘する。

参考書等

経営戦略論の全般的な内容を理解するには、大滝精一他『経営戦略』(有斐閣)1,900円が役に立つだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商業史	やま だ 山 田 勝	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- | | |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点 | (6) 継続性 |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流通量 |
| (3) 利 潤 | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商 品 | (9) 価格革命 |
| (5) 市 場 | (10) 情報社会と商業 |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。
教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教 科 書

山田勝著『現代商業の歴史と展開』（創成社）2,850円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保険経営論	いしなざか くにあき 石名坂 邦 昭	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済学的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた「危機管理論」（リスク・マネジメント）研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況及び授業時の態度と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』（白桃書房）3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』（白桃書房）
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』（白桃書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
銀行経営論	はつとり よしひさ 服 部 昌 久	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

金融制度は一国の歴史的発展の産物であり、その国の繁栄を築くための社会的インフラである。社会が今日のように大きな変革期にあるときには、長期的な展望に立って変化を先取りして新たな制度を構築しなければならない。経営環境が大きく変化した中で、銀行は新たな道を求めて模索しているが、本講義においては、戦後のわが国の金融システムの変遷を振り返るとともに、欧米主要銀行の動きにも注目しながら、利用者のニーズに応える銀行のあるべき姿を探りつつ、時事問題も含め、銀行経営にかかわる諸問題を、わかりやすく解説する。

講義の内容・授業スケジュール

講義はおおよそ次のような内容を予定している。

- ① わが国の金融制度の沿革と特徴
- ② 銀行の機能
- ③ 銀行の業務
- ④ 銀行経営と不良債権問題
- ⑤ 銀行経営とリスク管理
- ⑥ 信用秩序の維持と諸規制
- ⑦ これからの銀行経営のあり方

履修上の留意点

講義は基本的な事柄を取り上げ、わかりやすく解説するよう心がけるが、それでも不明な点があれば、質問を歓迎する。

成績評価の方法

学年末の定期試験（50%）、読書感想文（20%）、授業への出席（30%）を総合して評価する。読書感想文の課題図書は開講時に指示する。

教科書

服部昌久『日本型金融システムの転換』（財）外国為替貿易研究会 2001年 2,700円

参考書等

- ・ロバート・ライタン、ジョナサン・ロウチ 小西龍治訳『21世紀の金融業』（東洋経済新報社）1998年 2,000円
- ・高瀬恭介『新版 金融変革と銀行経営』（日本評論社）1999年 3,800円
- ・高木仁、高月昭年『入門 日本の金融機関』（東海経済新報社）2000年 2,900円
- ・鹿野嘉昭『日本の金融制度』（東洋経済新報社）2001年 3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
公益企業論	そのだ てつお 園 田 哲 男	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規制に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規制と区別された意味における公益企業規制である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が、本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規制が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期に、公益企業概念の発達と、その問題点、および公益企業概念の再検討を行なう。後期は、公益企業における持株会社の形成（前期と後期）および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意思決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意思のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価は、單元ごとに小テストやレポートをし、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しい評価を行なうつもりである。

教科書

授業中に指示する。また参考文献などを挙げ、できるだけ広範な考察を行なうつもりである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生産管理論	ふじわら あつし 藤 原 篤 志	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では財務管理、販売管理、労務管理とならぶ現代企業における経営管理の部門管理の1つである生産管理について、また生産システムや生産領域での諸問題について講義を行う。生産管理は文字通り、企業の経営活動における生産の管理であり、財の生産に投入する生産諸要素（資材、設備、労働力）を総合的に調整することにより、企業の生産効率を最大にすることを目的とし展開されている。しかも資本主義社会において企業は利潤の獲得を目的としてその活動を行うので、一般的な管理における利益計画に基づいて生産の管理が展開される。本講義では、このような視点で体系的に生産管理について解説したい。さらに企業内の狭義の生産管理の問題にとどまらず、サプライヤーとの関係をも含んだ生産システムや、広範に生産領域上の諸問題についても解説することを予定している。最後に、企業における生産活動は言うまでもなく労働者による労働と密接に関連している。企業において展開される生産管理や生産システムが労働に及ぼす影響もまた本講義での考察の対象となっている。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、生産管理について全般的体系的に解説する。まず最初に生産に関する基本的用語を確認した後、企業経営における生産管理の位置付けについて、次に企業の全般的な管理と生産管理との関連、すなわち利益計画と生産管理との関連について解説する。その後、生産管理の構成とその内容、具体的には生産計画、設備管理、資材管理、作業研究、工程管理、品質管理、原価管理について具体的な資料を用いながら解説する。

後期では、生産システムの歴史的な展開として、テイラー・システム（科学的管理法）、フォード・システム、トヨタ生産システムについて解説したい。その他、オートメーション、TQC、日本の生産システムとその海外移転等について述べる予定である。

履修上の留意点

講義ではできるだけわかりやすくゆっくりと解説し、かつ極力板書するが、前期の内容は少々複雑なものも含むので、講義に対する受講者の熱心な姿勢が不可欠である。そのため講義中の私語は厳禁である。私語や携帯電話の呼出音等、講義を妨げる者は即座に退室扱いになるので注意すること。

成績評価の方法

主として定期試験で行う。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

山下高之『体系 生産管理論』（中央経済社）1990年
その他の参考書は講義の中で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ経営学	た か は し し げ お 高 橋 成 夫	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

ドイツ経営学の性格や内容を、この学問の歴史の中で明らかにするとともに、現代のドイツの企業経営制度の特徴を解明することにある。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. ドイツ経営学の生成
- II. ドイツ経営学の展開
 - (1) 科学的私経済学と技術論的私経済学
 - (2) 私経済学的企業経済学と規範的・技術的経営経済学
 - (3) 理論科学的経営経済学と応用科学的経営経済学
- III. ドイツ経営学の動向
 - (1) 意思決定志向的経営経済学
 - (2) システム志向的経営経済学
 - (3) 労働志向的経営経済学
- IV. ドイツの企業経営制度

履修上の留意点

積極的に出席することが望ましい。

成績評価の方法

定期試験や出席状況等を総合して評価する。

教 科 書

特定の教科書は使用しない。

参 考 書 等

北野利信編『経営学説入門』（有斐閣新書）
北村健之助『経営経済学』（学文社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原価計算論	こ ん ど う さ だ お 近 藤 禎 夫	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

《科目の位置づけ》

原価計算論は、たんに製造原価の算定方法を取扱うというのではなく、日常の国民生活と直接に結びついた重要な役割を果たすものであるから、その対象領域はきわめて広いといえる。たとえば価格形成問題、原価管理、予算統制、利益計画および公表会計などに関連する。このような会計と経営の両分野を包摂した科学である。

《科目の概要》

原価計算は会計領域の全般にかかわり機能している。とりわけ経営管理活動と有機的に関連づけられ測定・情報伝達・利用がなされている。企業の経営管理活動とは通常大きく二つに分けて認識される。一つは社会的存在としての企業が、それをとりまく利害関係者（株主、債権者、投資家、徴税当局、労働組合、および広くは国民大衆）に対し社会的責任を遂行する分野である。いま一つは、企業活動について意思決定と業績評価を行ない、企業を活性化させ利益の獲得機会を拡大させるための活動分野である。

原価計算の役割は、前者においては公表財務諸表作成のための原価情報の提供にある。また後者についてはきわめて幅が広く、経営管理の全領域にわたって原価情報が提供される。いずれにせよ、企業経営の要となる会計情報が提供される。

本講義では、“授業の内容”等でもふれるように、「企業会計原則」を補完する「原価計算基準」の示す範囲に力点をおいて取組むことになる。したがって、まず原価計算の基本概念および基本的計算構造をしっかりと身につけるよう講義することになる。講義のはじめに際しては、商業簿記から工業会計への橋渡しを平易に展開したい。

前期においては、原価計算が制度会計の枠組みのなかで重要な役割を担っている売上原価の算定、たな卸資産（原材料、製品、仕掛品、貯蔵品など）の評価といった技術的側面を取扱う。具体的には、製造原価計算の算定プロセスを理解しやすいように説明していきたい。順序としては原価の費目別計算、部門別計算、製品別計算の算定手続きを展開することになる。この場合、当初は実際原価計算制度を前提として述べるが、後期には管理手段としての原価計算にもふれるので標準原価計算にも及ぶ。なお、さらに一歩立ち入って、原価計算の管理会計分野での適用問題にもふれる。

原価計算論は製造工業を中心とした計算体系ではあるが、サービス業（電力、ガス、鉄道などの公益事業の運賃・料金問題）など適用範囲は多様にわたる。現実の事例などを紹介しながら講義をすすめていく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

原価計算論を学習するにあたっては、制度会計の側面と管理会計の側面との両者に関連を有するので、会計法規集を常に携帯していただきたい。

とりわけ講義は「原価計算基準」（旧大蔵省・企業会計審議会中間報告、昭和37年）を中心に行なう予定である（テキストを補うプリント類は随時配布する）。さきの《講義のねらい》で述べた方針とともに、モットーは、「高度な内容をやさしく」である。

2002年度においては、下掲のテキストにより以下に示す内容を講義する。

1. 原価計算の現代的役割とその考え方
2. 原価計算の概要
3. 原価の費目別計算
4. 原価の部門別計算
5. 個別原価計算の方法
6. 総合原価計算の方法
7. 標準原価計算
8. 経営計画と原価計算
9. 原価計算の歴史

基本的には平常の出席状況と学年末試験で評価する。

成績評価の方法

教科書

遠藤・近藤他著『会計学』改訂版（森山書店）2000年 3,500円
<注意>必修の会計学と共用

参考書等

敷田礼二・近藤禎夫著『原価公開』（新日本出版社）1976年（絶版、図書館での閲覧を乞う）
中央経済社編『会計法規集』最新版（2000年7月頃新版発売）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上級簿記	いとう まとし 伊 東 敏	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、一年次に簿記学を履修した人およびそれと同等の人（日商簿記検定3級程度の知識を有している者）を前提に、より高度な簿記・会計の知識と応用的な技術の習得に主眼を置きます。経理マンとしての基礎知識ないし日商簿記検定2級程度レベルの習得が目標となります。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の内容を基本に、ケーススタディを中心の講義内容とする予定です。レジメを配布致します。

複式簿記の組立てとB/S、P/Lの構造
 B/Sの見方および分析手法
 P/Lの見方および分析手法
 現金預金
 有価証券
 売掛金
 棚卸資産
 固定資産と減価償却
 買掛金・未払金、その他の負債
 引当金
 資本の部
 キャッシュフロー計算書
 連結財務諸表
 税効果会計 他

履修上の留意点

一回でも欠席しますと理解が不十分となりますので、100%の出席を心掛けてください。予習、復習が大事であることは言うまでもありません。

成績評価の方法

授業への参加意欲と態度（2-3割）、出席日数（2-3割）、期末試験（4-5割）で総合評価します。

教 科 書

レジメを基本としますが、参考書は別途指示致します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
財務会計論	わたなべ えいちろう 渡 邊 恵 一 郎	経営A2・3・4選	4

講義のねらい	財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者が、投資者、債権者その他企業に利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供することにある。この主たる提供手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。 講義では、財務諸表を作成するための会計処理と表示方法を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。
講義の内容・授業スケジュール	講義の内容はおおむね下記の教科書により、この授業スケジュールは次のとおりである。 ① 4～5月 財務会計の概念（財務会計の定義、課題、制度など）、財務会計の計算構造及び会計公準と会計原則（財務会計の前提、質的特徴及び一般原則など） ② 6～7月、9～10月 財務会計の測定論（収益、費用、資産、負債及び資本の各構成要素に関する会計処理の具体的展開など） ③ 11～1月 財務会計の伝達論（個別・中間・連結の各財務諸表の作成と表示、外貨換算、財務分析、国際会計基準の動向など）
履修上の留意点	毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。
成績評価の方法	成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。
教科書	染谷恭次郎著『現代財務会計』（中央経済社）
参考書等	日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）
その他	(1)授業の方法は、講義による。(2)簿記学・会計学の単位を修得していること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
管理会計論	さるやま よしひろ 猿 山 義 広	経営A2・3・4選	4

講義のねらい	この講義では、すでに「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本思想を学びます。
講義の内容・授業スケジュール	1. 管理会計の意義と体系 2. 短期利益計画のためのC-V-P分析と経済性計算 3. 意思決定のための原価概念と利益概念 4. 原価管理会計 5. 予算統制 6. 投資意思決定
履修上の留意点	「管理会計論」は計算科目なので電卓を持参すること。
成績評価の方法	期末試験、夏季休業中のレポート、および平常点を考慮して、総合的に評価する。ただし、中心になるのは期末試験の結果である。
教科書	中原章吉編著『管理会計論』（税務経理協会） なお、適宜、プリントを配布する。
参考書等	櫻井通晴著『管理会計〔第二版〕』（同文館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営分析論	かたぎりのぶお 片桐伸夫	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
- 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
- 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
- 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
- 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、

といった内容です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析をとりあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配付するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税務会計論	た か き か つ み 高 木 克 己	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ハイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

その他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会計監査論	あ べ か ず ひ と 阿 部 一 人	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

“簿記を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”

もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 会計監査の意義と目的（総論）（1） | 10. 監査人 |
| ①監査の必要 ②監査の意義 | 11. 監査証拠 |
| ③監査の対象 | 12. 監査計画 |
| 2. 会計監査の意義と目的（2） | 13. 内部統制 |
| ①監査の目的 ②監査思想の変遷 | 14. 試査 |
| ③監査の効用 | 15. 監査技術と監査手続 |
| 3. 監査の機能 | 16. 監査調書 |
| 4. 会計上の誤謬と不正 | 17. 監査報告書 |
| 5. 監査の種類 | 18. 連結財務諸表の監査 |
| 6. 会計監査と財務諸表監査 | 19. 中間財務諸表の監査 |
| 7. 我国の監査制度 | 20. システム監査 |
| ①証券取引法監査 ②商法監査 | 21. 国際監査基準 |
| ③その他の監査制度 | 22. 現代監査論の動向 |
| 8. 監査基準（1） | ①監査概念の拡大化 |
| ①必要性 ②生成と展開 | ②監査保証に程度の差を認める監査概念 |
| 9. 監査基準（2） | |
| ①意義 ②体系 ③一般基準 | |
| ④実施基準 ⑤報告基準 | |

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏季）および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

大矢知司『監査論概説』（白桃書房）3,300円

参考書等

- 田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円
 高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円
 鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円
 三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円
 山根忠恕・楡田信男『監査基準精鋭精説』（税務経理協会）3,500円
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本経済史	きたじま まんじ 北 島 万 次	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

- 第Ⅰ部 日本における無階級社会（原始社会）から階級社会（奴隷制社会・封建制社会・資本制社会）にいたるまでの経済史発展の移り変わりについて、そのあらましを述べる。
- 第Ⅱ部 幕藩体制社会の経済のしくみとその発展
1. 幕藩体制社会の経済構造とその特質について述べる。
 2. その前提として、幕藩体制社会（封建社会の経済）のもとで、近代へ向けての経済発展がどのように展開したかについて述べる。その事例として、つぎのことについてふれる。
 - ① 江戸時代後期、畿内における棉作の展開とその実態
 - ② 開港直前における信州諏訪製糸業の展開
 - ③ 江戸時代後期、上州における地主制とその経営
- 第Ⅲ部 幕末維新期の経済変動
1. 明治維新と外圧についてのあらまし
 2. 幕末貿易の展開とその実態
 3. 日本における資本の形成
 - ① 秩禄処分過程
 - ② 銀行資本の創出
 4. 資本の投資
 5. 地租改正の実態とからくり

成績評価の方法

出席点とテスト。(注) 出席の著しく悪い受講者には単位を認定しない場合がある。

教 科 書

教材はその都度配布する。

専門教育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済政策	にしやま つかさ 西 山 司	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

従来、経済学の学問体系は、理論、政策、歴史、財政・金融、経営・会計の諸分野から構成されており、特に第二次世界大戦後の現代資本主義経済においては、経済政策を応用経済学の一環として重視する傾向が深まってきているといわれています。

このような動向に対応して、本年度の経済政策の講義は、経済政策の方法論や政策理論の究明および経済政策の史的展開過程の解明を中心に、各国で実施されている現代の経済政策についても論述する予定です。

特に経済政策の実践性と関連した「価値判断」論争をめぐる諸問題点や、従来の経済政策論の主要な学説を検討するとともに、経済学体系における経済政策論の理論的位置を論究し、その果すべき課題を究明して、経済政策論の体系的な解明をおこなうように努めます。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールとしては、大きく前期と後期とに大別して、前期には主として、経済政策の方法論や政策理論について論究し、後期には、資本主義発展と関連した経済政策の史的展開過程と、その特質について論述する予定です。

履修上の留意点

講義の重要箇所や問題点など主要な内容については、出来るかぎり板書して詳説する予定です。受講される諸君は出席してノートされるように希望します。

成績評価の方法

学年末試験が中心になるのは当然ですが、出席も重視します。

教 科 書

開講時に指示します。

参 考 書 等

清水・松原編『経済政策論を学ぶ』〔新版〕(有斐閣)
なお講義に関連する文献は、その都度紹介するようにします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財政学	はやみ のぼる 速水昇	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵を受けている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国債の累積残高、高齢化・少子化社会、規制緩和など政府が解決しなければならない問題が非常に多くある。

その反面、わが国の政府は、平成12年度末で国債の発行残高が約364兆円、地方公共団体の赤字が約187兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金などを加えると、財政赤字は実に約647兆円になる。この数字は12年度わが国のGDP見込みの129.6%に相当する。EU（ヨーロッパ連合）の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これからの高齢化・少子化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。

成績評価の方法

試験、授業中の小テスト

教科書

速水昇著 要説『財政学』（学文社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
金融論	てらお よしまさ 寺尾好正	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

○現実の経済問題の理解と、わが国が直面している課題に対する経済政策の対応のあり方を考える力を養うことを目的とする。そのためには、経済の金融的側面の理解が不可欠であるが、一般に必ずしも理解が進んでいない。こうした実情を踏まえ、フィナンシャルな事象やmonetary theoryを中心とする。また、金融・経済の現実を踏まえた、実践的な議論・理論に重点を置く。
○フィナンシャルな事象を検討する場合、特に市場メカニズムの理解・評価が重要である。従って、講義では市場メカニズムの視点が様々なテーマに共通する「縦糸」となる。
○上記の問題意識の下で、カレントな 이슈や、金融市場の実際の動向等を随時紹介することにより、臨場感あふれる講義を指向する予定。
ー上記検討において、実践的な意味を持つと考えられる範囲で、経済理論のフレーム・ワークを活用する（経済の現実と距離感が比較的小さいとの視点から、ケインズ理論が中心となろう）。

講義の内容・授業スケジュール

○わが国経済が直面している経済問題を扱う観点から、不良債権問題を始めとする金融システムの問題と、マクロ金融政策の両者をカバーする予定。

成績評価の方法

○提出レポートの内容と講義議論への参加度を総合して評価する予定。

教科書

・堀内昭義著『金融システムの未来』（岩波新書）
・翁 邦雄著『金利の知識』（日経文庫）

参考書等

・KEYNES, J. M. 『The General Theory of Employment, Interest and Money』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本経済論	は と り 羽 鳥 茂	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

多様な経済システム（日本の経済システムもその1つ）がどのようにして生まれ、また、それらはどのように進化していくのでしょうか。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。

履修上の留意点

受講生としての一般常識を持っていることはいうまでもないですが、下記の参考文献を必要に応じて参照し、授業内容の理解を確かなものにするよう努力してください。

成績評価の方法

後期授業終了後、筆記試験で評価します。

教 科 書

青木昌彦、奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）1996年 3,200円

参 考 書 等

読みやすいと思われる順になっています。

- [A] 鶴光太郎『日本の市場経済システム』（講談社現代新書）1994年
 - [B] ジョン・マクミラン、伊藤、林田訳『経営戦略のゲーム理論』（有斐閣）1995年
 - [C] 中山幹夫『はじめてのゲーム理論』（有斐閣）1997年
- 数学はつぎの2冊が適当だと思います。
- [D] 高橋渉『現代解析学入門』（近代科学社）1990年
 - [E] 永谷裕昭『経済数学』（有斐閣）1998年

そ の 他

数学が必要なときにはできるだけ解説しますが、諸君達の努力は不可欠です。意欲ある皆さんの出席を期待しています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
証券市場論	さ と う のぼる 佐 藤 昇	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

資金の調達・運用手段として、有価証券の役割が近年ますます重要性を高め、間接金融を中心とする企業金融は大きく変貌しようとしている。講義では証券市場の機能、市場構成など基礎的な分野の現状解説に止めず、市場の歴史・現状・将来展望を検討し、市場変化の方向性や必然性を見極める事に留意する。

講義の内容・
授業スケジュール

最初に証券市場で取り扱う対象である有価証券を定義するが、とくに近年における有価証券範囲の拡大傾向について注目したい。

つぎに、伝統的な有価証券である債券や株式の種類と機能、およびこれらの発行・流通市場の歴史と現状さらには将来像などについて講義する。また、債券と株式への投資を決定する際の尺度についても、計算方式と利用上の留意点を解説する。

1980年代後半にわが国の株式市場で発生した「バブル」とその崩壊は、現時点においても株式市場はもちろんわが国経済全般にわたって大きな傷痕を残しているが、バブルの歴史や発生・崩壊および後遺症伝播のメカニズムを検討する。

わが国は2001年までと期間を設定して、金融・証券市場全般の大改革「日本版ビッグバン」を実施した。この結果多方面にわたる市場改革が相次いで実現したが、金融機関の不良債権処理に関しては依然として課題を残している。

一方、近年における金融・証券市場のグローバル化にともなって、地球規模でマネーの動きが極めて早くなっており、市場の変化は従来になく激しくなっている。

このように、内外共に激変が予想されるため、ことに証券市場に関連して重要な事態が発生した際には、その都度背景、影響などを解説する。

履修上の留意点

証券・金融市場関連のニュースに関心をもって欲しい。その上で疑問点や不明な用語があれば積極的に質問をしてもらいたい。

成績評価の方法

原則として学年末の定期試験によって評価する。

教 科 書

佐藤 昇ほか著『入門現代の証券市場』（東洋経済新報社）3,100円

参 考 書 等

佐藤 昇ほか著『現代経済と証券市場』（有斐閣）2,266円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
計量経済学	こ 呉 い っ っ り よ う 逸 良	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済データを用いた例題を実際に解くことを通じて、計量経済学を学ぶ。パソコンを利用して演習を行うことにより、抽象的になりがちな計量経済学を分かりやすく理解し、実際のデータ分析の能力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

前 期

Excelを利用して例題を解きながら、以下の内容を講義する。

1. 統計学の基礎知識 (I)
2. 統計学の基礎知識 (II)
3. 単回帰モデル
4. 重回帰モデル
5. 回帰モデルの仮説検定

後 期

TSPを利用して前期の例題を再計算することを通じて、TSPの扱いをマスターする。その上で、以下の内容を講義し、TSPを用いて演習を行う。

6. TSPの基礎
7. ダミー変数
8. 系列相関
9. 連立方程式

履修上の留意点

経済理論をある程度勉強していることと、統計原理と経営数学を履修すること。

成績評価の方法

日頃の宿題、レポートと学期末試験の結果により総合的に判断する。試験での持ち込みは自由。

教 科 書

白砂堤津耶『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学』（日本評論社）1999、2,800円（税別）

参 考 書 等

山本拓『計量経済学』（新世社）
 袁谷千風彦『計量経済学』、東洋経済新報社
 G. S. マダラ著・和合肇訳『計量経済分析の方法』（シーエービー出版）
 唯是康彦『Excelで学ぶ計量経済学入門』（東洋経済新報社）
 縄田和満『Excelによる回帰分析入門』（朝倉書店）
 袁谷千風彦等『パソコンによる数量分析・ExcelとTSP入門』（多賀出版）
 縄田和満『TSPによる計量経済分析入門』（朝倉書店）
 和合肇、伴金美『TSPによる経済データの分析』（東京大学出版会）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
統計原論	やまのうち しんじ 山 内 慎 二	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

大雑把に言えば、統計学は「確率と分布」の性質を用いたデータ処理を通して、「母集団」及び「標本」という2つの親子関係の言葉を繋げて、知識や技術を議論する学問である。

本講義では、最初に簡潔に確率論の基礎を紹介し、次にデータ処理によって母集団と標本の間を捉え、最後に統計的推測として推定と検定等を丁寧に説明する。本講義では、実用性を重視し、統計的方法や概念を豊富な例題や数値例によって説明し、数式の使用も必要最小限に止めていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容は以下の通りです。

序説	生活のなかの統計学、量的データと質的データ	1回
基礎的概念	階乗と総和、順列と組合せ	2回
記述統計	度数分布表、平均と分散、相関係数	3回
確率論の基礎	集合、標本空間、確率、2項分布、正規分布	6回
前期復習と中間試験（7月中旬）		2回
標本分布	χ^2 分布、t分布、F分布	2回
統計的推定	点推定（不偏推定、モーメント法、最尤法）	4回
仮説検定	片側と両側検定、有意水準、棄却域、適合度検定	4回
回帰と相関	線形回帰モデル、相関係数の標本分布	2回
後期復習と定期試験（翌年1月中旬）		2回

履修上の留意点

年間数回程度の練習問題を適時に配布します。これを本講義内容の基礎的部分をもとに、独自に解ければ、中間試験と定期試験はまず大丈夫でしょう。

成績評価の方法

講義への出席状況及び中間試験と定期試験の結果により総合的に判断します。

教 科 書

佐和隆光著『初等統計解析 改訂版』（新曜社）1997 1,500円（税別）

参 考 書 等

数値表としての参考書：

森口繁一編『新編 日科技連数値表』（日科技連出版社）1996 510円（税別）

P. G. ホーエル著、浅井晃・村上正康共訳『初等統計学』（培風館）1996 1,700円

そ の 他

授業の方法－講義（OHPを使用する場合もあります。）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営情報論	た か い て つ お 高 井 徹 雄	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステムの観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのもの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化I、II、III類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミクス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

教科書は指定せず、授業の各テーマに沿って適宜プリントを配布する。

参考書等

本講義のテーマに関わりの深い参考書として、高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円を推奨しておく。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用Ⅱ（前期）	い し づ か 石 塚 陽	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

既存のワープロや表計算のソフトウェアの使い方を単純に学ぶのではなく、もう一歩進んだコンピュータの使い方を経験する。あらかじめ与えられている定型的な処理を実行させるだけではなく、複雑な、あるいは有用な自分独自の処理をコンピュータにコンピュータが理解できる言葉で指示して実行させるという、「プログラミング」につながるごく入門的な概念について学ぶ。具体的には表計算ソフトをコントロールするためのVBAと、WWWブラウザをコントロールするHTMLに関する実習を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

前半4～5回の講義でHTMLに関する実習およびWebページの作成の実習を行い、残りの講義で、表計算ソフトExcelのVBAに関する実習を行う予定であるが、内容および回数は履修者の理解の進捗状況にあわせて変更する可能性がある。

履修上の留意点

以下のソフトウェアに関して、若干の経験がすでにあることを前提とする。

Windows

Excel

WWW ブラウザ (Netscape Navigator または Internet Explorer)

成績評価の方法

毎回の演習課題と2～3回のレポート課題による。

教 科 書

なし (WWW上のテキストURLを講義時に知らせる)。

そ の 他

〔クラス定員〕 60名

〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理応用Ⅲ（後期）	いしづか よう 石 塚 陽	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

あらかじめ与えられている定型的な処理を実行させるだけでなく、複雑な、あるいは有用な自分独自の処理をコンピュータにコンピュータが理解できる言葉で指示して実行させるという、「プログラミング」の初歩を学ぶ。プログラミング言語としてはJava言語を予定しているが、言語の詳細な解説は行わない。プログラミングとはどういうものか、その一端を感じとってもらうことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容を予定しているが、理解の進捗状況に応じて変更する可能性がある。

- (1) プログラム作成から実行までの流れ
- (2) プログラム作成から実行までの流れ
- (3) クラスとメソッド
- (4) 変数と型
- (5) 演算子、整数の読み込み
- (6) 条件分岐、繰り返し
- (7) 配列
- (8) 初歩的なクラスの利用
- (9) 初歩的なクラスの利用
- (10) 初歩的なクラスの利用
- (11) GUIプログラミング
- (12) GUIプログラミング

履修上の留意点

特にプログラミングの経験の有無は問わないが、Windows上の代表的なソフトウェア（ワープロ、表計算、メール、WWWブラウザ、等）についての経験と知識があることを前提とする。

成績評価の方法

毎回の演習課題と2～3回のレポート課題による。

教科書

なし（WWW上のテキストURLを講義時に知らせる）。

その他

〔クラス定員〕 60名

〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目は「情報処理応用Ⅱ」4月初回授業時に担当教員の受講許可を得なければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報理論	にしむら かずお 西 村 和 夫	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量（情報量）を定義したシャノン（C. E. Shannon）流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として（シャノンという単位で）計算できるようになります。これによって、たとえば DNA の情報を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値（平均値）であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月 3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月 3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月 4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月 3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月 2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月 2回 符号化（JISコード、国際符号化文字集合）、対数・情報量の間置試験
- 10月 2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月 2回 遷移確率と同時確率
- 11月 1回 エントロピーの定義
- 12月 2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月 1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月 1回 検査桁（CD）、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています（上表 5月参照）。

成績評価の方法

10月の中間試験（30%）と定期試験（70%）との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕 → 経営情報論
この科目は、再試験を実施しません。
講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/Nis/lecture/info.html>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営統計	ちよう 長 こぎよう 国 強	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意志決定をサポートすることである。経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

- 経営統計について：経営統計の役割、基礎概念
- 統計特性値：平均、分散、正規分布
- 市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理
- 経営時系列：季節指数、時系列予測
- 経営指数：物価指数、数量指数
- 統計推測：標本分布、区間推定、仮説検定
- 統計的意志決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間6回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。
この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営科学	おざわとしひさ 小 沢 利 久	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

経営科学とは、経営活動において生じる様々な意志決定を科学的に支援する方法論を考える学問であり、モデルを用いて問題を解決しようとする点に特徴がある。本講義では、経営科学的な問題のとらえ方と問題解決のための代表的な手法について学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、最適化のための手法を扱う。生産計画問題は、使用可能な資源量という制約の下で利益を最大化する問題であるが、このような問題を扱う手法が線形計画法、ネットワーク計画法、動的計画法である。意思決定の理論では、情報を多面的に分析するための考え方を示す。競争下における問題を扱う理論がゲームの理論である。後半は、不規則に変動する現象を分析するための手法を扱う。待ち行列理論は、ランダムに発生するジョブを処理するコンピュータシステムなどを解析する方法である。また、オプションの価格付け理論では、不規則に変動する株価をモデルに取り込んで分析する。以下は今年度の講義予定である。

1. 線形計画法：定式化、シンプレックス法、感度分析、双対定理
2. ネットワーク計画法：最短経路問題、最小木問題、最大流問題
3. 動的計画法：最適性の原理、多段階決定問題
4. 意思決定の理論：不確実性、情報の価値、階層的意思決定法
5. ゲームの理論：ナッシュ均衡点、有限ゼロ和2人ゲーム
6. オプションの価格付け理論：1期間モデル、裁定定理、Black-Scholes式
7. 待ち行列理論：リトルの式、M/M/Sモデル

履修上の留意点

理解を深めるために適宜演習を行う。

成績評価の方法

演習課題と試験（前期末、後期末）により評価。

教 科 書

プリントを配付する。

参 考 書 等

田畑吉雄『経営科学入門』（牧野書店）
森雅夫他『オペレーションズリサーチ I, II』（朝倉書店）

そ の 他

経営数学、経営科学概論、統計原論を先または同時に履修しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
システム論	あおき たけのり 青 木 武 典	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

経営学、経営科学、システム科学、コンピュータ・サイエンスやこれらの関連領域で用いられるシステムに関連する主要な概念やモデルについて修得する。また、いくつかのモデルについて簡単な例題をとおしてシステムに対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

0. オリエンテーション（本講義の概要説明）
1. 情報とシステム
2. 意思決定とシステム
3. 企業とシステム
4. ネットワーク会社とシステム

（前期は1、2、後期は3、4を講義する。）

履修上の留意点

特定の領域について事前の知識は要求しないが、いくつかの数学的モデルについては、高校の数学I程度の学力が必要である。また、授業では直接コンピュータを使用することはないが、エクセルなどの表計算ソフトが使えることが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験の成績を60%、学期中に出席するレポート（4回程度）を40%程度の割合で総合的に評価する。（通常の授業時に出席はとらない。）

教 科 書

斎藤雄志ほか『インターネット時代の情報管理概論』（共立出版）

参 考 書 等

高原康彦・中野文平編『経営システム』（日刊工業新聞社）
高原康彦・高津信三編『経営情報システム』（日刊工業新聞社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労働法	ふじもと しげる 藤 本 茂	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、出向・転籍や年俸制の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本の雇用慣行に見直しがなされています。現在は、変動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この変動期において、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限や男女雇用平等、などなどです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進めます。労働組合を中心に扱う労使関係法領域も重要ですが、あまり多くの時間を割くことができません。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、基本的なことを学ぶことを中心にして、現代的課題に言及しようと思います。

詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
- (7) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外・休日労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。ただし、私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つことはNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありますが、学年末試験がメインです。追・再試験は実施します。

教科書

特に指定はしません。しかし、道しるべとして、1冊は用意してください。教科書として適当と思われる概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において配布するプリントで紹介します。受講者は必ず、1冊は用意してください。

参考書等

第1回目の授業で紹介します。

六法に関しては、最新のもの(法律改正があるので特に注意)そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を挙げながら、授業を進めます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	あ か し ひ る ゆ き 明 石 博 行	経営 A 3 選	4

講義のねらい

本演習では、パソコンの操作能力や英語の読解力などのさらなる向上を図りつつ、経済社会学の応用分野の学習に引き続き取り組み、卒業論文の作成にむけた各自の研究領域をしぼってゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

演習は前期と後期にわけて行います。前期には、エクセルの操作能力を高めるための学習をします。また、2年次とは異なる方法による課題図書へのノート作成、企業分析および経済分析のための基礎資料の作成に取り組みます。後期には、ノートと基礎資料を全員に配り、それらを利用した学習に取り組みます。今年度はとくに、平成不況およびミレニアム不況とよべる新しい世界不況の研究を基本テーマに取り組み予定です。なお、後半期からは時事問題の報告・討論を演習の冒頭で行います。

履修上の留意点

2年次の班を引き継ぎ、班ごとの補習を行いつつ、班による学習・研究と演習参加者全員による学習・研究とを組み合わせる予定です。補習では、最新の英字新聞記事を読み続けるとともに、インターネットを通じた情報の収集能力のさらなる向上を図ります。また、夏に2年生との合同合宿を行います。2年次と同様、補習を含めた演習全体への参加が求められます。

成績評価の方法

成績は、通常の演習および補習への参加状況を基本としつつ、課題修得の到達度の判断を加えて評価をします。

教科書

課題図書は、演習参加者と相談して、近刊書を1冊選びます。また、平成不況とミレニアム不況の研究のためのゼミ用テキストを配布し、使用します。その他の参考書については適時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	あ べ か ず ひ と 阿 部 一 人	経営 A 3 選	4

講義のねらい

演習Ⅰに引きつづきテキストにそって財務会計の基礎を体系的に学習する。後期は、企業会計の領域の中から各自がテーマを選び、それにもとづいて研究発表を行う。学年末に卒業論文としてまとめたテーマを選定し、研究計画書（テーマ、理由、枚数など）を提出してもらう。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、報告発表、レポート等により総合的に判定する。

教科書

飯野利夫著 『財務会計論』（同文館）

参考書等

授業中において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	い い だ て つ お 飯 田 哲 夫	経営 A 3 選	4

講義のねらい

企業活動における諸問題に対して、合理的な意思決定・問題解決を行なうために、問題を明確化し、さらに現象をモデル化して数理的・定量的な分析を行なう方法論について学ぶ。また、近年の情報技術の発展により企業は大量のデータ・情報を蓄積している。それらのデータを有効に利用した意思決定を行うための数理的技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミへの参加人数に依るけれども、数理的決定法（経営科学・オペレーションズリサーチの方法論）に関する基礎的な文献の論読を行なう予定である。また、分析手法の習得のために、ゼミではコンピュータを用いて実際に簡単な分析を行なってもらう予定である。文献は最初のゼミのときに紹介する。随時、必要であれば講義形式で知識の補足を行う。

履修上の留意点

このゼミは、ゼミの主體的・積極的参加を前提としている。また、専門性の高い内容を習得することを目指しており、毎回のゼミでの積み重ねが必要となるので、毎回出席すること。

成績評価の方法

平常点（課題とゼミへの出席）で評価します。

教科書

最初のゼミで指定します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	い し な ど か く に あ き 石 名 坂 邦 昭	経営 A 3 選	4

講義のねらい

企業の安定経営をはかる上でリスク・マネジメントは欠かすことのできない理論となっている。今日の複雑多岐にわたるビジネス・リスクにどのように対処すべきかは企業経営者の一番の関心事と言える。本演習においては、ビジネス・リスクへの対処を理論的・技術的に考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

リスク・マネジメントを学ぶ上で、必要不可欠となる保険について、各課題ごとに毎週レポートを提出してもらい、数名の受講生に報告をしてもらい、そのことにつき討論を行う。また、リスク・マネジメントの基本的なことにつき講義も行う。

履修上の留意点

毎週、定められたテーマについて全員が参加してディスカッションを行うため無断欠席はしないでもらいたい。

成績評価の方法

出席およびレポートによる総合評価を行う。

教科書

講義に必要な資料等はコピーして配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

OBとの交流を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	お ざ わ と し ひ さ 小 沢 利 久	経 営 A 3 選	4

講義のねらい

人は様々な場面で次を取るべき行動の選択（意思決定）を迫られている。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めている。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしている。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、オペレーションズ・リサーチの各種手法とコンピュータリテラシについて学んでいく。特に、株価や需要の変動など、不確定要素を含む問題を確率的なモデルとして表わし、解析していくことに重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

・演習Ⅱ（3年生）では、コンピュータの利用に関する基礎的な知識の修得を目指す。VBAによるプログラミングとHTMLによるホームページ作成を予定している。

履修上の留意点

情報処理基礎・応用、経営科学概論、統計原論、経営科学など、経営科学系の科目を並行して履修することが望ましい。

成績評価の方法

出席状況、受講態度や理解度を勘案して評価する。

専門教育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	か が み よ う こ 各 務 洋 子	経 営 A 3 選	4

講義のねらい

大学は、学問追究の場です。しかし、単に高度な学術知識を与えるだけの場ではありません。3年間の演習を通して、大学時代に身につけるべき個人の貴重な資産（能力）を知的交流を通して培うことを目指します。具体的には、（1）高度な学術性と同時に、創造的な理解力を身につけ、多様な価値観から常に自由な立場であり続けるための批判的知性を育てること。（2）多くの知識を幅広く学ぶということではなく、幅広い知識を深く学ぶための確固たる主体性を育てること。（3）生涯、知的に成長を続けるために備えておくべき力を、習慣化すること。これらを実現するために、様々なプログラムを用意しています。常に、ワクワクドキドキする知的緊張感を研ぎ澄ませ、楽しみながら現実と理論の融合を試みます。

現代企業に焦点をあて、企業の所属する業界構造、利害者集団との関わり、競争状態などの外部環境分析、ヒト・モノ・カネ・情報などの内部環境分析を通して、企業の採るべき行動、戦略、組織構造、経営管理形態などを考察する。企業をウチ側とソト側から、経営学の視点に立ち、複眼的、立体的に観察・分析・研究する。

講義の内容・授業スケジュール

理論研究では、演習で学んだ経営学の基本を中心に、企業理論を深める。テキストを精読、レジュメを作成し、報告する。更に、学習した内容を、自分の言葉で表現し直し、議論を通して深く理解することを実現するために、毎週、理論の重要なポイントをテーマとしてとりあげ、30分ディベートを実施。この独自のプログラムは、毎年夏合宿で、徹底的に身体で身に付け、演習&演習でツールとして利用している。個人研究を開始する。経営学や企業に関連した個人の興味・関心を探究することから始める。演習終了時には、取り上げたテーマについての専門家になることを目指す。

成績評価の方法

個人研究の定期的な提出。個人研究のプレゼンテーション。平常点（ゼミでの発表力、議論への貢献度等）。

教 科 書

ゼミ内で適宜指示する。

そ の 他

合宿は、年1～2回。後期の研究に関連した会社訪問、工場見学など。コンパは、課題の山終了毎に随時開催。

ゼミ情報は、ホームページに掲載：http://www.komazawa-u.ac.jp/du/Kagami_Seminar/

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	かしま ひであき 鹿嶋 秀 晃	経営 A 3 選	4

講義のねらい

演習テーマは現代日本の経営労務問題。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考える。よって、積極的に勉強し、行事にも参加したいという学生を採用する。ゼミがより広い知識・考え方を得、友人関係を築く場となることを願う。

講義の内容・授業スケジュール

現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える経営労務問題に関して、入門書と専門書を読んでいく。企業と労働について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養う。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「年俸制」「人事考課」「日本的経営」「女性労働」「日本的労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2カ月に1冊のペースで本を読む。受講者全員はあらかじめテキストを熟読しておくこと。その中から報告者（レジュメを作成）、コメンテーターを決め、その2人を中心に議論をしていく。報告者とコメンテーターは順番に回す。毎回「新聞発表」もする。担当者は最近の新聞から経営労務に関するものを切り抜き、自分のコメントも加えること。また、全員に個人のホームページを作成してもらう。

履修上の留意点

出席重視。無断欠席は2度目で単位認定なし。欠席は3度を越えると単位認定なし。ただし、特別な事情には個別に対応する。履修希望者は、可能な限り講義「経営労務論」を履修のこと。卒業時には卒業論文を書き、論文集を発行する。レジュメはワープロで作成のこと。毎週のゼミ以外の工場見学、コンパ、合宿等もゼミの一環なので必ず出席のこと。

成績評価の方法

出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。

教科書

適宜指定する。ちなみに昨年度のテキストは高橋俊介『キャリアショック』、原田・安井・黒田 編著『新・日本的経営と労務管理』、熊沢誠『女性労働と企業社会』など。

参考書等

演習時に適宜紹介する。また、ホームページでも紹介。

その他

HPアドレス http://www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/Kashima_Seminar/index.html

専門教育

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	かたざりのぶお 片桐 伸 夫	経営 A 3 選	4

講義のねらい

このゼミは3・4年次（演習Ⅱ・Ⅲ）で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。

経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）
- といった内容です。

履修上の留意点

このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表（貸借対照表や損益計算書など）の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向きのゼミです。

成績評価の方法

成績評価の方法は平常点です。
3年次（演習Ⅱ）では、各自が決めたテーマに取り組み、そのレポートを検討する形式で授業を進めます。
プレゼミや合宿も行います。

その他

ゼミ入室の決定方法は面接〔志望理由書（500字程度）事前提出〕とテスト（演習Ⅰは1年次学習中の簿記、演習Ⅱは日商簿記検定2級程度）によります。

なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	かねむら えいてつ 兼 村 栄 哲	経営 A 3 選	4

講義のねらい

受講生の1人1人が、マーケティングにかかわる諸現象を体感し、自分なりに論理的に説明できるようにすることを主な目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

以上の3つを主な内容とする。

- (1) マーケティング論に関する専門的なテキストを全員で輪読し、基礎的な概念や理論を学んでもらう。これは、各受講生が、事前に割り当てられた担当箇所について作成したレジュメを発表し、その後討論するという形式をとる。
- (2) 年に数回、4～5人のグループで、マーケティング(論)にかかわるいくつかのテーマについて調べてきてもらい、その内容を発表してもらう。
- (3) 年に数回、工場見学を予定している。工場見学後、レポートを提出してもらう。

履修上の留意点

以下の3点をとくに要望する。

- (1) 積極的に参加すること(通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも積極的に参加すること。また、単に出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。)
- (2) お互いの親睦を深めること
- (3) 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ず事前にその旨を申し出ること。

成績評価の方法

授業態度、発表内容、レポート内容等を総合的に評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

適宜、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	こんどう さだお 近 藤 禎 夫	経営 A 3 選	4

講義のねらい

「演習」(以下、ゼミという)は、たんに専門領域の知識を教師が教授するのではなく、教師がゼミの場をリードしながらも学生みずから主体的にゼミのテーマに取り組まなければならない。そのためには自己の属するゼミのテーマをよく理解し、文献をもとに得られた知識をゼミの場で報告し、問題点を明確にしつつゼミでの議論を深めていくことになる。

ゼミは学生相互間および教師との対話を重視し、研究テーマを体系的に把握するよう指導していきたい。また研究報告のみにとどまらず、その時間の議事運営もすべて学生に体験させるように指導している。もちろんゼミの運営そのものも、学生の主体性を重視して自由に取り組むように心がけている。

講義の内容・授業スケジュール

「企業分析方法論研究」をテーマとする。教材は第1部上場またはそれに準ずる独占・大企業の「有価証券報告書」を中心に実証分析の演習を実施する。

研究の狙いは実証分析を通じ、(a) 通用の企業分析(経営分析)の基本的性格を明確にし、(b) それの全面的批判的摂取をはかることに重点を置く。また4年次でのケース・スタディの準備に入る。「演習Ⅱ」は、本年度にかぎり新規採用または追加募集はしない。

成績評価の方法

出席と報告を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	鈴木 幸 毅	経営 A 3 選	4

講義のねらい

我々の生きる現代は、企業社会といわれ、また組織社会とも言われている。この社会において企業は、経済的権力を握り社会的及び政治的権力を行使しているが、国際化の真価を問われ、著しく進んだ情報化・技術革新によって革命的影響を受け、そして成熟化社会における価値観の多様化によって社会との関係枠組みの変革を求められている。こうした状況は、経営管理（論）の理論的及び実践的研究に対して影響を及ぼす。

以上の認識のもとに、今年度は、「企業責任と環境問題」について検討する。
 〈テーマ〉 「企業責任と環境問題」

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 企業概念と理論について学習し、それを基礎に「企業責任」を考える。
- (2) 企業の環境問題とは何かについて現実的に捉え、それを理論的に整理し、「企業責任」と「社会的貢献」を明らかにする。

成績評価の方法

個人又は共同論文作成を中心に成績を評価する。

参考書等

鈴木幸毅著『環境問題と企業責任〈増補版〉』（中央経済社）平成6年
 同 『環境経営学の確立に向けて』（税務経理協会）平成11年

専門教育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	猿山 義 広	経営 A 3 選	4

講義のねらい

- (1) 中級程度の管理会計に関する知識を一通り習得すること。
- (2) マーケティング会計の基礎概念と基本的手法を習得すること。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 経営者と管理会計 (2) 業績評価のための管理会計
- (3) キャッシュ・フロー経営 (4) 事業部制と分権的組織の会計
- (5) 損益分岐点分析と直接原価計算 (6) 経営戦略と中・長期経営計画
- (7) 利益管理と予算管理 (8) 標準原価計算とコスト・コントロール
- (9) インテグレートド・コストマネジメント (10) 原価企画と戦略的コストマネジメント
- (11) ABCによる間接費管理 (12) 経営意思決定と会計
- (13) 戦略的・戦術的価格決定 (14) 戦略的意思決定と投資決定
- (15) 物流費、販売促進費の管理 (16) 情報技術とソフトの管理
- (17) 研究開発費の管理 (18) 海外事業の管理
- (19) マーケティング管理会計 (20) ブランド価値会計

履修上の留意点

演習という授業科目では、通常の大教室における授業と異なり、少人数でお互いの口頭表現力を磨き合うことに重きが置かれている。授業中の積極的な質問や意見交換を期待する。

成績評価の方法

成績評価は授業における個々人の報告に基づいて行う。

教科書

櫻井通晴著『管理会計〔第二版〕』2000年（同文館）
 Wilson, R.M.S. 『Accounting for Marketing』(Business Press) 1999

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	た か い て つ お 高 井 徹 雄	経営 A 3 選	4

講義のねらい

IT（情報技術）が社会のキーワードとされる今日、我々は、真の意味で情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す、高度情報社会に生きています。皆さんが、企業や官庁の有能なスタッフとして「情報エリート」を目指すならば、少なくとも、

- 1) 発見力：与えられるのではなく、自ら問題を発見する能力。
- 2) 洞察力：必要な情報を選び、情報に基づき分析し、問題の本質を解明する能力。
- 3) 解決力：他社と協力しあって、具体的な問題解決策を提案し、実行化する能力。
- 4) 表現力：自らの提案を解り易く表現し、情報発信する能力。

が要求されるはず。こうした能力を養って頂くために、毎週の演習、およびゼミ合宿において、適切な題材と環境を用意して行きます。

講義の内容・授業スケジュール

経営における意思決定の問題に、科学的・システムの的にアプローチすること。これを念頭において、各週の題材を選んで行きます。どの題材についても、概念→理論→技法→道具、の4つのフェーズを通過します。

およそのスケジュールは以下のとおり。受講生とコミュニケーションをとりながら、理解度や興味の方向を見極めながら進めて行きます。

4-10月：輪読…適切な文献を決め、メンバー全員で輪読会

6月：ソフトシステム方法論…演習Ⅰと合同ゼミ合宿、SSMで社会的問題を扱う

11-12月：ゼミ論テーマの作成

履修上の留意点

課外活動を含め、主体的に参加されること。

成績評価の方法

平常点の他、年2回程度与える課題により評価します。

教科書

輪読用の文献を開講特に指定。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	た か き か つ み 高 木 克 己	経営 A 3 選	4

講義のねらい

3年次では、前期において卒業論文作成に向けてのテーマ決定するために、法人税関連のテキストを読みます。なお、「税務会計論」も必ず並行して、受講してください。

3年次後期から4年次終了時までの予定としては、各自選定したテーマを数回に分けて報告することになります。例えば、制度の意義、概要、沿革、ケース・スタディ、問題点の整理、その解決策あるいは方向性、などです。

3年次終了時には、各自選択したテーマで進級論文（10枚以上、400字）の作成を行います。特に3年次では、各自のテーマの沿革、制度導入の背景等、現行の制度の内容、諸外国の制度との比較等に重点を置いて、作成することになります。

なお、合宿等の行事は、2年次と同じく例年通りです。

成績評価の方法

出席及び報告により評価します。

参考書等

最初の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	た か だ み つ あ き 高 田 光 明	経営 A 3 選	4

講義のねらい

この演習では、企業という組織体によって行われる財務活動に関して、資本調達面から重点的に研究を行う。企業は、その活動を営むに際し、機械、建物、原材料などの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。資本の調達とは、この元手としての資本を集めることをいう。当演習の目的は、このテーマでの研究を通して、企業の財務活動がどのような原理・原則にもとづいて行われているかを考察することにある。

そして、演習のより根本的なねらいは、自己学習能力を身に付けられるようにするとともに、そのための学び方を通して、論理的思考能力が培われるようにすることにある。大学では、授業をきっかけにして、関心のある分野を自発的に学習し、自ら考えながら学ぶという姿勢が肝心である。そうすれば、卒業後に、必要に応じて、また自らの関心・興味にしたがい、自分で主体的に学べる自己学習能力を身に付けられるようになる。そして、そのような能力を身に付ける過程で、物事を自分なりに筋道立てて考える力が育ってくるはずである。大学でのこのような教育目的の達成を図るには、とにかく、自ら考えながら学ぶという主体性が必要である。したがって、この教育目的を達成できる経験を積める場所として最適なのが、演習の授業であるといえる。

講義の内容・授業スケジュール

授業の具体的進め方としては、まず、基礎的知識の体系的理解を図るために、企業財務に関する入門書レベルの文献の共同研究から始める予定である。

履修上の留意点

企業が実施する財務活動の結果は、企業が定期的に作成する財務諸表に示される。したがって、企業の財務を研究するために、企業会計に関する初歩的知識は必要である。

成績評価の方法

適宜提出を求めるレポートにより評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	た き た こう い ち 滝 田 公 一	経営 A 3 選	4

講義のねらい

本年度は文献Iのほかに、代表的なデータ処理ソフトであるSPSS (the Statistical Package for the Social Sciences) を利用して演習を行う予定です。もう一つの代表的なデータ処理ソフトであるSASがどちらかと言えば、理科系のためのデータ処理ソフトであるのに対して、SPSSは、文字通り社会科学のために開発されたデータ処理ソフトであります。この演習では、米国の National Opinion Research Centerによってなされた、アメリカの成人2090人を対象とした世論調査General Social Surveyを分析することによって、アメリカ人の宗教観、政治に対する姿勢、墮胎に対する考え方、などを調べます。

成績評価の方法

成績評価は、学年末に、課題に基づくレポート（通常、computer assignment）を提出してもらい、それによって行います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習II	ちよう 長 こきよう 国 強	経 営 A 3 選	4

講義のねらい

現代は情報化社会といわれ、新聞・雑誌・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山にすぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。実際のデータから経済・経営など社会的の動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使つてのデータ解析の基本技術を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

演習II(3年生)：HTML言語とEXCEL…コンピュータ上の情報発信とデータ解析
WORDとEXCELの入門を既に果たされ、これからコンピュータのことを、情報通信やデータ解析などの実践を通じてもっと知りたいという学生のための演習です。インターネットの斬新さは、誰もが簡単にホームページなどで情報を発信できることにあると思う。演習IIの前期は、ホームページのレイアウトや仕掛けを記述するHTMLと呼ばれる言語を中心に展開する。後期は、近い将来学生諸君に直面されるはずの市場調査・予測、品質・生産管理などの課題をコンピュータ上、データ解析手法を使い、企業現場の具体例を交えて細かく分析する。

成績評価の方法

平常点：出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

そ の 他

演習Iの選抜方法は自己紹介文(A4、1枚)と面接によって行う。なお、継続性ということから、演習IIの募集はいたしません。

演習Iと演習IIは学生諸君のまだ慣れていないコンピュータ上の演習のうえ、毎回の実習アイテンに連続性があり、1回欠席すると、次回の実習についていけなくなることも考えられる。したがって、無理なく年間5回以上欠席した場合、自動的に除名されることにする。また、現代社会に通用するための常識的な素質と思うが、協動的でかつ永遠に新しいものに取り込みたい、という意欲を持つ学生諸君の参加を特に望む。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習II	なかがわ 中 川 じかんべい 淳 平	経 営 A 3 選	4

講義のねらい

この演習では、経営学説について考察する(したがって、演習での研究テーマは、経営学説のなかから1つないし複数の学説から選択することになる。)併せて、文献・資料の調査の仕方、報告のあり方、文章のまとめ方について習得する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、参加者が知識を共有できる様、経営学史の基本文献を輪読する。したがって、毎回担当を決め、報告をする。報告後、参加者で討論を行なう。後期は前期で学んだ諸学説の中から、適宜テーマを選択し、その研究内容を報告してもらい、討論を行なう。そして、一年間の学習の成果として、論文を提出してもらおう。

履修上の留意点

予習・復習、あるいは論文作成のために多くの時間を割く必要があるので、積極的に勉学する、意欲ある学生の参加を望みます。

成績評価の方法

発表や討論の内容、論文、学習態度によって総合的に評価する。

教 科 書

宮田矢八郎『経営学100年の思想—マネジメントの本質を読む』(ダイヤモンド社)3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	なかむら こういち 中村 公一	経営 A 3 選	4

講義のねらい

本演習は現代企業の経営戦略を多面的に把握し、(1) 文献講読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する分析力と洞察力、(2) 実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力を養っていくことを目的とする。そして、数多くの課題をこなす中で各人の能力(スキル)アップを図る。

講義の内容・授業スケジュール

文献講読による経営戦略論に関する基本知識の習得とともに、ケーススタディやビジネスプラン策定などにより実践的場面でも活用できる能力の向上を図る。従って、文献の理解力とレポート作成能力、そして思考力やプレゼンテーション能力も強化していく内容で演習を進めていく。そのために、毎週の演習以外に、年数回の研究会と勉強合宿を計画している。

履修上の留意点

毎週レポートを宿題として課すために、相当の勉強時間の確保が必要である。

成績評価の方法

出席と授業への積極性、レポート内容、年度末に提出するゼミ論文によって評価する。特別の用事のない無断欠席等は厳しくチェックする。

教科書

教科書は基本的に年1冊使う予定です。
あとは教材のコピーを配布します。

専門教育

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	ながせ かつひこ 長瀬 勝彦	経営 A 3 選	4

講義のねらい

このゼミは組織とコミュニケーションの問題をテーマとしています。組織が組織として成立し続けるためには、メンバー間のコミュニケーションが不可欠であって、組織内部では常時様々な形態のコミュニケーションが交わられています。その中でわれわれがもっとも注目するのが、協力や交渉に関わるコミュニケーションです。組織の中で物事を進めるには、メンバー間の協力や交渉が欠かせません。そこに交わされるコミュニケーションを多面的に追求しましょう。

講義の内容・授業スケジュール

3年次の前半はコミュニケーション論に関連する用語集を作成し、後半には心理学実験を計画、実行します。

学年合同で年に2回おこなわれる合宿も重視しています。競技ディベートや模擬裁判、模擬面接、プレゼンテーションなど、特別プログラムを用意しています。

履修上の留意点

手書きのレポートは許されていませんので、選抜の合格者はゼミ開始時までにワープロでレポートが作成できるようにしておく必要があります。自宅に持っていない場合は、登録して大学の自習室のパソコンを使用してください。みなさんが会社に入ると、文書は全てワープロになります。今のうちに修得しておきましょう。

また作成されたレポートや用語集などは、順次インターネット上のゼミのホームページ(URL=<http://user.komazawa.com/nagase/zemi/>)に公開されます。当ゼミはコンピュータのゼミではありませんが、インターネットは現代社会の知的生産に必要なツールとして認識しています。ゼミのホームページの制作とメンテナンスも重要な活動のひとつです。選抜の合格者に対しては簡単な講習会を開きます。

このゼミの参加者に必要な資質は、何を措いても旺盛な知的好奇心です。森羅万象に興味を抱き、新聞を読み、書物を読み、マンガを読み、映画を観、町を観察し、友と語り、大学の講義にも出る(!)という貪欲さが要求されます。次に必要なのが、現象の背後に潜む法則をあぶり出す抽象的思考力。要は自分の頭で考えることです。さらに言えば議論好きなこと、文章を書くのが苦にならないことが望ましいのですが、そうでなくとも、努力を惜しまない姿勢があれば大丈夫です。

合宿を含め、遅刻や欠席が一定数を超えると自動的に除名になるので注意してください。元氣あふれる新人をお待ちしています。

教科書

随時指示します。

参考書等

随時指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	ながた とも のり 永 田 智 則	経 営 A 3 選	4

講義のねらい

当ゼミナールは国際経済学にかかわる事象を研究対象としている。
近年の国際的相互依存の関係の緊密化は、どの国の経済にとっても、国際経済とのかかわりがいかに重要であるかを認識させてきた。ある国で生じた経済問題は、その影響が全世界に波及し、世界経済の流れを変え、各国経済に変革を迫る。この流れに対応できない経済は取り残され、困難に直面する。

当ゼミナールでは、世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の関係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解することを目標としている。

講義の内容・授業スケジュール

「演習Ⅱ」では視野を広げ、貿易が経済発展に果たしている役割を検討し、東アジア地域の経済発展と日本経済との関係を中心に研究する。

履修上の留意点

無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。

成績評価の方法

授業中の発言や提出レポート等を含め、ゼミ活動にどの程度積極的に参加したかを最大の評価ポイントにする。

教 科 書

教科書及び参考書等については必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	にしむら かず お 西 村 和 夫	経 営 A 3 選	4

講義のねらい

【テーマ：コンピュータ科学】 文書（英論文など）の読みかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

演習 2

- ・論文の読み方と発表のしかた(2)、スタンフォード大学でも使っている“Concrete Mathematics” [1] の第1章を輪講する（レジメと書画カメラを使う）。→ “再帰的な考え方”を理解する。
- ・“再帰的なプログラム”の作成。ゼミ論文のテーマの決定。
- ・仕様書の書きかた
- ・ゼミ論文中間報告書の提出。

その他

- ◆就職活動についてのアドバイス。面接の実習。ビジネス文書の書きかた [2]。
- ◆情報処理技術者試験の受験のための学習。
- ◆合宿（年1度）・イベント（年1～2度）。

履修上の留意点

テーマは“コンピュータ科学”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。原則として西村の“演習Ⅰ”を履修していること。

成績評価の方法

出席のほかに、輪講のレジメと発表、小テスト、ゼミ論文中間報告書。

参 考 書 等

- [1] R. Graham, D. Knuth and O. Patashnik, Concrete Mathematics, Addison-Wesley, 1989.
[2] 吉田幸生【仕事の文章が面白いほど書ける本】(中経出版) 1992.

そ の 他

西村ゼミのページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/>
講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/Nis/lecture/seminarA.html>

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	は と り 羽 鳥 茂	経営 A 3 選	4

講義のねらい

進化ゲーム理論とその1つの応用分野である比較制度分析を学習し、経済システムの比較、コーポレート・ガバナンス、企業システムの進化の問題などを日本経済を中心に考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的のために、演習Ⅱでは前期に進化ゲーム理論入門（教科書 [C]、[D]）、後期にその応用として比較制度分析（教科書 [E]）を扱う。

履修上の留意点

積極的にゼミに参加することだけを学生諸君に要望する。

成績評価の方法

出席状況とゼミへの積極性ならびに年度末に提出する課題レポートによって成績評価する予定である。

教科書

- [C] 武藤滋夫『ゲーム理論入門』（日経文庫）2001年
- [D] 中山幹夫『はじめてのゲーム理論』（有斐閣）1997年
- [E] 青木昌彦、奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）1996年

参考書等

必要な時に紹介する。

専門教育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	ふじわら あつし 藤 原 篤 志	経営 A 3 選	4

講義のねらい

本演習ではテーマを「現代企業における生産・技術・労働」とし、このテーマに沿ってゼミ生各人が自分の関心のあるテーマを設定し、それについて研究し各人がゼミ論文を作成することを最大の目的としている。またゼミ論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）を行ってもらい、その中で議論・討論を行う形で授業をすすめていく。この研究発表・報告・討論を通じて、各人が論理的に思考し、自分の意見を的確に表現する練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

3年次・4年次では、先述のように各人がゼミ論文のテーマを設定し、論文作成のための研究を進めていく。授業自体は各人による研究発表・討論で行われる。このようにゼミは発表・討論を中心に行われるため、ゼミ内に全員が積極的に発言できる雰囲気を作りたい。そのため、授業以外の活動（コンパ、合宿、工場見学など）に参加することが原則である。その他、一層の勉強、および親睦を深めるためサブゼミの開講も予定している。

履修上の留意点

以上のような内容なので、中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。毎回少なくとも1回は発言することが義務付けられるので、消極的な姿勢でゼミに参加する者にとっては苦痛でしかないであろう。本ゼミでは何よりもやる気のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	まえだかずとし 前 田 和 利	経営 A 3 選	4

講義のねらい

明治期から現在に至るまでの間、それぞれの段階でどのような産業企業がどのような企業家達によってつくりだされたのか、そして成功した企業がなぜ存続・成長（ないしは停滞・挫折）したのか。本演習では「企業（経営）は人なり」という視点から検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅱ前期では日本経営史のうえでイノベティブな行動をとった代表的企業経営者の足跡を検証する。後期においては、たとえば「松下とソニー」といったようなケースを用いて、企業の創業者精神とその継承についての企業間比較の研究を行ない、リビング・カンパニー（長寿企業）の性格的特徴を見出していく。なお、並行して個人・グループによる研究のプレゼンテーションを行ない、演習Ⅲにおいて論文（ワープロ、12000字以上）を作成する。

履修上の留意点

演習を優先できる人の参加を希望する。

成績評価の方法

平常点（出席と授業態度）とレポート提出（2回）による。

教科書

演習Ⅱ前期——佐々木聡編『日本の企業家群像』（丸善）1,800円
その他については後日紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

担当者による要旨報告と問題提起、質疑応答という形式で進めるが、事前の要旨・資料の配布が求められる。
なお、ビデオを使用する場合がある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	みやぎてつ 宮 城 徹	経営 A 3 選	4

講義のねらい

3年次ゼミ生は、2年次ゼミの研究成果を基礎にして英語圏とドイツ語圏（邦訳書）と日本の代表的な「新しい制度学派」の文献を素材として、2年次ゼミの場合と同様のやり方で、企業について一層突っ込んだ研究を行う。

こうして、ゼミ生は、2年次から3年次のゼミへというステップを踏んだ学習・研究を通じて、「組織理論」（特に意思決定理論とコンティンジェンシー理論＝状況的アプローチ）と「新しい制度学派」の双方の組織（＝企業）についての理解の共通性や相違点などを少しでも見分けることができるようになれば、それに越したことはない。それはともあれ、3年次ゼミ生は各自、同ゼミの最後の段までに、「ゼミ論文」のテーマを設定し、私に提出しなければならない。

※ ゼミは、毎回1人あるいは複数のリポーターが与えられた範囲をレジュメに基づいて報告し、その他のゼミ生もそれを中心にして活発にディベートするように進める。

※ ゼミの中心的素材はゼミの開始時に指示する。

※ 斉藤 孝著『学術論文の技法』（日本エディタースクール出版部）平成9年、を入手のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	やま た まさる 山 田 勝	経営 A 3 選	4

講義のねらい

特に商業経営を中心にすえ、経営者（商人）の役割と資質を勉強する。商人を勉強の対象としながら、自分との比較を行い、自ら事業を起こす可能性とそのために必要な学習をしてもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

経営の基礎として、年度始めに各ゼミごとに指定する教科書・副読本を読みレポートする。
日本経済新聞は（毎朝夕）は必読とする。
毎週英語の経済雑誌からCover Storyなどのコピーを配布するので読んできてもらい、内容についてディスカッションする。英語を学ぶのではなく、英語で（国際的センスで）現下の経営環境と問題を理解してもらう。ボーダレス時代に入り、グローバルな経営を理解し、そこで活躍するには国際語としての英語は必須であることを肝に銘じ、英語力の乏しい学生にはアルバイトではなく、英語力の強化に課外時間を充ててもらう。

成績評価の方法

平素の発表を評価していく。

そ の 他

- (Ⅰ) 商業活動には簿記・会計、商法、手形・小切手法の知識、パソコンの使用が必要である。授業時間外に学習してもらう。
- (Ⅱ) 授業時間はディスカッションに充てるので、十分な予習、欠席をしないこと、積極的な発表を求める。
- (Ⅲ) 時間外に出来るだけ補講として企業見学などを実施する。履修希望者にはそれらも授業の一部として理解してもらう。

専門教育

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	わた な べ えい ち ろ う 渡 邊 恵 一 郎	経営 A 3 選	4

講義のねらい

会計の主な役割は、家計・企業・官公庁その他の経済主体の経済状況を計数（貨幣）的に表現し、これを利用する人々に伝達することにある。私の演習では、特に現代の経済社会の重要な経済主体である企業の資金会計を中心に、実務に役立つ基礎知識が得られるよう指導する。

講義の内容・
授業スケジュール

授業時間内には、簿記の基礎を涵養し、次に資金会計の体系的なおよび有価証券報告書の見方などを修得させる。
3年次……キャッシュ・フロー会計と経営との関係を重点的に学修する。基礎から応用実践的資金会計論を展開する。（この間、日本学生経済ゼミナール大会へ出場のための論文を学生が自主的に作成する。）

履修上の留意点

2年次から4年次まで一貫して段階的に学修するので、出席率を重視し、3年間継続して履修すること。なお、授業時間外では、前述のゼミナール大会（11月関東、12月全国）に出場のため夏合宿などを行う。

成績評価の方法

成績評価は、平常点、協調性および出席率を総合して行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民法Ⅱ（債権法）	う え い た け ひ さ 上 井 長 久	経営 A 3・4 選	4

講義のねらい

本講義は、他人に対して、或る物を交付させること、または、或ることを為すことを要求する権利、すなわち債権についての実体的権利関係を総合的に考察するが、それを通して、債権をめぐる問題に対して精通するとともに、柔軟に解決できるように導くことを目標とする。そのように人が人に対して或る事柄を要求することを正当と認め、その請求の実現が当事者間ではかることが出来ない場合に、当事者の一方の訴えに基づき他方の責任を追求するために裁判所が力を貸す関係が債権関係である。そのような人と人の関係は、封建的な身分関係から生じるのではなく、周知のように近現代では多くは契約関係から生じる。その他に、契約関係がなくとも相互扶助、公平、損害補填等の要請に基づく事務管理、不当利得、不法行為などからも債権関係が生じる。債権法は、その全てについて言えることではないが、合意優先ないし契約自由の原則の及ぶ領域においては、その規定が任意法規性のゆえに日常の経済生活では往々にして、合意により債権法規と異なる生活規範が設定され、また、それが許される法の範疇である。この範疇においては、日常生活の一定の基準たる債権法規の解釈と、その法規を排除した、より有益な準則を設定した生活関係の両方を理解することが必要である。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は、債権総論と債権各論を講義の対象とする。まず債権法全体の仕組み、内容をひととおり説明したうえで、債権一般の通則たる債権総論、次いで債権発生の原因にあたる契約、事務管理、不当利得、不法行為などの債権各論について逐条的かつ重点的に解明する。講義の内容および進行は、具体的には、以下の予定である。

- 1) 債権の意義・性質・社会的機能、債権法の法源、債権法の特質・体系（前期）（第1回）
- 2) 債権の目的・内容（第2回）
- 3) 債権の効力——債務と責任、履行強制（第3回）
- 4) 債務不履行責任（第4、5回）
- 5) 債権の対外的効力——債権者代位権、（第6回）
- 6) 詐害行為取消権（債権者取消権）（第7回）
- 7) 多数当事者の債権関係——債権の共有・合有・総有、分割・不可分債権、（第8回）
- 8) 連帯債務、保証債務（第9、10回）
- 9) 債権の譲渡、債務の引受（第11回）
- 10) 債権の消滅（第12、13回）
- 11) 契約総論——債権発生原因、契約自由の原則、契約の種類（後期）（第14回）
- 12) 契約の成立（第15回）
- 13) 契約の効力——同時履行の抗弁権、（第16回）
- 14) 危険負担、（第17回）
- 15) 第三者のためにする契約、（第18回）
- 16) 契約の解除（第19回）
- 17) 贈与、売買、交換（第20回）
- 18) 消費貸借、使用貸借、賃貸借（第21回）
- 19) 雇傭、請負、委任等の契約（第22回）
- 20) 事務管理、不当利得（第23回）
- 21) 不法行為（第24、25回）

履修上の留意点

債権法は、民法学の一分野であるから、必然的に民法の他の分野にも関連する。とくに債権を担保するための担保物権や民法全体の基本原則である民法総則などを扱う「民法Ⅰ」も併せて履修することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験で行う。

教科書

我妻栄・有泉亨共著水本浩補訂正『民法2 債権法』（一粒社）および稲本洋之助・上井他共著『民法講義5 契約』（有斐閣大学双書）

参考書等

遠藤・川井他編『民法（4）～（7）』（有斐閣双書）を推奨する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商法Ⅱ (商行為、手形・小切手法)	<small>しまはら ひろあき</small> 島 原 宏 明	経営 A 3・4 選	4

講義のねらい

現代の経済社会における企業間の取引では、手形や小切手等の有価証券が数多く使用されている。中でも手形と小切手は典型的な有価証券であって、その流通に関する法規制の多くは商法上の他の有価証券にも及んでいる。したがってその体系の理解は有価証券全般を理解する上で不可欠なものである。また、手形や小切手は金銭債権と結びついた証券であるため、これに関する法体系は債権法の一部として把握され、民法の債権総論と密接な関係にある。

講義の内容・
授業スケジュール

手形法は第一編為替手形と第二編約束手形の二編から成り立っており、為替手形についての規定の多くを約束手形に準用するという構成になっている。ただし、わが国においては為替手形がほとんど用いられていないという現実があり、また為替手形に比べて約束手形の方が仕組みが単純であるため、条文の順序とは一致しないが講義では約束手形を中心にして説明を行い、適宜為替手形、および為替手形と基本的な仕組みを同じくする小切手についての説明を付け加えていくという形をとる。

なお、企業活動に関わったことのない学生諸君には手形や小切手の世界は現実感が乏しく興味が起こりにくいいため、なるべく具体的な判例を示して解説をしていくつもりである。

成績評価の方法

期末試験による。

教 科 書

島原宏明『手形法学への誘い』（八千代出版）2,500円

参 考 書 等

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外書講読（英書）	<small>いしなざか くにあき</small> 石 名 坂 邦 昭	経営 A 3・4 選	4

講義の内容・
授業スケジュール

プリントを使い全員に訳してもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読（英書）	かしま ひであき 鹿嶋 秀晃	経営 A 3・4 選	4

講義のねらい

この「外書講読」では、戦後日本の労使関係について書かれた英文を読む。講義ではただの英文解釈に終わってしまうことのないよう、必要に応じいろんな議論にふれていく。最終的な目標は、戦後の日本的労使関係システムの特徴とその抱える問題点の把握、経済英語力のアップの2つである。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの章立てに沿って講義を進める。基本は英文の全訳。理解の補助のために各章、各節ごとにまとめの時間を設ける予定。

履修上の留意点

外書講読は受け身の姿勢では成果が得られないので、十分予習をしてから出席してほしい。3回を越える欠席は単位を認定しない。また、この講義の内容の基礎にあたる部分については「経営労務論」で講義するので、あわせて履修すると理解がしやすくなる。

成績評価の方法

評価方法は受講人数を見て講義の中で決めていく。少人数の場合は平素の成績で評価。多人数の場合は平素の成績と定期試験の合計で評価する。

教科書

テキストは Andrew Gordon, "The Wages of Affluence: Labor and Management in Postwar Japan," Harvard University Press, 1988を予定している。著者のAndrew Gordonは近年日本の労使関係研究で特に注目されている一人であり、日本人にとっても十分読み応えのある内容だと思う。変更の場合もあり。

参考書等

英文を読むときには高等学校レベル以上の英和辞典（中学生・初學者用のものや携帯用のものは不可）を用意しておくこと。経済用語の英和・和英辞典があるとよい。例えば英和和英経済用語辞典（富士書房）、最新英和経済ビジネス用語辞典（春秋社）などがある。

その他

最初は、高校英文法の復習もかねながらゆっくりと全訳しながら進んでいく。学生に和訳してもらいながら解説をしていくことを考えているので、予習しておくこと。英語力に多少不安があっても丁寧に説明しながら進めていくので、受講者の積極的な参加を期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読（英書）	まえだ かずとし 前田 和利	経営 A 3・4 選	4

講義のねらい

英文読解力を養うとともに、企業経営に関する基礎知識を深める。

講義の内容・授業スケジュール

企業経営システムに関する経営史文献を輪読し、専門用語等の解説を加えていく。

履修上の留意点

毎回の予習を不可欠とする。こなれた邦文として読めるように全訳すること。

成績評価の方法

平常点と期末試験（2回）による。なお、1回でも未受験の場合および3分の1以上欠席の場合は評価対象としない。

教科書

開講時に提示します。プリントを配布します。

参考書等

開講時に指示します。

その他

ゼミ方式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
外書講読（独書）	ももずみ いさむ 百 濟 勇	経営 A 3・4 選	4

講義のねらい

現在、欧州経済で一番関心と呼んでいる事項は、単一通貨ユーロの導入である。とりわけ、1999年1月1日より欧州通貨同盟第3段階として単一通貨ユーロ、非現金取引に導入され、欧州中央銀行（ECB）単一金融政策が開始されたことである。これを踏まえて、2002年1月1日より、ユーロ紙幣、コインが導入された。米国を上回る3億人と世界の20%以上の大きな国内総生産（GDP）を持つ単一通貨圏ユーロの出現は、ブレトン・ウッズ体制崩壊以来、プラザ合意・ルーブル合意といった政策努力後も継続してきたデファクトのドル中心の国際体制から、三極通貨体制による新たな国際通貨制度への移行を意味するのだろうか？

1991年以来、ドイツで最も重要なシンクタンクの一つである「ベルリン・ドイツ経済研究所」の客員研究員をしているが、ドイツの研究者が使用する資料を含めてアプローチする。その際に、EUなど国際機関、ドイツ連邦政府、ドイツの各研究所などのインターネットによる資料検索は、欠かせない。ドイツ語を主とした資料を使うが、その他英文・日本語などの資料も平行して使用する。ゼミ方式を採用、毎回インターネットによる最新の資料も配布する。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容としては、文部省重点領域研究での成果、「ドイツ経済の現状」および「ドイツを軸とし、EUの対外経済政策、とりわけ対東欧・ロシア経済関係」を使ってアプローチする。

成績評価の方法

平常点を成績評価を重視するが故に、期末試験は行わない。

専門教育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
外書講読（仏書）	とおやま ひろお 遠 山 博 雄	経営 A 3・4 選	4

講義のねらい

時事的なフランス語の文章を読むこと

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること

成績評価の方法

平常の学習で評価します。

教科書

出席する諸君と相談して決めます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読（中国書）	まつもと あつとし 松 本 丁 俊	経営 A 3・4 選	4

講義のねらい

中国は広大な国土と12億を越す人口を擁し、長い歴史と高度な文化伝統を持つ社会主義国である。その中国と一衣帯水の日本との交流は古く唐の時代から始まっている。今日の中国は改革は開放政策を取り、政治、経済はめまぐるしく変化し、発展を続けている。日本ばかりでなく諸外国との交流が一層深まっている。口先だけの「友好」では解決できない問題が生まれつつある現在、中国を理解するための道具・・・中国語をより高度にすることがわれわれに求められている。本講義は将来日中交流に役立ちたい、又は関心のある為に開いたので、中国語初級・中級を終えた学生諸君を対象とする。

講義の内容・授業スケジュール

商業用中国語を数多く使用した論文、又現代中国社会実体を紹介した記事などを中国語の原文で学生諸君と読み合わせる。諸概念を完全に把握して行くことを目標とする。従って進み具合は学生諸君の理解度によって適時加減する。

履修上の留意点

あらかじめ分担して訳して貰う為、自分が受持ったところは責任を持ってやって来ることが前提、わからない単語などは前もって辞書で調べておくのが肝心。又あてたところは自分のものでないので、我関知せずは学習上よくないので、同じ様に予習しておく必要がある。

成績評価の方法

平常点で評価する。又出席点も加味する。

教科書

プリント配布

参考書等

『日中辞典』（小学館）6,000円 1992年版
『現代中国語辞典』（光生館）6,500円 1982年版

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読（スペイン書）	うえの かつひろ 上 野 勝 広	経営 A 3・4 選	4

講義のねらい

スペイン語の基本的な商業通信文を中心に講読します。

履修上の留意点

Business Spanishに必要な語彙や表現を中心に説明しますので、受講者は文章全体の内容理解に努めてもらいます。

成績評価の方法

平常点を重視します。これに前期・後期のテストの結果を合わせ、総合的な評価をします。

教科書

プリント使用、授業時に配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読（ロシア書）	すぎやま ひでこ 杉 山 秀 子	経営 A 3・4 選	4

講義のねらい

やさしいロシア語の実用的文章をできるだけ多く読み、その中から日常よくつかわれる表現をとりあげ、日常会話で応用できるように学んでいきたい。ビデオや映画なども積極的に活用し、その中でとりあげられているオフィシャルなロシア語表現に慣れ、ロシア人とのコミュニケーションを円滑なものにするべく努力してみたい。

成績評価の方法

出席を重視します。出席率プラス年二回の小テストの総合点で判断します。

教科書

プリント配布。
ビデオと映画をみるチャンスをつくります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ビジネス英語	町井 靖 <small>まちい やすし</small>	経営 A 3・4 選	4

講義のねらい

「商品の輸出入に関する英文の手紙」を学習する。テキスト「ビジネス英語」に従って、取引先の発見からカタログの送付、オファ、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階で良く使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるため、英作文演習には力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっている。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注]を良く読返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。

貿易の専門用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。

履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習（英文解釈）、復習（英作文）が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。

成績評価の方法

前期、後期の試験成績と出席による。

教科書

町井 靖著『ビジネス英語』（創成社）1,600円（本体価格）

参考書等

教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
特殊講義（前期）	斉藤 正 <small>さいとう ただし</small>	経営 A 3・4 選	2

講義のねらい

野村證券株式会社の提供による本講座は、「資本市場とグローバル証券ビジネス」をテーマとし、野村證券および野村総合研究所の現役スタッフによって前期13回の予定で講義される。

講義では、証券市場に関するタイムリーな話題を中心に全体論からスタートし、資産運用の考え方や実践を簡潔に紹介した後、グローバル証券業のコアビジネスである、国内リテール、インベストメントバンキング、フィクスト・インカム、エクイティ、アセット・マネジメントの考え方やビジネス事例を紹介する。最後に、ITと対面営業の融合など、リテール証券ビジネスの現状と展望について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 証券市場の役割
- 2) 経済成長と金融・資本市場
- 3) 証券市場規制と投資者保護
- 4) 資産運用とライフプランニング
- 5) グローバル資産運用
- 6) エクイティ（株式）ビジネス
- 7) フィクスト・インカム（債券）ビジネス
- 8) アセット・マネジメント・ビジネス
- 9) 投資銀行ビジネス
- 10) ベンチャービジネスとIPO（株式公開）
- 11) リテール証券ビジネスの実践
- 12) リテールマーケットのビジネス戦略とIT戦略
- 13) リテール証券ビジネスの競争戦略

履修上の留意点

最新のグローバル証券ビジネスを扱うため、常に新聞等の経済記事に注意を払って講義に臨んで欲しい。

成績評価の方法

出席を重視しつつ、理解度を測るために適宜レポートを提出してもらい、総合的に評価する。

教科書

毎回、授業で講義資料を配付する。

その他

授業は毎回異なる講師によって行われる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅲ	あ か し ひ ろ ゆ き 明 石 博 行	経営 A 4 選	4

講義のねらい

本演習では、経済社会学の応用分野の学習に取り組みつつ、卒業論文を執筆します。

講義の内容・授業スケジュール

演習は前期と後期にわけて行います。前期には、エクセルを使った統計分析能力の向上を図り、パワーポイントの使い方を学習します。また、班ごとに卒業論文の執筆準備を進めます。後期には、通常の演習のさいに、パワーポイントを使い、前期で行った統計分析の結果や卒論についての報告と討論をしつつ、卒業論文を完成させます。

履修上の留意点

4年次には、卒業論文のテーマに即して班を再編します。卒論の作成にさいしては、班ごとに行う相談会と班内部の協力が重要になります。また、卒論のテーマなどと関連させて、インターネットを通じた海外情報の収集能力のさらなる向上を図ります。こうした準備をへて、秋に卒論の中間報告と検討のための合宿を行います。

成績評価の方法

成績は、通常の演習および相談会などへの参加状況を基本としつつ、卒業論文の取り組みにかんする判断を加えて評価をします。

教科書

必要に応じて、ゼミ用テキストを配布し、使用します。卒業論文の作成に必要なすべての文献が、教科書・参考書となります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅲ	あ べ か ず ひ と 阿 部 一 人	経営 A 4 選	4

講義のねらい

各自の選択したテーマにそって、卒業論文の作成とその検討を行う。

成績評価の方法

成績評価は、報告発表、レポート、出席状況により総合的に判定する。

教科書

授業中において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅲ	い し な ざ か く に あ き 石 名 坂 邦 昭	経営 4 選	4

講義のねらい

企業の安定経営をはかる上でリスク・マネジメントは欠かすことのできない理論となっている。今日の複雑多岐にわたるビジネス・リスクにどのように対処すべきかは企業経営者の一番の関心事と言える。本演習においては、ビジネス・リスクへの対処を理論的・技術的に考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

リスク・マネジメントを学ぶ上で、必要不可欠となる保険について、各課題ごとに毎週レポートを提出してもらい、数名の受講生に報告をしてもらい、そのことにつき討論を行う。また、リスク・マネジメントの基本的なことにつき講義も行う。

履修上の留意点

毎週、定められたテーマについて全員が参加してデスカッションを行うため無断欠席はしないでもらいたい。

成績評価の方法

出席およびレポートによる総合評価を行う。

教科書

講義に必要な資料等はコピーして配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

OBとの交流を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	おざわとしひさ 小 沢 利 久	経営 A 4 選	4

講義のねらい

人は様々な場面で次取るべき行動の選択（意思決定）を迫られている。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めている。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしている。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、オペレーションズ・リサーチの各種手法とコンピュータシミュレーションについて学んでいく。特に、株価や需要の変動など、不確定要素を含む問題を確率的なモデルとして表わし、解析していくことに重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

・演習Ⅲ（4年生）では、経営科学の分野から各自テーマを決め、それについて調査、モデル化、分析を行い、論文にまとめる。

履修上の留意点

情報処理基礎・応用、経営科学概論、統計原論、経営科学など、経営科学系の科目を並行して履修することが望ましい。

成績評価の方法

論文の提出を必須とし、その内容によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	かがみようこ 各 務 洋 子	経営 A 4 選	4

講義のねらい

大学は、学問追究の場です。しかし、単に高度な学術知識を与えるだけの場ではありません。3年間の演習を通して、大学時代に身につけるべき個人の貴重な資産（能力）を知的交流を通して培うことを目指します。具体的には、（1）高度な学術性と同時に、創造的な理解力を身につけ、多様な価値観から常に自由な立場であり続けるための批判的知性を育てること。（2）多くの知識を幅広く学ぶということではなく、幅広い知識を深く学ぶための確固たる主体性を育てること。（3）生涯、知的に成長を続けるために備えておくべき力を、習慣化すること。これらを実現するために、様々なプログラムを用意しています。常に、ワクワクドキドキする知的緊張感を研ぎ澄ませ、楽しみながら現実と理論の融合を試みます。

現代企業に焦点をあて、企業の所属する業界構造、利害者集団との関わり、競争状態などの外部環境分析、ヒト・モノ・カネ・情報などの内部環境分析を通して、企業の採るべき行動、戦略、組織構造、経営管理形態などを考察する。企業をウチ側とソト側から、経営学の視点に立ち、複眼的、立体的に観察・分析・研究する。

講義の内容・授業スケジュール

理論研究では、最新の経営学の領域で出版された専門書を取り上げる（適宜指示する）。発表方法は、演習Ⅲと同様。重要なポイントをテーマとして取り上げる30分ディベートを、毎週実施する。個人研究は、演習で問題提起され、分析を続けている個人個人の研究をまとめあげる。年度末には、演習Ⅲ履修者も交えて、パワーポイントで作成したプレゼンテーション資料をもとに、発表会を開く。

成績評価の方法

個人研究の定期的な提出。個人研究のプレゼンテーション。平常点（ゼミでの発表力、議論への貢献度等）。

教科書

ゼミ内で適宜指示する。

その他

合宿は、年1～2回。後期の研究に関連した会社訪問、工場見学など。コンパは、課題の山終了毎に随時開催。

ゼミ情報は、ホームページに掲載：http://www.komazawa-u.ac.jp/du/Kagami_Seminar/

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	か し ま ひ で あ き 鹿 嶋 秀 晃	経 営 A 4 選	4

講義のねらい

演習テーマは現代日本の経営労務問題。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思いつくところだと考える。よって、積極的に勉強し、行事にも参加したいという学生を採用する。ゼミがより広い知識・考え方を得、友人関係を築く場となることを願う。

講義の内容・授業スケジュール

現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える経営労務問題に関して、入門書と専門書を読んでいく。企業と労働について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養う。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「年俸制」「人事考課」「日本の経営」「女性労働」「日本の労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2カ月に1冊のペースで本を読む。受講者全員はあらかじめテキストを熟読しておくこと。その中から報告者（レジュメを作成）、コメンテーターを決め、その2人を中心に議論をしていく。報告者とコメンテーターは順番に回す。毎回「新聞発表」もする。担当者は最近の新聞から経営労務に関するものを切り抜き、自分のコメントも加えること。また、全員に個人のホームページを作成してもらう。

履修上の留意点

出席重視。無断欠席は2度目で単位認定なし。欠席は3度を越えると単位認定なし。ただし、特別な事情には個別に対応する。履修希望者は、可能な限り講義「経営労務論」を履修のこと。卒業時には卒業論文を書き、論文集を発行する。レジュメはワープロで作成のこと。毎週のゼミ以外の工場見学、コンパ、合宿等もゼミの一環なので必ず出席のこと。

成績評価の方法

出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。

教科書

適宜指定する。ちなみに昨年度のテキストは高橋俊介『キャリアショック』、原田・安井・黒田編著『新・日本的経営と労務管理』、熊沢誠『女性労働と企業社会』など。

参考書等

演習時に適宜紹介する。また、ホームページでも紹介。

その他

HPアドレスhttp://www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/Kashima_Seminar/index.html

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	か た ぎ り の ぶ お 片 桐 伸 夫	経 営 A 4 選	4

講義のねらい

このゼミは3・4年次（演習Ⅱ・Ⅲ）で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。

経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）
- といった内容です。

履修上の留意点

このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表（貸借対照表や損益計算書など）の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向きのゼミです。

成績評価の方法

成績評価の方法は平常点です。
4年次（演習Ⅲ）では、2年間の成果をゼミ論としてまとめます。
プレゼミや合宿も行います。

その他

ゼミ入室の決定方法は面接〔志望理由書（500字程度）事前提出〕とテスト（演習Ⅰは1年次学習中の簿記、演習Ⅱは日商簿記検定2級程度）によります。

なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	かねむら えいてつ 兼 村 栄 哲	経営 A 4 選	4

講義のねらい

受講生の1人1人が、マーケティングにかかわる諸現象を体感し、自分なりに論理的に説明できるようにすることを主な目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

各字の問題意識にしたがって、卒論を作成してもらう。卒論は、ワープロ原稿で、A4版用紙1頁あたり1,200字(40字×30行)で25枚以上とする。

履修上の留意点

以上の3点をとくに要望する。

- (1) 積極的に参加すること(通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも積極的に参加すること。また、単に出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。)
- (2) お互いの親睦を深めること
- (3) 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ず事前にその旨を申し出ること。

成績評価の方法

授業態度、卒論の内容等を総合的に評価する。

教科書

とくになし。

参考書等

適宜、紹介する。

その他

卒業論文の執筆要領は、以下のとおりである。

- 1) 卒業論文は、ワープロ原稿とする。提出は、打ち出し原稿(A4版用紙)とフロッピーディスクの両方である。
- 2) 分量は、1,200字(1行40字×30行)で25枚以上である(図表、注、参考文献なども含む。)
- 3) 特定の文献を参考にしたり、引用したりした場合には、該当箇所とその文献名を明示すること。
- 4) 何を主題とするのかを明示し、かつ、その主題に適した章構成にすること。
詳細については、適宜示す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	こんどう さだお 近 藤 禎 夫	経営 A 4 選	4

講義のねらい

「演習」(以下、ゼミという)は、たんに専門領域の知識を教師が教授するのではなく、教師がゼミの場をリードしながらも学生みずから主体的にゼミのテーマに取り組まなければならない。そのためには自己の属するゼミのテーマをよく理解し、文献をもとに得られた知識をゼミの場で報告し、問題点を明確にしつつゼミでの議論を深めていくことになる。

ゼミは学生相互間および教師との対話を重視し、研究テーマを体系的に把握するよう指導していきたい。また研究報告のみにとどまらず、その時間の議事運営もすべて学生に体験させるように指導している。もちろんゼミの運営そのものも、学生の主体性を重視して自由に取り組むように心がけている。

講義の内容・授業スケジュール

4年次はケース・スタディが中心である。テーマは3年次で決定した「独占・大企業ならびに産業部門別実証分析」とする。したがって、いうまでもなく4年次も新規補充はしない。

成績評価の方法

出席と報告を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	鈴木幸毅	経営 A 4 選	4

講義のねらい

我々の生きる現代は、企業社会といわれ、また組織社会とも言われている。この社会において企業は、経済的権力を握り社会的及び政治的権力を行使しているが、国際化の真価を問われ、著しく進んだ情報化・技術革新によって革命的影響を受け、そして成熟化社会における価値観の多様化によって社会との関係枠組みの変革を求められている。こうした状況は、経営管理（論）の理論的及び実践的研究に対して影響を及ぼす。

以上の認識のもとに、今年度は、「企業責任と環境問題」について検討する。
 <テーマ> 「企業責任と環境問題」

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 企業概念と理論について学習し、それを基礎に「企業責任」を考える。
- (2) 企業の環境問題とは何かについて現実的に捉え、それを理論的に整理し、「企業責任」と「社会的貢献」を明らかにする。

履修上の留意点

教科書を用いないが、プリントにて参考資料を配布する。ただし、これはあくまでも「参考資料」であって、主たる資料とはならないので、個々で調べて勉強しなければならない。

成績評価の方法

個人又は共同論文作成を中心に成績を評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

鈴木幸毅著『環境問題と企業責任<増補版>』（中央経済社）（平成6年）
 同『環境経営学の確立に向けて』（税務経理協会）（平成11年）

専門教育

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	猿山義広	経営 A 4 選	4

講義のねらい

- (1) 中級程度の管理会計に関する知識を一通り習得すること。
- (2) マーケティング会計の基礎概念と基本的手法を習得すること。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 経営者と管理会計 2) 業績評価のための管理会計
- 3) キャッシュ・フロー経営 4) 事業部制と分権的組織の会計
- 5) 損益分岐点分析と直接原価計算 6) 経営戦略と中・長期経営計画
- 7) 利益管理と予算管理 8) 標準原価計算とコスト・コントロール
- 9) インテグレートッド・コストマネジメント 10) 原価企画と戦略的コストマネジメント
- 11) ABCによる間接費管理 12) 経営意思決定と会計
- 13) 戦略的・戦術的価格決定 14) 戦略的意思決定と投資決定
- 15) 物流費、販売促進費の管理 16) 情報技術とソフトの管理
- 17) 研究開発費の管理 18) 海外事業の管理
- 19) マーケティング管理会計 20) ブランド価値会計

履修上の留意点

演習という授業科目では、通常の大教室における授業と異なり、少人数でお互いの口頭表現力を磨き合うことに重きが置かれている。授業中の積極的な質問や意見交換を期待する。

成績評価の方法

成績評価は授業における個々人の報告に基づいて行う。

教科書

櫻井通晴著『管理会計〔第二版〕』2000年（同文館）
 Wilson, R.M.S. 『Accounting for Marketing』（Business Press） 1999

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅲ	たかいてつお 高井 徹 雄	経営 A 4 選	4

講義のねらい

IT（情報技術）が社会のキーワードとされる今日、我々は、真の意味で情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す、高度情報社会に生きています。皆さんが、企業や官庁の有能なスタッフとして「情報エリート」を目指すならば、少なくとも、

- (1) 発見力：与えられるのではなく、自ら問題を発見する能力。
- (2) 洞察力：必要な情報を選び、情報に基づき分析し、問題の本質を解明する能力。
- (3) 解決力：他社と協力しあって、具体的な問題解決策を提案し、実行化する能力。
- (4) 表現力：自らの提案を解り易く表現し、情報発信する能力。

が要求されるはずですが。こうした能力を養って頂くために、毎週の演習、およびゼミ合宿において、適切な題材と環境を用意して行きます。

講義の内容・授業スケジュール

経営における意思決定の問題に、科学的・システムのアプローチすること。これを念頭において、各週の題材を選んで行きます。どの題材についても、概念→理論→技法→道具、の4つのフェーズを通過します。

およそのスケジュールは以下のとおり。受講生とコミュニケーションをとりながら、理解度や興味の方角を見極めながら進めて行きます。

4-12月：ゼミ論テーマ別個人指導

1月：ゼミ論最終発表と提出

履修上の留意点

課外活動を含め、主体的に参加されること。

成績評価の方法

平常点の他、年2回程度与える課題により評価します。

教科書

指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅲ	たかきかつみ 高木 克 己	経営 A 4 選	4

講義のねらい

4年次では、5月半ばから7月にかけて、3年次に作成した進級論文を教材にして論文の書き方、文章の構成、専門用語の使い方等、2、3人の少人数で個別指導を行います。そして後期には、各自選択したテーマの問題点の整理、今後の方向性（解決策等）を中心に報告を行い、4年次終了時には、卒業論文（30枚以上、400字）の作成します。

なお、合宿等の行事は、2年次と同じく例年通りです。

成績評価の方法

出席及び報告により評価します。

参考書等

各自選択したテーマにより紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	た か だ み つ あ き 高 田 光 明	経 営 A 4 選	4

講義のねらい

3年次からの演習に参加している間に、自分なりにどのような問題意識を持ち、いかなるゼミ論文のテーマを選ぶかという作業は、自発的な姿勢で取り組まなければならない。したがって、この作業は、演習Ⅱで述べた大学での教育目的の達成を図る上で、きわめて重要な位置を占めている。テーマを絞り込み、論文作成に至るまでの準備過程には、論文の作成自体に劣らず重大な意義がある。

テーマ探しの過程で文献を探して読み、いろいろと考えるという経験を積むことは、大学卒業後に、仕事の必要に応じて、また自らの関心・興味にしたがい、自分で主体的に学べる能力である自己学習能力を身に付けるために有効である。そして、さらには、そのような経験を積むことにより、物事を自分なりに筋道立てて考える論理的思考能力が育ってくるはずである。

講義の内容・授業スケジュール

3年次に引き続いて、企業の資本調達に関する研究を行う。そして、本テーマでの研究を通して各自が持った問題意識のもとで選んだ個別テーマにより、ゼミ論文を作成する。

履修上の留意点

学部レベルでのゼミ論文の出来・不出来は、テーマをいかに絞り込むかにかかっている。扱うテーマが広いとどうしても掘り下げ不足となり、論文が、概説書の抄録のようなものになってしまうがらである。テーマについては、できるだけ絞る必要がある。したがって、自分が関心を持って扱おうとする領域に関して理解を深め、テーマを絞り込める眼を育てることが肝要である。

成績評価の方法

ゼミ論文を中心として、適宜提出を求めるレポートも加味して評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	た き た こう い ち 滝 田 公 一	経 営 A 4 選	4

講義のねらい

演習Ⅰ、Ⅱで習得した、資料の分析的読み、批判的読み、データの情報処理技術などを活用して、ゼミ卒業論文を作成していただきます。ゼミ卒業論文の作成を義務づける理由は、次のようであります。すなわち、

- (ア) どのようなトピックをゼミ卒業論文のテーマとしたらよいか、すなわち、課題の切り出し方を学ぶ。
- (イ) 自分の考えを論理的に明確にし、読者に理解しやすいように、幹線のわかる構造を持った論文の書き方を学ぶ。

と言った、知的作業については、その重要性にもかかわらず、これまで、日本の学校教育では、その教育が十分になされてこなかったように思われるからであります。最後に比較的入手が容易であろうと思われる参考文献をあげておきます。

成績評価の方法

成績評価は、提出していただいたゼミ論文によって行います。

参 考 書 等

澤田昭夫『論文の書き方』（講談社学術文庫）昭和52年
 澤田昭夫『論文のレトリック』（講談社学術文庫）昭和58年
 梅棹忠夫『知的生産の技術』（岩波新書）昭和50年
 川喜田二郎『発想法』（中公新書）昭和51年
 中野不二男『メモの技術－パソコンで知的生産－』（新潮選書）平成9年

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	<small>ながせかつひこ</small> 長瀬勝彦	経営 A 4 選	4

講義のねらい

このゼミは組織とコミュニケーションの問題をテーマとしています。組織が組織として成立し続けるためには、メンバー間のコミュニケーションが不可欠であって、組織内部では常時様々な形態のコミュニケーションが交わされています。その中でわれわれがもっとも注目するのが、協力や交渉に関わるコミュニケーションです。組織の中で物事を進めるには、メンバー間の協力や交渉が欠かせません。そこに交わされるコミュニケーションを多面的に追求しましょう。

講義の内容・授業スケジュール

4年次は個人研究論文を作成し、ゼミ論集にまとめます。
 全学年合同で年に2回おこなわれる合宿も重視しています。競技ディベートや模擬裁判、模擬面接、プレゼンテーションなど、特別プログラムを用意しています。

履修上の留意点

手書きのレポートは許されていませんので、選抜の合格者はゼミ開始時までにワープロでレポートが作成できるようにしておく必要があります。自宅に持っていない場合は、登録して大学の自習室のパソコンを使用してください。みなさんが会社に入ると、文書は全てワープロになります。今のうちに修得しておきましょう。
 また作成されたレポートや用語集などは、順次インターネット上のゼミのホームページ (URL = <http://user.komazawa.com/nagase/zemi/>) に公開されます。当ゼミはコンピュータのゼミではありませんが、インターネットは現代社会的生産に必要なツールとして認識しています。ゼミのホームページの制作とメンテナンスも重要な活動のひとつです。選抜の合格者に対しては簡単な講習会を開きます。

このゼミの参加者に必要な資質は、何を措いても旺盛な知的好奇心です。森羅万象に興味を抱き、新聞を読み、書物を読み、マンガを読み、映画を観、町を観察し、友と語り、大学の講義にも出る (!) という貪欲さが要求されます。次に必要なのが、現象の背後に潜む法則をあぶり出す抽象的思考力。要は自分の頭で考えることです。さらに言えば議論好きなこと、文章を書くのが苦にならないことが望ましいのですが、そうでなくとも、努力を惜しまない姿勢があれば大丈夫です。

合宿を含め、遅刻や欠席が一定数を超えると自動的に除名になるので注意してください。元氣あふれる新人をお待ちしています。

教科書

随時指示します。

参考書等

随時指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	<small>ながたともりのり</small> 永田智則	経営 A 4 選	4

講義のねらい

当ゼミナールは国際経済学にかかわる事象を研究対象としている。
 近年の国際的相互依存の關係の緊密化は、どの国の経済にとっても、国際経済とのかかわりがいかに重要であるかを認識させてきた。ある国で生じた経済問題は、その影響が全世界に波及し、世界経済の流れを変え、各国経済に変革を迫る。この流れに対応できない経済は取り残され、困難に直面する。

当ゼミナールでは、世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の關係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解することを目標としている。

講義の内容・授業スケジュール

「演習Ⅲ」では研究活動の集大成としてゼミ論と取り組み、経済開発と貿易の關係を整理しながら、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深める。

履修上の留意点

無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。

成績評価の方法

授業中の発言や提出レポート等を含め、ゼミ活動にどの程度積極的に参加したかを最大の評価ポイントにする。

教科書

教科書及び参考書等については必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅲ	なかむら こういち 中 村 公 一	経営 A 4 選	4

講義のねらい

本演習は現代企業の経営戦略を多面的に把握し、(1)文献講読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する分析力と洞察力、(2)実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力を養っていくことを目的とする。そして、数多くの課題をこなす中で各人の能力(スキル)アップを図る。

講義の内容・授業スケジュール

文献講読による経営戦略論に関する基本知識の習得とともに、ケーススタディやビジネスプラン策定などにより実践的場面でも活用できる能力の向上を図る。従って、文献の理解力とレポート作成能力、そして思考力やプレゼンテーション能力も強化していく内容で演習を進めていく。そのために、毎週の演習以外に、年数回の研究会と勉強合宿を計画している。

履修上の留意点

毎週レポートを宿題として課すために、相当の勉強時間の確保が必要である。

成績評価の方法

出席と授業への積極性、レポート内容、年度末に提出するゼミ論文によって評価する。特別の用事のない無断欠席等は厳しくチェックする。

教科書

教科書は基本的に年1冊使う予定です。
あとは教材のコピーを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅲ	にしむら かずお 西 村 和 夫	経営 A 4 選	4

講義のねらい

【テーマ：コンピュータ科学】 論理的な文書の書きかた、発表のしかた、情報の検索のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

演習 3

論文の書きかたを習得する [3]。

- ・資料の調査
- ・中間発表とレポート提出
- ・論文の作成と発表
- ・論文提出
- ・発表会

その他

- ◆就職活動についてのアドバイス。ビジネス文書の書きかた [2]。
- ◆情報処理技術者試験の受験のための学習。
- ◆合宿(年1度)・イベント(年1~2度)。

履修上の留意点

西村の“演習Ⅱ”を履修していること。

成績評価の方法

出席のほかに、ゼミ論文。

参考書等

- [2] 吉田幸生『仕事の文章が面白いほど書ける本』(中経出版) 1992
- [3] 木下是雄『理科系の作文技術』(中公新書) 624、1981

その他

西村ゼミのページ: <http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/>

講義内容のページ: <http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/Nis/lecture/seminarA.html>

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	はとり <small>しげる</small> 羽 鳥 茂	経営 A 4 選	4

講義のねらい

進化ゲーム理論とその1つの応用分野である比較制度分析を学習し、経済システムの比較、コーポレート・ガバナンス、企業システムの進化の問題などを日本経済を中心に考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅲではゼミ生各自が研究テーマの進捗状況について逐次報告し、卒業までの間に具体的な成果があがるように指導していきたい。

履修上の留意点

積極的にゼミに参加することだけを学生諸君に要望する。

成績評価の方法

出席状況とゼミへの積極性ならびに年度末に提出する課題レポートによって成績評価する予定である。

参考書等

必要な時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	ふじわら <small>あつし</small> 藤 原 篤 志	経営 A 4 選	4

講義のねらい

本演習ではテーマを「現代企業における生産・技術・労働」とし、このテーマに沿ってゼミ生各人が自分の関心のあるテーマを設定し、それについて研究し各人がゼミ論文を作成することを最大の目的としている。またゼミ論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）を行ってもらい、その中で議論・討論を行う形で授業をすすめていく。この研究発表・報告・討論を通じて、各人が論理的に思考し、自分の意見を的確に表現する練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

3年次・4年次では、先述のように各人がゼミ論文のテーマを設定し、論文作成のための研究を進めていく。授業自体は各人による研究発表・討論で行われる。このようにゼミは発表・討論を中心に行われるため、ゼミ内に全員が積極的に発言できる雰囲気を作りたい。そのため、授業以外の活動（コンパ、合宿、工場見学など）に参加することが原則である。その他、一層の勉強、および親睦を深めるためサブゼミの開講も予定している。

履修上の留意点

以上のような内容なので、中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。毎回少なくとも1回は発言することが義務付けられるので、消極的な姿勢でゼミに参加する者にとっては苦痛でしかないであろう。本ゼミでは何よりもやる気のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	みやぎ <small>てつ</small> 宮 城 徹	経営 A 4 選	5

講義のねらい

演習Ⅲ（4年）

4年次ゼミ生は、400字詰原稿用紙30～50枚程度のゼミ論文の作成にとりかかる。そのさい、テーマに密接に関連のある邦訳書・邦語の文献を適宜指示するが、英語圏あるいはドイツ語圏の論文をゼミ論文の素材にしたいというゼミ生に対しては、然るべき論文を1本割り当てるので、それを翻訳してゼミ論文に加味してもよい。また、論文を仕上げるまでの日程等についてもアドバイスする。

※ ゼミは、毎回1人あるいは複数のリポーターが与えられた範囲をレジュメに基づいて報告し、その他のゼミ生もそれを中心にして活発にディベートするように進める。

※ ゼミの中心的素材はゼミの開始時に指示する。

※ 齊藤 孝著『学術論文の技法』（日本エディタースクール出版部）平成9年、を入手のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	やまだ まさる 山田 勝	経営 A 4 選	4

講義のねらい

特に商業経営を中心にすえ、経営者（商人）の役割と資質を勉強する。商人を勉強の対象としながら、自分との比較を行い、自ら事業を起こす可能性とそのために必要な学習をしてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

経営の基礎として、年度始めに各ゼミごとに指定する教科書・副読本を読みレポートする。日本経済新聞は（毎朝夕）は必読とする。
毎週英語の経済雑誌からCover Storyなどのコピーを配布するので読んできてもらい、内容についてディスカッションする。英語を学ぶのではなく、英語で（国際的センスで）現下の経営環境と問題を理解してもらう。ボーダレス時代に入り、グローバルな経営を理解し、そこで活躍するには国際語としての英語は必須であることを肝に銘じ、英語力の乏しい学生にはアルバイトではなく、英語力の強化に課外時間を充ててもらう。

成績評価の方法

平素の発表を評価していく。

その他

- (Ⅰ) 商業活動には簿記・会計、商法、手形・小切手法の知識、パソコンの使用が必要である。授業時間外に学習してもらう。
- (Ⅱ) 授業時間はディスカッションに充てるので、十分な予習、欠席をしないこと、積極的な発表を求める。
- (Ⅲ) 時間外に出来るだけ補講として企業見学などを実施する。履修希望者にはそれらも授業の一部として理解してもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	わたなべ えいちろう 渡邊 恵一郎	経営 A 4 選	4

講義のねらい

会計の主な役割は、家計・企業・官公庁その他の経済主体の経済状況を計数（貨幣）的に表現し、これを利用する人々に伝達することにある。私の演習では、特に現代の経済社会の重要な経済主体である企業の資金会計を中心に、実務に役立つ基礎知識が得られるよう指導する。

講義の内容・授業スケジュール

授業時間内には、簿記の基礎を涵養し、次に資金会計の体系的な研究および有価証券報告書の見方などを修得させる。
4年次……3年次に引き続き、経営分析を含めた資金会計論を学修する。その後、わが国の主要企業が作成し市販されている有価証券報告書の一般的な見方を解説する。この報告書には、企業に関する数多くの情報が多角的に開示（ディスクローズ）されていて、学生諸君の就職活動などへの有用な情報源でもある。最後に演習の総仕上げとして、卒業論文の作成指導を行う。毎年、自主的に卒業論文集「恵流」（本年第29巻）を刊行している。

履修上の留意点

2年次から4年次まで一貫して段階的に学修するので、出席率を重視し、3年間継続して履修すること。なお、授業時間外では、前述のゼミナール大会（11月関東、12月全国）に出場のため夏合宿などを行う。

成績評価の方法

成績評価は、平常点、協調性および出席率を総合して行う。

Ⅲ 他学部履修科目

Ⅲ. 他 学 部 履 修 科 目

禅学概論	〈佐藤秀孝〉	359
中国禅宗史	〈田中良昭〉	359
日本禅宗史	〈石井清純〉	360
禅籍講読Ⅰ	〈石井修道〉	360
禅籍講読Ⅲ	〈石井清純〉	361
仏教概論	〈池田練太郎〉	361
インド仏教文化史	〈金沢篤〉	362
中国仏教文化史	〈永井政之〉	362
日本仏教文化史	〈袴谷憲昭〉	362
中国古典語初級	〈石井公成〉	363
中国哲学史	〈前川亨〉	363
上代文学研究Ⅰ	〈小野寛〉	364
中古文学研究Ⅰ	〈松岡智之〉	364
中世文学研究Ⅰ	〈櫻井陽子〉	365
近世文学研究Ⅰ	〈近衛典子〉	365
近代文学研究Ⅰ	〈山崎眞紀子〉	366
比較文学	〈満谷マーガレット〉	366
児童文学	〈国松俊英〉	367
西洋思想史	〈柴野博子〉	367
演劇概論	〈井上理恵〉	367
編集実務	〈長谷川孝〉	368
イギリス文学特講Ⅰ	〈荒井良雄〉	368
イギリス文学特講Ⅱ	〈高野正夫〉	369
イギリス文学特講Ⅲ	〈岡崎寿一郎〉	369
イギリス文学特講Ⅳ	〈中岡洋〉	370
イギリス文学特講Ⅴ	〈富士川義之〉	370
イギリス文学特講Ⅵ	〈丸小哲雄〉	371
アメリカ文学特講Ⅰ	〈東雄一郎〉	372
アメリカ文学特講Ⅲ	〈足田和人〉	372
演劇特講(イギリス・アメリカ)	〈落合和昭〉	373
時事英語	〈荒井良雄〉	373
人口地理学	〈大友篤〉	374
文化地理学	〈小田匡保〉	374
応用地理学	〈高木正博〉	375
現代地理学特論	〈長谷川均〉	375
日本史特講Ⅶ(近代)	〈小泉雅弘〉	376
東洋史特講Ⅹ(近・現代)	〈休講〉	
考古学特講Ⅲ	〈酒井清治〉	376
西洋文化史Ⅰ	〈佐々木真〉	377
日本民俗学	〈谷口貢〉	377
哲学史	〈山口祐弘〉	378
歴史哲学	〈久保陽一〉	378
産業・職業社会学	〈山田信行〉	379
マス・コミュニケーション論	〈川本勝〉	380

社会福祉発達史	〈林野千代〉	380
国民所得論	〈吉野紀一〉	381
中小企業論	〈吉田敬博〉	382
社会政策論	〈光岡博美〉	383
教育経済論	〈谷敷正光〉	384
アジア経済論	〈鄭章淵〉	386
中国経済論	〈小杉修二〉	387
アメリカ経済論	〈瀬戸岡紘志〉	388
ロシア・東欧経済論	〈山縣弘志〉	389
商業政策論	〈岩下弘造〉	390
貿易法各論	〈古沢藤寿〉	391
行政比較憲法論	〈斉藤智香〉	392
親族統制法	〈竹中智香〉	394
西洋米法	〈北野かほる〉	395
英米法	〈北野かほる〉	396
経国際政治学	〈岡田外司博〉	397
ヨーロッパ政治史	〈小堀訓男〉	397
地方自治法	〈浦田早苗〉	398
地方自治関係法	〈富井幸雄〉	398
議会法	〈前田英昭〉	399
立法比較政治学	〈休三竹直哉〉	400
現代国策論	〈大塚桂講〉	401
比較憲法	〈休岡本誠〉	402
時事英測学	〈岡本英次〉	402

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅学概論	さ と う し ゅ う こ う 佐 藤 秀 孝	営 A	4

講義のねらい

禅学とは禅に関する学である。禅（禅那）という修行法はインドに発生し、仏教に取り入れられ、中国や朝鮮さらに日本など広範に展開したものである。一概には規定できないが、この講義では禅と禅宗に関する基本的な知識を歴史面と思想面から概説し、あわせてそれら禅学研究のあり方について触れるものである。禅宗は仏教の中でもっとも実践的な宗派であり、中国・日本の歴史と文化に大きな足跡を記し、今日においては国際的関心も高い。この禅を学問的に考察せんとするのが禅学であり、本講義はその概論・概説にはかならない。

はじめにインド仏教における禅（禅定）について触れ、さらに禅の歴史的考察として、菩提達磨に始まる中国禅（禅宗）の基本的な歴史（禅宗史）を禅思想の展開を踏まえつつ概観し、また日本の禅宗にも及びたい。さらに思想面としては、禅の立場、禅の人間観・修行観、禅の生活さらに禅と文化、禅の今日的課題（本覚思想・見性の問題）など、およそ禅に関する諸方面からの概説的考察をなしたい。そして、これらに並行して禅学に関するそれぞれの分野における研究方法や基本的な資料などについても解説するつもりである。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習態度）と年度末の定期試験による。

教科書

教科書とはくに指定しないで、その都度、諸資料をコピーなどで配布する。

参考書等

参考書としては駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）や田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版）が有効であろう。

その他

授業方法としては原則として講義方式で行なう。

履他
修学
科目
目部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国禅宗史	た な か り よ う し ゅ う 田 中 良 昭	営 A	4

講義のねらい

本講座は、中国の禅宗の歴史を考察するものである。仏教の実践道とされた禅が中国に伝来し、菩提達磨を初祖とする系統がやがて中国禅宗を形成し、更にそれが独自の展開を果たし、後にチベット、韓国、日本へと伝承された。この中国禅の歴史的展開を、近年出現した敦煌資料を活用しながら検討する。

講義の内容・授業スケジュール

仏教における禅の状況を序説的に第Ⅰ部とし、達磨の渡来による独特の禅法の開示から、馬祖の洪州宗、石頭の石頭宗によって禅宗が一宗として確立された中国禅宗の成立を第Ⅱ部とし、禅宗が五家七宗として各々その特性を發揮する唐末・五代から、日本の禅宗の元となった宋朝の禅、更に元代以後の禅という中国禅宗の展開を第Ⅲ部として全体を体系化する。

履修上の留意点

中国・日本の禅学や曹洞宗学を学ぼうとする学生諸君には、その基礎的な知識として歴史的な禅の流れを確かなものしておくことが、その後の学習にとって最善の方法である。

成績評価の方法

学年末試験を中心とするが、平常の授業への出席を重視し、その結果を加味して評価する。

教科書

現在適当なものが存在しないので、ノートを使用する。

参考書等

比較的理解しやすいものに、〈講座禅〉第3巻『禅の歴史 -中国-』中の柳田聖山稿『中国禅宗史』と近刊の伊吹敦『禅の歴史』がある。専門書としては、関口真大『禅宗思想史』、柳田聖山『初期禅宗史書の研究』、『禅仏教の研究』、田中良昭『敦煌禅宗文献の研究』、篠原壽雄・田中良昭編『敦煌仏典と禅』、鈴木哲雄『唐五代禅宗史』、『中国禅宗史論考』、石井修道『宋代禅宗史の研究』等が代表的なものであり、研究の手引書として田中良昭編『禅学研究入門』がある。

その他

授業の方法は講義であり、ノートを使用し、必要に応じて資料を配布し、内容についての説明を可能な限り詳細に加えていきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本禅宗史	い し い せいじゆん 石 井 清 純	堂 A	4

講義のねらい

中国において成立した禅宗は、鎌倉時代に日本に伝播し発展した。それは、ある部分では中国の叢林制度そのままの移植であり、またある部分では柔軟に日本の文化に順応して変容した。本講義では、その展開の様相を歴史的に概観し、現存する禅宗各派の成立基盤を明確化してゆく。

講義の内容・授業スケジュール

禅の伝来より、時代を追って明治時代の禅宗三派の成立までを概観する。
 1. 奈良・平安時代の「禅」の伝来、2. 「禅宗」の成立、3. 五山と林下、
 4. 禅宗教団の地方展開、5. 江戸幕府の宗教政策と禅宗、6. 隠元の来朝
 7. 明治維新と禅宗の統合、8. 禅宗各派の再成立。

成績評価の方法

前期終了時のレポートおよび年度末の筆記試験をもって判定する。

教科書

講義ごとにプリントを配布。

参考書等

竹貫元勝『日本禅宗史』（大蔵出版）・船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅籍講読Ⅰ	い し い しゆうどう 石 井 修 道	堂 A	5

講義のねらい

この講義は禅宗史話を原典テキストで味読するものである。唐代の最も魅力ある禅者を一人一人読み進めて行きたいが、年間、数限られた人数しか触れられないであろう。しかし、できるだけ多くの禅者に触れてみたい。①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨薬山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭潯山靈祐⑮黄壁希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを中心としたい。話は公案化されたよく知られたものを紹介したいが、興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

原典にいきなり真っ正面からぶつかる。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート提出20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参考書等

入矢義高『臨濟録』（岩波文庫）、入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）。

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単 位
禅籍講読Ⅲ	い し い せいじゆん 石 井 清 純	営 A	4

講義のねらい

この講義は、日本において禅宗が成立した当時の禅籍を講読するものである。具体的には、日本史の時代区分でいうところの中世、すなわち鎌倉時代から室町南北朝時代に編集された禅語録や法語類がこれにあたる。

禅宗は、鎌倉時代、武家政権の幕開けと共に日本に伝来したことで知られる。そしてそれは、その後、一部では中国の五山制度を導入することにより中央に進出し、また他方では、種々の宗教的要素を取り込んで地方に展開していった。つまり、この時代は、まさに日本の禅宗が生まれ、そして独り歩きを始めた時代なのである。

この講義では、まず、禅の表現形式に慣れるために、各種仏教関連の辞書を用いて丹念に禅籍を読み進める。そしてさらに、読み進んだ内容から、日本の禅林の思想的特徴を把握できればと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、日本における禅思想の特徴を見出す意味から、臨済宗大応派の日本人禅匠の語録を読み進める。この派は、後の日本禅林の展開に大きな影響を与えたものであり、その主張を知ることが、禅の日本の展開の様相を知るに不可欠といえる。

講義前半は、対象となるテキストをプリントにて配布、そこに現われる禅語の意味を、一つ一つ丹念に辞書を用いて確認してゆく。これは、禅籍の独自の漢文表現と、仏教関係辞書の検索方法の双方に慣れることを意図したものである。

辞書使用方法と漢文表記に慣れたところで、後半は、思想的内容を読解する演習へと移行してゆく予定である。

履修上の留意点

辞書や参考書類は用意するが、自己の読解力を高める意味でも、講義中に用いる基本的な辞書類は各自で用意されたい。

成績評価の方法

前期中に2回、後期中に1回、計3回の小テスト（ペーパーテスト）を行なう。それに年度末の定期試験を加えた計4回のテストを総合して成績を評価する。

教科書

講義ごとにプリントを配布。

参考書等

講義中に使用する予定の辞書類
『禅学大辞典』（大修館書店）、『中日大辞典』（大修館書店）、『禅語辞典』（思文閣）
『新字源』（角川書店）、『助字小字典』（内山書店）

履他
修学
科目
目部

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教概論	い け だ れんたろう 池 田 練 太 郎	営 A	4

講義のねらい

本講義は、仏教の基本的な要素である三宝（仏・法・僧）の体系にしたがって、開祖であるブッダ、その教義、それを維持し展開させた教団の順に仏教の基本的立場を概説していく。内容はインド仏教が中心になるが、中国・日本などの諸地域に広まった仏教にもふれていく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

教科書として用いる『仏教入門』の次第にしたがい、最初に「仏教とは何か」について考え、その後、①ブッダの生涯、②仏の本質、③法——仏教の真理観、④一切法——法の分類、⑤輪廻と業・煩惱、⑥悟りへの道、⑦心——実践の主体、⑧修行者の理想像、⑨戒律と教団の組織、⑩仏教の歴史（インドとその周辺・中国・朝鮮・日本）の順に進めていく。

成績評価の方法

授業中に数回行う予定の小テスト、及び年度末の定期試験によって評価する。

教科書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会刊）2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インド仏教文化史	かなざわ 金 沢 あつし 篤	営 A	4

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインド的物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教 科 書

指定なし（資料は教場で適宜指示する）。

参 考 書 等

教場で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国仏教文化史	ながい 永 井 まさし 政 之	営 A	4

講義のねらい

ここでいう「文化」とは、現代の我々が日常的にイメージするそれではなく、「人間の営み」としての文化である。当然、「仏教」という宗教も「文化」の枠組みの中に入る。このように「仏教」ととらえるとき、それが中国の歴史の中で、どのような変化展開をしたか。それが本講義のテーマとなる。

今年度は、インドで生まれた仏教が中国に定着するさまざまな紆余曲折の中で、特に興味を引く「仏・菩薩への信仰」を取りあげて考えてみたい。

成績評価の方法

成績評価は平常点に期末試験の結果を加味する。

参 考 書 等

必要な参考書は授業において指示する。またコピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本仏教文化史	はかまや 袴 谷 のりあき 憲 昭	営 A	4

講義のねらい

この講義では、日本に完全に定着してしまった仏教文化の実態を、江戸期に成立した仏教以外の文献を通して、分析的に考察することに主眼を置く。その目的で、文献としては、江戸初期に成立したと見做される邦人イラン不于斎巴鼻庵の『妙貞問答』上巻と、江戸末期に富永仲基(1715-1746)によって著わされた、『翁の文』『出定後語』とを主として取り上げる。これらの講義を通して、永い鎖国政策の間の仏教が、これ以前に成立していた仏教と、明治以降今日に至る仏教との間で、いかなる意味で思想的につながっているかを再考することになるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

講義における文献の取り上げ方は、必ずしも通時的ではないだろうが、前期にまず『翁の文』を講読して、仲基の「加上説」が思想史における思想構築の意味をどのように認識したものであるかを検討することから開始することは決まっている。

履修上の留意点

参加者は、文献を自ら読もうとしていることが要求される。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法も変りうる。

教 科 書

石浜純太郎・水田紀久・大庭脩校注『翁の文』、日本古典文学大系97、近世思想家文集（岩波書店、1966年）。ただし、入手困難かもしれないので、必要に応じてコピーを配布する。

参 考 書 等

講義において適宜指示する。

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国古典語初級	い し い こう せい 石 井 公 成	営 A	4

講義のねらい

漢文読解の基本的な力と、中国思想の基本的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本的な文法から始め、中国仏教に大きな影響を及ぼした『老子』『荘子』『易経』およびそれらの注釈を読む。

履修上の留意点

口頭での訓読、現代語訳、訓読からの漢文の復原など、学生諸君に作業を課しながら講読してゆくため、予習が必要である。

成績評価の方法

試験を行うが、授業中に上記の作業をよく担当している者については、平常点を加算する。

教科書

使用せず、コピーを配布する。

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国哲学史	まえ かわ とおる 前 川 亨	営 A	4

講義のねらい

中国人の世界観、人間観の歴史的展開を把握することを目的とする。儒教・道教・仏教の思想とその相互関係の理解が主な課題である。特に、東アジア世界の中での中国思想という視野を失わないように心掛けたい。中国人の思考様式の特徴を明らかにし、それが日本人の思考様式とどこまで共通し、どれだけ異なるかを考える機会となれば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は孔子から始めて唐宋代に至る時代を取り扱う。その場合にも、断代史的ではなく問題史的に進めていくので、近・現代との関係も考慮することになるであろう。受講者はそこから関心のある問題を発見して行ってほしい。

履修上の留意点

中国の思想・宗教・文化・社会などに関心を有する多様な受講者の参加を希望する。古典中国語もしくは現代中国語の初歩的な知識をもっていること（少なくともそれらの語学に履修意欲をもっていること）が望ましいが、授業じたいはその方面の知識なしでも理解可能であろう。ただし、継続して出席する意志と意欲を有する者以外の登録は認めない。レポートのみ提出して単位を取得しようなどという安易な気持ちでの受講はお断りする。問題意識と積極的な意欲に富む受講者を求める。

成績評価の方法

授業の内容に関連するレポートを前期と後期に提出してもらう。

教科書

特に必要としない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

できるだけ多くの情報を提供するため、講義形式をとるが、受講者の意見を徴しながら進めたい。積極的な問題提起、討論を歓迎する。

他
履修
学
科
目
部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上代文学研究Ⅰ	おののひろし 小野 寛	営 A	4

講義のねらい

万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

万葉集全20巻から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。

履修上の留意点

講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみる。質問も歓迎。

成績評価の方法

数回のレポートと学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教 科 書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中古文学研究Ⅰ	まつおかともゆき 松岡 智之	営 A	4

講義のねらい

平安時代の仮名文学作品では、人生のいかなる局面でいかなる詩（和歌）が生まれるのかという関心が、作品生成の基盤となっているものが多い。本講義は、こうした作品形成のあり方をさまざまな作品の分析的読解を通して考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

①『伊勢物語』を出発点に、和歌と歌物語的ないし歌日記的なものに関する問題提起をする。
②平安時代の和歌の特色を、前代とのつながりを考慮しながら把握する。③『伊勢集』冒頭部および『平中物語』を解説する。④『蜻蛉日記』『和泉式部』等、日記文学における和歌のあり方を考える。⑤①～④の検討を踏まえ、『源氏物語』を読解する。

成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教 科 書

プリント配布。

参 考 書 等

授業時に紹介する。

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学研究Ⅰ	さくらい ようこ 櫻井陽子	営 A	4

講義のねらい

源義経（牛若丸）像が日本の文学や芸能の中で、どのように形成され、また、変貌を遂げていったのかを追い、日本人がこの悲劇的、英雄的生涯を終えた人物に何を託したかったのかを、作品に触れながら明らかにしていく。また、知識階級の占有物ではない文学、或いは文化を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

義経についての記載を追って、下記の各文献を読む。
 平家物語
 平治物語
 吾妻鏡、及び歴史史料
 義経記
 謡曲
 おとぎ草子

成績評価の方法

出席、授業態度、レポートによって総合的に評価する。

教科書

授業時に適宜プリントを用意する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学研究Ⅰ	このえのりこ 近衛典子	営 A	4

講義のねらい

上田秋成の読本『雨月物語』を読む。

講義の内容・授業スケジュール

単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説、日本の古典作品の精読、本文との比較検討を通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。

教科書

鴛山樹心編『講読雨月物語』（和泉書院）

その他

講義

他
履修
学
科
目
部

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近代文学研究Ⅰ	やま さき まき こ 山 崎 眞 紀 子	営 A	4

講義のねらい

1979年『風の歌を聴け』でデビューした村上春樹は、現在も第一線で活躍している作家である。この間、日本は経済効率優先の社会システムのもとに進んできた。結果、バブル経済、サブカルチャー、家族制度の崩壊などを生みだしてきた。共闘から個人へと変換してきたことも大きいだろう。村上春樹は人々が共闘している際にも個人で、徹底的に自分の足元を見続け、たとえていえば自分の中の井戸を汲み上げるようにして書いてきた作家である。もはや、現代は経済効率優先の社会システムのままでは、各所にはころびが生じてきている。こういう時代に、村上春樹作品を読むことによって、社会システム内に無自覚に呑み込まれるのではなく、個人一人一人が自分の井戸を汲み上げ、これから先の時間をどのように構築していくのかを考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

村上春樹作品の代表作を基本的には発表時間順に読んでいく。主に文庫本をテキストとする。

履修上の留意点

事前にテキストの指定部分を必ず読んでくること。授業時間の前半は講義式で進め、後半は各自考察を深めるために課題に従って文章化したり、意見を発表して貰ったりする。従って、授業に積極的に参加する姿勢が必要となってくる。テキストを読んでこなかったり、私語をしたり、テキストを持参せず眠っている、などという態度は困るので、履修をする場合は、これらのことをしないことが条件となる。なお、携帯電話は講義中に触れることも認めません。

成績評価の方法

平常点（授業への参加度や授業時の意見や文章等）を何よりも重要視する。学年末にレポート提出を課すか、ペーパーテストを行うかは、受講者の反応に従って決定したい。全講義数のうち、3分の1以上の欠席の場合は単位を認定しないので注意すること。

教科書

（新潮文庫）『世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド』（上・下）、（新潮文庫）『ねじまき鳥クロニカル』（第1部～第3部 全三巻）、『図書館奇譚』（講談社文庫『カンガルー日和』所収）、『眠り』（文春文庫『TVビープル』所収）、『ねじまき鳥と火曜日の女たち』（文春文庫『パン屋再襲撃』）、『街と、その不確かな壁』（文庫本未収録なのでプリント作成）

参考書等

総合的には『村上春樹作品研究事典』（鼎書房）3,800円があるが、購入を強制するものではない。他の参考書及びサブテキストについては授業中適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
比較文学	みつたに 満谷マーガレット	営 A	4

講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。まず、最近話題となっているジェンダー翻訳論やポスト・コロニアル翻訳論を含めて、さまざまな翻訳論を紹介しながら、言語と文化の問題を幅広く扱う。比較文学の伝統的な主題である「影響関係」の枠を超えて、翻訳が創作活動をどう刺激したかが見えてくるはずだ。また、翻訳は「読む」ことから始まるとすれば、それは当然「誤読」を伴う。日本の近代は西洋を「誤読」することから出発したといえるだろうし、西洋も日本を「誤読」し続けているといえるだろう。小説、詩、児童文学など、具体的なテキストを読みながら、明治の翻訳者が西洋から何を、どのように取り入れようとしたのかを見るとともに、十九世紀のジャポニズム（日本趣味）から戦後のハイク・ブームにいたるまで、西洋が日本をどのように読んできたのかを見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義を中心に進めるが、テキストを読むこともある。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。外国語のテキストには必ず日本語訳か解説がつく。横文字アレルギーの人は困るだろうが、英語に堪能である必要はない。

成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

教科書

プリント

参考書等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995
日本近代思想体系15『翻訳の思想』（岩波書店）1991
西田直敏『「新体詩抄」 研究と資料』（翰林書房）1994など

他履修科目
学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児童文学	くにまつ としひで 国 松 俊 英	営 A	4

講義のねらい

童話や児童文学といえば、かつては「子どもに役立つ文学」、「子どものためになる文学」という考えが中心だった、大人が子どもに与えるものであった。けれどその考えは、時代とともに変わってきた。現代では「大人と子どもが共有できる文学」と考える人がふえてきた。大人が楽しめ、感動できる児童文学が多く生まれるようになった。この時間は、児童文学の特質、そのジャンル、作家と作品について学ぶ。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、レポート

教 科 書

適宜プリントを配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋思想史	しば の ひろこ 柴 野 博 子	営 A	4

講義のねらい

生の哲学と解釈学を中心に、19世紀から20世紀の西洋思想をみてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はショーペンハウアーとニーチェの思想をとりあげ、後期はデイルタイとガダマーの解釈学をとりあげます。

成績評価の方法

年2回の筆記試験またはレポートによって評価します。

教 科 書

久保陽一『原典による哲学の歴史』（公論社）

履他
修学
科目
目部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演劇概論	いのう え よし え 井 上 理 恵	営 A	4

講義のねらい

演劇とは何か、演劇学とは何か、について西洋及び日本のこれまでの演劇論を検討しながら考えていく。特に戯曲と演出、俳優、演技の関係、文学と演劇の間に横たわる深く広い大河をいかように収斂すればいいのかについて考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

演劇史、ドラマトウルギー論、演劇理論史など、ギリシャからフランス、イギリス、ドイツ、そして日本の状況等について比較検討しながら触れることになろう。ビデオや舞台上で展開される演劇を観て、西洋と日本の文化の違いを理解し考えるつもりである。

履修上の留意点

個別な日本の戯曲を検討する時間はないので個別研究を学びたい者は国文学特講Ⅹを同時に受講されることが望ましい。
また、実際の舞台を見にいて批評を書いてもらうつもりであるから本講座を受講する者は前期一回、後期一回、劇場に足を運ぶことを条件としたい。

成績評価の方法

成績評価はレポート（二回の観劇批評およびその他二回）およびテスト

教 科 書

授業時に販売（約500～800円）「井上理恵講義ノート」（私家版）

参 考 書 等

毛利三彌『東西演劇の比較』（放送大学教育振興会）

そ の 他

講義形式。ビデオ視聴や観劇後には討論をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
編集実務	ほせがわ たかし 長谷川 孝	営 A	4

講義のねらい

編集とは、<誰かに——何かを——伝える>過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、そのための知的基礎体力・感覚的な力をきたえ、「何を・なぜ」伝えるのかを考えて、自分なりの「目のつけどころ」(視点・視野・視角)をつくることを目指します。また、編集のはたらきは日常生活の中でだれもが行っていることなので、それを意識的に適用し、情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」になるために役立つことを願っています。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の執筆・現行の整理やレイアウトなど、実際の常識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や、編集をする上での意思や責任を考えます。とくに、ものごと・できごと、文章やデータから「何か」とその意味を読み取り、感じ取り、問う力、自分の表現をつくり出す力を養うよう考えています。

履修上の留意点

授業を「取材」する(「教わる」ではなく)という構えで参加してください。また授業で「取材」した(自分なりに感じ気づき考えた)ことを、毎時、短い文章で書いてもらいます。

成績評価の方法

自己評価点および、課題作品(B4判2つ折4ページの個人紙・誌を制作)と授業で書く短文(感想文)など平常の提出物によります。

教科書

プリントを使用します。

履修科目
他学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅰ	あらい よしお 荒井良雄	営 A	4

講義のねらい

シェイクスピアの全作品を中心に、エリザベス朝演劇をとりあげて、イギリス演劇の特色と思想的文化的背景を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

ギリシャ・ローマ演劇やシェイクスピア以前の聖書劇や道徳劇にふれたのち、シェイクスピアの史劇、喜劇、悲劇、悲喜劇と、クリストファー・マーロウやベン・ジョンソンなどの劇をとりあげる。

履修上の留意点

イギリス演劇史の中で最も活気に満ちたルネッサンス時代の演劇を考察するので、イギリス史や演劇史の参考書を読んでおくことが望ましい。

成績評価の方法

夏休みのレポートと冬休み前の試験で評価する。

教科書

『イギリス文学案内』野町二・荒井良雄著(朝日出版社)

参考書等

『シェイクスピア全集』小田島雄志訳(白水社)(全37巻各冊600円から800円)

『シェイクスピア事典』高橋康也・他編(研究社)14,000円(図書館で利用できる。)

その他

演劇の講義なので、作品理解の補助手段として、イギリス演劇の映画化作品やテレビ→映画化作品、そして日本での翻訳上演などを見ることをすすめたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講II	<small>たかのまさお</small> 高野正夫	営 A	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心を持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版されたLyrical Balladsという、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

履他
修学
科目
部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講III	<small>おかざきとしいちろう</small> 岡崎寿一郎	営 A	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernityという言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出发点として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T. S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅳ	なかおか ひろし 中 岡 洋	営 A	4

講義のねらい

イギリス小説のなかで特異な地位を占めつつ、もはや伝統の外部とはいいがたくなっているブロンテ文学について講義する。わが国では比較的よく親しまれていると思われるが、正しく理解するためにあらゆる方面から考察を加えてみようと思う。

講義の内容・授業スケジュール

具体的にはCharlotte Bronte (1816-55) のJane Eyre (1847) をはじめとして、姉妹のすべての小説にふれ、初期作品から詩歌、エッセイの類まで扱う。また映画化された作品もあり、それらを上映、鑑賞する機会ももちたい。全体をほぼ把握した段階で、その周辺の作家たちとの関連に言及し、広くイギリス文学の特質を理解するように努める。

履修上の留意点

出席に励むこと。各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

成績評価の方法

出席回数と試験の結果によって評価する。

教科書

特に定めないが、その都度参考書を挙げて説明するので、読んでおくように

参考書等

教場で適宜指示する。

その他

真面目に受講することを期待し、不真面目な受講態度の学生は退席してもらう。

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅴ	ふじかわ よしゆき 富士川 義之	営 A	4

講義のねらい

英国における文学と絵画についての講義。ロマン主義時代の風景詩と風景画、ラファエル前派から世紀末の文学と絵画の関連性についてふれる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

講義で述べる詩人や作家の文例をコピーで読むとともに、19世紀英国の画家たちの絵画をテレビ画面に映して見ることにより、文学と絵画により親しんでほしいと願っている。

履修上の留意点

積極的に取り組んでいただきたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

適宜指定する。

その他

講義が中心だが、討論の機会を随時もうけるつもりなので、ぜひ参加してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅵ	まるこてつお 丸 小 哲 雄	営 A	4

講義のねらい

文学研究が感動に始まるとすれば、それは個人的・主観的です。個人的・主観的であるとは、読み手の深奥の中心から「叫びのような声」に触れることです。批評することは、実は、文学テキストと読み手とをリアル・タイムで結んでゆくネットワークのようなものです。作者の世界と読み手の世界とをリアル・タイムで結びつけることで、読み手はテキスト世界との出会いに自らの心を開き、その出合のときその世界に対して読み手は違和感を抱く。かくして読み手は自らの世界を更新してゆくモーメントを獲得することになり、批評が始まります。

批評の世界は個人的・主観的な世界から宇宙的な世界に向けて発信し、文学以外の人間のさまざまな領域と共存し対峙していくわけです。批評的行為はいつまでも文学テキストに寄生しないで、自立していきます。

であるから、初発の読書体験を大切に、主体としての自分をどう形成してゆくかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようにしていきます。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあつて、テキストの構造の折目やゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、読み手がテキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。その結果文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題となってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文学テキストの虚構的世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か；日常言語と虚構言語の差異について
3. 文学テキストの機能と力について
4. 英文学研究の成立過程；文学研究制度の問題について
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 批評精神の遍在性と批評的態度について

成績評価の方法

出席、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

- ・『*Elements of fiction* by R. Scholes』（英宝社）
- ・プリント使用；プリントのファイルを用意すること；読書リストのプリント配布

参考書等

- ・『楽しく読めるアメリカ文学』（ミネルヴァ書房）
- ・『楽しく読めるイギリス文学』（ミネルヴァ書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学特講Ⅰ	あずま 東 ゆういちろう 雄一郎	営 A	4

講義のねらい

アメリカ詩の概観、アメリカン・ルネッサンス、モダニズム、ポストモダニズムの流れにそって、Walt Whitman, Emily Dickinson, Robert Frost, Wallace Stevens, W. C. Williams, Ezra Pound, T. S. Eliot, John Crowe Ransom, E. E. Cummings, Hart Crane, Langston Hughes, Elizabeth Bishop, John Berryman, Robert Lowell, Robert Bly, Allen Ginsberg, Gary Snyder, Sylvia Plath, Mark Strand等の詩人の作品を読んでゆきます。それぞれの詩人の作品を通して、アメリカの歴史、文化、人種差別、ジェンダー、宗教、自然、自我のヴィジョン、絵画、音楽等の問題を採り上げ、論じてゆきます。アメリカの自由詩をおおいに楽しんで下さい。新しい詩のスタイルは、一個人の技巧的な変革ではなく、新しい思想から生まれます。

教科書

新倉俊一『アメリカ詩入門』（研究社）2,200円

参考書等

新倉俊一『アメリカ詩の世界』（大修館）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	あしだ かずひと 足 田 和 人	営 A	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションといわれる作家の文学に共通した特徴を探る。また、歴史的、文学的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。

講義の内容・
授業スケジュール

それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら、講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定された英文テキストを、読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間、小レポートを提出してもらい出席点とし、前期・後期2回のレポートを課す。

教科書

プリントを配布。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	おちあいかずあき 落 合 和 昭	営 A	4

講義のねらい

主として、20世紀アメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼らの劇の特徴を、劇の構成要素（「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果（背景、照明等）」、「効果音（音楽も含む）」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が概念的、抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。アメリカ劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀アイルランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般的には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇（短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つのだけの劇）を書いた劇作家も取り上げ、一幕劇の特徴やその多様性をも考察する。また、講義の中で、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主な劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Engene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Arthur Miller (1915-), Shirley Jackson (1919-65)、Edward Albee (1928-), Sam Shepard (1943-), David Mamet (1947-), アイルランドでは、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley (1894-1984)、Harold Pinter (1930-)等である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚（ワープロの場合は、2000字から4000字）とする。出席率が3分の2以上を超えなければ、成績は不可とする。

教 科 書

- 1) 『The New Penguin Dictionary of Theatre』(洋書) (ペンギン)
- 2) プリント

履他
修学
科目
部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時事英語	あらいよしお 荒 井 良 雄	営 A	4

講義のねらい

このクラスでは、Newspaper EnglishとRadio Englishを中心に、Current Englishを学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

英字新聞、ラジオの英語、映画やテレビの英語、雑誌の英語を使って、Current Englishと英米文化の背景を研究をし、刻々と変る世界情勢を理解し、国際的視野を広げる事を目標とする。

履修上の留意点

その日のラジオの英語や英字新聞の英語を主として扱うので、各自が自習するとともに、辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

毎時間の小テストと、夏休み前と冬休み前の2回のテストで評価する。

教 科 書

『International Herald Tribune』(新聞や駅の売店で発売) 150円

参 考 書 等

各種の時事英語辞典。

そ の 他

テーブを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人口地理学	お お と も 大 友 篤	営 A	4

講義のねらい

地理学は、地域の特性や機能、地域的關係、地域間の相互作用、地域構造、あるいはこれらの変化を明らかにする学問である。しかし、地域は、地球表面上の一定の広がり（空間）と定義することができるが、きわめて抽象的な実在であるために、上記の諸要素を明らかにするためには、地球上に存在している何らかの事象を媒介にすることが必要になる。すなわち、人口地理学は、人口現象を媒介にして、上記の諸要素を明らかにしようとする学問である。したがって、人口地理学の研究にあたっては、まず、人口現象を正しく理解することが必要であり、そのためには、人口学の知識が必要となる。1年間という制約のなかでは、人口学とその知識に基づく人口地理学の2分野の講義はできないので、ここでは、人口学の基礎知識を説明しながら、これまでに人口地理学研究のなかで明らかにされた法則や理論などを並行して説明する。

講義の内容・授業スケジュール

人口構造（基本的構造、社会的構造、文化的構造、経済的構造）、人口動態（出生、死亡）、人口移動（国内移動、国際移動）、人口の地域分布、人口変動と将来予測、人口と資源、人口と環境などの項目について、体系的に説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化地理学	お だ ま さ や す 小 田 匡 保	営 A	4

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 宗教集落・宗教都市
5. 巡礼
6. 墓地

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なう。レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教 科 書

使用しない。

履修科目
他学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応用地理学	た か ぎ ま さ ひ ろ 高 木 正 博	営 A	4

講義のねらい

この科目は、地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水理学などの成果をふまえつつ、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域（地域）における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあいを利水・災害・自然環境などの視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学から講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利水・災害・河川環境などの視点からそれぞれ河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について、その本質を探る。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加算する。

教科書

授業時間にプリントを配布する。

参考書等

配布プリントをとおし随時紹介する。

その他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

他
修
学
科
目
部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代地理学特論	は せ が わ ひ と し 長 谷 川 均	営 A	4

講義のねらい

この講義では、「オキナワ」をテーマに、島々の自然や環境、文化について地理学的なアプローチを試みたい。沖縄県では、本土復帰以降の30年間、巨額な資金がつぎ込まれ地域振興がはかられた。そのマイナスの結果として、島々の自然がいたるところで痛めつけられてしまった。この講義では、これらの現状とその背景にある沖縄の自然を解説し、地理学の分野で試みられている環境保全の取り組みや新しい調査方法を紹介したい。また、あわせて「オキナワ」の人々の暮らしの背景にある、本土にすむ私たちから見ればかなり異質に見える文化を「創作民謡」の歌詞などから解説してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期のテーマは「沖縄の自然」、「沖縄における土地改変と自然環境の悪化」である。サンゴ礁の自然をとおして、これらの現状を解説したい。なお、後期は前期の内容を受け「リモートセンシングデータ」や「地理情報システム」を使って、地域や環境の変化を抽出する方法、地理学への応用例を沖縄での事例を中心に解説する。また、今年度から(1)の最後で述べた内容に関しても講義に取り組みたい。ただし、1、2時間の予定である。詳しいスケジュールについては、講義開始時に年間計画表（シラバス）を配布し説明する。

履修上の留意点

講義中の私語、いねむり、教室からの退出は認めない。

成績評価の方法

2回の定期試験結果により評価する。出席し講義をまじめに受けていれば単位取得は容易なはずである。

教科書

使用しない。毎回プリントを配布する。

参考書等

シラバスの付録として参考書のリストを示す予定である。

その他

VTR、スライド、PCによるプレゼンもおこなうが、基本的には講義形式の授業である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本史特講Ⅶ (近代)	こいずみ まさひろ 小 泉 雅 弘	営 A	4

講義のねらい

近代日本の出発点となった幕末維新期の諸問題について講義し、最近の研究動向にも触れながら維新変革と近代国家の成立について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

最初に明治維新史の時代区分に関する諸説を検証し、次いで幕藩体制の崩壊から明治国家成立の過程を検討する。その際、必要に応じて史料講読を行いながら授業を進める。具体的には、ペリー来航・開国、安政の大地震と民衆、幕政改革、幕末の政治運動、江戸の都市騒擾、戊辰戦争、維新政権、民権分離問題、廃藩置県、藩閥権力の生成などを、集団・情報・国民国家といった観点も取り入れながら述べていく。

履修上の留意点

既成の歴史認識にとらわれるのではなく、史料批判や史料解釈などを基礎とした自ら歴史を考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験により評価し、出席状況を加味する。

教科書

特にないが、必要な資料はコピーして配布する。

参考書等

講義内容に則して、適宜参考文献を紹介したい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学特講Ⅲ	さか い き よ し 酒 井 清 治	営 A	4

講義のねらい

古墳時代から古代にかけて朝鮮半島から伝わった須恵器が作られるが、この須恵器は古墳時代の畿内政権あるいは各地の首長層と密接な関連があり、古墳時代あるいは古代を考えるに重要な土器である。この須恵器は、現在全国各地で詳細な編年ができ、考古学的な年代決定の重要な資料となっている。また、生産地である窯跡が判明しており、消費地との需給関係がわかる。さらに須恵器生産は古墳時代にあってはきわめて政治的に生産が開始されており、窯業生産址から生産体制を解明する材料となりうる。当時の手工業史としての須恵器生産史や流通史を解明することにより、須恵器から古墳時代、古代を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

須恵器に関する論文を紹介しながら、須恵器の生産・流通・歴史的背景を概観する。

履修上の留意点

遅刻しないこと。

成績評価の方法

定期試験とレポートおよび平常点

教科書

授業の中で適宜紹介する。

参考書等

中村浩『須恵器』（ニュー・サイエンス社）
中村浩『和泉陶邑窯の研究』（柏書房）
山田邦和『須恵器生産の研究』（学生社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋文化史Ⅰ	佐々木 真	営 A	4

講義のねらい

近代社会の成立において、「管理」や「規律」といった概念が重要な役割を果たしたことは、さまざまな歴史家によって指摘されていることである。そこで、本講義では、近世末から近代にかけて、ヨーロッパ諸国において戦争や軍隊が有していた意味を考えつつ、上記の問題を検討してみたい。軍隊のあり方やその機能、国家による戦争の遂行は、近代国家や近代社会の形成に非常に大きな影響を与えており、最近ではそのような視点に立った研究が見られるようになった。本講義では、そのような研究動向をふまえ、フランスを主な題材として、近世から近代への移行において、戦争や軍隊がどのような役割を果たしたのかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義のサブテーマとしては、以下のものを考えている。

1. 絶対王政期の軍隊と戦争（戦術の変化、軍隊の実態、軍制改革、王権と戦争）
2. フランス革命と戦争（革命下の軍制改革、兵士と市民的自由）
3. 近代社会と戦争・軍隊（国民化・近代システムと軍隊、国家と軍隊、総力戦体制）

履修上の留意点

授業中に紹介する文献をなるべく多く読み、広い知識を身につけてほしい。

成績評価の方法

成績は学年末に行う筆記試験の成績に、不定期に調査する出席点を加算して判定する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

参考文献は、授業中に随時紹介するが、主要なものとしては以下のようなものがある。
 アルフレート・ファークツ『ミリタリズムの歴史』（福村出版）
 山内進『掠奪の法観念史』（東京大学出版会）
 専修大学人文科学研究所編『フランス革命とナポレオン』（未来社）
 A.J.Pテイラー『戦争はなぜ起こるか』（新評論）
 マイケル・ハワード『ヨーロッパ史と戦争』（学陽書房）

その他

授業は講義形式で行う。

履修科目部

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	谷口 貢	営 A	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼——出産と子育て——
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学史	やまぐち まさひろ 山 口 祐 弘	営 A	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに取めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史哲学	く ぼ よういち 久 保 陽 一	営 A	4

講義のねらい

歴史哲学は、個々の事件を理念や原理から統一的に説明したり評価する歴史形而上学や、歴史認識の可能性や方法論を問う歴史認識論とに大別される。本講義では、これらの考え方を歴史的に検討し、今日の歴史認識の方向を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ヘルダーと和辻の風土論
- 2 ヘーゲルの歴史哲学
- 3 マルクスの史的唯物論
- 4 新カント派の文化科学方法論
- 5 デルタイの精神科学基礎論
- 6 ハイデガー、ガダマーの解釈学

履修上の留意点

ノートをよく取ること。私語はつつしむこと。

成績評価の方法

出席状況、レポート、試験。

教科書

ヘーゲル『歴史哲学』（上中下三冊）岩波文庫

参考書等

渡辺二郎『現代の思想的状況—歴史の哲学』（放送大学教育振興会）、シュネーデルバッハ『ヘーゲル以後の歴史哲学』（法政大学出版局）、久保陽一『初期ヘーゲル哲学研究』（東大出版会）

他履修
学部
科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
産業・職業社会学	やま だ のぶ ゆき 山 田 信 行	営 A	4

講義のねらい

“労使関係”をキ概念として、産業社会学を体系的・概論的に講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は2部から構成される。第1部（前期）では、産業社会学の主要な分野について日本での事例について紹介しながら概説する。

第2部（後期）では、“国際化”をポイントにして労使関係の歴史比較分析を行う。具体的な講義プランは以下の通り。

第1部 現代日本の産業・労働

1. 産業社会の対象・方法・課題
2. 労使関係とはどんな関係なのか
3. 賃金・雇用・労働者
4. 労働者の統制と参加
5. 労働組合と労働運動
6. 技術革新と技能の変化
7. 国家と労使関係
8. 変容する産業・労働の世界

第2部 労使関係の国際比較

1. グローバリゼーションと労使関係
2. インダストリアリズムと多元的資本主義発展
3. アメリカ合衆国と不自由労働
4. 資本・賃労働の国際化と日本的労使関係
5. 周辺社会とマレーシアの労使関係と資本主義発展
6. 労使関係と社会活動

履修上の留意点

必修科目ではないので、自覚的な参加を希望する。

成績評価の方法

学年末試験による。

教科書

山田信行『労使関係の歴史社会学』（ミネルヴァ書房）

参考書等

適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
マス・コミュニケーション論	かわもと 川 本 勝	営 A	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能、影響過程を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションとの関連を考える。
 ・社会的コミュニケーションの諸形態と特質。
 ・情報環境の変容とコミュニケーション内容。
 ・社会生活とコミュニケーション行動。
 後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人々に対してどのような機能やインパクトを与えているかを考える。
 ・マス・コミュニケーション活動と諸問題。
 ・メディア・コミュニケーションの社会的機能。
 ・受容過程の特質と効果研究。

履修上の留意点

他学部・学科履修科目であるが、他学部・他学科の学生は、社会学の科目を履修して社会学の基礎知識を修得しておくこと。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を考慮し、試験によって行う。

教科書

特に用いない。

参考書等

講義中に適宜指示する。

他学部履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 千代	営 A	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。さわめて日本の特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教科書

特に無い。

参考書等

その都度紹介する予定である。

その他

特に無し。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国民所得論	よしの 吉野 紀	営 A・営 B	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万（平成3年）あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財（商品）やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP（国内総生産）にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとするれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的（マクロ）分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ（経済主体）毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」 5回
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」（配布資料）
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」 4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷巖 「入門マクロ経済学」（日本評論社）第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」 8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示すx。
《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章
4. 「金融政策、財政政策」 4回
前講までの内容が理解できれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内のおよび国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」 5回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物 価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミクス（上）』（第6版）（多賀出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中小企業論	よ し だ け い い ち 吉 田 敬 一	営 A ・ 営 B	4

講義のねらい

中小企業は日本の企業総数の99%を占めており、そこで働く従業員は被雇用者全体の80%近くにも及んでいます。さらに製造業についてみると、付加価値額の50%以上は中小企業が生み出しています。そして、これらの中小企業の優れた部品加工・組み立て能力を抜きにして、日本の大企業は高品質で低価格の製品を国内・国際市場に供給することができなかった、というのが真実です。ところが、今日、経済構造転換の下での新3K現象（空洞化・価格破壊・規制緩和）により、戦後経済発展を支えてきた中小企業は深刻な存立危機に直面しています。日本経済に占めるこうした経済的比重を考えると、中小企業の21世紀的再生を抜きにして日本経済の復活・発展がありえないことは明確です。

そこで本講義では、戦後日本の経済発展において中小企業が果たしてきた重要な役割と、それとは逆に中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 中小企業問題研究へのアプローチ
- II 戦後日本の経済発展と中小企業—自動車工業の生産分業システムを事例として—
- III 戦後日本の中小企業政策の歩み
- IV 中小企業振興の主要問題
- V 21世紀の日本経済の課題と中小企業の新たな展望

履修上の留意点

中小企業問題は、国民経済全体が抱える諸問題の集約として発現してしているので（例えば、貸し渋り問題、商工ローン問題、生産の海外移転による下請企業の苦悩など）、日々の経済動向に対する鋭い感受性が求められます。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験とレポートで評価します。また再試験も実施します。

教科書

本講義では教科書は使用しません。

参考書等

吉田・永山・森本編著『産業構造転換と中小企業』（ミネルヴァ書房）（レポート課題指定文献）
 吉田敬一『転機に立つ中小企業』（新評論）
 中小企業庁編『中小企業白書』（大蔵省印刷局）
 巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ』（有斐閣）
 渡辺・小川・黒瀬・向山『21世紀中小企業論』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会政策	みつおかはくみ 光岡博美	営 A・営 B	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本的労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特になが、これまででは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特になが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育経済論	やしきただみつ 谷 敷 正 光	営 A	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、2000年に向けて一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育
 - (1) 日本の産業化とリテラシー・識字率
 - (2) 日本の経済成長と教育
 - (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
 - (4) レーガン大統領の経済と教育 1 「危機に立つ国家」 (一部ビデオ)
 - (5) レーガン大統領の経済と教育 2 「国家は応える」 (一部ビデオ)
 - (6) ブッシュ大統領の経済と教育 1 「全米教育サミット」 (一部ビデオ)
 - (7) ブッシュ大統領の経済と教育 2 「2000年のアメリカ」 (一部ビデオ)
 - (8) クリントン大統領の経済と教育 「アメリカ教育法」 (一部ビデオ)
 - (9) サッチャー首相の経済と教育 「教育改革法」 (一部ビデオ)
 - (10) メージャー首相の経済と教育 「競争力白書」 (一部ビデオ)
 - (11) ブレア首相の経済と教育 「知のネットワーク」 (一部ビデオ)
2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策
 - (12) 学制時代における経済と教育 1 富国強兵・殖産興業 (映画)
 - (13) 学制時代における経済と教育 2 学制公布と「行政管理学校」
 - (14) 教育令時代における経済と教育 1 工場払下と産業の勃興 (一部ビデオ)
 - (15) 教育令時代における経済と教育 2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
 - (16) 学校令時代における経済と教育 1 産業革命と産業の発展 (一部ビデオ)
 - (17) 学校令時代における経済と教育 2 学校令公布と実業教育・「機業地学校」
 - (18) 実業学校令時代における経済と教育 1 資本主義の確立 (一部ビデオ)
 - (19) 実業学校令時代における経済と教育 2 実業学校令公布と「委託教育」「企業内学校」
3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策
 - (20) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法公布 (一部ビデオ)
 - (21) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (22) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (23) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - (24) 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間5～6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためにビデオ・映画を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ① 授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ② 再試験を実施する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間40～50枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。

土志田征一『レーガノミックス』(中公新書)
原田和明『ブッシュの米国経済』(日本経済新聞社)
大原進『クリントンの米国経済』(日本経済新聞社)
小林泰宏『アメリカで進む教育改革』(朝日新聞社)
森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』(岩波新書)
G・メイナード『サッチャーの経済革命』(日本経済新聞社)
舟場正富『ブレアのイギリス』(PHP新書)
ブライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』(エイデル)
A・グリーン、J・ハリスン『英国病』(新評論社)
梶西光速『日本資本主義発達史―産業資本の成立と発展―』(有斐閣)
猪木武徳『学校と工場』(読売新聞社)
三好信浩『日本の女性と産業教育―近代産業社会における女性の役割―』(東信堂)
天野郁夫『教育と近代化』(玉川大学出版部)
沼口博『学校教育と経済発展』(学文社)
その他は講義の中で紹介します。

他
履
修
学
科
目
部

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アジア経済論	ちよん 鄭 ちやんよん 章 淵	営 A・営 B	4

講義のねらい

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界経済の動向にも注意を払いたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 経済発展の前史
 - (1) 植民地経済の概要
 - (2) 戦後経済発展の初期条件
2. アジアNIEsの経済発展
 - (1) アジアNIEsの範疇と経済発展の特徴
※NIEsの用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
 - (2) 開発独裁体制の成立
※韓国の事例、その他の開発独裁
 - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN諸国の経済発展
 - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
 - (2) ASEANの歴史
 - (3) 日本企業の進出状況

〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
 - (1) アジアNIEs論
 - (2) 東アジア経済発展論
6. アジアにおける地域経済協力
 - (1) APECの発展過程
 - (2) ASEANの自由化過程
 - (3) その他の中小規模経済圏
7. アジア経済の現状
 - (1) アジア通貨危機の発生とその影響
 - (2) その他の諸問題…環境問題etc.
 - (3) 日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前後期二回のペーパーテストと夏期レポートで総合的に評価する。試験の際に自筆のノートを参照にしてもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。追・再試験を実施する。

教科書

特に定めませんが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国経済論	こすぎ しゅうじ 小杉修二	営 A・営 B	4

講義のねらい

この講義は中国の長期的動態をとらえる。

現在の中国は対外開放、経済成長と生活の向上の結合、経済改革の試み等、新たな活気がみなぎるようになった。また、企業自主権の拡大、株式会社、個人営業の公認、失業・倒産の制度化、「1国2制度」「6.4天安門事件」等々話題に事欠かない状況である。

本講義ではこのような目前の変化をとらえると同時に、より長い視野と射程で問題を論じることとする。即ち、本講義のキー・ワードは、超大国志向、社会主義、発展途上国である。この三点で中国の長期的動態を論ずる。

 講義の内容・
授業スケジュール

この講義は3つのキー・ワードで歴史的解明をはかる。

前期授業のはじめに、キーワードを3週間分けて説明する。ここでは、地域研究が本来もっている特徴である、問題のさまざまな面をとらえる、ということと、そのうち比重の大きい側面は何であるかをつかむ、といった点に留意する。特に、私独自の見方である中国の超大国志向について詳しく説明する。

これにつづいて、中国経済の解明に取組むが、それは一言でいえば歴史的方法をとる。すなわち、中華人民共和国の成立(1949年)から今日までを、3つの特徴的な時期に分けて、(1)ソ連モデル(1949~57年)、(2)毛沢東モデル(1958~78年)、(3)小平モデル(1978~)として、それぞれの時期の特徴とその変化の動因を説明する。

このような方法をとるのは、今現在の目先の出来事も何かの方向へ向かって動いている訳だが、その方向というものは、あまり近くで見ているとわかりにくいものだからである。つまり、現在および将来というのは、過去の何らかの延長であると考えられるからである。それが単純な延長である場合もあろうし、新しい条件に見合った微修正の延長である場合もあろうし、また全く過去の否定的総括に立った転換である場合もあろう。その場合も、過去の何が否定的に総括されたのかを知らねば、将来への延長線は引かれないであろう。そこで歴史的方法をとるわけである。

上記の3つのモデルを超大国志向、社会主義、発展途上国の3つのキー・ワードを軸にして説明していくが、そこでの中国は著しく軍事大国志向、経済成長志向である。世界の他の国々がそのような志向性をもっている中で、また中国が途上国であることからして、やむを得ない面もあるが、世界が環境問題で行き詰まりつつある中で、このような志向性のもつ問題点をも相対化し得る見方をもてるように留意したいと思う。

履修上の留意点

授業の進め方は、教科書に沿った講義とビデオ上映による説明の二本立てで行っている。

教科書は専門家向けに書かれており、自明のことや初歩的なことは書かれていない。したがって、中国経済に全くの初心者であると思われる学部学生に対しては、自明とされていることや、初歩的な知識の説明を補いながら講義を行う。

また、何分にも外国のことなのでイメージがわきにくいといった問題があるので、年に数回、中国関係のビデオを見る。例えば、新日鉄宝山製鉄所、天津の用水路、長春第1自動車工場、江南億元郷、天安門激動の40年等。

成績評価の方法

受験勉強の本質は正解当てクイズである。しかし、このような方法は実社会では通用しない場合が多いし、正解も変わっていく。諸君が物事(中国経済)を自前の頭で理解し判断できるための勉強が高等教育の場である。そのために、無数にいる専門家の意見の比較、優劣判定、取捨選択、時間による検証、といった作業が必要になる。その前提になるのが、各専門家の学説の正確な理解である(学説の受入れとは異なる)。テストは基準となる一つの学説(とりあえず、私の説)の正確な理解ができたかどうかを見るものである。

<再試験あり>

教科書

小杉修二著『増補 現代中国の国家目的と経済建設——超大国志向・低開発経済・社会主義』(龍溪書舎) 4,000円

参考書等

学習が正解当てクイズに終わるかどうかは諸君の学習意欲にも係わっている。教科書の脚注引用文献や同第5章「諸学説の検討」あるいは授業中にその都度指摘する文献を積極的に読むことを希望する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ経済論	せとおか ひろし 瀬戸岡 紘	営 A・営 B	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。

◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇他国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEC、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。受講者の側からの評価や採点、改善提案なども実施します。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』瀬戸岡訳（青木書店）1994年をおすすめします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア・東欧経済論	やまがた ひろし 山 縣 弘 志	営 A・営 B	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。
再試験あり。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商業政策	いわした ひろし 岩 下 弘	営 A・営 B	4

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造
 - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商保護政策論
 - 2 流通近代化政策論
 - 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通
 - 2 80年代流通産業ビジョン
 - 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法
 - 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導＝抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ－前川レポート、行革審報告
 - 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
 - 1 大店立地法
 - 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策－都市・農村計画法
 - 2) 日曜営業問題－商店法
 - 2 フランス－ロワイエ法
 - 3 ドイツ－土地利用計画
 - 4 アメリカ－ゾーニング規制

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。再試験は実施しない。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

その都度指示する。

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
貿易論	ふるさわ こうそう 古 沢 紘 造	営 A ・ 営 B	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・ 授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
 1. 農産物と貿易
 2. 水産物と貿易
 3. 林産物と貿易
 4. 鉱物資源と貿易
 5. 工業製品と貿易
- II. 政治・経済・社会と貿易
 1. 開発援助と貿易
 2. 環境と貿易
 3. 公正と貿易
 4. グローバリゼーションと貿易
 5. 持続可能な発展と貿易

具体的な内容については、最初の講義のときに話したい。

成績評価の方法

ペーパーテスト、レポート、討論、報告発表など、できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施する。

教科書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で特に興味をもち、もう少し掘り下げてみたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行政法各論	さいとう 藤 寿	営 A ・ 営 B	4

講義のねらい

「各種行政法原理の究明」

1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中で、各種行政法の法理究明を、興味深く行います。特にこの講義は、生きた行政法を重視しながら行います。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回 「行政組織法」の概要について。
- 第2回 国家行政組織法について。
- 第3回 内閣法について。
- 第4回 行政官庁について。
- 第5回 府・省・委員会・庁・地方支分部局について。
- 第6回 人事院と会計検査院について。
- 第7回 地方自治法について。
- 第8回 地方公共団体の種類と性質と区域と名称について。
- 第9回 大都市の特例と特別地方公共団体について。
- 第10回 公共組合と営造物法人について。
- 第11回 地方公共団体の議決機関と執行機関について。
- 第12回 地方公共団体の住民の諸権利と事務と権能について。
- 第13回 国と地方公共団体の関係について。
- 第14回 公務員法の概要について。
- 第15回 国家公務員法について。
- 第16回 地方公務員法について。
- 第17回 公物法について。
- 第18回 営造物法について。
- 第19回 「行政作用法」の概要について。
- 第20回 警察法・消防法・防衛法について。
- 第21回 警察行政における五大原則と規制手段について。
- 第22回 統制法について。
- 第23回 公企業法について。
- 第24回 公用負担法について。
- 第25回 公用収用について。
- 第26回 財政法について。
- 第27回 会計法について。
- 第28回 租税法について。
- 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「行政法各論」を楽しく研究してみませんか。

私が、みなさんを、「水飲み場」へ、ご案内します。

目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age ! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送ります。

試験の成績とレポートの成績を合わせて、学年の成績とします。

成績評価の方法

教 科 書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比較憲法	さいとう ひさし 斉 藤 寿	営 A ・ 営 B	4

講義のねらい

人権保障制度、国会制度、内閣制度、司法制度、自治制度、財政制度など、各国の憲法制度について興味深い講義を続けながら、楽しく研究します。また、西欧主要諸国の憲法にとどまらず、アジア・アフリカ諸国や中南米諸国の憲法にもふれ、その特色を楽しく研究します。これらの講義は、1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中でなされます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 イギリス憲法は、どのように歩んできたか。
- 第2回 アメリカ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第3回 フランス憲法は、どのように歩んできたか。
- 第4回 ドイツ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第5回 東ヨーロッパ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第6回 中国憲法は、どのように歩んできたか。
- 第7回 発展途上国憲法（アジア・アフリカ・中南米諸国憲法）はどのように歩んできたか。
- 第8回 世界各国の憲法は、どのような類型化が可能か。また、その特質は何か。
- 第9回 君主国憲法（イギリス・ベルギー・デンマーク憲法）の憲法上の特質は何か。
- 第10回 共和国憲法（アメリカ・フランス・ドイツ・イタリア・スイス憲法）の憲法上の特質は何か。
- 第11回 ロシア・中国憲法の憲法上の特質は何か。
- 第12回 発展途上国憲法の憲法上の特質は何か。
- 第13回 これまで（第1回～第12回）のreview。
- 第14回 世界各国憲法の人権保障制度は、どのようになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。
- 第15回 世界各国憲法の平等権保障について。
- 第16回 世界各国憲法の自由権保障について。
- 第17回 世界各国憲法の人身保護権保障について。
- 第18回 世界各国憲法の救済権保障について。
- 第19回 世界各国憲法の参政権保障について。
- 第20回 世界各国憲法の社会権保障について。
- 第21回 世界各国憲法の統治制度は、どのようになっているか。また、その科学的な比較研究方法について。
- 第22回 世界各国憲法の国会制度について。
- 第23回 世界各国憲法の議院内閣制度について。
- 第24回 世界各国憲法の大統領制度について。
- 第25回 世界各国憲法の司法制度について。
- 第26回 世界各国憲法の自治制度について。
- 第27回 現代世界諸国の憲法上、人権保障制度と統治制度は、どのように運用されているか。また、今後は、どのように運用されるべきか。
- 第28回 これまで（第14回～第27回）のreview。
- 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「比較憲法」を楽しく研究してみませんか。私が、みなさんを、「水飲み場」へ、ご案内します。

目には火を、顔には光をいだいで、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送りましょう。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合せて、学年の成績とします。

教科書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
親族法	たけなか ちか 竹 中 智 香	営 A ・ 営 B	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法（8）親族〔第4増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
相続法	たけなか ちか 竹 中 智 香	営 A ・ 営 B	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・
授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法（9）相続〔第4増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円
六法

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋法制史	北野かほる <small>きたの</small>	営 A・営 B	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造1 中世ヨーロッパの封建制
 - 第3節 社会構造2 イングランドの封建制
 - 第4節 統治構造 封建制の解体
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

他学部
履修科目

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し偏向するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英米法	きたの 北野 かほる	営 A・営 B	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、司法機構と判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1編 概論
 - 第1章 法系論
 - 第1節 西洋近代法の法系
 - 第2節 英米法系の特色
 - 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - 第2節 法観念の社会性
 - 第3節 法思考の実務性
 - 第3章 判例法の理論
 - 第1節 総論：「判例法主義」
 - 第2節 先例拘束性の原理
 - 第3節 判決における「法」
 - 第4節 法形成作用
- 第2編 司法制度
 - 第1章 裁判所制度
 - 第1節 イギリス
 - 第2節 アメリカ合衆国
 - 第2章 訴訟過程
 - 第1節 英米訴訟制度の特徴
 - 第2節 陪審

履修科目
他学部

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

今年度から講義進行計画に一部変更が生じるため、上記シラバス内で力点の置き方が変わる。試験準備には講義ノートが最も有効であるが、過年度のノートの有効性は大きく下がるので、各自注意して出席し、ノートをとること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済法	お か だ と し ひ ろ 岡 田 外 司 博	営 A・営 B	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教 科 書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際政治学	こ ぼ り の り お 小 堀 訓 男	営 A	4

他
学
部
履
修
科
目

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教 科 書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治史	うらた さなえ 浦 田 早 苗	営 A	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかにし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあつては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀—英国革命とIRA—ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程—英国における政治腐敗防止過程—フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義—「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

前期レポート——7～8×400字——は任意ではあるが、年5～6回とる出席点とともに学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した5問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地方自治法	とみい ゆきお 富 井 幸 雄	営 A	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎回レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』(学陽書房)2,000円

参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、『六法』(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大幅な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
議会関係法	まえだ ひであき 前田英昭	営 A	4

講義のねらい

今年度は選挙法を中心に取り上げる。

選挙は、民主政治の基盤をなすものであり。民主政治の健全な発達を期するためには選挙が公明かつ適正に行われなければならない。選挙を公明かつ適正に行うためには、その根幹をなす公職選挙法や政治資金規正法や政党助成法などの規定を国民すべてが十分理解することが最も重要なことである。

衆議院選挙制度に関しては、賛否の議論の末、小選挙区比例代表並立制が導入され、1996年秋、改正法に基づく初めての総選挙が実施されたところであり、今年も総選挙が予想される。

このような情勢を踏まえて、制度改革に民間政治臨調の委員として参画した経験をまじえながら、全学開講科目として、多くの学生にわかりやすく選挙法の趣旨を講義することとし、今年度から新たに「議会関係法」をスタートさせる。

講義の内容・授業スケジュール

1 選挙制度改正の理由、2 選挙権と被選挙権、3 小選挙区比例代表並立制の内容、4 政党・政策本位の選挙、5 供託金、6 重複立候補、7 選挙運動期間、8 戸別訪問、9 連呼行為などの選挙運動、10新聞・放送による選挙運動、11選挙運動費用、12選挙運動・政治活動・選挙広告、13選挙違反と連座制、14選挙犯罪、15公務員の地位利用、16政治資金、17団体・個人の寄付制限、18政党交付金とその用途など。

履修上の留意点

できるだけ出席受講すること。

成績評価の方法

期末テスト、レポート、平常点の総合評価。

教科書

前田英昭著『選挙法・資料』（高文堂出版社）

参考書等

前田英昭監修『明解選挙法・政治資金法の手引』（新日本法規出版）

前田英昭『政治腐敗防止法を考える』（信山社）

その他各種の選挙法に関する解説書

科目名	担当者名	配当学科	単 位
比較政治学	み た け な お や 三 竹 直 哉	営 A	4

講義のねらい

世界のいろいろな国で起きていることを手がかりに、さまざまな政治現象がどう説明されるかを、いっしょに考える授業です。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、指定してある教科書を使い、方法論の基礎の基礎を勉強します。それから、優れたドキュメンタリーなど、かなりの数のビデオ教材を見て外国の様子を知り、随所で比較政治学分野で現在行われている最新の研究を紹介していきたいと思います。2002年度は、移民政策の比較研究に特に力を入れたいと思っています。

前期中もしくは、後期中に、もう一冊か二冊、教科書として指定した本を買っていただく可能性があります。

この授業についての最新の情報は、下記のホームページで見られますので、ご利用ください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

履修上の留意点

クラス全体の雰囲気や人数にもよりますが、3~4人のグループに分けて意見交換する時間を多く作りたいと思いますので、そのつもりで参加してください。

なお、本を教科書として指定した場合には、授業は指定した箇所を読んできて、内容について討論する形式になります。読んできていない人は授業に参加できなくなりますので、注意してください。

成績評価の方法

学年末試験と平常点によります。詳しいことは最初の授業で説明しますし、下記のホームページにも掲載しますので、履修登録される方は<必ず>参照してください。なお、2002年3月まで掲載されているものは、あくまでも2001年度用です。2002年度用の情報は、2002年4月に入ってから確認してください。

<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

教科書

高根正昭『創造の方法学』（講談社）640円
 他に一冊、もしくは二冊、指定する可能性があります。

参考書等

適宜指示します。

その他

授業では、みなさんがせつかく6年間（以上）も勉強した英語がさびつかないように、英語に接する機会を少しでも多く作るようにします。英語の資料は英語のまま見せたり配布したりします。

ホームページにこの授業用の掲示板を設けますので、質問や話し合いに使ってください。

<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代国家論	お お つ か 大 塚 桂	営 A	4

講義のねらい

福祉国家の見直しが叫ばれて久しい状況にあります。大国・日本丸はどこへすすもうとしているのでしょうか。ありうべき国家とは何か、が現代政治学において重要課題とされています。本講義は、諸君がいままで履修してきた政治学、憲法学などの学科目の知識をふまえて、現代国家の実相にせまるのを目的とします。

さしあたって、現代国家を理解するには、国家概念の展開を理論（史）的に整理することからはじめるのが、ベターでしょう。政治学の発達を顧みたと、政治学＝国家論であったことがわかります。講義では、隣接科目（憲法・行政法・政治制度・政治思想史・政治史・行政学）の研究成果を積極的にとりいれながら「国家」の問題を討究していきます。国家論は総合科学としての性格を有するからです。

講義の内容・授業スケジュール

- A 国家論の課題ならびに研究方法
 - ①序論 ②官立アカデミズムの形成
- B 国家学説の史的展開
 - ①古代国家学説 ②中世国家学説 ③近代国家学説 ④現代国家学説
- C 法治国家の構成原理
 - ①法治国家論 ②政治制度 ③官僚制 ④国家緊急権
- D 行政国家の構成原理
 - ①福祉国家論 ②ネオ・コーポラティズム ③シティズンシップ ④きたるべき国家像

成績評価の方法

- 受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。
- A方式（レポートによる単位認定）
～年4回の課題を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
 - B方式（試験による単位認定）
～ペーパーテスト（中間・期末）による評価です。
 - C方式（AとBの折衷）
- ※ なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教科書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

参考書等

上記教科書にかかげてある〈関連文献〉を参照のこと

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）にあります。電話は、3418-9377（直）です。質問など気軽に訪問してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語 (前期)	おかもと まこと 岡 本 誠	営 A	4

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でいえば“Current English”ということになるだろうか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分をleadという。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞やNewsweekなどの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法であるjournaleseに親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表。小テスト。出席情況。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』(研究社)

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用計測学 (前期)	かしお えいじ 檀 尾 英 次	営 A	1

講義のねらい

放射線機器工学を2年次に学習し、医用機器工学を3年次に学習するが、これらの講義で含まれなかった重要な機器について行う。

医用画像診断装置を主体とするが、生体電気計測および生体磁気計測についてもそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 核医学診断装置
 - 放射性核種および放射線計測の基礎
 - ガンマカメラ
 - SPECT
 - PET
 - 核医学データ処理装置およびソフトウェア
- 2) 超音波診断装置
- 3) PACS (画像管理システム)
- 4) 生体電気計測
- 5) 生体磁気計測

履修上の留意点

あらかじめ放射線計測学および放射線機器工学を習得していること。国家試験で核医学機器関連に対応できるよう講義するので全員受講することが望ましい。他学科にあっては高校で物理を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教科書

教材としてプリントを使用する。

Ⅳ 「日本語」・「日本事情」科目

IV. 「日本語」・「日本事情」科目

(対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

日 本 語	I	〈佐野典子〉	407
日 本 語	I	〈多田羅哲子〉	407
日 本 語	II	〈佐野典子〉	407
日 本 語	II	〈多田羅哲子〉	408
日 本 語	III	〈多田羅哲子〉	408
日 本 語	III	〈湯村礼子〉	409
日 本 語	IV	〈石川守〉	409
日 本 語	IV	〈湯村礼子〉	409
日 本 語	V	〈石川守〉	410
日 本 語	V	〈多田羅哲子〉	410
日 本 語	VI	〈石川守〉	411
日 本 語	VI	〈多田羅哲子〉	411

《日本事情科目》

日本事情 I	〔地理〕	〔前期〕	〈須山 聡〉	411
日本事情 II	〔自然〕	〔前期〕	〈清水 善和〉	412
日本事情 III	〔歴史〕	〔後期〕	〈宮本 由紀子〉	413
日本事情 IV	〔思想〕	〔前期〕	〈赤羽 由規子〉	413
日本事情 V	〔社会〕	〔後期〕	〈山田 信行〉	414
日本事情 VI	〔政治・法律〕	〔後期〕	〈前田 英昭〉	414
日本事情 VII	〔文学〕	〔後期〕	〈岡田 豊〉	415
日本事情 VIII	〔文化・芸術〕	〔後期〕	〈赤羽 由規子〉	415
日本事情 IX	〔経済〕	〔前期〕	〈瀬戸岡 紘〉	416
日本事情 X	〔経営〕	〔前期〕	〈鈴木 幸毅〉	416

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅰ	佐野典子	全学科	2

講義のねらい

日本語の聴解能力の向上を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の映画・TVドラマなどの内容を把握する。

成績評価の方法

試験、提出物、授業態度、出席率などにより、総合的に評価する。

教科書

特に教科書は使わない。聴解シートは、その都度、配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅰ	多田羅哲子	全学科	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。
漢字の正確な読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等の練習を通して日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・常用漢字を正確に読めるようにする。そのためには読み方のルールも知る。
- ・語句の基本的意味・用法とともに学生生活に必要なと思われる派生的意味や使い方も練習する。
- ・助詞・機能語・慣用表現・文法事項等の復習もする。

成績評価の方法

平常点と期末試験の成績で評価する。

教科書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文系教科の概論、入門書、新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱ	佐野典子	全学科	2

講義のねらい

日本語の読解能力の向上を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

小説、ノンフィクション、エッセイなどを輪読する。

成績評価の方法

試験、発表、提出物、出席率などにより総合的に評価する。

教科書

授業で使用する教材は、担当者が、そのコピーを用意する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱ	た た ら あ き こ 多田羅 哲子	全 学 科	2

講義のねらい

話すことを中心に日本語の運用能力を養う。

- ・事実の説明や、スピーチ、質疑応答、討論等を通して、正しく適切な表現を用いて日本語が自由に話せるようになることを目指す。
- ・発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
- ・あわせて書く練習もする。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・発音アクセントの基礎練習、朗読練習等を行う。
- ・読んだこと、聞いた内容を自分の言葉で説明したり、それに対する自分の考えを述べる練習をする。
- ・スピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。
- ・ダイアログを通して適切な表現で自己主張したり、相手を説得する練習をする。
- ・話したことを文章にまとめる。
- ・テープを聞き自分の日本語を意識し矯正する。

履修上の留意点

積極的に授業活動に参加し、提出物は必ず提出すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ	た た ら あ き こ 多田羅 哲子	全 学 科	2

講義のねらい

聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。

- ・話題になっていることについて生の日本語を通じて深く理解し、また的確に表現できるようになることを目指す。
- ・一つのテーマについて聴きとる（見る）・読む・話す・書く活動を通じてバランスのとれた日本語の力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・今話題になっているテーマについてビデオを見たり、本・新聞・雑誌などの文章を読んで内容を把握する。
- ・その内容を説明したり、それについて自分の考えを述べたり討論したりする。
- ・また、それらを文章に表現する練習もする。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点、つまり授業中の発音や提出物を重視する。

教科書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ	湯村礼子 <small>ゆむられいこ</small>	全学科	2

講義のねらい	これまで修得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、自分の意見を持ち、発表・説明ができるようになることを目指す。		
講義の内容・授業スケジュール	新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読み進める。読んだ後に、意見を出し合ったり、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出してもらう。後期には、各自分担を決めて調べたり、資料を収集したりしての発表も行なう。		
履修上の留意点	授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。		
成績評価の方法	試験（漢字・語彙テストetc）、内容把握小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の意見を良く聴くこと・授業態度etc）を総合的に評価する。		
教科書	授業中にプリントを配布する。		

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ	石川守 <small>いしかわ 守もる</small>	全学科	2

講義のねらい	日本語の中上級の文型、表現、会話の表現を学ぶことを目的とする。		
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 形式名詞を中心とした表現。 2. 最近よく使われる会話文型を分析する。 3. 会話特有の表現について学ぶ。 		
履修上の留意点	受身の立場ではなく、できるだけ発言することが望ましい。		
成績評価の方法	授業へのとりくみと期末試験等で総合的に評価する。特に出席は重視。		
教科書	授業中に配布する。		
参考書等	特になし。		

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ	湯村礼子 <small>ゆむられいこ</small>	全学科	2

講義のねらい	書くことを中心に授業を進める。日常生活、大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。		
講義の内容・授業スケジュール	文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義し、実践し学生に書いてもらう。書いたものについて再度見なおし進めていく。		
履修上の留意点	講義・授業中の実践活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。		
成績評価の方法	作文・レポートなど（5回程度） 授業活動（発言、授業態度、授業中の提出物etc）		
教科書	授業中にプリントを配布する。		

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅴ	いしかわ 石川 守 <small>まもる</small>	全学科	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでほしい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教科書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし

その他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅴ	たたらあきこ 多田羅 哲子	全学科	2

講義のねらい

- ・読むことを中心に話す力、聴解力、作文力など日本語の総合的な能力を高める。
- ・現在マスコミ等でよく使われている表現、外来語等の語彙などを知る。

講義の内容・授業スケジュール

本・新聞・雑誌等の生教材を読んで、今話題になっていることについて、語彙・表現・文法事項などを確認する。
テーマについて話し合ったり書いたりする。

履修上の留意点

授業中の活動が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

プリントを配布、ビデオも使用。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語VI	いしかわ 石川 守	全 学 科	2

講義のねらい	「いろはがるた」にあらわれる古くから庶民に親しまれてきた日本のことわざを通し、日本人の考え、日本語の表現、文法などを学んでいく。
講義の内容・授業スケジュール	「いろはがるた」を読みながら、その内容について討論し、また、自国のことわざについて考えていく。
履修上の留意点	できるだけ、発言すること。
成績評価の方法	平常点と試験
教科書	コピーを配布する。
参考書等	随時、教室で指示する。
その他	特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語VI	たたらあきこ 多田羅 哲子	全 学 科	2

講義のねらい	読解能力を向上させる。 文章を読むことを通して、文法や適切な語彙の使い方を確かめ、表現力を養う。
講義の内容・授業スケジュール	小説・エッセイなどを中心に読み、そこに出てくる表現、語彙の使い方、文法などを確かめ、正しくより適切に使えるよう練習する。
履修上の留意点	授業に積極的に参加すること。
成績評価の方法	平常点と筆記試験
教科書	プリントを配布。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情I 〔地理〕(前期)	すやま さとし 須山 聡	全 学 科	2

講義のねらい	日本のさまざまな地域についての知識を深め、日本の地域的な特徴について考察する。
講義の内容・授業スケジュール	授業はゼミ形式で進める。受講者で日本の特定地域（都道府県あるいは都市）を分担し、それぞれに地域について毎回2～3人に発表してもらい、それをもとに議論する。
成績評価の方法	出席と発表内容、および議論への参加状況によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情II 〔自然〕(前期)	しみず よしかず 清水 善和	全 学 科	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3)自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や自然保護のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・授業スケジュール

- I 章 位置
 - 1. 国土の範囲
 - 2. 行政区分
 - 3. 位置の特徴
- II 章 気候
 - 1. 世界の気候帯
 - 2. 海流
 - 3. 気候の特徴
 - 4. 気団と季節
 - 5. 台風
 - 6. 天気予報
 - 7. 生物季節
 - 8. 俳句と季節
- III 章 地質・地形
 - 1. 弧状列島
 - 2. 変動の歴史
 - 3. 多様な地形
 - 4. 火山
 - 5. 地震
- IV 章 生物
 - 1. 世界の植生帯
 - 2. 日本の植生帯
 - 3. 生物地理区
 - 4. 日本の海産生物
 - 5. 帰化種の侵入
 - 6. 自然保護の制度

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

教科書

特定の教科書はなし。

参考書等

参考書は適宜紹介する。

その他

毎回配付する補助教材のプリントを用いて講義する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅲ 〔歴史〕(後期)	宮 本 由 紀 子 <small>みやもと ゆきこ</small>	全 学 科	2

講義のねらい	日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとしたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを目安にする。
履修上の留意点	板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をこころがけるので、ノートを取り、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。
成績評価の方法	出席日数を評価の参考とし、レポートまたは筆記試験で成績の評価とする。
教 科 書	なし
参 考 書 等	その都度知らせる。
そ の 他	講義のみ

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅳ 〔思想〕(前期)	赤 羽 由 規 子 <small>あかば ゆきこ</small>	全 学 科	2

講義のねらい	日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。 民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。
履修上の留意点	第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。
成績評価の方法	出席数、筆記試験によって採点する。
そ の 他	その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅴ 〔社会〕(前期)	やま だ のぶ ゆ き 山 田 信 行	全 学 科	2

講義のねらい

歴史的背景を考慮しながら、現代日本社会の基本的な趨勢と問題について概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 戦後日本の社会変動
－高度成長から低成長へ－
2. 現代日本の基本的趨勢
－情報化・グローバル化・高齢化(少子化)－
3. 現代日本の社会問題
・景気後退と失業
・教育問題
・その他の病理現象

それぞれについて、新聞その他の記事を資料として用いる予定。

成績評価の方法

学期末レポートによる(予定)。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

資料を配布。

そ の 他

講義形式の予定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅵ 〔政治・法律〕(後期)	ま え だ ひ で あ き 前 田 英 昭	全 学 科	2

講義のねらい

日本の政治状況を外国との比較において解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の政治状況をとらえた新聞記事などを読み、学生の間で意見交換する方法で勉強し、主として次のテーマの理解につとめる。

日本の国会、選挙、官僚、政策、政治史、政治文化など。

成績評価の方法

出席回数と平常点による。

教 科 書

『国会と政治改革』(小学館文庫)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅶ 〔文学〕（後期）	お 田 豊 か た ゆたか	全 学 科	2

講義のねらい

本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、問題発見能力の涵養と、日本文学・日本語に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の現代作家の作品を取り上げて、現代の日本の文化事情や時代性と表現とを関わらせて考察する。扱う作家は、村上春樹・村上龍・吉本ばなな・辻仁成を予定している。各自がテーマを選定し、調査研究して発表する、という方法で授業を進める。ビデオを上映して、作品との比較を試み、討議するときもある。

履修上の留意点

受身でなく積極的な姿勢で臨むこと。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・授業態度

教科書

その都度指示する。

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅷ 〔文化・芸術〕（後期）	あ 羽 由 規 子 か ば ゆきこ	全 学 科	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を口差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅸ 〔経済〕(前期)	せとおか ひろし 瀬戸岡 紘	全 学 科	2

講義のねらい

日本の経済事情のアウトラインをわかりやすく解説します。みなさんが日本にきた以上、ぜひ知って帰りたいことを、たくさん話することがねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のようなトピックを一回の講義でひとつずつとりあげます。しかし、とりあげる順序は、みなさんの希望に応じていれかえることがあります。

◇日本の工業、◇日本の農業および水産業、◇日本のサービス業および金融、◇明治維新以前の日本経済の歴史、◇明治維新以降の日本経済の歴史、◇第2次世界大戦以降の日本経済の展開、◇日本経済とアメリカ経済、◇日本経済とアジア経済、◇日本経済と政府の役割、◇日本の労働者・サラリーマンの生活、◇日本経済と社会や文化の変化

成績評価の方法

日ごろの授業態度で評価します。具体的には、出席40%、小テスト30%、宿題30%が目安です。再試験は実施いたしません。

教 科 書

特定の教科書は使いません。授業のなかで随時適切な本を紹介します。日ごろあなたが目にすることそのものを題材として授業をすすめます。いわば、あなたの周囲にあるものそれ自体が教科書です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅹ 〔経営〕(前期)	すずき こうき 鈴木 幸毅	全 学 科	2

講義のねらい

環境問題を取り上げ、外国の状況と比較しながら日本の特徴をとらえる。

成績評価の方法

出席を重視し、時々短いレポートの提出を求める。

教 科 書

教科書、参考書は、授業のはじめに指定する。

経営学科フレックスB

第 2 部 経 営 学 科

I 全 学 共 通 科 目

1 宗教教育科目



1. 宗教教育科目

仏	教	と	人	間	〈岩	永	正	晴〉	425
仏	教	と	人	間	〈晴	山	俊	英〉	425
仏	教	と	人	間	〈河	村	孝	道〉	425
仏	教	と	人	間	〈小	坂	機	融〉	426
仏	教	と	人	間	〈松	本	史	朗〉	426
仏	教	と	人	間	〈皆	川	広	義〉	427

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	いわなが しろうせい 岩 永 正 晴	営 B 必 全 学 科	4
仏教と人間〔再クラス〕			

講義のねらい 曹洞宗によって創立された駒澤大学で学ぶ学生諸君に仏教への関心を持ってもらうことが本講義の目的です。しかし、煩雑な儀礼や慣例・漢文などの語学・特殊な用語・独特の思考法・多量の文献など、諸君から仏教を遠ざける要因は少なくないでしょう。そこで本講義は、その要因のひとつ、仏教で用いる用語の解説に主眼を置きながら、仏教の考え方を紹介していきます。宗教にまつわる問題が取り沙汰される昨今、ひとえに熱狂したり嫌ったりするのではなく、仏教について冷静に考察するための材料が提供できれば、と考えています。

講義の内容・授業スケジュール 原則として毎回ひとつの用語をテーマに定め、解説する。

履修上の留意点 成績評価に際しては、平常点など補助的な評価材料を一切用いないので注意して貰いたい。

成績評価の方法 学年末の試験のみによって成績評価を行う。レポート・出席点等はない。

教科書 講義の進行に随って資料を配布する。

参考書等 平川彰著『仏教入門』（春秋社刊）
古田紹欽訳注『正法眼蔵随聞記』（角川文庫）
その他は講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	はれやま しゆんえい 晴 山 俊 英	営 B 必 全 学 科	4
仏教と人間〔再クラス〕			

講義のねらい 仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依るだろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール 釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点 仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法 期末試験に出席の状況を加味して評価する。

参考書等 授業において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	かわむら こうどう 河 村 孝 道	全 学 科	4
仏教と人間〔再クラス〕			

講義のねらい 宗教—仏教・禅の教えを学び、その教説を通して自己の生死の問題を考えてゆく。

参考書等 宗教学Ⅰ・Ⅱ

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	こ さ か き ゆ う 小 坂 機 融	全 学 科	4

講義のねらい

当授業は、大学教育を実施するに当って、先ず本学の建学の理念である仏教思想による知性と慈悲とを兼ね備えた人間の育成を目指し、仏教的情操を基調として、広い知識と専門の学術とを修得して行くという本学独自の講座である。

仏教は、人間および世界に対する深い洞察からもたらされた思想信仰である。偏りのない智慧の獲得をもって一切を正しく認識判断して、おのおのの実人生を虚妄なものではなく、確実なものとして生きる道を示して来た。仏教は、伝統を有しているが、決して古くさいものではなく、常に現実の事として響くものであるから、これからの諸君の学業と人生に生かされることを切望する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 現代文明社会の明と暗
2. 現代文明の理念を吟味する
3. 科学技術の飽なき進歩への信仰と危惧
4. 人間の自然認識とその問題点
5. 人間—その成りたちと変貌—
6. 本能と自我とエゴイズム
7. 仏教における人間観・世界観・自然観
8. 仏教による認識と行動
9. 仏教を基盤とする文化・社会・政治・経済等
10. 逼塞しない人生

履修上の留意点

この講座の核は、誰れもがそらすことのできない課題であるので自身で真剣に考えることに努めてほしい。

成績評価の方法

授業の伝達度を確認するため、毎時間その日の問題を提示して解答して貰うことと、期末試験・出席状況等によって評価する。

教科書

講座形式、出来れば1～2回座禅実習。

参考書等

松本史朗著『仏教への道』、奈良康明著『仏教と人間』（共に東京書籍）

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	まつもと しろう 松 本 史 朗	全 学 科	4

講義のねらい

本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、仏教成立以前のインド思想から始めて、仏教の開祖である釈尊の思想、さらに大乘仏教の経典の思想、及び、日本仏教の思想の説明へと進みたい。

成績評価の方法

年度末の試験によって、成績を評価する。

教科書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	みながわ ひろよし 皆川 広義	全 学 科	4

講義のねらい

仏教の開祖・釈尊（おしゃかさま）の生涯と教えを学ぶことによって、現代に生きる私たちの人間としての道を学んでゆきたい。

釈尊は、約2500年まえ、インドのヒマラヤ南麓にあった釈迦国の皇太子として生まれた。彼は、青年時代までは幸せな人生を歩んでいたが、ある日身近にいる人々の老病死の苦悩をみて、自分もいつかはあのような一大事に直面することを自覚させられた。

釈尊は、この生死の苦悩から解脱して、安心と生きがいを求めて、沙門という宗教者になられた。沙門は、樹下石上に生活し、三衣一鉢しか所有しないで、道を求める宗教者であった。彼は幸いにも六年の修行の後に、菩提樹下で座禅瞑想中に悟りを得て、生死の苦悩からの解脱道を見せられた。人間が、なんのために生まれ、成長し、そして老い、病にたおれ、死してゆくのかという人生の目的をも悟られたのである。

釈尊は、悟りを得てから45年間、八十歳で亡くなるまで、自分が悟り発見した生死の苦悩からの解脱道と人生の目的とを、多くの苦悩に打ちひしがれている人々に伝道されたのである。

本学は、曹洞宗がこの釈尊の教えにもとずいて設立した大学であり、この『仏教と人間』の講義を通して、各自がおのれの間としての道を学びとっていただきたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

はじめに、人間と宗教について、社会学、心理学、宗教学、仏教などをふまえて、わかりやすく語りたい。

次に、釈尊の生涯と教えを考察し、彼の宗教の成立とその教えへの世界へのひろがりについて述べる。

結びに、仏教の教えを通して、私たちがなんのために生まれ、成長し、老病死してゆくのか、つまり、人生の目的について、各自が自分の問題として明らかにできるようにしてゆきたい。

I 人間と宗教

- 1 現代人の意識と行動
- 2 世界の宗教状況
- 3 我国の宗教と問題点
- 4 有所得の宗教と無所得の宗教
- 5 人間存在の有限性 生老病死

II 仏教 仏教の開祖 釈尊の生涯と教え

- 1 釈尊の国インドと時代
- 2 誕生と成長
- 3 出家求道 沙門の道
- 4 菩提樹下の悟り 自己の真実 生命
- 5 初めての説法 釈尊の教え ①縁起説 ②血諦説
- 6 45年の伝道
- 7 沙羅双樹下の入滅
- 8 弟子たちによる仏教の誕生
- 9 釈尊仏教の世界へのひろがり

III 人生の目的

私たちは、なんのために生まれ、成長し、老い、病にたおれ、そして死してゆくのか。

履修上の留意点

積極的に聴講し、学習することを希望する。

宗教教育科目の「仏教と人間」は、本学がほこりうる講座であり、この授業を通して他大学ではなかなかない人間の陶冶と人格の完成をなしとげて、豊かな人生をつくりだしていただきたい。

成績評価の方法

聴講態度（出席率など）、レポート、年度末の定期試験などによって、総合的に評価する。

参考書等

奈良康明『仏教と人間』（東京書籍）1,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗教学 〔聖と俗〕	すがわら としきよ 菅 原 壽 清	営 B 選 以降入学生 / 営 A 選	4

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「聖と俗」というテーマで、人びとの暮らしと宗教について、その宗教的営みを宗教人類学の視点からとらえて行きたいと考えております。授業の前期は宗教学・宗教人類学・特に「聖と俗」についての基礎的な問題を、後期は東南アジア・中国雲南の人びと、日本人などの宗教文化について具体的な事例を基にしながら、現代社会との関わりや人びとの暮らしと宗教について講義して行きたいと思っております。

講義の内容・
授業スケジュール

- <宗教人類学入門>
 1. 宗教と宗教人類学 (宗教をとらえる視点)
 2. 宗教人類学の研究領域 (多様なアプローチ)
 - <宗教の多様性>
 3. さまざまな宗教形態 (その多様な形態)
 4. 宗教の分類方法 (現代の分類方法)
 - <聖なるコスモロジー>
 5. 聖と俗
 6. 東南アジア・中国雲南の人びとの暮らしと宗教
 7. 日本人の生死観
- シャーマニズムの世界

成績評価の方法

試験・出席・その他

教 科 書

指定なし。

参 考 書 等

授業で紹介

そ の 他

東南アジア・中国雲南のビデオ・スライドなども使用

2 教養教育科目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックスAの頁を参照してください。(→P. 23)

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

宗教学〔聖と俗〕〈菅原壽清〉	435
宗教学〔比較宗教文化〕〈田中かの子〉	436
文学〔日本文学-古典-〕(1)(3)〈合瀬純華〉	437
文学〔日本文学-近代-〕(2)〈保明陽子〉	437
歴史学〔日本近代史〕(1)〈林彰〉	438
歴史学〔中国古代史〕(2)〈小林惣八〉	438
歴史学〔中国古代思想史〕(3)〈小林惣八〉	438
哲学〔西洋思想の源流〕〈河谷淳〉	439
哲学〔近代の人間観と世界観〕〈伊古田理〉	439
哲学〔現代文明と人間〕〈鈴木聡〉	439
論理学〔科学方法論と現代論理学〕〈伊古田理〉	440
論理学〔科学方法論と現代論理学〕〈麻生享志〉	440
倫理学〔現代と倫理〕〈古田知章〉	441
倫理学〔人生と倫理〕〈末木恭彦〉	441
教育の思想〈伊藤茂樹〉	442
教育と社会〈伊藤茂樹〉	442
発達と学習の心理学〈川田三夫〉	443
カリキュラムと学習〈川田三夫〉	444

(2) 社会分野

法学・憲法〔法と権利〕〈鷄 徳 啓 登〉	445
法学・憲法〔法と社会生活〕〈長谷川 日出世〉	445
社会科学論〔社会認識の思想〕〈枝 松 正 行〉	446
社会学〔現代社会を考える〕〈呉 炳 三〉	447
社会学〔現代文化を考える〕〈橋 爪 敏〉	447
統計学〔社会現象の統計的決定〕〈新行内 康 慈〉	448
文化人類学〔文化と人間〕〈川 上 新 二〉	448
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕〈杉 井 純 一〉	449
政治学〔政治システムと政治参加〕〈浦 田 早 苗〉	450
政治学〔国際社会と日本〕〈山 村 恒 雄〉	450

(3) 自然分野

心理学(1) [ヒューマン・ウォッチング] 〈鈴木 順一〉	451
心理学(2) [人間関係を考える] 〈鈴木 順一〉	451
生物学 [生態と進化] 〈清水 善和〉	452
生物学 [生物と環境] 〈中村 敏枝〉	454
地球科学 [古環境の復元] 〈山 縣 毅〉	455
地球科学 [変動帯としての日本列島] 〈藤 井 享〉	456
自然環境論 [宇宙から見た地球環境] 〈篠 原 正 雄〉	457
自然環境論 [環境と保全] 〈山 縣 毅〉	457
情報数学 [情報と論理] 〈小 沢 誠〉	458

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 〔聖と俗〕	すがわら としきよ 菅 原 壽 清	営 B 選	4
		14以降入学生/営A選	

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「聖と俗」というテーマで、人びとの暮らしと宗教について、その宗教的営みを宗教人類学の視点からとらえて行きたいと考えております。

授業の前期は宗教学・宗教人類学・特に「聖と俗」についての基礎的な問題を、後期は東南アジア・中国雲南の人びと、日本人などの宗教文化について具体的な事例を基にしながら、現代社会との関わりや人びとの暮らしと宗教について講義して行きたいと思っております。

講義の内容・ 授業スケジュール

〈宗教人類学入門〉

1. 宗教と宗教人類学（宗教をとらえる視点）
2. 宗教人類学の研究領域（多様なアプローチ）

〈宗教の多様性〉

3. さまざまな宗教形態（その多様な形態）
4. 宗教の分類方法（現代の分類方法）

〈聖なるコスモロジー〉

5. 聖と俗
6. 東南アジア・中国雲南の人びとの暮らしと宗教
7. 日本人の生死観
シャーマニズムの世界

成績評価の方法

試験・出席・その他

教 科 書

指定なし。

参 考 書 等

授業で紹介

そ の 他

東南アジア・中国雲南のビデオ・スライドなども使用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗教学 〔比較宗教文化〕	た な か の こ 田 中 かの子	営 B 選 14以降入学生/営A選	4

講義のねらい

宗教は、人間が自他の生命（いのち）をより善くまっとうするための究極的な問いどころと生き方を提示する。

諸宗教の興起し発展してきたこの世界において、わたくしたちはいま、宗教を比較して、宗教それぞれの現代的意義と役割を見出すべき時機を迎えている。

以上の視点から、本講の宗教学は、諸宗教のありかたをとおして生命（いのち）と人間性の普遍的価値を観ることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

現代世界に生きつづける諸宗教のなかから講義担当者自身の現地調査と人々との交流経験をともなう宗教のいくつかを選び、それぞれの歴史・思想・文化について解説する。さらに、宗教間に生じる誤解や偏見を指摘し、正しい「他者」認識と平和友好的な「人間」理解とはどうあるべきかを考える。それにはなによりまず、それぞれの宗教を信奉する人々が「生命（いのち）を」まっとうするための道（a way of 'Life'）をどのようにあゆんでいるのかを実際に観ることが望ましい。

ひとつの宗教につき2回分の講義を割り当てるなかで、2回目は主として、

- 1) 祈りの声や聖歌（録音テープ）を鑑賞して生きた宗教の聴覚的イメージをとらえ、
 - 2) スライド上映により宗教生活の実際を垣間見る。
- 年間のプログラムは以下のとおりである。
- I. 比較宗教学の基礎知識（宗教学における比較とは何か、宗教多元主義の問題点、聖なるものをめぐる諸宗教の構成要素一覧）。
 - II. 宗教史の歴史的連関を考慮し、1) ゴロアスター教、2) ユダヤ教、3) キリスト教、4) イスラーム、5) シーク教、6) ヒンドゥー教、7) ジャイナ教、8) 仏教、9) 仏教とキリスト教の比較美術の順に講ずる。

履修上の留意点

世界の諸宗教と仏教との接点を探り、現代における仏教ならではの役割を見出そう。

成績評価の方法

各自の創意工夫を「答え」とする論述式の学年末試験、レポート、出席状況。

教 科 書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学(1)(3) 〔日本文学「古典」〕	お せ す み か 合 瀬 純 華	営 A 選 14以降入学生/営A選	4

講義のねらい

平賀源内といえばエレキテルの発明家であり、本草学者、鉱山開発、殺人の末の獄死など、その破天荒な生涯から奇人変人として知られている。だが、彼の文学作品は当時の江戸の戯作者たちに影響を与え、「江戸戯作の祖」として評価されている。日本の古典文学史においては源内が生きた18世紀後半は、文化の中心が上方から江戸へ移行し、洒落本や黄表紙など多様な都市文芸が開花する時期でもある。以上の観点から、この講義では平賀源内の文学と江戸中期の戯作を鑑賞することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

まずは文学史的な知識をふまえた上で、平賀源内の生涯と時代背景を概観し、特に小説『風流志道軒伝』を現代語訳しながら講読する。その他の江戸戯作については、具体的な作品を影印と翻字によって読みながら、版本の書型とジャンルなど書誌的なことにも留意する。

履修上の留意点

講義中の私語、携帯電話の使用(含メール)は禁止する。

成績評価の方法

出席状況および前後期2回の定期試験による。

教科書

必要に応じてプリントして配布する。

参考書等

中村幸彦校注『風来山人集』(岩波書店、日本古典文学大系)
その他。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学(2) 〔日本文学「近代」〕	ほ あ き よ う こ 保 明 陽 子	営 B 選 14以降入学生/営A選	4

講義のねらい

明治以降における日本の「近代化」を、「文学」という切り口で考える。先行する西欧の「近代化」を前提に、その影響を否応なく受けてきた過去の歴史的経緯を考慮しつつ、近代社会において文化後進国ゆえの、曖昧かつ複雑な構造をもつ、日本独自の「近代化」を文学的視座からとらえる。主に、啓蒙色の強い明治三十年代の文学的素材をもとに、現代社会をかいま見る。

講義の内容・
授業スケジュール

文学作品に現れた様々なテーマは、作品の古今にかかわらず、現代社会を個人レベルで読み解く鍵である。日常にある「文学」的なものという身近な視点から、敢えて通俗性という枠組みをとおして、そこに潜む「社会」の様相をかいま見る。具体的には、近年話題になっている現代作家の作品と、明治時代の文学作品を比較しながら、そこにある「文学」とは何を意味しているのか、を探究する。前者については講義開始時に公示するが、後者については明治大正時代に活躍した徳富蘆花の代表作『不如帰』などを取り上げる。

履修上の留意点

この講義では、みなさんと共に「今」を考えることを主眼としている。年間を通して、文学作品を本格的に読むことでしか得られない情報を取得し、現在と一緒に考えていくために、実際に作品を読み、授業に出席し、かつ参加していくことが望まれる。

成績評価の方法

毎回の授業を通して課されたテーマの考察が、不定期なレポート提出という形で成績に反映される。

教科書

適宜講義で指示する。

参考書等

適宜講義で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学(1) 〔日本近代史〕	はやし 林	あきら 彰	4
		営 B 選 14以降入学生/営A選	

講義のねらい

本年度は、明治・大正期の思想を中心に考察していく予定でいる。西洋から輸入された近代思想が日本でどのように展開されるのか、逆に伝統的な思想（儒教など）が近代思想とどう対立・錯綜していくのか。それらを概観していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は近代史の概説をこころみる。その後、知識人・民衆、体制側の思想動向をみていく。とくに、明治後期の思想（初期社会主義・修養思想など）には重視していきたい。

成績評価の方法

レポートと定期試験、講義への出席。

教科書

講義中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学(2) 〔中国古代史〕	こばやし 小林	そうはち 惣八	4
		営 B 選 14以降入学生/営A選	

講義のねらい

中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学(3) 〔中国古代思想史〕	こばやし 小林	そうはち 惣八	4
		営 B 選 14以降入学生/営A選	

講義のねらい

ユラシア大陸の歴史の歩みは、中国を中心に北アジア、中央アジア、西南アジア、東南アジア、インドが相互に影響しあいながら進展していく。本講義では、中国の歩みを多角的にとらえ、時に周辺諸民族の歩みにも触れながらこれらを通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、アジア史の概説書や図表を座右において聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学 〔西洋思想の源流〕	かわたに 河 谷	あつし 淳	4
		営 B 選 II以降入学生/営A選	

講義のねらい この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主に扱う。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば、現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。

講義の内容・授業スケジュール 講義では次のような内容を取り扱う。
 ①ギリシア哲学（ソクラテス以前・ソクラテス・プラトン・アリストテレス）
 ②キリスト教哲学（教父哲学、スコラ哲学）
 ③近代哲学（デカルト、ロック、カント）

成績評価の方法 中間・期末試験（それぞれ40点満点）、レポート、出欠による総合評価。

教科書 『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	いこた 伊古田	まさる 理	4
		営 B 選 II以降入学生/営A選	

講義のねらい 近代以降の人間の活動のありかたを考察することをねらいとするが、本年度は「技術」をテーマとし、「ものをつくる」という人間の活動のもつ意味と問題点をさぐる。

成績評価の方法 試験（夏期中間＋期末定期）＋レポート課題による

教科書 『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学 〔現代文明と人間〕	すずき 鈴 木	さとの 聡	4
		営 B 選 II以降入学生/営A選	

講義のねらい 本講義では、イギリス経験論・プラグマティズム・現象学・生の哲学・分析哲学などにおける素材の中で厳選されたものを叩き台として、一つの問題をとことん考え抜くという態度を学生諸君が身につけるための機会を提供したいと思う。

講義の内容・授業スケジュール 《合理的な行為と因果性》を中心テーマとし、以下の素材を叩き台として講義を進める予定である。

1. ヒュームの因果性
2. 逆向き因果
3. 時間論
4. ニューカムのパラドクス
5. 囚人のディレンマ

履修上の留意点 毎回の出席が望ましい。

成績評価の方法 成績は、中間試験・期末試験・小レポート・出席点で評価する。

教科書 『原典による哲学の歴史』（公論社）

その他 本講義は、講義→レポート（質問）→レポートを反映した講義→……という形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	い こ た まさる 伊古田 理	営 B 選 14以降入学生/営A選	4

講義のねらい 現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。
具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにはしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①古典的三段論法
- ②公理系Ⅰ～命題論理
- ③公理系Ⅱ～述語論理
- ④コンピュータと論理

成績評価の方法 年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。
詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教 科 書 開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	あ さ お た か し 麻 生 享 志	営 B 選 14以降入学生/営A選	4

講義のねらい 西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本質への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで①論理とは何かを考え、②変化する論理学の各内容についての知識を持ち、③日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール 論理の本質、真理論、パラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概論、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題が考えられる。

履修上の留意点 大学という学問の場においては、講義を理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではない。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要である。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わる。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めたい。

成績評価の方法 平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味する。

教 科 書 開講時に説明する。

参 考 書 等 基本的にはなし。

そ の 他 講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めない。主体的な質問は大いに歓迎する。初日はガイダンスとし、定時から五分程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（その間は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

人文分野

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔現代と論理〕	ふるたともあき 古田知章	営 B 選 以降入学生/営A選	4

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、現代において倫理というものが分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、われわれは、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知らなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きるわれわれの向かうべき方向も見えてくる。そして、この見通しの上で立ててこそ、個々の領域での倫理観も意義あるものとなると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「自己」と「世界」あるいは「他者」との関係などの、「自己」と倫理をめぐる基礎的な諸問題を整理し、後期は、前期で扱った内容をもとに、現代社会で関心が集まっている、生命倫理、環境倫理といった応用倫理に関する諸問題の検討をおこなう。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔人生と倫理〕	すえきやすひこ 末木恭彦	営 B 選 以降入学生/営A選	4

講義のねらい

人は一人では生きることができない。生きることは、必然的に人と人の関りの場に身を置かねばならない。人倫の中に生きるのである。人は、また、「よく」生きることを求める。ここに、どう生きるのが「よく」生きることか、また、それがどうして「よく」生きることになるのかという問題が生じる。これらは、「倫理学」の主要な内容をなす。本講義は、我々が生きることの「倫理」性に自覚を深めることを目的として、その参考となるように先人の「倫理」をめぐる諸説を紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、特に環境との関わりに問題をしぼる。又、参考とする先人は、東洋（特に中国・日本）に限り、東洋の伝説的な思想が現代に於ていかに役立つかを課題としたい。教科書は、国際シンポジウム「東洋の伝統的環境思想の現代的意義」の報告論文集である。講義は、教科書に収める論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進みながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとる（板書を書き写すだけでなく口頭説明も的確に要をとらえ記録すること）

成績評価の方法

中間試験と学年末試験、レポートに出席態度を加味して判断する。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育の思想 (前期)	いとう しげき 伊 藤 茂 樹	営 B 2 選	2
		以 降 入 学 生 / 営 A 1 選	

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・
授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
・近代社会と教育
・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教 科 書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育と社会 (後期)	いとう しげき 伊 藤 茂 樹	営 B 2 選	2
		以 降 入 学 生 / 営 A 1 選	

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
・現代の教育問題
・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教 科 書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	かわだ みつお 川 田 三 夫	営 B 2 選 1)以降入学生/営A1選	2

講義のねらい

- 1) 子供の成長・発達の概要を理解する。
- 2) 学習心理学の基本的な事項を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 発達や学習の理論
- 2) 乳児期・幼児期
- 3) 児童期
- 4) 青年期
- 5) 青年後期・成人期
- 6) 人格の発達
- 7) 社会性の発達
- 8) 情緒や性意識の発達
- 9) 交友・対人関係の発達
- 10) 若者文化や社会風俗
- 11) 非行等の問題行動
- 12) 情緒障害や神経症的な問題行動
- 13) 学校生活をめぐる問題点
- 14) 試験

履修上の留意点

教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。板書を少なくして、学生自身がノートを取るようになっている。日頃から努力して語彙力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

学期末に定期試験を行う。それ以外にも不定期に小試験（論述・レポート）を行うことがある。授業の際に口頭試問や提出してもらうものがあり、評価の際に考慮される。以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

参 考 書 等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

そ の 他

授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。現実を見聞しながら考えてほしいと思っている。

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに、「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	かわだ みつお 川 田 三 夫	1:以降入学生/営B1選 1:以降入学生/営A1選	2

講義のねらい

- (1) 教育課程を中心に学校の全般的な運営について理解する。
(2) 教育や学習の基本的な知識の学習をもとにして教育者としての基礎を作る。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①教育について、②学習・教育心理学、③教育学・教育原理、④発達心理学、⑤教育課程、⑥学習指導要領、⑦普通教育・職業教育、⑧障害児教育、⑨教育方法、⑩教育評価、⑪新しい動向(1)、⑫新しい動向(2)、⑬生徒・教師の諸問題、⑭教育・学校の諸問題、⑮試験

履修上の留意点

教科書は指定せずプリント、資料等を配布し講義を行う。

成績評価の方法

学期末に定期試験を行う以外にも不定期に小試験を行う。以上の合計得点(100点満点)で所定の基準に従い評価される。

教 科 書

教科書は特に指定しない。参考文献は授業中に適宜紹介する。

そ の 他

授業の方法は講義が中心で、アンケート等を実施することがある。
前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕	けいとく ひろどう 鶏 徳 啓 登	営 B 選	4
		14以降入学生/営A選	

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 法の概論は次の内容を中心として行う。
 - 法の意義②法発生の背景③法とその近辺の社会規範④法の種別と解釈⑤法の適用
- 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
 - 民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
 - 憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
 - 国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	はせがわ ひでよ 長谷川 日出世	営 B 選	4
		14以降入学生/営A選	

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	えだまつ まさゆき 枝 松 正 行	営 B 選 以降入学生 / 営 A 選	4

講義のねらい

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手としてつねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。グローバトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期であるが、社会科学こそは歴史科学であると同時に近未来科学であり、社会の変化・生成・発展法則の先見的な究明と管理こそは学的使命なのである。

講義ではマルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などに学びつつ、現代の社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブな持続可能社会への移行を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

上記のような社会科学的視座を基礎として、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や小泉「構造改革」の歴史的な性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

履修上の留意点

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材をとりいれておくこと。

成績評価の方法

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

教科書

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

参考書等

大塚久雄著 『社会科学の方法』（岩波新書）など。

その他

毎回授業の冒頭でカードによる前回授業時の学生諸君の質問・意見・要望を紹介し、出来るだけ授業内容に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	お 眞 びよんさん 炳 三	営 B 選 14以降入学生/営A選	4

講義のねらい

社会学が対象とする領域は「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「思想」「文化」など様々である。このような領域において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- ②経済のグローバルイゼーションにともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- ③社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」、「性」、「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。
- ④若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

開講時に説明する。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕	はしづめ さとし 橋 爪 敏	営 B 選 14以降入学生/営A選	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題—文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等—を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	しんぎょうち こうじ 新行内 康 慈	営 B 選 14以降入学生/営A選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析、意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門として、その基本的な考え方や諸手法を、現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- ①記述統計 ②標本空間と確率
③確率変数と確率分布 ④母集団と標本
⑤推定 ⑥検定 ⑦相関 ⑧回帰

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

出席状況、課題演習、期末試験を総合して評価します。

教科書

- ・P. G. ホーエル著（浅井晃、村上正康共訳）『初等統計学』（培風館）1,650円
- ・必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

必要に応じて適時紹介します。

その他

教科書・配布資料に基づき、例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするため、適時課題演習を実施します。また、期末試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔文化と人間〕	かわかみ しんじ 川 上 新 二	営 B 選 14以降入学生/営A選	4

講義のねらい

日本にも韓国にも中国にも「愛人」という語があります。現在の日本でどのような意味で使われているか、すぐに思い当たるとは思いますが、韓国では恋人の意味で、中国では夫または妻の意味で使われています。また「親戚」というと、現在の私たちは具体的にどのくらいの範囲の人々まで思い浮かべるでしょうか。イトコ（4等親）ぐらいまででしょうか。韓国では6等親（祖父の兄弟の孫）や8等親（ひいおじいさんの兄弟のひ孫）まで含んで考えられているようです。では中国では？などと、同じ語でも3つの国の人々が考える内容とは各々違うようです。中国や韓国の女性は結婚しても姓は変わりません。これは現在日本で検討されている夫婦別姓の問題と同じ線上で考えられる問題かどうかなど、東アジアの3国を比べただけでもさまざまな相違点が見つかります。世界にはさまざまな民族の文化や社会が存在していますが、文化人類学は分析、比較、考察を通じてさまざまな文化を理解し、人間とは何かを考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

文化人類学の学問的特徴や、家族、姻族、親族、呪術、宗教、経済、法などの諸問題について考察していきます。

成績評価の方法

定期試験や出席状況などで総合的に評価します。レポートを提出してもらった場合もあります。

教科書

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎい じゆんいち 杉 井 純 一	営 B 選	4
		14以降入学生/営A選	

講義のねらい

様々な民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、相互の文化的相違についての認識を深める学問です。例えば、人々の生活様式や儀礼、慣行を通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしぐみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「他者を理解する」ことの困難さを味わいながら、「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・ 授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 1. 文化人類学とは何か
 2. 文化とコミュニケーション
 3. 環境と人間
 4. ジェンダーとセクシュアリティ
 5. 婚姻・家族・親族
- II 民族とコスモロジー
 1. 呪術と宗教
 2. 儀礼の構造
 3. 儀礼・神話・世界観
 4. 神聖王権
 5. 民族・宗教・国家

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート（20%）、期末試験（80%）で評価します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書）
佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』（新曜社）

その他

できるだけ、ビデオを利用します（年に4～5回程度）。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治学 〔政治システムと政治参加〕	うらた さなえ 浦 田 早 苗	営 B 選 14以降入学生/営A選	4

講義のねらい

二十一世紀が幕を開け、世界は更なる高度産業化時代を迎えた。産業・技術の進歩はこれまでにない早さで社会の変質をもたらし、そのため、「政官業のトライアングル」という言葉では、もはや日本の政治システムを語る事が難しくなってきた。政治改革、行政改革、税制改革が政治経済の緊急課題となっているが、システムの歪み、疲弊を探し当て、それを立て直すことにのみ関心をそそいでいたのなら日本の将来はないであろう。大切なのは新たなシステムの構築であり、そのためには、私たち国民一人一人が正面から政治を見つめ直すことが必要である。本講義では政治の現状を分析し、問題の根源がどこにあるのか考察して、そのためにわれわれがすべきこと、できることを考えるための一助を示してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の冒頭では各自の政治への関心を高めるため、その週に起こった国内外の時事問題を取り上げ解説し、現在の世界、日本が抱える課題について考える。前期の講義では、日本の政治事情の比較対照として、政治参加の進んだ欧米諸国の政治を概観する。後期は現代日本政治社会システムの分析を行う。取り上げるテーマは官僚制と天下り、会社主義の変容、スタグフレーションとその対策、公共投資の功罪、潜在的利益集団の意義、投票行動などである。

成績評価の方法

年5～6回行う小テスト―簡単な政治論評―は出席点代わりとし、学年末試験に加算する。試験はあらかじめ指示した5問から2題出題する（ノートの持ち込みは不可）。

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細に研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。参考書は必読でないが、常に新聞を「読む」ことが全員に義務づけられている。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治学 〔国際社会と日本〕	やまむら つねお 山 村 恒 雄	営 B 選 14以降入学生/営A選	4

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、素材として取り上げる問題は時事問題であるが、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治の問題に対して自分の意見を形成できるよう、素材として取り上げた問題を通して「分析の道具」を提供するものである。

講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 現代の国際政治
- 4 冷戦構造
- 5 核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本の貿易摩擦
- 9 日本の国際貢献

履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

成績評価の方法

レポートと学期末試験による。評価基準については、別途配布する。なお、レポート未提出者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

授業中、随時指定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学(1) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	すずき じゅんいち 鈴 木 順 一	営 B 選 14以降入学生/営A選	4

講義のねらい

心理学全般の幅広い知識の概念学習は、個人的にできるので自宅ですべていただけます。授業では、主として性格心理学や臨床心理学を背景に、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いを鏡として自己を見つめ、自分や他人の性格を理解し、自己成長するための体験学習をしていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教 科 書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』——自己理解ワークブック——（ナカニシヤ出版）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学(2) 〔人間関係を考える〕	すずき じゅんいち 鈴 木 順 一	営 B 選 14以降入学生/営A選	4

講義のねらい

より良い人間関係を築くには、自分や他人の性格を深く理解し受容する必要があるでしょう。特に、自己を知り自分をコントロールすることは重要です。

自分のことは自分が一番良く知っているようでいて、実は案外知らないことが多いことを深層心理学は教えてくれます。他人という鏡を通して自己を見つめなおさないと、本当の自分の姿はなかなか見えてこないものです。

本講座では、主として性格心理学や臨床心理学を背景にして、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いの性格を理解し、より良い人間関係を築いていくような体験学習をしていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択してください。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教 科 書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』——自己理解ワークブック——（ナカニシヤ出版）1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生物学 〔生態と進化〕	しみず よしかず 清水 善和	営 B 選 以降入学生/営A選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1,000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所にいて独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化-我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性
 - (2) 遺伝子と生命現象
 - (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化-偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図
 - (2) マーグリスの共生説
 - (3) カンプリアの爆発
 - (4) 大量絶滅
 - (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類-名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系
 - (2) 生物五界説
 - (3) 種の定義と属性
 - (4) 分子時計と系統樹
- 第4章 行動と進化-生物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み
 - (2) 適応度とゲーム理論
 - (3) 利他的行動と血縁淘汰
 - (4) 性選択と性比
 - (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生物学-産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率
 - (2) 密度効果
 - (3) 生命表
- 第6章 共生と競争-出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係と共生
 - (2) 花と昆虫の共進化
 - (3) 菌根
 - (4) 擬態
- 第7章 人類の進化-ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統
 - (2) ヒトの発展段階
 - (3) ホミニゼーション (ヒト化)
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論-進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前
 - (2) ダーウィン進化論
 - (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論批判
- 第9章 生態系-命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系 (エコ・システム)
 - (2) 食物連鎖と生物濃縮
 - (3) 光合成と呼吸

- (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環-元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則
 - (2) 水の循環
 - (3) 炭素の循環
 - (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移-裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル
 - (2) さまざまな遷移
 - (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性-多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性
 - (2) 多様性の尺度
 - (3) 生物地理区と植生帯
 - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物-生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物
 - (2) 都市と生物
 - (3) 帰化種の侵入

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

試験、レポート、出席を勘案して評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

章ごとに適宜紹介する。

その他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生物学 〔生態と環境〕	な か む ら と し え 中 村 敏 枝	営 B 選 4以降入学生/営A選	4

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内では、狂牛病問題が浮上した。狂牛病は牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは羅病した牛の屍体を飼料（肉骨粉）として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追求の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食、しかもとも食いをさせたため生じた、人災なのである。人間の生産活動は、生物と環境にいま何をもたらしているのだろうか。

講義の内容・
授業スケジュール

1. はじめに 地球の歴史・生命の誕生
2. 生物の生活
 - a. 生命の維持
 - b. 植物の物質生産
 - c. 植物の生産過程
 - d. 植物の相互作用
 - e. 植物群落の遷移
 - f. 動物の個体群
 - g. 個体群の内部構造生殖行動
 - h. 生殖行動
 - i. 動物の種間関係
3. 生態系
 - a. 物質循環とエネルギーの流れ
 - b. 生態系の安定性
4. 人間の活動と地球環境
 - ・化学物質の功罪
 - a. 化学物質と生物
 - b. ダイオキシン
 - c. 内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）
 - ・生物学
 - d. 遺伝子組み換え生物
 - e. クローンと動物工場
 - f. 生殖医療
 - ・地球環境問題
 - g. 開発による自然の改変
 - h. オゾン層の破壊
 - i. 地球温暖化
 - j. 原子力利用の諸問題
 - k. 食料と人口・人類の未来

自然分野

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科はじめ各教科の知識を本講義の前提とする。
意見発表の場を設けたいので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

期末試験と平常点で総合評価します。

教 科 書

赤堀他著『生物学 - 地球に生きるいのちを考える』（宣協社）

参 考 書 等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学〔地球環境の 現在・過去・未来〕	やまがた 山 縣 たけし 毅	営 B 選 14以降入学生/営A選	4

講義のねらい

現在、地球温暖化、海水準の上昇、オゾン層の破壊などの地球規模の自然環境の変化が、21世紀の大きな問題として捉えられています。これらの問題に対処する手段、特に自然環境がどのように過去、将来において変化し、それが何に起因するかを推定・予測する手段の一つとして地球科学があります。本講義では、地球科学による過去の環境（古環境）の推定・復元方法を、地球環境の変遷を創生期から現在までたどりながら、理解してもらうことを目標としています。

また、私たちが住んでいる関東地方の古環境の復元も、いくつかの地域を例に取りながら解説していきます。受講者にとって、自分の居住地域と共にグローバルな自然環境についても考える契機になることを期待します。

講義の内容・ 授業スケジュール

前半に地球科学の概説を行い、後半に地球環境の変遷、関東地方の地質について講義をしていきます。

1. 地球の内部構造と地質変動
2. 地球の環境変遷
3. 関東地方の地質
 - ・ 関東平野の断層と地震
 - ・ 房総・三浦半島の地質－付加テクトニクス－
 - ・ 伊豆大島、箱根の火山活動
 - ・ 関東山地の地質
 - ・ 関東平野の地下表層部の地質

成績評価の方法

定期試験と出席状況により評価します。

教科書

特に定めなし。

参考書等

最新 図表地学（浜島書店）ISBN 4 - 8343 - 4002 - 3 C7344

その他

OHP、スライド等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地球科学 〔変動帯としての日本列島〕	ふじい 藤 井 享	営 B 選	4
		14以降入学生/営A選	

講義のねらい

地球科学は、地形、岩石、地質、火山、地震、重力など地球に関するさまざまな現象を研究する分野であるが、地殻の変動や地形・地質の形成史を究明することが特に重要である。日本列島はユーラシア大陸と太平洋に挟まれており、島弧-海溝系（海溝を伴う弧状列島）の変動帯である。日本列島付近は4種類のプレートが衝突しあっており、火山活動、地震が多発、地形の起伏が大きく地質構造も複雑である。したがって、日本列島は世界でも第一級の変動帯とって過言ではない。

日本列島は火山活動や地震の頻発する自然条件下にあるため、否応なしにそれらに遭遇することも止むを得ない。したがって、これらの自然現象を正しく理解し、日頃から関心を抱くとともにその対策を講じることが重要である。本講義は、以下のような変動地形と日本列島の地形の由来を十分理解できるように展開したいと思う。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業は地図を多用して、世界で最も活動的な変動帯としての日本列島の地形を多角的に扱ってみたい。主な内容とスケジュールは次のとおりである。

- ① 地球上の変動帯とプレートテクトニクス
- ② 弧-海溝系の変動帯と日本列島
- ③ 島弧と火山帯
- ④ 第四紀の地殻変動（曲動地形、断層地形等）
- ⑤ 日本列島の活断層
- ⑥ 日本列島の巨大地震と変動地形
- ⑦ 火山活動と火山地形
- ⑧ 最終氷期と後氷期の日本列島

履修上の留意点

「地球科学」は、地球の内部や地表で行われる自然現象を扱うために、地図を多用する。そのため、「地図帳」（高校で使用したもので可）を準備すること。また、講義ノートをとることは重要。地図やその他の図を書くことが多いので、色鉛筆（12色）を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

貝塚平著『日本の地形-特質と由来』（岩波新書）1977
その他の参考書、文献等は講義の中で紹介する。

その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然環境論 〔宇宙から見た地球環境〕	篠原 正 雄 <small>しのはら まさお</small>	営 B 選 14以降入学生/営A選	4

講義のねらい

工場が周囲を汚染する公害問題から始まって、今日では全地球的な環境問題が議論されている。人類の活動が、物質循環においてもエネルギー循環においても惑星規模に達したことの当然の結果である。本講では個別の環境問題ではなく、〔地球環境〕とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを論じる。

太陽系の惑星の一つである地球の自然環境は46億年の太陽系の歩みの結果形成されてきた。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にある。また、過去30年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきた。本講では、現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち宇宙の視点から地球の自然環境を考える。

講義の内容・授業スケジュール

太陽放射は地球環境の支配的な要因である。ところが人類は化石燃料の使用等により太陽放射と地球環境の関係を変えようとしている。前期は、まず太陽放射について学び、太陽系の他の惑星との比較をおりませつつオゾン層、地球温暖化について考える。

化石燃料を減らすには、原子力や太陽エネルギーなどの代替源が要る。しかしそれが別の環境破壊を引き起こす可能性もある。後期は核エネルギーと放射能環境、太陽エネルギー利用の可能性について学ぶ。さらに、地球独特の自然が形成されてきた歴史をたどり、未来を考える。

成績評価の方法

年度末に行う筆記試験による。平常点を加味する。

教科書

石田憲一著『宇宙と地球環境』（成山堂書店）1,600円 その他、講義の中で紹介する。

参考書等

小宮山宏著『地球持続の技術』（岩波新書）660円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然環境論 〔環境と保全〕	山 縣 毅 <small>やまがた たけし</small>	営 B 選 14以降入学生/営A選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

履修上の留意点

なし

成績評価の方法

定期試験と出席状況により評価します。

教科書

特に定めない。

参考書等

講義の中で紹介します。

そ の 他

OHP、スライド等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報数学 〔情報と論理〕	お ざ わ まこと 小 沢 誠	営 B 選 14以降入学生/営A選	4

講義のねらい	数学の特徴である論理的・抽象的な考え方と、それらが情報処理における具体的・計算的な方法といかに深い関連を持つかが理解出来るようにする。
講義の内容・ 授業スケジュール	前期に、集合・論理・図形と方程式・代数系・行列・行列式及び固有値を、後期に、微分・積分・積分の応用・確率・統計・数え上げの方法を扱う。
履修上の留意点	毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。
成績評価の方法	試験の結果で評価する。出席も考慮する。
教 科 書	情報処理教育研究会『情報数学の基礎』（日本理工出版会）2,500円
参 考 書 等	野崎昭弘・田中公治『情報数学入門』（サイエンス社）1,117円
そ の 他	毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

3 外国語科目

3. 外国語科目

[英 語]

英語 I A (営 B) 〈丸 小 哲 雄〉	463
英語 I A (営 B) 〈吉 川 直 澄〉	463
英語 I A (営 B) 〈前期：矢島 直子、後期：今井 夏彦〉	464
英会話 I (営 B) 〈コプレーマッキー, D.S.〉	464
英語 L L I (営 B) 〈真 砂 久 晃〉	465
英語 I B (営 B) 〈佐 々 木 隆〉	466
英語 I B (営 B) 〈前期：真砂 久晃、後期：中尾 俊光〉	466
英語 I B (営 B) 〈樋 渡 俊 光〉	467
英語 I A・I B [再クラス] 〈丹 治 弘 昌〉	467
英語 I A・I B [再クラス] 〈伊勢村 定 雄〉	467
英語 I A・I B [再クラス] 〈八十木 裕 幸〉	468
英語 I A・I B [再クラス] 〈池 上 賀英子〉	468
英語 I A・I B [再クラス] 〈本 間 俊 一〉	468
英語 II A (営 B) 〈芝 田 興太郎〉	469
英語 II A (営 B) 〈岡 崎 寿一郎〉	469
英語 II A (営 B) 〈小笠原 隆 元〉	470
英語 II B (営 B) 〈芝 田 興太郎〉	471
英語 II B (営 B) 〈今 井 夏 彦〉	471
英語 II B (営 B) 〈古 富 猛〉	472
英語 II A・II B [再クラス] 〈丸 小 哲 雄〉	472
英語 II A・II B [再クラス] 〈田 口 清 一〉	472
英語 II A・II B [再クラス] 〈飯 沼 好 永〉	473
英語 II A・II B [再クラス] 〈萩 原 輝〉	473

[ド イ ツ 語]

ドイツ語 I A (営 B) 〈野 島 利 彰〉	474
ドイツ語 I B (営 B) 〈藪 下 紘 一〉	474
ドイツ語 I A・I B [再クラス] 〈百 濟 勇〉	474
ドイツ語 II A (営 B) 〈清 水 修〉	475
ドイツ語 II B (営 B) 〈篠 原 敏 昭〉	475
ドイツ語 II A・II B [再クラス] 〈百 濟 勇〉	475

[フ ラ ンス 語]

フランス語 I A (営 B) 〈今 関 ア ン〉	476
フランス語 I B (営 B) 〈竹 田 正 純〉	476
フランス語 I A・I B [再クラス] 〈前 田 祝 一〉	476
フランス語 II A (営 B) 〈八 木 明 美〉	477
フランス語 II B (営 B) 〈木 下 雄 介〉	477
フランス語 II A・II B [再クラス] 〈竹 田 正 純〉	477

[中 国 語]

中国語 I A (営 B) 〈杉 山 静〉	478
中国語 I B (営 B) 〈秋 元 翼〉	478
中国語 I A・I B [再クラス] 〈大久保 明 男〉	478
中国語 I A・I B [再クラス] 〈三田村 圭 子〉	479
中国語 I A・I B [再クラス] 〈秋 元 翼〉	479

中国語Ⅱ A (営B) 〈尹 景 春〉	479
中国語Ⅱ B (営B) 〈秋 元 翼〉	480
中国語Ⅱ A・Ⅱ B [再クラス] 〈大久保 明 男〉	480
中国語Ⅱ A・Ⅱ B [再クラス] 〈東 映 全〉	480

〔 スペイン 語 〕

スペイン語Ⅰ A (営B) 〈大 岩 功〉	481
スペイン語Ⅰ B (営B) 〈大 岩 功〉	481
スペイン語Ⅰ A・Ⅰ B [再クラス] 〈栗 林 ゆき絵〉	481
スペイン語Ⅱ A (営B) 〈亀 山 晃 一〉	482
スペイン語Ⅱ B (営B) 〈中 山 直 次〉	482
スペイン語Ⅱ A・Ⅱ B [再クラス] 〈栗 林 ゆき絵〉	483

〔 ロ シ ア 語 〕

ロシア語Ⅰ A (営B) 〈廣 田 英 靖〉	484
ロシア語Ⅰ B (営B) 〈廣 田 英 靖〉	484
ロシア語Ⅰ A・Ⅰ B [再クラス] 〈杉 山 秀 子〉	484
ロシア語Ⅱ A (営B) 〈廣 田 英 靖〉	485
ロシア語Ⅱ B (営B) 〈廣 田 英 靖〉	485
ロシア語Ⅱ A・Ⅱ B [再クラス] 〈杉 山 秀 子〉	485

〔 英 語 〕

英 会 話 Ⅰ 〈コプレーマッキー, D.S.〉	486
英 会 話 Ⅱ 〈コプレーマッキー, D.S.〉	486
英 語 L L Ⅰ 〈真 砂 久 晃〉	487
英 語 L L Ⅱ 〈池 上 賀 英 子〉	487

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基本表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	丸 小 哲 雄 <small>まる こ て っ お</small>	営 B 1 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

現在、e-mailやインターネットなどに対応できる実践的な能力の開発が必要になってきている。そこで、発信型のコミュニケーションに重点を置く。モデル・ダイアログをテープで聞き、読み、内容をパラフレーズしたり、要約したりして、書いてみる演習である。書く演習に加えて、ラジオ放送などのニュース英語のリスニングも慣れ親しみたい。

20分間を教材 (テキストとテープ) を利用してリスニング・タイムとして、70分をライティング・タイムとします。リスニング・タイムはスピーチを、ライティング・タイムはテキストの内容に関する練習問題を通して自己表現できるように発信型の能力を涵養してゆきます。レポート (英文) 提出もあります。

成績評価の方法

出席、平常テスト、前期・後期の語学試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

リスニング【A Shorter Course Broadcast English】(南雲堂)
ライティング【College English Grammar and Composition of Spoken English】(英宝社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	吉 川 直 澄 <small>きつかわ なおずみ</small>	営 B 1 年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、スピーキングとリスニングの演習を行なう。

講義の内容・ 授業スケジュール

炎は、いったん点火されれば、燃料の追加さえ怠らなければ、燃え続けるだろう。とはいえ、英語学習における“点火作業”には根気が必要だ。読めば何のこともない会話の断片すらも、音そのものから理解し、対処するには練習がいる。前期後期とも、音声を通じて、日常的な基本表現の定着を目指す。

履修上の留意点

とにかく繰り返し練習すること。付属のCDは、ただ聞くだけでなく、声を出して練習してほしい。練習する場合には、英語のリズムとイントネーションを極力“模倣”するよう心掛けること。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業内提出物、プレゼンテーション、前期末試験もしくは夏休みレポート、後期末試験を総合して評価する。なお欠席と遅刻の回数についての問い合わせには一切応じない。

教 科 書

【Let's Talk 2】(Cambridge University Press)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	前期：矢島直子 後期：今井夏彦	営 B 1 年	2

講義のねらい

大学入試時の力を落とさないように、大学の基本的な英語を確実に学ぶことを目指す。英語を書き慣れるようにする。

履修上の留意点

どんどん書いてもらうから、必ず予習をすること。

成績評価の方法

出欠状況、平常点、期末試験を総合して評価する。

教科書

根間弘海『*Braven Smillie, Enjoy Expressing Yourself*』（金星堂）1,900円（税別）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	コブレーマッキー, D. S.	営 B 1 年	2

講義のねらい

To develop the students' ability to understand and use spoken English in everyday contexts.

講義の内容・
授業スケジュール

April	Introductions, greetings, asking for information Talking and asking about families
May	Asking about and describing people. Asking and answering questions about personal history REVIEW TEST
June	Welcoming, making offers, accepting & refusing Asking about and telling prices, paying for goods Asking about & identifying locations (inside), giving directions Describing procedures, narrating a sequence
July	REVIEW TEST
September	Routines & schedules, telling time Ordering food & drink, asking for information
October	Inviting, making excuses Making suggestions, talking about the weather REVIEW TEST
November	Likes & Dislikes, gift giving suggestions, objections Describing people & jobs Asking & talking about past events
December	REVIEW TEST
January	Presentations & Discussion

履修上の留意点

Must be active learners, using English individually, in pairs, and in groups. Weekly use of Internet resources will also be required.

成績評価の方法

Students will be assessed by homework, interview, role-play simulations and written tests. There will be two formal tests each semester.

教科書

The main text used will be "Expressions : Book 1", by David Nunan, published by Heinle & Heinle (price apx. ¥2,400). Students will also need to acquire accompanying cassette tapes or CD .

参考書等

Supplementary materials may also be supplied by the teacher.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語LLI	ま な ご ひ さ あ き 真 砂 久 晃	営 B 1 年	2

講義のねらい	基本的な英語のListening能力と発音の向上をめざす。
講義の内容・ 授業スケジュール	毎時間、ビデオを見ながら、Listeningの練習をして耳を慣らし、正しい発音ができるようにする。
履修上の留意点	出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。(正当な理由のある欠席については考慮する)
成績評価の方法	成績=(前期の点数+後期の成績)÷2 前期、後期共、成績は(100点満点)=出席点(20~30%)+テスト(70~80%)となる。
教 科 書	『Daily English』小野田栄著(金星堂)2,000円
そ の 他	最初の授業では、詳しい説明をするので、必ず出席すること。

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	佐々木 隆	営 B 1 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

学生諸君の興味や関心にも対応できるように、テキストは特に定めない方針である。扱う内容は時事的なものを中心に、国内外を問わず、英語を読むのではなく、内容を読むことを知ってもらいたい。内容の理解には一般常識は不可欠である。

成績評価の方法

評価は出席状況と提出物（講義内）を重視する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	前期：真砂久晃 後期：中尾俊光	営 B 1 年	2

講義のねらい

基本的な英文の読解能力の向上を目指す。

講義の内容・ 授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績の20%~30%が平常点、70~80%が試験となる。

教 科 書

『Men In Black』 J.J.Gardner著 (南雲堂フェニックス) 980円

そ の 他

授業を受ける時は携帯電話のスイッチを切っておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB	樋 渡 俊 光 <small>ひわた しのこう</small>	営 B 1 年	2

講義のねらい

アメリカ社会における色々な場面を、日本の社会と比較し、国際人となる資質をもった学生を育成すること。

履修上の留意点

辞書持参、予習の励行。

成績評価の方法

4 / 5 以上の出席と定期テストの結果。

教 科 書

『SIMPLY AMERICA SIMPLY JAPAN』（南雲堂）

参 考 書 等

プリント教材。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	丹 治 弘 昌 <small>たんじ ひろまさ</small>	営 B 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

具体的には教場にて説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	伊 勢 村 定 雄 <small>いせむら さだお</small>	営 B 2 年	2

講義のねらい

英語の発音・表現をアメリカ文化を学びながら身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

主に本文の訳読・設問により読みをダイアログで暗唱をし、English Breakで文化を学ぶ。
前期・・・Unit 1～Unit 7
後期・・・Unit 8～Unit 15

履修上の留意点

事前に必ず予習し、CDのチェックを怠りなく。辞書は持参せよ！

成績評価の方法

ペーパーテスト及びオーラルテストによる。

教 科 書

Sadao Isemura&Dennis R. Kogge著『アメリカン・ライフを英語で』（CD付き）1, 900円

参 考 書 等

中型英和辞典

そ の 他

1 限目に詳細は説明するので必ず出席のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	やそぎ ひろゆき 八十木 裕 幸	営 B 2 年	2

講義のねらい

ビジネス、経済、文化などに関する実用英語の運用能力をたかめることを目標とします。ヒット曲を聴きながら音声変化に対応できる能力の育成を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

フードサービス、未来マネー、ノンバンク、新世代住宅、新型車、外資系ホテルなどに関する報道記事を読解します。併せてリスニングの訓練をします。

履修上の留意点

プリントを事前に配布します。毎回指名して授業をすすめますので必ず予習を実行してください。

成績評価の方法

各種テスト、レポート、出席状況（1回欠席－5店減点）などの総合で評価します。

教科書

プリント
角山照彦他『English with Hit Songs』（成美堂）1,700円（税別）

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	いけがみ かえこ 池 上 賀英子	営 B 2 年	2

講義のねらい

読解力とヒアリング能力の向上。

講義の内容・授業スケジュール

1回の授業で3～4頁進みます。

履修上の留意点

授業前の下調べを怠らないようにして下さい。

成績評価の方法

出席、レポート、テスト。

教科書

教室で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ほんま としかず 本 間 俊 一	営 B 2 年	2

講義の内容・授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休職中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

『愛の諸相』（朝日出版社） 1,700円

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段落から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II A	し ば 田 こうたろう 芝 田 興太郎	営 B 2 年	2

講義のねらい

言いたいこと、思っていることをのびのびと書いてみよう。英語で発表してみよう。表現しようとする意欲と、表現できた達成感を育てていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 幾つかのテーマの中から自由に選択し、年間3～4篇のESSAY (自由作文) を書き上げる。
- 併行して、和文英訳演習プリントを継続的に使用。基礎力を増進する。

履修上の留意点

表現しようとする意欲を最重視する。欠席、遅刻、駒澤大学学生にふさわしくないマナーには厳しく対処するつもり。辞書必携。

成績評価の方法

定期試験は行わず、ESSAY、小テスト、平素の積極性、出席率を総合的に判断する。

教 科 書

テキスト、参考書は使わない予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II A	おかざき としいちろう 岡 崎 寿一郎	営 B 2 年	2

講義のねらい

語学は、「外国語の学習で、母国語の限界を越える」(言語相対論)、また、「子供は、6才で基本的な文法力を、10才まで基本的な抽象能力を、大学の二・三年生で高度な抽象能力を獲得する」(言語発達史) の確認といえます。授業では、文の五型・冠詞と前置詞 (日本語の文法概念にはない) の理解を徹底し、英語のラディカルな運用能力を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席 (50%)、前期試験に代わる夏季レポート (25%)、後期試験 (25%) の総合評価とします。

教 科 書

岡崎寿一郎編註『猫のパジャマ=すてきな人ってこと』(太陽社) 1,400円

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA	<small>おがさわら</small> 小笠原 <small>りゅうげん</small> 隆 元	営 B 2 年	2

講義のねらい

これまで7～8年間、学んだ英語力が将来開花することを目標に、日英比較文化、言語、歴史的背景に留意した視点をもとに、年間25回前後の授業を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

実力向上をはかる為に、日英両語による小レポート、作文提出を課します。成績評価は総合評価。

履修上の留意点

初回授業時に諸資料を配布し、実力考査を実施するので必ず出席して下さい。

教 科 書

テキスト・参考書類は教場にて指示しますが『表現のための発信型英作文』（金星堂）1,750円を購入されたし。

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading：I Bを基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II B	し ば た こうたろう 芝 田 興 太 郎	営 B 2 年	2

講義のねらい

心に残る短篇を十分に味わいながら、既習語法の確認とあらたな語学力の増進を図りたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

おおむね教科書通りの順に読み進める予定。各篇を読み終えた時点で感想文を提出。

履修上の留意点

毎回の予習を義務付ける。辞書必携。

成績評価の方法

定期試験は行わず、感想文と随時小テスト、出席率などを総合して評価する。

教 科 書

『Chicken Soup for the Soul』 Jack Canfield 他著（金星堂）1,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II B	い ま い なつひこ 今 井 夏 彦	営 B 2 年	2

講義のねらい

国際化時代の中でアメリカの占める位置は大きい。そのアメリカの歴史や文化などを教養として学びながら、精読の力をつけ、合わせて多読にも適応できるように心がけたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

1回の授業で1章進む予定である。

成績評価の方法

評価は、出席点と授業への参加度及び前期と後期の試験などを総合して考える。

教 科 書

テキスト『アメリカの文化と社会』（成美堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II B	こ と み たけし 古 富 猛	営 B 2 年	2

講義のねらい

近年、ソ連邦解体によりいかに世界が多種多様の民族によって、成り立っているかを思い知らされる。戦後の日本は、経済発展を目ざして各分野で、欧米に負けない製品を作るべく大変な努力を、すぐれたそれぞれの分野の方々がしてきた。そのおかげで我々は生活の水準をかなりのところまで上げることができ、経営の面でも日本独自の方法論を展開することができたのではない。ただあまりにも有頂天になり過ぎたせいで、バブル経済の破たんへの憂き目にあっている現在、いかに欠点を見直すかが必要とされている。外国との関わりにおいても語学力が重要であることはいうまでもなく、相互理解のためにも勉強する必要がある。高度成長の時とは少々異なり、文化的面にもウェイトをおくべき時代であろう。

講義の内容・授業スケジュール

前後期、日本人にあった手法で、英語を学ぶべく、説明し、その方向で授業を進めてゆきたい。

履修上の留意点

学生諸君には予習をしてくることを原則とし、さらに発表するべく心得て欲しい。

成績評価の方法

出席状況、前後期のペーパー・テストの結果ならびに、予習発表の評価により判断する。

教 科 書

『日本人と欧米人』（マクミラン・ランゲージ社）1,311円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II A・II B 〔再クラス〕	ま る こ て つ お 丸 小 哲 雄	営 B 3 年	2

講義のねらい

授業は、語学的な技術と同様に、日本と欧米との根本的な発想法のズレを考えるクラスとした。ものの考え方、価値観、生活のライフ・スタイルなどは、その国の制度・習慣・宗教といった文化規範によって培われ、またその国の気候や風土も国民性に影響を及ぼすから、そこでまず、日本文化の独自性と日本人の構想力の働き方や発想法のパターンを自己確認しておく必要があります。いわば白国の事柄に自覚的になることで、英語の潜在能力を顕在化させる基礎としたい。

講義の内容・授業スケジュール

20分間を教材を利用してリスニング・タイムとして70分をリーディング・タイムとします。リスニング・タイムは語彙と総合理解を、リーディング・タイムはテキストの読み・解釈・批評の能力を涵養してゆきます。数回の小テストを行いません。レポート提出もあります。

成績評価の方法

出席、平常テスト、前期・後期の語学試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

リスニング・テキスト：『First Steps to TOEIC Test Listening』（桐原書店）
リーディング・テキスト：『The Compact Culture』（英宝社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II A・II B 〔再クラス〕	た ぐ ち せ い い ち 田 口 清 一	営 B 3 年	2

講義のねらい

グローバルな視野に立ち、語彙、文法、背景知識（一般教養）が三位一体となった総合的英語力の向上を目指す。そのためには、歴史、美術、音楽、数学、医学といった幅広いトピックを扱い、学生に必須の“cultural literacy”を修得すべく編まれた本テキストは格好のものである。年間を通して、「知的に考える語学」を徹底して実践したい。

尚、授業は演習形式をとるので予習を大前提とする。

成績評価の方法

出席と平常点を重視し、これに定期試験を加えて総合的に評価する。平常点では何よりも学問的意識のあり方を重視したい。尚、出席が3分の2に満たない場合は不合格とする。

教 科 書

『Fundamentals-Cultural Literacy for Students-（英語で築く知の礎）』（鶴見書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	いぬま よしなが 飯 沼 好 永	営 B 3 年	2

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より速く、正確に内容を把握する力を養うことを目指していきたい。また、リーディングの英文は、一種のライティングのお手本でもありますので、ライティングに活かせるよう、基本的な文法事項を踏まえつつ英語の文章構造も丁寧に捉えていきたい。

履修上の留意点

受け身の姿勢では自己の英語力を向上させることは困難ですから、積極的に授業に参加して下さい。そのためには予習をしっかりと行うよう心がけて下さい。

成績評価の方法

成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価 (50%)、前期・後期試験 (50%)

教 科 書

リーディング：柴山森二郎・上地安貞『*Read the Age of Transition*』(三修社) 1,800円
ライティング：プリント使用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	はぎわら てる 萩 原 輝	営 B 3 年	2

講義のねらい

これまで学んできた英語を基礎として、自分の考えや意見を、英語で表現できる能力の習得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

4月から6月は、“Happiness”と“Money”と“Work”についての章を学ぶ。7月は前期のまとめと、前期試験を実施。9月から12月は、“Love and Hate”と“Humor and Laughter”と“Experince”についての章を学ぶ。1月は後期試験を実施する。

履修上の留意点

いつでも自分の考えや意見を英語で表現出来るようにするために、自主的に勉強する態度を身に付けて欲しい。なお、教科書、英和・和英辞典を毎時間持参すること。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席、授業態度、試験の結果、等の総合評価。

教 科 書

Jim Knudsen著『名句で英語を学ぶ』(南雲堂) 1,957円

[ドイツ語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA	<small>のしま としあき</small> 野 島 利 彰	営 B 1 年	2

講義のねらい

日本語にも文法があり、私たちはそれに沿って日本語を話しています。ドイツ語を理解するためにもやはり文法が必要です。この文法を基礎から学びます。英語の文法との共通点もありますが、むしろそうでない未知の部分の方が面白いかもしれません。

講義の内容・授業スケジュール

1回の授業で1課進みます。練習問題に多くの時間を使い、残りの時間を説明に当てます。

履修上の留意点

授業は毎回練習問題から始まります。各問題を指名して答えてもらうので、予習しておくことが大事です。

成績評価の方法

成績評価は予習をしているか否かと、二回の定期試験、および随時行う小テストの結果を見て総合的に判断します。

教科書

在間進『わかって楽しいドイツ語』（三修社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB	<small>やぶした こういち</small> 藪 下 紘 一	営 B 1 年	2

講義のねらい

初級ドイツ語を勉強しましょう！

成績評価の方法

成績評価は、教室での発表と、7月及び1月の成績の合計で行います。

教科書

大岩：『初級後期ドイツ語読本（4）』（三修社）1,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	<small>ちもずみ いさむ</small> 百 濟 勇	営 B 2 年	2

講義のねらい

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。これまで習った蓄積を基礎にして、ドイツ語、英会話文章で朗読に力点を置く。毎回、何等かの形で読ませ、それを採点する。その平常点を重視、その結果期末試験は行わない。プリントは教場で配布。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA	しみず 清水 おさむ 修	営 B 2 年	2

講義のねらい	特にコミュニケーション能力の養成をめざします。
講義の内容・授業スケジュール	最初は特に、復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めて行きます。
履修上の留意点	ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。 受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。
成績評価の方法	主に平常点で評価します。
教科書	プリントを用意します。
参考書等	授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡB	しのはら としあき 篠原 敏昭	営 B 2 年	2

講義のねらい	ドイツ語ⅡA・ⅡBで習った基礎的なことからをもとに、簡単なレベルから始めて、少しずつレベルをあげながらドイツ語の文章の理解に取り組んでいきたいと思ひます。
講義の内容・授業スケジュール	下記のテキストを用いて授業をおこないますが、ドイツの文化や生活、歴史や考え方などもテキストをとおして学んでいきたいと思ひています。
履修上の留意点	予習をやってくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってくること。
成績評価の方法	毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思ひています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。
教科書	シュテファン・ヴント/本橋右京『グリム童話で学ぶドイツ語』(都文堂) 2,000円
参考書等	授業の中で指示します。
その他	テープをつかった授業をおこなう予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	ちもずみ いさむ 百 濟 勇	営 B 3 年	2

講義のねらい	1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。これまで習った蓄積を基礎にして、毎回、何等かの形でテストを行う。それを提出し、採点後に返す。その平常点で採点、期末試験は行わない。プリントによる試験問題は、毎回配布。
--------	--

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA	いまぜき 今 関 ア ン	営 B 1 年	2

講義のねらい

初心者を対象に、人称代名詞・冠詞・名詞・形容詞の用法や動詞の活用など、文の基礎単位とその組立の仕組みにあたる文法を学ぶ。最初は慣れ親しんだ英語に比べ複雑に見えるかもしれないが、学習していくうちにフランス語の論理的で明晰な構造に気が付き、楽しく習得できるに違いない。

講義の内容・ 授業スケジュール

毎回前週に学んだ事項の小テストを行って、学習成果を確認する予定である。進度はゆっくりなので、落ちこぼれることはない。

履修上の留意点

上記に述べたように、毎週の小テストが成績評価に占める割合はかなり高い。極力欠席しないようにし、授業に積極的に参加することを望む。この場合の出席とは漫然と教室内に座っていることを意味しない。

成績評価の方法

平常点〔小テスト〕50% 定期試験50%

教 科 書

佐藤久美子著『アベセア・フランセ』（白水社）2,625円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB	たけだ まさずみ 竹 田 正 純	営 B 1 年	2

講義のねらい

文法の復習をしながら、一方で発音と動詞の変化の練習を十分におこなう授業にしたい。

成績評価の方法

前・後期の最終日のテストを中心に評価するが、日常授業への取組み方も評価対象とする。

教 科 書

田中他『リカのパリガイド』（駿河台出版社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	まえだ のりかず 前 田 祝 一	営 B 2 年	2

講義のねらい

初めてフランス語を学習するものとして、一番の基礎から開始します。

講義の内容・ 授業スケジュール

練習問題をくり返し教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

履修上の留意点

毎週の授業が、その前までの学習成果の上に立っての新しいことの勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席すれば取り残されてしまいますから要注意。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、毎週の課題がどれだけ消化できているかについても配慮します。

教 科 書

朝倉剛編『総合フランス語—文法・演習・読章—』〈三訂版〉（朝日出版社）1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語Ⅱ A	八木明美	営 B 2 年	2

講義のねらい

初級文法をひととおり学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。

成績評価の方法

出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

教科書

『ル・フランセ』（白水社）1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語Ⅱ B	木下雄介	営 B 2 年	2

講義のねらい

1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。

講義の内容・
授業スケジュール

平易な文章の短篇小説をテキストに用いる。

履修上の留意点

予習復習が必要なことは言うまでもない。テキスト中のすべての単語の品詞名・用法を確認して授業にのぞむこと。予習を怠り、教室に坐りに来るだけの学生は受講者とは認めない。かならずまともな仏和辞典を教室に持参すること（ポケット版の小辞典は不可）。

成績評価の方法

平常点を重視し、期末・学年末の試験成績を加味して採点する。

教科書

原章二編注『キャビンII』（白水社）1,365円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語Ⅱ A・Ⅱ B 〔再クラス〕	竹田正純	営 B 3 年	2

講義のねらい

これまでに学習した諸事項の復習・補完に力を入れてゆきたい。

成績評価の方法

前・後期の最終日のテキストを中心に評価するが、平常授業で課す提出物も評価対象とするつもりである。

教科書

P・Guth（川村編）『ムスティクと砂売りおじさん』（駿河台出版社）500円

中 国 語

中国語 I A・I B・II A

(P.114) 参照

中国語 II B

I A-I Bの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のII Aに対し、II Bの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記I A-I Bに準ずる。

【辞書について】

(P.115) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A	杉 山 静	営 B 1 年	2
中国語 I B	秋 元 翼		

講義のねらい

中国語を初めて学ぶ者を対象とする。発音・初級文法・基本的な会話表現を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音の基礎やピンインのつづり方をひと通り学んだ後に文法説明に入っていき、後期は、よりなめらかな発音を目指しながら、文法知識を積み重ねていく。

履修上の留意点

初級は特に発音が大事なので、口を大きく動かし、積極的に声を出すことを望む。また、基本単語も覚える必要があるので、復習をきちんとするように。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度・理解度および前後期の期末テストで評価する。

教 科 書

渡辺晴夫『中国語ハーヴェスト』（朝日出版社）2,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	お お く ぼ あ き お 大 久 保 明 男	営 B 2 年	2

講義のねらい

正確な発音と基礎文法の習得をめざす

履修上の留意点

毎回予習、復習が必要。

成績評価の方法

以下の三項目で総合評価する

- ① 出席率：全授業回数の四分之三以上出席すること。6回以上の欠席は単位放棄とみなす。
- ② 小テスト：各課終了後に小テストを行う。必ず受けること。
- ③ 学習態度：遅刻、早退、私語、指されて「わかりません」の即答などは消極的な学習姿勢としてマイナス評価される。

教 科 書

尹景春・竹島毅『中国語はじめの一步』（白水社）2,060円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	みたむら けいこ 三田村 圭子	営 B 2 年	2

講義のねらい	中国語の発音と文法の基礎を短い文例を学びながら、習得する。
講義の内容・ 授業スケジュール	最初の2ヵ月は、「ピンイン」の表記と、発音を中心に進める。その後は、配布するプリントと練習問題で文法の基礎を固める。
履修上の留意点	前回の失敗を繰り返さないこと。宿題は毎回提出すること。
成績評価の方法	出席重視。試験は年4回実施する。遅刻は3回で1回の欠席とする。
教科書	相原茂『1年生のころ』（朝日出版社）2,500円
参考書等	第1回の授業時に。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	あきもと たすく 秋 元 翼	営 B 2 年	2

講義のねらい	再履修者がこれまでの学習方法の欠点を自覚し、自分でその欠点を克服して当初の学習目標を達成できるようにする。
講義の内容・ 授業スケジュール	発音入門からやり直し、初級の文法と表現を一年間でマスターする。
履修上の留意点	発音訓練が重要なので、教室では口を大きく動かし、積極的に声を出すようにしてほしい。また、基本単語を覚えることも大事なので、CD等を活用し、復習することを望む。4分の3以上の出席を要する。
成績評価の方法	平常の学習態度と理解度および前・後期の期末テストで評価する。
教科書	山田真一『500語マスター基本中国語』（同学社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA	いん けいしゆん 尹 景 春	営 B 2 年	2

講義のねらい	中国人の考え方や習慣、風俗等についてやさしい文章で編集されたテキストを用いる。中国語を学習すると共に中国と中国の文化、社会などをより深く知り、中国への理解を深めることを目指す。
講義の内容・ 授業スケジュール	語学は独学ではなかなか進歩しない。一番効果的な勉強は授業に積極的に参加すること。テープ等活用して十分練習すること。
履修上の留意点	4分の3以上の出席と、授業中に声を出して練習する積極的な姿勢が必要である。
成績評価の方法	出席率、授業態度、試験などで評価する。
教科書	荒屋勤・尹景春『中国と日本』（朝日出版社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	あきもと 秋元 たく 翼	営 B 2 年	2

講義のねらい

既に学んだ初級の文法、表現を基礎に、聴解力・会話力のレベルアップをはかる。

講義の内容・授業スケジュール

音声聞き、意味をとる練習をする。聞き取り・書き取り・口頭練習を中心に授業を進め、一年間で一冊教科書を終える。発音の矯正にも力を入れる。

履修上の留意点

音声面に重点をおいた授業なので、目を教科書から離して、積極的に声を出すように望む。CD等を活用し、予習・復習をするように。4分の3以上の出席を要す。

成績評価の方法

平常の学習態度と理解度および前・後期の期末テストで評価する。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語 初級～中級編』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	おおくぼ あきお 大久保 明 男	営 B 3 年	2

講義のねらい

中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法

- (1) 出席 : 最も重視する。年間6回以上の欠席者は履修者と認めない。
- (2) テスト : 定期試験のほか、小テストを随時行う。
- (3) 学習態度 : 遅刻、私語、回答回避などの消極姿勢はマイナス評価となる。以上による総合評価

教科書

尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』（白水社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	あずま えいぜん 東 映 全	営 B 3 年	2

講義のねらい

初級で学んだ中国語の基礎（ピンイン）を復習しながら、音読と中国語の構造（語法）を中心に学んでいく。中国語のヒアリングと会話能力の向上を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

言葉の習得は、「聞く」「話す」「書く」をまんべんなく学習する。一回一回の授業を大切にしたい。

履修上の留意点

出来るだけ遅刻しないこと、欠席しないこと。授業中に必ず声を出して勉強する必要がある。

成績評価の方法

出席、授業態度、試験等総合的に判断すること。

教科書

陳榮生等共著『中国に行こう』（神保出版）1,800円

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA	おおいわ 大 岩 功	営 B 1 年	2
スペイン語ⅠB			

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・ 授業スケジュール

文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、なるべく予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法

年数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教 科 書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参 考 書 等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	くりばやし 栗 林 ゆき絵	営 B 2 年	2

講義のねらい

基本的な文法事項を整理して、スペイン語のことばのしくみを学習する。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。随時、課題、小テストを実施。

履修上の留意点

指示された課題は必ずやってくること。

成績評価の方法

平常点（出席、課題）6割以上、試験（小テストおよび前後期末）6割以上で合格とする。出席が6割に満たない者には単位を与えない。

教 科 書

堀田英夫『現代感覚でおぼえるスペイン語のエッセンス』（朝日出版社）1,900円

参 考 書 等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
*辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	かめやま こういち 亀 山 晃 一	営 B 2 年	2

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当たって困らない為の、コミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより、習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしないこと。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡB	なかがま なおじ 中 山 直 次	営 B 2 年	2

講義のねらい

前年度に引き続き、文法の体系的学習の完成を目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

昨年度スペイン語ⅡAで使用した、『やさしいスペイン語』の後半を学習します。これまで通り、スペイン語文法の基本事項を説明した後、理解を深めるために練習問題を解きます。ただし今年度は、授業が単調になるのを避けるため、毎回副読本を使って簡単なスペイン語会話の演習をします。

履修上の留意点

なるべく「専用ノート」を作ってください（小テストの時に参照するためにも）。

成績評価の方法

授業中の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします（いわゆる学期末定期試験は行いません）。

教科書

昨年度からの継続（購入不要）：中山著『やさしいスペイン語』（白水社）
今年度用の副読本：中山著『250語でできるやさしいスペイン語会話』（白水社）

参考書等

辞書・参考書等は、現在持っているもので十分まにあうと思います。ただし、辞書は小型の携帯用だけでは幾分物足りなくなるかもしれませんので、その場合、できれば『現代スペイン語辞典』（白水社）・『西和中辞典』（小学館）・『新スペイン語辞典』（研究社）などのうちいずれか一冊を補充してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	くりばやし ゆきえ 栗 林 ゆき絵	営 B 3 年	2

講義のねらい

スペイン語の基本的な文法の体系を学び、簡単な新聞や小説が読めるようになることを目標にする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は前半で文法事項の整理・学習を行い、後半で新聞記事等を読む、という構成で進める予定。

履修上の留意点

講読のテキストは授業中に配布するので必ず出席すること。辞書は授業中に使用するので必ず持ってくること。スペイン語の表現が日本語のどんな表現にあたるかを考えながら勉強してほしい。

成績評価の方法

4月中に受講票を提出しない者は単位取得の意志があるとみなさない。平常点（出席・発言）、小テスト、前後期の試験とも60%以上とることが単位取得の最低条件である。

教 科 書

上田博人『12課のスペイン語文法』（白水社）

参 考 書 等

〈辞書〉「プログレッシブスペイン語辞典」

*辞書はすでに所有している者はそれを使用すればよいが、未購入の者は上記を購入のこと。

〔ロシア語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA	<small>ひろた ひでやす</small> 廣 田 英 靖	営 B 1 年	2

講義のねらい

一般的に、語尾変化があるロシア語は、難しい言語であるとおもわれがちですが、その動詞、形容詞、名詞の語尾変化を含む文法体系は、驚くほど首尾一貫しており、ある程度基本文法を学ばないと、ロシア語の文体が如何に単純、明快であるか、さらにその構成が極めておろかで、自由、柔軟なことに気がつきます。このような特徴を持つユニークなロシア語の学習を通して、ユーラシア大陸における旧ソ連の各共和国、諸民族の生活や文化の背景にも広い視野でスポットをあてます。

最初の段階では、ローマ字やギリシャ文字と共通のものもあるわずか33個のロシア語アルファベットの綴、発音をイラストで示し、次にごく簡単な言葉、挨拶、ことわざを利用しながら、アクセントとリズム、イントネーションを反復練習し、自然におぼえることに重点をおきます。

徐々にロシア語の基本文法を体系的に分かりやすく解説し、平易な文型、実用的で応用のきく会話表現を学び、辞書を用い簡単な文章が正確に読み取れるようにします。

授業の合間には、気分転換をかねてポピュラーなロシア民謡を口ずさんだり、楽しく内容豊かなアニメーション・ビデオを鑑賞し、頭脳を能率よく働かせるロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

戸辺又方『1年生のロシア語』（白水社）1,400円

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠB	<small>ひろた ひでやす</small> 廣 田 英 靖	営 B 1 年	2

講義のねらい

ロシア語ⅠAで学んだアルファベットや言葉を、具体的に用いられる日常会話の形式で繰り返し練習し、簡単な挨拶から始まるやさしい表現を直接耳から聞き覚えます。ディクタント（書取）を行い、耳で聞き取り、筆記体でもしっかりと書けるようにします。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

米重文樹『話すロシア語入門』（白水社）1,300円

参考書等

『露和辞書』

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	<small>すぎやま ひでこ</small> 杉 山 秀 子	営 B 2 年	2

ロシア語ⅠAの内容に準じる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡA	<small>ひろ た ひで やす</small> 廣 田 英 靖	営 B 2 年	2

講義のねらい

ロシア語ⅠAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。

授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、またWindowsで日本語ワープロソフトWordを用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡB	<small>ひろ た ひで やす</small> 廣 田 英 靖	営 B 2 年	2

講義のねらい

ロシア語Ⅰで学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドット（小話）や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	<small>すぎ やま ひで こ</small> 杉 山 秀 子	営 B 3 年	2

ロシア語ⅡAの内容に準じる。

英 会 話 I ・ II

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL のスコア-450点、TOEIC のスコア-500点程度です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話 I	コブレーマッキー, D. S.	営B1・2・3・4選 (11以前入学生)	2

(P.464) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話 II	コブレーマッキー, D. S.	営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

To develop students' ability to present and discuss information about life, interests and current topics.

講義の内容・授業スケジュール

April	Asking for & giving personal information, wants, intentions Asking about & describing families
May	Asking about plans, asking for more specific information. Asking and talking about vacation activities REVIEW TEST
June	Price & payment Describing occupations, like & dislikes Making requests, thanking Plans & obligations, making reservations
July	REVIEW TEST
September	Asking for & giving directions, offering help Discussing habits, degree
October	Talking about past events, surprise, congratulations Discussing health, giving advice REVIEW TEST
November	Discussing work experience & education, comparin Discussing past experience, describing places Describing objects, making recommendations Errands, apologizing, making excuses
December	REVIEW TEST
January	Presentations & Discussion

履修上の留意点

Must be active learners and users of English. Students will be required to work in pairs or small groups, using English only. Students will also be required to make weekly use of Internet resources.

成績評価の方法

Will be by homework, interview, role-play simulations and written tests. There will be two formal tests each semester.

教科書

The main text will be "Expressions : Book 2", by David Nunan, published by Heinle & Heinle (price apx. ¥2,400). Students will also need to acquire accompanying cassette tapes or CD .

参考書等

Supplementary materials may also be provided by the teacher.

英語 L L I ・ II

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階のLL教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。I、IIともTOEFLで450点、TOEIC500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 L L I	ま な ご ひ さ あ き 真 砂 久 晃	営B1・2・3・4選 (11以前入学生)	2

(P.465) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 L L II	い け が み か え こ 池 上 賀 英 子	営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

英語のヒアリング能力を、ニュース、映画音楽を通じて向上させる。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期は下記のテキストを扱う。毎週2分から3分程度のビデオを視聴する事から授業が始まり、リスニング力を中心とした四技能の効果的な習得をはかる。後期は映画・ニュース番組・日常会話等から題材を取る。

履修上の留意点

平常点重視の為、欠席の多い学生は単位取得不可能。

成績評価の方法

平常点と随時行う小テストによる。

教 科 書

教室で指示します。

4 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	
6 時 限	※大石	ニュースポーツ		高 橋 空手道	鈴 木 健康・スポーツ論
	秋 田	バドミントン		※村松	卓球
	宮 沢	卓球		三 幣	バドミントン
7 時 限	大 石	ニュースポーツ	竹 田 健康・スポーツ論	※高橋	空手道
	秋 田	バドミントン		村 松	卓球
	※宮沢	卓球		三 幣	バドミントン

※は、科目の主担当者

4. 保健体育科目

健康・スポーツ論〈竹田幸夫〉	493
健康・スポーツ論〈鈴木淳平〉	494
健康・スポーツ実習(バドミントン)〈秋田浩一・三幣晴三〉	495
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(バドミントン)	
健康・スポーツ実習(空手道)〈高橋俊介〉	496
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(空手道)	
健康・スポーツ実習(ニュースポーツ)〈大石武士〉	497
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(ニュースポーツ)	
健康・スポーツ実習(卓球)〈宮沢栄作・村松誠〉	498
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(卓球)	
生涯スポーツ実習(集中前期・基礎)〈休講〉	
生涯スポーツ実習(集中前期・応用)〈休講〉	
生涯スポーツ実習(集中後期・基礎)〈休講〉	
生涯スポーツ実習(集中後期・応用)〈休講〉	
生涯スポーツ演習(シーズン前期・基礎)〈竹田幸夫 他〉	499
生涯スポーツ演習(シーズン前期・応用)	
生涯スポーツ演習(シーズン後期・基礎)〈佐藤政之 他〉	500
生涯スポーツ演習(シーズン後期・応用)	

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 (前期)	すずき じゅんぺい 鈴 木 淳 平	営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

健康としての具備すべき条件（13項目）の追求と、それに深くかかわる体育、スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：体育の発生と今日までの各々の時代的変遷と併せて古代体育の目的と現代の体育の具体的目標について。
- 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を人間以外の動物の寿命等を例として認識させる。
- 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時限目：スポーツと体力の関係について
- 5 時限目：運動能力発達の原理
- 6 時限目：運動能力の領域
- 7 時限目：運動能力の構造
- 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時限目：総合体力の定義と要素
- 10 時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ障害について
- 11 時限目：ク
- 12 時限目：トレーニング理論全般
- 13 時限目：ク
- 14 時限目：ク
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

成績評価は学期末の筆記試験による。

教 科 書

不要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	あまた こういち みぬき はるみ 秋田 浩一・三幣 晴三	営 B 1 必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(バドミントン)		営 B 2 年	

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校が少ないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習（バドミントンのスイング技術・グリップ）
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム（ダブルスのラリーゲーム）
- 3 時限目：スマッシュの基本技術／ネットの隣のプレー技術
簡易ゲーム（ダブルスのラリーゲーム）
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同 第2日目
- 7 時限目：同 第3日目
- 8 時限目：同 第4日目
- 9 時限目：同 第5日目
- 10 時限目：同 シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 12 時限目：同 第2日目
- 13 時限目：同 第3日目
- 14 時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15 時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装
シューズ：運動靴（体育館用として中履きのシューズを使用すること）

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

教科書

バドミントンラケット・シャトルコックは大学で用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たか 橋 しゅん すけ 高 橋 俊 介	営 B 1 必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(空手道)		営 B 2 年	

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

- 1) 服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。
- 2) 教場：修道館（第2体育館）2階

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	おおいし たけし 大石 武士	営 B 1 必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (ニュースポーツ)		営 B 2 年	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 9 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 10 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 11 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 12 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：修道館（第2体育館）2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	みやざわ えいさく むらまつ まこと 宮沢 栄作・村松 誠	営 B 1 必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(卓球)		営 B 2 年	

講義のねらい

文明発達著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは益々減少しつつある。このような生活環境、特に二部学生に対して、例え少ない時間であっても、卓球を通じて身体を動かすことを主なねらいとしたい。特に卓球は瞬時の動きを必要とするから、意識的に敏捷な動きを課したい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、目標の説明
- 2 時限目：ラケットの種類の特長、ラケットの握り方、ラケットとボールを使った遊び
- 3 時限目：サービス、レシーブ、フォアハンドドライブ
- 4 時限目：サービス、フォアハンドドライブ、スマッシュ
- 5 時限目：サービス、バックハンド
- 6 時限目：サーブレシーブ、バックハンド
- 7 時限目：総合練習
- 8 時限目：総合練習 シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：〃
- 11 時限目：〃
- 12 時限目：ダブルスゲーム
- 13 時限目：〃
- 14 時限目：〃
- 15 時限目：まとめ、テスト

成績評価の方法

出席を重視する。

そ の 他

服装は運動着、体育館用シューズ。
用具は全て貸与する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	たけだ ゆきお 竹田 幸夫 他	営 B 選	2

講義のねらい

「健康・スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフの基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいである。生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 事前授業 1回目5月18日(土) 講義:12:10~12:50 2研-101教場
「ゴルフの基本知識1、オリエンテーション」
2回目7月20日(土) 講義:13:00~15:30 2研-102教場
「ゴルフの基礎知識2」
※上記の事前授業は、オリエンテーションを兼ねるので必ず出席すること。
- (2) 実習内容
- | | | |
|-----|----------|---|
| 1日目 | 9月9日(月) | 実技:14:00~17:00 《オリエンテーション・打撃練習》
講義:19:00~21:00 《ゴルフスイングの基本》 |
| 2日目 | 9月10日(火) | 実技:9:00~12:00・13:30~16:30 《打撃練習・その他》
講義:19:00~21:00 《ゴルフのエチケット・マナー》 |
| 3日目 | 9月11日(水) | 実技:9:00~12:00・13:30~16:30 《打撃練習・その他》
講義:19:00~21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》 |
| 4日目 | 9月12日(木) | 実技:9:00~12:00・13:30~16:30 《ラウンド・その他》
講義:19:00~21:00 《ラウンドの反省と総括》 |
| 5日目 | 9月13日(金) | 実技:9:00~12:00・13:30~16:30 《ラウンド・その他》 |

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
- ① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - ② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - ③ グローブは、必ず各自で用意すること。
※ゴルフクラブ・キャディーバック等は大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。
- (2) 場所・宿泊
- ① 宿泊先:軽井沢千ヶ滝温泉ホテル 電話0267-46-1111
長野県北佐久郡軽井沢町千ヶ滝温泉
 - ② 練習場:軽井沢ゴルフ練習場 電話0267-48-1211
 - ③ コース:晴山ゴルフ場・ホテルコース・和美パー3コース・その他
- (3) 実施期間 平成14年9月9日(月)~13日(金) 4泊5日
- (4) 募集人員 定員25名(事前登録科目である。)
- (5) 集合・解散 現地(軽井沢千ヶ滝温泉ホテル)。詳細については(時間:道順など)事前授業で説明するので必ず出席すること。
- (6) 費用 49,500円 ※交通費は含まれない。
- (7) 納入方法 経理部窓口で、平成14年5月24日(金)~6月6日(木)までに納入すること。

成績評価の方法

出席点70%、技術の上達度及び小テスト30%(ルール、マナー等)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー	さとうまさゆき 佐藤政之 他	営 B 選	2

講義のねらい

現在我が国においてスキーは、国民スポーツと言われるまでに普及し、「生涯スポーツ」として楽しむことのできるスポーツとして定着している。スキーを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーについて理解を深めていきたい。

実習は、スキーの技術レベルに応じて、1班10名程度にグループ分けして実施する。コースの内容は、以下の通りである。

基礎コース：雪面に慣れることから始まり、ブルーク更にシュテムターンの習得

応用コース：パラレル、ウェーデルンと斜面に応じた総合滑降技術の習得、および完成をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

- 事前授業：5月18日(土) 12:10～12:50 2研-102教場「オリエンテーション・スキーの基礎知識1」
12月21日(土) 13:00～15:30 2研-102教場「スキーの基礎知識2」

2. 実習内容および現地講義

- 1日目 <2月17日(月)> 午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スキー基礎技術解説および安全・マナー」
- 2日目 <2月18日(火)>
午前・午後：班別実習および全体講義「スキー応用技術解説」
- 3日目 <2月19日(水)>
午前・午後：班別実習および全体講義「スキーと自然・ウィンタースポーツ」
- 4日目 <2月20日(木)>
午前・午後：班別実習および班別講義「本実習の反省とまとめ」
- 5日目 <2月21日(金)>
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

シーズンコーススキーの授業は、下記の要領で実施する。

- 1) 日程：平成15年2月17日(月)～2月21日(金)の4泊5日
- 2) 場所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド TEL (0195) 73-5019
- 3) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
受講者は、費用を納入期間平成14年5月24日(金)～6月6日(木)までに経理部窓口で納入すること。
- 4) 定員：30名
受講票を教務部窓口で配布するので、履修届提出の際添付すること。定員に達した時点で受講票の配布を終了する。
- 5) オリエンテーション：上記の事前講義(5月18日(土)・12月21日(水))で実習の説明を行うので必ず出席すること。
- 6) スキー用具：スキー用具は現地でレンタル可能(有料)。
- 7) 特記事項：スキー実習日程は、卒業年次生の追再試・1～3年次生の追試験と重なっているので特に注意すること。

成績評価の方法

事前講義および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びにスキー基本技術や、理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(03-3709-0717)に連絡すること。尚、実習に不参加の場合、受講料の一部は、返却されないことがある。

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

経営学科フレックスB・第2部経営学科

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックスAの頁を参照してください。(→P.257)

会	計	監	査	論	〈阿	部	一	人〉	535
国	際	会	計	論	〈休			講〉	
情	報	会	計	論	〈休			講〉	
日	本	経	済	史	〈北	島	万	次〉	536
経	済	政		策	〈西	山		司〉	536
財		政		学	〈速	水		昇〉	537
金		融		論	〈寺	尾	好	正〉	537
国	際	経	済	論	〈休			講〉	
日	本	経	済	論	〈羽	鳥		茂〉	538
証	券	市	場	論	〈佐	藤		昇〉	538
計	量	経	済	学	〈呉		逸	良〉	539
イ	ノ	ベ	ー	シ	ョ	ン		論	〈休
統	計	原		論	〈山	内	慎	二〉	540
統	営	情	報	論	〈休			講〉	
情	報	処	理	用	Ⅱ	〈高	井	徹	雄〉
情	報	処	理	用	Ⅲ	〈高	井	徹	雄〉
情	報	報	理	統	論	〈西	村	和	夫〉
経	営	営	統	計	〈長		国	強	〉
経	営	営	統	学	〈小	沢	利	久	〉
シ	ス	テ	ム	論	〈青	木	武	典	〉
民				法	〈織	田	晃	子	〉
商				法	〈島	原	宏	明	〉
税				法	〈休			講〉	
労		働		法	〈藤	本		茂	〉
演		習		I	〈岩	淵	昭	子	〉
演		習		I	〈大	島	久	幸	〉
演		習		I	〈兼	村	栄	哲	〉
演		習		I	〈猿	山	義	広	〉
演		習		I	〈高	橋	成	夫	〉
演		習		I	〈中	村	公	一	〉
演		習		I	〈橋	場	利	幸	〉
演		習		I	〈服	部	昌	久	〉
演		習		I	〈藤	原	篤	志	〉
外	書	講	読	(英書)	〈中	川	淳	平	〉
外	書	講	読	(英書)	〈速	水		昇	〉
ビ	ジ	ネ	ス	英語	〈町	井		靖	〉
特	殊	講	義	(前期)	〈齐	藤		正	〉
演		習		Ⅱ	〈大	野	満	奈	〉
演		習		Ⅱ	〈加	藤	武	信	〉
演		習		Ⅱ	〈片	桐	伸	夫	〉
演		習		Ⅱ	〈北	島	万	次	〉
演		習		Ⅱ	〈永	田	智	則	〉
演		習		Ⅱ	〈西	村	和	夫	〉
演		習		Ⅱ	〈西	山		司	〉
演		習		Ⅱ	〈宮	城		徹	〉

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営学	か が み よ う こ 各 務 洋 子	経営 B 1 必	4

講義のねらい

「経営学とはどのような学問なのか」をわかりやすく解説し、一年間の講義を通して、受講生の皆さん一人一人が「経営学を学ぶことのおもしろさ」をそれぞれ独自に発見できることを目指しています。グローバルな視点を常に念頭に置き、経営学の最新のトピックスや、日常見聞きする経済経営のニュースを幅広く取り上げ、学問としての経営学と現実の世界の融合を試みます。経営学という学問の奥深さを少しでも実感してもらえるよう授業を進めていきます。経営学の基礎的な専門用語・概念・理論を一通り理解した上で、2年次以降の専門科目を主体的に選択し、特定の専門領域を深めるための足がかりとしてもらいたいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、以下の順序で進める予定です。

1. 経営学とは
 - ・経営学の成り立ち・研究対象・研究領域
2. 経営学と企業
 - ・企業の特徴・企業の種類・株式会社の特徴と仕組み
3. 経営の諸理論
 - ・経営組織論
 - ・経営管理論
 - ・経営戦略論
 - ・マーケティング論
 - ・生産管理論
 - ・労務管理論
 - ・日本的経営論
 - ・国際経営論
 - ・組織間関係論

履修上の留意点

1. 毎回出席すること。2. 私語・携帯電話の呼出音等、講義に集中したい学生の権利を侵害する者は、即刻退室してもらいます。

成績評価の方法

定期試験の結果に平常点（レポート・小テスト・出席）を加味した総合評価によって判断します。

教科書

開講時に指示します。第1回目の講義に必ず出席して下さい。また頻繁にプリント資料で補足しますので、プリント資料用のバインダー（A4版）を用意し、番号（配布）順に整理して下さい。

参考書等

講義において適宜指示します。

その他

ホームページで、授業に関する情報を提供します。
http://www.komazawa-u.ac.jp/du/kagami_seminar/

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿記学	あ べ か ず ひ と 阿 部 一 人	経 営 B 1 必	4

講義のねらい

簿記についての基礎的な知識と技術の習得を目的とする。本講義は、複式簿記の基礎から仕訳転記、試算表ならびに精算表の作成、帳簿の締切、損益計算書および貸借対照表作成までの一連の手續の説明と記帳練習を重ねながら進められる。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| (1) 企業の経営と簿記 | (13) その他の債権・債務の記帳 |
| (2) 簿記の目的と種類 | (14) 手形の記帳 |
| (3) 簿記の基本要素 | (15) 有価証券の記帳 |
| (4) 取引と勘定 | (16) 固定資産の記帳 |
| (5) 仕訳と仕訳帳 | (17) 資本金の記帳 |
| (6) 転記と総勘定元帳 | (18) 決算整理と棚卸表 |
| (7) 試算表 | (19) 期末商品棚卸高と商品売買益の算定 |
| (8) 精算表 | (20) 損益整理 |
| (9) 簡単な決算 | (21) 精算表 |
| (10) 現金・預金の記帳 | (22) 元帳の締切 |
| (11) 商品売買の記帳 | (23) 損益計算書と貸借対照表の作成 |
| (12) 売掛金・買掛金の記帳 | (24) 帳簿・伝票 |

履修上の留意点

簿記学の実践的な側面を考慮すると、実践的能力を高めることも必要です。そこで、記帳練習を随時行って、簿記の知識と技術の習得をはかります。”継続は力なり”まさにその典型が簿記学です。簿記学は、積み重ねの学問でありますから、特に出席することが肝要です。(途中で欠席すると、その後の講義の理解が困難になります。)

成績評価の方法

評価方法は、前期と後期の定期試験、練習問題の解答結果および出席状況を考慮して総合的に判定する。なお、第一回目の講義において、本講義の内容とその進め方、試験の方法および評価方法等の詳細について説明するので、受講者はかならず出席すること。

教科書

中原章吉編著『簿記の基礎構造』3,000円&ワーク・ブック1,400円

参考書等

講義において指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
簿記学	お お の ま ん な 大 野 満 奈	経営 B 1 必	4

講義のねらい

簿記は会計学の基本であり、複式簿記の計算構造は、会計学のどの分野を学ぶにしても前提的に理解されることが必要である。この意味において、簿記の基本原則を理解し、経営学部に学ぶ者が最低必要とされる簿記知識を修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前 期

1. 簿記・会計の意義と目的
2. 企業の財政状態 - 貸借対照表
3. 企業の経営成績 - 損益計算書
4. 取引と仕訳
5. 勘定記入と元帳の締め切り
6. 帳簿・伝票・証ひょう
7. 試算表の作成(1)
8. 精算表の作成(1)
9. 現金・預金
10. 小口現金
11. 商品売買の処理と仕入帳・売上帳
12. 総合復習
13. 総合復習

後 期

1. 商品有高帳
2. 売掛金・買掛金と人名勘定
3. 有形固定資産の取得と売却
4. 資本金と引出金
5. 試算表の作成(2)
6. 売上原価の計算と決算仕訳
7. 貸し倒れの見積りと減価償却
8. 精算表の作成(2)
9. 有価証券
10. 手形取引
11. 費用・収益の見越しと繰り延べ
12. 精算表の作成(3)
13. 総合復習

履修上の留意点

簿記は自分で練習問題を解き、照合することによって初めて修得できるものであるから、原則として毎回出席して要点を理解し、自宅では毎回の復習に心掛けること。また、疑問点は、積極的に質問することによって早期に解決しておくこと。

成績評価の方法

試験の点数・出席回数・提出物の三点をもって総合的に評価する。

教科書

『要点整理 日商簿記検定練習問題集』3級（一橋出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿記学	とこいむつこ 床井睦子	経営 B 1 必	4

講義のねらい

簿記学において主にその対象とされるのは企業の複式簿記です。経済の具体的担い手である企業は、人・モノ・カネそしてサービス（情報）からなります。そうした企業を資金という統一概念で捉え、その源泉と運用の二側面に着目し、勘定という特殊な様式でこれを記録・計算・表示するシステムが複式簿記と呼ばれ、かのゲータが複式簿記は人間の精神が発明したもつともすばらしいものの一つであると賞賛したものでもあります。本講義では、この複式簿記原理の理解を目的に、(1)仕訳、(2)転記、(3)決算の基本部分を学習します。そして、貸借対照表・損益計算書に代表される財務諸表と関連させながら、企業の計数管理についても考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期：Ⅰ．「簿記学」の学習内容とガイダンス（年間計画、各種資格検定試験について）
Ⅱ．企業会計と複式簿記システム－貸借対照表・損益計算書の意義、作成目的及び複式簿記との関連性
Ⅲ．複式簿記システムの基礎（総論、簿記の目的と財務諸表）
1 複式簿記の原理とその記帳法（取引の二面認識、取引と勘定、仕訳と転記、仕訳帳と総勘定元帳）
2 決算手続（決算予備手続、決算本手続）
3 簿記の一巡（ビデオを併用し、今までの学習のまとめ）
後期：Ⅳ．財務諸表作成の基礎（貸借対照表・損益計算書のディスクロージャー制度）
1 期中取引の処理（貸借対照表・損益計算書に関わる勘定各論）
2 決算と財務諸表（決算整理、帳簿締め切り、財務諸表の作成）
3 コンピューター会計（帳簿記入とコンピューターでの会計処理方法の相違）
Ⅴ．財務諸表の分析と読み方－簡単な財務諸表分析と企業評価

履修上の留意点

“継続は力なり”簿記学はその典型かも知れません。毎回の出席を期待しています。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験に平常点（出席点）を加味し、総合評価で行います。

教科書

床井睦子著『アカウンティングの基礎』（白桃書房）3,300円

参考書等

必要に応じて紹介していきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記学	小田 幹雄	経営 B 1 必	4

講義のねらい

簿記を初めて学ぶ学生のために設けられた、簿記の基礎知識を理解してもらうクラスです。簿記は、日常の経済活動の状態を数値的に把握し、記録するための大切な手段であるので、本講座では「簿記とはどのようなものか」ということを認識してもらうために、プリントや練習問題により、簿記学習の基礎である資産・負債・資本の概念や、収益・費用の意味について理解してもらいたい。また、いろいろな勘定科目の意味を理解し、簿記一連の流れである仕訳・転記・試算表・決算修正・決算等についての基本的問題について正確に理解してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は次のようになります。

- I 複式簿記の原理：複式簿記の計算構造・簿記一巡の手順
- II 期中取引の処理：現金預金、商品売買、売掛金・買掛金、受取手形・支払手形など
- III 決算に必要な処理：決算修正仕訳・残高試算表の作成など
- IV 帳簿処理の合理化：伝票制度、(コンピューター簿記)

履修上の留意点

簿記の学習は「自分自身がペンと電卓をもって練習問題を数多く解くこと意外にはない」と私の教育方針から、練習問題を解かせるし、テストや宿題を出すこともある。テスト用紙は必ず提出すること。出欠席のチェックは毎回行う。

成績評価の方法

講義の際のテストの点数および、宿題の点数を合計し、定期試験の点を加算し、再び平均点を出して評価する。そのため、講義中のテストや宿題の未提出者は当然平均点が下がることになるから注意すること。

教科書

羽瀧信宏監修『簿記テキスト―商業簿記―初級編』（共栄出版）2,000円程度
中村義彦編著『基本簿記演習』（プレスウェーブ）1,524円

参考書等

鶴飼哲夫・中村義彦著『簿記イントロダクション』（森山書店）2,625円

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学概説	永田 智則	経営 B 1 選	4

講義のねらい

本講義では、経済学の基礎理論の修得を目指します。ミクロ経済学やマクロ経済学の基本的な概念や考え方を学習して、自分たちなりに現実の経済問題と取り組めるように、「経済学の考え方」を身に付けていただくことを意図しています。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経済学の課題、2. 消費者の行動、3. 生産者の行動、4. 市場機構、
5. 独占価格の決定、6. 国民所得、7. 国民所得の決定、8. 乗数理論と財政政策、
9. 金融政策、11. 景気循環、12. 経済成長

履修上の留意点

成績評価は、原則として学年末の定期試験で評価しますが、授業への出席も重視します。途中、検討課題を出すことも考えていますので、総合的な評価になることもあります。

成績評価の方法

授業中は他の受講生に迷惑が及ばないように、私語を謹み、携帯電話の電源を切るなど全員が授業に集中できるように心がけて下さい。授業内容で不明な点や疑問点があれば遠慮なく質問して下さい。

教科書

下記の書物と、授業中に配布するプリントを併用します。
幸村千佳良 『経済学事始』（多賀出版）2,700円

参考書等

開講時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会計学	こんどう さだお 近 藤 禎 夫	経営B1・2・3・4選	4

講義のねらい

普通、企業会計というときはそれは財務会計を指す。財務会計は、商法、証券取引法、および法人税法などの法律制度に拘束されるので制度会計ともいう。また、企業とりわけ独占大企業は、企業活動の詳細を会計数値によって利害関係者（経営者はいうまでもなく、株主、投資家、税務当局等々）に報告・開示が義務づけられており、公表会計ないし外部報告会計とも称したりする。

会計学および会計実務も、21世紀の企業を取り巻く国際的な政治情勢・経済情勢の劇的な変化にともない、日本の証券・金融市場や経済界全般が国際会計基準に調和せざるを得なくなってきた。まさに幕末の黒船出現のように、わが国に金融ビックバンとともに会計ビックバンをもたらした。例えば、企業グループ全体の業績を重視した連結財務諸表およびキャッシュフロー計算書の導入、年金制度の変革と退職給付会計、金融派生商品会計（デリヴァティブ）、税効果会計の導入等々と枚挙にいとまがない。

前期においては、初心者を対象にした財務会計の基本的な仕組みや会計制度の概要を講義する。それをふまえて、後期には最先端の日本の現代会計制度およびとくに注目すべき上記の個別問題に取り組むように計画している。

講義の内容・授業スケジュール

【会計の基本構造】

1. 会計の対象と方法
2. 会計の歴史
3. 企業の計算構造と複式簿記
4. 貸借対照表と損益計算書、利益処分計算書

【企業会計制度】

5. 日本の企業会計制度の特質
6. 商法、法令による企業会計制度
7. 証券取引法による企業会計制度
8. 財務情報の開示と監査制度

【会計の国際化と会計制度の変革】

9. 連結財務諸表の計算構造
10. キャッシュフロー計算書
11. 退職給付会計
12. 金融商品・金融派生商品会計
13. 国際会計基準・米国会計制度

履修上の留意点

1年次生は簿記学をしっかり履修しつつ受講すること。また2年次生以上も簿記学の知識は必須要件であり、さらに商法などの履修をすることが望ましい。

成績評価の方法

夏期休暇前の中間試験（またはレポート）ならびに学年末試験（とくに重視）により評価する。必須科目なので、真剣に受講して頂きたい。

教科書

遠藤孝・近藤禎夫他著『会計学』（改訂版）（森山書店）2000年 3,500円
*教科書は、原価計算論の講義でも使用するので、受講者は重複しないよう注意。

参考書等

中央経済社編『会計法規集』最新版（2002年7月頃発売）
その他の参考書および参考文献は、随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営数学	い だ て つ お 飯 田 哲 夫	経営 B1・2・3・4 選 11以降入学生/経営 A1111 選	4

講義のねらい

経営学を学ぶ上で必要となる数学を習得することを本講義の目的とする。また、企業経営上の諸問題を数理的・定量的に分析することはしばしばであり、その際用いられる各種分析手法を理解し、有効に利用するためには、ある程度の数学的素養が要求される。本講義では、数学をあまり得意としない人でも理解できるように、数学的知識の多くを前提とせず基礎的事項から進めていく。また、経営学に關係する数学のみを対象とし、例題を通して理解を深めていくことにする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は高校で習った数学の復習を含めて基本的な内容から始め、微分・積分と線形代数を扱う。具体的には以下の内容を予定している。

1. 基礎的準備
 - ① 論理と集合
 - ② 数、数列、極限
 - ③ 関数（1次・2次関数、指数・対数関数）
 - ④ 応用例（金利計算）
2. 微分・積分
 - ① 微分係数、導関数、微分の演算
 - ② 積分の定義、不定積分、定積分、部分積分
 - ③ 多変数関数の微分
3. 線形代数
 - ① ベクトル、ベクトル空間、1次独立・従属
 - ② 行列、逆行列、行列式、クラメル公式、連立方程式の解法

履修上の留意点

講義では理解を助けるために例を用いて説明を行うけれども、数学を学ぶ上では、抽象的な概念に慣れることが必要でありかつ、講義の積み重ねを経ないと理解できないことも多いため、毎回出席すること。

成績評価の方法

筆記試験（前期末、後期末）。その他に、学生諸君の理解度を見るために何度か小試験を行い、その結果を評価に加えることもある。

教科書

特に指定しない。プリントを適宜配布する。

その他

〔関連科目〕経営科学概論、経営科学、経営情報論

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理基礎（前期）	う た に あ き ひ で 宇 谷 明 秀	経営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

コンピュータは、情報収集および情報の処理・分析のために必要不可欠な道具である。また、企業経営において、欠くことのできない道具でもある。本講義では、コンピュータの使い方から始めて、書類作成、データ処理等の基礎について学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) コンピュータの基本的な使い方
電源の入れ方から始め、タイピングの練習を行う。また、基本的なコンピュータ用語についても解説する。
- 2) ワードプロセッサによる文書作成
日本語ワードプロセッサを用いた文書の作成方法について学ぶ。
- 3) 表計算ソフトによるデータ処理と視覚化
表計算ソフトの使い方について学ぶ（様々なデータを用い、そのデータにどのような意味が隠されているのかを探る）。

履修上の留意点

授業は演習を中心に行う。欠席は極力避けること。

成績評価の方法

演習課題に対するレポートで成績をつける。

教 科 書

授業時に指示する。

そ の 他

〔クラス定員〕 60名
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理基礎（前期）	か と う た け の ぶ 加 藤 武 信	経営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

情報化社会の電子文房具であるパソコンは、個人レベル、組織レベルおよび社会レベルで益々必要性を増している。ここではパソコンの原理とその活用法の基礎部分を総合的に学習し、それを自在に使って、インターネットを用いた情報検索やワープロによる文書の作成、表計算によるデータ加工の技法などを修得する。パソコンの実習環境は、Windowsを用いる。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) コンピュータの仕組みとWindowsの基本操作
アクセサリとペイントの活用、タイピング、ファイルシステムの操作を含む
- (2) ワープロソフトWordによる文書作成
日本語入力、手紙、納品書、履歴書などの作成、図形描画の活用
- (3) 表計算ソフトExcelによる作表・作図（基本レベル）
売上集計、成績処理と各種グラフ、納品書、履歴書、精算表の作成
基本関数、論理関数、データベースの活用
- (4) インターネットと電子メールの活用
Webページの検索、ダウンロード、メールの送受信など

履修上の留意点

パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法

出席、レポートおよびテストにより総合評価する。

教 科 書

加藤武信他『コンピュータ活用』（サンウェイ出版）2,300円

そ の 他

授業の方法：パソコン実習
〔クラス定員〕 60名
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理基礎（前期）	橋場利幸	経営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

この講義は以下のような目的を持っている。

- 1) 情報化社会で活躍してゆくための基礎的なコンピュータリテラシーを身につけること
- 2) 技術を身につけるだけでなく情報化社会に対する自己判断ができるようにすること
- 3) 社会人としてのモラルをもてるようにすること

講義の内容・ 授業スケジュール

以下のような予定であるが、内容は受講生の希望や技術力によって変更する可能性もある。

- 1) コンピュータやインターネットの基本的な仕組みについての講義・演習
- 2) Windows上で稼動するワードプロセッサWordに関する演習
- 3) 表計算ソフトExcelの基本的な部分に関する演習
- 4) WWWシステムについての講義と利用に関する演習

授業では上記の内容に関する課題を随時出してゆき、皆さんに課題をこなしていただく。課題は印刷物で提出してもらおう場合と、コンピュータファイルで提出してもらおう場合の両方ある。

履修上の留意点

この授業では「社会人としてのモラルをもてるようにすること」も目標に掲げている。授業では実際の業務についたときと同様の「厳しさ」を受講生の皆さんに求めたい。具体的には以下の通りである。

- 1) 遅刻や欠席がないように注意していただきたい
あなたの取引相手が無断で商談の時間に遅れたら、あなたは相手を信用して取引を進めることができるだろうか。授業では、講義開始後には教室への入室を速慮していただく場合がある。
- 2) 課題の提出時間は厳密に守ってほしい
あなたの取引している相手の商品が、期日までに納品されなかったらどうなるだろうか。授業の課題は、講師に対する一種の「納品物件」だと思っていただきたい。
- 3) 社会人として恥ずかしくない言葉遣いをしてほしい
ここでいう「言葉遣い」は、話す場合だけでなく、書く場合のことも指している。社会にいれば言葉遣い一つで信用を失うこともありうることも忘れないで頂きたい。

これらはいずれも社会人としては当然のことであるので、この姿勢を学生時代から是非身につけておいていただきたい。ただし上記の1)と2)に関しては、正当な理由（電車の遅れ、急病、冠婚葬祭など）がある場合は例外である。当日か後日に証明書類を提出していただければ、期限外でも課題を受理する。また何か質問などがあれば、電子メール（hashiba@komazawa-u.ac.jp）で遠慮なくご連絡いただきたい。

成績評価の方法

課題の提出状況と内容、および出席状況から評価させていただく。

教科書

太田忠一編／植松康祐・草薙信照著『文科系のためのコンピュータリテラシ [第2版]』（サイエンス社）2,150円

参考書等

必要に応じて随時紹介する。

その他

講義、実習ともすべて情報教育センター（4号館）でコンピュータを使いながら行う。

〔クラス定員〕 60名

〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用Ⅰ（後期）	う た に あ き ひ で 宇 谷 明 秀	経営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、前期開講の情報処理基礎に続き、まず、データ処理した結果の表現法およびプレゼンテーションソフトの使い方について学ぶ。また、ソフトウェア開発とはどのようなものか、プログラミングの基礎についても学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) プレゼンテーションソフトの使い方
データ処理した結果の表やグラフを使って、効率よく、わかりやすく発表するためのプレゼンテーション資料の作成等について学ぶ。また、マルチメディアによるプレゼンテーションについてもふれる。
- 2) プログラミングの基礎
代表的なプログラミング言語を使って、簡単なソフトウェアを作成する（プログラミングの基礎について学ぶ）。

履修上の留意点

前期開講の情報処理基礎を履修しておく和良好的。また、授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

成績評価の方法

演習課題に対するレポート（50点）＋試験（50点）で成績をつける。

教 科 書

授業時に指示する。

そ の 他

〔クラス定員〕 60名
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得なければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理応用Ⅰ（後期）	かとう たけのぶ 加藤 武信	経営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

「情報処理基礎」の授業で確立したパソコンに関する知識・技術をさらに発展させ、実社会で応用できる活用能力に高める。すなわちExcelによる応用処理とPowerPointを用いたプレゼンテーション、さらに関係データベースAccessを活用した「仕事の仕組み」の具体化を試みる。パソコンの実習環境は、Windowsを用いる。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 表計算ソフトExcelによる応用処理
データベース応用、ピボットテーブルの活用、各種計算モデルの活用、管理資料の作成
- (2) プレゼンテーションソフトPowerPointによるデータの視覚化
表題、箇条書き、組織図、表、グラフ、挿絵入りスライドなどの作成
プレゼンテーション課題に沿った発表順序の企画とスライドの作成
- (3) データベースソフトAccessによる成績処理業務の設計と処理
テーブルの設計、フォームによるデータ入力、テーブルの結合、クリエによる各種集計、SQLの基礎

履修上の留意点

パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法

出席、レポートおよびテストにより総合評価する。

教科書

加藤武信他『コンピュータの活用』（サンウェイ出版）2,300円

参考書等

加藤武信他『プログラムとシステム演習』（サンウェイ出版）1,800円

その他

授業方法：パソコン実習

〔クラス定員〕 60名

〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目は「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得なければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用Ⅰ（後期）	は し ば と し ゆ き 橋 場 利 幸	経営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

この講義は以下のような目的を持っている。

- 1) 効果的に情報を表現するために必要なコンピュータ技術を身につけること
- 2) 技術を身につけるだけでなく情報化社会に対する自己判断ができるようにすること
- 3) 社会人としてのモラルをもてるようにすること

講義の内容・
授業スケジュール

以下のような予定であるが、内容は受講生の希望や技術力によって変更する可能性もある。

- 1) 表計算ソフトExcelのさまざまな応用的な部分に関する演習
- 2) さまざまなソフトの連携利用に関する演習
- 3) プレゼンテーションソフトPowerPointを使った情報の自己発信に関する演習
- 4) ネットワークの原理、情報倫理、情報化社会の問題点などに関する講義

授業では上記の内容に関する課題を随時出してゆき、皆さんに課題をこなしていただく。課題は印刷物で提出してもらった場合と、コンピュータファイルで提出してもらった場合の両方ある。

履修上の留意点

この授業では「社会人としてのモラルをもてるようにすること」も目標に掲げている。授業では実際の業務についたときと同様の「厳しさ」を受講生の皆さんに求めたい。具体的には以下の通りである。

- 1) 遅刻や欠席がないように注意していただきたい
あなたの取引相手が無断で商談の時間に遅れたら、あなたは相手を信用して取引を進めることができるだろうか。授業では、講義開始後には教室への入室を遠慮していただく場合がある。
- 2) 課題の提出時間は厳密に守ってほしい
あなたの取引している相手の商品が、期日までに納品されなかったらどうなるだろうか。授業の課題は、講師に対する一種の「納品物件」だと思っていただきたい。
- 3) 社会人として恥ずかしくない言葉遣いをしてほしい
ここでいう「言葉遣い」は、話す場合だけではなく、書く場合のことも指している。社会にできれば言葉遣い一つで信用を失うこともありうることを忘れないで頂きたい。

これらはいずれも社会人としては当然のことであるので、この姿勢を学生時代から是非身につけておいていただきたい。ただし上記の1)と2)に関しては、正当な理由（電車の遅れ、急病、冠婚葬祭など）がある場合は例外である。当日か後日に証明書類を提出していただければ、期限内でも課題を受理する。また何か質問などがあれば、電子メール（hashiba@komazawa-u.ac.jp）で遠慮なくご連絡いただきたい。

成績評価の方法

課題の提出状況と内容、および出席状況から評価させていただく。

教 科 書

太田忠一編／植松康祐・草薙信照著『文科系のためのコンピュータリテラシ [第2版]』（サイエンス社）2,150円

参 考 書 等

必要に応じて随時紹介する。

そ の 他

講義、実習ともすべて情報教育センター（4号館）でコンピュータを使いながら行う。

〔クラス定員〕 60名

〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目は「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得なければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済原論	あ か し ひ ろ ゆ き 明 石 博 行	経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

資本制の経済社会（資本制社会）を対象とする経済社会学の基礎理論について、入門的な講義をします。この講義では、わたしたちがそのなかで生き、日々暮らしているこの資本制社会をめぐる、どのような経済的な仕組みと運動法則がそこにあるのか、個々の国や社会における思想・法律・政策などは資本制の経済によってどのように規定されるのか、個々の国や社会の思想・法律・政策などの相対的な独自性は資本制の経済にどのような影響を与えるのか、といった問題に取り組みます。その探求を通じて、本講義では、わたしたちの社会的な生活を支えている経済的な仕組みや、わたしたちの行動を支配している法則の基礎を、科学的かつ系統的に説明してゆくのです。

講義の内容・授業スケジュール

資本制社会は、近代から現代にかけて生まれ、発展し、変化してきた、そして現在わたしたちがその内部で生活をしている経済社会です。この経済社会を系統的に分析するためには、一定の論理的な順序を追ってゆかねばなりません。そこで本講義の内容を、序説「経済社会」、第1章「市場と個人」、第2章「階級の基礎としての労働と資本」、第3章「資本制の経済社会と諸階層」、という4章に分けて説明することにします。

序説では、経済および経済社会について、一般的な説明をします。ある経済社会を全体として理解しようとするならば、その社会の法律や政治や文化およびそれらをめぐる思想・制度・慣習には、それらの全体を支える経済的な土台が基礎としてあり、両者のあいだに規定と反作用の関係があることを知る必要があります。長い人類史においてさまざまな経済社会の興亡があったことを知り、歴史的な見方ができるようになることも必要です。そもそも経済とは何かということも、知っておかなくてはなりません。こうした資本制の経済社会を理解するうえでの基礎となることがらを、この部分で一般的に解説します。

第1章では、市場および市場の発展とともに成長してくる個人について説明します。わたしたちは、市場をつうじてさまざまな財やサービスを入手し、それによって生活しています。この市場にも歴史的な発展と変化があり、一定の生産の仕組みが発生し発展し変化するとともに市場も発生し発展し変化するのであり、市場において貨幣を仲立ちとする商品の売買がなされることにより、わたしたちは日々暮らしているのです。また、こうした暮らし方ができるようになるとともに、私的所有者としての個人（私的個人）という人間類型が形成され発展してきます。ですから、市場がどのような生産の仕組みを基礎として発生し発展するのか、市場で売買される商品とはどのようなものなのか、商品が発生し発展するとともに貨幣が発生し発展するのはなぜなのか、貨幣はどのような機能をもつものなのか、こうした経済的諸関係とともに私的個人とその相互関係がどのように形成され発展してくるのかといったことを、この部分で説明します。

第2章では、資本制における階級の基礎をなす労働と資本について説明します。いかなる経済社会も、人間の労働によって維持され、発展します。資本制の経済社会も、この点では他の社会と同じです。けれども、資本制社会は、賃労働というかたちで、労働をしなければならない階級に属する人々の労働力を市場において買うことができ、資本を投ずる階級に属する人々が、その労働力を生産の過程で契約した時間だけ使用することができる社会です。この賃労働と資本との関係が生産の仕組みとして成立し、最初に投じられた資本価値を超える剰余価値を全体としての資本家が獲得できることにより、資本制経済は成立するのです。資本制社会のさまざまな法則や制度、そして階級関係は、この仕組みを基礎として生まれ、発展し、変化します。そこで、この仕組み、そこから生じる資本制生産の基礎的法則、資本制における階級関係などを、この部分で説明します。

第3章では、全体としての資本制社会について説明します。資本制社会では、資本制生産のもとでつくられた生産物を発展した資本制市場において商品として売り、それによって資本運動の担い手は最初に投じた貨幣を超える貨幣を得ることができます。この資本制の生産と市場との関係から、独自の法則や関係がさらに生まれ、剰余価値は利潤というかたちで人々に認識され、資本と利潤の関係が成立します。この資本と利潤との関係を現実的な基礎として全体としての資本制社会は形づくられ、社会的な諸階層が分岐して抗争したり協調したりするのです。その説明はきわめて要約的にせざるをえませんが、結論的な事項をこの部分で説明します。

履修上の留意点

講義に出席して、ノートをとる必要があります。

成績評価の方法

講義のさいに適時提出してもらったレポートと年度末の定期試験の結果を総合的に判断し、評価をします。

教科書

教科書は使用しません。しかし、適時プリントを配布し、講義を理解できるよう援助します。参考書等は講義のさいに紹介します。

科専門
教育
目録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近代経済学	た き た こう い ち 滝 田 公 一	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

本年度は、産業組織論の入門的講義を行います。産業組織論とは、企業及び産業に関する経済分析と理解していただいでよいでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容は以下の通りです。

1. 産業組織論とは？
2. 企業の理論
3. 生産費用の概念
4. 完全競争と独占
5. 支配的企業と競争的周縁企業
6. カルテル
7. 寡占の理論
8. 製品差別化と独占的競争
9. 産業構造と成果
10. 価格差別
11. 垂直的統合
12. 品質と情報と広告
13. 技術進歩と研究開発競争
14. 規制とその改革

履修上の留意点

初級のミクロ経済学の知識があると、便利ですが、授業で必要な場合には、逐一説明しますので、必ずしも必要ではありません。

成績評価の方法

成績評価は、学年度末試験によります。

教 科 書

教科書は、特に指定しません。

参 考 書 等

参考書：初級のミクロ経済学の知識については、倉澤資成、『入門価格理論』（日本評論社）伊藤元重、『ミクロ経済学』（日本評論社）1992年などを参照されるとよいでしょう。産業組織論の参考書として、次のものを挙げておきます。新庄浩二編、『産業組織論』（有斐閣ブックス）1995年長岡貞男・平尾由紀子、『産業組織の経済学』（日本評論社）1998年ロジャー・クラーク、『現代産業組織論』（多賀出版）1989年Carlton, D. and J. Perloff, (1994) 『*Modern Industrial Organization Second Edition*』 Harper Collins, Scherer, F. and D. Ross, (1990). 『*Industrial Market Structure and Economic Performance Third Edition*』 Houghton - Mifflin.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営科学概論	い い だ て つ お 飯 田 哲 夫	経営 B 2・3・4選	4

講義のねらい

企業経営上の諸問題を解決するための科学的方法論について学ぶ。高品質の製品・サービスを提供する効率的で生産性の高い企業経営を行うために、種々の経営管理技術が発達してきている。本講義では、それらの中で代表的なものであるOR（オペレーションズ・リサーチ）、IE（インダストリアル・エンジニアリング）、QC（品質管理）を主に取り上げ、基本的な理論と方法を概説する。今後、本学部において学ぶ経営科学系の科目の基礎を習得することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

本講義で扱う内容は、一般に「経営工学」と呼ばれている分野である。講義内容は、経営工学の概略、経営工学の扱う諸分野および種々の管理手法の3つに大別される。講義は一つ一つの管理手法の詳細に立ち入ることなく、広く経営工学全体を概説する。経営工学の扱う分野と管理手法は互いに密接に関係しているため、両者の関係が分かるように適宜順序を入れ替えて説明を行っていく。

1. 経営工学の概略
経営工学とは、経営工学の歴史、問題発見と解決のプロセス
2. 経営工学の扱う分野
 - ① 販売管理（マーケティング活動・計画、マーケティング活動の情報システム化）
 - ② 生産管理（生産計画、在庫管理、日程計画）
 - ③ 品質管理（統計的品質管理、QC7つ道具）
 - ④ 財務・資産管理（投下資金の経済性評価）
3. 経営工学の管理手法
 - ① オペレーションズ・リサーチ（線形計画法、在庫モデル、PERT/CPM、シミュレーション）
 - ② インダストリアル・エンジニアリング（作業研究、作業測定）
 - ③ データ解析（需要予測手法、回帰分析）
 - ④ 経済性工学（損益分岐点分析、資金の時間的価値、設備投資案の経済計算）

履修上の留意点

手法を理解する上で多少の数学的知識が必要になるけれども、それらについて知らなくても理解できるように、講義内で適宜補足説明をしていく。教科書はあくまでも参考として用いるものなので、毎回出席してノートを取ることを。

成績評価の方法

演習課題と筆記試験（前期末、後期末）。その他に、学生諸君の理解度を見るために何度か小試験を行い、その結果を評価に加えることもある。

教 科 書

秋庭雅夫他著 『経営工学概論』（朝倉書店）3,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営史	まえだ かずとし 前 田 和 利	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

経営史を学ぶことによって企業経営の変化のダイナミズムを理解することが可能となる。本講義では、経営発達史における各段階の典型国をとりあげて講義するが、その際できるだけ産業・企業の歴史や国際比較の視点をふまえて論じていく。その結果、日本の企業経営の特質を鮮明に浮かび上がらせることができよう。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. 経営史研究の課題と方法
- II. 企業経営発達史
 1. 企業経営の生成
商人資本の経営、マニユファクチュア経営
 2. 企業経営の確立
産業革命、工場制度、企業経営の諸様相－企業経営者と理念、企業諸機能
 3. 企業経営の発展
市場と技術、大量生産システム、大企業の形成と戦略、巨大企業の成立と管理機構
- III. 日本企業経営史－流通セクターの経営史（戦前・前後）
以上のうち、前期において企業経営の確立の一部まで終える。日本のケースについては進行具合によって変更がありえる。

履修上の留意点

教科書は使用しないので、下記の参考書を参照し、必ずノートを整理しておくこと。年に数回簡単な問題等を提示して回答してもらう予定である。適宜資料を授業開始時に配布する。

成績評価の方法

学年末試験による評価を原則とするが、多少提出した回答を加味する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

榎本悟『アメリカ経営史学の研究』（同文館）、大河内暁男『経営史講義』（東京大学出版会）、湯沢威ほか『エレメンタル 経営史』（英創社）、宮本又郎ほか『日本経営史』（有斐閣）。その他随時紹介する。

そ の 他

なし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営管理論	すずき こうき 鈴木 幸 毅	経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

経営管理の理論と現実について、経済社会の動向、資本主義企業の現在の姿を視野に入れつつ、説明する。

講義の内容・授業スケジュール

下記の1、2、3を前期にとりあげ、それとの関連において後期には4を中心に講義する。

- 1 古典的理論
 - (1) テイラーの科学的管理論
 - (2) 管理過程論（職能論）
 - (3) 管理構造論（組織論）
- 2 新古典的理論
 - (1) ホーソン実験と人間関係論的管理論
 - (2) 行動科学的管理論
 - (3) 管理開発論
- 3 近代理論
 - (1) バーナード革命
 - (2) 組織論的管理論
 - (3) 意思決定論的管理論
- 4 現代理論
 - (1) 環境適応的管理論
 - (2) 戦略的管理論
 - (3) 環境問題と企業責任論

履修上の留意点

自主的学習を期待するので、特に出欠をとることはしないが、中間試験に代わるレポート提出を求め、その成績を期末テスト結果に加味して評価する。

教 科 書

鈴木幸毅著『企業と管理の理論』（税務経理協会）2001年4月（前期）
後期は、別の教科書を使う。

参 考 書 等

鈴木幸毅著『バーナード組織理論の基礎』（税務経理協会）1998年
鈴木幸毅著『環境ビジネスの展開』（税務経理協会）2001年5月

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営学史	なかがわ じゅんぺい 中 川 淳 平	経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、100年あまりにわたる経営学の歴史上、重要なものと位置づけられる学説の展開を、企業経営の背景にある社会経済システムの動きと関連させながら検討する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経営理論のジャングルの状況
2. 科学的管理法と人間関係論
3. 所有と経営の分離
4. 近代組織論の展開
5. 社会経済構造の変動と経営学説の変容
6. 経済学の企業理論
7. 企業と社会（ドイツ経営学の発展）

履修上の留意点

講義中の私語は慎んで下さい。

成績評価の方法

試験による。また必要に応じてレポートの提出を求められることがある。

教 科 書

適宜プリントを配布する。

参 考 書 等

配布するプリントに適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営財務論	た か だ み つ あ き 高 田 光 明	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけっして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・ 授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法の重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

教 科 書

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）

参 考 書 等

染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営労務論	かしまひであき 鹿嶋秀晃	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本の経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明をする。出席は取らないので、出席点はなし。私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、減点の対象とする。

成績評価の方法

評価は学期末試験のみによる。出席点、レポート、中間テストはなし。詳細はホームページでも公開。

教科書

特に指定しない。

参考書等

参考図書としては、津田眞澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』（中央経済社）1995、経営労務をより体系的に深く学習するのに由井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』（東洋経済新報社）1992、など。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。参考文献はホームページで紹介。

その他

授業は講義の形式でおこなうが、図表やグラフ、ビデオを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。この科目は、再試験は実施しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営組織論	いとうしんじ 伊藤信二	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

我々は、「産業革命より大々的な文化変容」の時代に生きている。経済活動の主体である企業組織も内外に新たな問題を抱え、生き残りのため新たな方策を模索している。

本講義では、これまで企業の管理組織がどのような考え方で編成され、また、どのような変遷をたどって発展してきたかを概観した上で、今日の企業のさまざまな革新努力とその意味を理解し、新しい時代における企業組織と個人の関係のあり方を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

[前期講義]

- (1) 問題意識－歴史的な変化に直面する日本企業、構造的変化と循環的变化
- (2) 20世紀の支配的な経営原理－テラーリズムの誕生とその意味
- (3) 経営における人間的側面－人間関係論、X理論とY理論など [後期講義]

[後期講義]

- (1) 管理組織の発展－歴史と発展の理論
- (2) 組織構造－組織の編成原理、組織図の読み方
- (3) 管理機構モデルの意義とその限界
- (4) 新しい企業組織のあり方－革新の試みと展望

履修上の留意点

問題意識を触発し、講義内容の理解を促進するために、また理解度を把握するために小課題を時々出します。基本的には講義形式をとりますが、受講生の意見も取り入れながら展開していく予定なので、参加意識をもって臨んでほしい。

成績評価の方法

課題への取り組み方、前後期の筆記試験によって評価します。

教科書

特定のテキストは用いず、参考文献は講義中に適宜指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際経営論	も が き ひ ろ し 茂 垣 広 志	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の経営戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・
授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

履修上の留意点

教科書を用いて講義を進めるため、授業に教科書を携帯のこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教 科 書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参 考 書 等

必要に応じて指示する。

そ の 他

プロジェクターを用いて講義形式で授業を進行する。また、必要に応じて資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本経営史	お お し ま ひ さ ゆ き 大 島 久 幸	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、日本の経済発展との関連で、財閥を取り上げる。三井、三菱、住友などの財閥が、近代日本において、経済発展を担う中心的存在であったという事実に着目して、それら財閥が、どのようなプロセスで誕生し、日本の経済発展とともにどのように成長していったのかという点を考察し、そこから日本経済の発展の特徴や日本企業の歴史的な起源を考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義では以下の内容を取り上げる。1. 政商の誕生 2. 政商の資金源 3. 政商からの脱皮 4. 家政改革と家憲 5. コンツェルンと持株会社 6. 専門経営者の登場 7. 商社ブームと破綻 8. 鈴木商店の挫折 9. 三大財閥の覇権 10. 恐慌とドル買い 11. 財閥の転向 12. 戦時体制と財閥 13. 財閥解体 14. 企業集団と財閥

成績評価の方法

前期レポートと定期試験で総合的に評価する。

教 科 書

武田晴人『財閥の時代』（新曜社）1996年

参 考 書 等

講義の中で適宜指定する。また必要に応じて教材を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マーケティング論	かねむら えいてつ 兼 村 栄 哲	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

社会的な分業体制が成立している今日の経済においては、生産と消費の間にさまざまな隔たりが発生しており、そのために、円滑な交換が阻害されていることが少なくない。こうした隔たりは、一般に、「経済的懸隔」ないし「経済的隔離」と呼称されている。

マーケティング論は、この経済的懸隔を架橋し、円滑な交換を実現するメカニズムを研究する学問であり、マクロ・マーケティング論とミクロ・マーケティング論の2つに大別される。前者は、社会経済的な視点から、経済的懸隔を架橋するメカニズムを把握しようとするものであり、「流通論」とほぼ同義である。後者は、個別企業のマネジメントの視点から、所定企業の商品についての経済的懸隔を架橋するメカニズムのあり方を検討するものであり、当該企業の商品を消費者に効率的かつ効果的に到達させるにはどうすればよいかを考察する。なお、「マーケティング論」といえば、通常、このミクロ・マーケティング論を指している。

マクロ・マーケティング論とミクロ・マーケティング論は密接に関連しており、一方をより深く理解するためには、他方を理解しておくことが必要不可欠である。そこで、本講義では、主として、前半にマクロ・マーケティング論を、後半にミクロ・マーケティング論を扱っていく。

講義の内容・授業スケジュール

[オリエンテーション]

- 1) オリエンテーション
- 2) マーケティングの2義性
 - ・経済的懸隔の意義と内容
 - ・マーケティングの2義性

[マクロ・マーケティング論]

- 1) 流通機能
 - ・流通機能の意義と領域
 - ・流通フロー
- 2) 流通機構
 - ・流通機関の意義と内容
 - ・卸売業者の意義と分類
 - ・小売業者の意義と分類
 - ・流通の客体
 - ・流通機構を取り巻く環境
 - ・流通経路
- 3) (ミクロ・) マーケティングの台頭
 - ・商業者の存立根拠
 - ・流通における商業者の地位の後退
 - ・伝統的流通経路と垂直的マーケティング・システム

[ミクロ・マーケティング論]

- 1) 企業におけるマーケティングの役割
 - ・経営戦略
 - ・マーケティングの役割
 - ・マーケティング・コンセプト
 - ・マーケティング概念の拡張傾向
- 2) マーケティング管理
 - ・マーケティング管理過程
 - ・環境分析
 - ・市場細分化
 - ・マーケティング・ミックス
- 3) 市場概念
 - ・市場の2義性
 - ・消費財市場と産業財市場の比較
 - ・市場構造
- 4) 製品戦略の領域
 - ・製品の意義
 - ・製品ミックス
 - ・新製品の意義
 - ・新製品開発プロセス
 - ・製品ライフ・サイクル
 - ・製品廃棄と計画的陳腐化
 - ・ブランドの意義と役割
 - ・ブランドの分類
- 5) 価格戦略の領域
 - ・価格の設定方法
 - ・新製品導入時の価格設定方法
 - ・価格の管理方法
- 6) チャネル戦略の領域
 - ・チャネル・タイプ
 - ・チャネルの構築方法
 - ・チャネルの管理方法
- 7) プロモーション戦略の領域
 - ・広告の分類
 - ・広告戦略の内容
 - ・人的販売
 - ・セールス・プロモーション戦略
 - ・パブリシティ
- 8) マーケティング・リサーチ

履修上の留意点

- 1) 出席すること。
- 2) 携帯電話や私語など、講義の妨げになるような行為は絶対にしないこと。
- 3) 講義中にプリントを配布することがあるが、このプリントは当該講義時間内にしか配布しないので注意すること。

成績評価の方法

テスト80点、レポート10点、出席状況など10点

教科書

兼村栄哲編著『マーケティングの基礎知識』（白桃書房）2002年4月発行予定。

参考書等

兼村栄哲他4名著『現代流通論』（八千代出版）1999年
宮澤永光監修『基本流通用語辞典』（白桃書房）1999年
宮澤永光・亀井昭宏監修『マーケティング辞典』（同文館）1998年
その他の参考書などについては、適宜紹介する。

その他

マーケティング論も、他の学問からまったく独立しているわけではない。実際に、さまざまな学問における概念や手法を援用ないし応用している。そこで、事前に履修しておいたり、並行して履修するのが望ましい科目を示しておく。

〔マーケティング論全般〕

商業経営論

〔マクロ・マーケティング論〕

企業形態論—とくに、「2）流通機構 小売業者の意義と分類」において。

〔ミクロ・マーケティング論〕

経営戦略論—とくに、「1）企業におけるマーケティングの役割 経営戦略」において。

経済学概説・近代経済学—とくに、「3）市場概念、市場の2義性」、「同市場構造」、「5）価格戦略の領域、価格の設定方法」において。

統計学・統計原論・経営統計—とくに、「8）マーケティング・リサーチ」において。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営戦略論	な か む ら こ う い ち 中 村 公 一	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

経営戦略論は、現実の企業経営と密接に関連している実践的要素の強い科目である。学生が企業に就職した時に、その企業が属する業界がどのように動いており、それに対応して企業が採っている戦略を理解することは、自分達の仕事の意義を考える上で有効なことである。さらに、就職活動の時にも、希望する企業の動向を把握することは重要な選択要因の一つとなるだろう。

本講義では、さまざまな企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を理解し、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を提供することを目標に進めていく。

そこで、新聞やビジネス誌などをリソースとして、実際の企業の経営戦略をケースとして取り上げる。そして、なぜこの企業はこの戦略を採るのか、その戦略によってどのような効果が期待されるのか、ということに関して、古典から最先端の理論を使って解釈することを焦点に講義を進める。また、「こんな事例まで戦略的に分析できるのか!」という驚きも講義を通して提供していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマは企業の成長戦略と競争戦略の分析にある。これは経営戦略論の中心的概念でもあり、企業が持続し発展していくには成長が必要であり、そのためには他企業との競争が避けられないからである。講義内容は一回の講義で一つのトピックの理解に努める。

1、経営戦略の基本課題；(1) 経営戦略とは何か、(2) 戦略の概念、(3) 経営戦略論の展開(学説的系譜)、(4) 外部環境分析・内部資源分析、(5) 戦略の策定と実行、(6) 現代企業の経営戦略、(7) 組織変革との関係

2、企業の成長戦略；(1) 企業の成長とは何か、(2) 事業領域の決定、(3) 多角化戦略、(4) 内部成長戦略(研究開発・製品開発戦略、社内ベンチャー)、(5) 外部成長戦略(M&A・アライアンス)、(6) グローバル戦略、(7) 地域企業の戦略(企業集積)

3、企業の競争戦略；(1) 企業の競争とは何か、(2) 競争上の優位性、(3) 価値連鎖(バリューチェーン)、(4) コア・コンピタンス、(5) コーポレート・ブランド、(6) ビジネスモデル、(7) イノベーション、(8) 標準化競争(デファクトスタンダード)

4、その他；(1) ステークホルダー戦略(各種利害関係者との関係・企業の社会的責任)、(2) 起業家精神、(3) eビジネスなど

以上は、講義で行う主要テーマであり、この順番通りに行うわけではない。また、1回の講義の中で複数のテーマを扱う場合もある。

これらの用語を見ただけでは詳しい内容は分からないと思うが、事例を出しながら講義は行われるので理解しやすいだろう。

履修上の留意点

経営戦略論は実際の企業活動と密接に関連しているために、日頃から新聞や雑誌などで関連する記事にはできる限り目を通すことが望まれる。そして、日常生活でも戦略論で学習したさまざまな視点から物事を見ていけるように心がけよう。

注意点としては、講義に対する妨害行為(私語、携帯電話など)には厳しく対処する。一人(数人)の愚かな行為により、他のまじめな学生に迷惑をかけ、講義自体の雰囲気が悪くなるために、教場を友人との話す場として考えている者は出席しないこと。なお、妨害行為をした者には、退場や不可の宣告もありうるので注意すること。

成績評価の方法

年度末の定期試験のみによって判定する(出席点はなし)。試験は持ち込み不可の予定である。授業中に小レポート・アンケートを提出してもらった場合は加点とする。

教科書

特に指定しない。

授業中にレジュメを配布してそれに基づいて講義を進めていく。1回の講義でレジュメ1枚分の内容を学習する。

基本図書や参考文献等などは授業中にその都度指摘する。

参考書等

経営戦略論の全般的な内容を理解するには、大滝精一『経営戦略』(有斐閣)1,900円、が役に立つだろう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
商業史	やまだ 山田 勝	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- | | |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点 | (6) 継続性 |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流通量 |
| (3) 利潤 | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商品 | (9) 価格革命 |
| (5) 市場 | (10) 情報社会と商業 |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。

教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教科書

山田勝著『現代商業の歴史と展開』（創成社）2,850円

科目名	担当者名	配当学科	単位
保険経営論	いしなざか 石名坂 邦 昭	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危険管理論」（リスク・マネジメント）研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本的体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。“教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教科書

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』（白桃書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
銀行経営論	はつとり よしひさ 服部 昌久	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

金融制度は一国の歴史的発展の産物であり、その国の繁栄を築くための社会的インフラである。社会が今日のように大きな変革期にあるときには、長期的な展望に立って変化を先取りして新たな制度を構築しなければならない。経営環境が大きく変化した中で、銀行は新たな道を求めて模索しているが、本講義においては、戦後のわが国の金融システムの変遷を振り返るとともに、欧米主要銀行の動きにも注目しながら、利用者のニーズに応える銀行のあるべき姿を探りつつ、時事問題も含め、銀行経営にかかわる諸問題を、わかりやすく解説する。

講義の内容・授業スケジュール

講義はおおよそ次のような内容を予定している。

- ①わが国の金融制度の沿革と特徴
- ②銀行の機能
- ③銀行の業務
- ④銀行経営と不良債権問題
- ⑤銀行経営とリスク管理
- ⑥信用秩序の維持と諸規制
- ⑦これからの銀行経営のあり方

履修上の留意点

講義は基本的な事柄を取り上げ、わかりやすく解説しよう心がけるが、それでも不明な点があれば、質問を歓迎する。

成績評価の方法

学年末の定期試験(50%)、読書感想文(20%)、授業への出席(30%)を総合して評価する。読書感想文の課題図書は開講時に指示する

教科書

服部昌久『日本型金融システムの転換』(財)外国為替貿易研究会、2001年) 2,700円

参考書等

- ・ロバート・ライタン、ジョナサン・ロウチ、小西龍治訳『21世紀の金融業』(東洋経済新報社) 1998年 2,000円
- ・高瀬恭介 『新版 金融変革と銀行経営』(日本評論社) 1999年 3,800円
- ・高木仁、高月昭年 『入門 日本の金融機関』(東洋経済新報社) 2000年 2,900円
- ・鹿野嘉昭 『日本の金融制度』(東洋経済新報社) 2001年 3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
公益企業論	そのだ てつ お 園 田 哲 男	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規則に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規則と区別された意味における公益企業規則である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が、本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規則が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期は、公益企業概念の発達と、その問題点および公益企業概念の再検討を行う。後期は、公益企業における持株会社の形成(前期と後期)および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意志決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意志のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価は、単元ごとに小テストやレポートをし、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しく評価を行なうつもりである。

教科書

授業中に指示する。また参考文献などを挙げ、できるだけ広範な考察を行なうつもりである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生産管理論	ふじわら あつし 藤 原 篤 志	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では財務管理、販売管理、労務管理とならぶ現代企業における経営管理の部門管理の1つである生産管理について、また生産システムや生産領域での諸問題について講義を行う。生産管理は文字通り、企業の経営活動における生産の管理であり、財の生産に投入する生産諸要素（資材、設備、労働力）を総合的に調整することにより、企業の生産効率を最大にすることを目的とし展開されている。しかも資本主義社会において企業は利潤の獲得を目的としてその活動を行うので、一般的な管理における利益計画に基づいて生産の管理が展開される。本講義では、このような視点で体系的に生産管理について解説したい。さらに企業内の狭義の生産管理の問題にとどまらず、サプライヤーとの関係をも含んだ生産システムや、広範に生産領域上の諸問題についても解説することを予定している。最後に、企業における生産活動は言うまでもなく労働者による労働と密接に関連している。企業において展開される生産管理や生産システムが労働に及ぼす影響もまた本講義での考察の対象となっている。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、生産管理について全般的体系的に解説する。まず最初に生産に関する基本的用語を確認した後、企業経営における生産管理の位置付けについて、次に企業の全般的な管理と生産管理との関連、すなわち利益計画と生産管理との関連について解説する。その後、生産管理の構成とその内容、具体的には生産計画、設備管理、資材管理、作業研究、工程管理、品質管理、原価管理について具体的な資料を用いながら解説する。

後期では、生産システムの歴史的な展開として、テイラー・システム（科学的管理法）、フォード・システム、トヨタ生産システムについて解説したい。その他、オートメーション、TQC、日本の生産システムとその海外移転等について述べる予定である。

履修上の留意点

講義ではできるだけわかりやすくゆっくりと解説し、かつ極力板書するが、前期の内容は少々複雑なものも含むので、講義に対する受講者の熱心な姿勢が不可欠である。そのため講義中の私語は厳禁である。私語や携帯電話の呼出音等、講義を妨げる者は即座に退室扱いになるので注意すること。

成績評価の方法

主として定期試験で行う。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

山下高之『体系 生産管理論』（中央経済社）1990年
その他の参考書は講義の中で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ経営学	た か は し し げ お 高 橋 成 夫	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

ドイツ経営学の性格や内容を、この学問の歴史の中で明らかにするとともに、現代のドイツの企業経営制度の特徴を解明することにある。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. ドイツ経営学の生成
- II. ドイツ経営学の展開
 - (1) 科学的私経済学と技術論的私経済学
 - (2) 私経済学的企業経済学と規範的・技術的経営経済学
 - (3) 理論科学的経営経済学と応用科学的経営経済学
- III. ドイツ経営学の動向
 - (1) 意志決定志向的経営経済学
 - (2) システム志向的経営経済学
 - (3) 労働志向的経営経済学
- IV. ドイツの企業経営制度

履修上の留意点

積極的に出席することが望ましい。

成績評価の方法

定期試験や出席状況等を総合して評価する。

教 科 書

特定の教科書は使用しない。

参 考 書 等

北野利信編『経営学説入門』（有斐閣新書）
北村健之助著『経営経済学』（学文社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上級簿記	お だ み き お 小 田 幹 雄	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

商業簿記の基礎学習が終わった学生を対象とする講座で、やや高度な内容を加えて、簿記の知識を一層深めてもらうクラスで、簿記の知識の応用を目的に講座と共に計算練習を行ないたい。簿記の学習は受講生の積極的な取り組み姿勢が欠かせないので、欠席の無いようにして欲しい。

講義の内容・
授業スケジュール

まずは、日商簿記の3級のおさらいから始める事にする。例年、簿記の原理を良く理解しないで上級簿記を受講する学生が多く見られる傾向があるからである。講義の内容は大まかに次のようになる。

- I 諸取引の仕訳：現金預金・有価証券・商品。特殊な商品売買・手形の保証債務など
- II 株式会社会計：資本・利益処分と損失の処理・社債・株式会社の税金など
- III 本支店の会計：本支店間の取引・合併財務諸表・内部利益の控除など
- IV 特殊な仕訳帳：多桁式仕訳帳・特殊仕訳帳・伝票合計など

履修上の留意点

簿記の学習は「自分自身がペンと電卓をもって練習問題を数多く解くこと意外にはない」と私の教育方針から、練習問題を多く解かせるし、テストや宿題を出すこともある。テスト用紙は必ず提出すること。出欠席のチェックは毎回行う。

成績評価の方法

講義の際のテストの点数および、宿題の点数を合計し、定期試験の点を加算し、再び平均点を出して評価する。そのため、講義中のテストや宿題の未提出者は当然平均点が下がることになるから注意すること。

教 科 書

羽瀧信宏監修『簿記テキストー商業簿記ー中級編』（共栄出版）2,000円程度
中村義彦編著『展開簿記演習』（プレスウェーブ）1,800円程度

参 考 書 等

舘岡哲夫・中村義彦著『簿記イントロダクション』（森山書店）2,625円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財務会計論	わたなべ えいちろう 渡 邊 恵 一 郎	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者が、投資者、債権者その他企業に利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供することにある。この主たる提供手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理と表示方法を中心とする課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書により、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の概念（財務会計の定義、課題、制度など）、財務会計の計算構造及び会計公準と会計原則（財務会計の前提、質的特徴及び一般原則など）
- ② 6～7月、9～10月 財務会計の測定論（収益、費用、資産、負債及び資本の各構成要素に関する会計処理の具体的展開など）
- ③ 11～1月 財務会計の伝達論（個別、中間、連結の各財務諸表の作成と表示、外貨換算、財務分析、国際会計基準の動向など）

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教 科 書

染谷恭次郎著『現代財務会計』（中央経済社）

参 考 書 等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

そ の 他

(1)授業の方法は、講義による。(2)簿記学・会計学の単位を修得していること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管理会計論	さるやま よしひろ 猿 山 義 広	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、すでに「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本思想を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 管理会計の意義と体系
2. 短期利益計画のためのC-V-P分析と経済性計算
3. 意思決定のための原価概念と利益概念
4. 原価管理会計
5. 予算統制
6. 投資意思決定

履修上の留意点

「管理会計論」は計算科目なので電卓を持参すること。

成績評価の方法

期末試験、夏季休業中のレポート、および平常点を考慮して、総合的に評価する。ただし、中心になるのは期末試験の結果である。

教 科 書

中原章吉編著『管理会計論』（税務経理協会）
なお、適宜、プリントを配布する。

参 考 書 等

櫻井通晴著『管理会計〔第二版〕』（同文館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営分析論	かたぎりのぶお 片 桐 伸 夫	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
- 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
- 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
- 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
- 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、

といった内容です。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析をとりあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にあふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

- *レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」
：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配付するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

- *テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教 科 書

開講時、指示します。

参 考 書 等

随時、紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税務会計論	た か き か つ み 高 木 克 己	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

開講時に指示する。

そ の 他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会計監査論	あべかずひと 阿部一人	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”

もともと監査論は、その言葉自体のもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているのかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は、財務諸表監査として特徴づけられる。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的（総論）（1）
 - ①監査の必要 ②監査の意義
 - ③監査の対象
2. 会計監査の意義と目的（総論）（2）
 - ①監査の目的 ②監査思想の変遷
 - ③監査の効用
3. 監査の機能
4. 会計上の誤謬と不正
5. 監査の種類
6. 会計監査と財務諸表監査
7. 我国の監査制度
 - ①証券取引法監査 ②商法監査
 - ③その他の監査制度
8. 監査基準（1）
 - ①必要性 ②生成と展開
9. 監査基準（2）
 - ①意義 ②体系 ③一般基準
 - ④実施基準 ⑤報告基準
10. 監査人
11. 監査証拠
12. 監査計画
13. 内部統制
14. 試査
15. 監査技術と監査手続
16. 監査調査
17. 監査報告書
18. 連結財務諸表の監査
19. 中間財務諸表の監査
20. システム監査
21. 国際監査基準
22. 現代監査論の動向
 - ①監査概念の拡大化
 - ②監査保証に程度の差を認める監査概念

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏期）および出席状況を考慮して総合的に判定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本経済史	きたしま まんじ 北 島 万 次	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

- 第Ⅰ部 日本における無階級社会（原始社会）から階級社会（奴隷制社会・封建制社会・資本制社会）にいたるまでの経済史発展の移り変わりについて、そのあらましを述べる。
- 第Ⅱ部 幕藩体制社会の経済のしくみとその発展
1. 幕藩体制社会の経済構造とその特質について述べる。
 2. その前提として、幕藩体制社会（封建社会の経済）のもとで、近代へ向けての経済発展がどのように展開したかについて述べる。その事例としてつぎのことについてふれる。
 - ① 江戸時代後期、畿内における棉作経営の展開とその実態
 - ② 開港直前における信州諏訪製糸業の展開
 - ③ 江戸時代後期、上州における地主制とその経営
- 第Ⅲ部 幕末維新期の経済変動
1. 明治維新と外圧についてのあらまし
 2. 幕末貿易の展開とその実態
 3. 日本における資本の形成
 - ① 秩禄処分過程
 - ② 銀行資本の創出
 4. 資本の投資
 5. 地租改正の実態とからくり

成績評価の方法

出席点とテスト。(注) 出席の著しく悪い受講者には単位を認定しない場合がある。

教 科 書

教材はその都度配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済政策	にしやま つかさ 西 山 司	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

従来、経済学の学問体系は、理論、政策、歴史、財政・金融、経営・会計の諸分野から構成されており、特に第二次世界大戦後の現代資本主義経済においては、経済政策を応用経済学の一環として重視する傾向が深まってきているといわれています。

このような動向に対応して、本年度の経済政策の講義は、経済政策の方法論や政策理論の究明および経済政策の史的展開過程の解明を中心に、各国で実施されている現代の経済政策についても論述する予定です。

特に経済政策の実践性と関連した「価値判断」論争をめぐる諸問題点や、従来の経済政策論の主要な学説を検討するとともに、経済学体系における経済政策論の理論的位置を論究し、その果すべき課題を究明して、経済政策論の体系的な解明をおこなうように努めます。

講義の内容・
授業スケジュール

年間の授業スケジュールとしては、大きく前期と後期とに大別して、前期には、主として、経済政策の方法論や政策理論について論究し、後期には、資本主義発展と関連した経済政策の史的展開過程と、その特質について論述する予定です。

履修上の留意点

講義の重要箇所や問題点など主要内容については、出来るかぎり板書して詳説する予定です。受講される諸君は出席してノートされるように希望します。

成績評価の方法

学年末試験が中心になるのは当然ですが、出席も重視します。

教 科 書

開講時に指示します。

参 考 書 等

清水・松原編『経済政策論を学ぶ』〔新版〕(有斐閣)
なお、講義に関係する文献は、その都度紹介するようにします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財政学	はやみ のぼる 速水昇	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経営活動の恩恵を受けている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国際の累積残高、高齢化・少子化社会、規制緩和など政府が解決しなければならない問題が非常に多くある。

その反面、わが国の財政は、平成12年度末で国債の発行残高が約364兆円、地方公共団体の赤字が約187兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金などを加えると、財政赤字は実に約647兆円になる。この数字は12年度わが国のGDP見込みの129.6%に相当する。EU（ヨーロッパ連合）の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これからの高齢化・少子化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。

成績評価の方法

試験 授業中の小テスト

教科書

速水昇著 要説『財政学』（学文社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
金融論	てらお よしまさ 寺尾好正	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

○現実の経済問題の理解と、わが国が直面している課題に対する経済政策の対応のあり方を考える力を養うことを目的とする。そのためには、経済の金融的側面の理解が不可欠であるが、一般に必ずしも理解が進んでいない。こうした実情を踏まえ、フィナンシャルな事象やmonetary theoryを中心とする。また、金融・経済の現実を踏まえた、実践的な議論・理論に重点を置く。
○フィナンシャルな事象を検討する場合、特に市場メカニズムの理解・評価が重要である。従って、講義では市場メカニズムの視点が様々なテーマに共通する「縦糸」となる。
○上記の問題意識の下で、カレントな 이슈や、金融市場の実際の動向等を随時紹介することにより、臨場感あふれる講義を指向する予定。
－上記検討において、実践的な意味を持つと考えられる範囲で、経済理論のフレーム・ワークを活用する。（経済の現実と距離感が比較的小さいとの視点から、ケインズ理論が中心となろう）。

講義の内容・授業スケジュール

○わが国経済が直面している経済問題を扱う観点から、不良債権問題を始めとする金融システムの問題と、マクロ金融政策の両者をカバーする予定。

成績評価の方法

○提出レポートの内容と講義議論への参加度を総合して評価する予定。

教科書

・堀内昭義 著『金融システムの未来』（岩波新書）
・翁 邦雄 著『金利の知識』（日経文庫）

参考書等

・KEYNES, J. M. 『The General Theory of Employment, Interest and Money』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本経済論	は と り 羽 鳥 茂	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

多様な経済システム（日本の経済システムもその1つ）がどのようにして生まれ、また、それらはどのように進化していくのでしょうか。このことを考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

情報・組織・契約のミクロ経済学と、それらの理論的基礎を提供するゲーム理論、およびゲーム理論のフロンティアの1つである進化ゲーム理論の新しい展開をふまえて、講義のねらいの目標にチャレンジします。

履修上の留意点

受講生としての一般常識を持っていることはいうまでもないですが、下記の参考文献を必要に応じて参照し、授業内容の理解を確かなものにするよう努力してください。

成績評価の方法

後期授業終了後、筆記試験で評価します。

教 科 書

青木昌彦、奥野正寛編著『経済システムの比較制度分析』（東京大学出版会）1996年3,200円

参 考 書 等

読みやすいと思われる順になっています。

〔A〕 鶴光太郎『日本的市場経済システム』（講談社現代新書）1994年

〔B〕 ジョン・マクミラン、伊藤、林田訳『経営戦略のゲーム理論』（有斐閣）1995年

〔C〕 中山幹夫『はじめてのゲーム理論』（有斐閣）1997年

数学はつぎの2冊が適当だと思います。

〔D〕 高橋渉『現代解析学入門』（近代科学社）1990年

〔E〕 永谷裕昭『経済数学』（有斐閣）1998年

そ の 他

数学が必要なときにはできるだけ解説しますが、諸君達の努力は不可欠です。意欲ある皆さんの出席を期待しています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
証券市場論	ま と う 佐 藤 昇	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

資金の調達・運用手段として、有価証券の役割が近年ますます重要性を高め、間接金融を中心とする企業金融は大きく変貌しようとしている。講義では証券市場の機能、市場構成など基礎的な分野の現状解説に止めず、市場の歴史・現状・将来展望を検討し、市場変化の方向性や必然性を見極める事に留意する。

講義の内容・授業スケジュール

最初に証券市場で取り扱う対象である有価証券を定義するが、とくに近年における有価証券範囲の拡大傾向について注目したい。

つぎに、伝統的な有価証券である債券や株式の種類と機能、およびこれらの発行・流通市場の歴史と現状さらには将来像などについて講義する。また、債権と株式への投資を決定する際の尺度についても、計算方式と利用上の留意点を解説する。

1980年代後半にわが国の株式市場で発生した「バブル」とその崩壊は、現時点においても株式市場はもちろんわが国経済全般にわたって大きな傷痕を残しているが、バブルの歴史や発生・崩壊および後遺症伝播のメカニズムを検討する。

わが国は2001年までと期間を設定して、金融・証券市場全般の大変革「日本版ビッグバン」を実施した。この結果多方面にわたる市場改革が相次いで実現したが、金融機関の不良債権処理に関しては依然として課題を残している。

一方、近年における金融・証券市場のグローバル化にともなって、地球規模でマネーの動きが極めて早くなっており、市場の変化は従来になく激しくなっている。

このように、内外共に激変が予想されるため、ことに証券市場に関連して重要な事態が発生した際には、その都度背景、影響などを解説する。

履修上の留意点

証券・金融市場関連のニュースに関心をもって欲しい。その上で疑問点不明な用語があれば、積極的に質問してもらいたい。

成績評価の方法

原則として学年末の定期試験によって評価する。

教科書

佐藤 昇ほか著『入門現代の証券市場』（東洋経済新報社）3,100円

参考書等

佐藤 昇ほか著『現代経済と証券市場』（有斐閣）2,266円

科目名	担当者名	配当学科	単位
計量経済学	こ 呉 いつりよう 逸 良	経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済データを用いた例題を実際に解くことを通じて、計量経済学を学ぶ。パソコンを利用して演習を行うことにより、抽象的になりがちな計量経済学を分かりやすく理解し、実際のデータ分析の能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前期

Excelを利用して例題を解きながら、以下の内容を講義する。

1. 統計学の基礎知識（Ⅰ）
2. 統計学の基礎知識（Ⅱ）
3. 単純回帰モデル
4. 重回帰モデル
5. 回帰モデルの仮説検定

後期

TSPを利用して前期の例題を再計算することを通じて、TSPの扱いをマスターする。その上で、以下の内容を講義し、TSPを用いて演習を行う。

6. TSPの基礎
7. ダミーの変数
8. 系列相関
9. 連立方程式

履修上の留意点

経済理論をある程度勉強していることと、統計原理と経営数学を履修すること。

成績評価の方法

日頃の宿題、レポートと学期末試験の結果により総合的に判断する。試験での持ち込みは自由。

教科書

白砂提津耶『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学』（日本評論社）1999 2,800円（税別）

参考書等

山本拓『計量経済学』（新世社）
 養谷千風彦『計量経済学』（東洋経済新報社）
 G. S. マダラ 著・和合肇 訳『計量経済分析の方法』（シーエーピー出版）
 唯是康彦『Excelで学ぶ計量経済学入門』（東洋経済新報社）
 縄田和満『Excelによる回帰分析入門』（朝倉書店）
 養谷千風彦等『パソコンによる数量分析・ExcelとTSP入門』（多賀出版）
 縄田和満『TSPによる計量経済分析入門』（朝倉書店）
 和合肇、伴金美『TSPによる経済データの分析』（東京大学出版会）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
統計原論	やまの うち し ん じ 山 内 慎 二	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

大雑把に言えば、統計学は「確率と分布」の性質を用いたデータ処理を通して、「母集団」及び「標本」という2つの親子関係の言葉を繋げて、知識や技術を議論する学問である。

本講義では、最初に簡潔に確率論の基礎を紹介し、次にデータ処理によって母集団と標本の関係を捉え、最後に統計的推測として推定と検定等を丁寧に説明する。本講義では、実用性を重視し、統計的方法や概念を豊富な例題や数値例によって説明し、数式の使用も必要最小限に止めていきたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義内容は以下の通りです。

序説	生活のなかの統計学、量的データと質的データ	1回
基礎的概念	階乗と総和、順列と組合せ	2回
記述統計	度数分布表、平均と分散、相関係数	3回
確率論の基礎	集合、標本空間、確率、2項分布、正規分布	6回
前期復習と中間試験（7月中旬）		2回
標本分布	χ^2 分布、t分布、F分布	2回
統計的推定	点推定（不偏推定、モーメント法、最尤法）	4回
仮説検定	片側と両側検定、有意水準、棄却域、適合度検定	4回
回帰と相関	線形回帰モデル、相関係数の標本分布	2回
後期復習と定期試験（翌年1月中旬）		2回

履修上の留意点

年間数回程度の練習問題を適時に配布します。これを本講義内容の基礎的部分をもとに、独自に解ければ、中間試験と定期試験はまず大丈夫でしょう。

成績評価の方法

講義への出席状況及び中間試験と定期試験の結果により総合的に判断します。

教 科 書

佐和隆光著『初等統計解析 改訂版』（新曜社）1997 1,500円（税別）

参 考 書 等

数値表としての参考書：

森口繁一編『新編 日科技連数値表』（日科技連出版社）1996 510円（税別）

P.G.ホーエル著、浅井晃・村上正康共訳『初等統計学』（培風館）1996 1,700円（定価）

そ の 他

授業の方法 講義（OIPを使用する場合があります。）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理応用II (前期)	たか井てつお 高井徹雄	経営B2・3・4選	2

講義のねらい

情報処理基礎・情報処理応用Iに続く科目として、さらに発展した情報リテラシー技術の習得を目指す。特に、統計データ解析や経営科学技法のコンピュータ処理、またHTMLによる情報発信の技術について理解を深めることに力点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

(1) スプレッドシート発展 (第1～6週)

EXCELのアドイン機能である「分析ツール」による統計データ解析や、LPなど最適化問題を解くための「ソルバー」など、スプレッドシートの発展した利用方法を学ぶ。また、スプレッドシート上のプログラミング機能であるVBAマクロを利用した業務用アプリケーションの開発方法について学ぶ。

(2) HTML文書の作成 (第7～12週)

インターネット環境における情報発信のために必須なWebページ作成技法について学ぶ。Webページオーサリングツールとして代表的なホームページビルダーを利用しながら、HTML(Hyper Text Markup Language)の基本的な文法と、多彩な表現に必要なタグの意味について学ぶ。その成果として、受講者各人が自らのテーマに沿ってWebページを作成していただくことを最終課題とする。

履修上の留意点

毎回、総合情報センターのコンピュータルームを利用して、実習形式で授業を行う。

成績評価の方法

成績評価は、適宜提出いただく授業中の課題と、期末に提出いただく最終課題によって行い、筆記試験は実施しない。

教科書

適宜、プリントおよびデータを用意しながら授業を進めます。後半のHTML作成に関しては、鈴木良子/松田尚著 村井純/川上博美監修『やってトライ! ホームページ作成』(ソフトバンク) 1,905円を教科書として使います。

その他

〔クラス定員〕 60名

〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用Ⅲ（後期）	た か い て つ お 高 井 徹 雄	経営B2・3・4選	2

講義のねらい

計算機言語によるプログラミングの基礎からソフトウェア開発の実際について体験的に学んでいただく。

講義の内容・
授業スケジュール

(1) 計算機言語入門（第1～3週）

Windows環境下の統合開発環境(IDE)であるDelphiを用いて、計算機言語を用いたプログラムの基礎的な作成方法について学ぶ。まずは、コンソールプログラミングの範囲で、プログラムの基本的作法、変数と変数の型、四則演算、代入文、条件判断、配列型変数の使い方、繰り返し処理など基礎的な構文を理解する。

その上で、これらを含む基礎的プログラムの作成を行う。

(2) 計算機言語応用（第4～10週）

IDE特有のビジュアルプログラミング、すなわち、フォーム上にコンポーネントを配置しながら、入力・表示などユーザーインターフェースを設計し、次に事象駆動型プログラムの本質部分であるイベントハンドラの記述方法について理解を深める。このなかで、各種関数・手続きの利用方法、数値および文字・文字列の取り扱い方法、ファイル処理など、アプリケーションの開発に必要な知識を学ぶ。

(3) アプリケーション開発（第11～12週）

最終課題として、Windows環境下で動作するアプリケーションソフトの開発に取り組んでいただく。

履修上の留意点

毎回、総合情報センターのコンピュータルームを利用して、実習形式で授業を行う。

成績評価の方法

成績評価は、適宜提出いただく授業中の課題と最終課題によって行い、筆記試験は実施しない。

教 科 書

開講時に指定する。その他、適宜プリントおよびデータ教材を配布しながら授業を進める。

そ の 他

〔クラス定員〕 60名

〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目は「情報処理応用Ⅱ」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得なければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報理論	にしむら かずお 西 村 和 夫	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量（情報量）を定義したシャノン（C. E. Shannon）流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として（シャノンという単位で）計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値（平均値）であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をして、現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・ 授業スケジュール

- | | | |
|-----|----|----------------------------------|
| 4月 | 3回 | 授業内容概説、情報とは、情報量への要求 |
| 5月 | 3回 | 対数の原理と性質、計算練習 |
| 6月 | 4回 | 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法 |
| 7月 | 3回 | 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説 |
| 9月 | 2回 | 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること |
| 10月 | 2回 | 符号化（JISコード、万国共通文字符号）、対数・情報量の中間試験 |
| 10月 | 2回 | 確率過程およびマルコフ過程 |
| 11月 | 2回 | 遷移確率と同時確率 |
| 11月 | 1回 | エントロピーの定義 |
| 12月 | 2回 | 冗長度、言語のエントロピー |
| 12月 | 1回 | 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測 |
| 12月 | 1回 | 検査術（CD）、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ |

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています（上表5月参照）。

成績評価の方法

10月の中間試験（30%）と定期試験（70%）との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクタとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論

この科目は、再試験を実施しません。

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/Nis/lecture/info.html>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営統計	ちよう 長 こきよう 国 強	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意志決定をサポートすることである。経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・
授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について： 経営統計の役割、基礎概念
統計特性値： 平均、分散、正規分布
市場調査と統計整理： 調査の諸段階、標本設計、データ整理
経営時系列： 季節指数、時系列予測
経営指数： 物価指数、数量指数
統計推測： 標本分布、区間推定、仮説検定
統計的意志決定理論： 意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間6回程度の演習問題を適時に配布し、それを独白かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教 科 書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

そ の 他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営科学	お ざ わ と し ひ さ 小 沢 利 久	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

経営科学とは、経営活動において生じる様々な意志決定を科学的に支援する方法論を考える学問であり、モデルを用いて問題を解決しようとする点に特徴がある。本講義では、経営科学的な問題のとらえ方と問題解決のための代表的な手法について学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、最適化のための手法を扱う。生産計画問題は、使用可能な資源量という制約の下で利益を最大化する問題であるが、このような問題を扱う手法が線形計画法、ネットワーク計画法、動的計画法である。意思決定の理論では、情報を多面的に分析するための考え方を示す。競争下における問題を扱う理論がゲームの理論である。後半は、不規則に変動する現象を分析するための手法を扱う。待ち行列理論は、ランダムに発生するジョブを処理するコンピュータシステムなどを解析する方法である。また、オプションの価格付け理論では、不規則に変動する株価をモデルに取り込んで分析する。以下は今年度の講義予定である。

1. 線形計画法：定式化、シンプレックス法、感度分析、双対定理
2. ネットワーク計画法：最短経路問題、最小木問題、最大流問題
3. 動的計画法：最適性の原理、多段階決定問題
4. 意思決定の理論：不確実性、情報の価値、階層的意思決定法
5. ゲームの理論：ナッシュ均衡点、有限ゼロ和2人ゲーム
6. オプションの価格付け理論：1期間モデル、裁定定理、Black-Scholes式
7. 待ち行列理論：リトルの式、M/M/Sモデル

履修上の留意点

理解を深めるために適宜演習を行う。

成績評価の方法

演習課題と試験（前期末、後期末）により評価。

教 科 書

プリントを配付する。

参 考 書 等

田畑吉雄『経営科学入門』（牧野書店）
森雅夫他『オペレーションズリサーチ I, II』（朝倉書店）

そ の 他

経営数学、経営科学概論、統計原論を先または同時に履修しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
システム論	あ お き たけ の り 青 木 武 典	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

経営学、経営科学、システム科学、コンピュータ・サイエンスやこれらの関連領域で用いられるシステムに関連する主要な概念やモデルについて修得する。また、いくつかのモデルについて簡単な例題をとおしてシステムに対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

0. オリエンテーション（本講義の概要説明）
 1. 情報とシステム
 2. 意思決定とシステム
 3. 企業とシステム
 4. ネットワーク社会とシステム
 （前期は1、2、後期は3、4を講義する。）

履修上の留意点

特定の領域について事前の知識は要求しないが、いくつかの数学的モデルについては、高校の数学Ⅰ程度の学力が必要である。また、授業では直接コンピュータを使用することはないが、エクセルなどの表計算ソフトが使えることが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験の成績を60%、学期中に出席するレポート（4回程度）を40%程度の割合で総合的に評価する。（通常の授業時に出席はとらない。）

教科書

斉藤雄志ほか『インターネット時代の情報管理概論』（共立出版）

参考書等

高原康彦・中野文平編『経営システム』（日刊工業新聞社）
 高原康彦・高津信三編『経営情報システム』（日刊工業新聞社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
民法	お 織 だ て る こ 織 田 晃 子	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

このクラスは民法及び民法1が講義の対象とされている。そこで、民法総則を中心に行うが、具体的には取引行為、特に契約を通して必要があれば物権にもふれながら、下記の講義内容を定める。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 権利の主体 | 2 権利の客体 |
| (1) 自然人 | (1) 物の概念 |
| ①権利能力 | (2) 不動産と動産 |
| ②意思能力、行為能力 | (3) 主物と従物 |
| ③不在者、失踪宣言 | (4) 元物と果実 |
| (2) 法人 | 3 権利の変動 |
| ①法人の意義・本質 | (1) 法律行為 |
| ②法人格否認の法理 | (2) 意思表示 |
| ③権利能力なき社団・財団 | (3) 代理 |
| ④法人設立とその能力 | (4) 無効及び取消 |
| ⑤法人の不法行為責任 | (5) 条件及び期限、期間 |
| | (6) 時効 |

履修上の留意点

六法は必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績と出席日数により評価。

教科書

河野弘矩著改訂版『民法総則講義』（八千代出版）3,100円＋税

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商法	しまはら ひろあき 島 原 宏 明	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

実質的な商法の領域の中から主に会社法を対象として講義を進めて行く。商法は民法と共に私法と言われる領域を構成しており、民法の特別法という地位に立つ。したがって本来は商法を学習する以前に民法の基礎知識があることが望ましいが、実情を考慮して、個々の論点の中で民法あるいは法学の領域にまで遡って説明することで補って行くつもりである。

会社法という領域は、商法典の中の第二編会社を中心として、有限会社法、商法特例法等によって構成されている。また、商法上の会社には、商法典に規定されている合名会社、合資会社および株式会社と、有限会社法に規定されている有限会社の四つがある。本講ではこの中から、現代資本主義社会において最も典型的な企業形態であり、かつ最も複雑な法規則を受けている株式会社の制度を中心として解説していく。

講義の内容・ 授業スケジュール

具体的には、①商法上の四つの会社の特徴、②株式会社の設立、③株式と株券、④株式会社の機関、⑤新株発行、⑥株式会社の計算、⑦社債、の順に講義を進めて行く。また、企業活動との係わりの薄い学生諸君にいくらかでも現実感を持ってもらうために適宜、コピーした判例を配布し、解説して行くつもりである。

成績評価の方法

期末試験による。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

宮島 司『会社法概説（第三版）』（弘文堂）
なお、小型の物でよいが必ず六法全書を携行すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労働法	ふじもと 藤 本 茂	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

今日、労働法の舞台である労働関係は、日本型雇用システムの変容とも言われるように、変化しています。雇用調整・リストラ、出向・転籍や年俸制の導入といったものです。

労働法も、この変化に無関係ではありません。

この変動は、労働者個人に降りかかってきます。その意味では、雇用関係法領域において、顕著な問題であるといえましょう。裁量労働制、配転法理、解雇法理、男女雇用平等などなどです。労働組合を中心に扱う労使関係法領域にはあまり時間を割くことができません。

この変動の時期における現代的課題を考えるにあたって、基礎的事項における形成定着している労働法理を学び、これからの展望を模索しようと思います。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業では、下記事項について、基本的なことをまなび、現代的課題に言及します。

詳しくは、第1回目の授業のときに配布するプリントで述べます。ここでは、一応のアウトラインを述べるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変容と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
- (7) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。ただし、授業のマナーは守ってください。たとえば、私語はNo、内職はNo、携帯電話はOffなど。

成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありますが、学年末試験がメインです。追・再試験は実施します。

教 科 書

授業は、レジュメと資料を配布して進めます。教科書は、特に指定しません。しかし、道しるべとして教科書は用意してください。適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして1冊は用意してください。

参 考 書 等

第1回目の授業で、紹介します。

六法は最新のもの（法改正があるので特に留意してください）そして、労基法施行規則の載っているもの、を用意してください。

そ の 他

皆さんが、各事項について、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習 I	いわぶち しょうこ 岩 渕 昭 子	経 営 B 3 選	4

講義のねらい

考える簿記をモットーに、1年次で学習した簿記学の理解をさらに深め、簿記学の中級・上級レベルの知識を学習しながら、簿記会計に関する総合的な力を育成し、興味を深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

この演習は、次の3点を中心に展開する。

1. 簿記会計に関連する新聞記事について、毎回、数人の人に発表していただき、新聞記事を読む習慣を身に付けるとともに、プレゼンテーション能力を育成する。
2. コンピュータによる会計処理について学習し、実務に対する理解を深める。
3. 簿記検定などの資格取得を側面から支援するため、簿記学の中級・上級レベルの内容について講義するが、関連した問題を解きながら、思考力や判断力を育成する。

履修上の留意点

1年次で簿記学の単位を取得済みであり、簿記・会計学に興味がある学生の履修を希望する。

成績評価の方法

出席や課題に基づくレポートの提出などにより、総合的に評価する。

参 考 書 等

『会計法規集第16版』（中央経済社編）、この他は授業中に適宜紹介する。

そ の 他

講義に必要な資料等は、必要に応じてコピーで配布する。授業は、講義形式・発表形式・演習形式を混ぜ合わせ、複合的に行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習 I	おおしま ひさゆき 大 島 久 幸	経 営 B 3 選	4

講義のねらい

経済発展と民主主義の2つをどう達成するかという現代社会の重要な論点について、明治以後、戦後の高度成長までの日本を対象に歴史的見地から検討することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

文献講読を通じて、日本の近代化のプロセスに対する理解を深める。各人が主体的に学び理解する姿勢が何より求められる。

成績評価の方法

出席、授業への参画度、学年末レポートによって総合的に評価する。

教 科 書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	かねむら えいてつ 兼 村 栄 哲	経営 B 3 選	4

講義のねらい

受講生の1人1人が、マーケティングにかかわる諸現象を体感し、自分なりに論理的に説明できるようにすることを主な目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

- 以上の3つを主な内容とする。
- ① マーケティング論に関する基本的なテキストを全員で輪読し、基礎的な概念や理論を学んでもらう。これは、各受講生が、事前に割り当てられた担当箇所について作成したレジュメを発表し、その後討論するという形式をとる。
 - ② 年に数回、4～5人のグループで、マーケティング（論）にかかわるいくつかのテーマについて調べてきてもらい、その内容を発表してもらう。
 - ③ 年に数回、工場見学を予定している。工場見学後、レポートを提出してもらう。

履修上の留意点

- 以下の3点をとくに要望する。
- ① 積極的に参加すること（通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも積極的に参加すること。また、単に出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。）
 - ② お互いの親睦を深めること
 - ③ 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ず事前にその旨を申し出ること

成績評価の方法

授業態度、発表内容、レポート内容等を総合的に評価する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

適宜、紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	ざる やま よしひろ 猿 山 義 広	経営 B 3 選	4

講義のねらい

- ① 中級程度の管理会計に関する知識を一通り習得すること。
- ② マーケティング会計の基礎概念と基本的手法を習得すること。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 経営者と管理会計
- ② 業績評価のための管理会計
- ③ キャッシュ・フロー経営
- ④ 事業部制と分権的組織の会計
- ⑤ 損益分岐点分析と直接原価計算
- ⑥ 経営戦略と中・長期経営計画
- ⑦ 利益管理と予算管理
- ⑧ 標準原価計算とコスト・コントロール
- ⑨ インテグレートド・コストマネジメント
- ⑩ 原価企画と戦略的コストマネジメント
- ⑪ ABCによる間接費管理
- ⑫ 経営意思決定と会計
- ⑬ 戦略的・戦術的価格決定
- ⑭ 戦略的意思決定と投資決定
- ⑮ 物流費、販売促進費の管理
- ⑯ 情報技術とソフトの管理
- ⑰ 研究開発費の管理
- ⑱ 海外事業の管理
- ⑲ マーケティング管理会計
- ⑳ ブランド価値会計

履修上の留意点

演習という授業科目では、通常の大教室における授業と異なり、少人数でお互いの口頭表現力を磨き合うことに重きが置かれている。授業中の積極的な質問や意見交換を期待する。

成績評価の方法

成績評価は授業における個人々の報告に基づいて行う。

教 科 書

櫻井通晴著『管理会計〔第二版〕』（同文館）2000年
Wilson, R.M.S., 『Accounting for Marketing』（Business Press）1999

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	たかはし しげお 高橋 成夫	経営B3選	4

講義のねらい

経営学の研究対象である企業をとりまく経済社会の環境変化が著しく、次から次へと新しい問題が現われてきている。したがって、経営学としての研究内容もまた広範かつ多岐にわたらざるを得ない。本演習では、企業の動向に注目しながら、企業の実体を解明し、企業経営の知的理解をより深めることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

経営学に関する文献を輪読するので、報告者には割り当たった部分のレジュメを作成してもらい、それをを用いて討論を行う。

履修上の留意点

報告者以外の者も必ず文献の報告部分を読んで疑問点をまとめておく。

成績評価の方法

出席、報告内容、発言、レポートなどにより総合的に評価する。

教科書

開講時に参加者の希望も考慮しながら決定する。

参考書等

授業の中で随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	なかむら こういち 中村 公一	経営B3選	4

講義のねらい

本演習は現代企業の経営戦略を多面的に把握し、①文献講読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する分析力と洞察力、②実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力を養っていくことを目的とする。そして、数多くの課題をこなす中で各人の能力（スキル）アップを図る。

講義の内容・授業スケジュール

文献講読による経営戦略論に関する基本知識の習得とともに、ケーススタディやビジネスプラン策定などにより実践的場面でも活用できる能力の向上を図る。従って、文献の理解力とレポート作成能力、そして思考力やプレゼンテーション能力も強化していく内容で演習を進めていく。そのために、毎週の演習以外に、年数回の研究会と勉強合宿を計画している。

履修上の留意点

毎週レポートを宿題として課すために、相当の勉強時間の確保が必要である。

成績評価の方法

出席と授業への積極性、レポート内容、年度末に提出するゼミ論文によって評価する。特別の用事のない無断欠席等は厳しくチェックする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習 I	はしば としゆき 橋 場 利 幸	経営 B 3 選	4

講義のねらい

今後の情報化社会において活躍される皆さんは、単にパソコンが使えるだけでなく、一歩踏み込んだ技術力を必要とされることも多いと思う。この演習では、そのような要請に対応できる基礎技術として、C言語やJavaなどのコンピュータプログラミング、UNIXを中心とする情報ネットワーク技術、ソフトウェアの設計方法やテストなどを取り上げる。将来コンピュータエンジニアを目指す人に役立つものとしたい。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータの原理、UNIXの基礎、C言語によるプログラミング、デバッグ手法などを基礎として、受講者の興味と理解度に応じたテーマを取り上げる予定。

履修上の留意点

前提知識としてはWindowsがある程度使いこなせれば十分であるが、授業には基本的に毎回出席する意志を持っていただきたい。

成績評価の方法

発表の回数と内容に、各期ごとのレポートで評価する。

教科書

カーニハン&リッチー『プログラミング言語C』（共立出版）を基本にするが、その他は演習開始時に紹介する。

参考書等

随時紹介する。

その他

授業は講義形式だけでなく、学生各位の発表形式（コンピュータを使い、レジュメを用意して口頭発表する）を併用し、将来仕事に就いたときの報告やプレゼンテーションの練習とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習 I	はっとり よしひさ 服 部 昌 久	経営 B 3 選	4

講義のねらい

金融システムは経済活動を支えるインフラであるが、現在はその大きな転換期にある。金融システムのこれまでの発展過程を踏まえ、望ましい将来像を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

受講生がそれぞれ関心を持つテーマについて簡単なレポートを作成するとともに、このレポートを基に全員で議論を展開し、一定の方向に導く。

履修上の留意点

演習での発表者は自身のテーマでの議論をリードすることはもちろんであるが、他の受講生も受身の受講ではなく、素朴な意見でも積極的に議論に参加することを望む。

成績評価の方法

演習での提出レポートを重視して成績評価を行う予定。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習 I	ふじわら あつし 藤 原 篤 志	経営 B 3 選	4

講義のねらい

本演習ではテーマを「現代企業における生産・技術・労働」とし、このテーマに沿ってゼミ生各人が自分の関心のあるテーマを設定し、それについて研究し各人がゼミ論文を作成することを最大の目的としている。またゼミ論文研究の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）を行ってもらい、その中で議論・討論を行う形で授業をすすめていく。この研究発表・報告・討論を通じて、各人が論理的に思考し、自分の意見を的確に表現する練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

先述のように各人がゼミ論文のテーマを設定し、論文作成のための研究を進めていく。授業自体は各人による研究発表・討論で行われる。その中で、発表・報告・討論の能力を養っていくことも意図している。このようにゼミは発表・討論を中心に行われるため、ゼミ内に全員が積極的に発言できる雰囲気を作りたい。そのため、授業以外の活動（コンパ、合宿、工場見学など）に参加することが原則である。その他、一層の勉強、および親睦を深めるためサブゼミの開講も検討している。

履修上の留意点

以上のような内容なので、中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。毎回少なくとも1回は発言することが義務付けられるので、消極的な姿勢でゼミに参加する者にとっては苦痛でしかないであろう。本ゼミでは何よりもやる気のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
外書講読（英書）	なかがわ じゅんぺい 中 川 淳 平	経営 B 3・4 選	4

講義のねらい

ビジネス英語・経済英語になじめるよう、毎回興味あるトピックを選択し、その英文の講読を通じてビジネス・経済の実態認識を深められるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

事前に配布する英文資料について、毎回報告者を決め、要約ないし翻訳を報告してもらう。

履修上の留意点

毎回必ず予習をしてから出席すること。

成績評価の方法

報告、出席状況、学習態度、試験（ないしはレポート）の結果等を総合して評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
外書講読（英書）	はやみ のぼる 速 見 昇	経営 B 3・4 選	4

講義のねらい

「外書講読」は1字1句言葉を確認しながら自分の力で訳すため、スピードは遅いが内容を把握する点では最適といえる。そして、経済・経営のテクニカル・タームを把握し、この大学を卒業するころには英字新聞の経済・経営の記事が読めるようにして欲しいというのが私の希望であり、講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

最初は辞書がなくても訳せるような易しい文献を選んで「外書講読」に慣れ親しんでもらう。そして、徐々に専門的な知識が身に付くような文献を講読し、専門的な知識を深めることにする。1年間で4つのテーマ、たとえば貿易摩擦（Trade Friction）、財政赤字（Deficit Finance）などについての講読を予定しているが、「外書講読」は休むと身に付かないので出席に自信のある学生を希望する。

教科書

授業時にプリントを配布

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ビジネス英語	<small>まちい やすし</small> 町 井 靖	経営 B 3・4 選	4

講義のねらい

「商品の輸出入に関する英文の手紙」を学習する。テキスト『ビジネス英語』に従って、取引先の発見からカタログの送付、オフア、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階で良く使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるので、英作文演習には力を入れたい。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっていく。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注]を良く読返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。

貿易の専門的用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。

履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習（英文解釈）、復習（英作文）が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。

成績評価の方法

前期、後期の試験成績と出席による。

教 科 書

町井靖著 『ビジネス英語』（創成社）1,600円（本体価格）

参 考 書 等

教室で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
特殊講義（前期）	<small>さいとう ただし</small> 斉 藤 正	経営 B 3・4 選	2

講義のねらい

野村證券株式会社の提供による本講座は、「資本市場とグローバル証券ビジネス」をテーマとし、野村證券および野村総合研究所の現役スタッフによって前期13回の予定で講義される。

講義では、証券市場に関するタイムリーな話題を中心に全体論からスタートし、資産運用の考え方や実践を簡潔に紹介した後、グローバル証券業のコアビジネスである、国内リテール、インベストメントバンキング、フィクスト・インカム、エクイティ、アセット・マネジメントの考え方やビジネス実例を紹介する。最後に、ITと対面営業の融合など、リテール証券ビジネスの現状と展望について解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 証券市場の役割
- 2) 経済成長と金融・資本市場
- 3) 証券市場規制と投資者保護
- 4) 資産運用とライフプランニング
- 5) グローバル資産運用
- 6) エクイティ（株式）ビジネス
- 7) フィクスト・インカム（債券）ビジネス
- 8) アセット・マネジメント・ビジネス
- 9) 投資銀行ビジネス
- 10) ベンチャービジネスとIPO（株式公開）
- 11) リテール証券ビジネスの実践
- 12) リテールマーケットのビジネス戦略とIT戦略
- 13) リテール証券ビジネスの競争戦略

履修上の留意点

最新のグローバル証券ビジネスを扱うため、常に新聞等の経済記事に注意を払って講義に臨んで欲しい。

成績評価の方法

出席を重視しつつ、理解度を測るために適宜レポートを提出してもらい、総合的に評価する。

教 科 書

毎回、授業で講義資料を配付する。

そ の 他

授業は毎回異なる講師によって行われる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習II	お お の ま ん な 大 野 満 奈	経 営 B 4 選	4

講義のねらい

この演習を通じて参加各人の個性や発想を生かし、意見交換等を通じて相互の交流を深めること、そして、大学での自己の専攻と呼べる領域を築きあげること、この二点をねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

財務会計の諸概念を理論的に追究する作業を行う。さしあたりは、企業会計原則を中心とする制度会計の理解が得られるよう指導していき、その後は今日における会計上の諸問題を取り扱っていく。

履修上の留意点

日商簿記検定3級取得者、または「簿記学」の単位を修得しその内容をよく理解している者が望ましい。

成績評価の方法

出席率・ゼミ論の内容等により成績を評価する。

そ の 他

合宿を1回～2回予定しているので参加すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習II	か と う た け の ぶ 加 藤 武 信	経 営 B 4 選	4

講義のねらい

現代企業における情報システムの役割に関して、理論的・技術的な検討を行い、競争戦略論・戦略情報システム論・管理会計論などに依拠しながら情報システムベースの企業経営を学習する立場から、3年次に引き続き、勉学目標を更に深める努力をする。

講義の内容・授業スケジュール

下記のようなテーマについて学習する。

- ①競争戦略・戦略情報システム
- ②キャッシュフロー経営・会計の理解
- ③販売管理や顧客管理のシステム化に関する文献の考察とシステム設計の検討
- ④WordとExcelなどによる基本操作およびプログラミングの検討

その実現のために、次のような検討を行う。

- ①各自の研究課題に関係した卒業生の優秀論文の講読と評価
- ②ゼミ論文の課題設定と資料収集
- ③ビジネスモデル、情報システムなどに関する学術雑誌論文の講読と要点整理
- ④情報システムの中核であるデータベースに関する基礎と構築技術の学習
- ⑤ゼミメンバー相互の知識交換のための研究課題の中間発表と討議

履修上の留意点

自宅での専門書の熟読および授業でのパソコン実習の双方での能力向上を目指すので、コンピュータ技術に熱意をもつことが望ましい。

成績評価の方法

日常の出席状況とレポートの提出、学年末のゼミ論文を含めた総合評価を行う。

教 科 書

授業の中で示す。

そ の 他

授業の方法

①担当教員による講義と②ゼミ生の個別課題の発表の2本建てで行う。①については、情報システム、データベース、経営方式に関するテーマを適宜取り上げ、現状と今後の展開について解説する。②では、個人あるいはサブゼミ単位で課題について発表を行う。最終的には、ゼミ論文の完成を目指す。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	かたぎりのぶお 片 桐 伸 夫	経 営 B 4 選	4

講義のねらい

このゼミは「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。
 経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。
 具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）
- 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）
- 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）
- 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）

といった内容です。

講義の内容・
授業スケジュール

このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表（貸借対照表や損益計算書など）の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学、2年次の会計学に興味を感じた人向けのゼミです。

成績評価の方法

平常点です。
 3年次（演習Ⅰ）では、各自が決めたテーマに取り組み、そのレポートを検討する形式で授業を進めます。また、合宿も行います。
 4年次（演習Ⅱ）では、2年間の成果をゼミ論としてまとめます。

そ の 他

ゼミ入室の決定方法は〔志望理由書（500字程度）事前提出〕と3級（1年生で学習した）程度のテストによります。

なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	きたしま まんじ 北 島 万 次	経営 B 4 選	4

講義のねらい

近代日本の起点は明治維新の政治および経済改革にあった。その場合、①産業革命をへて欧米で起こった世界資本主義体制がアジアに進出するいわゆる外圧、それが幕末の日本を資本主義体制に巻き込んだ問題、②その外圧をうける以前に、幕藩体制下の日本では資本主義経済への芽生えがどの程度進んでいたかという問題。この2点を考える必要がある。このことを念頭に置いて、この演習では明治維新にいたるまでの日本の経済発展を理解するように進めていく。その場合、経済史的な視点はもちろん、それと密接に関連する政治史・対外関係史についても目を配り、明治維新にいたるまでの総過程を捉えるようにしたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- * 戦国・織豊期の社会と経済
 1. 東アジア世界の変動
 2. 村落と都市の変貌
 3. 戦国大名の経済政策
 4. 織田政権の経済政策
 5. 豊臣政権の経済政策
- * 幕藩体制成立期の社会と経済
 1. 江戸幕府の経済基盤
 2. 体外関係の変動と鎖国
 3. 藩体制と城下町
 4. 近世村落の形成と農業生産
- * 展開期幕藩制の社会と経済
 1. 農村の変貌
 2. 都市と商業の発展
 3. 領主的対応—享保改革—
- * 動揺期幕藩制の社会と経済
 1. 幕藩制農村の変質
 2. 幕藩制市場構造の変化
 3. 幕藩制経済の再編—田沼期・寛政改革—
- * 解体期幕藩制の社会と経済
 1. 国内市場の形成
 2. 天保改革
 3. 開国と幕藩体制の解体

履修上の留意点

日本経済史についてのテキストを輪読し、リポーターの報告にもとづき討論をする。

成績評価の方法

演習のレポートの内容など平常点。

教 科 書

逆井孝仁・北島万次・野田嶺志・富沢清人著『日本経済史』（有斐閣新書）1,050円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習 II	ながた とも のり 永 田 智 則	経 営 B 4 選	4

講義のねらい

当ゼミナールは国際経済学にかかわる事象を研究対象としている。

近年の国際的相互依存関係の緊密化は、どの国の経済にとっても、国際経済とのかかわりがいかに重要であるかを認識させてきた。ある国で生じた経済問題は、その影響が全世界に波及し、世界経済の流れを変え、各国経済に変革を迫る。この流れに対応できない経済は困難に直面する。

当ゼミナールでは、世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の関係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解することを目標としている。

講義の内容・
授業スケジュール

「演習 II」では演習 I の学習を基礎にして、貿易が経済発展に果たしている役割を検討し、東アジア地域の経済発展と日本経済との関係を中心に研究をすすめる。最終的には研究成果を集約するためにゼミ論文作成と取り組む。

履修上の留意点

無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。

成績評価の方法

授業中の発言や提出レポート等を含め、ゼミ活動に対してどの程度積極的に参加したかを最大の評価ポイントにする。

教 科 書

教科書及び参考書等については必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習 II	にしむら かずお 西 村 和 夫	経 営 B 4 選	4

講義のねらい

【テーマ：コンピュータ科学】文書（英論文など）の読みかた、書きかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

演習 II（4 年次）

論文の書きかたを習得する。

- ・資料の調査。
- ・中間発表とレポート提出。
- ・論文の作成と発表。
- ・論文提出。
- ・発表会。

その他

- ◆就職活動についてのアドバイス。ビジネス文書の書きかた [1]。
- ◆情報処理技術者試験の受験のための学習。
- ◆イベント（年1度）。

履修上の留意点

テーマは“コンピュータ科学”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。原則として“情報処理基礎”を履修していることを前提とする。

成績評価の方法

出席のほかに 演習 I：タッチタイピング、検索課題、レポート 演習 II：ゼミ論文

参 考 書 等

[1] 吉田幸生『仕事の文章が面白いほど書ける本』（中経出版）1992年

そ の 他

どこのゼミを選ぶにしても、友人につられずに自分の判断で決めてほしい。交際期間は、現在の友人とよりも、ゼミの仲間とのほうが長くなる。

西村ゼミのページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	にしやま 西 山 つかさ 司	経営 B 4 選	4

講義のねらい

今日の世界市場においては、情報技術（IT）産業の急速な発展を基礎にグローバル化・大競争が進展して、その経済構造が急激に変化しつつある。

特にホット・マネーを含む為替取引の規模は実物経済から大きく乖離して、為替不安定や通貨危機が日常化している、といわれている。

日本経済の現状も、不良債権処理が長期化し、中央・地方の財政赤字は累増して、経済構造の改革も遅延して景気回復の目途も立たない状況である。このような内・外の「金融・信用」の構造的な不安定の問題と、これに対応する先進各国の経済政策について、理論的・歴史的に分析して体系的な理解を深めるようにつとめたい。

講義の内容・授業スケジュール

前年度に引き続き、現代資本主義経済における金融・信用の諸問題や、最近の国際金融問題についての研究をいっそう深めたい。

履修上の留意点

演習参加の学生諸君が各自交替でテキストを分担・報告し、問題点を全員で討論し究明する。

成績評価の方法

毎回の各自の分担報告内容と討論が評価の対象であるが、出席や休暇の際の提出レポートの内容なども総合して成績評価を行う。

教科書

演習Ⅰと同じ教科書。今宮謙二著『金融不安定構造』

参考書等

参考書、三宅義夫著『金融論』（有斐閣）三宅義夫著『国際金融体制と円』（青木書店）伊藤隆敏著『国際金融の現状』（有斐閣）その他必要に応じて参考書や文献を紹介する。

その他

教科書の勉強を通じた基礎的な問題についての理解と同時に、現在生起している諸問題についての討論も重視したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	みやぎ 宮 城 てつ 徹	経営 B 4 選	4

講義のねらい

ゼミ生は、ゼミナルという、いわば学問的コミュニティの枠を形成し、学友間の人間的なつながりのなかに一緒にディベートを重ね、かつ相互に新鮮な学問的刺激と影響を与えあい、そのことによって、よりよい学問的環境を展開し、生活するのだからなければならないのは、言うまでもない。その一環として、このゼミの3年次と4年次のゼミ生は、年2回のゼミ合宿を行い、親睦を深めている。

さて、このゼミは、企業という経営学の認識対象を正しく理解することを目的とし、「現代経営理論の研究」という統一テーマの下で、4年次ゼミまで2年間一貫して上述の目的達成を進める。一口に現代経営理論と言っても、さまざまな理論があるが、ここでは、企業を正しく理解するための分析枠組みとして大いに役立つと思われる諸理論の研究構想・方向という程度に限定して考えてよい。

この目的のために、3年次ゼミ生は、英語圏とドイツ語圏の代表的な「組織理論」と同時に、4年次ゼミの研究領域へのインプットと成っている、という二重の意義をもつ文献（邦訳書）を熟読し、その基本的内容や考察方法をきちんと理解し、理論認識を深めるよう努力してほしい。

教科書

ゼミ開講時に指示する。

Ⅲ 他学部履修科目

Ⅲ. 他学部履修科目

商学総論	〈大吹勝男〉	565
社会思想史	〈阿部弘〉	566
社会政策	〈光岡博美〉	567
価格理論	〈荒木勝啓〉	568
国民所得論	〈吉野紀〉	569
銀行論	〈休講〉	
中小企業論	〈休講〉	
人口論	〈休講〉	
中国経済論	〈休講〉	
アメリカ経済論	〈休講〉	
ヨーロッパ経済論	〈清水卓〉	570
貿易論	〈休講〉	
法思想史	〈河見誠〉	571
日本法制史	〈茂野隆晴〉	572
西洋法制史	〈休講〉	
経済法	〈岡田外司博〉	572
国際関係論	〈南山淳〉	573
地方自治法	〈富井幸雄〉	573
国際紛争解決法	〈王志安〉	574
倒産処理法	〈奥野善彦〉	574
中国禅宗史	〈須山長治〉	575
日本禅宗史	〈角田泰隆〉	575
インド仏教史	〈池田道浩〉	576
日本仏教史	〈袴谷憲昭〉	576
書道	〈野村宙弘〉	576
仏教と文化	〈奥野光賢〉	577

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商学総論	おおぶき かつお 大 吹 勝 男	営 A・営 B	4

講義のねらい

近年、大学においてさえも、学問が軽視される風潮にあります、そして生残りをかけ、学生集めのために実用主義を売りものにする大学もあります。また、大学は社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、その実、社会ではなく、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり企業のためにあるものではありません。そして、大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学でしか学べないこと、物事の見方、考え方を学ぶことです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。実用的なことは、その場限りのものであり、また入社してから容易に身につくものなのです。何年間かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問をしておくべきであったということです。諸君も、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会に出て現実に困難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、科学的経済学の立場から流通論を、そして商業論を講義するものであり、その内容からして商業経済学といいかえてもよいとおもいます。したがって、授業では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するとおもいます。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について特に力を入れたいと思います。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通諸費用）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論
- (6) 商業資本の自立化論・電子商取引（eコマース）
- (7) 商業利潤論
- (8) 純粋流通費用論
- (9) 商業労働論
- (10) ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (11) 商業資本の回転と価格
- (12) 大規模商業資本論
- (13) 独占的商業資本論
- (14) 卸売排除論
- (15) 流通系列化論

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。

期末試験は論述形式でおこなう。再試験は実施する。

教 科 書

- | | | |
|------------------------------|---|----------------|
| 1 大吹勝男著『新版流通費用とサービス理論』（梓出版社） | 5 | 『経済学論集』第22巻第4号 |
| 2 『経済学論集』（駒沢大学経済学部発行）第20巻第2号 | 6 | 『経済学論集』第26巻第1号 |
| 3 『経済学論集』第20巻第4号 | 7 | 『経済学論集』第27巻第1号 |
| 4 『経済学論集』第22巻第1号 | | |

以上、2から7までの『経済学論集』には、大吹勝男の執筆する商業資本、商業利潤および商業労働に関する論文が掲載

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会思想史	あ べ ひろし 阿 部 弘	営 A ・ 営 B	4

講義のねらい

「経済学」という科学は、人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持ちます。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしています。

この講義では「経済学」の成立と「市民社会」との関係を明らかにすることを目標にしていますが、「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた、「帝王学」的な政治・経済政策論に求められるから、最初にその実態を、東洋社会の「経世済民論」とインド・ヨーロッパの農業政策技術や重商主義的な政策論の展開に観ていくことにします。第2部として近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」、およびその後に登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察します。そのうえで、現代社会にあって、「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

年間の講義は次の構成となります。

第1部：「経世済民」という考え方

第1章：古代中国での「経世済民」思想

第2章：インド・ヨーロッパの帝王学

第3章：日本における輸入学問としての「経世済民論」

第2部：ヨーロッパ社会での「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開—マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：マルクスの経済学体系

成績評価の方法

1 「成績評価」は年間4回のレポートの作成で行います。

レポートは7月・10月・12月・1月におこないます。したがって「定期テスト」は行いません。年4回のレポートを行うのは、講義形成のばあいには評価を年1回のテストで行いますと、とかく受講生の皆さんと講師との交通がみられなくなるからです。

レポートの形式は、7月の第1回目は講師が受講生全体に共通なテーマを設定し、第2回以後は作成されたそれぞれのレポートからテーマを設定します。

2 上記のように年間4回のレポートを皆さんとともに実施していくのですから、回数が少なくてもよいとか、1回だけレポートを密かに作成して「送りつけ」てきたり、私のポストに投げ入れたりしても、評価が悪くなるだけですから注意してください。

3 「評価」はレポートで行いますので、「定期試験」を実施しない関係で、それに付随した、「追試験」とか「再試験」は行いません。

そ の 他

受講生と講師が「レポート」外で連絡し得るようにするために、講師の住所を下に記しておきます。

阿部弘：〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204/TEL03-3976-7984

研究室：第2研究館5F No.2538/TEL03-3418-9360

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会政策	みつおか はくみ 光 岡 博 美	営 A ・ 営 B	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけではなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・ 授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教 科 書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
価格理論	あらき よしひろ 荒 木 勝 啓	営 A・営 B	4

講義のねらい

価格理論の目的は、経済の中でマイクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することである。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノー・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやマイクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出されるas ifパフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。「村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる経済現象は生じないであろう。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始める。」

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといってもよい。従って講義のかなりの部分がそのための準備と練習に当てられると期待したい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、変微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 費用曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノー・ナッシュ均衡
- (21) クールノー・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験あり。

成績評価の方法

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国民所得論	よしの 吉野 紀	営 A・営 B	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万(平成3年)あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとすれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。ここでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」(配布資料)
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解説は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章
4. 「金融政策、財政政策」……………4回
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は原則として実施しない。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミクス(上)』(第6版)(多賀出版)

履他
修学
科目
部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ経済論	しみず たくし 清 水 卓	営 A ・ 営 B	4

講義のねらい

本年1月1日から、EU諸国の統一通貨であるユーロが一般に流通するようになり、EU諸国の経済統合は高度な段階に入りました。数年のうちには10カ国を超える中欧、東欧諸国がEUに加盟することになっており、EUの機構改革も着手されました。こうして、世界におけるEUの存在はますます大きくなってきます。

本講義はEUとメンバー諸国の動きを紹介し、その意義を明らかにします。

講義の内容・授業スケジュール

前期にはEUの主な課題の経過と現状を取り上げます。

市場統合の経過と現状
市場統合への道
1992年市場統合計画
現段階における市場統合への課題

欧州通貨統合
第2次世界大戦後の国際通貨体制と欧州
欧州通貨危機と欧州統合
欧州通貨制度（EMS）
欧州中央銀行制度

市民的・社会的ヨーロッパ
欧州失業問題
地域格差問題
欧州福祉国家の現状
欧州基本権憲章

EUの安全保障問題

後期は各国経済とEUの産業分野を取り上げます
各国経済の現状
フランス
ドイツ
イギリス
イタリア
スペイン
オランダ・ベルギー・ルクセンブルグ
北欧諸国

産業分野としては
農業・農村・食料
伝統的部門
先端産業

なお、随時、EUの最新トピックスを解説します。

履修上の留意点

講義を興味深く聞き、内容を理解するためには、ある程度の基礎知識や、EUで現実に起こっている出来事への関心が必要です。是非、インターネットや、新聞、雑誌で自分の興味が持てる事柄を探してください。

成績評価の方法

前期末と学年末にペーパー試験を行います。
成績評価に際しては、出席回数を考慮します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

- 1) 田中素香、長部重康、久保広正、岩田建治『現代ヨーロッパ経済』（有斐閣）2001年
- 2) 藤井良弘『EUの知識』（日本経済新聞社）

その他

卒業年次生に対する再試験は行いません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法思想史	かわみ まこと 河 見 誠	営 A ・ 営 B	4

講義のねらい

21世紀を迎え、あらゆる場面で20世紀の枠組みが問い直されようとしている。法や権利の在り方に関しても同様である。近代的国家という枠組み自体が疑問に付されたり、個人の生き方を近代的な法や権利という枠組みで捉えることへの倫理的批判が提起されることもしばしば見受けられる。このような時代状況の中で、法や権利の在り方を真摯に模索していくためには、「法とは何か」「権利はなぜ尊重されなければならないのか」といった、根元的な問いと格闘しなければならないだろう。しかしそういった格闘は、何も2002年現在の私たちが初めて取り組むわけではない。過去、何千年にもわたる「法思想」の歴史があるのである。過去の「法思想」に耳を傾けることを通して、21世紀にふさわしい法や権利の在り方を、ともに模索していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

私たちが現在よって立っている法体系、とりわけその根本にある憲法の中に見られる基本的人権や民主的統治機構は、基本的には近代の自然権思想や社会契約論に源泉を持つと考えられる。従って、本講義では、近代法思想を重要な軸にしたいと考えている。そのことを念頭に置きつつも、講義の進め方としては、オーソドックスに古代ギリシャの法思想からスタートして、時系列的に法思想を追っていくこととする。

近代以前：古代ギリシャの法思想（ソフィスト、ソクラテス、プラトン、アリストテレス）、

中世ローマ・キリスト教の法思想（キケロ、アウグスティヌス、トマス・アクィナス）

近代：自然権・社会契約論（ホッブス、ロック、ルソー）、功利主義（ベンサム、ミル）、ドイツ観念論（カント、ヘーゲル）

近代から現代へ：社会主義法思想（マルクス）新カント派法哲学（ケルゼン、ラートブルフ）、再生自然法論（コイニング、カウフマン）、分析法理学（ハート）、現代正義論とリベラリズム（ロールズ、ドゥオーキン）

成績評価の方法

定期試験（後期終了後1回）を主たる評価基準とする。その他、長期休暇中にレポートを課するかも知れない。

教科書

田中成明他『法思想史（第2版）』（有斐閣Sシリーズ）1997年 1,700円

参考書等

随時紹介する。また、参考資料を随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本法制史	しげのたかほる 茂野隆晴	営 A・営 B	4

講義のねらい

「法制史」は基礎法学の一つであるが、歴史学の一分野でもあるという両属性がある。私の担当する「日本法制史」は日本人の法生活の歴史的考察であり、それを時代区分をなすことによって行っていくというものである。

各時代の人びとの生活を規範的側面より探究、分析していくものであるから、少しでもその実体にせまる上からも多くの史料を勉強して実際に元の文章そのものを読んでいけば法制史の理解はより深まろう。

ともあれ、基礎法学あるいは理論法学といっても、その位置づけ、あり方については、未だ法学教育のうえで定かでないようである。ただ、基礎法学がより重視され、仮に実定法と同じような比重で科目配当されたとすれば、日本法制史について言うなら、古代・中世・近世・近現代といった名称が冠せられた講座がみられるようにもなるうか。

講義の内容・
授業スケジュール

時代区分として、上古（氏族法時代）、中古（律令法時代）、中世（武家法時代前期）、近世（武家法時代後期）、近代（含む幕末）の5期に分ち、前期は、それぞれの時代の公法・刑事編を行なう。後期には、同じく時代を繰り返し、私法・民事編を行なう。

履修上の留意点

史資料に則して行なうことの多い授業ですのでテキストは必ず揃えて持参のこと。また、授業中の私語は厳禁ゆえに、守れない者があれば直接にも指摘することになるう。

成績評価の方法

年間1度の定期試験の評点に出席点を加味して評価する。

教 科 書

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（高文堂出版社刊）3,000円

参 考 書 等

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』（芦書房刊）2,300円 このほかは、ばあいにより指示します。

そ の 他

授業の方法は講義による。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済法	おかだとしひろ 岡田外司博	営 A・営 B	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少くともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教 科 書

丹宗暁信・厚谷襄尼編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際関係論	みなみやま 南 山 淳	営 A・営 B	4

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国民国家体系は、戦争による世界秩序の崩壊と新たな世界秩序の創造というリサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきた。他方、「グローバル化」に象徴されるトランスナショナルな活動の増殖は、今日、国際関係に極めて重要な影響を及ぼすようになってきている。つまり、現代国際関係の最大の特徴は、国家間関係とトランスナショナルな関係が同一の事空間に並存し、相互に影響を与えあっているという点にある。本講義の目的は、複雑化する現代国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を確定していく作業に他ならない。そのためには、国際関係史と国際関係理論を別々に考えるのではなく、双方を一体のものとして、有機的に理解することが不可欠となる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナーキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念の理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地球環境、ジェンダーなど、現代国際関係における具体的な諸問題をとりあげる予定である。

履修上の留意点

政治学、近現代史、国際問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

出席状況、レポート、学期末試験により評価する。

教科書

進藤榮一 著『現代国際関係学』（有斐閣）
松岡 完 著『20世紀の国際政治』（同文館）

参考書等

講義の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地方自治法	とみい ゆきお 富 井 幸 雄	営 A・営 B	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジュメを配布し、それに添って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。なお、出席は適宜とる予定である。単位認定のとき考慮することがある。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）2,000円

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻りに法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大幅な改正があるので、必ず平成12年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

履他
修学
科目
目部

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際紛争解決法	おう し あん 王 志 安	営 A・営 B	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構(WTO)の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしっかり取ってもらいたい。

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

松田幹夫編著『現代国際法』(八千代出版)1997年 2,700円

参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のもまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpointを利用した講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倒産処理法	おくの よしひこ 奥 野 善 彦	営 A・営 B	4

講義のねらい

私が管財人として任務を遂行した更正会社日本リースの事件処理などを通じ、可能な限り実践的な視点から倒産処理法を学ぶこととする。

倒産処理手続は、通常、任意整理と法的整理に区分され、さらにその目的に従い、再建型と清算型に分けられる。

任意整理は、裁判所外で債務者と債権者間で私的に進められる整理手続で、再建型にも清算型にも利用され、法的整理手続の原型となっている。これに対し、法的整理手続は、再建型の類型に入るものとしては、会社更正、会社整理、並びに民事再生手続があり、清算型の類型に入るものとしては特別清算と破産がある。

この講義では、「倒産」に直面している人又は企業に対し、如何なる手続を選択することが債権者及び債務者にとって最も好ましいか、というようなことから始め、最高学府で倒産処理法を学んだ者として、当然身につけなければならない法的知識並びに法的技法を習得することにした。

履修上の留意点

真面目で誠実で、且つガッツのある学生に履修してもらいたい。

成績評価の方法

履修態度、レポート並びに試験(論文式)

教科書

追って指定

参考書等

奥野善彦著『会社再建』(小学館)定価1,600円

その他

前期-講義 後期-ゼミ

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国禅宗史	須 ^す 山 ^や 長 ^ま 治 ^{ちようじ}	営 B	4

講義のねらい

『景德伝燈録』には1,700人余りの禅僧たちが登場する。その一人一人が語り出す世界は、今日の我々が見てもまことに感動的である。それは彼らが“己の現存”を言葉によって、いかに表現しようとしたかを、目の当たりにするからである。禅宗は自らを不立文字と標榜するが、実際には言語を断ち切らず、言語によって言語の届かない世界をあらわにしようとした精神運動なのである。この事実を、禅の語録を通して考察して行きたい。

講義の内容・
授業スケジュール

昨年度に引き続き、本年度も『碧巖録』を解説しながら、達磨以降の禅僧たちの言行を調べていく。これにより、中国禅は時代とともにどのような問題意識を展開していったか、その軌跡をたどりながら、全体的に“中国禅”とはなにかを考えて行きたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

試験は基本的な内容を問う。具体的には、論述。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

『碧巖録』（岩波文庫）、『雪竇頌古』（禅の語録シリーズ）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本禅宗史	角 ^つ 田 ^の 泰 ^だ 隆 ^{たいりゆう}	営 B	4

講義のねらい

禅宗という宗派はないが、坐禅および禅定を主たる実践とする教えの流れを汲む宗派を禅宗と呼び、一般的には曹洞宗・臨済宗・黄檗宗の総称として禅宗と呼んでいる。本科目は、日本の禅宗の歴史について概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の禅宗の歴史についての研究をするものであるが、その基礎知識として、まず、禅とは何かについて、インドや中国における禅の仏教史における位置と思想について、概説したい。そのうち教科書（第三部禅宗の歴史－日本篇）によりながら、日本の禅宗の歴史を講義してゆく。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者は、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教科書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,370円

参考書等

授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
インド仏教史	い け だ みちひろ 池 田 道 浩	営 B	4

講義のねらい

インドにおいて既に釈尊の教説に対する異なった解釈が多数存在していた。各学派はこれこそが正しい教えであることを主張し論争を繰り返していたことが伝えられている。仏教における論争の歴史を学習することによって各学派の主張が明瞭となり、一見多様な仏教の思想が理解しやすくなると思われる。この講義はインド仏教の思想的展開の理解を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

インド仏教のおおまかな思想史について考察する。釈尊の教え、釈尊滅後の教団、大乘仏教の発生と展開等が主な項目である。特に中観派と瑜伽行派との論争については、実際にいくつかの文献を講読していきたい。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験によって厳しく評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

高崎直道『仏教入門』（東京大学出版会）
平川彰『インド仏教史』上下巻（春秋社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教史	は か ま や のりあき 袴 谷 憲 昭	営 B	4

講義のねらい

下記の教科書により、日本仏教史を講義する。ただし、単なる講義に終わらせないために、17世紀に入るか入らないかに完成していたと思われる、邦人イelman不干斎巴鼻庵の『妙貞問答』上巻によって、その論述するところの我が国の八宗の教義をも講読研究することにした。この講読によって、当時のキリシタンが、いかに我が国の仏教のことを理解していたかを知っておく必要があると考えるからである。

講義の内容・授業スケジュール

講義も講読も、以上の「ねらい」に即して、適宜定められるであろう。

履修上の留意点

単に講義を聞くだけではなく、上記の文献を自ら読んでみようと思うものの参加が望まれる。

成績評価の方法

学年末にレポートを課して評価したいと考えているが、状況次第で変更もありうる。

教科書

末木文美士『日本仏教史—思想史としてのアプローチ—』（新潮文庫）560円 井出勝美・海老沢有道『妙貞問答』上巻（海老沢有道他編著『キリシタン教理書』、キリシタン文学双書、キリシタン研究第30輯（教文館）1993年、287-354頁

参考書等

ヴァリニャーノ著・家入敏光訳編『日本のカテキズモ』（天理図書館）1969年 袴谷憲昭『法然と明恵—日本仏教思想史序説—』（大蔵出版）1998年

科目名	担当者名	配当学科	単 位
書道	の む ら ちゆうこう 野 村 宙 弘	営 B	4

講義のねらい

王羲之の蘭亭序をはじめ、各種古典の臨書による、実技の指導を行う。

履修上の留意点

書道実技の為、墨、硯、文鎮、下敷、半紙等の文房四宝の用意が必要。
（正しい用筆法、正しい墨のすり方等、初歩的な基礎勉強の指導と、かんたんな書道史の説明を行う）

教科書

王 羲之『蘭亭序』（清雅堂）360円

他履修科目
学修部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と文化	おくのみつよし 奥野光賢	営 B	4

講義のねらい

日常生活において何気なく使われている言葉の中から、仏教に関わるものを毎回取り上げて、その言葉の持つ本来の意味、語義の変遷等を考察することによって、「仏教と文化」の問題を考えたい。その際、教理史・仏教史に対する知識は必要不可欠になるので、講義は必然的に教理史・仏教史を再度確認しながら進めることになるであろう。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期は、上記に記したねらいにしたがって毎回ある「仏教語」を取り上げて講義形式で授業を進める。後期は、「仏教語」だけでなく日常行なわれている「仏教行事」等にも眼を向けて授業を進める予定である。

履修上の留意点

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。

成績評価の方法

学年末試験によって評価する。年間出席数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としない。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教 科 書

特に指定せず、プリントを配布する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

そ の 他

授業は講義形式とする。

